

PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

北翔大学 御中

基礎力測定テスト

PROG 全体傾向報告書 (2025)

2026.03.31
株式会社リアセック

受験日：2025年 4月～12月

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	221	13	181	30	445
	健康福祉学科	25	5	35	8	73
		246	18	216	38	518
教育文化学部	教育学科	134	4	132	12	282
	芸術学科	53	2	52	9	116
	心理カウンセリング学科	64	0	46	4	114
		251	6	230	25	512
短期大学部	こども学科	55	59	-	-	114
		55	59	-	-	114
合計		552	83	446	63	1,144

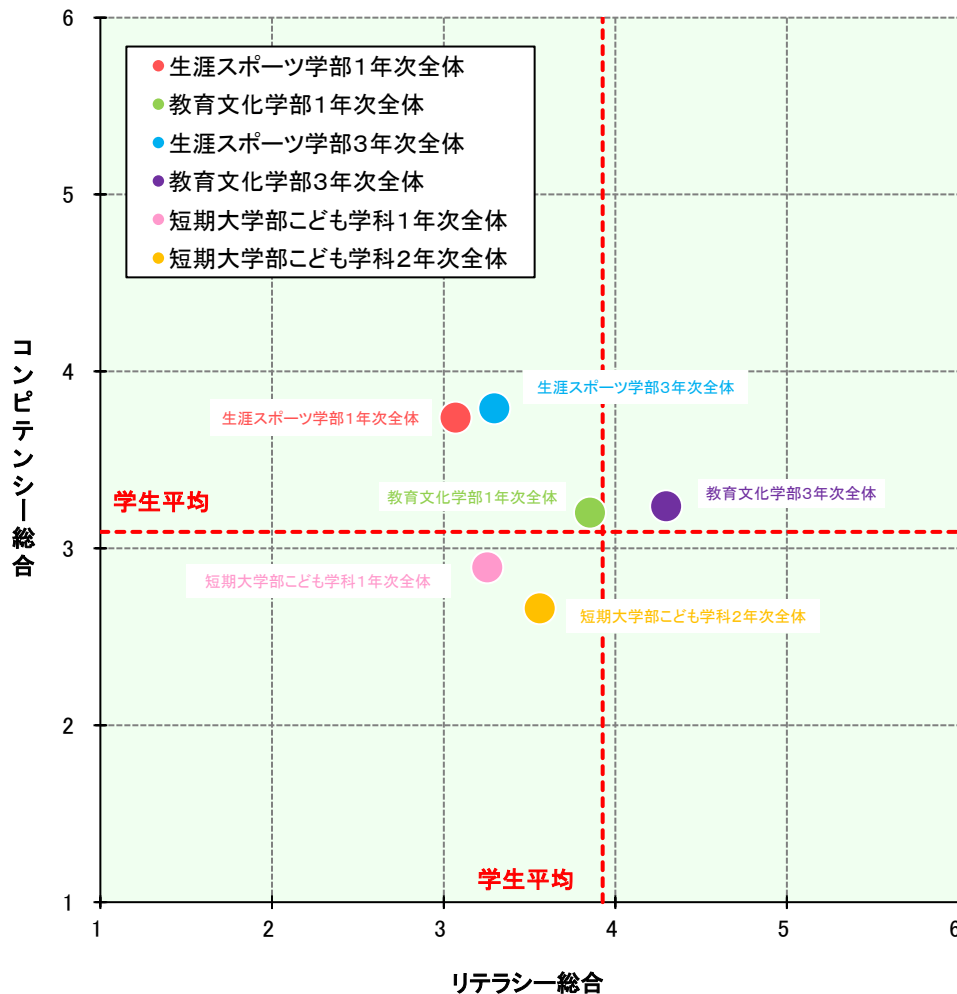
※WEB受験を実施した学生のリテラシーテストについて、全30問中解答数20問以下の学生について、解答姿勢が低かったことが想定されるため、これらの学生のスコアを除いて集計しております。
除外対象・集計対象数と除外前スコアは下記の通りです。

学部	学科	学年	受験人数	除外対象	集計対象	除外前スコア		学年	受験人数	除外対象	集計対象	除外前スコア	
						リテラシー 総合	コンピテンシー 総合					リテラシー 総合	コンピテンシー 総合
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	1年	229	8	221	3.06	3.74	3年	193	12	181	3.18	3.84
生涯スポーツ学部	健康福祉学科	1年	25	0	25	2.64	3.60	3年	37	2	35	3.19	3.38
教育文化学部	教育学科	1年	139	5	134	3.87	3.46	3年	134	2	132	4.35	3.45
教育文化学部	芸術学科	1年	55	2	53	3.65	3.15	3年	58	6	52	3.84	3.12
教育文化学部	心理カウンセリング学科	1年	66	2	64	3.67	2.63	3年	50	4	46	4.00	2.71

■2025年度貴学WEB受験者985名の平均解答数は下記の通りです。

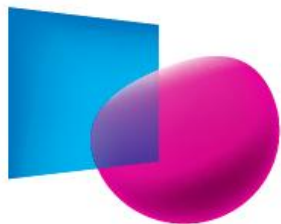
リテラシー解答数:28.0問

リテラシー総合 × コンピテンシー総合



■ 学生平均概要

	リテラシー領域	コンピテンシー領域
	約339,000人	約914,000人
受験期間	2024年4月～ 2026年1月	2022年4月～ 2026年1月 (一部2016年4月～)
学校数	297校	412校
学校区分		
四年制大学	241校	338校
短期大学	56校	74校
国公立内訳		
国立	25校	37校
公立	26校	40校
私立	246校	335校
文理比率		
文系	55.8%	54.3%
理系	38.9%	40.3%
不明・他	5.3%	5.4%
学年比率		
1年	51.0%	50.6%
2年	6.2%	7.7%
3年	34.6%	33.6%
4年	6.3%	6.7%
他	1.8%	1.5%



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.1

スポーツ教育学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

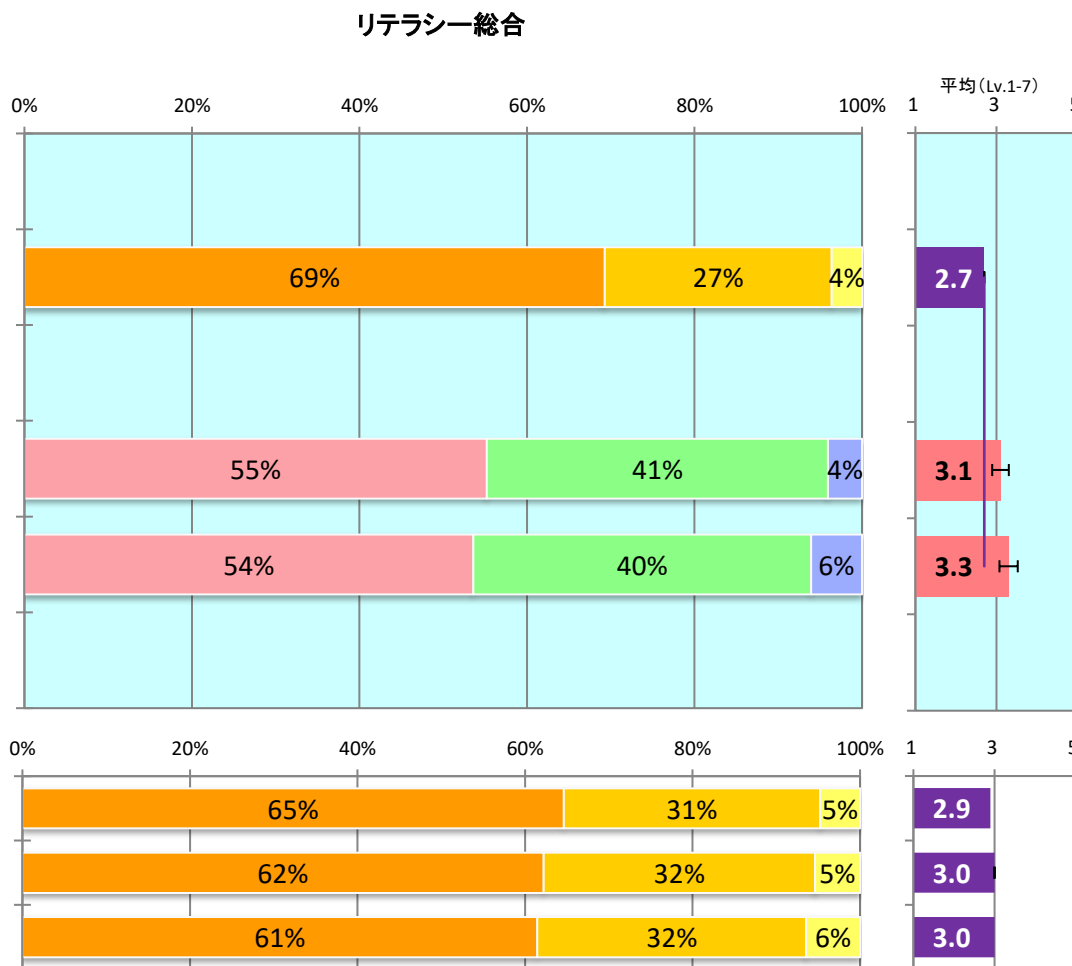
【基準集団】

★私立大学1年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	14校 N=4,206
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
スポーツ教育学科1年次	21.63	0.00
スポーツ教育学科3年次	21.13	0.00

【ご参考基準集団】

私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	15校 N=3,178
私立大学1年(体育学系)	21校 N=10,067
私立大学3年(体育学系)	25校 N=5,826



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

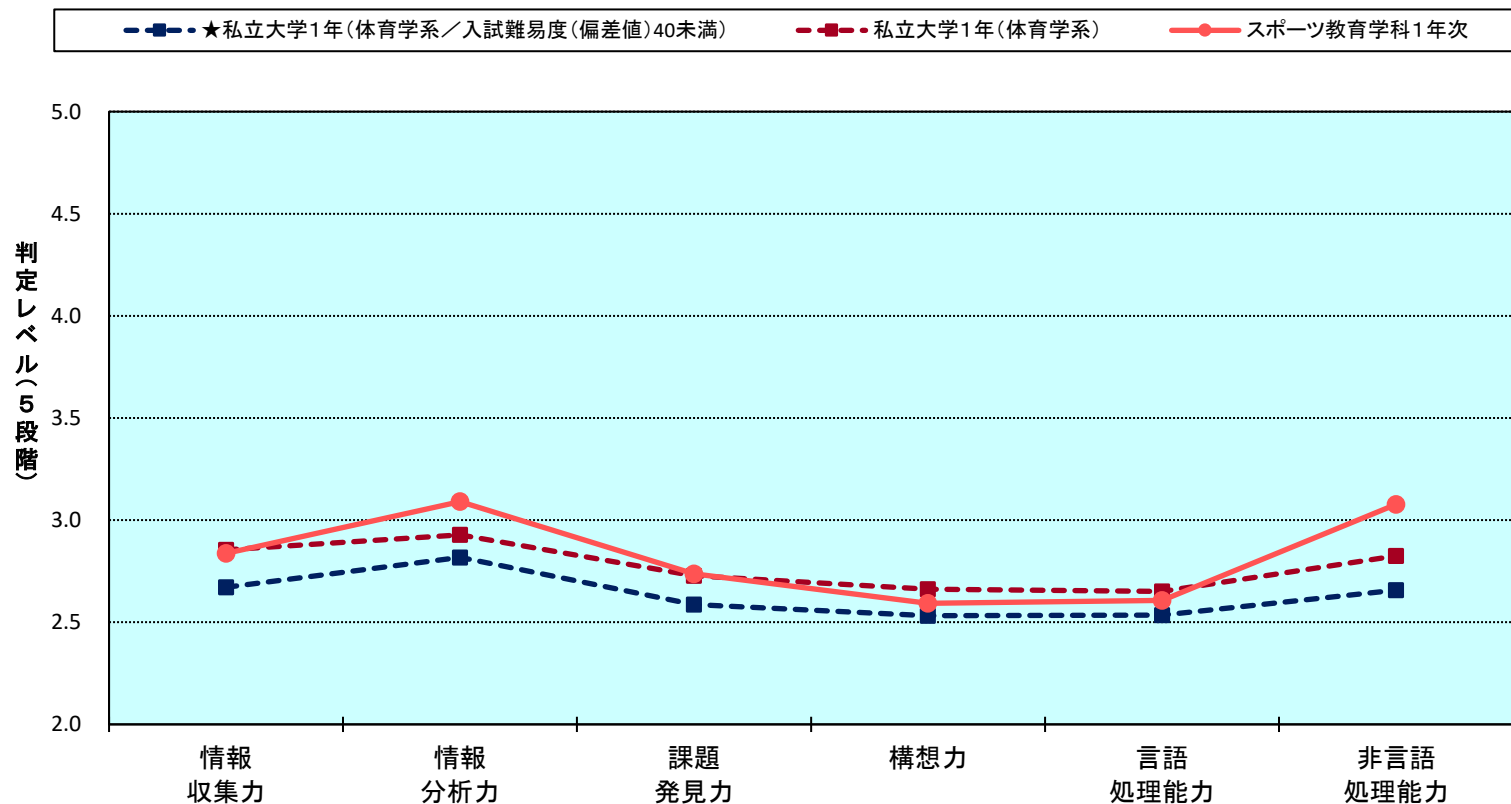
リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【スポーツ教育学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、

情報収集力、情報分析力、課題発見力、非言語処理能力の平均値は高く、構想力、言語処理能力の平均値は上回る傾向にある。

リテラシー要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

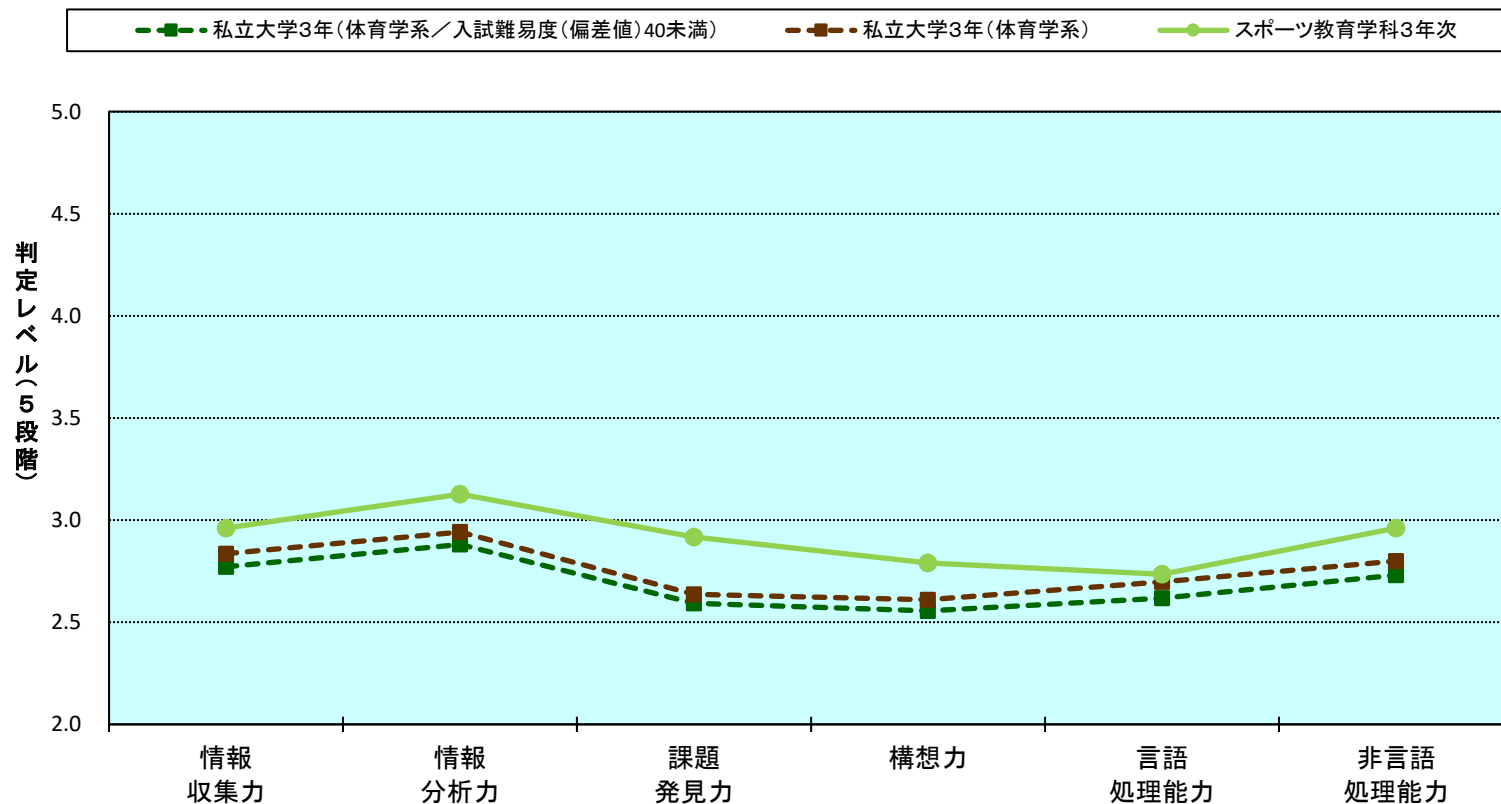
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

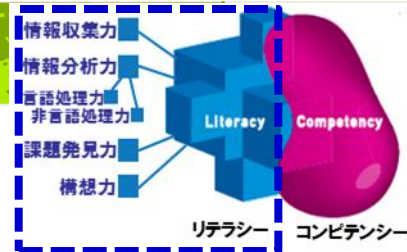
リテラシー要素



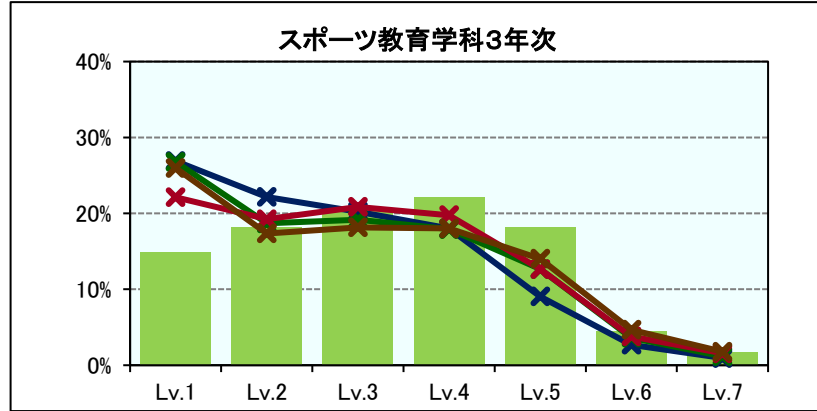
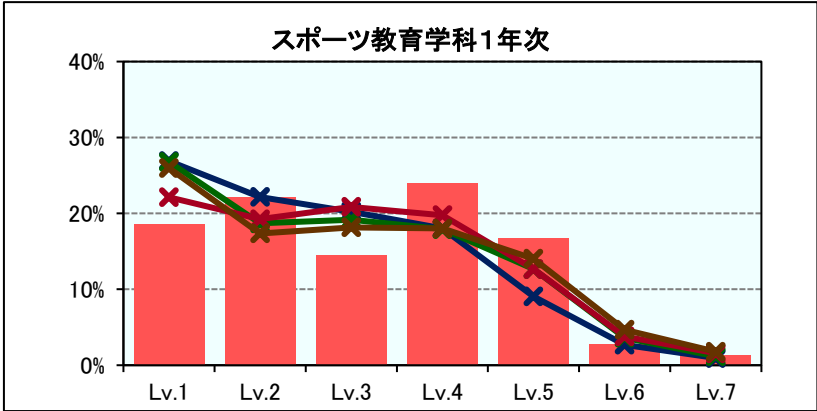
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



✕ 私立大学1年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)
 ✕ 私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)
✕ 私立大学1年(体育学系)
 ✕ 私立大学3年(体育学系)



【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

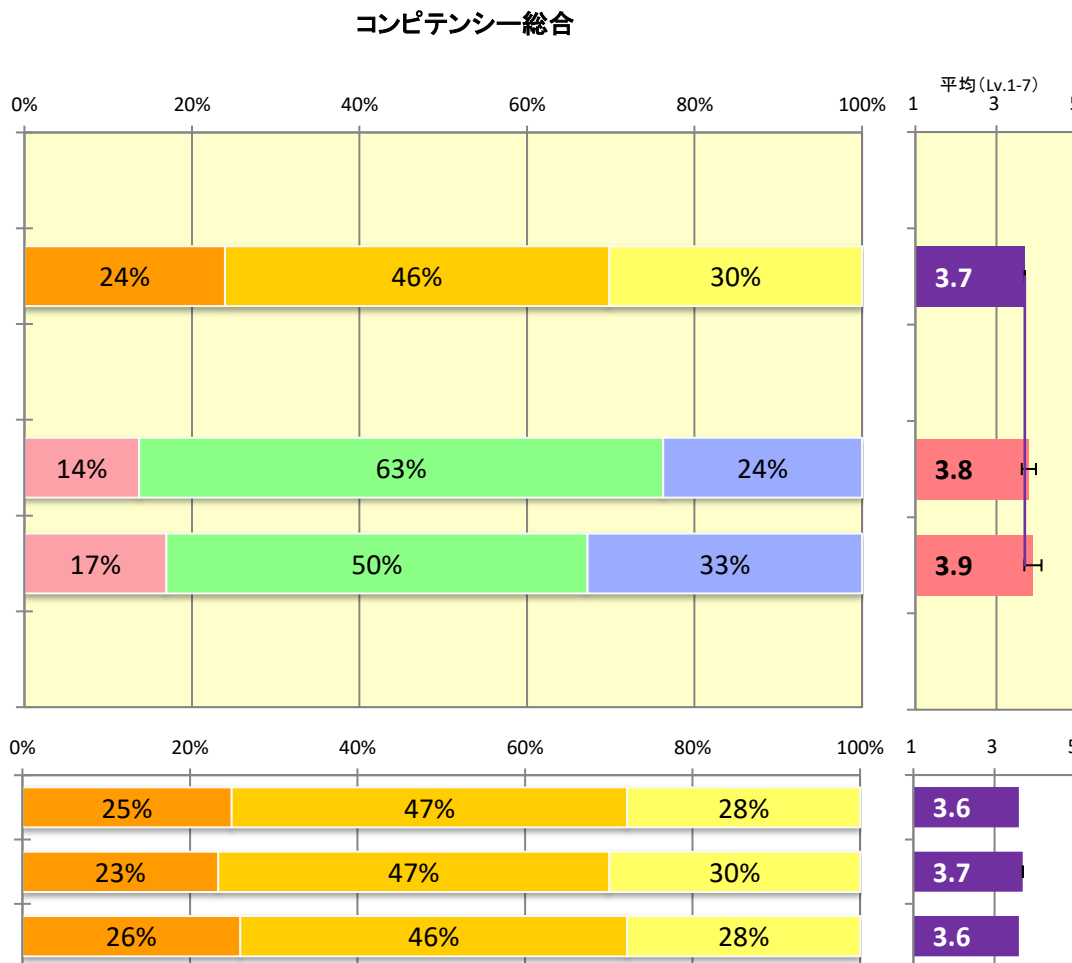
【基準集団】

★私立大学1年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	19校 N=10,365
------------------------------	--------------

	χ ² 乗値	有意確率
スポーツ教育学科1年次	25.87	0.00
スポーツ教育学科3年次	4.73	0.09

【ご参考基準集団】

私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	19校 N=7,005
私立大学1年(体育学系)	29校 N=21,662
私立大学3年(体育学系)	30校 N=12,041



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

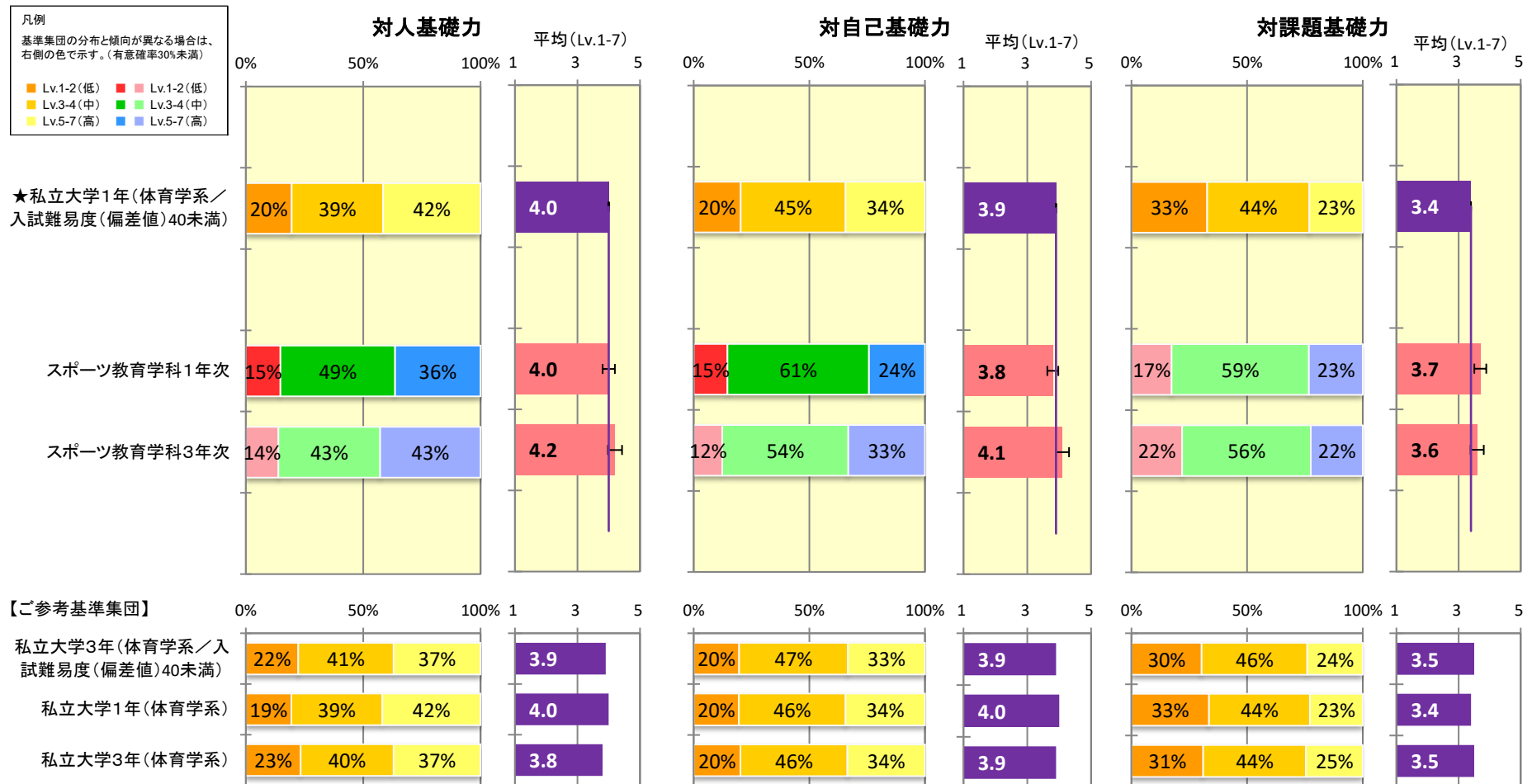
●基準集団(★印)と比較して、スポーツ教育学科1年次は、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる。

【對自己基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、スポーツ教育学科1年次は、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。



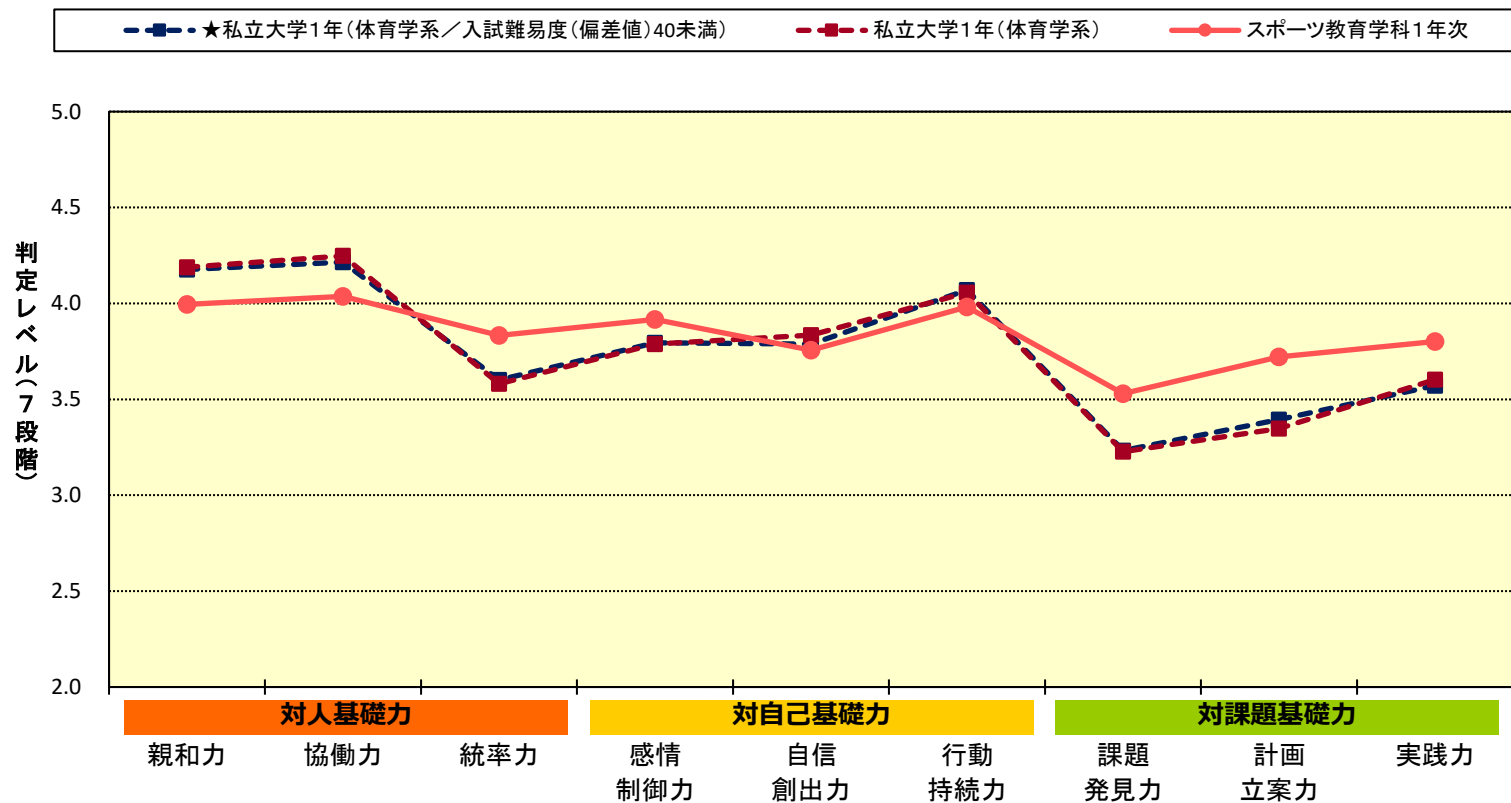
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【スポーツ教育学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、統率力、感情制御力、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は高い。
 一方、自信創出力、行動持続力の平均値は下回る傾向にあり、親和力、協働力の平均値は低い。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

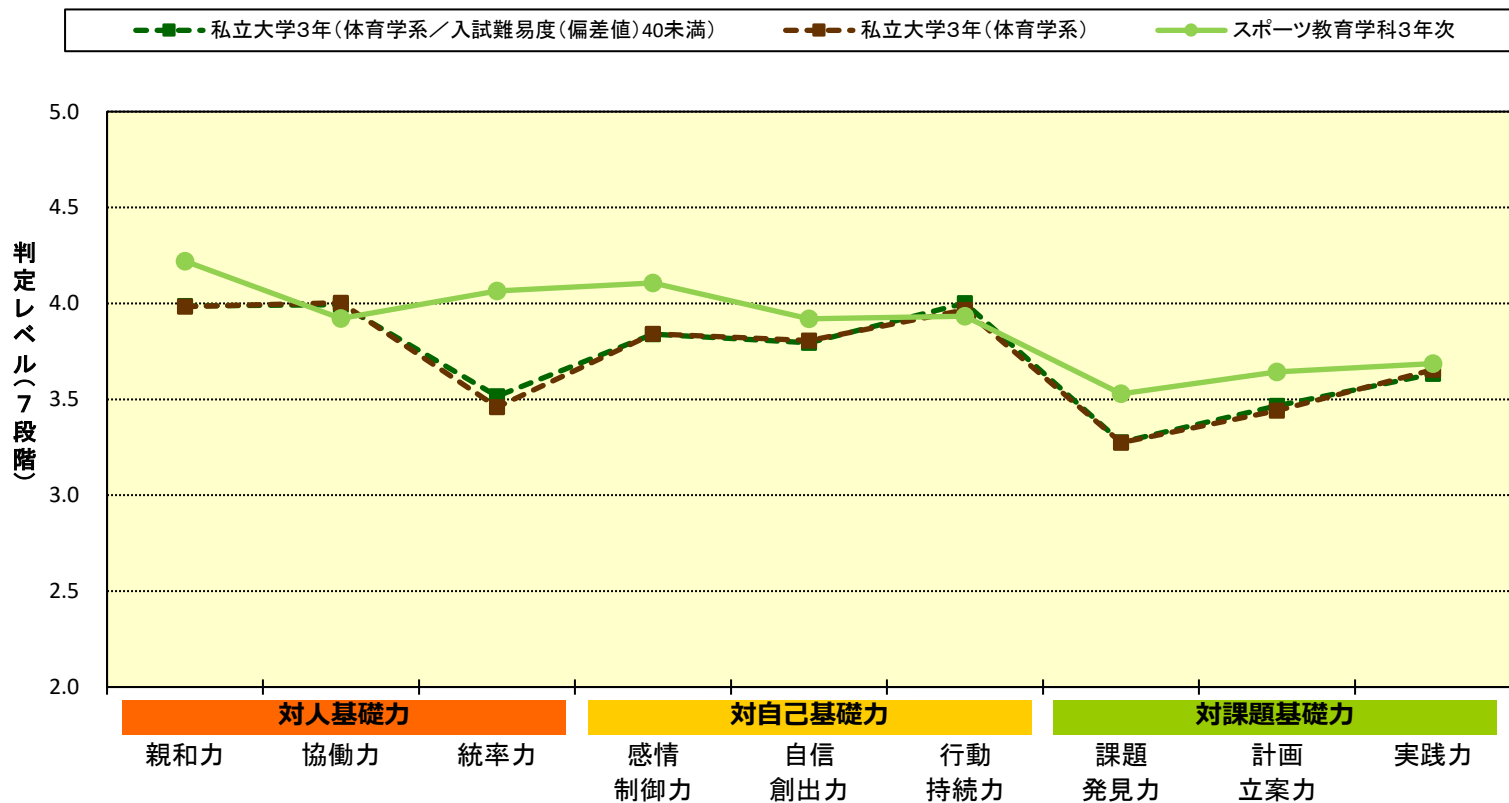
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

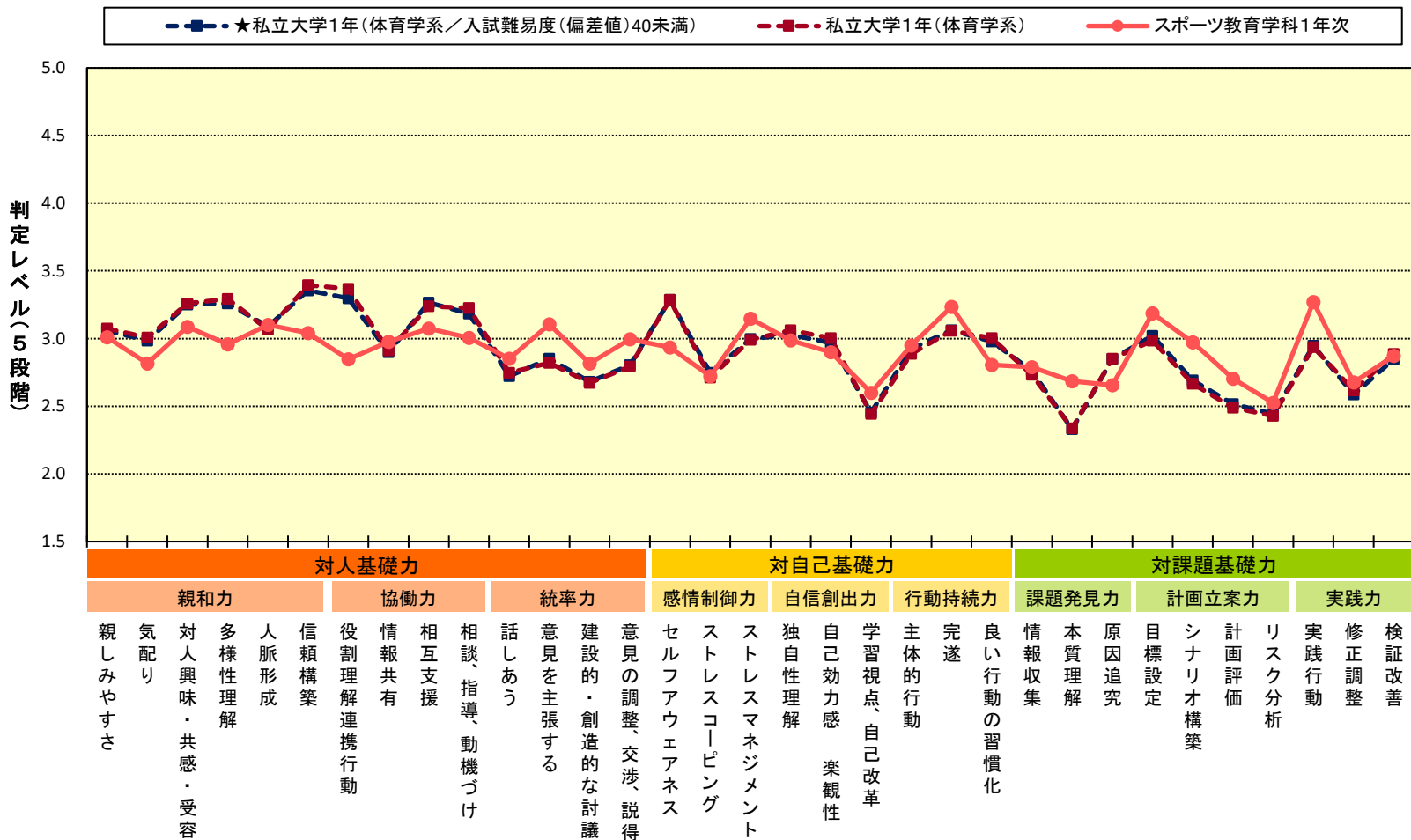
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

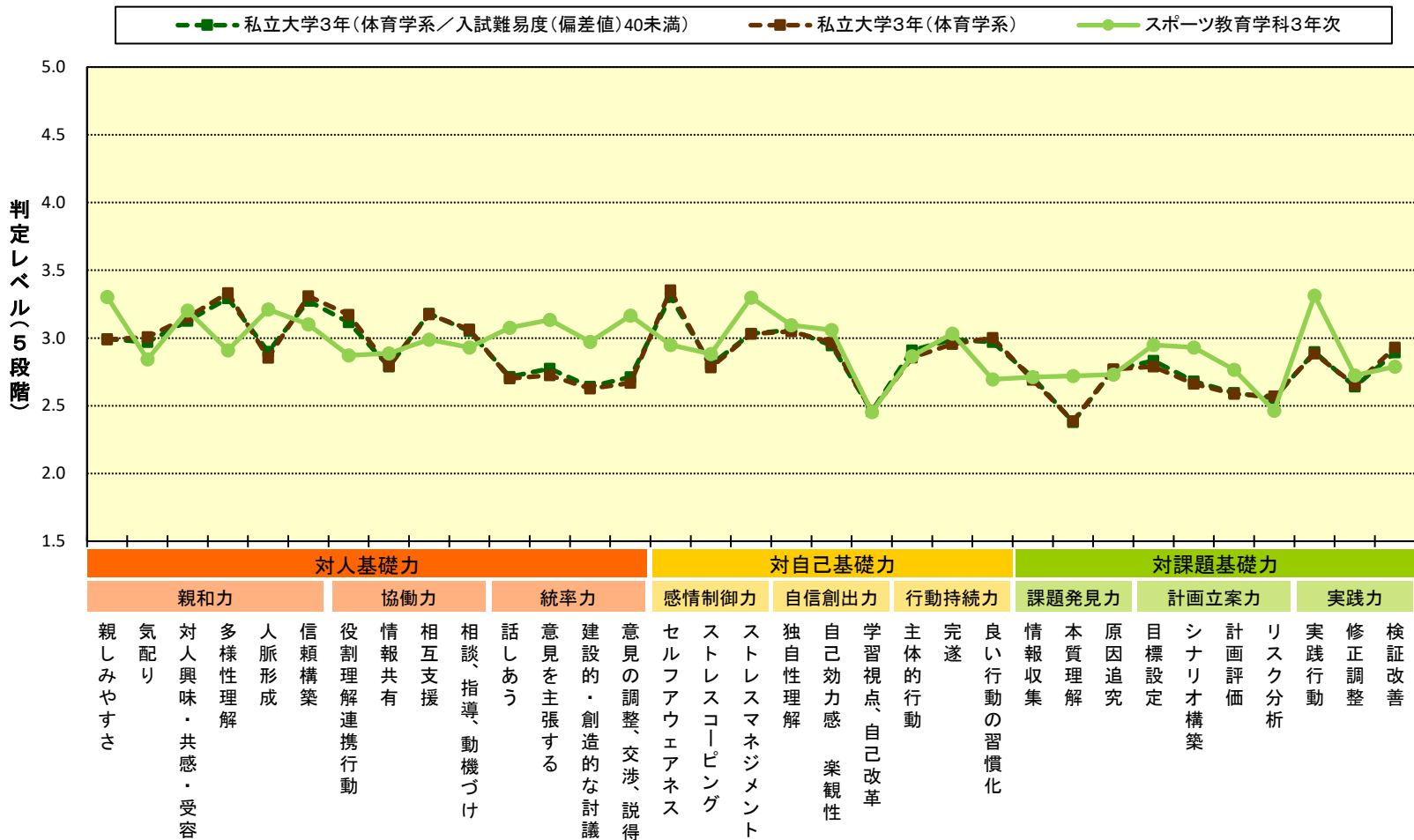
2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

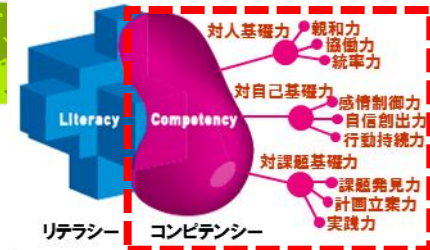
4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー小分類要素

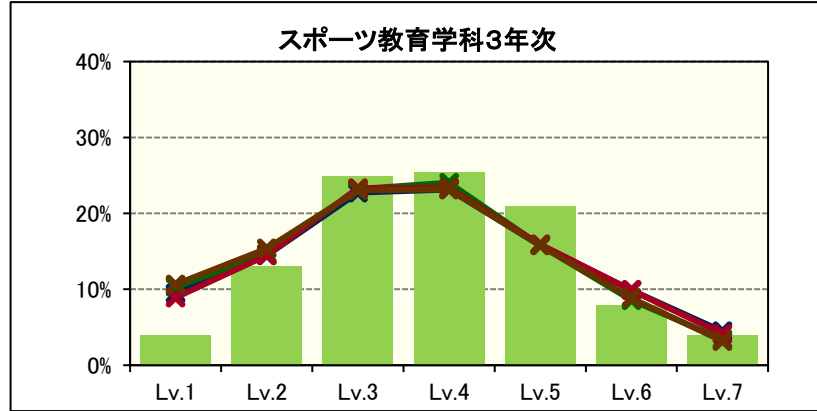
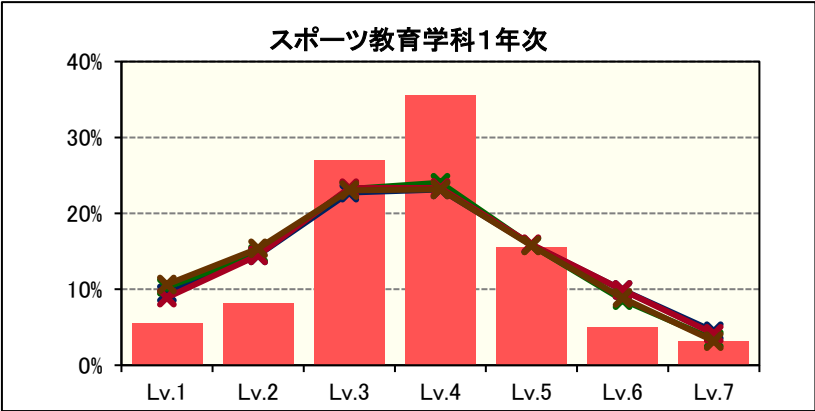


コンピテンシー小分類要素





◆ 私立大学1年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(体育学系) ◆ 私立大学3年(体育学系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
スポーツ教育学科 1 年次	-	◎	◎	◎	-	-	▲	▲	◎	◎	-	-	◎	◎	◎
スポーツ教育学科 3 年次	-	◎	◎	◎	◎	-	-	▲	◎	◎	◎	▲	◎	◎	-

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

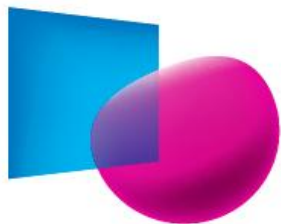
- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

【スポーツ教育学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー ●親和力	相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする 誰に対しても臆せず接し人脈を広げることができる 築いた人脈や関係性の維持に努めることができる 人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持することができる	初対面の人たちとも、積極的に関係づくりをさせる機会を設ける 情報交換や、勉強会などを自主的に運営させる 責任ある言動によって、集団の中で信頼を獲得するよう指導する お礼状(お礼メール)など、人脈の維持・管理に関する指導を行う
●協働力	リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる チーム全体のやる気を高めることができる リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる 相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる	他者に教えることで、自分の知識を定着させるような機会を設ける リーダーとして周囲を動かすような機会を設ける リーダーとしてチーム全体のやる気を高めるような機会を設ける

【スポーツ教育学科3年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー ●協働力	リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる チーム全体のやる気を高めることができる リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる 相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる	他者に教えることで、自分の知識を定着させるような機会を設ける リーダーとして周囲を動かすような機会を設ける リーダーとしてチーム全体のやる気を高めるような機会を設ける
●行動持続力	目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げることができる 行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い結果に結びつけることができる 課題には、自分が納得できる結果が出るように、期限ぎりぎりまで粘り強く取り組む 検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している	レポートなど、自分の出す成果の質(水準)にとことん拘わらせる 一度始めたことは、結果がでるまで粘り強く取り組むよう指導する 行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い結果に向かうよう指導する



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.2 健康福祉学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

- 基準集団(★印)と比較して、健康福祉学科1年次は、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる。
- ※健康福祉学科1年次、健康福祉学科3年次は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
● 基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

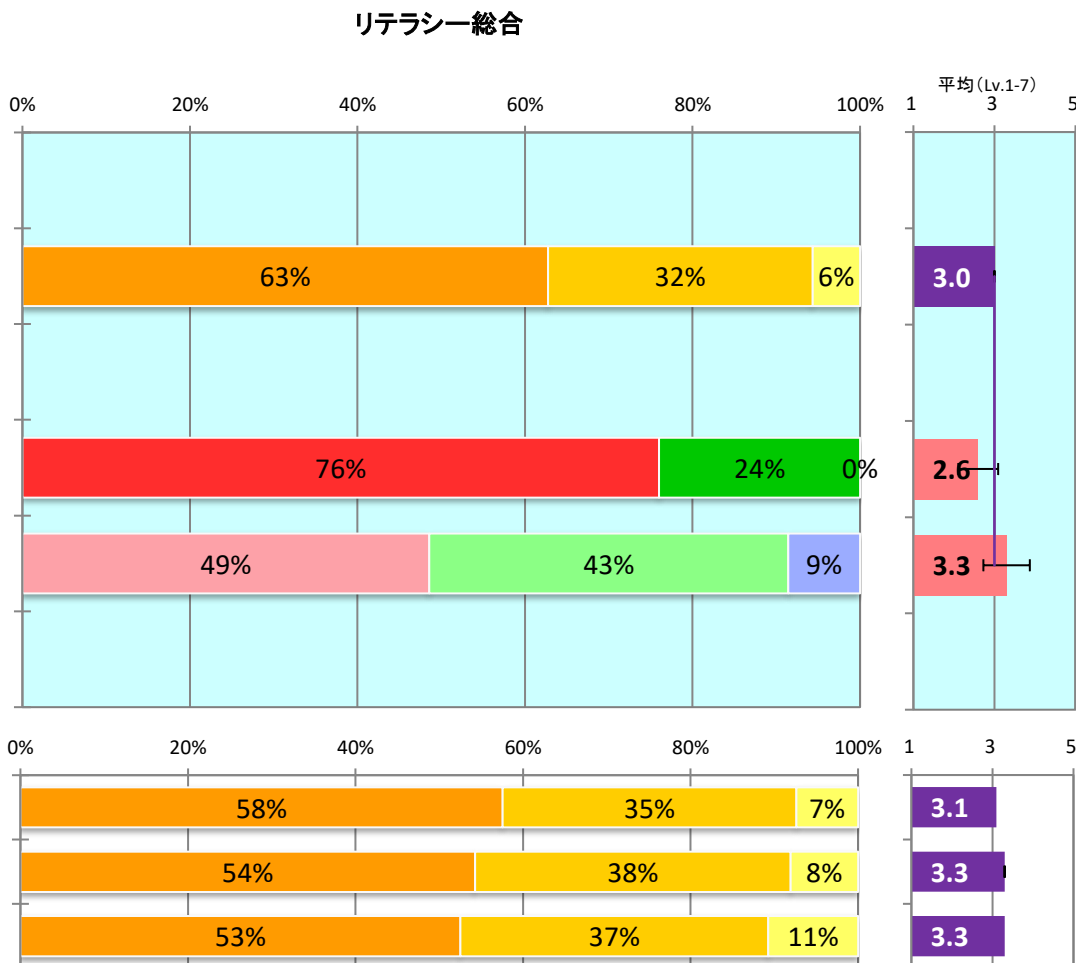
【基準集団】

★私立大学1年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	13校 N=1,377
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
健康福祉学科1年次	2.57	0.28
健康福祉学科3年次	3.05	0.22

【ご参考基準集団】

私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	13校 N=1,235
私立大学1年(福祉学系)	20校 N=2,411
私立大学3年(福祉学系)	17校 N=1,576



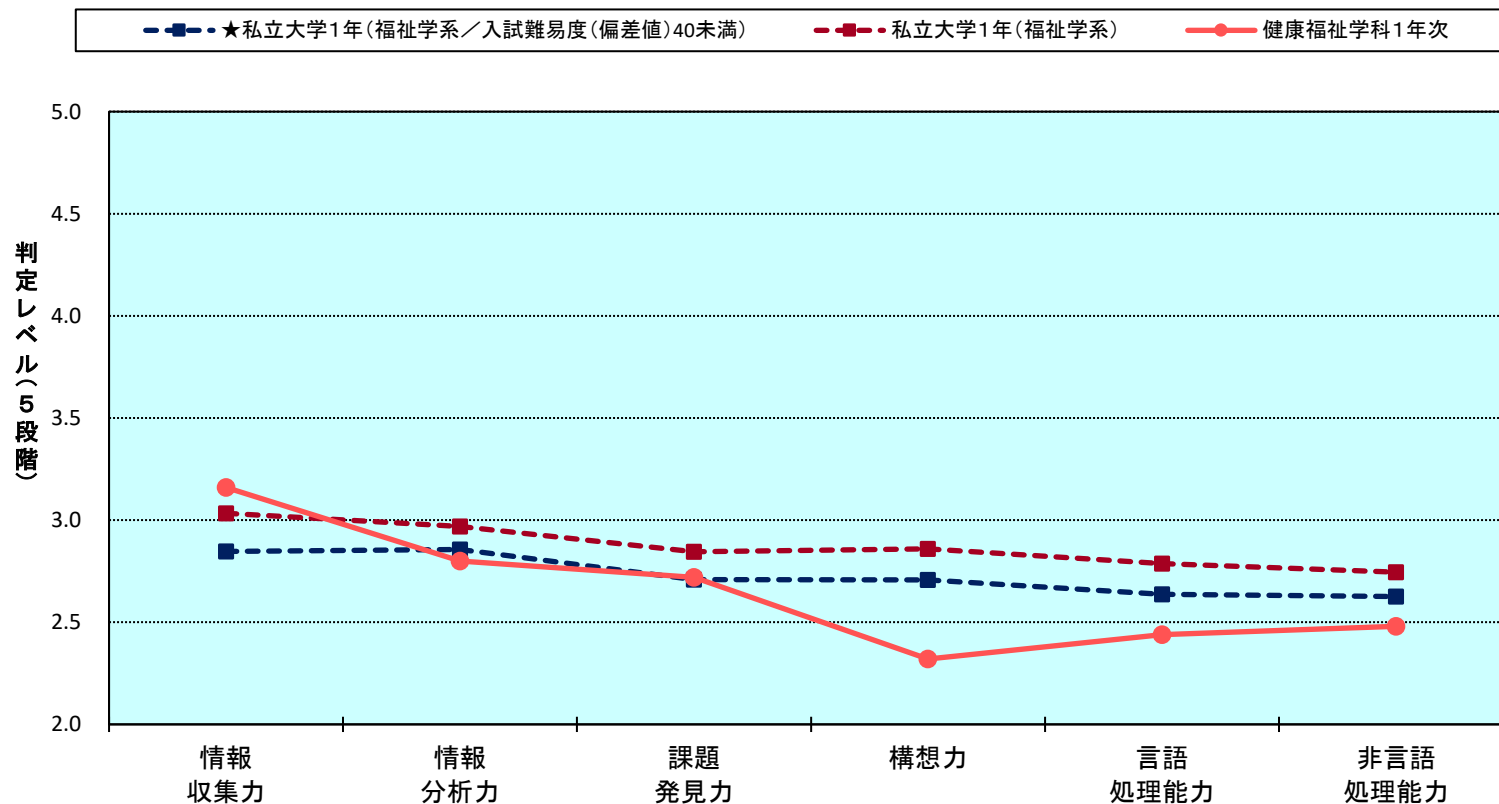
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【健康福祉学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、情報収集力の平均値は高く、課題発見力の平均値は上回る傾向にある。
一方、情報分析力、非言語処理能力の平均値は下回る傾向にあり、構想力、言語処理能力の平均値は低い。

リテラシー要素

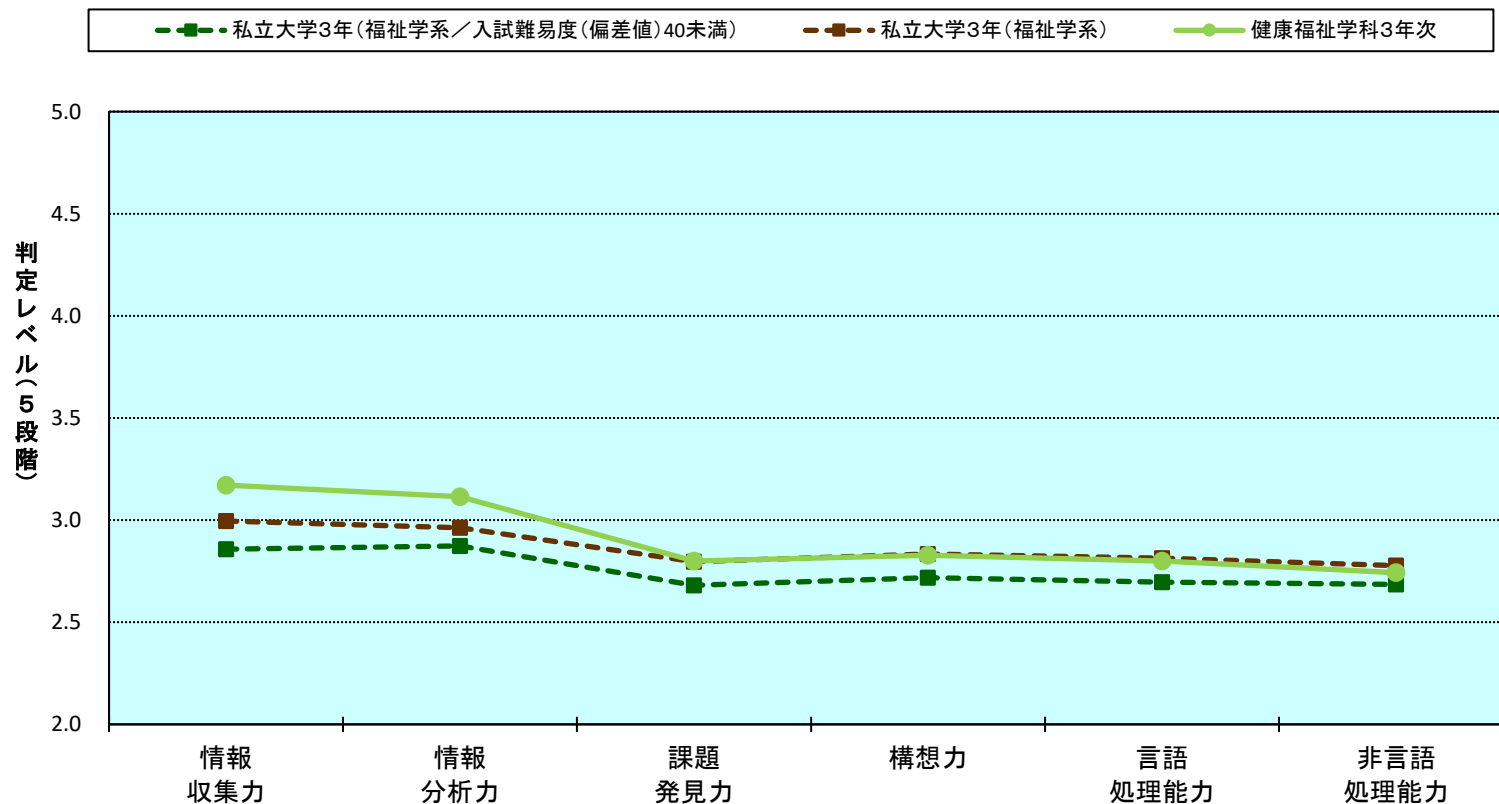


※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

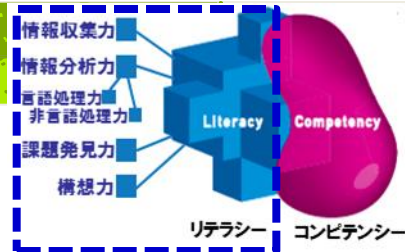
リテラシー要素



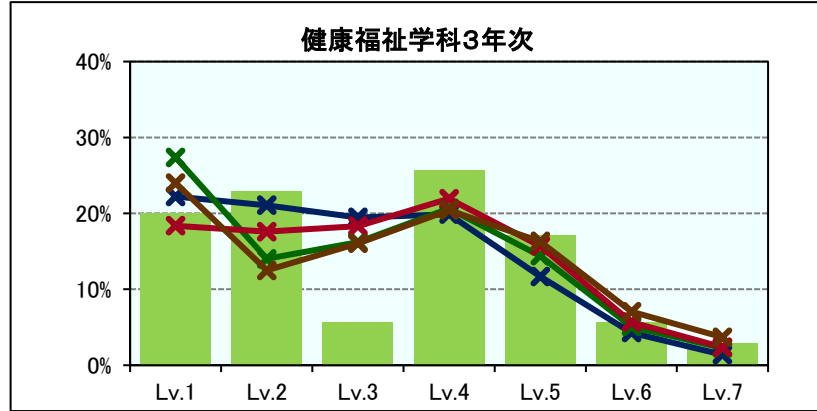
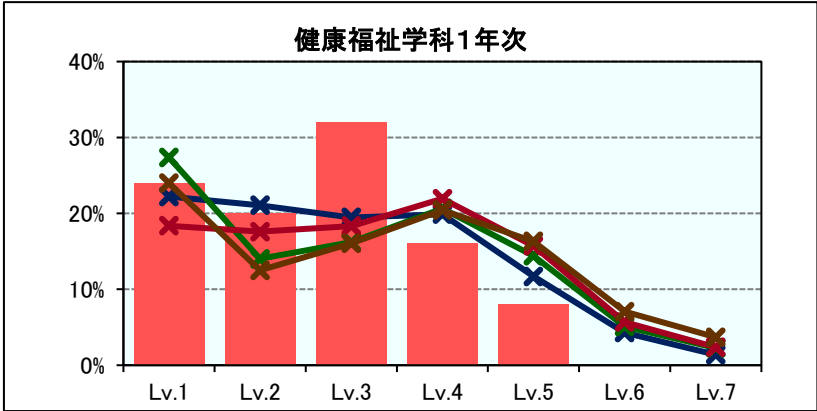
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



◆ 私立大学1年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(福祉学系) ◆ 私立大学3年(福祉学系)



【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※健康福祉学科1年次は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

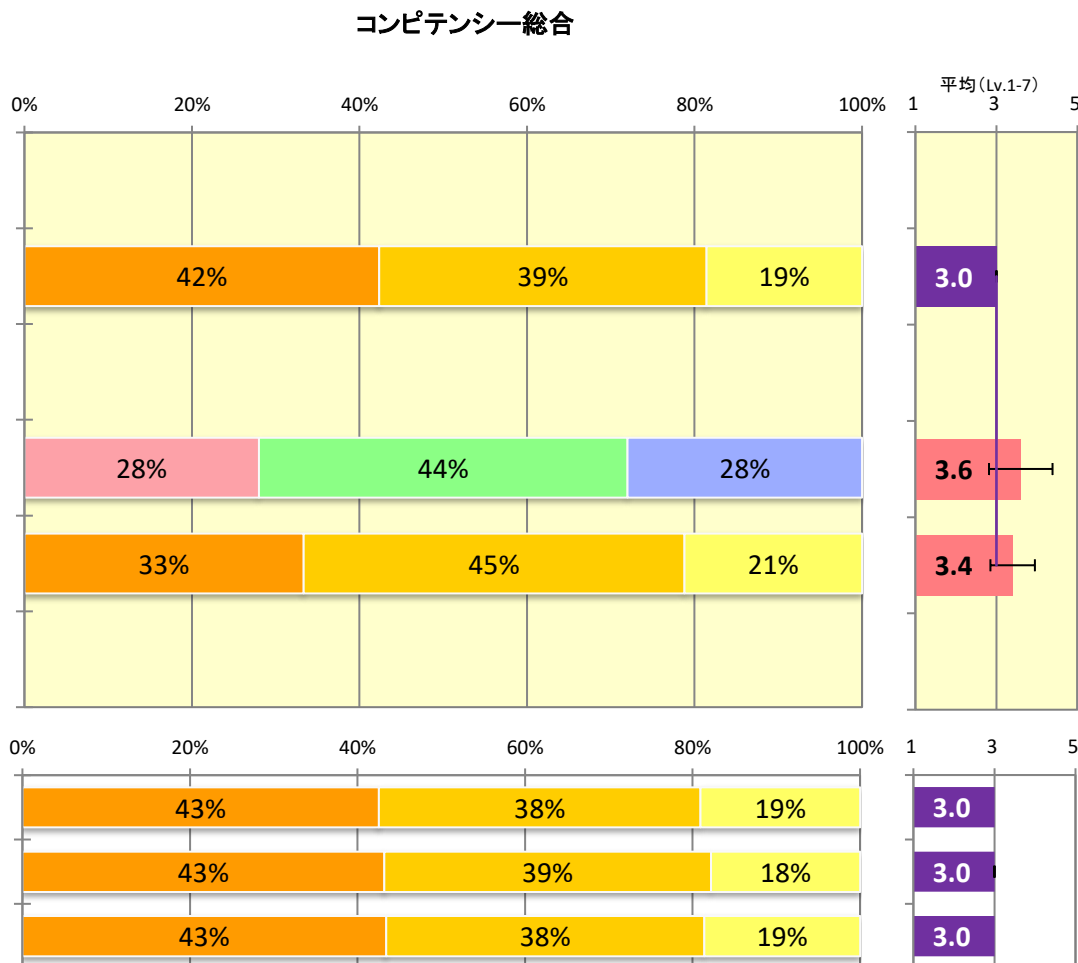
【基準集団】

★私立大学1年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	23校 N=9,915
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
健康福祉学科1年次	2.57	0.28
健康福祉学科3年次	1.10	0.58

【ご参考基準集団】

私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	23校 N=8,277
私立大学1年(福祉学系)	34校 N=13,486
私立大学3年(福祉学系)	34校 N=10,314



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

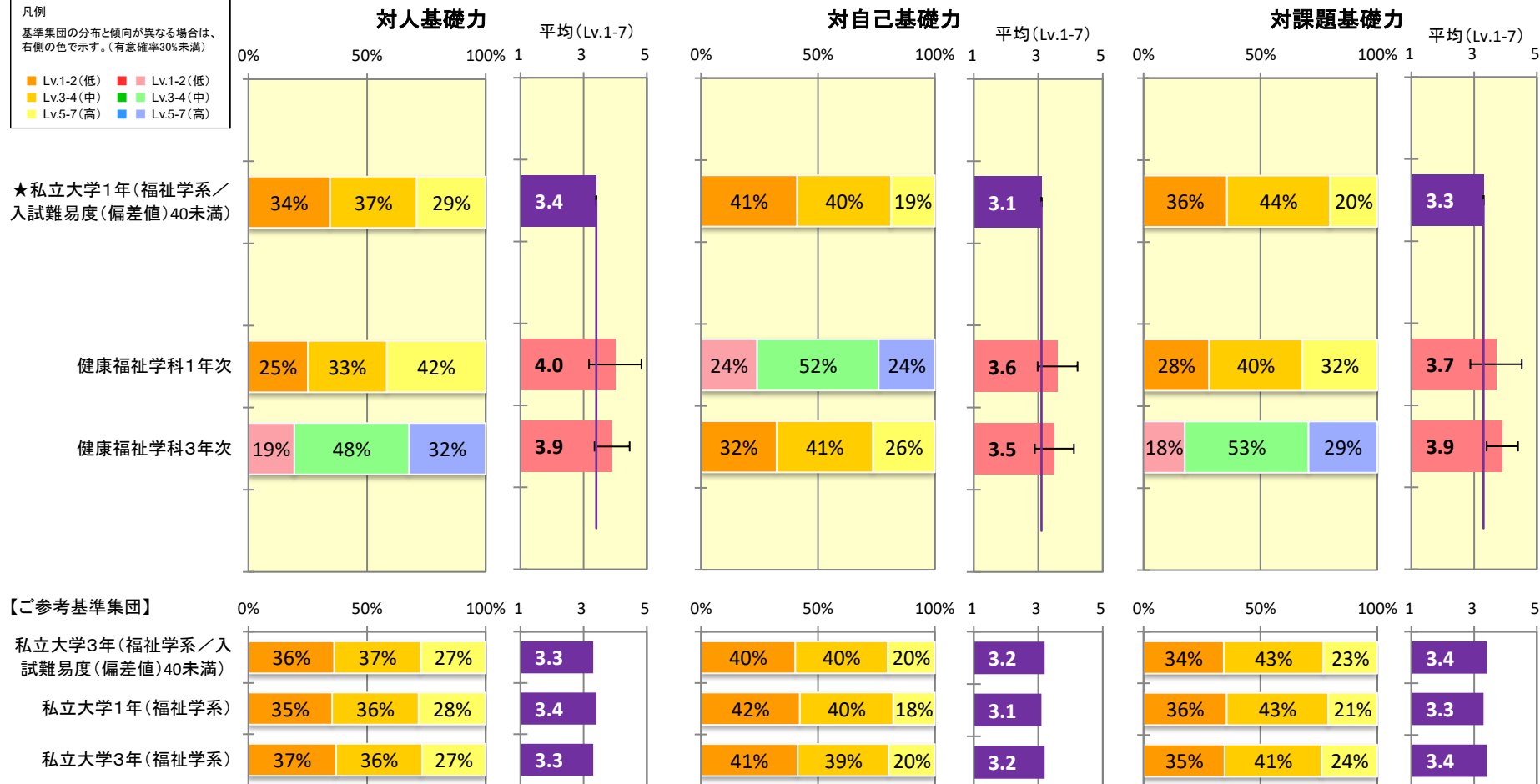
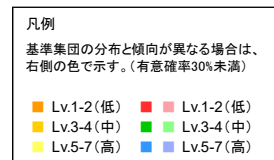
【対自己基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※健康福祉学科1年次は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

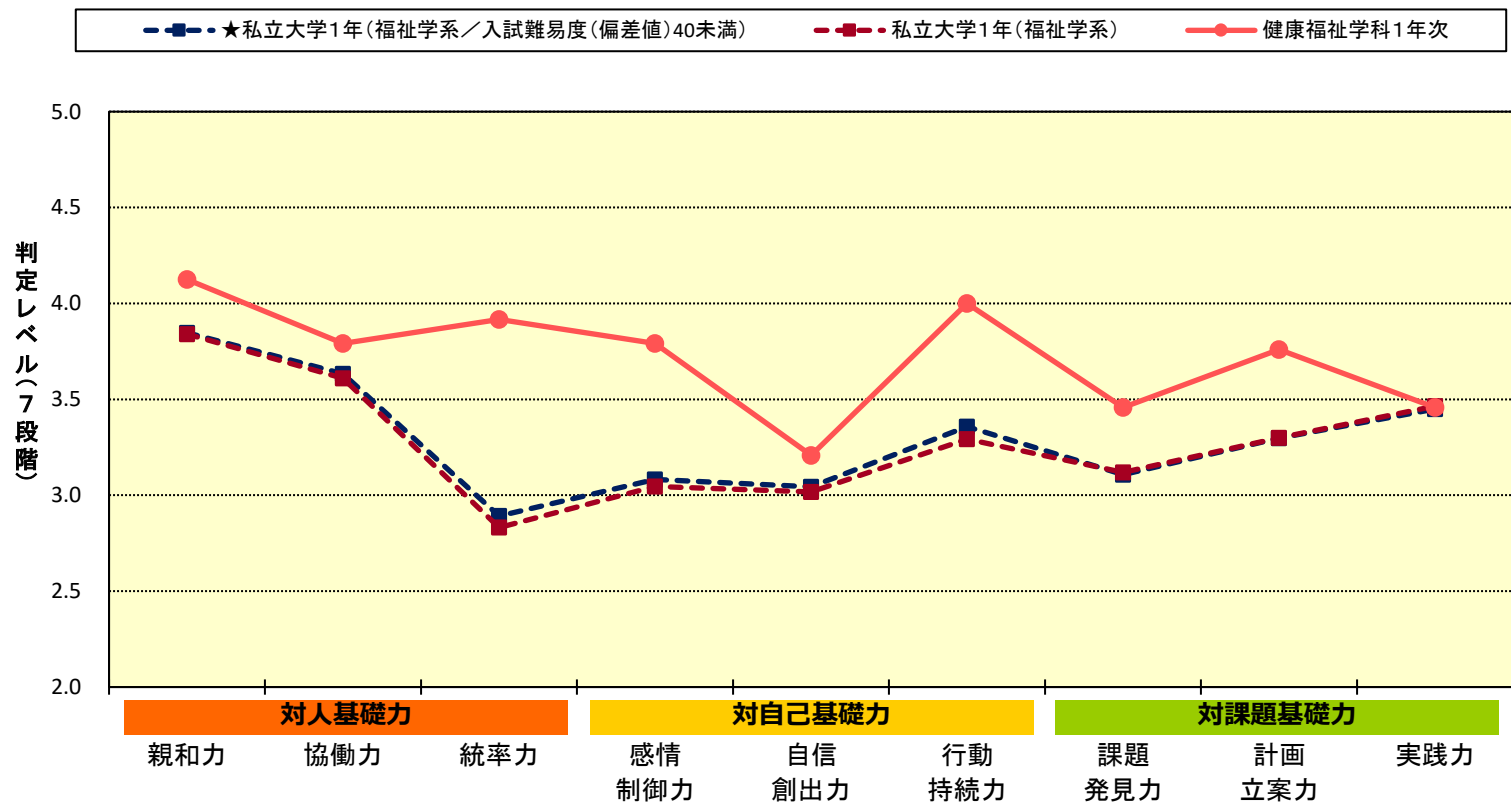


※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

【健康福祉学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、統率力、感情制御力、行動持続力、計画立案力の平均値は高く、
親和力、協働力、自信創出力、課題発見力、実践力の平均値は上回る傾向にある。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

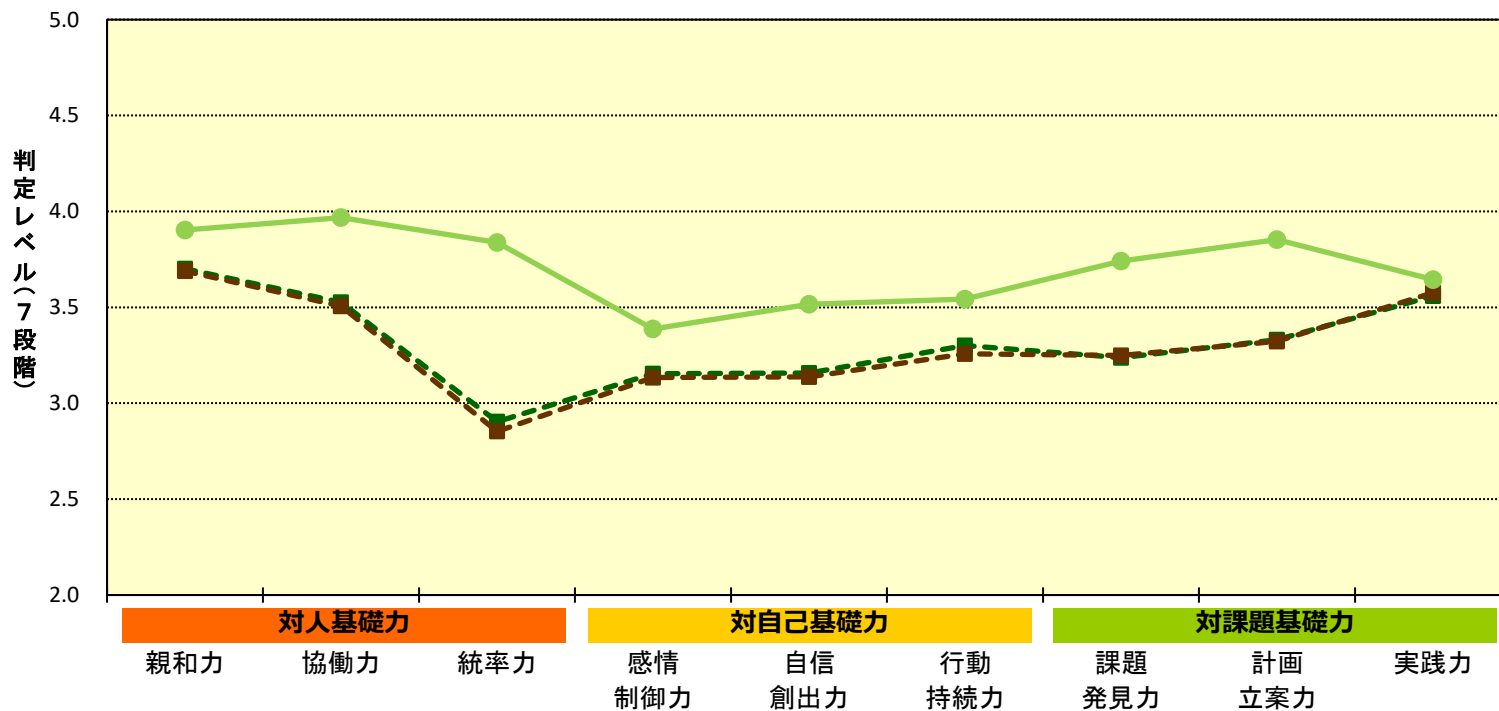
3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー中分類要素

—■— 私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)
 -■- 私立大学3年(福祉学系)
 —●— 健康福祉学科3年次



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

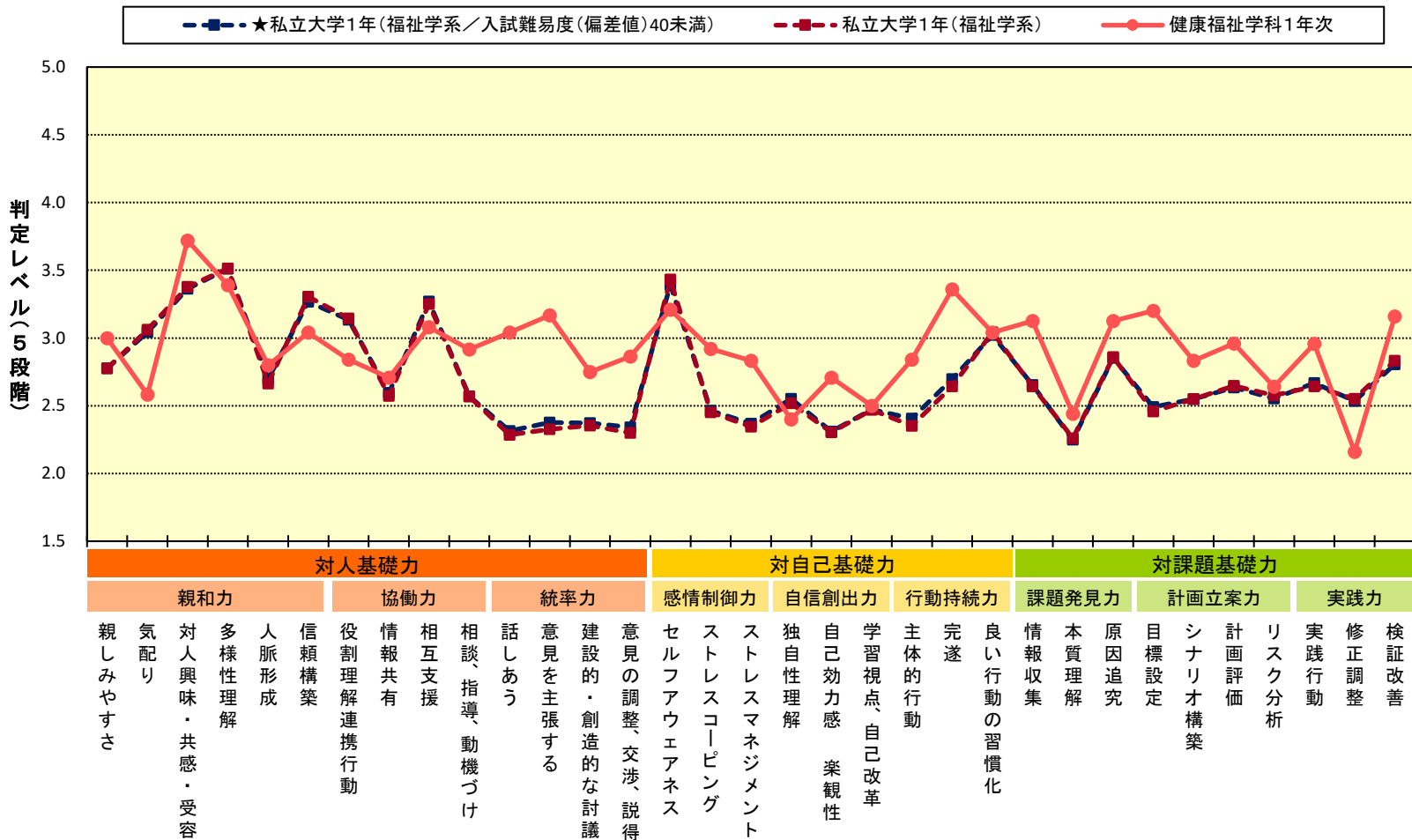
3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

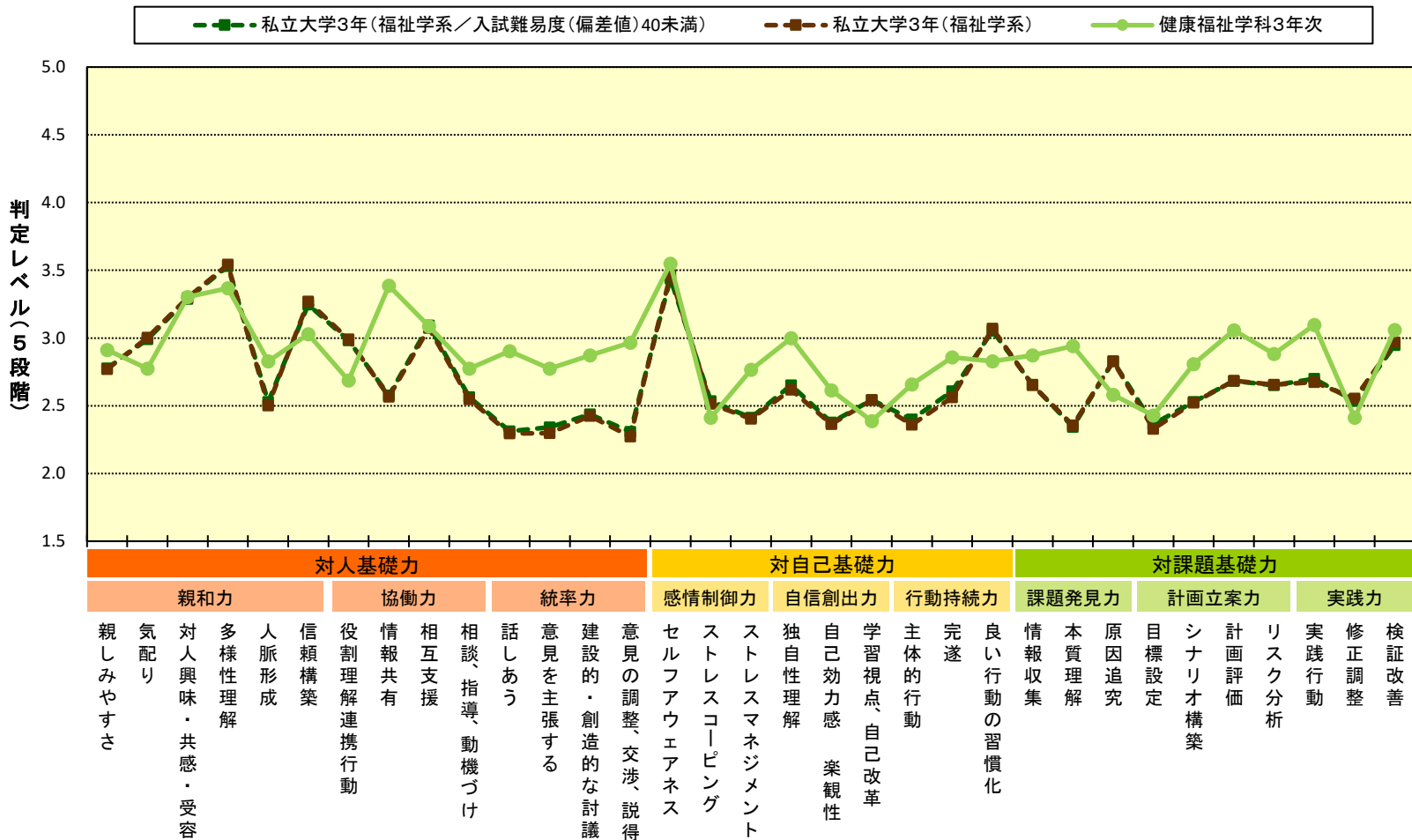
4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

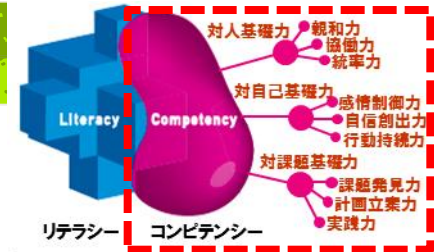
コンピテンシー小分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

コンピテンシー小分類要素

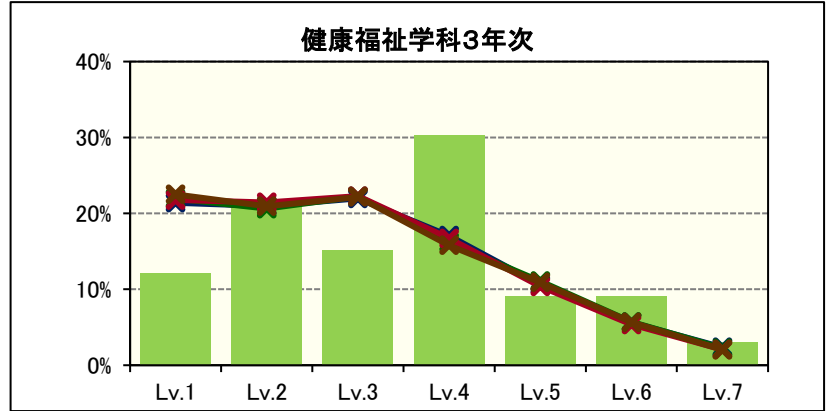
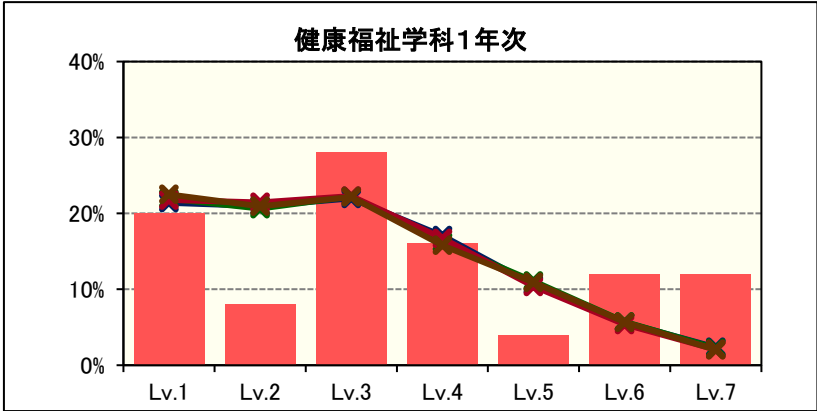


コンピテンシー小分類要素





◆ 私立大学1年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(福祉学系) ◆ 私立大学3年(福祉学系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
健康福祉学科 1 年次	■	◎	-	-	▲	-	-	-	◎	◎	-	◎	-	◎	-
健康福祉学科 3 年次	-	◎	◎	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

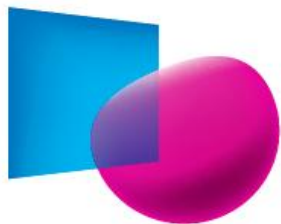
今後の課題と対策

【健康福祉学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
<p>■リテラシー ●構想力</p>	<p>いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる</p>	<p>解決のためアイデアを自由に発想させる／フローチャートやロジックツリー、マトリクスなどを用いて、プロセス、因果関係、優先順位などを整理させる／親和図法・KJ法などの手法を用いて情報を分類・結合し、階層化・構造化させる</p>
<p>■コンピテンシー</p>	<p>基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	

【健康福祉学科3年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
<p>■リテラシー</p>	<p>基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	
<p>■コンピテンシー</p>	<p>基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.3 教育学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

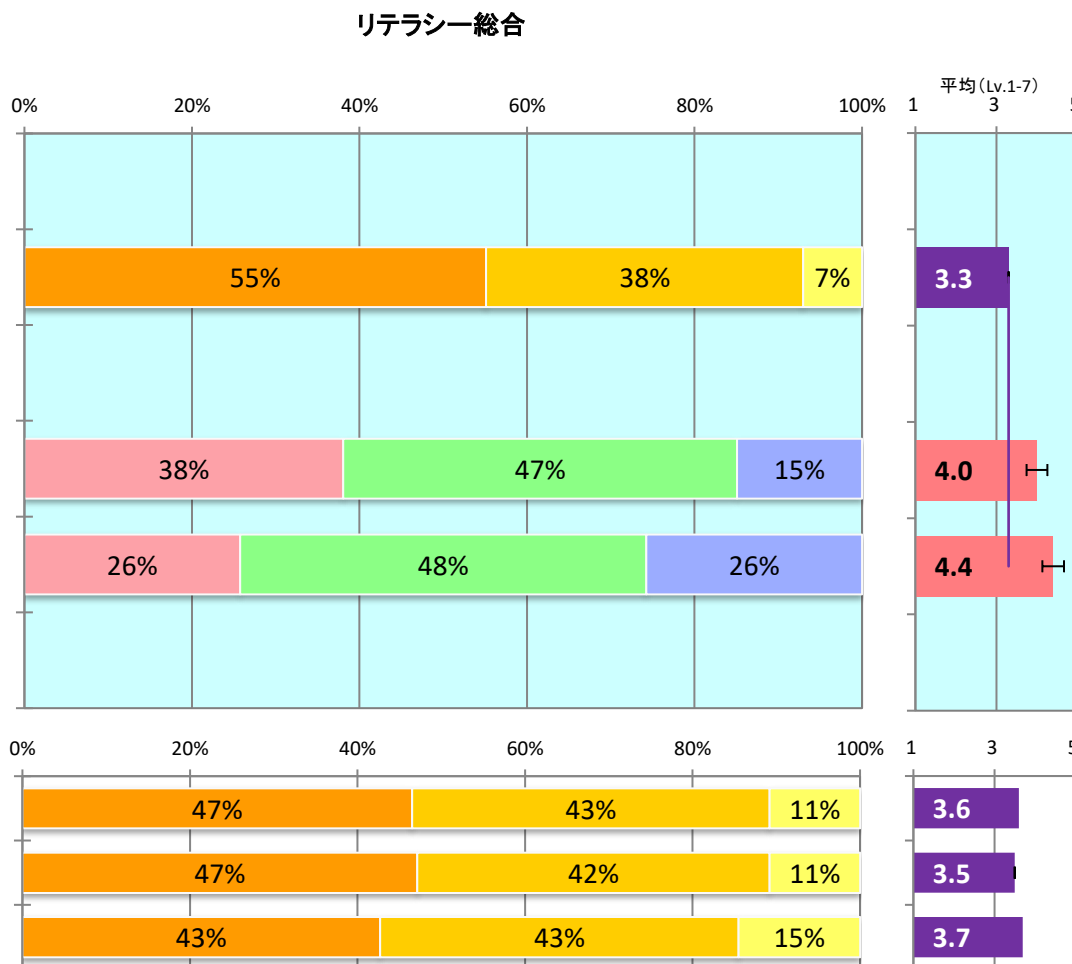
【基準集団】

★私立大学1年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	35校 N=4,482
-----------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
教育学科1年次	21.96	0.00
教育学科3年次	90.50	0.00

【ご参考基準集団】

私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	32校 N=3,451
私立大学1年(教育系)	48校 N=9,635
私立大学3年(教育系)	46校 N=7,507

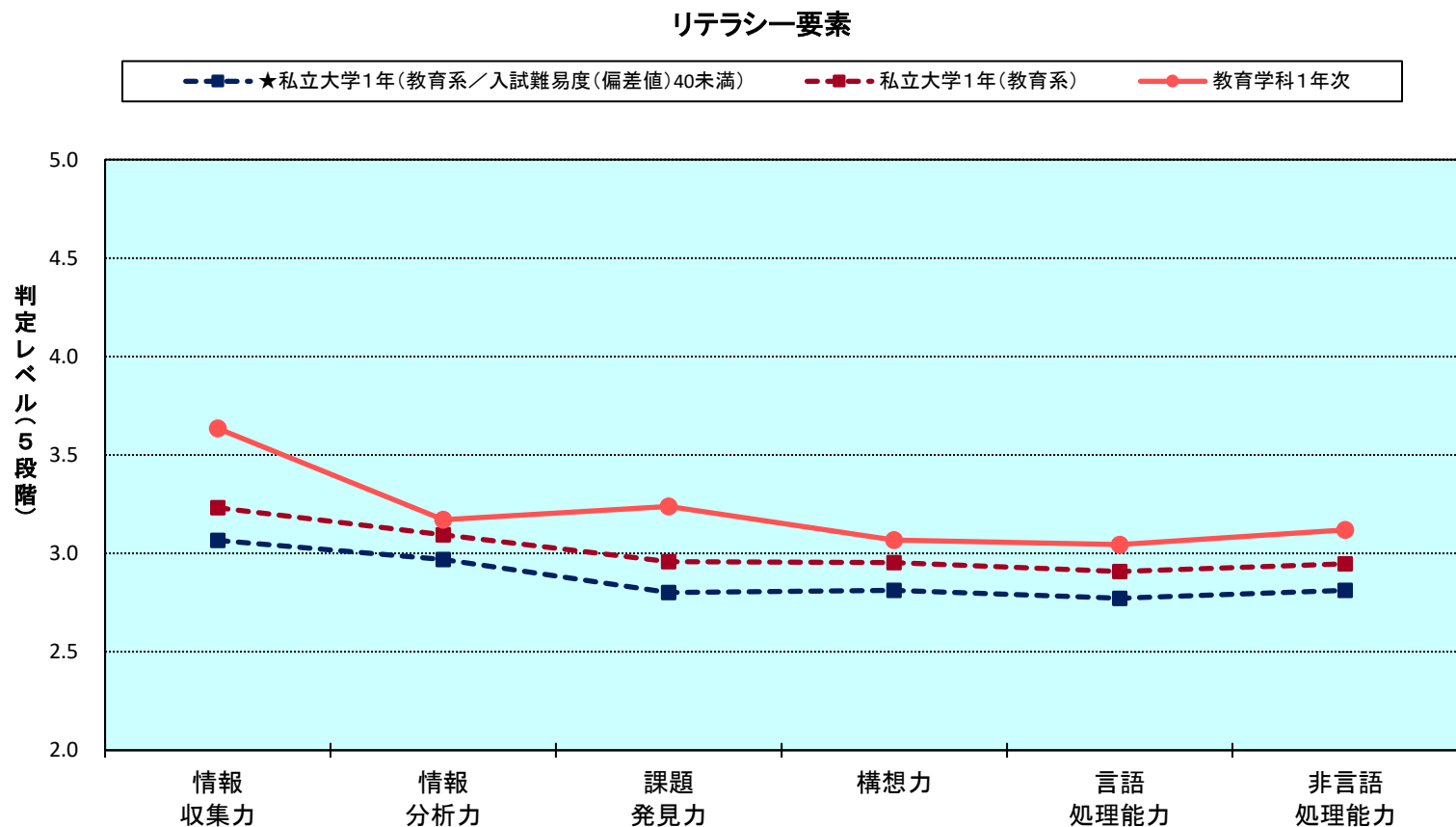


※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【教育学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力の平均値は高い。

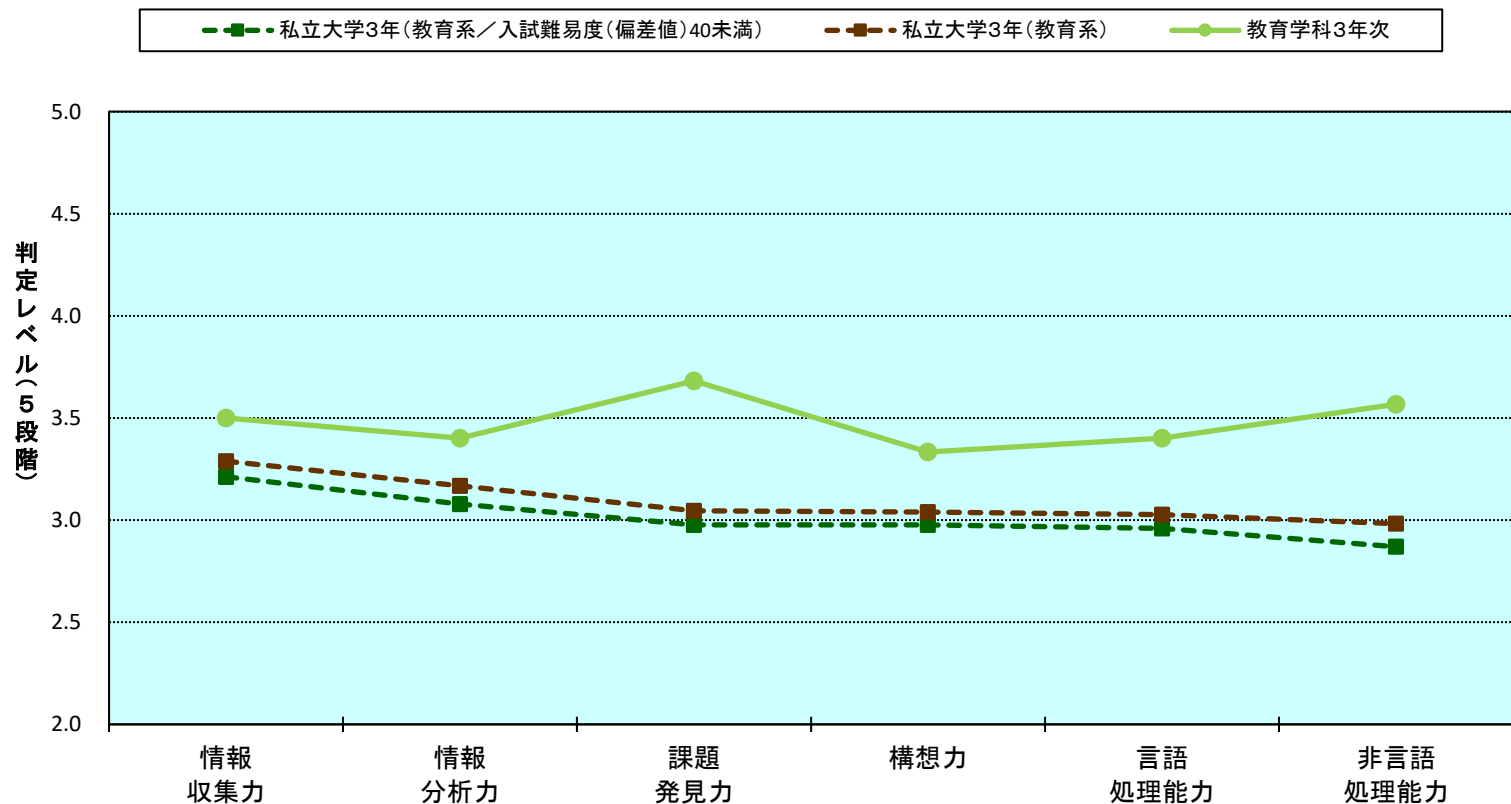


※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

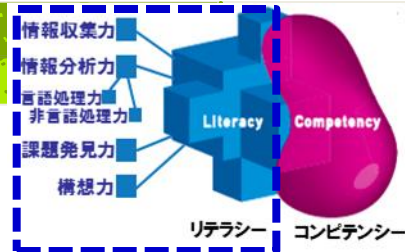
リテラシー要素



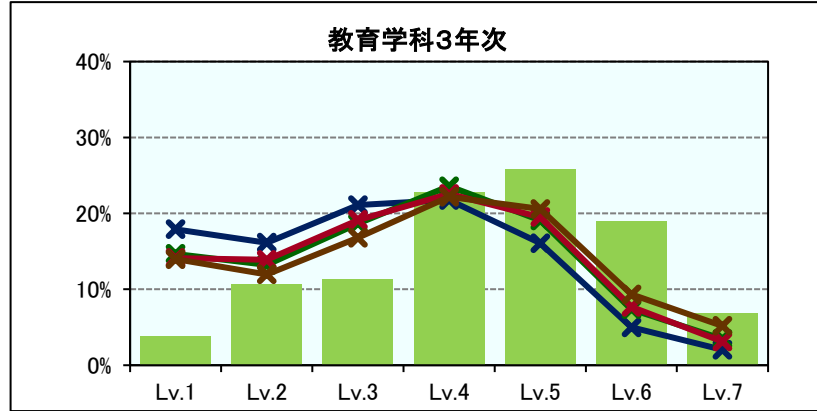
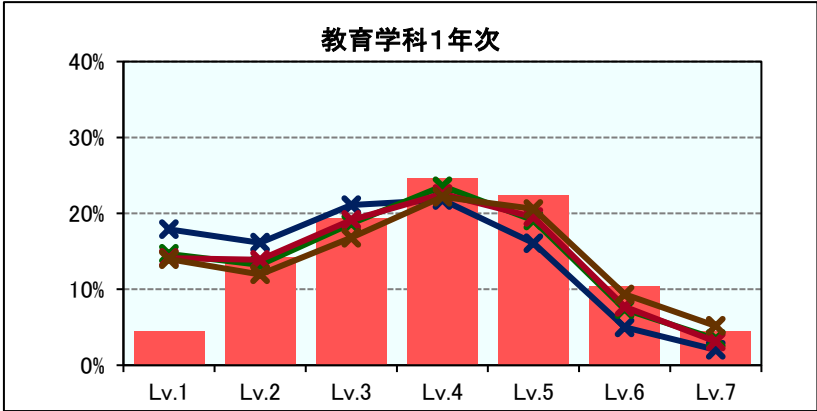
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



◆ 私立大学1年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(教育系) ◆ 私立大学3年(教育系)



【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

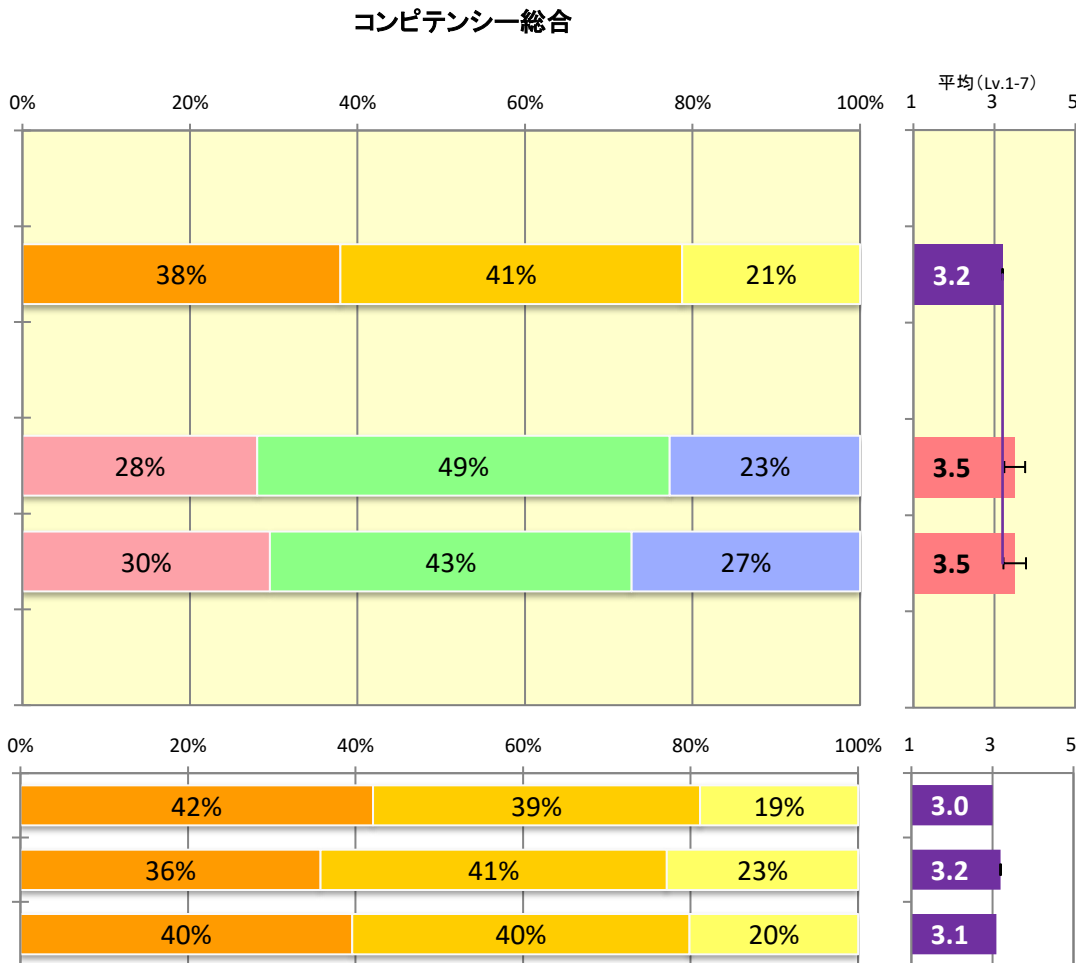
【基準集団】

★私立大学1年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	45校 N=11,238
-----------------------------	--------------

	χ^2 乗値	有意確率
教育学科1年次	5.88	0.05
教育学科3年次	4.90	0.09

【ご参考基準集団】

私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	44校 N=9,996
私立大学1年(教育系)	62校 N=23,409
私立大学3年(教育系)	61校 N=18,903



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

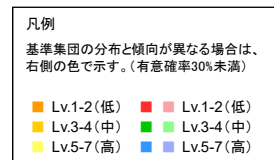
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【對自己基礎力】

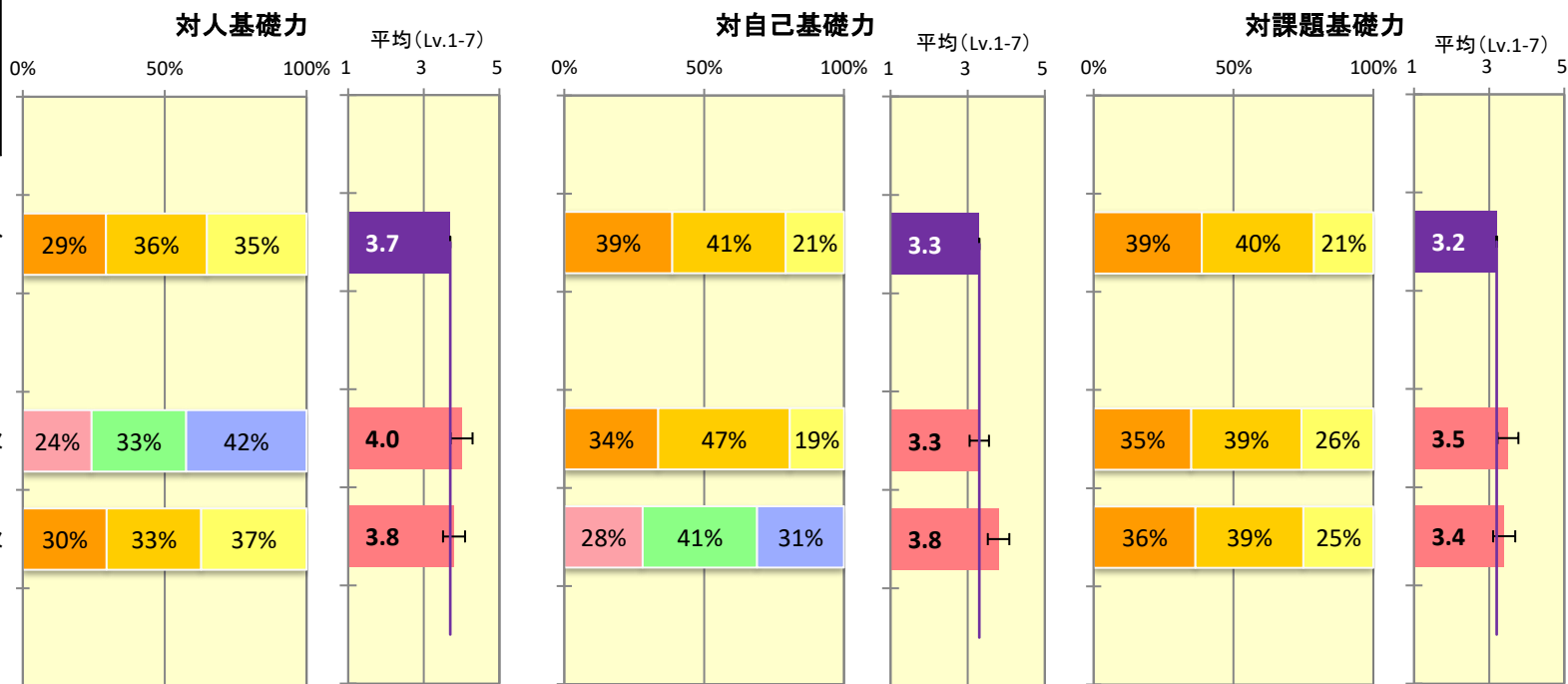
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。



★私立大学1年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)

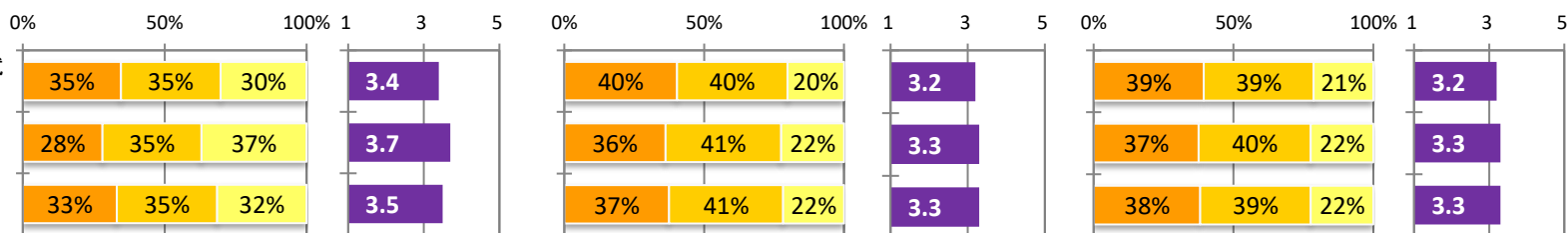


【ご参考基準集団】

私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)

私立大学1年(教育系)

私立大学3年(教育系)



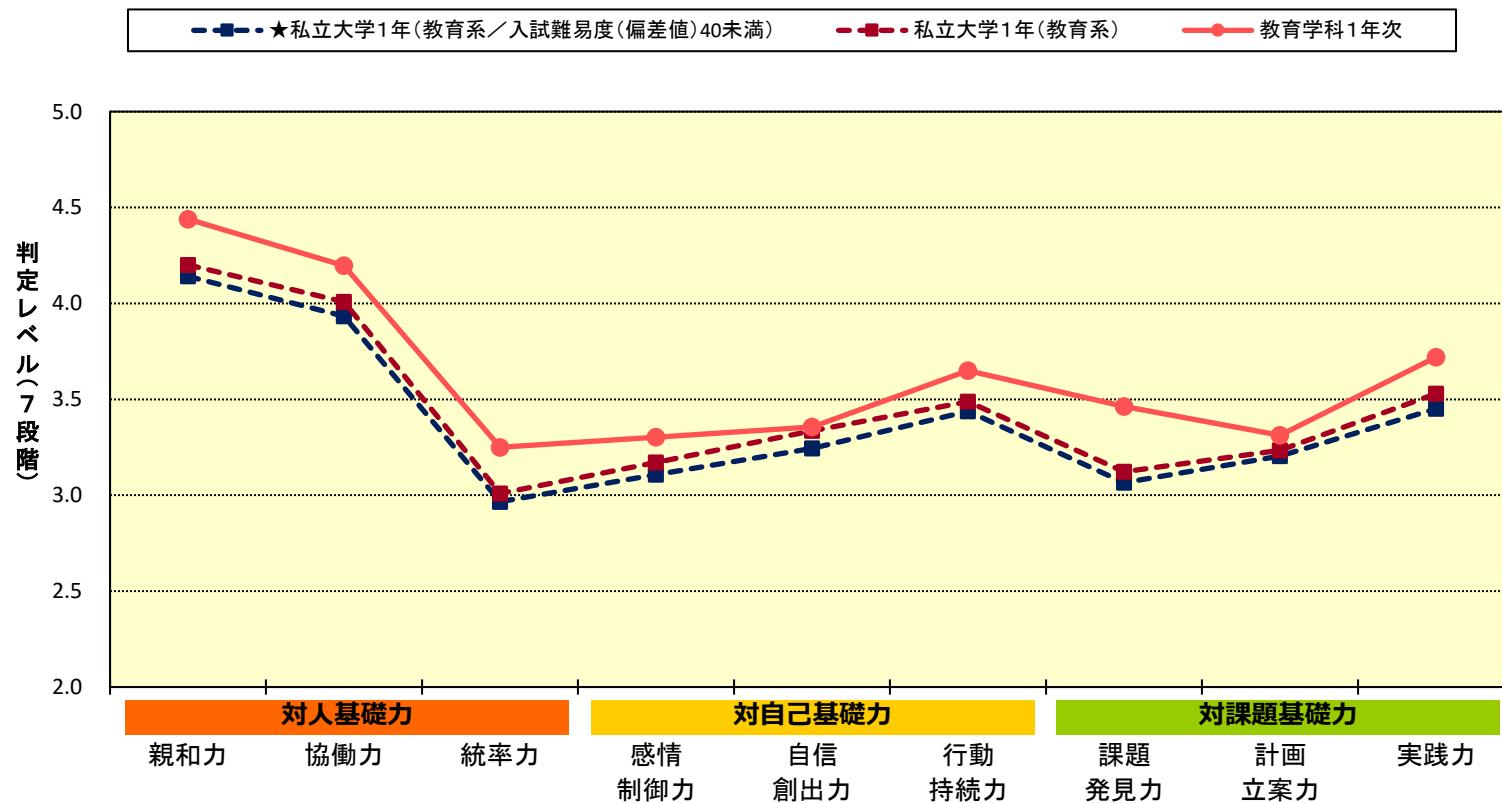
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【教育学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、親和力、協働力、統率力、感情制御力、行動持続力、課題発見力、実践力の平均値は高く、自信創出力の平均値は上回る傾向にある。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

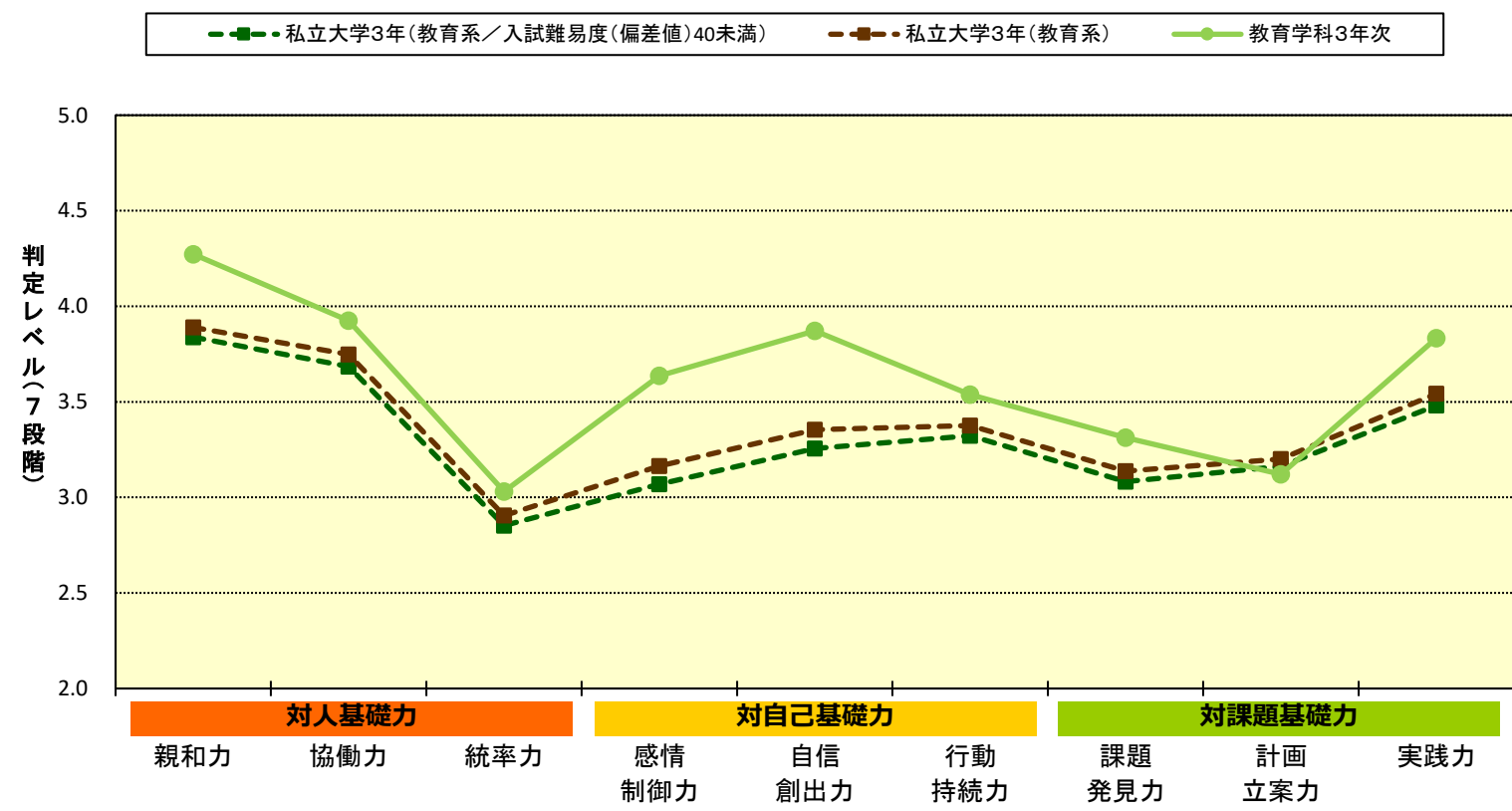
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

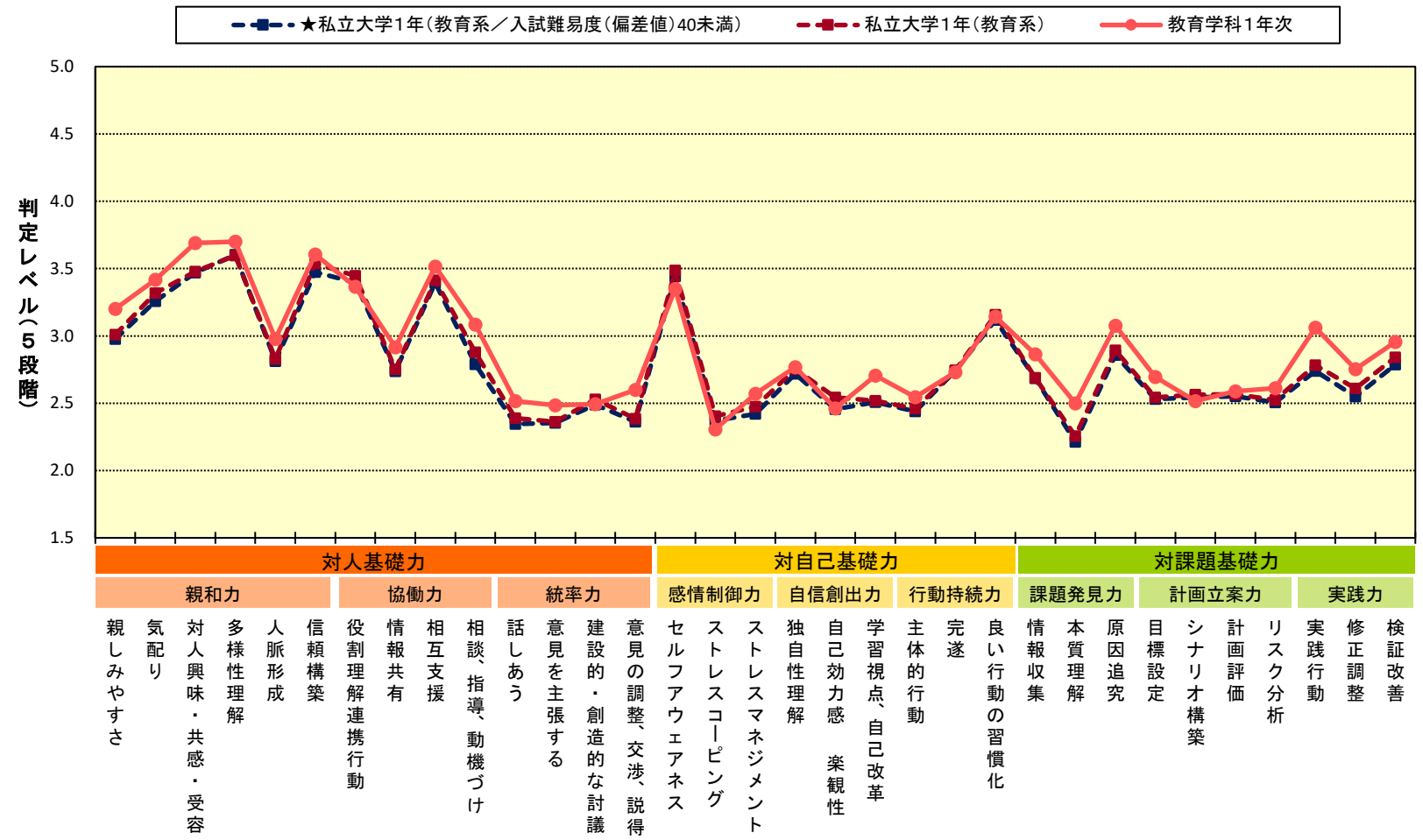
コンピテンシー中分類要素



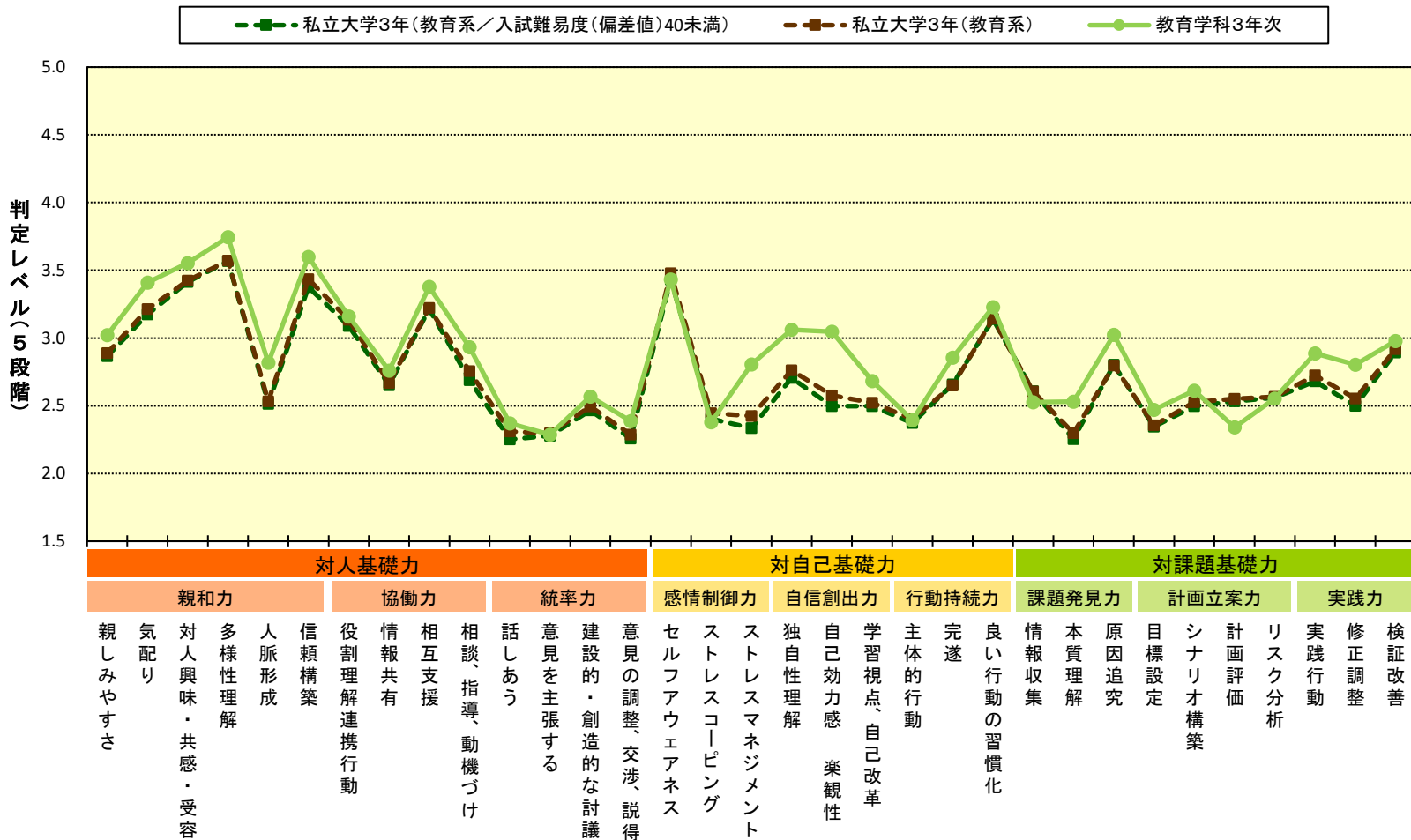
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

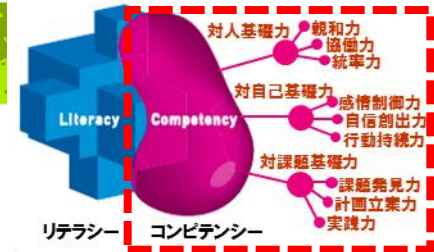
- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」
- 4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー小分類要素

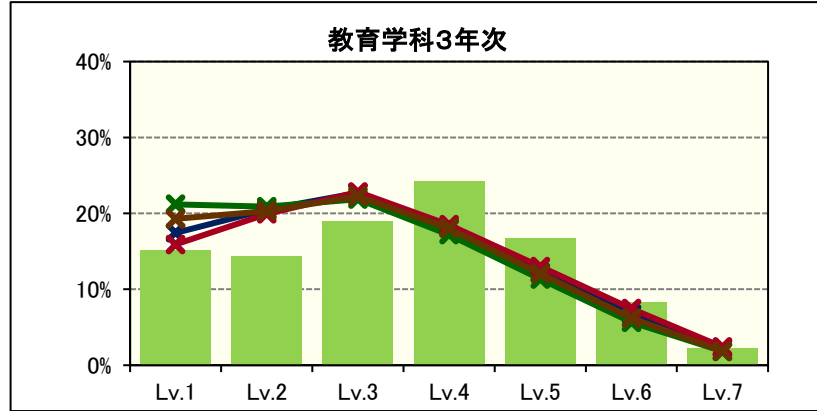
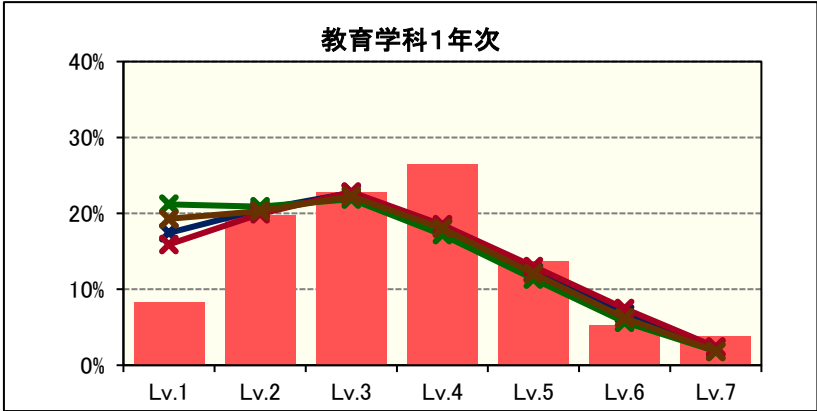


コンピテンシー小分類要素





◆ 私立大学1年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	◆ 私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(教育系)	◆ 私立大学3年(教育系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
教育学科1年次	-	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	◎
教育学科3年次	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	◎	◎	-	◎	-	◎

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

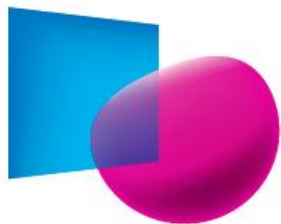
今後の課題と対策

【教育学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー	基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	

【教育学科3年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー	基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.4 芸術学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

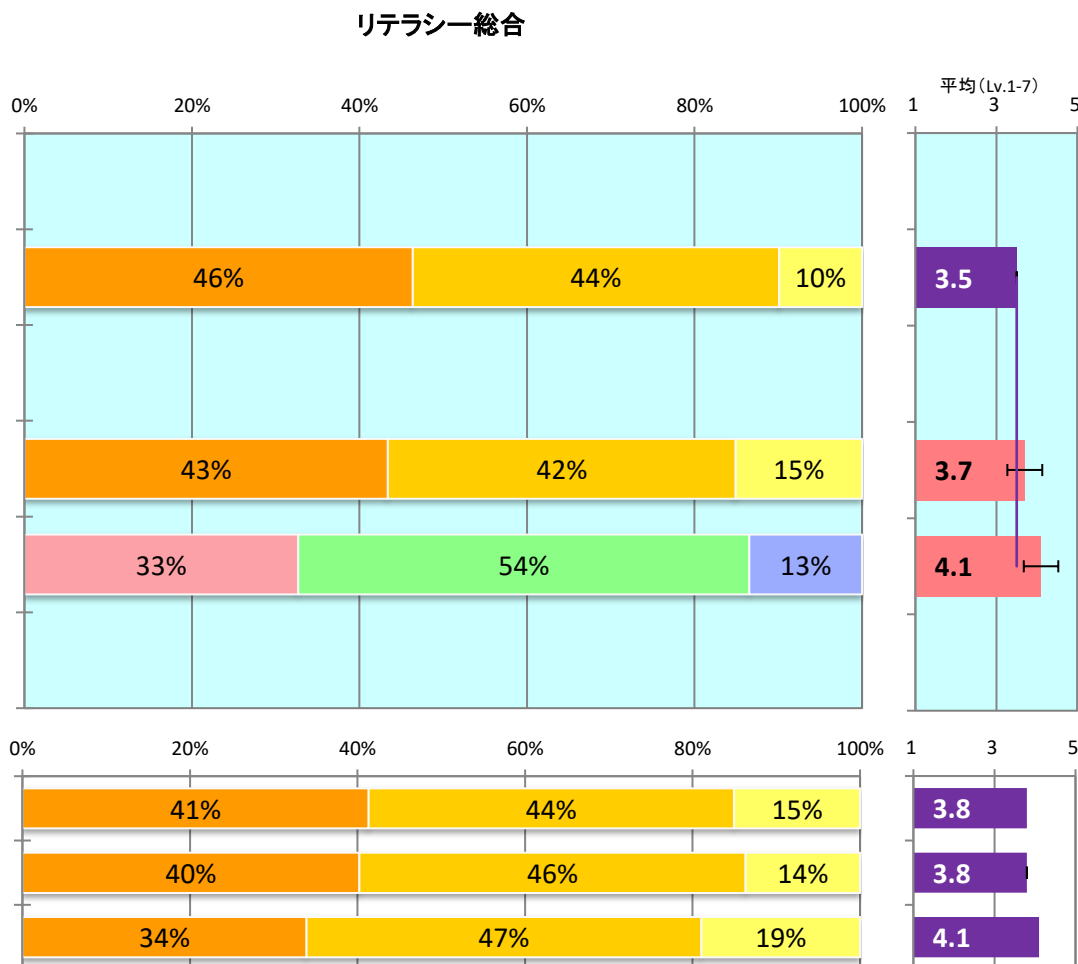
【基準集団】

★私立大学1年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)	13校 N=1,596
-----------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
芸術学科1年次	1.61	0.45
芸術学科3年次	3.98	0.14

【ご参考基準集団】

私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)	13校 N=1,210
私立大学1年(芸術系)	15校 N=5,180
私立大学3年(芸術系)	15校 N=3,762



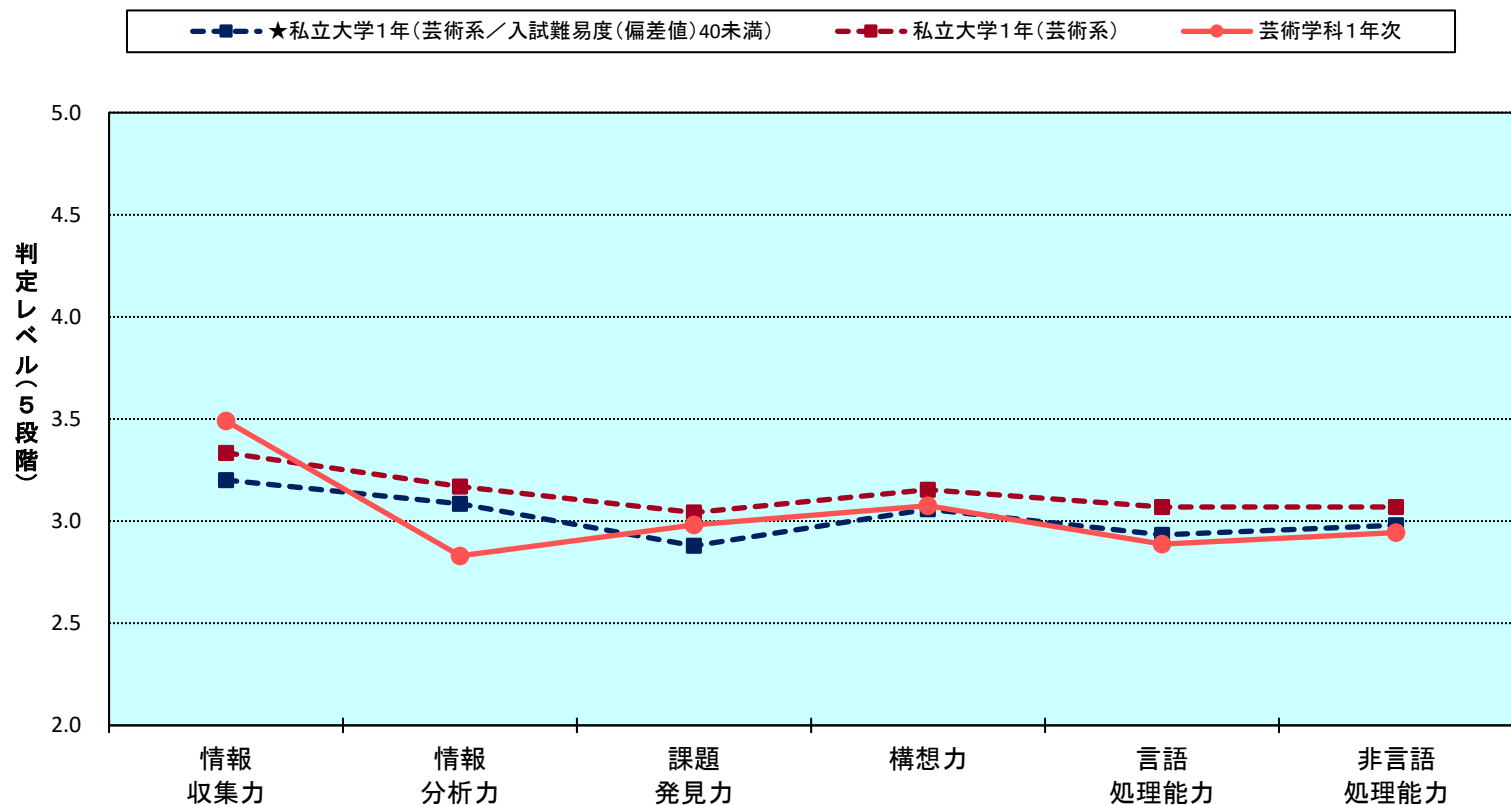
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【芸術学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、情報収集力の平均値は高く、課題発見力、構想力の平均値は上回る傾向にある。一方、言語処理能力、非言語処理能力の平均値は下回る傾向にあり、情報分析力の平均値は低い。

リテラシー要素

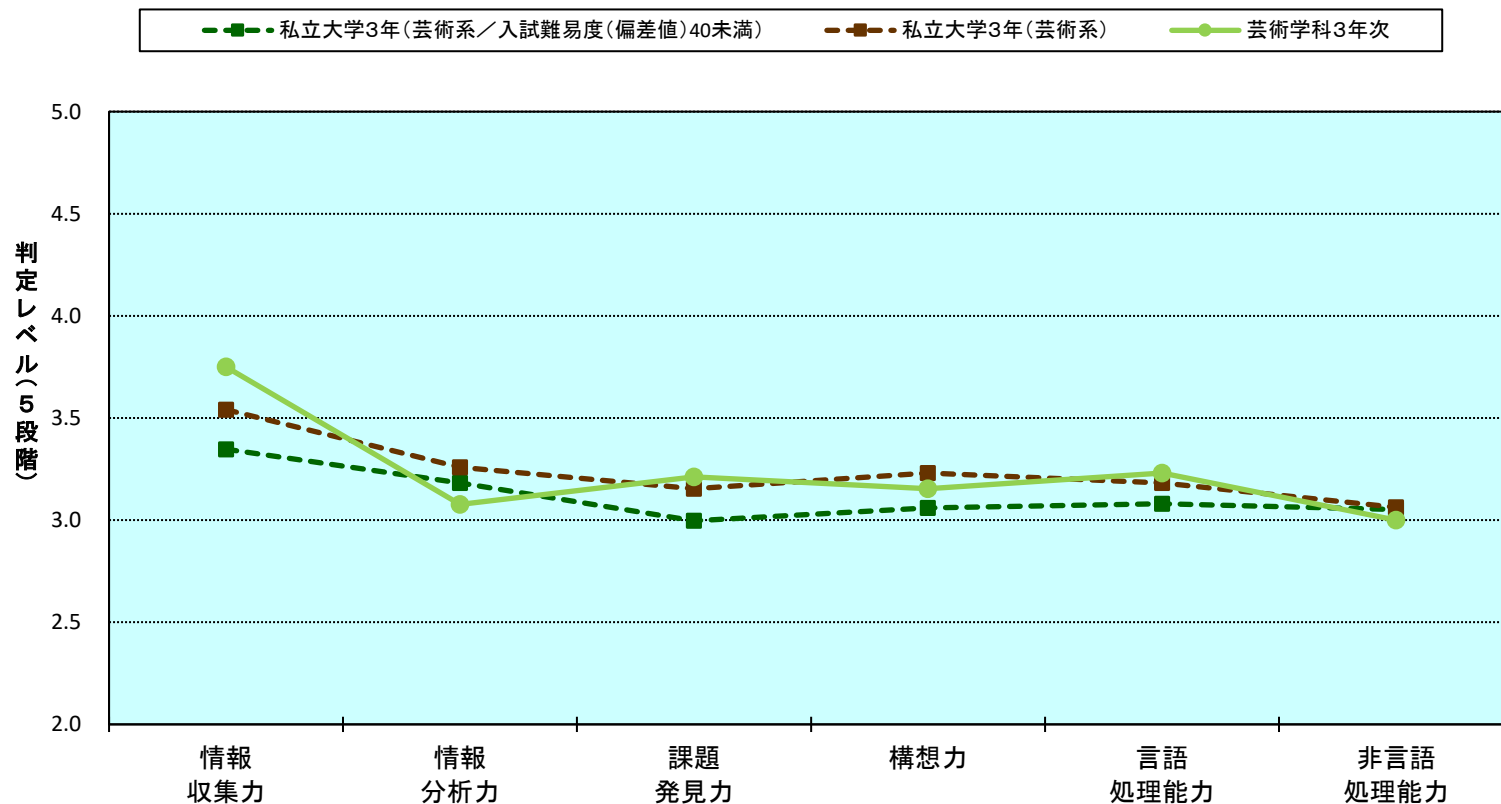


※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

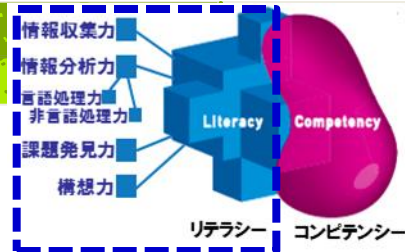
リテラシー要素



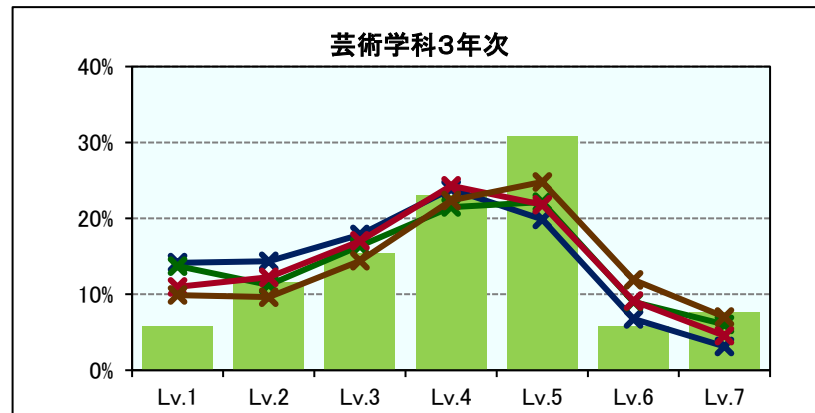
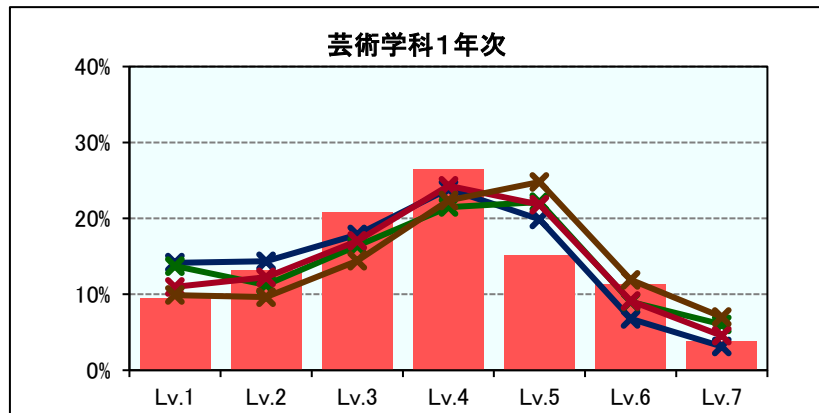
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



◆ 私立大学1年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(芸術系) ◆ 私立大学3年(芸術系)



【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

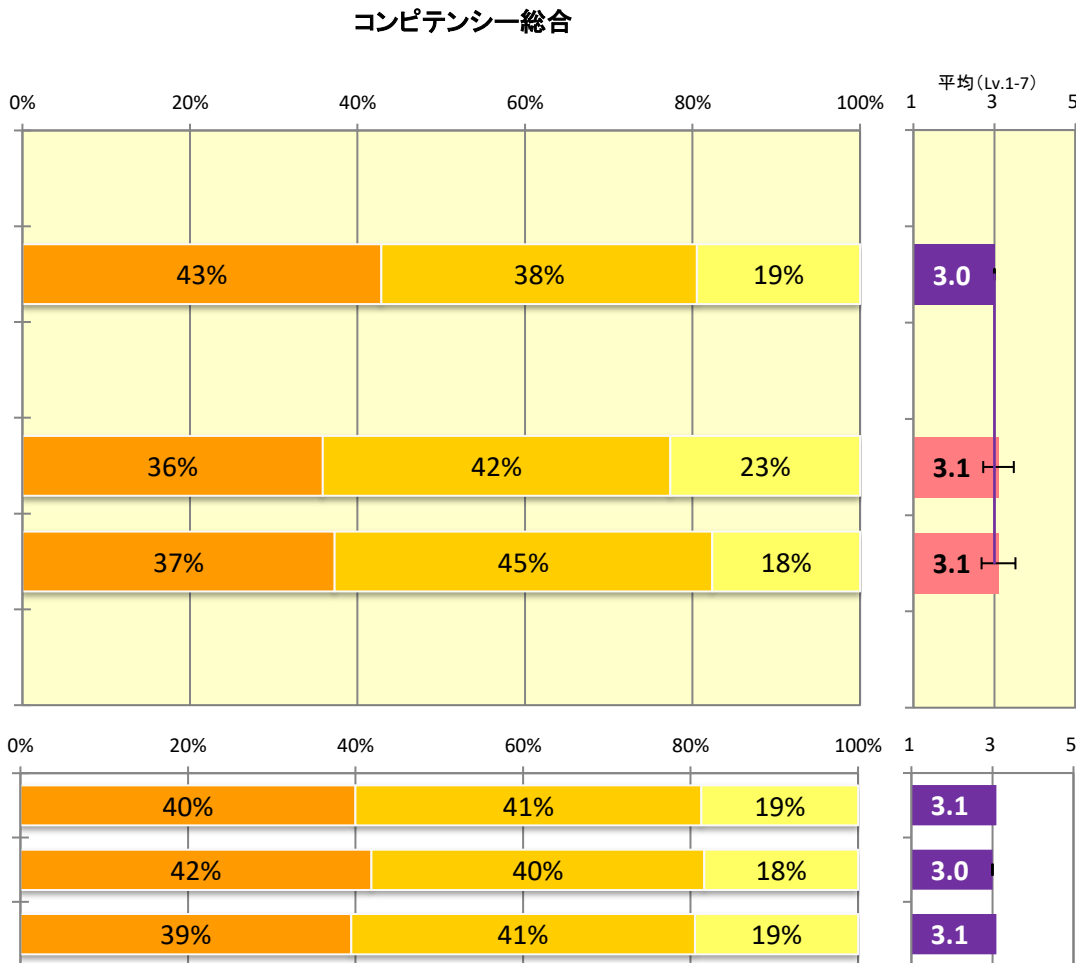
【基準集団】

★私立大学1年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)	15校 N=3,669
-----------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
芸術学科1年次	1.09	0.58
芸術学科3年次	1.21	0.55

【ご参考基準集団】

私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)	14校 N=3,069
私立大学1年(芸術系)	21校 N=14,218
私立大学3年(芸術系)	19校 N=10,321



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

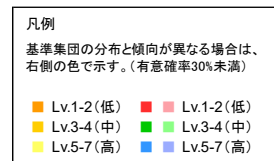
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対自己基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。



★私立大学1年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)

芸術学科1年次

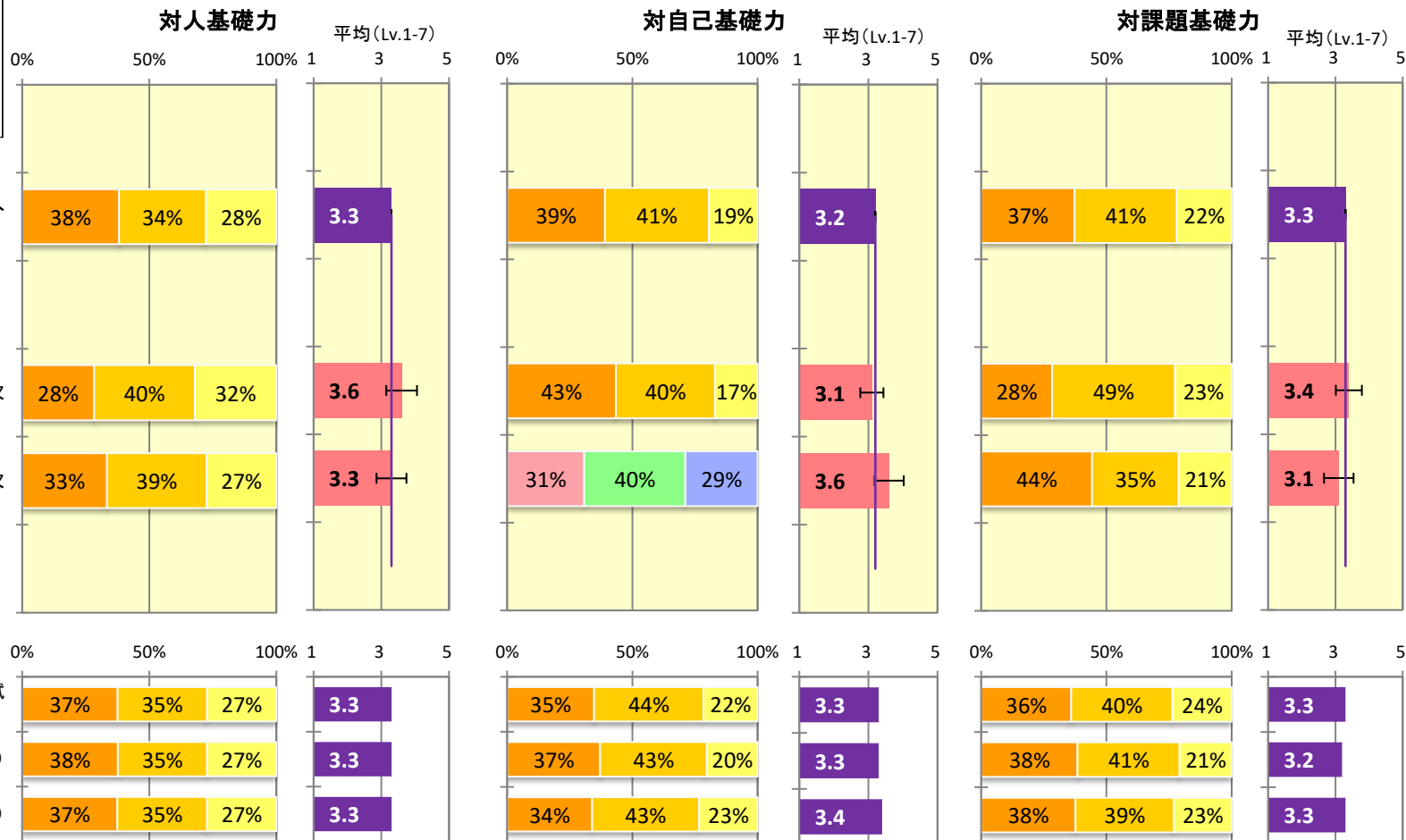
芸術学科3年次

【ご参考基準集団】

私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)

私立大学1年(芸術系)

私立大学3年(芸術系)



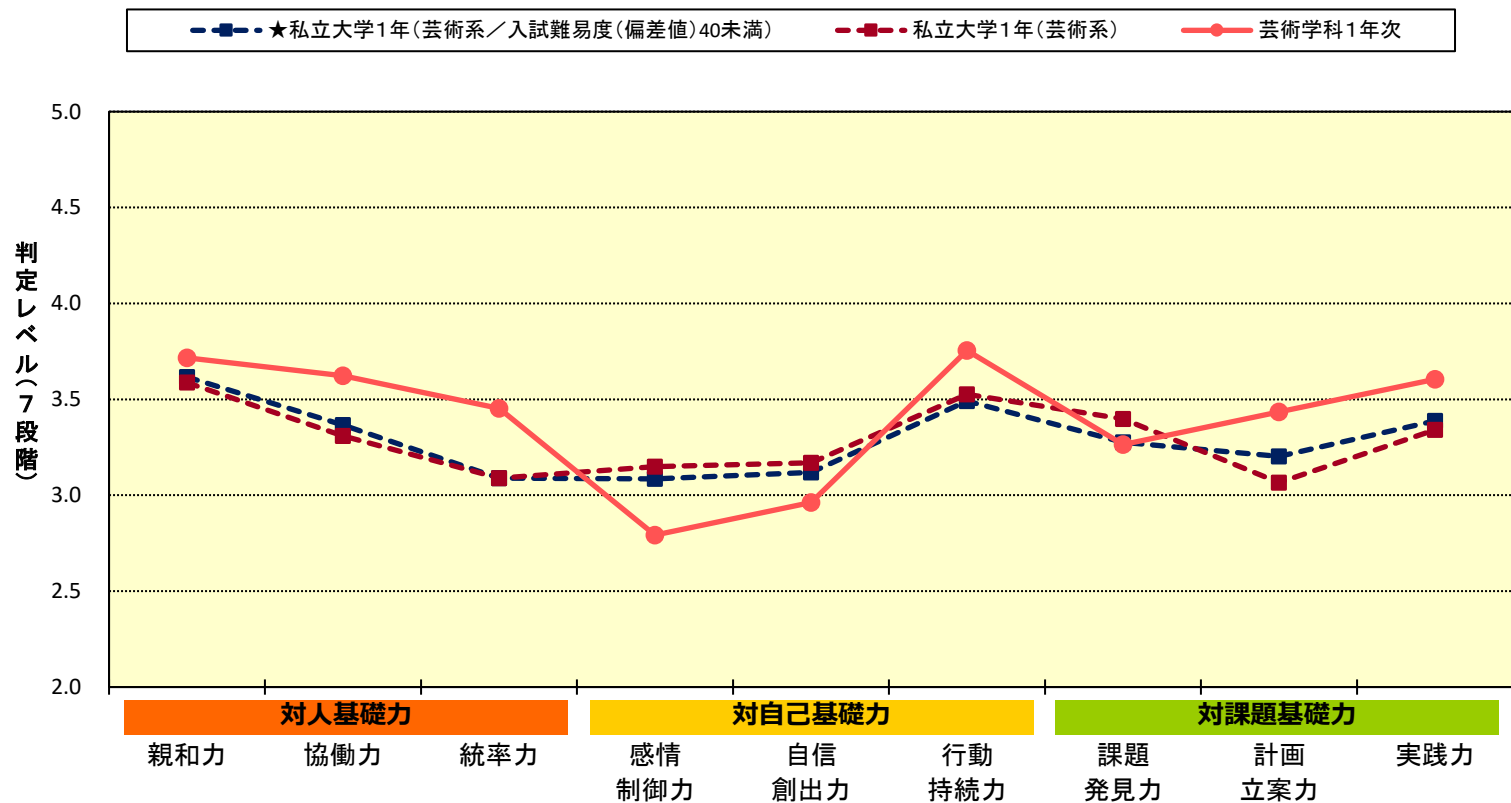
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【芸術学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、統率力、行動持続力、計画立案力、実践力の平均値は高く、親和力、協働力の平均値は上回る傾向にある。一方、自信創出力、課題発見力の平均値は下回る傾向にあり、感情制御力の平均値は低い。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

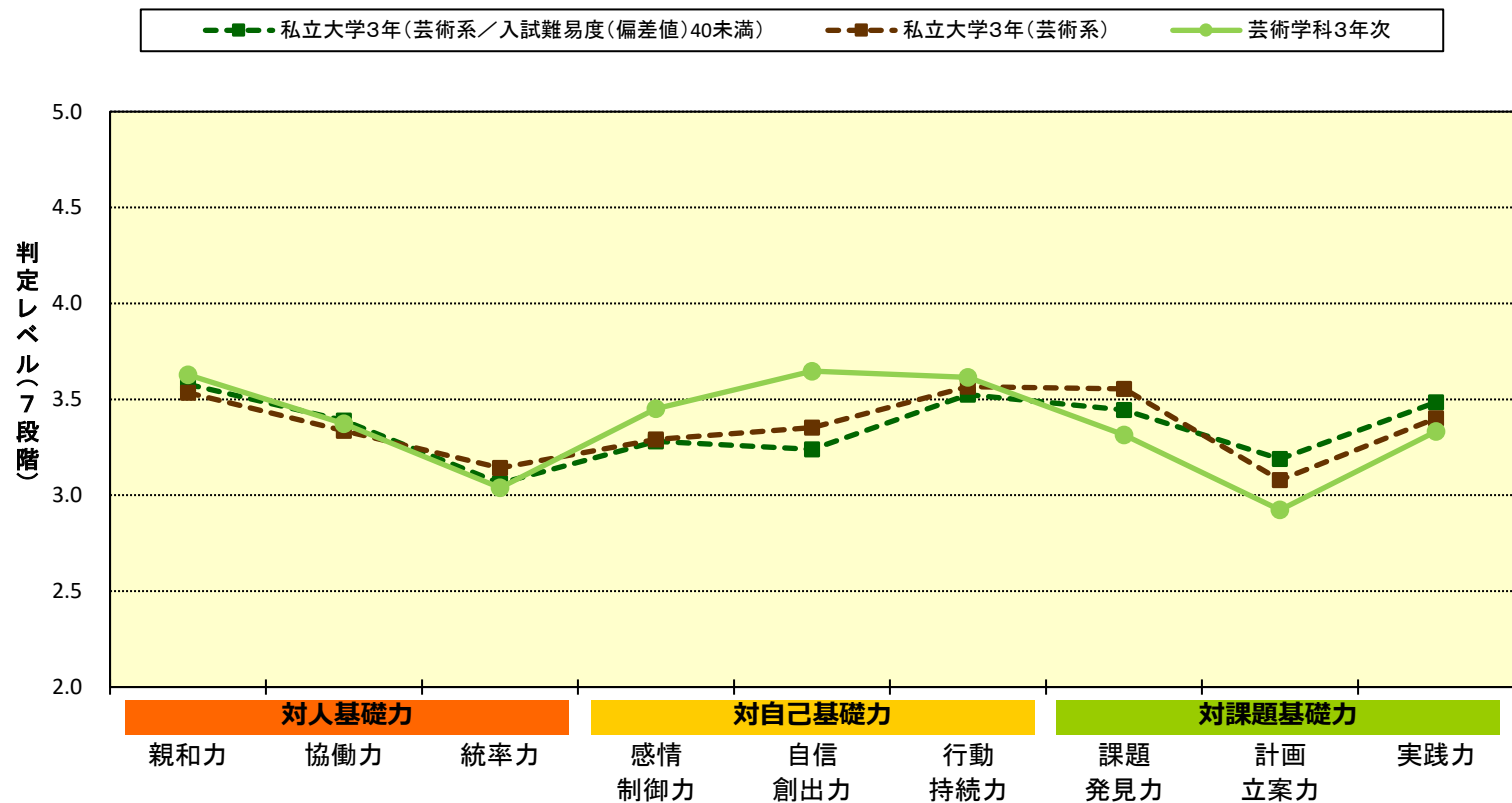
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー中分類要素

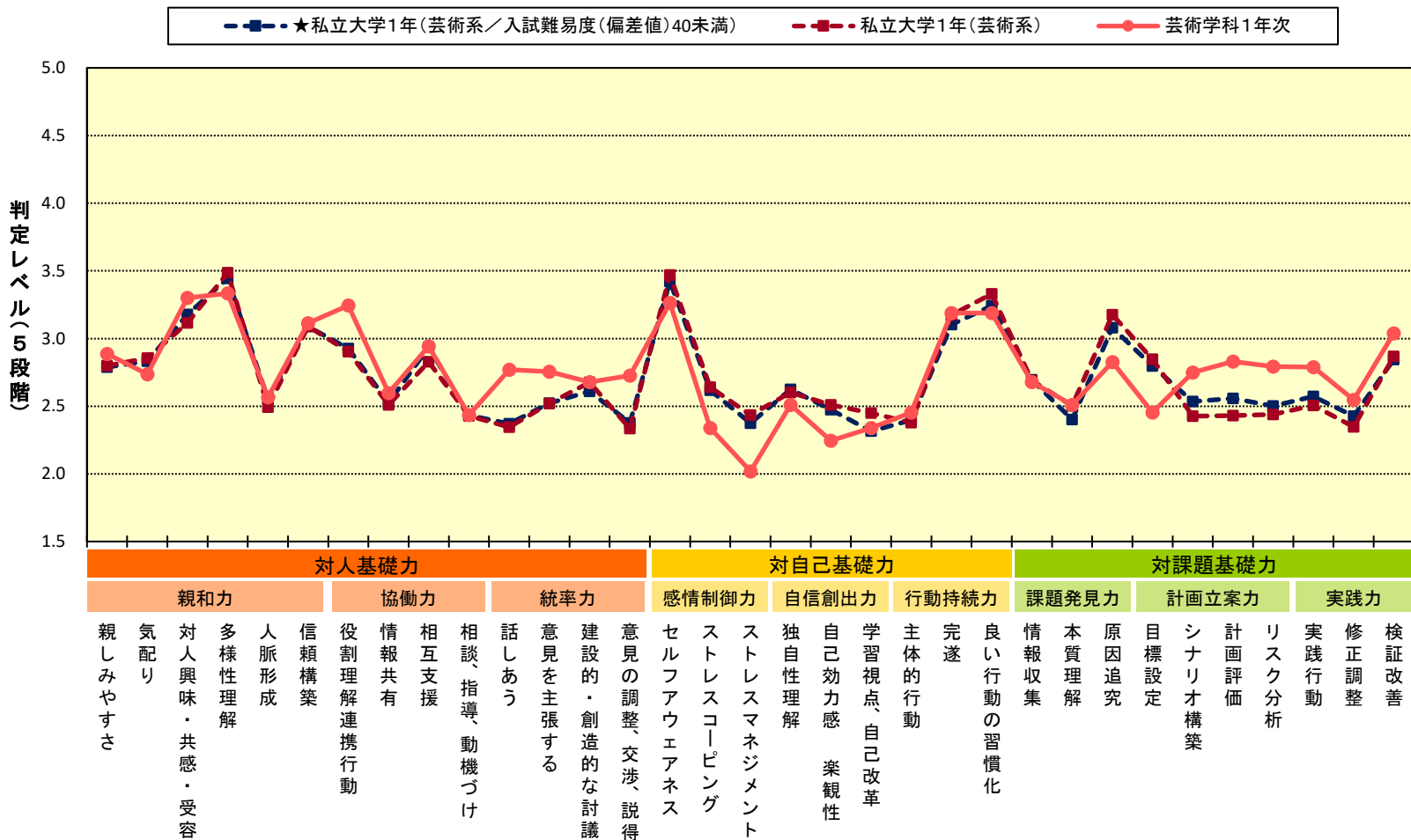


※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

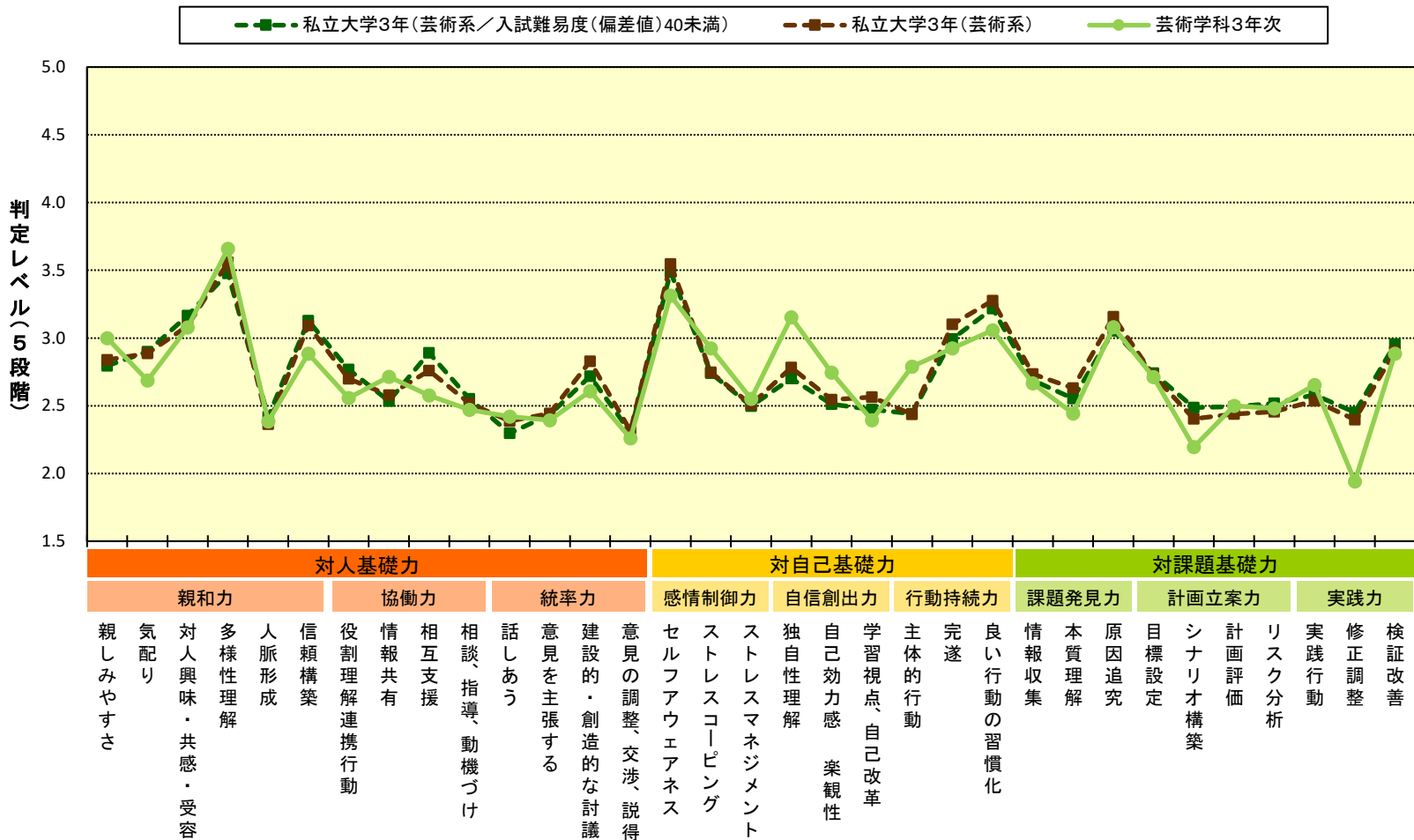
- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 3) 基準集団よりも大きいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」
- 4) 基準集団よりも小さいのが、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

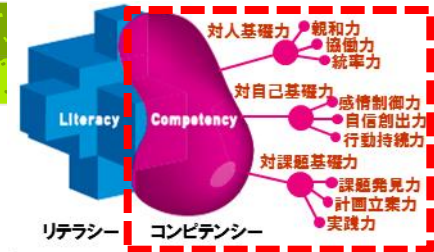
コンピテンシー小分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

コンピテンシー小分類要素

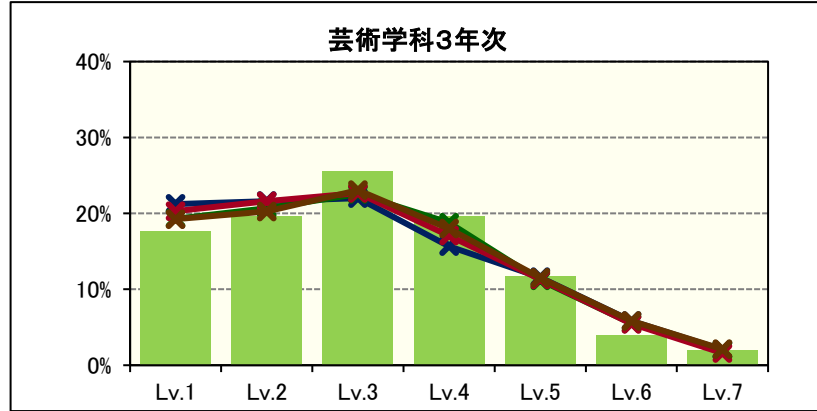
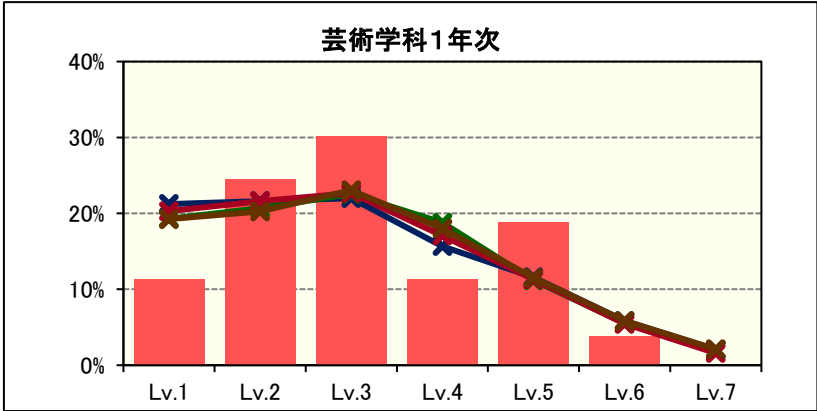


コンピテンシー小分類要素





◆ 私立大学1年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(芸術系) ◆ 私立大学3年(芸術系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
芸術学科 1 年次	-	◎	▲	-	-	-	-	-	◎	▲	-	◎	-	◎	◎
芸術学科 3 年次	-	◎	-	◎	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	▲	-

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

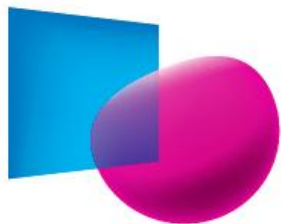
今後の課題と対策

【芸術学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー ●情報分析力	図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる	データ・グラフから読み取れる事実の背景や要因を考察させる／語彙を理解し概念を正確に捉えるようにする／書かれている内容を客観的に捉えるようにする／客観的な事実と主観的な意見とを区別させる／論理の矛盾や飛躍がないかを検証させる
■コンピテンシー ●感情制御力	人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる やらなければならないことが沢山あるような状況でも、こなしていくことができる	想定外のことが起こっても、目的を見失わず、次善策を考えさせる プロジェクトや研究・実験の進捗状況を客観的に把握し、冷静に事後の策を考えさせる 白熱した議論の中でも、冷静さを保つよう指導する

【芸術学科3年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー ●計画立案力	課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる 条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる 起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる	ゴール(目指す姿)をイメージしてから、課題に取り組ませる 想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する 立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.5

心理カウンセリング学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

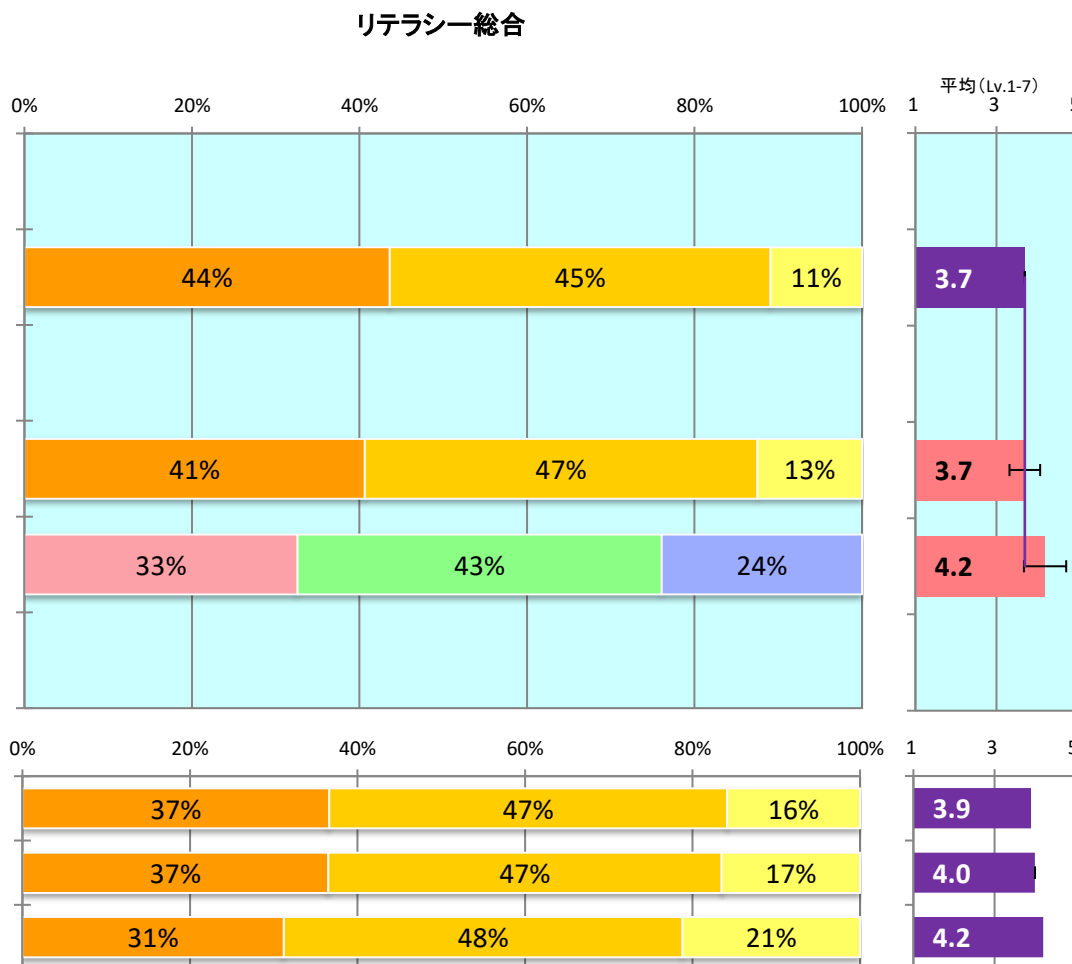
【基準集団】

★私立大学1年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	23校 N=2,827
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
心理カウンセリング学科1年次	0.30	0.86
心理カウンセリング学科3年次	8.41	0.01

【ご参考基準集団】

私立大学3年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	23校 N=2,445
私立大学1年(心理学系)	38校 N=5,874
私立大学3年(心理学系)	38校 N=4,408



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

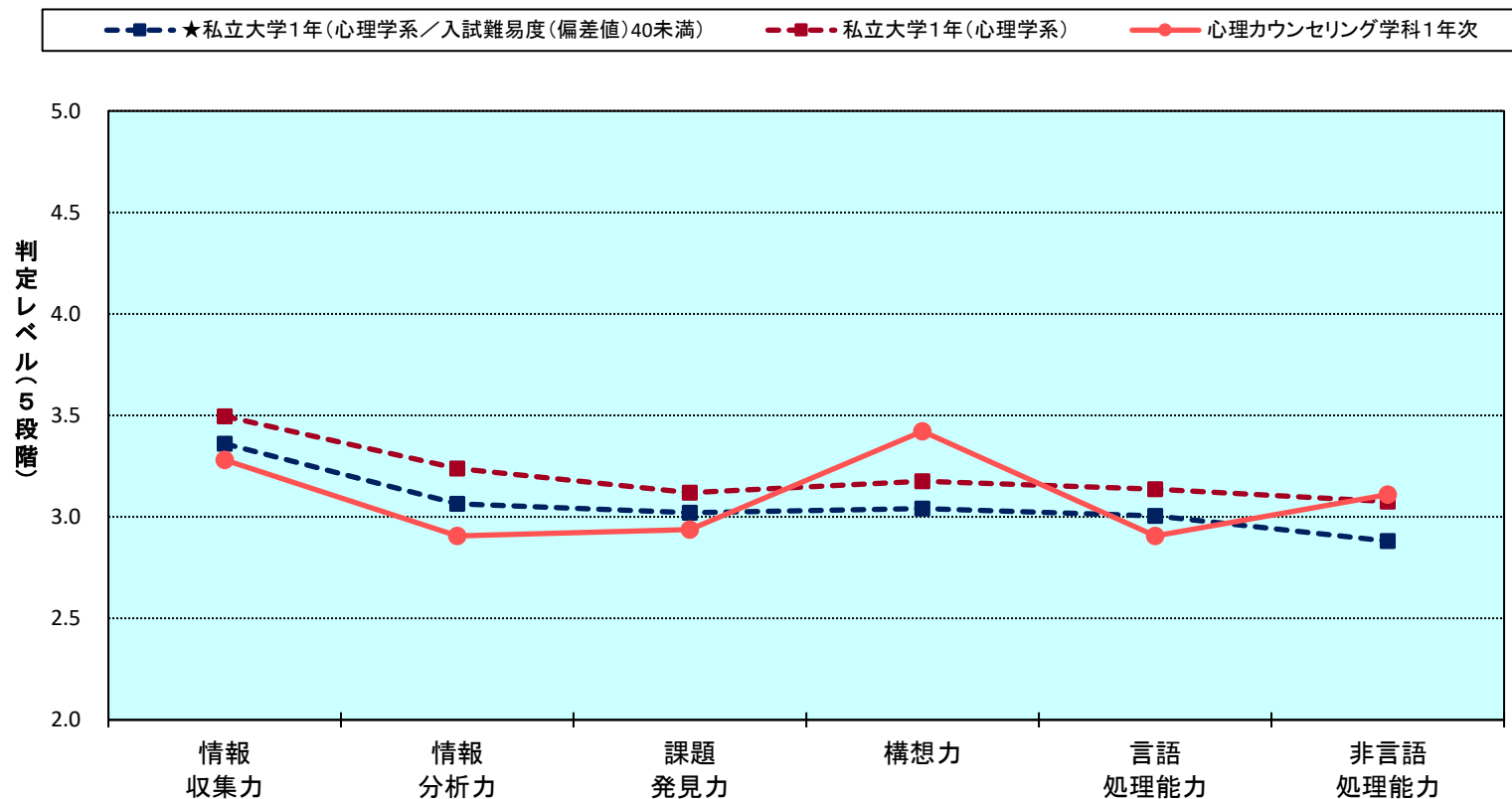
リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【心理カウンセリング学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、構想力、非言語処理能力の平均値は高い。

一方、情報収集力、課題発見力、言語処理能力の平均値は下回る傾向にあり、情報分析力の平均値は低い。

リテラシー要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

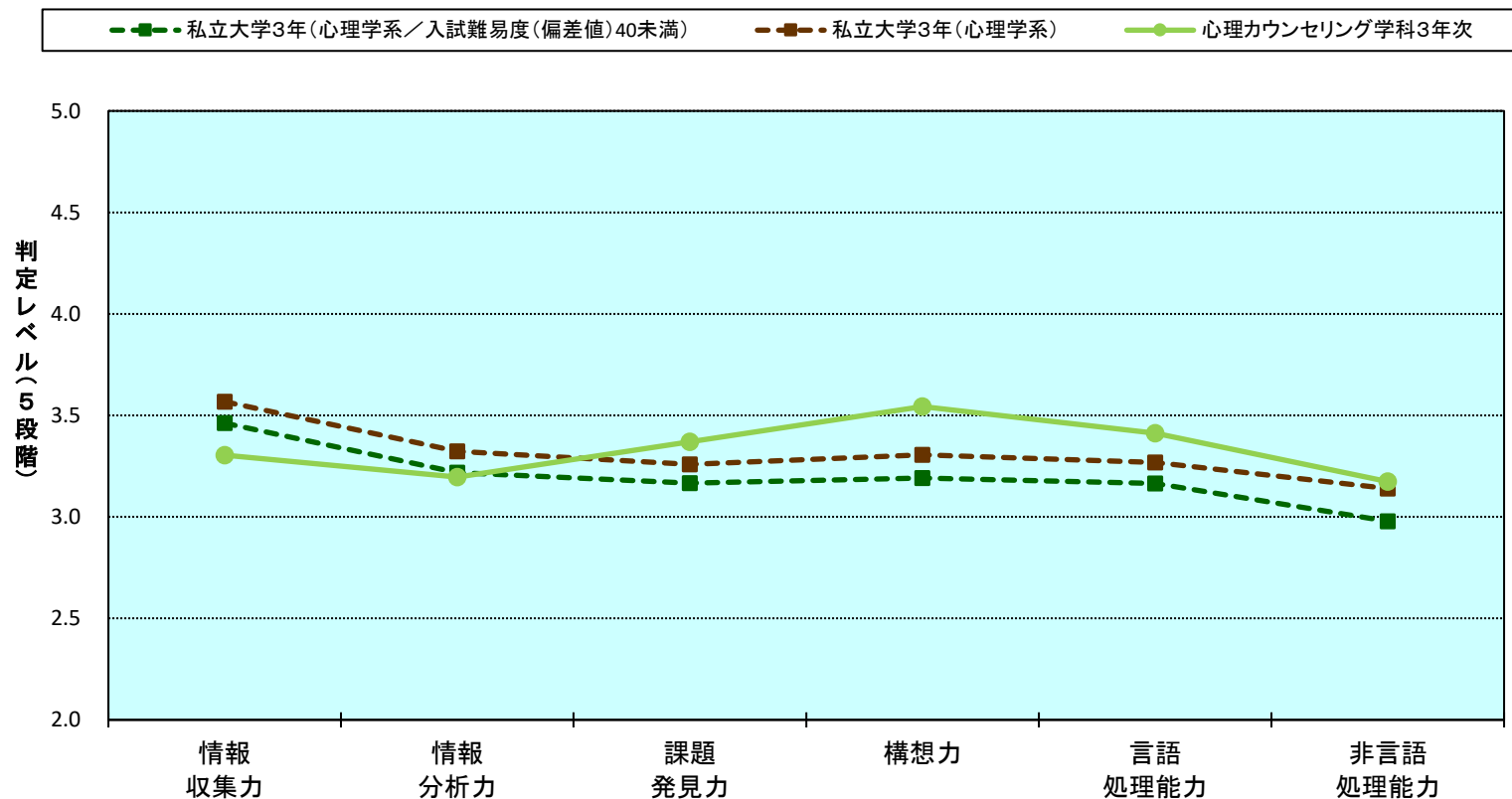
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

リテラシー要素



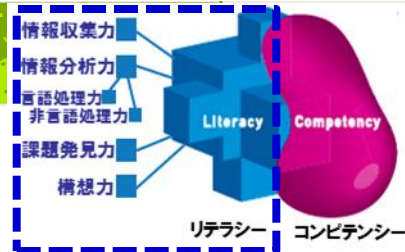
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

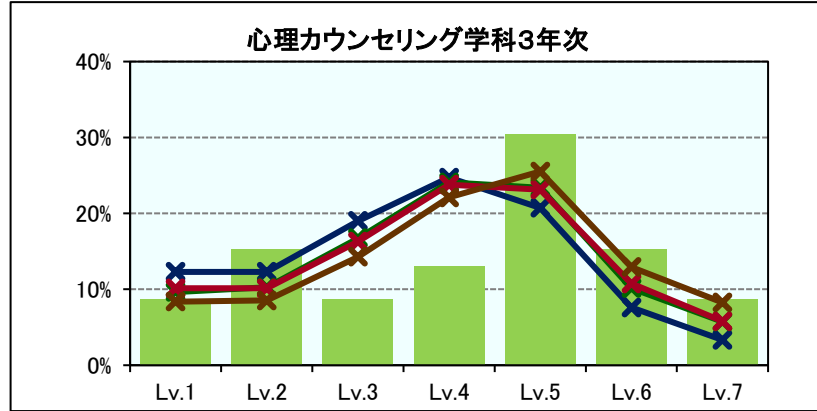
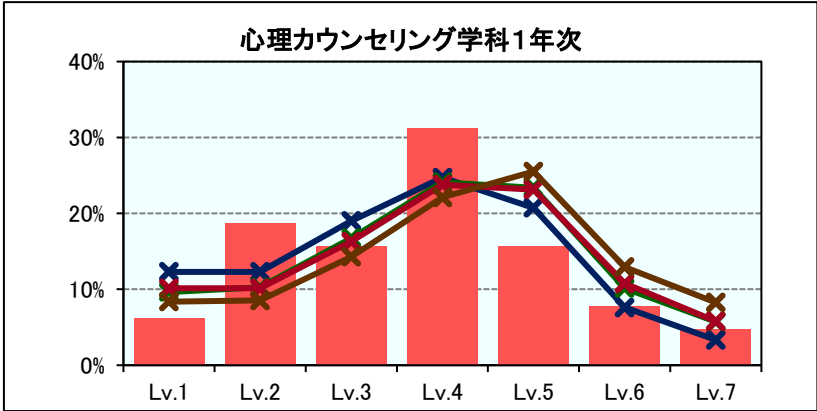
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



◆ 私立大学1年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(心理学系) ◆ 私立大学3年(心理学系)



コンピテンシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

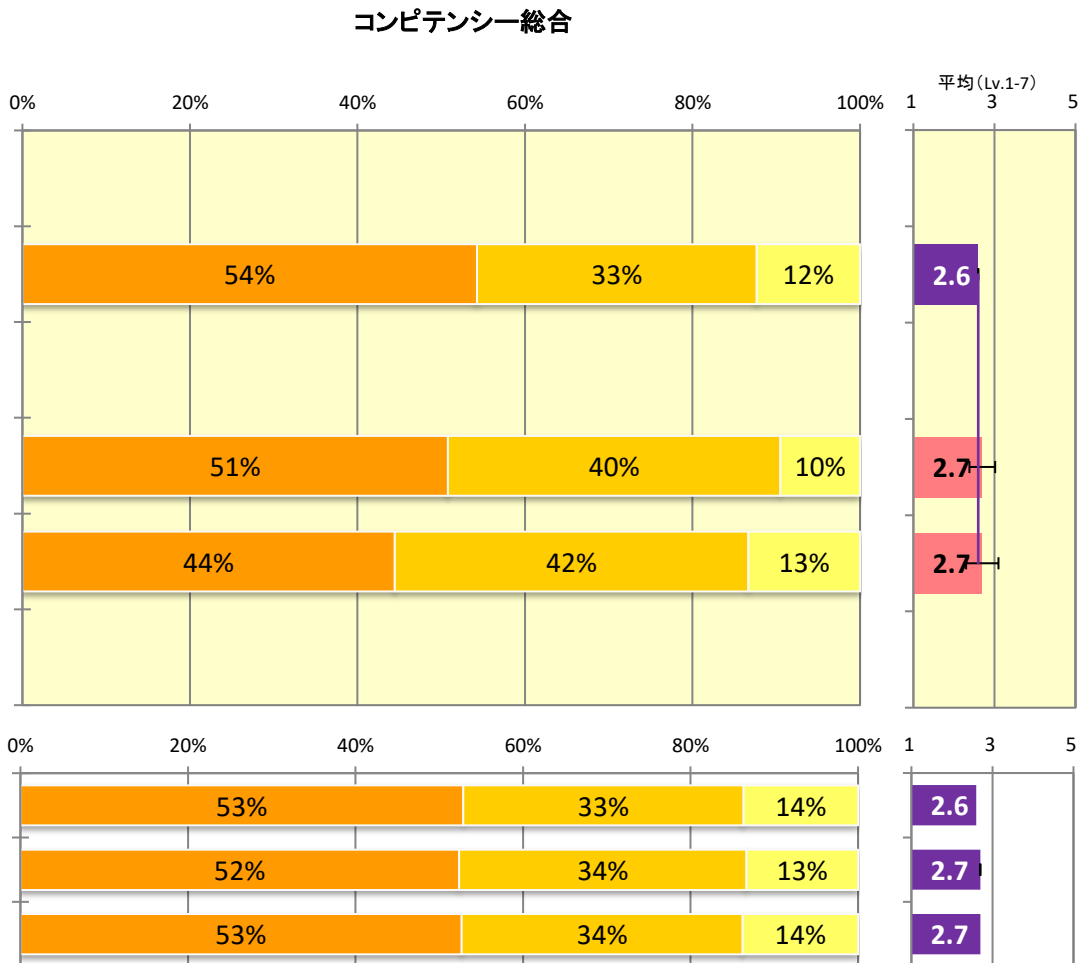
【基準集団】

★私立大学1年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	30校 N=6,464
------------------------------	-------------

	χ ² 乗値	有意確率
心理カウンセリング学科1年次	1.30	0.52
心理カウンセリング学科3年次	1.90	0.39

【ご参考基準集団】

私立大学3年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	29校 N=6,265
私立大学1年(心理学系)	48校 N=13,681
私立大学3年(心理学系)	46校 N=10,604



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

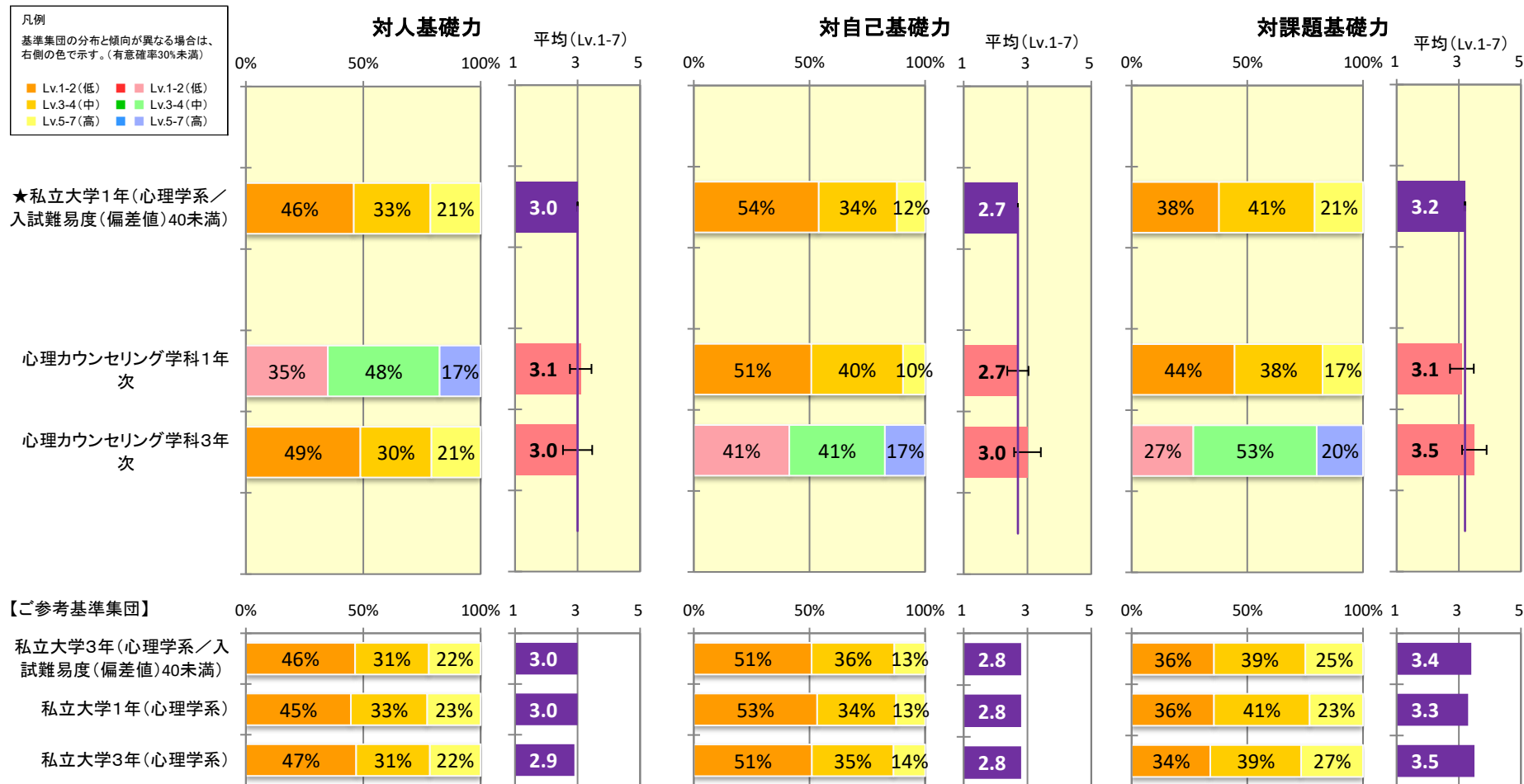
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【對自己基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対課題基礎力】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。



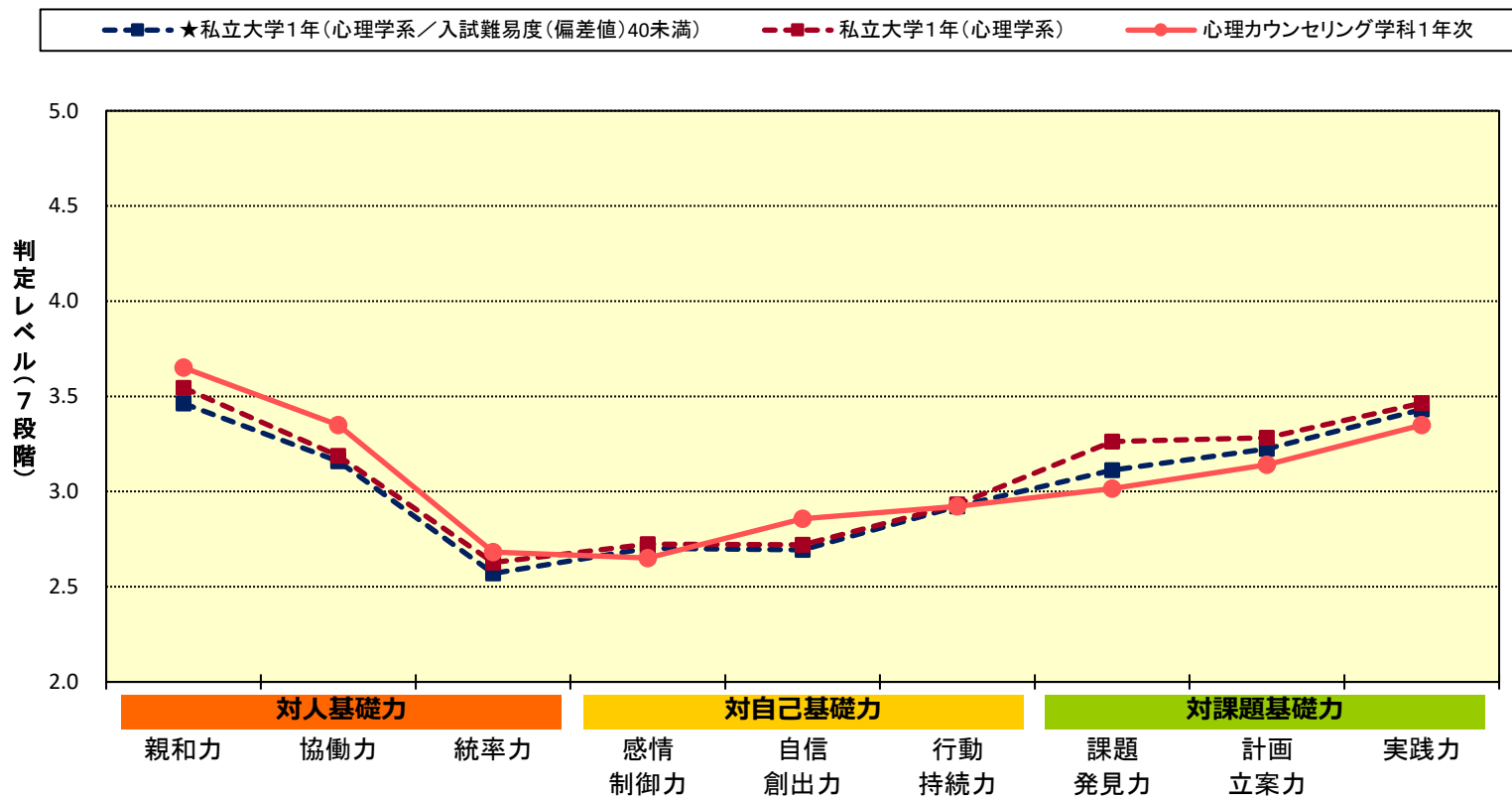
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【心理カウンセリング学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、親和力、協働力の平均値は高く、統率力、自信創出力の平均値は上回る傾向にある。一方、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力の平均値は下回る傾向にある。

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

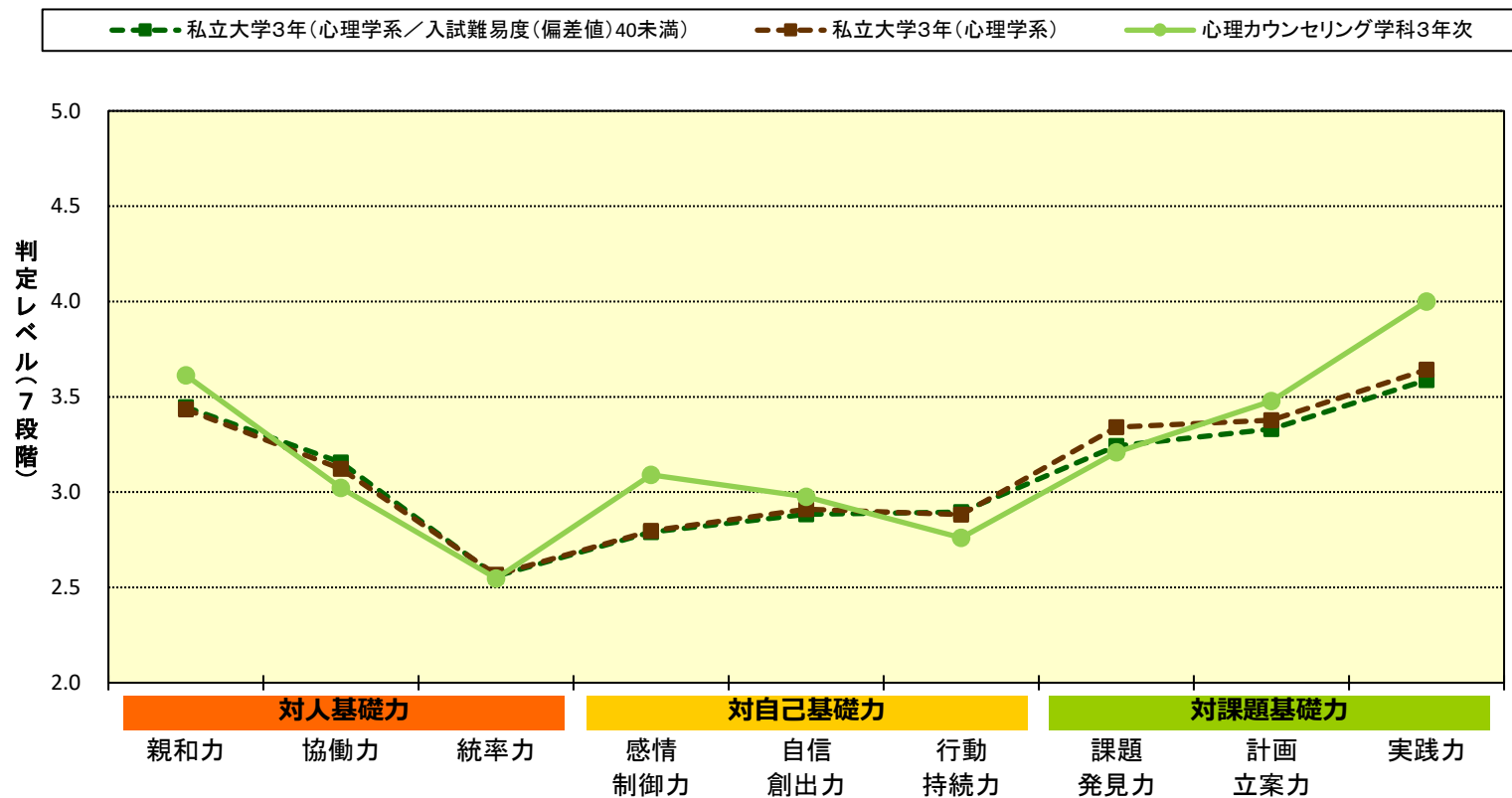
1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

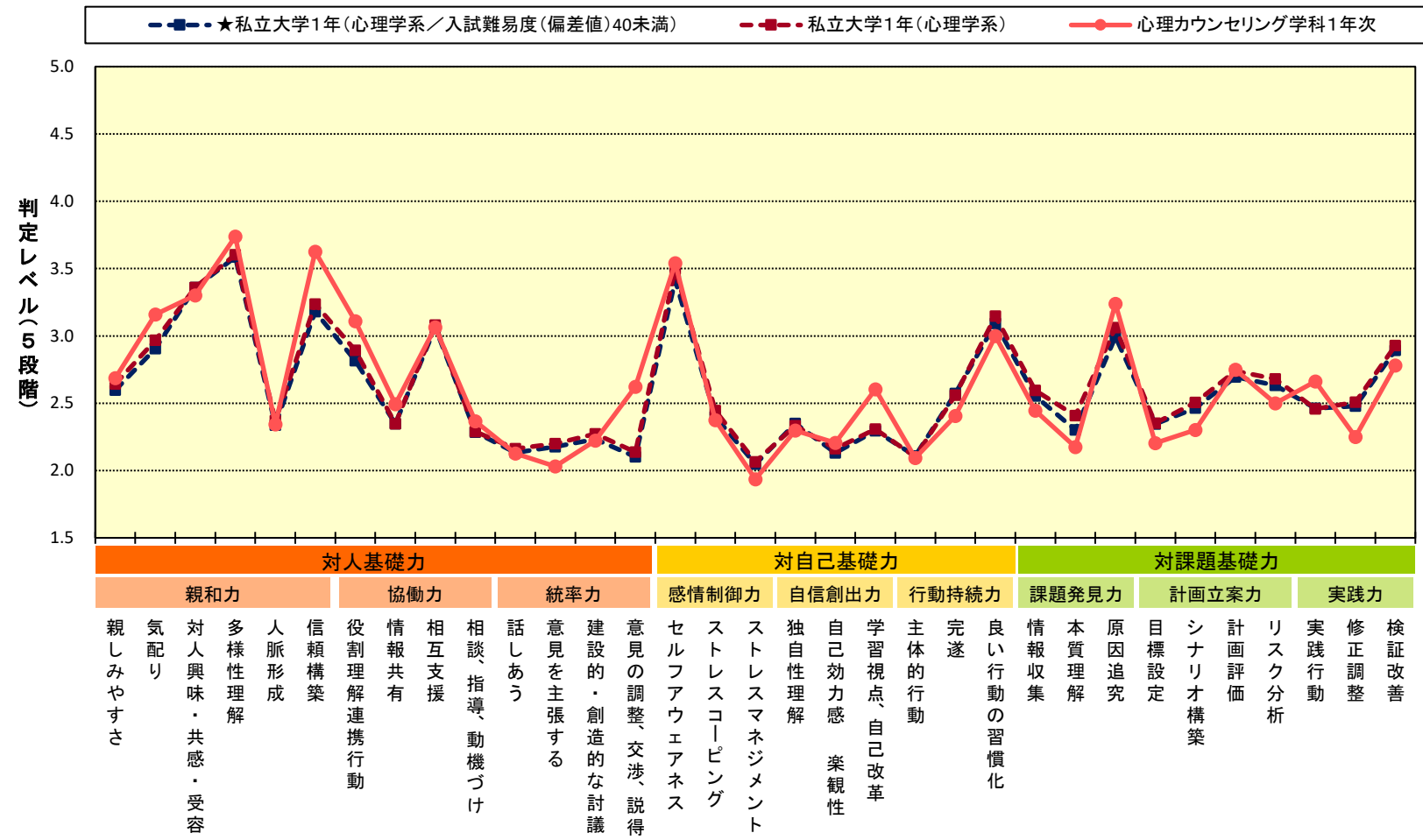
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

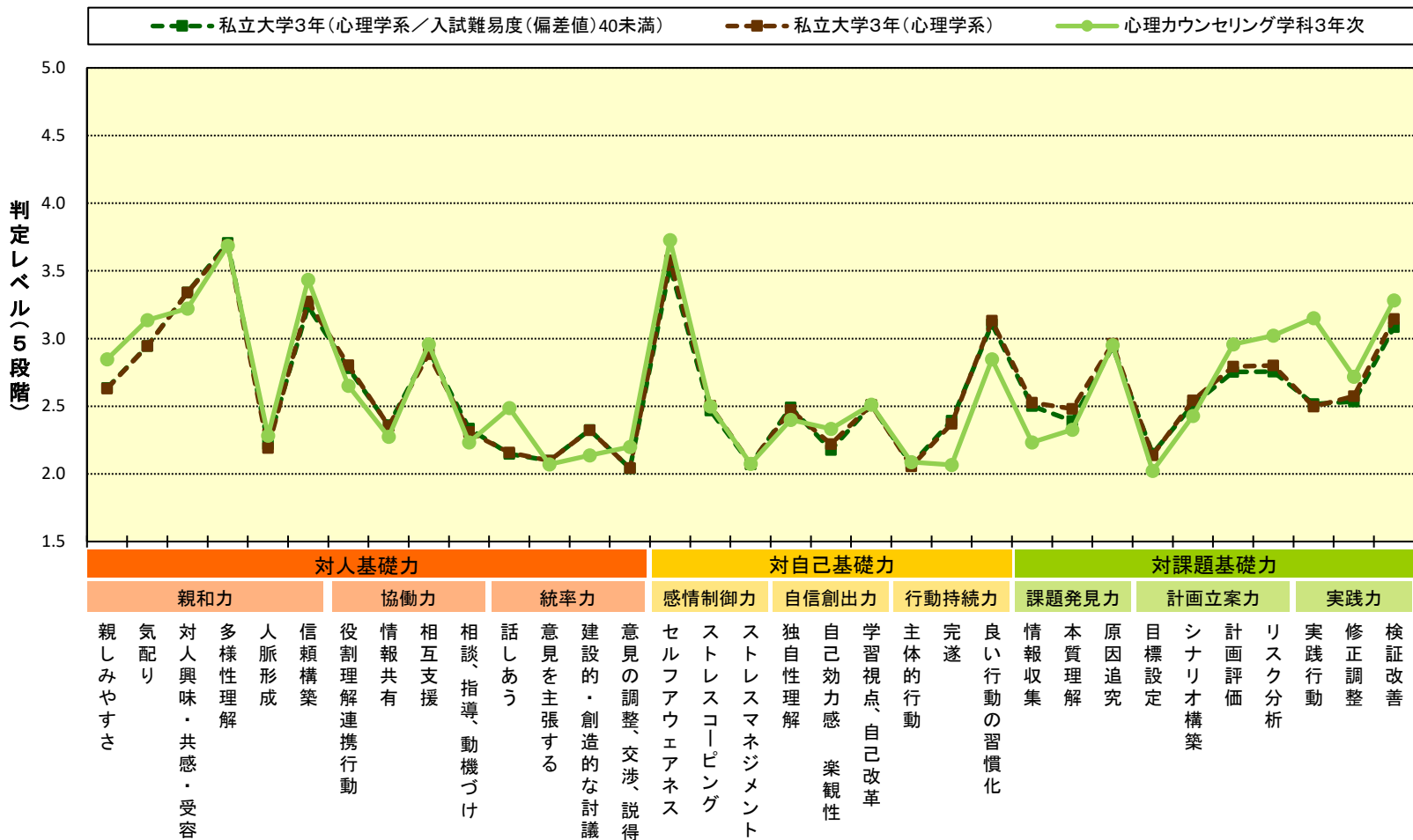
4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

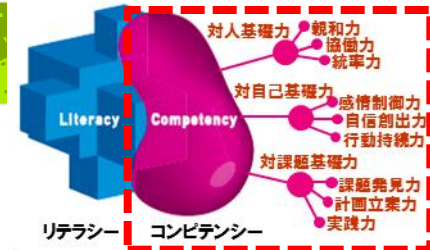
コンピテンシー小分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

コンピテンシー小分類要素

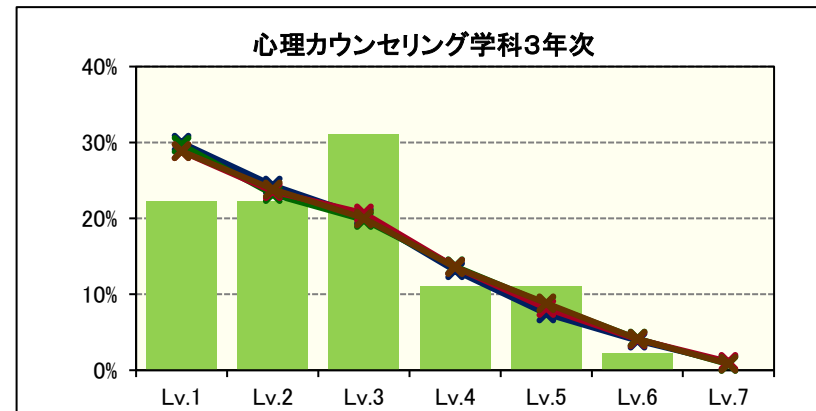
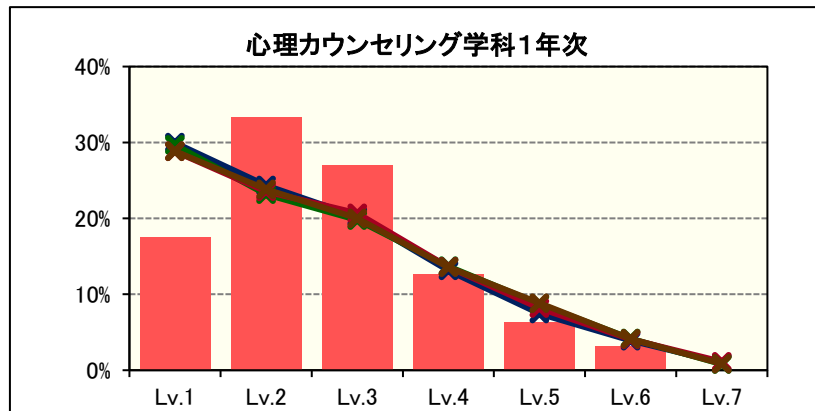


コンピテンシー小分類要素





◆ 私立大学1年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立大学3年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立大学1年(心理学系) ◆ 私立大学3年(心理学系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
心理カウンセリング学科 1 年次	-	-	▲	-	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-
心理カウンセリング学科 3 年次	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	◎	◎	-	-	◎	◎

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

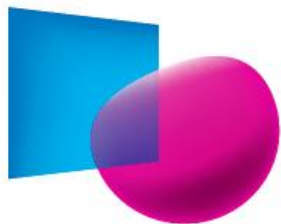
今後の課題と対策

【心理カウンセリング学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
<p>■リテラシー ●情報分析力</p>	<p>図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる</p>	<p>データ・グラフから読み取れる事実の背景や要因を考察させる／語彙を理解し概念を正確に捉えるようにする／書かれている内容を客観的に捉えるようにする／客観的な事実と主観的な意見とを区別させる／論理の矛盾や飛躍がないかを検証させる</p>
<p>■コンピテンシー</p>	<p>基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	

【心理カウンセリング学科3年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
<p>■リテラシー</p>	<p>基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	
<p>■コンピテンシー</p>	<p>基準集団と比較して、統計的に課題のある要素を特定することは出来ないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる</p>	



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.6 短期大学部こども学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー総合 判定レベルに見る全体傾向

【リテラシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

※こども学科1年次、こども学科2年次は、サンプル数が5を下回るものがあるため、参考値とお考えください。

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

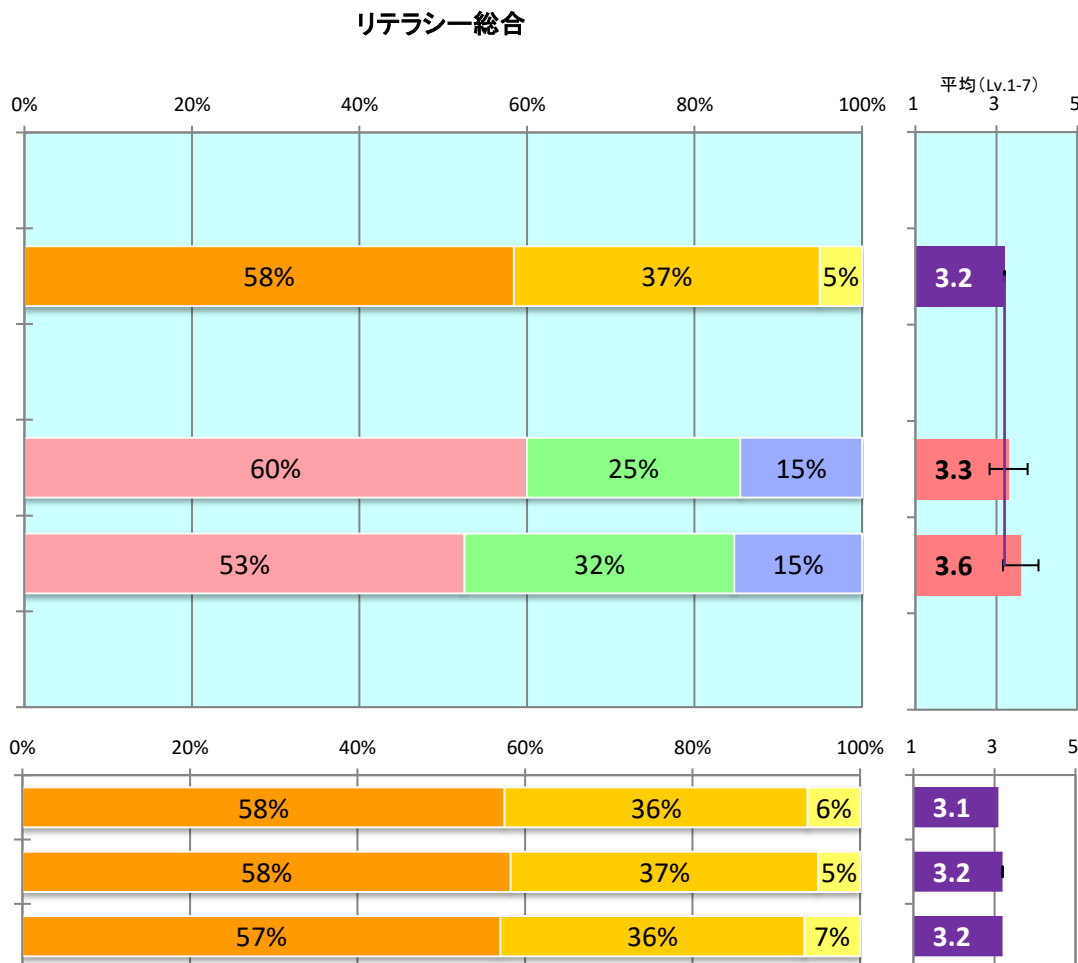
【基準集団】

★私立短大1年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)	16校 N=2,011
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
こども学科1年次	11.81	0.00
こども学科2年次	12.95	0.00

【ご参考基準集団】

私立短大2年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)	11校 N=1,325
私立短大1年(こども系)	24校 N=3,044
私立短大2年(こども系)	17校 N=1,670



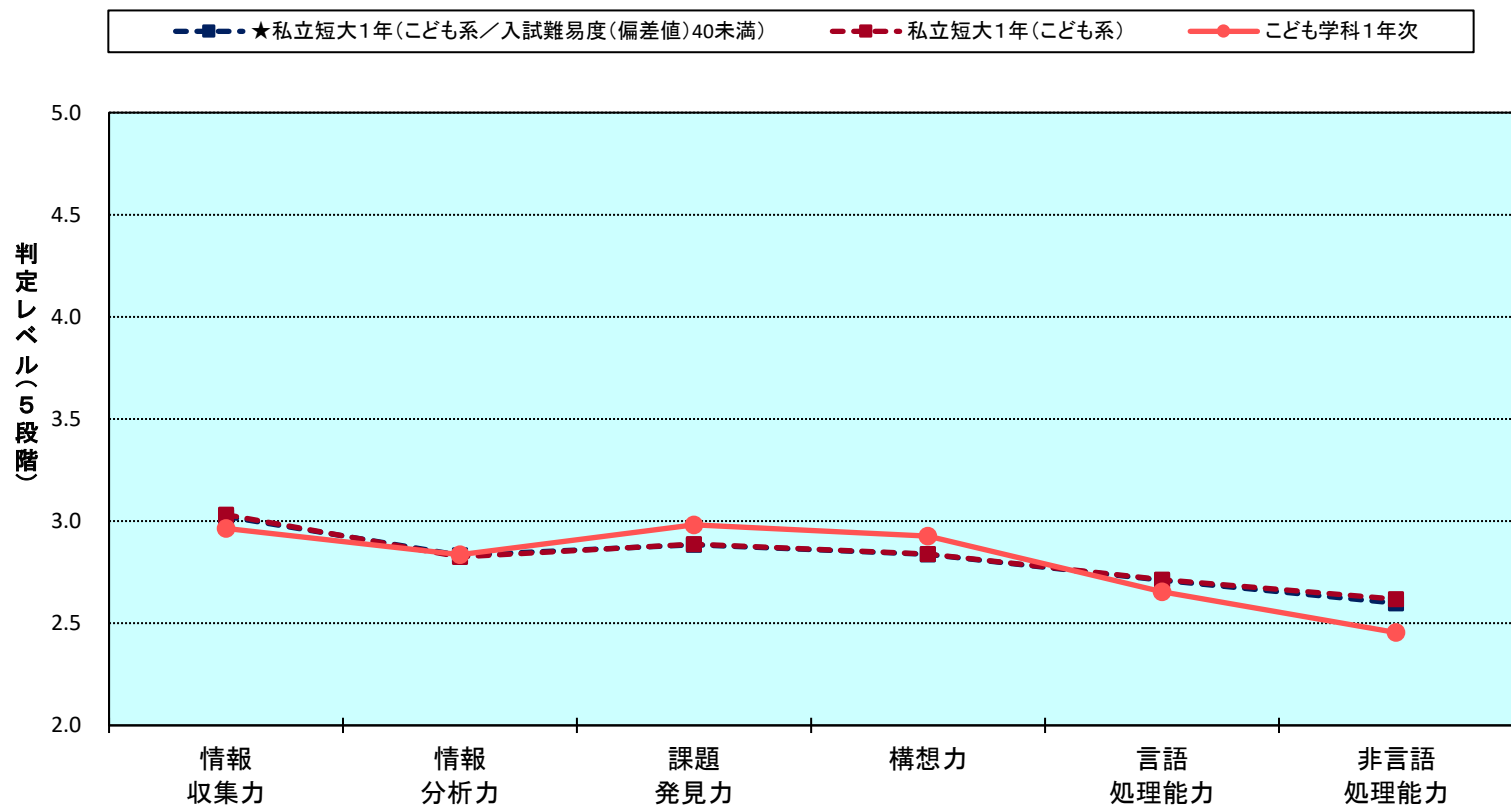
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

リテラシー要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【こども学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、情報分析力、課題発見力、構想力の平均値は上回る傾向にある。
一方、情報収集力、言語処理能力、非言語処理能力の平均値は下回る傾向にある。

リテラシー要素

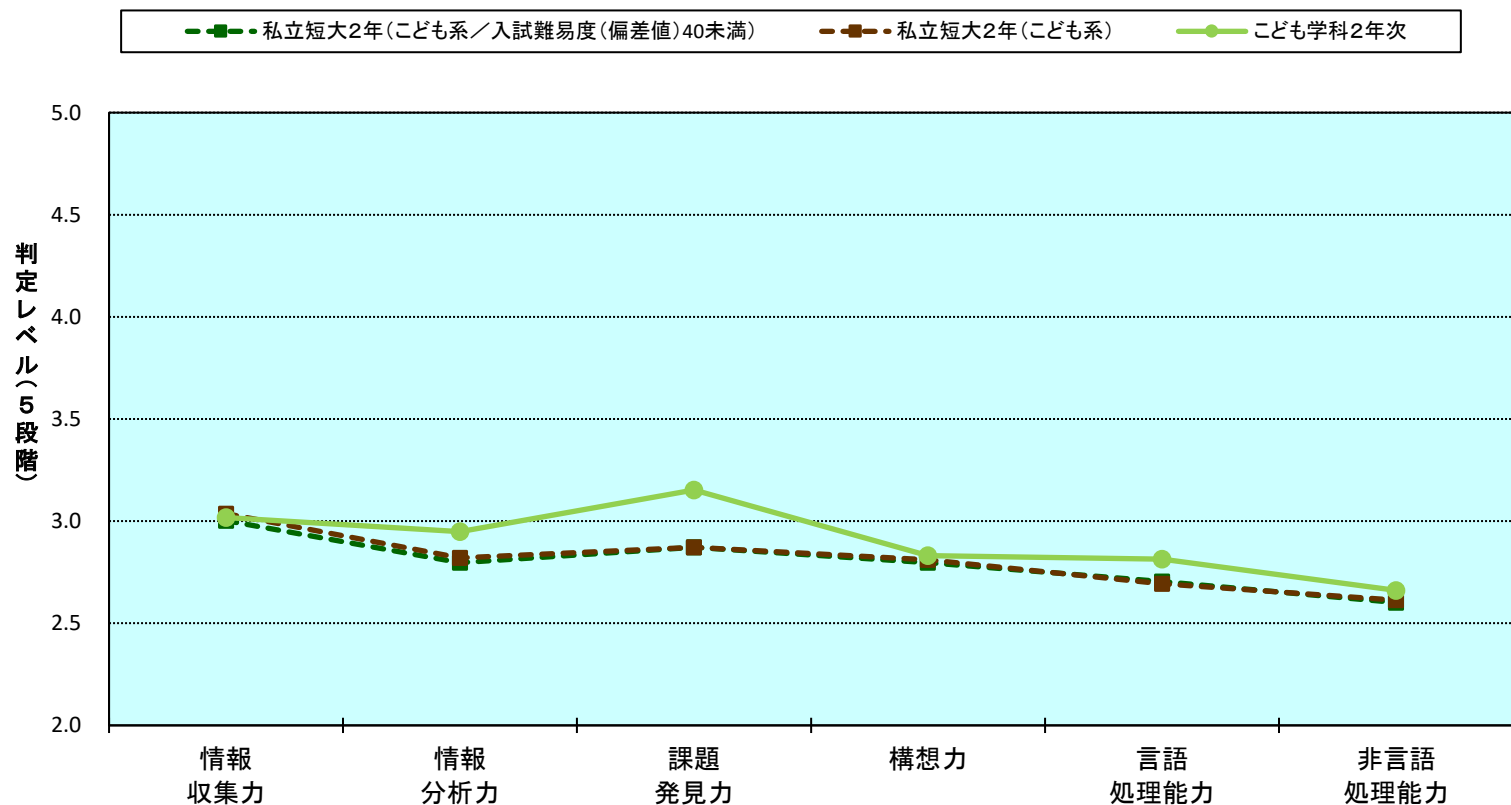


※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

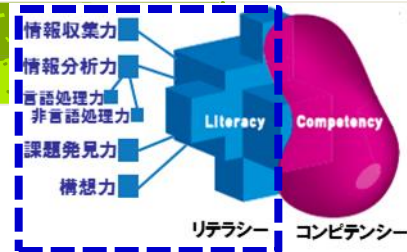
リテラシー要素



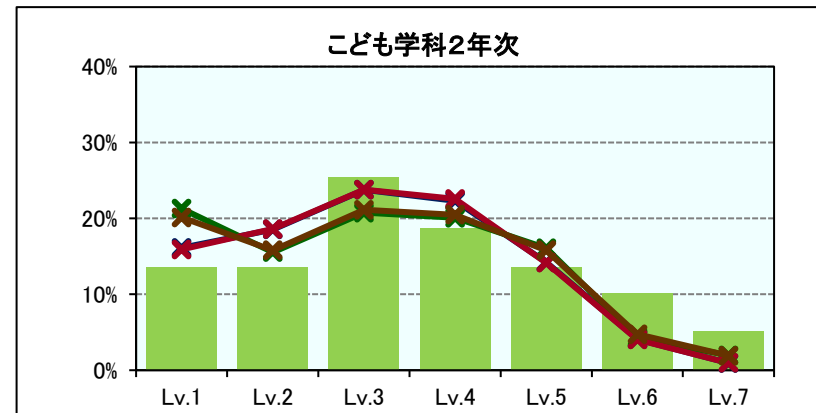
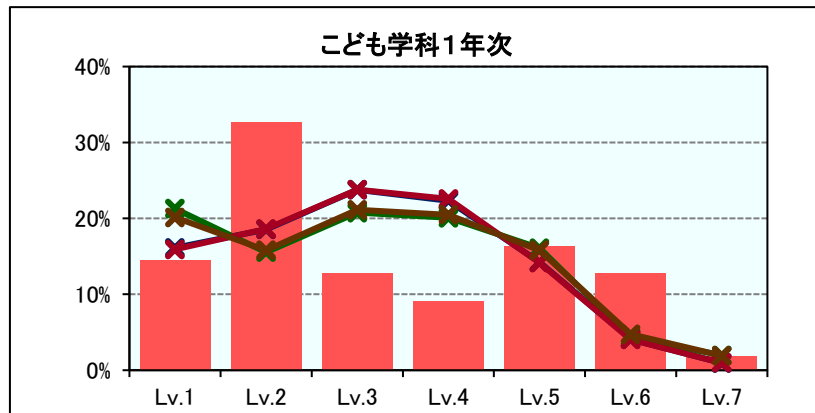
※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」



◆ 私立短大1年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満) ◆ 私立短大2年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)
◆ 私立短大1年(こども系) ◆ 私立短大2年(こども系)



【コンピテンシー総合】

●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

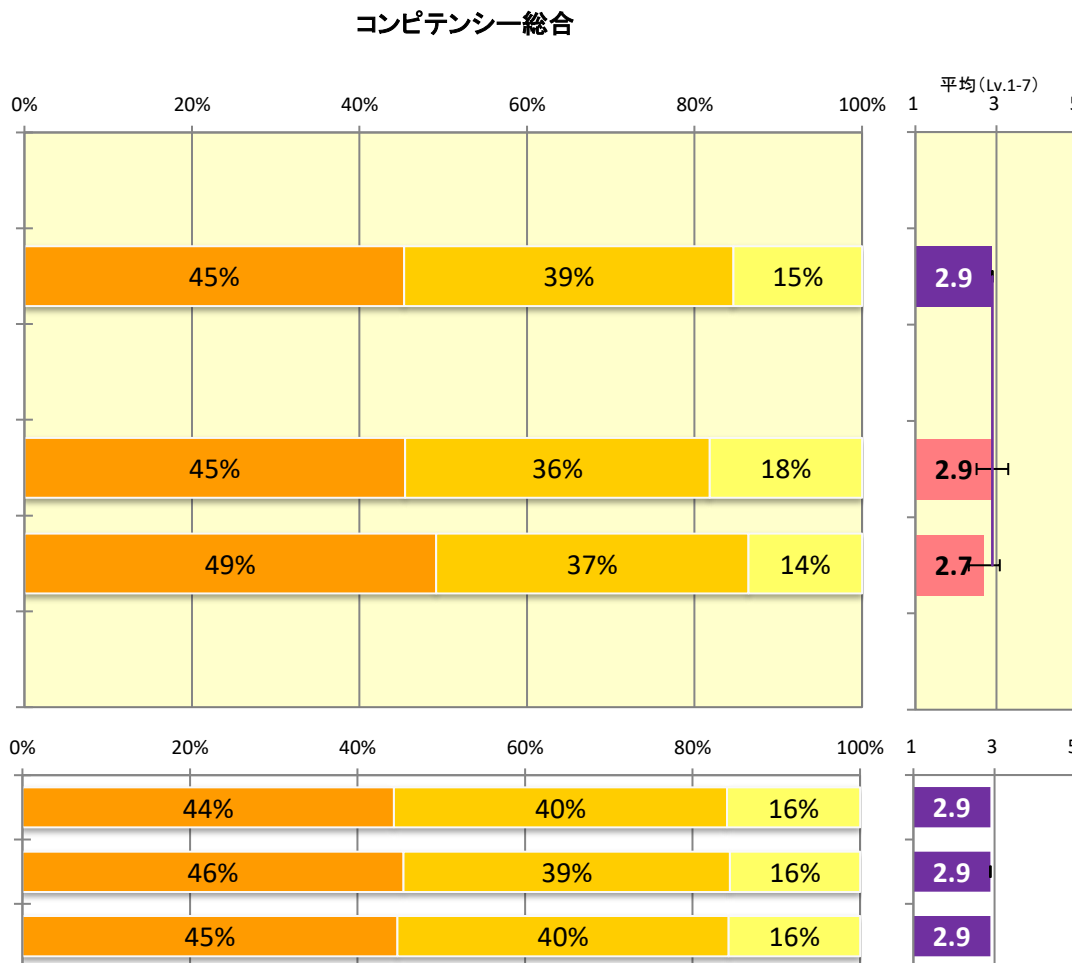
【基準集団】

★私立短大1年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)	24校 N=6,414
------------------------------	-------------

	χ^2 乗値	有意確率
こども学科1年次	0.41	0.82
こども学科2年次	0.38	0.83

【ご参考基準集団】

私立短大2年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)	19校 N=4,714
私立短大1年(こども系)	36校 N=7,923
私立短大2年(こども系)	30校 N=5,626



※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。
 ※基準集団のグラフの色は、すべて同じ色に設定しています。

【対人基礎力】

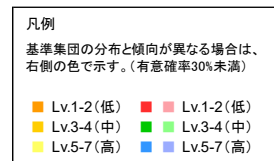
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対自己基礎力】

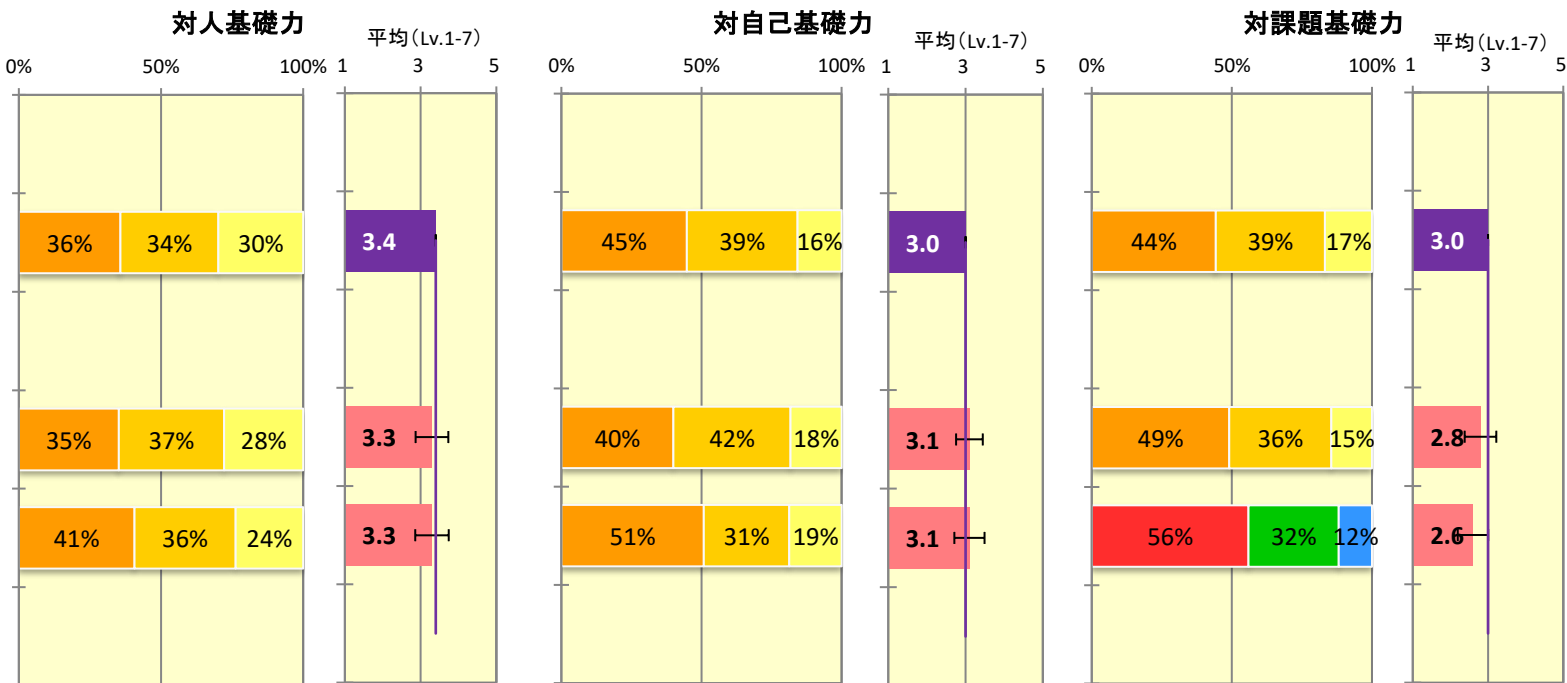
●基準集団(★印)と比較して、特に課題は見当たらない。

【対課題基礎力】

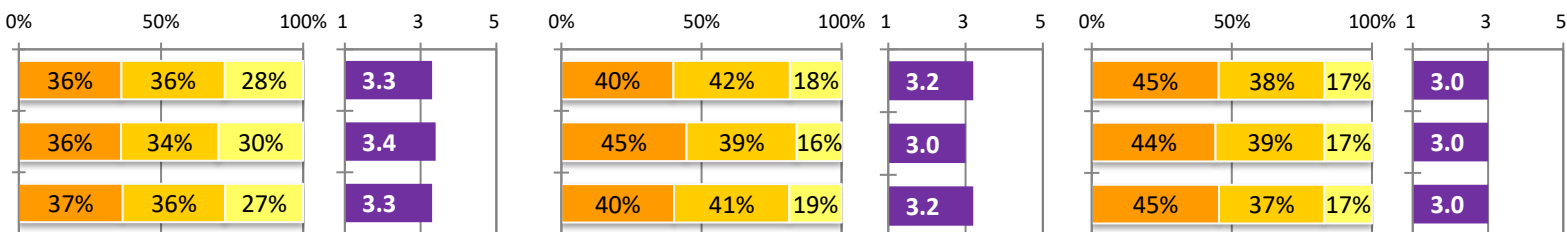
●基準集団(★印)と比較して、こども学科2年次は、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる。



★私立短大1年(こども系/
入試難易度(偏差値)40未満)



【ご参考基準集団】



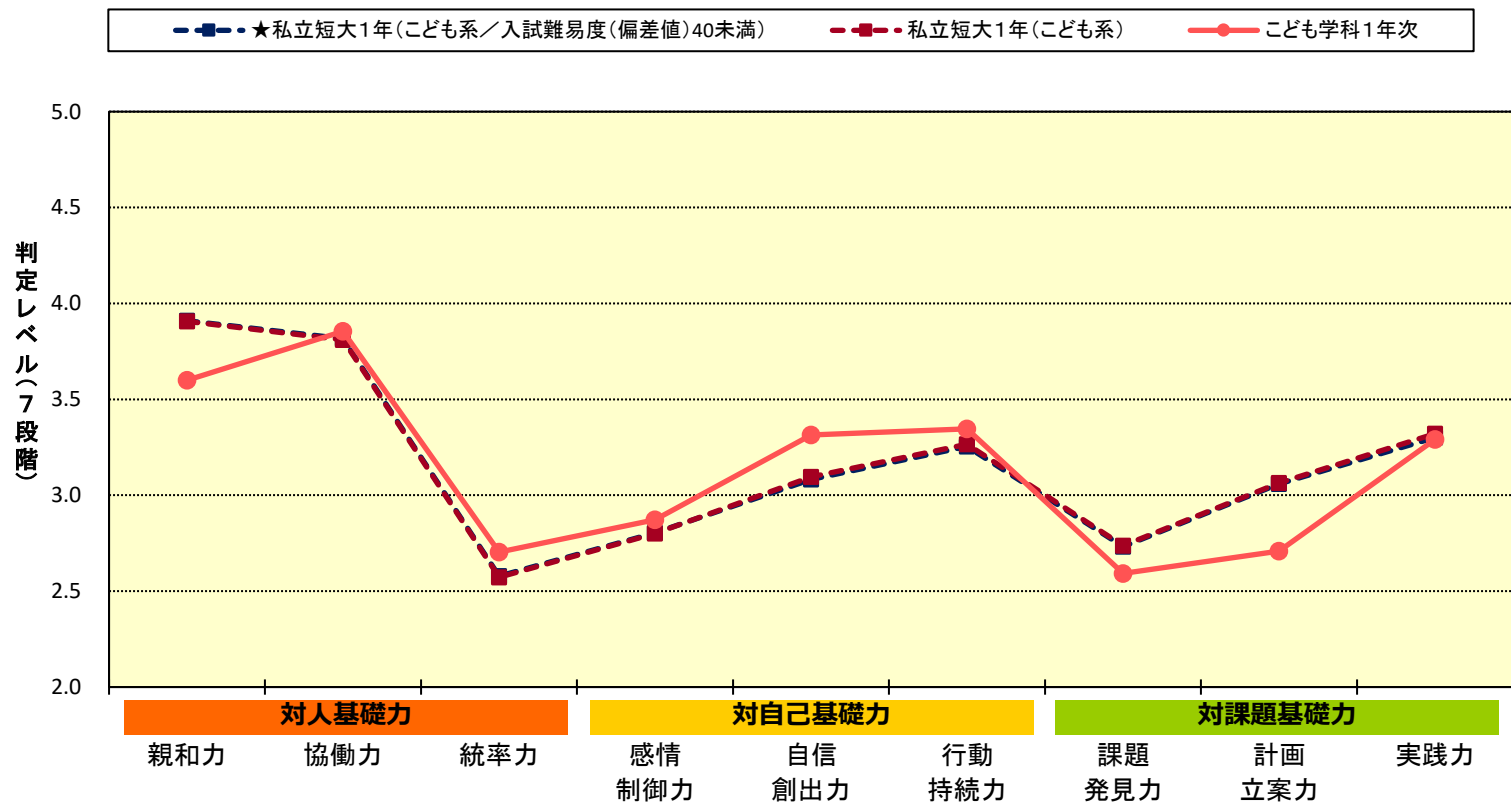
※平均グラフの先端のH状の横線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

コンピテンシー中分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

【こども学科1年次】

基準集団(★印)と比較して、自信創出力の平均値は高く、協働力、統率力、感情制御力、行動持続力の平均値は上回る傾向にある。一方、課題発見力、実践力の平均値は下回る傾向にあり、親和力、計画立案力の平均値は低い。

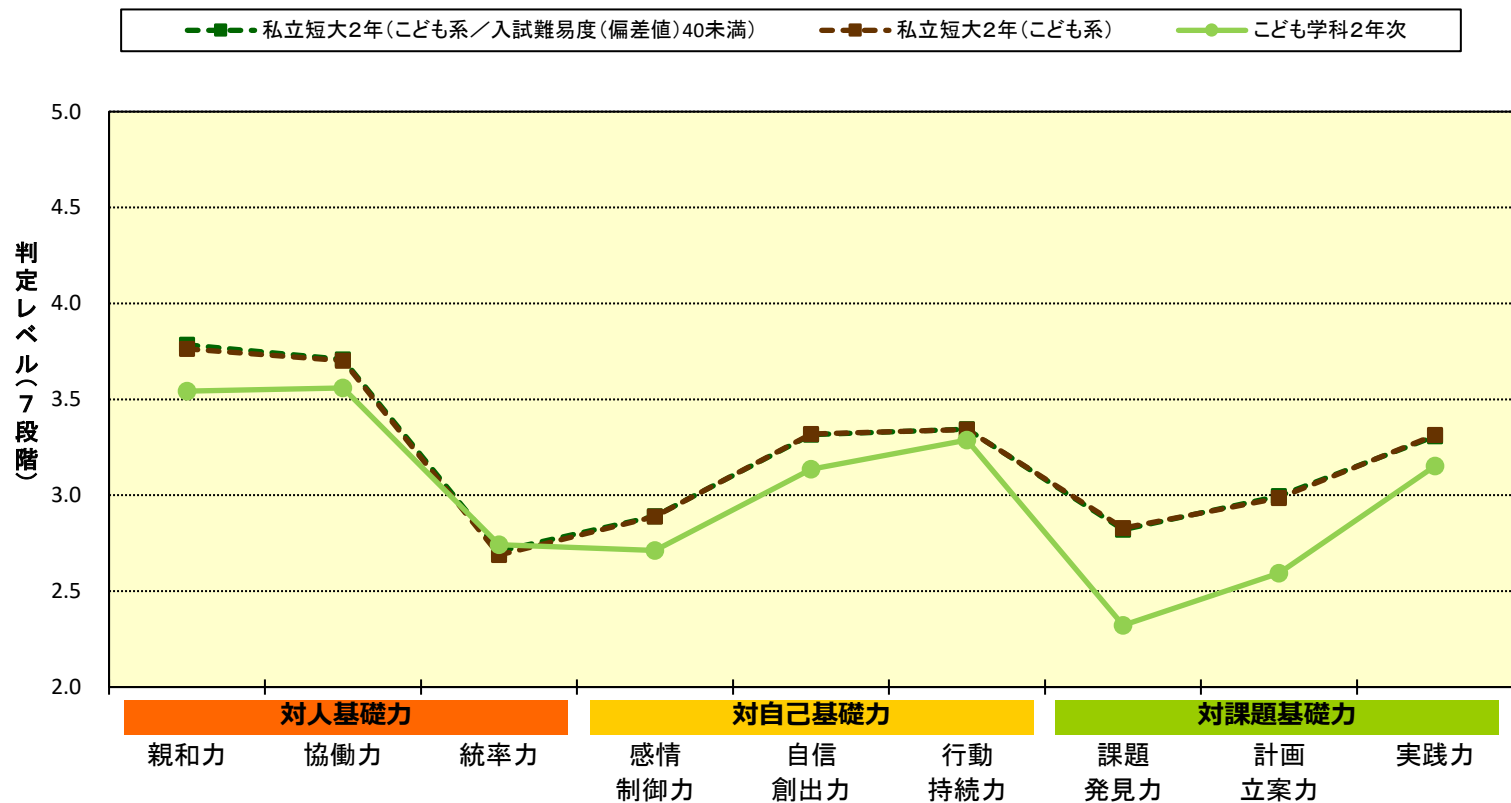
コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

- 1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」
- 2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」
- 3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」
- 4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

コンピテンシー中分類要素



※各尺度の傾向に対するコメントは、以下の記述ルールによる。

1) 標準誤差の下限が基準集団を上回る場合→「高い」

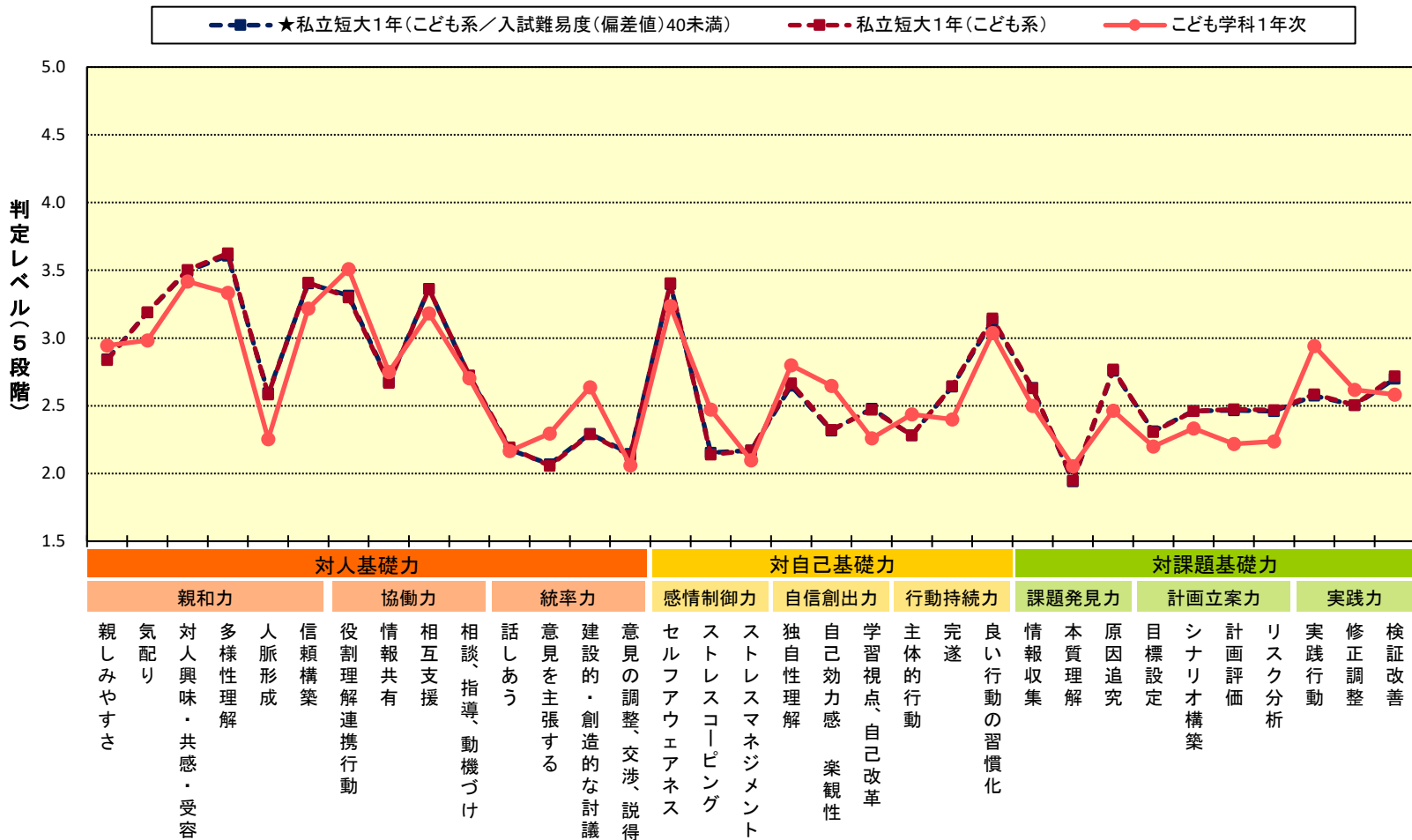
3) 基準集団よりも大きい、標準誤差の範囲内にある場合→「上回る傾向」

2) 標準誤差の上限が基準集団を下回る場合→「低い」

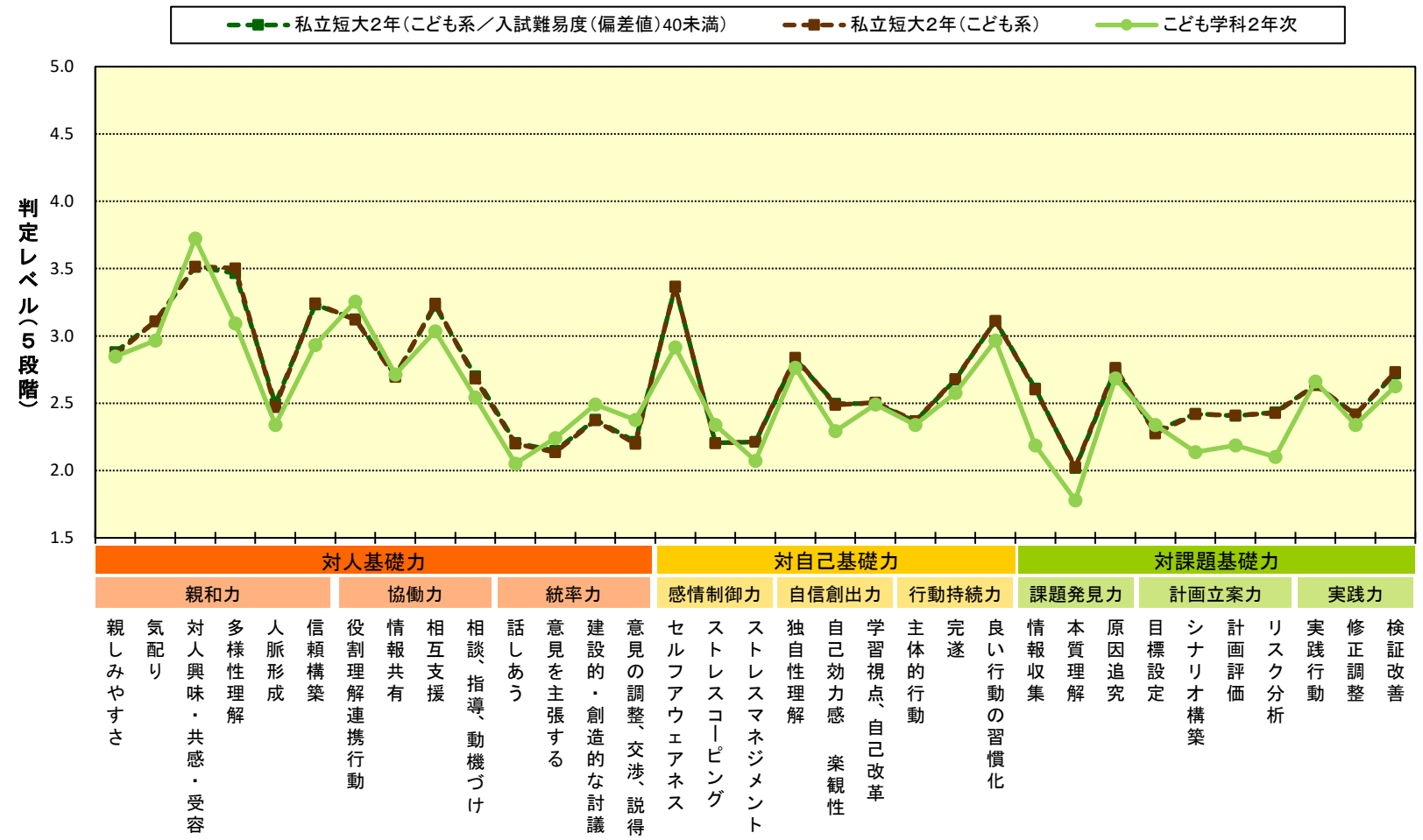
4) 基準集団よりも小さい、標準誤差の範囲内にある場合→「下回る傾向」

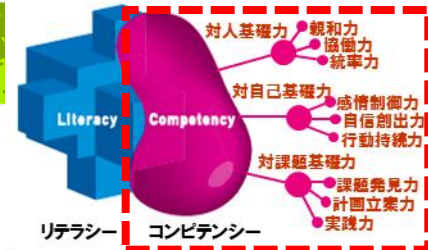
コンピテンシー小分類要素 判定レベルに見る全体傾向 ①

コンピテンシー小分類要素

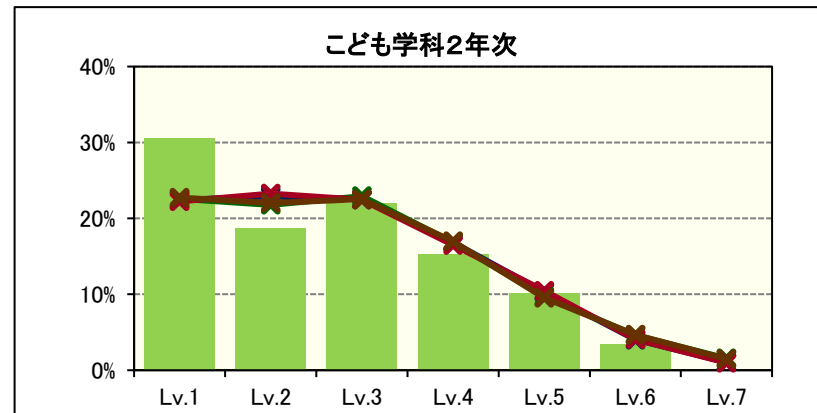
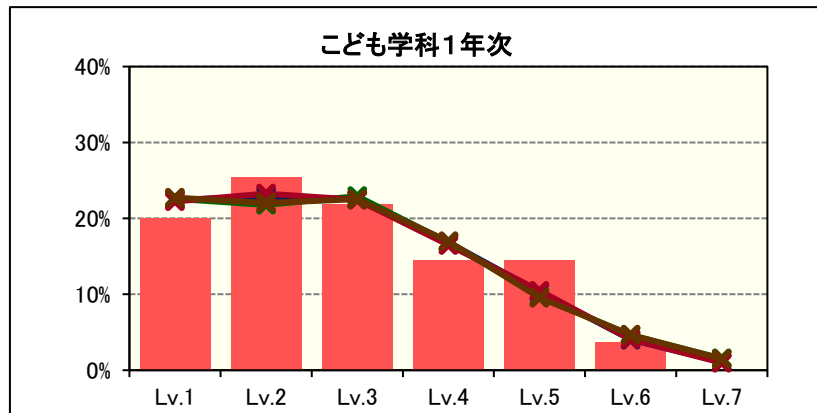


コンピテンシー小分類要素





- 私立短大1年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)
- 私立短大2年(こども系/入試難易度(偏差値)40未満)
- 私立短大1年(こども系)
- 私立短大2年(こども系)



	リテラシー					コンピテンシー									
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	総合	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
							親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
こども学科 1 年次	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	◎	-	-	▲	-
こども学科 2 年次	-	-	-	◎	-	-	▲	▲	-	-	-	-	▲	▲	-

記号のみかた

【リテラシー総合・コンピテンシー総合】

- ・・・基準集団と比較して、低レベルの分布が多く、当該能力の底上げが望まれる
- ▲・・・基準集団と比較して、低・中レベルの分布が多く、当該能力の全体的な引き上げが望まれる
- △・・・基準集団と比較して、中レベルの分布が多く、当該能力の一層の伸長が望まれる

【リテラシー要素・コンピテンシー要素】

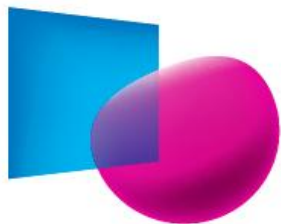
- ◎・・・標準誤差の下限が、基準集団を上回る
- ▲・・・標準誤差の上限が、基準集団を下回る

【こども学科1年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー ●親和力	相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする 誰に対しても臆せず接し人脈を広げていくことができる 築いた人脈や関係性の維持に努めることができる 人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持することができる	初対面の人たちとも、積極的に関係づくりをさせる機会を設ける 情報交換や、勉強会などを自主的に運営させる 責任ある言動によって、集団の中で信頼を獲得するよう指導する お礼状(お礼メール)など、人脈の維持・管理に関する指導を行う
●計画立案力	課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる 条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる 起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる	ゴール(目指す姿)をイメージしてから、課題に取り組みさせる 想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する 立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる

【こども学科2年次】

強化すべき要素	目指す状態	対応策のヒント
■リテラシー	基準集団と比較して、特に課題感のある要素は見当たらないが、低・中レベル学生の一層の能力引き上げが望まれる	
■コンピテンシー ●親和力	相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする 誰に対しても臆せず接し人脈を広げていくことができる 築いた人脈や関係性の維持に努めることができる 人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持することができる	初対面の人たちとも、積極的に関係づくりをさせる機会を設ける 情報交換や、勉強会などを自主的に運営させる 責任ある言動によって、集団の中で信頼を獲得するよう指導する お礼状(お礼メール)など、人脈の維持・管理に関する指導を行う
●協働力	リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる チーム全体のやる気を高めることができる リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる 相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる	他者に教えることで、自分の知識を定着させるような機会を設ける リーダーとして周囲を動かすような機会を設ける リーダーとしてチーム全体のやる気を高めるような機会を設ける
●課題発見力	課題に対し自分なりに情報を集めることができる 集めた情報を客観的に整理しようとする 興味のある分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理・分析することができる 分析を基に自分なりに因果関係の仮説を立てることができる	様々な情報源を適切に活用できるよう指導する 思い込みや常識に捉われず、本質を深く考えるよう指導する 原因を明らかにするために、さまざまな角度から検討・分析するよう指導する
●計画立案力	課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる 立案した計画や目標に自分なりに取り組むことができる 条件が明確な課題であれば、発生しそうな問題を予め考えることができる 起こりうる事象を予測し、計画を立て取り組むことができる	ゴール(目指す姿)をイメージしてから、課題に取り組みさせる 想定される障害を考慮して代替案を考えるよう指導する 立てた計画について、達成の見込みや問題点を客観的にあげさせる



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.7

過去受験者との比較

1年次

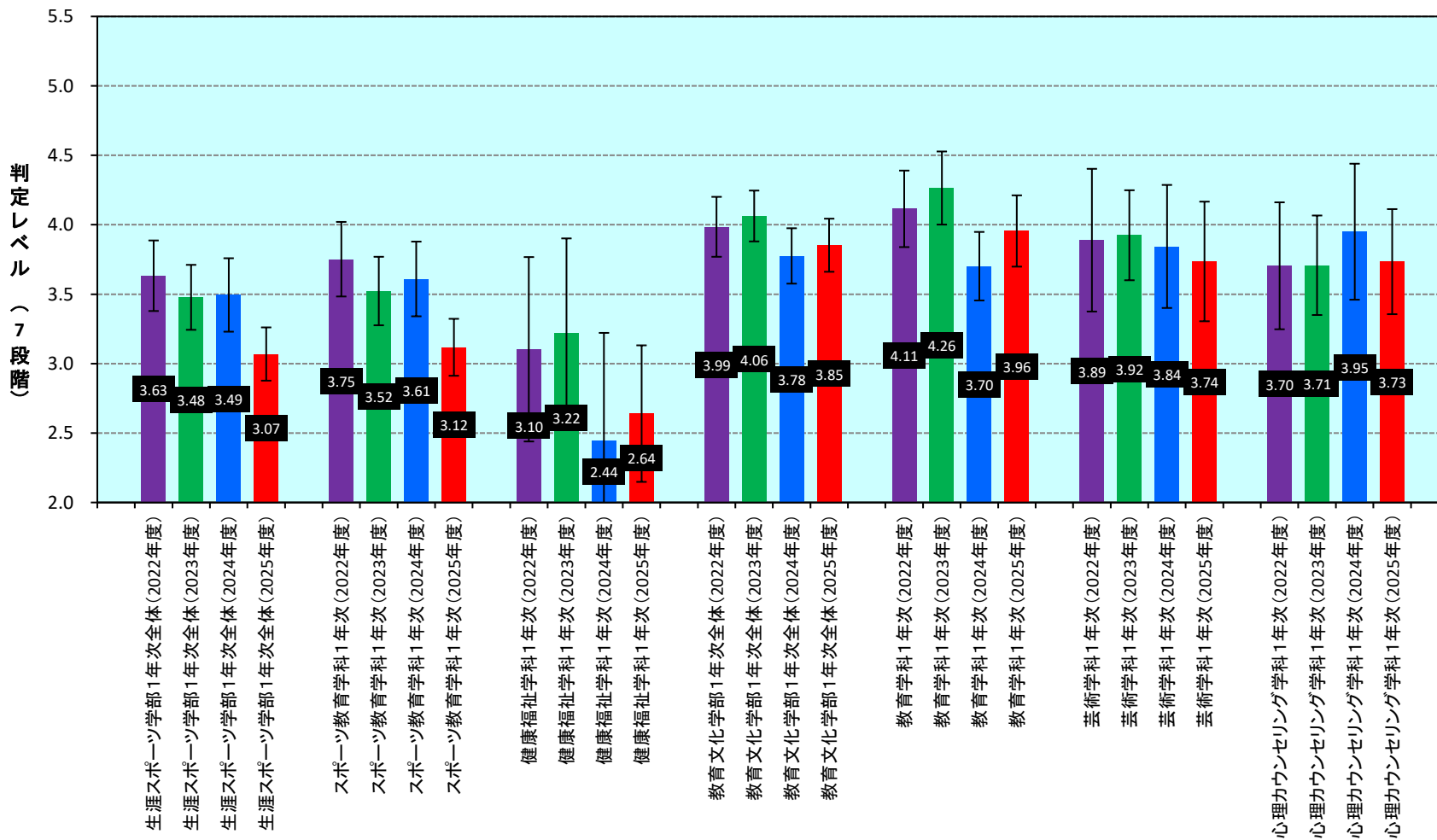
学部	学科	2022年度 1年次	2023年度 1年次	2024年度 1年次	2025年度 1年次
		2022年5月～8月 受験	2023年5月～8月 受験	2024年5月～7月 受験	2025年4月～6月 受験
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	129	132	82	221
	健康福祉学科	29	23	9	25
		158	155	91	246
教育文化学部	教育学科	122	121	124	134
	芸術学科	36	53	32	53
	心理カウンセリング学科	44	48	40	64
		202	222	196	251
合計		360	377	287	497

※WEB受験を実施した学生のリテラシーテストについて、全30問中解答数20問以下の学生について、解答姿勢が低かったことが想定されるため、これらの学生のスコアを除いて集計しております。

リテラシー総合（過去の受験者との比較）

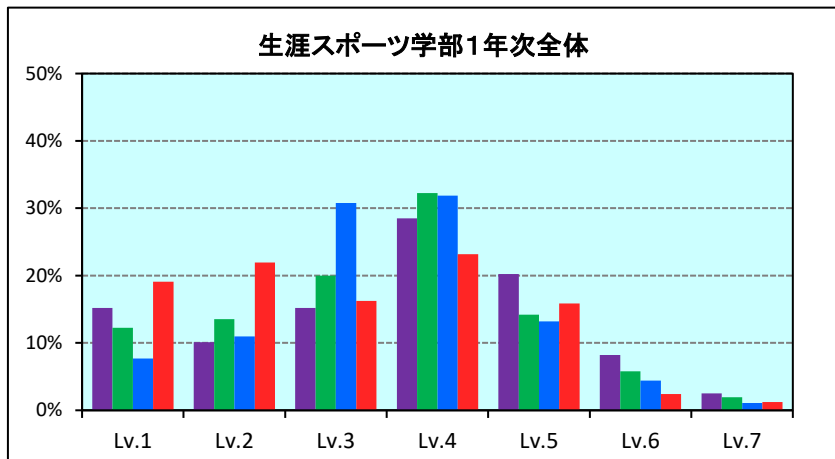
- 健康福祉学科1年次、教育文化学部1年次全体、教育学科1年次は、2024年度のスコアを上回る。
 - 生涯スポーツ学部1年次全体、スポーツ教育学科1年次、芸術学科1年次、心理カウンセリング学科1年次は、2024年度のスコアを下回る。
- （※健康福祉学科1年次(2024年度)は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

リテラシー総合

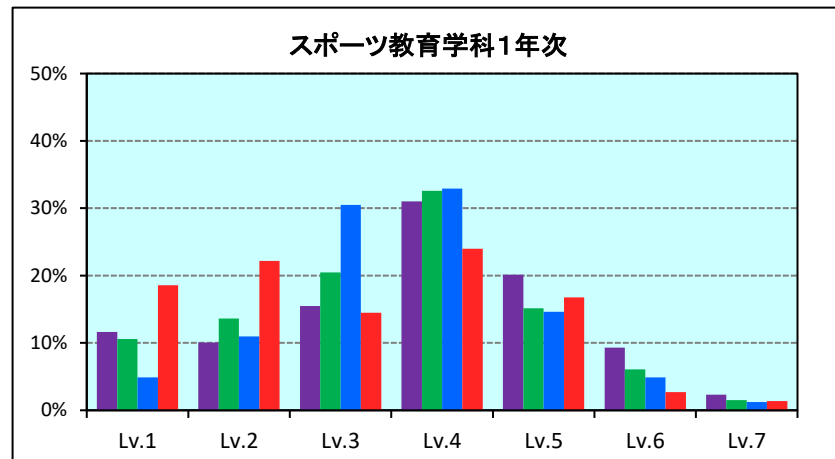


※平均グラフの先端のI状の縦線は、スコア±標準誤差(SE)×2を表す。

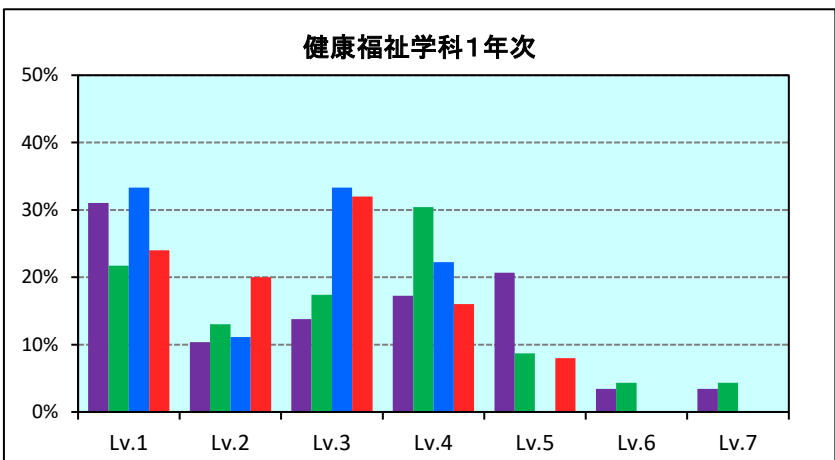
■2022年度 ■2023年度 ■2024年度 ■2025年度



2024年度に比べて、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル1～2のボリュームが大きい。

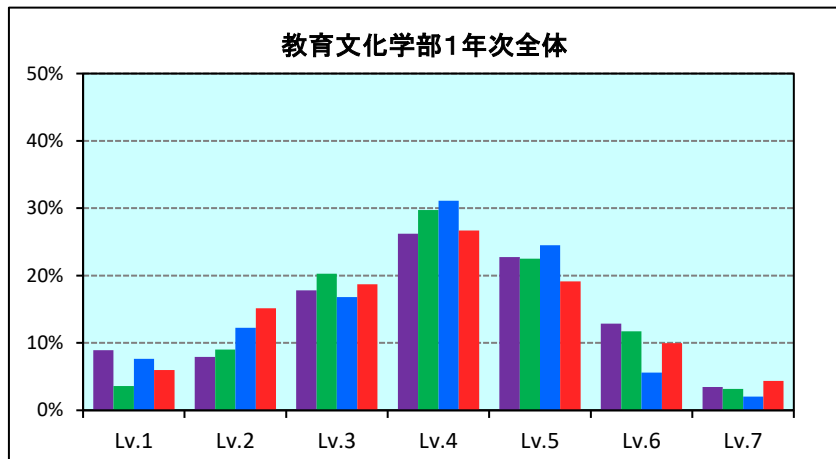


2024年度に比べて、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル1～2のボリュームが大きい。

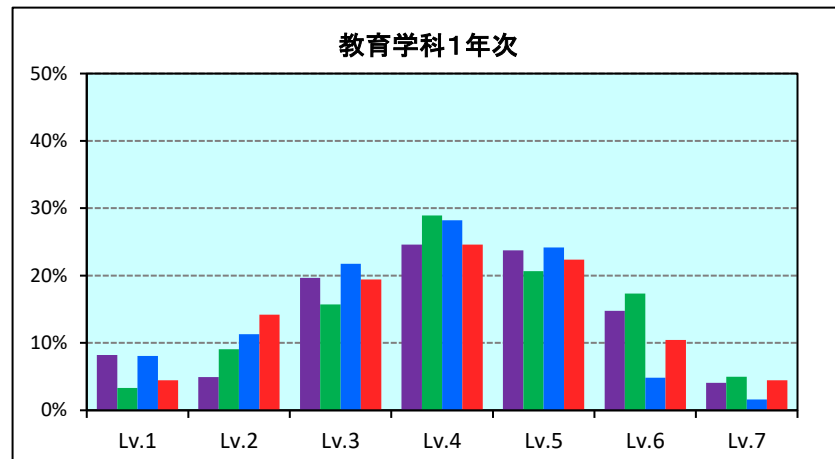


(※2024年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

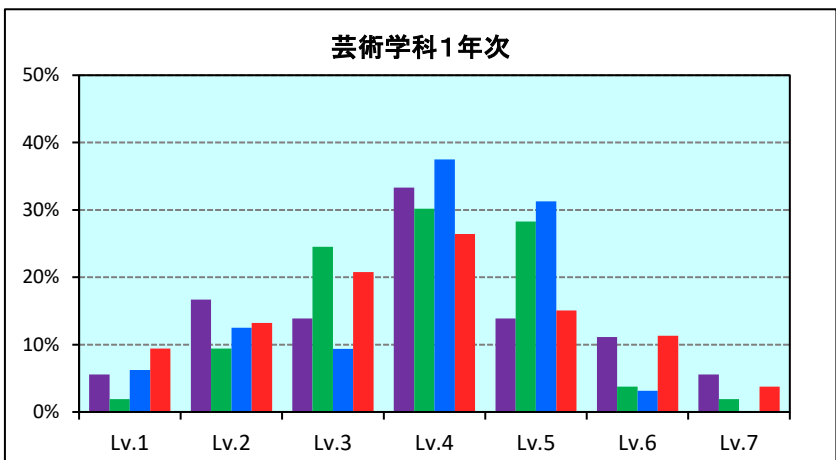
■2022年度 ■2023年度 ■2024年度 ■2025年度



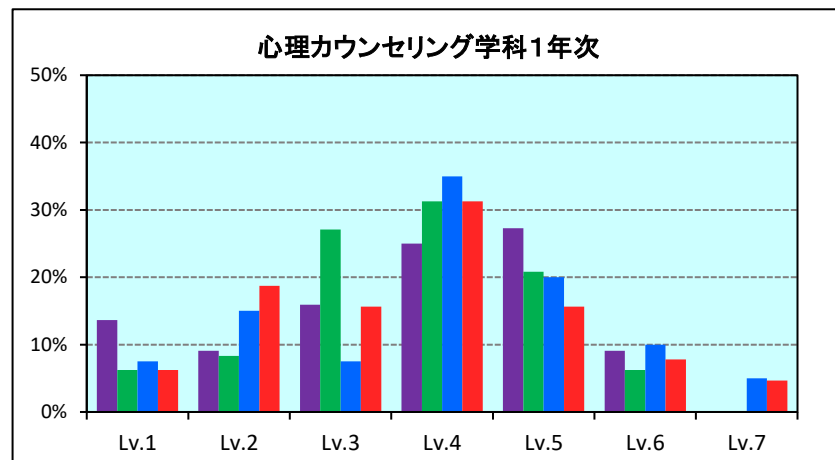
2024年度に比べて、レベル4～5のボリュームが小さく、レベル6の割合が大きい。



2024年度に比べて、レベル1、レベル4の割合が小さく、レベル6の割合が大きい。



2024年度に比べて、レベル4～5のボリュームが小さく、レベル1、レベル3、レベル6～7のボリュームが大きい。



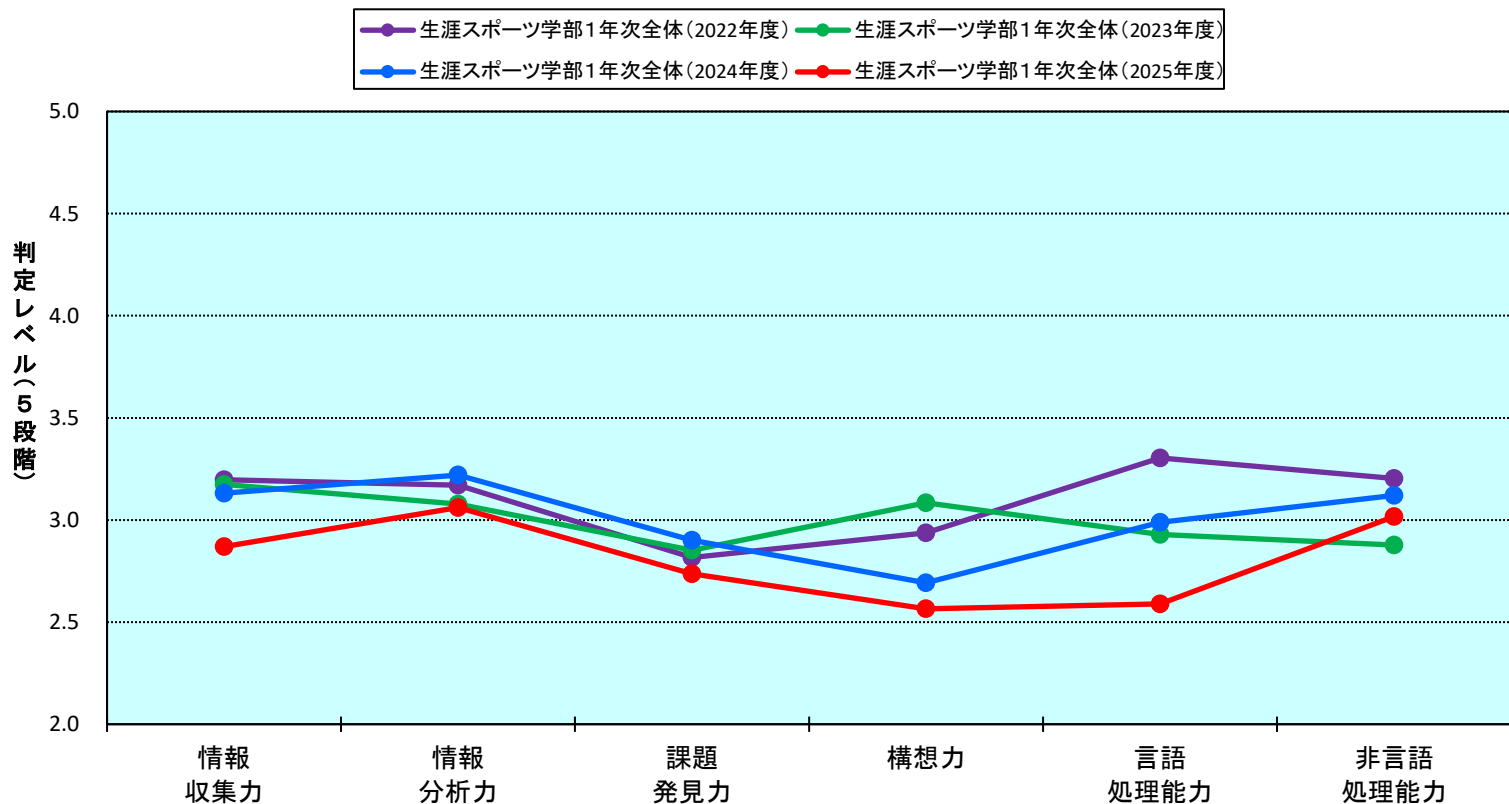
2024年度に比べて、レベル4～5のボリュームが小さく、レベル2～3のボリュームが大きい。

リテラシー要素（過去の受験者との比較）①

【生涯スポーツ学部1年次全体】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

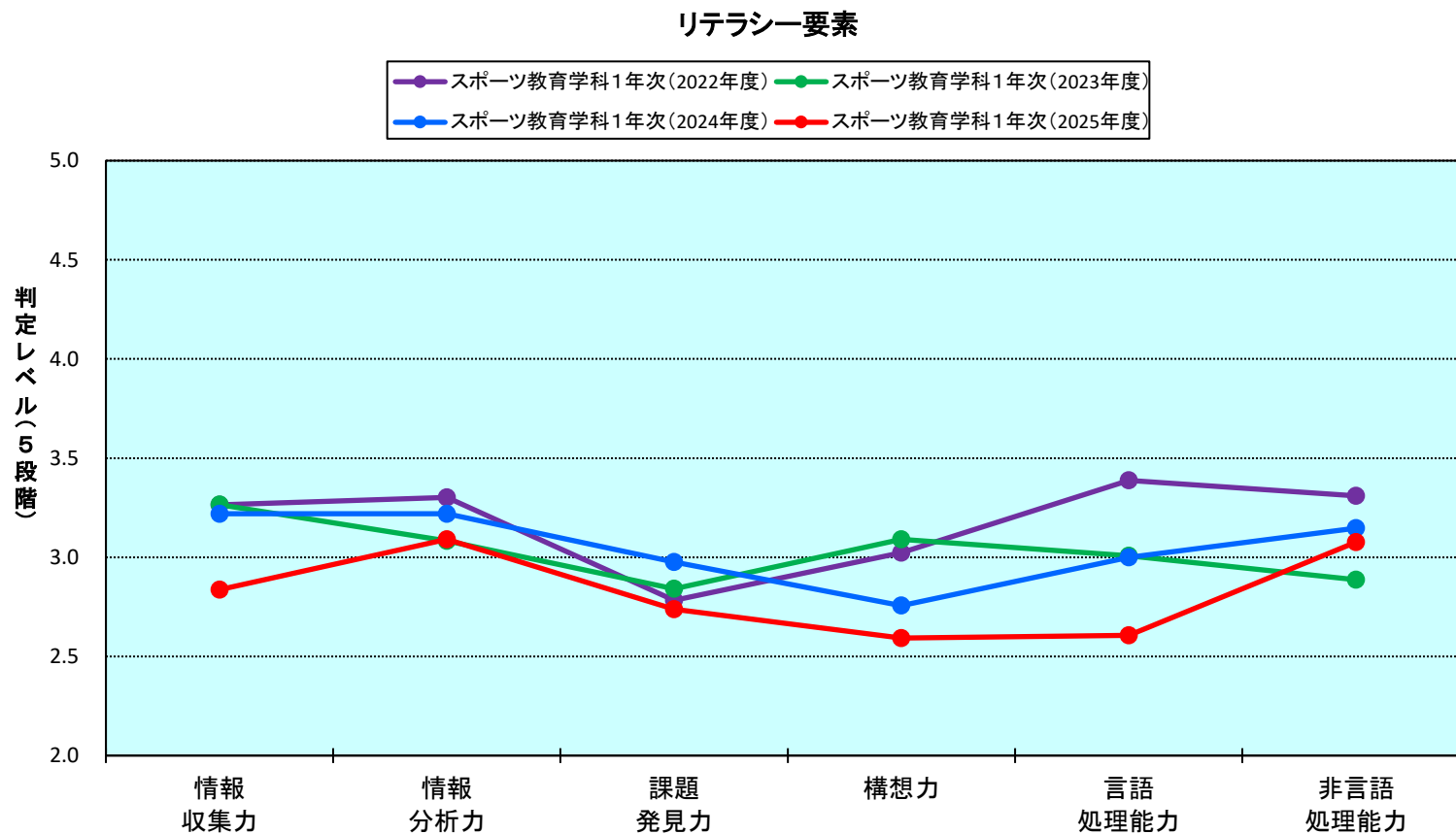
リテラシー要素



リテラシー要素（過去の受験者との比較）②

【スポーツ教育学科1年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。



リテラシー要素（過去の受験者との比較）③

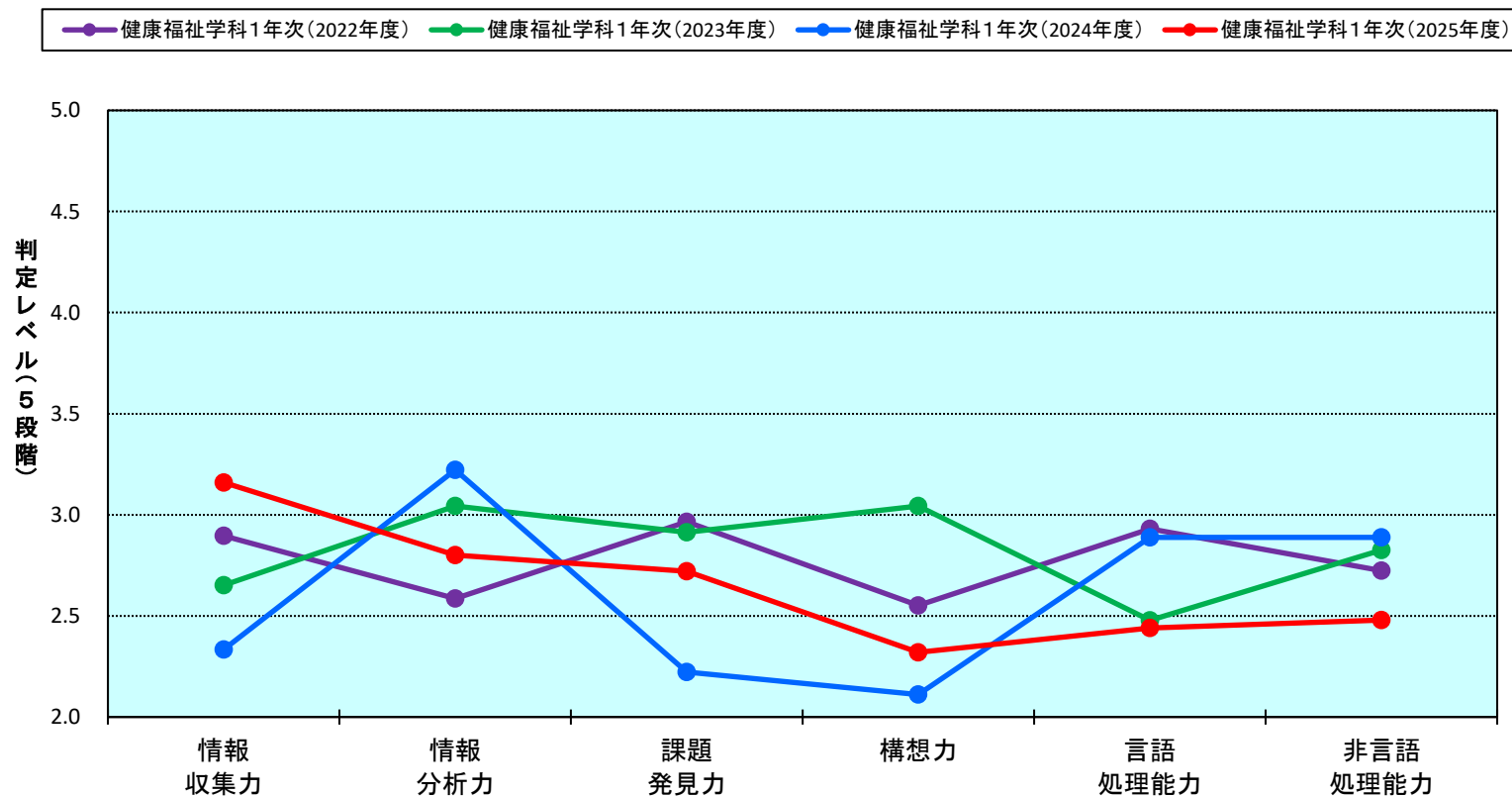
【健康福祉学科1年次】

情報収集力、課題発見力、構想力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、情報分析力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

（※2024年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

リテラシー要素



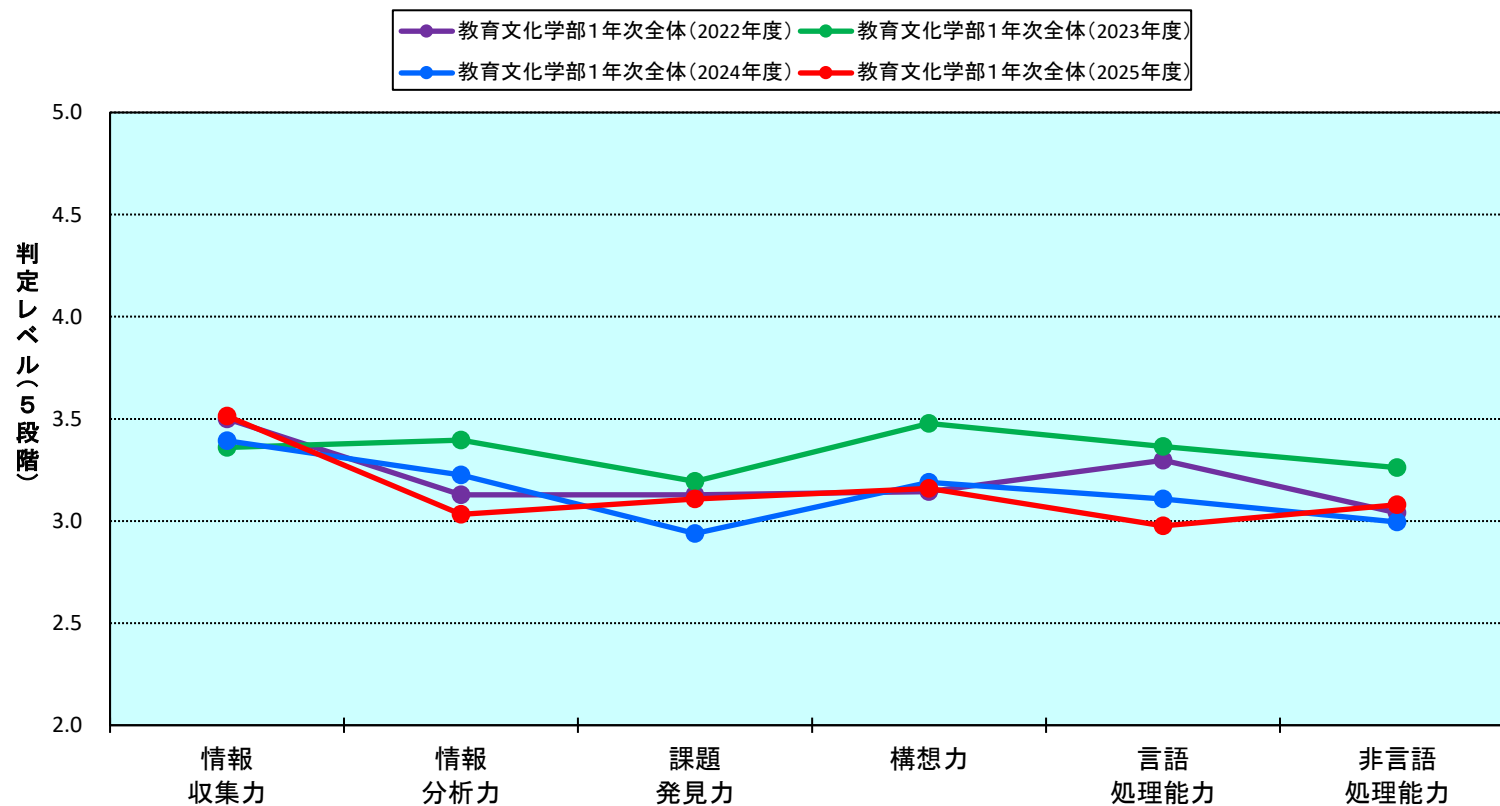
リテラシー要素（過去の受験者との比較）④

【教育文化学部1年次全体】

情報収集力、課題発見力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、情報分析力、構想力、言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

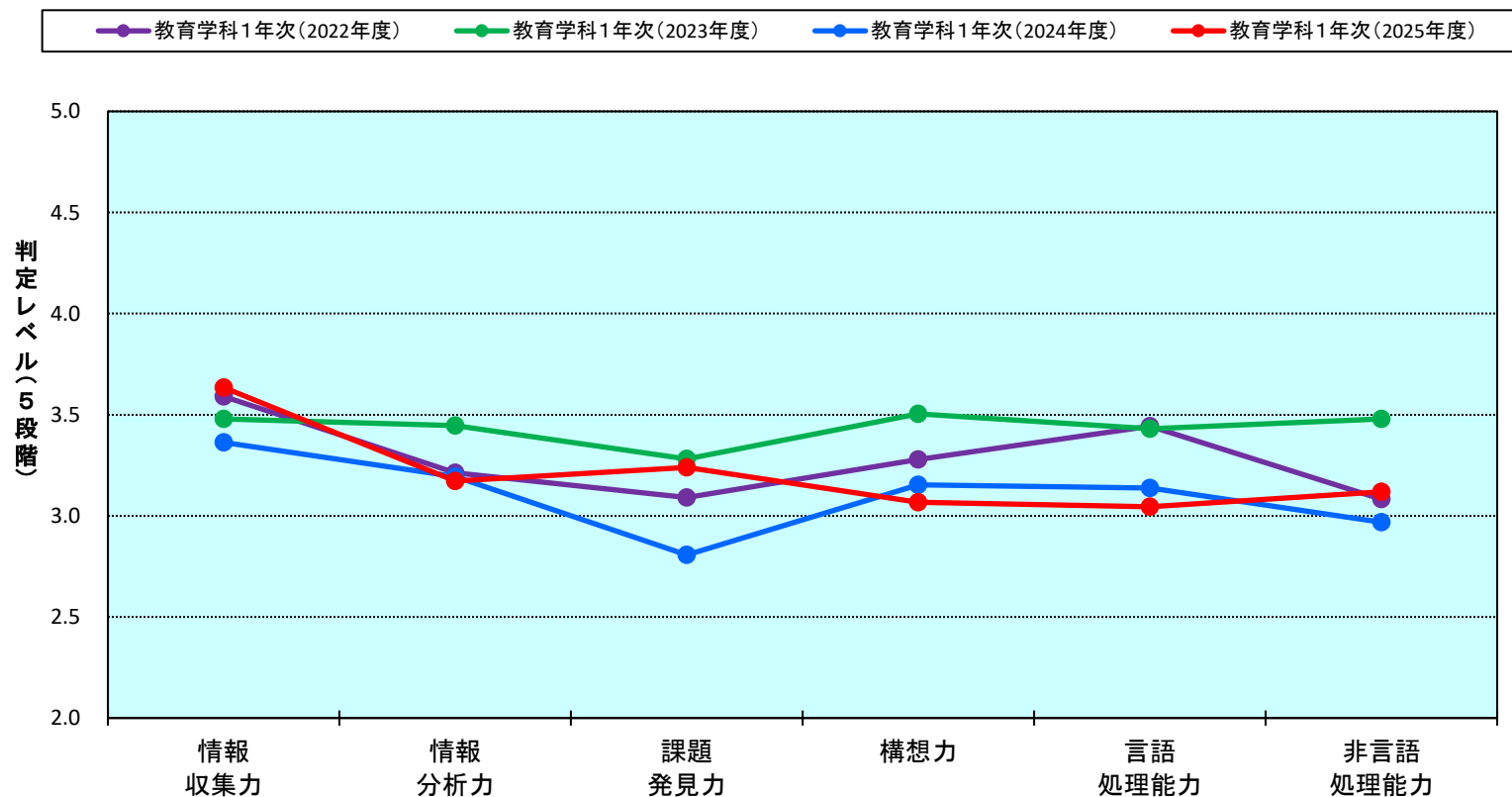
リテラシー要素



【教育学科1年次】

情報収集力、課題発見力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。
一方、情報分析力、構想力、言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素



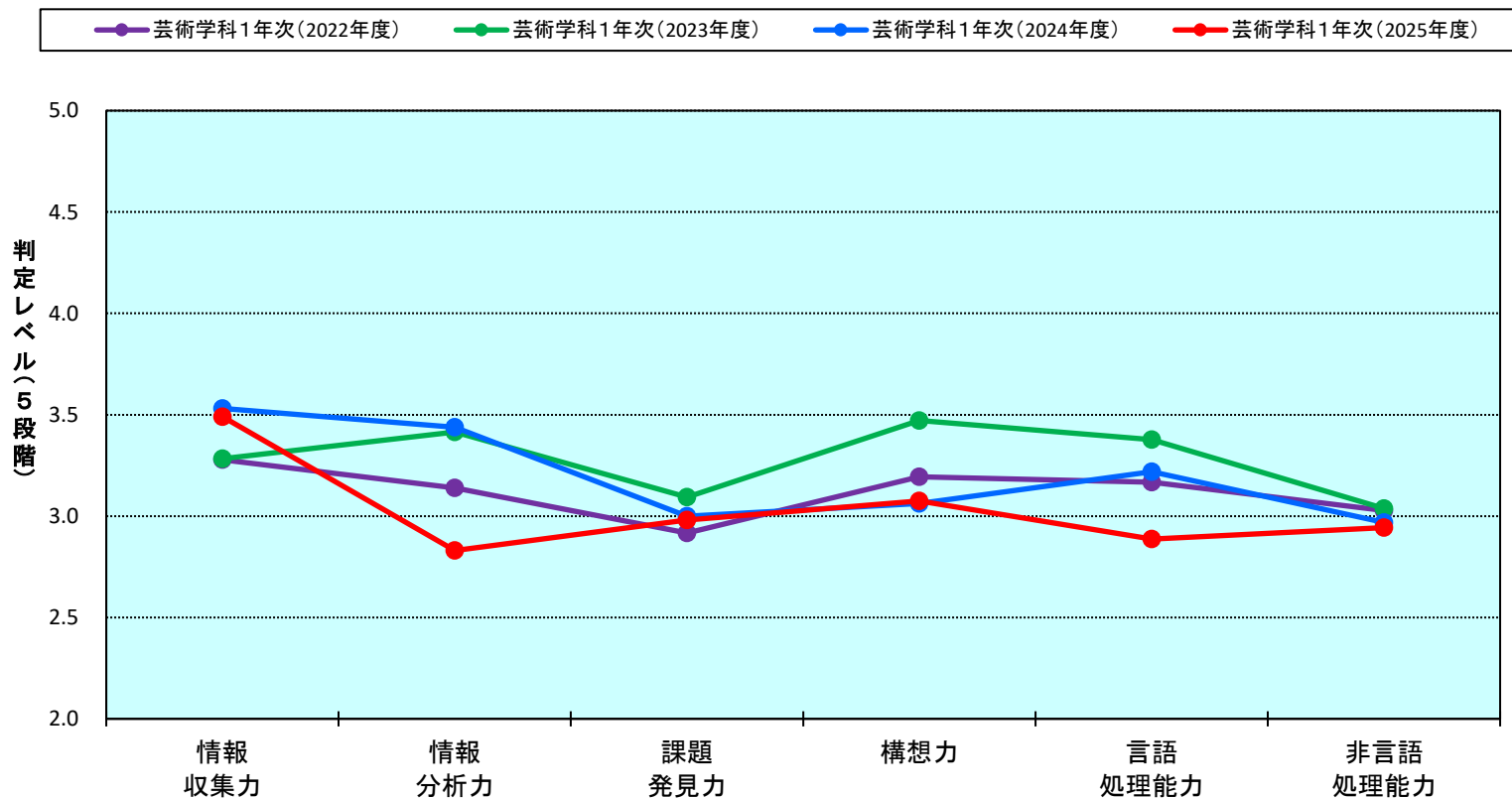
リテラシー要素（過去の受験者との比較）⑥

【芸術学科1年次】

構想力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、情報収集力、情報分析力、課題発見力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

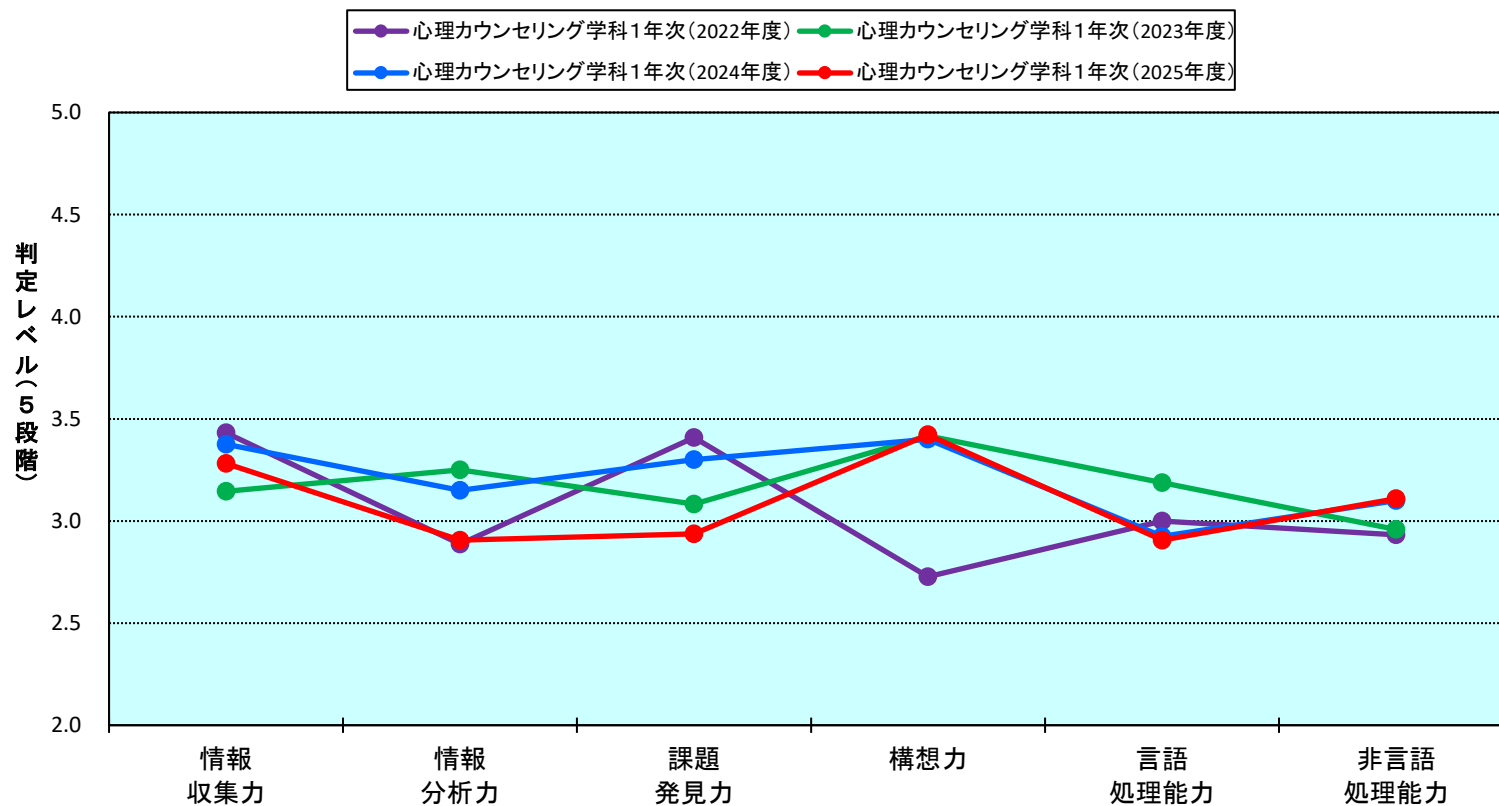


【心理カウンセリング学科1年次】

構想力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、情報収集力、情報分析力、課題発見力、言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

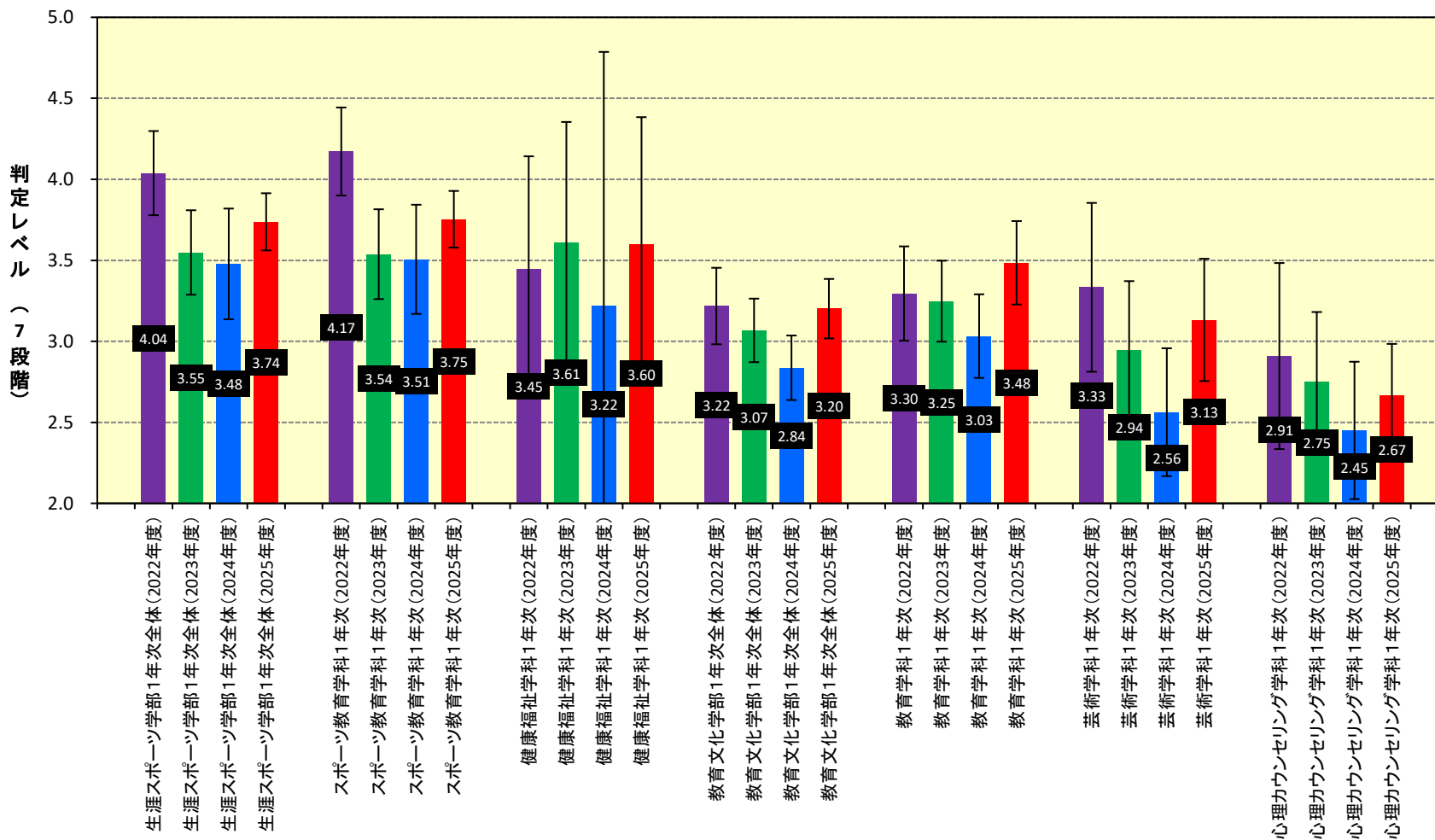


コンピテンシー総合（過去の受験者との比較）

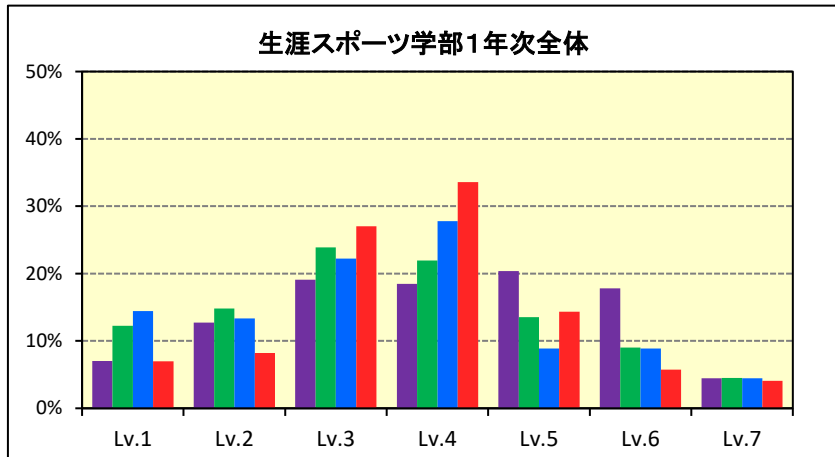
●生涯スポーツ学部1年次全体、スポーツ教育学科1年次、健康福祉学科1年次、教育文化学部1年次全体、教育学科1年次、芸術学科1年次、心理カウンセリング学科1年次は、2024年度のスコアを上回る。

(※健康福祉学科1年次(2024年度)は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

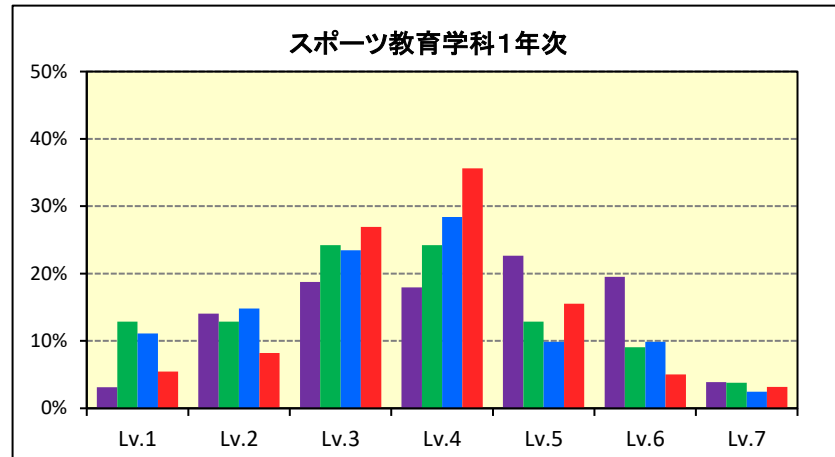
コンピテンシー総合



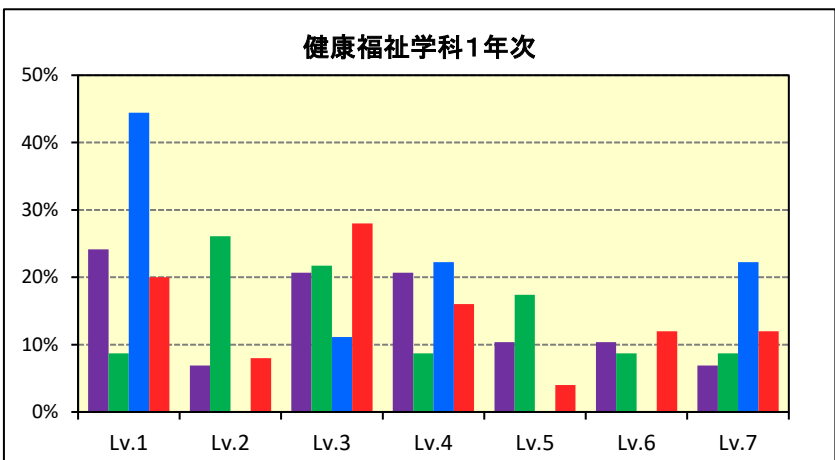
■2022年度 ■2023年度 ■2024年度 ■2025年度



2024年度に比べて、レベル1～2、レベル6のボリュームが小さく、レベル3～5のボリュームが大きい。

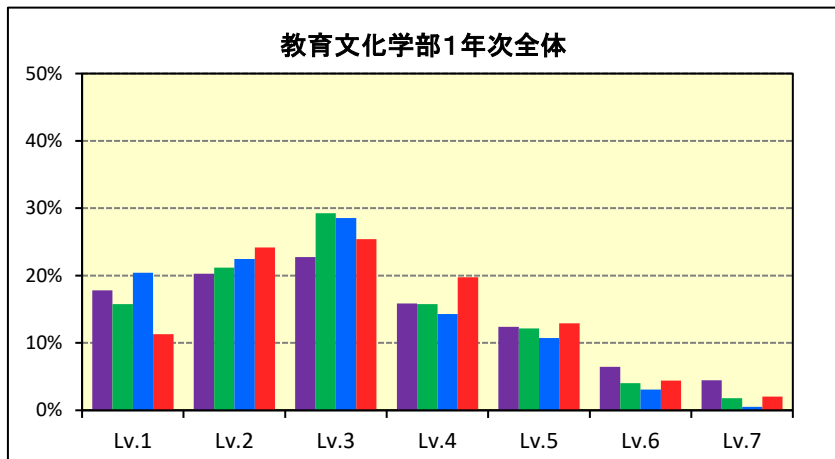


2024年度に比べて、レベル1～2、レベル6のボリュームが小さく、レベル3～5のボリュームが大きい。

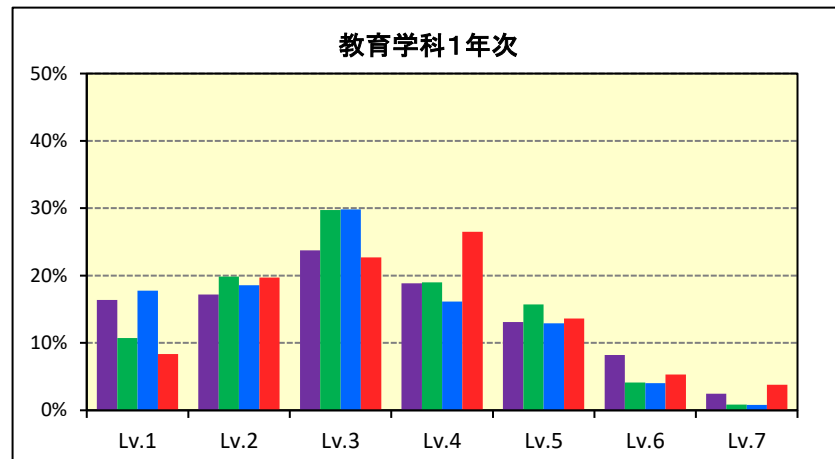


(※2024年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

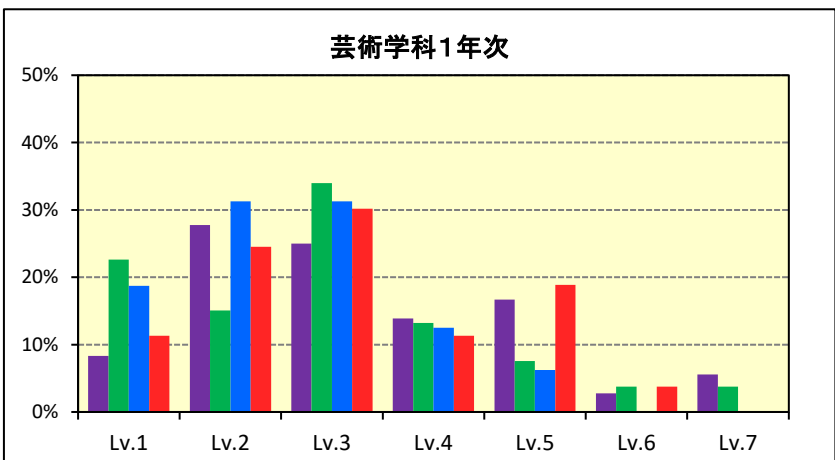
■2022年度 ■2023年度 ■2024年度 ■2025年度



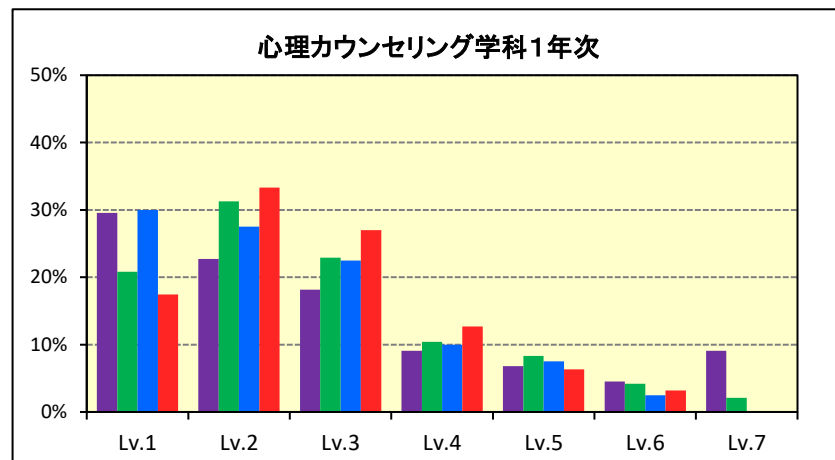
2024年度に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル4の割合が大きい。



2024年度に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル4の割合が大きい。



2024年度に比べて、レベル1~2のボリュームが小さく、レベル5~6のボリュームが大きい。



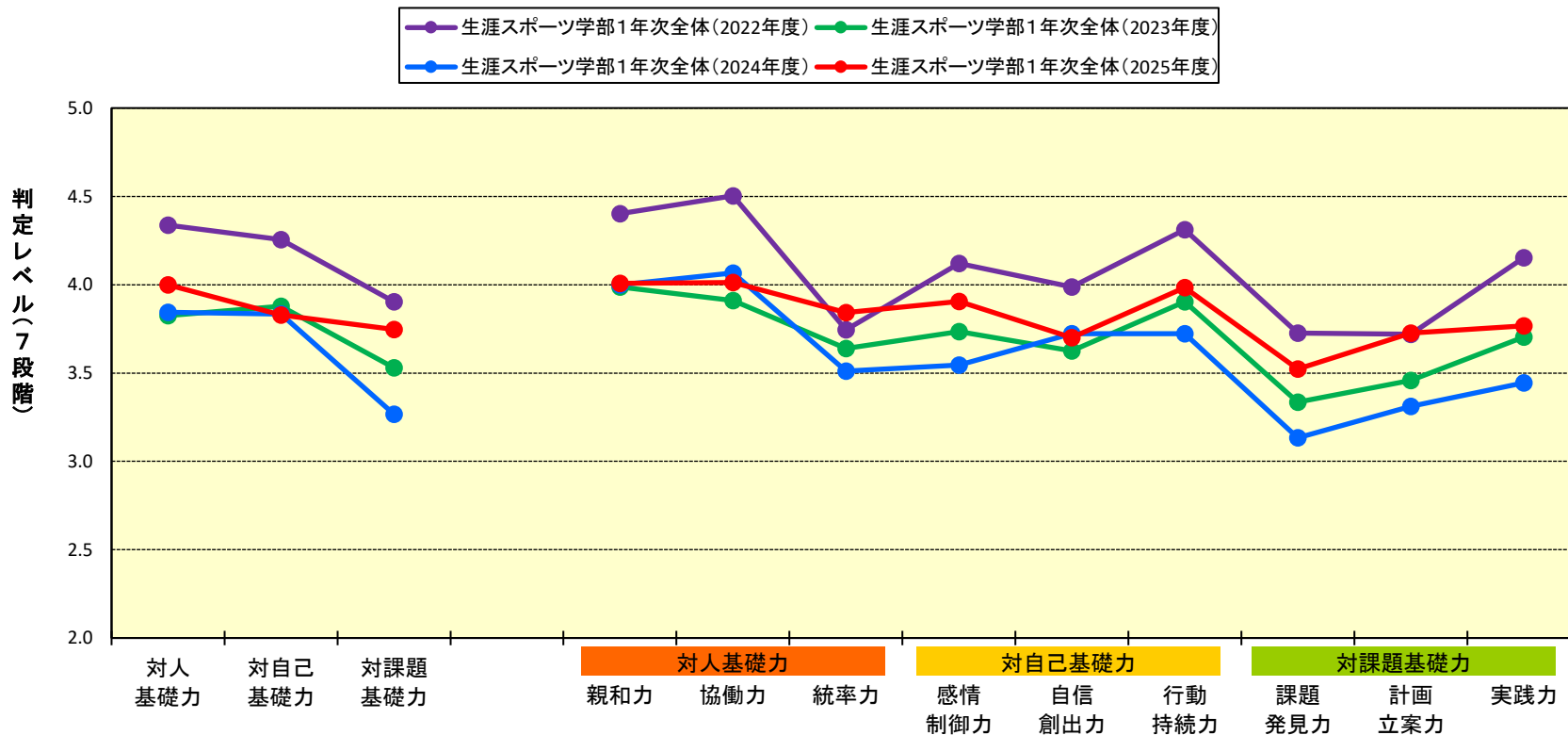
2024年度に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル2~3のボリュームが大きい。

コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）①

【生涯スポーツ学部1年次全体】

親和力、統率力、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。
一方、協働力、自信創出力は、2024年度スコアを下回る。

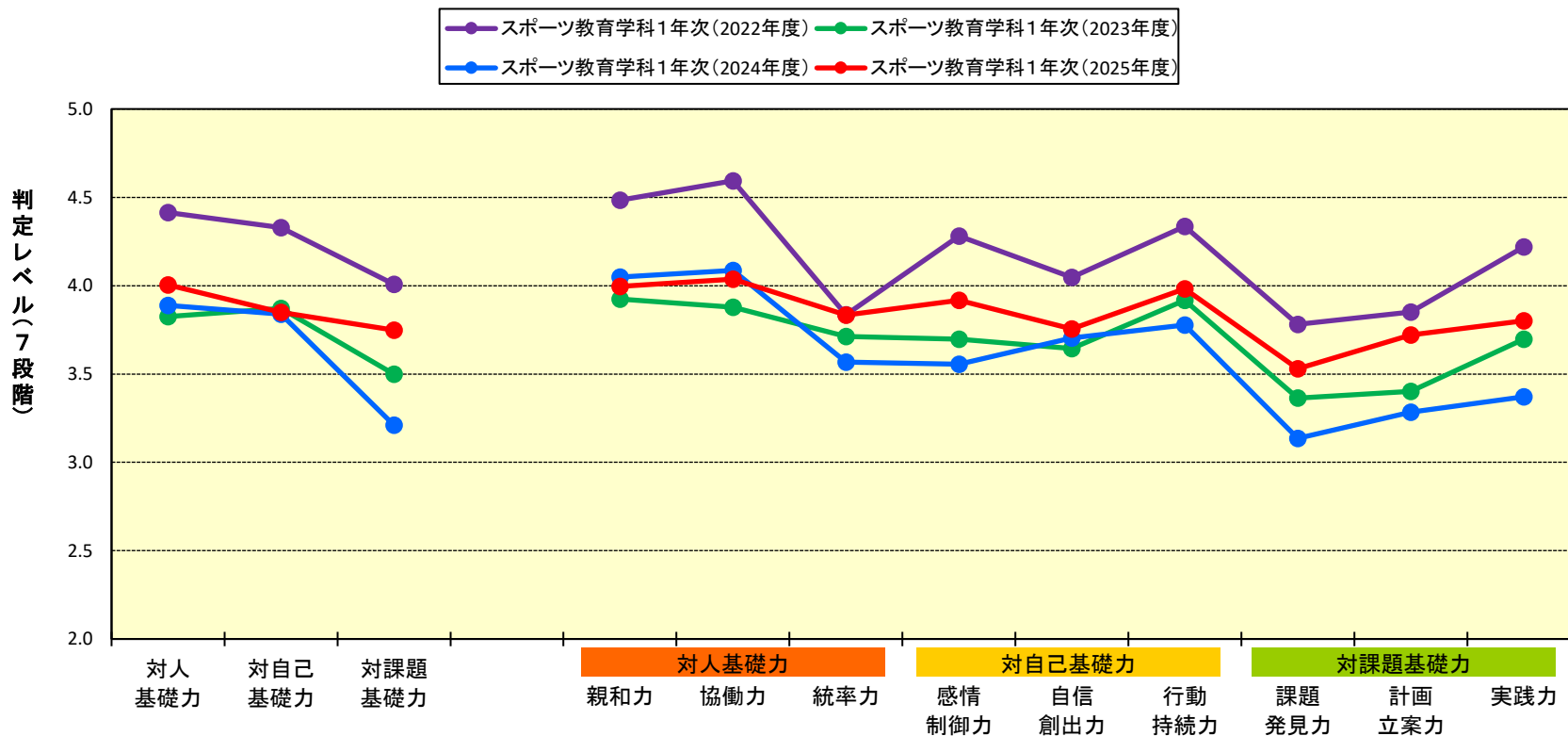
コンピテンシー要素の伸長



【スポーツ教育学科1年次】

統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、親和力、協働力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）③

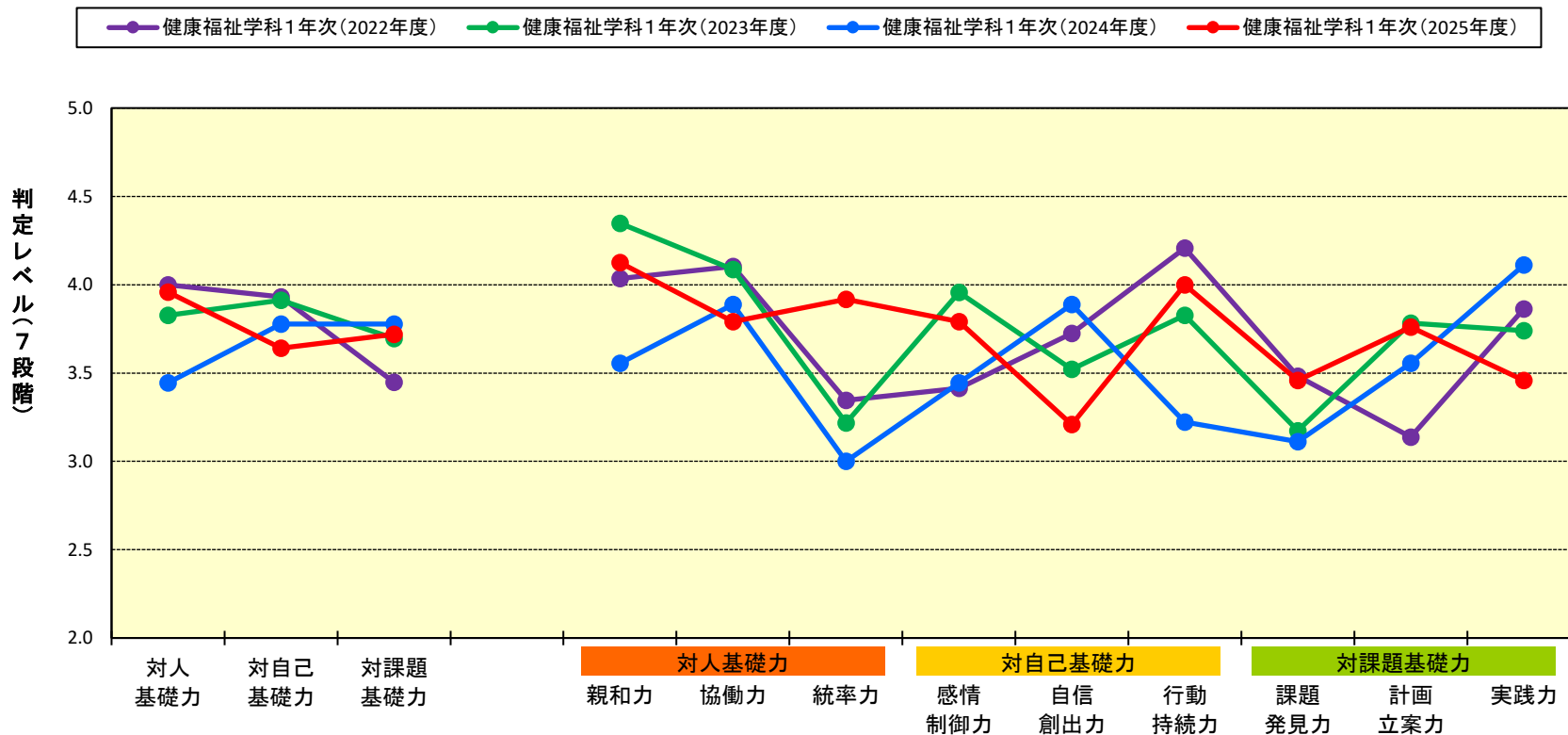
【健康福祉学科1年次】

親和力、統率力、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、協働力、自信創出力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

（※2024年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

コンピテンシー要素の伸長

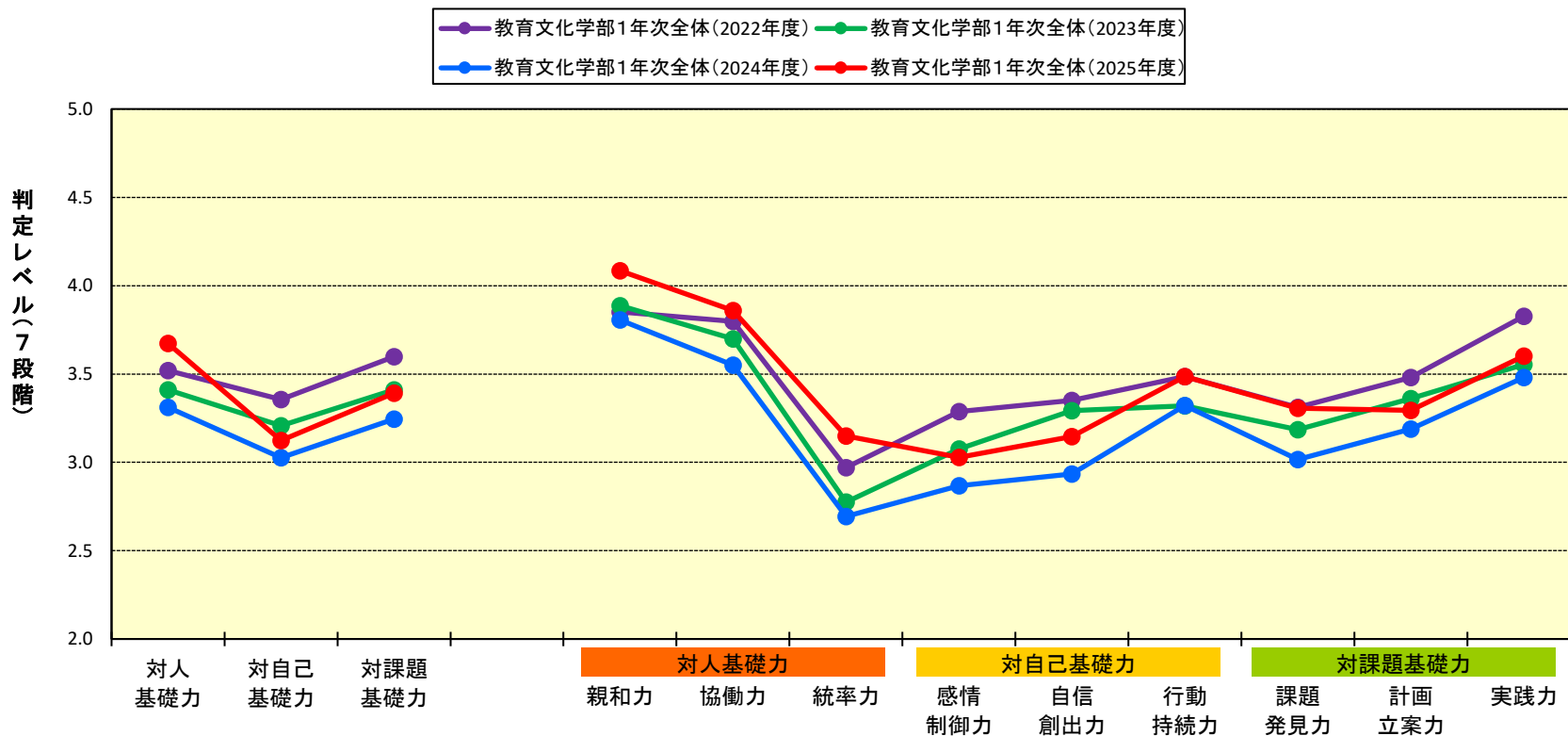


コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）④

【教育文化学部1年次全体】

親和力、協働力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。

コンピテンシー要素の伸長

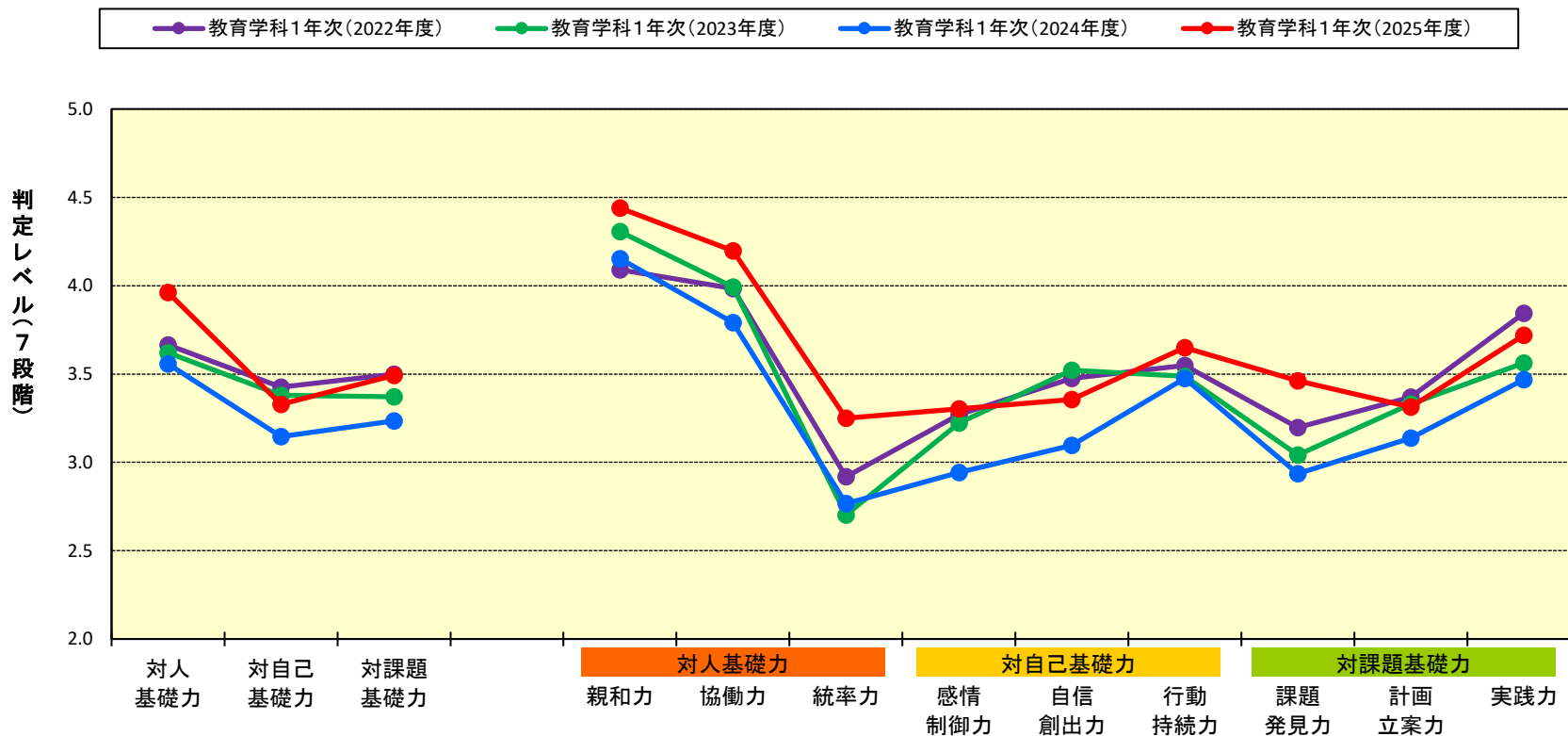


コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）⑤

【教育学科1年次】

親和力、協働力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。

コンピテンシー要素の伸長

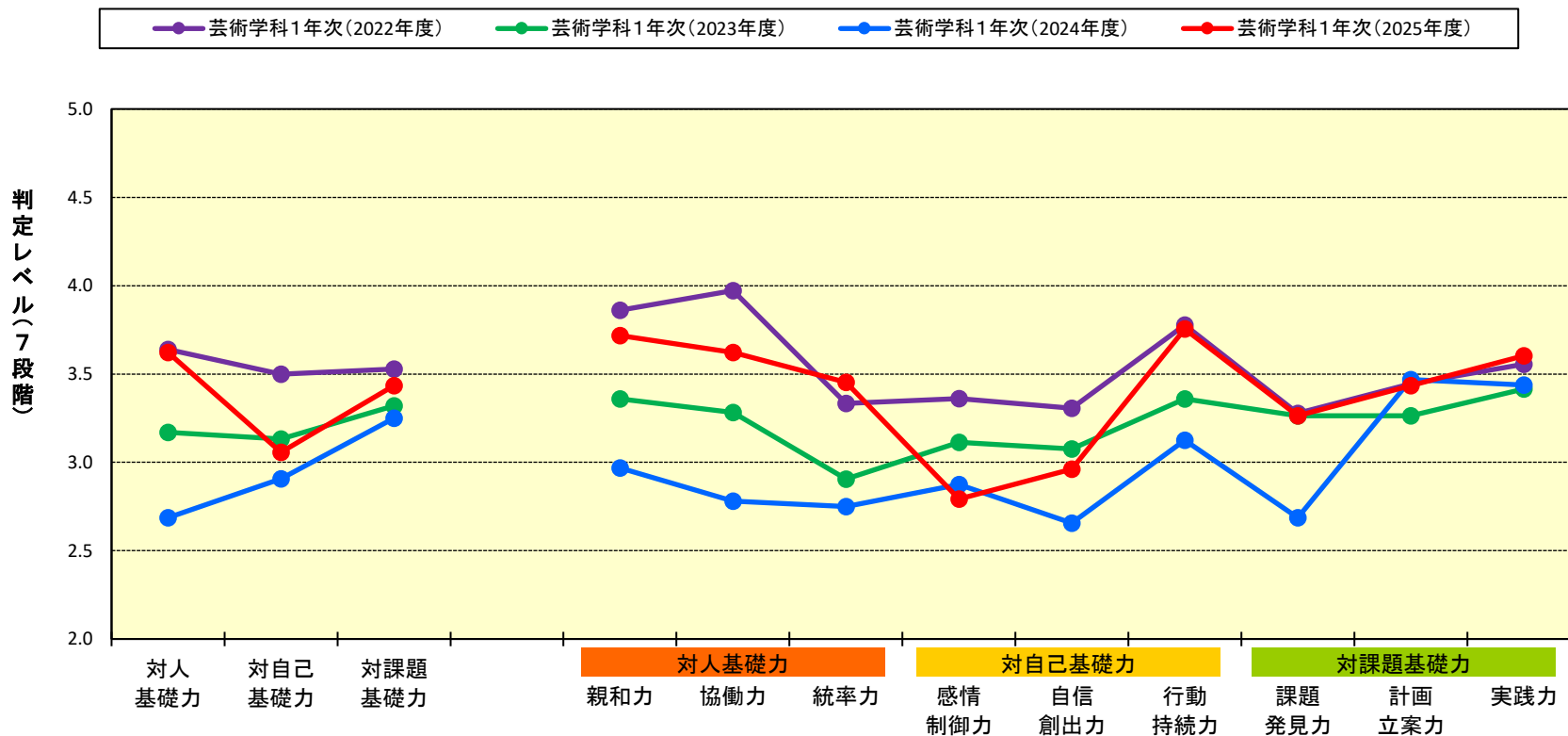


コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）⑥

【芸術学科1年次】

親和力、協働力、統率力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、感情制御力、計画立案力は、2024年度のスコアを下回る。

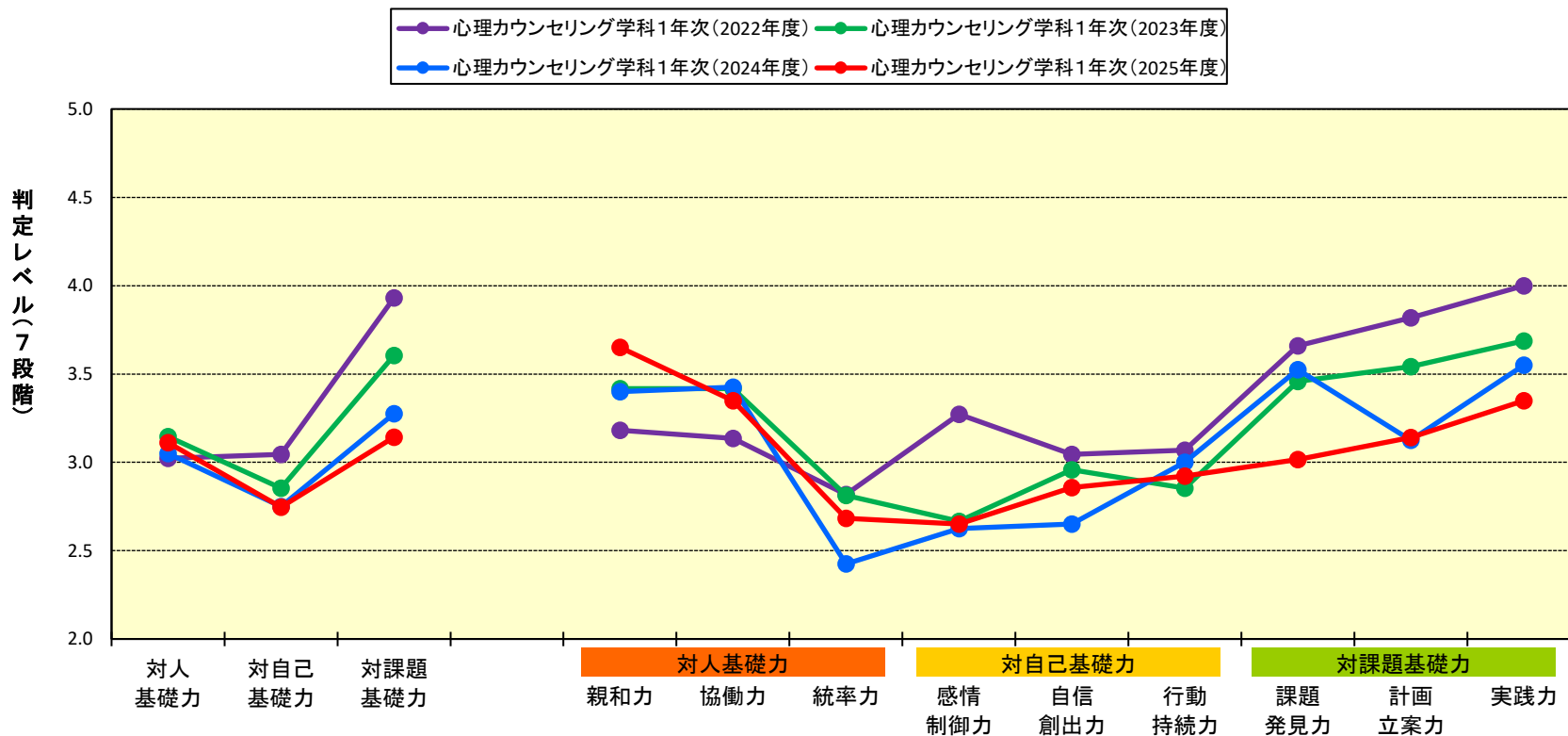
コンピテンシー要素の伸長



【心理カウンセリング学科1年次】

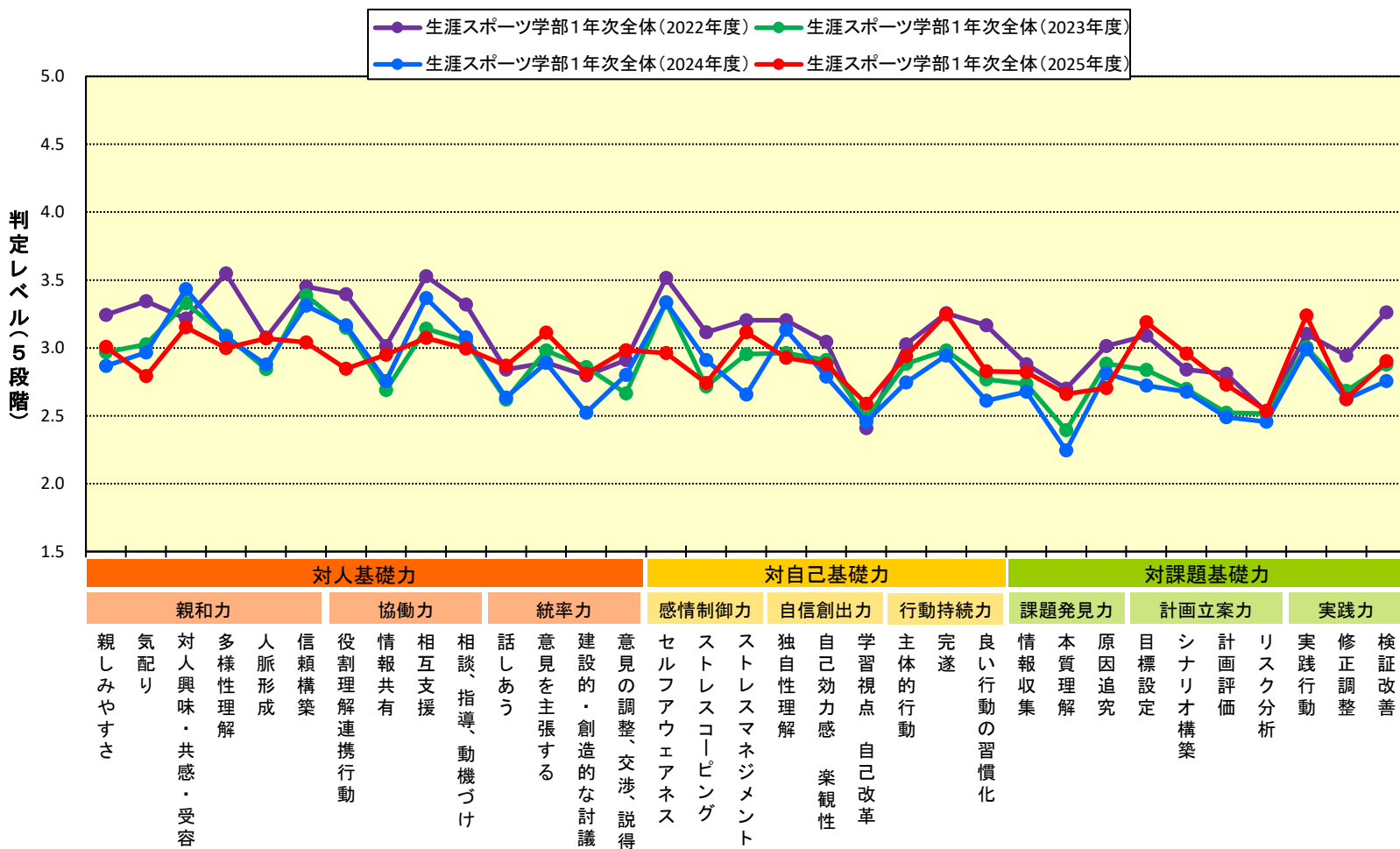
親和力、統率力、感情制御力、自信創出力、計画立案力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、協働力、行動持続力、課題発見力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



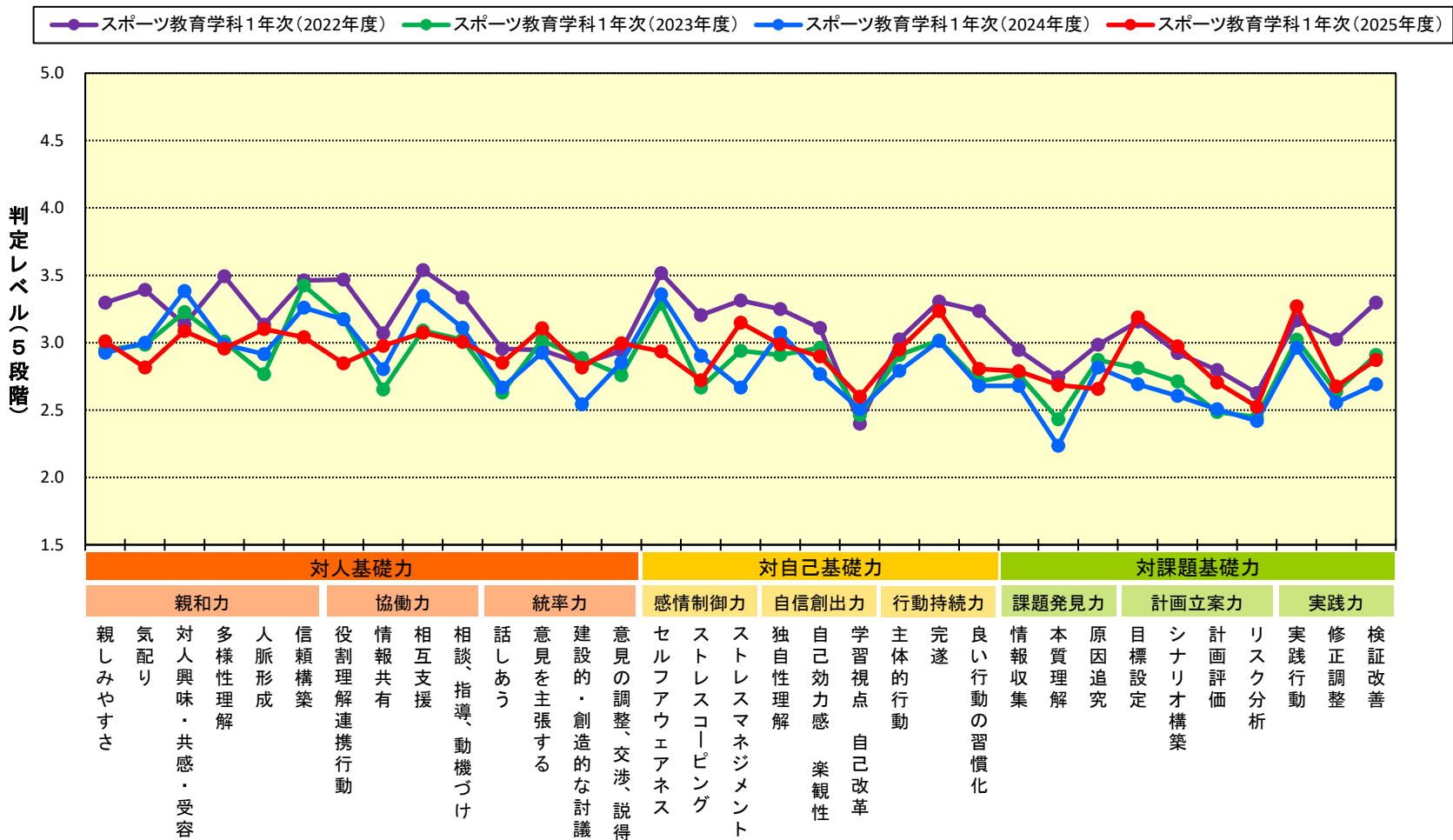
【生涯スポーツ学部1年次全体】

コンピテンシー小分類要素



【スポーツ教育学科1年次】

コンピテンシー小分類要素

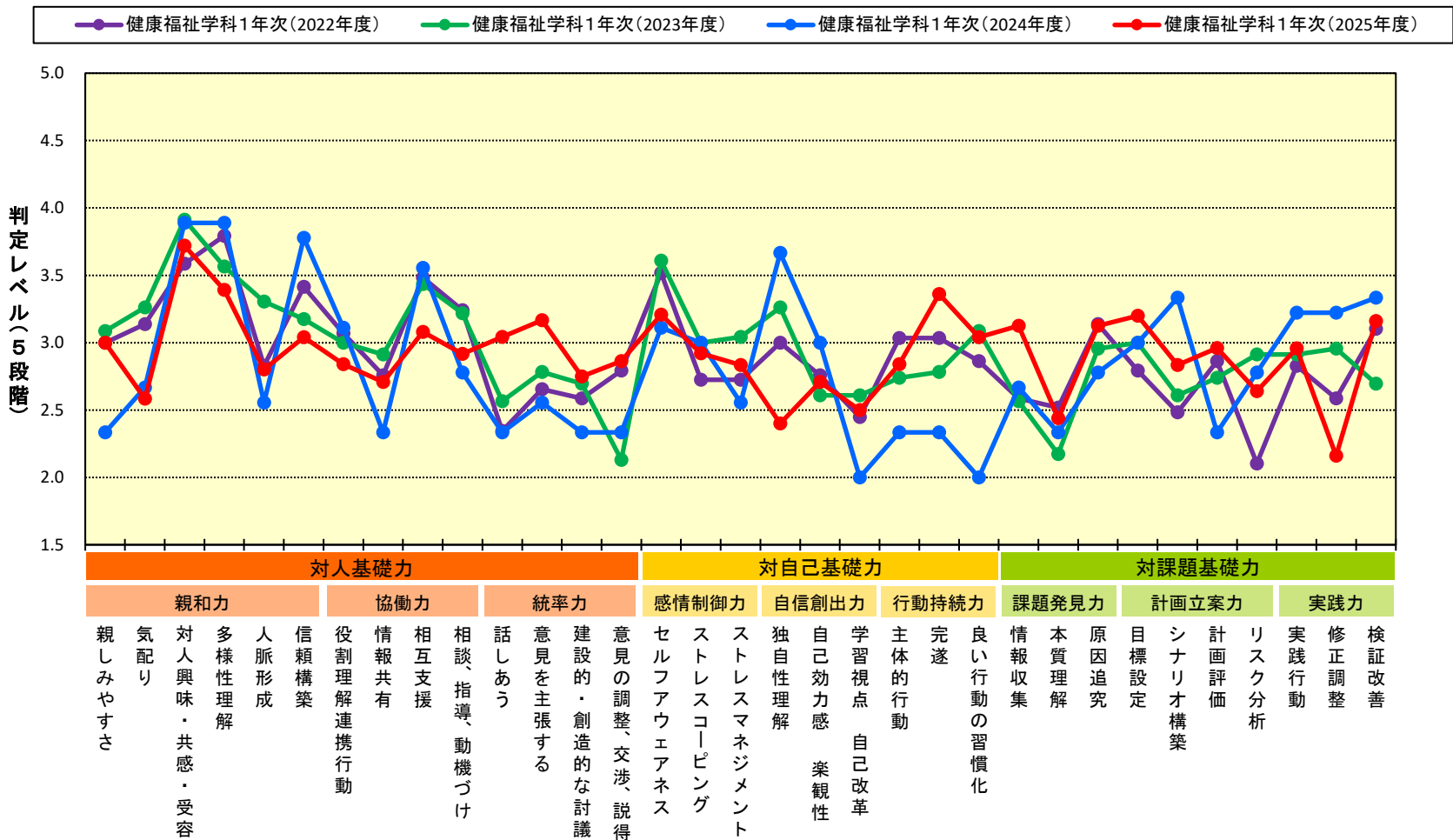


コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）③

【健康福祉学科1年次】

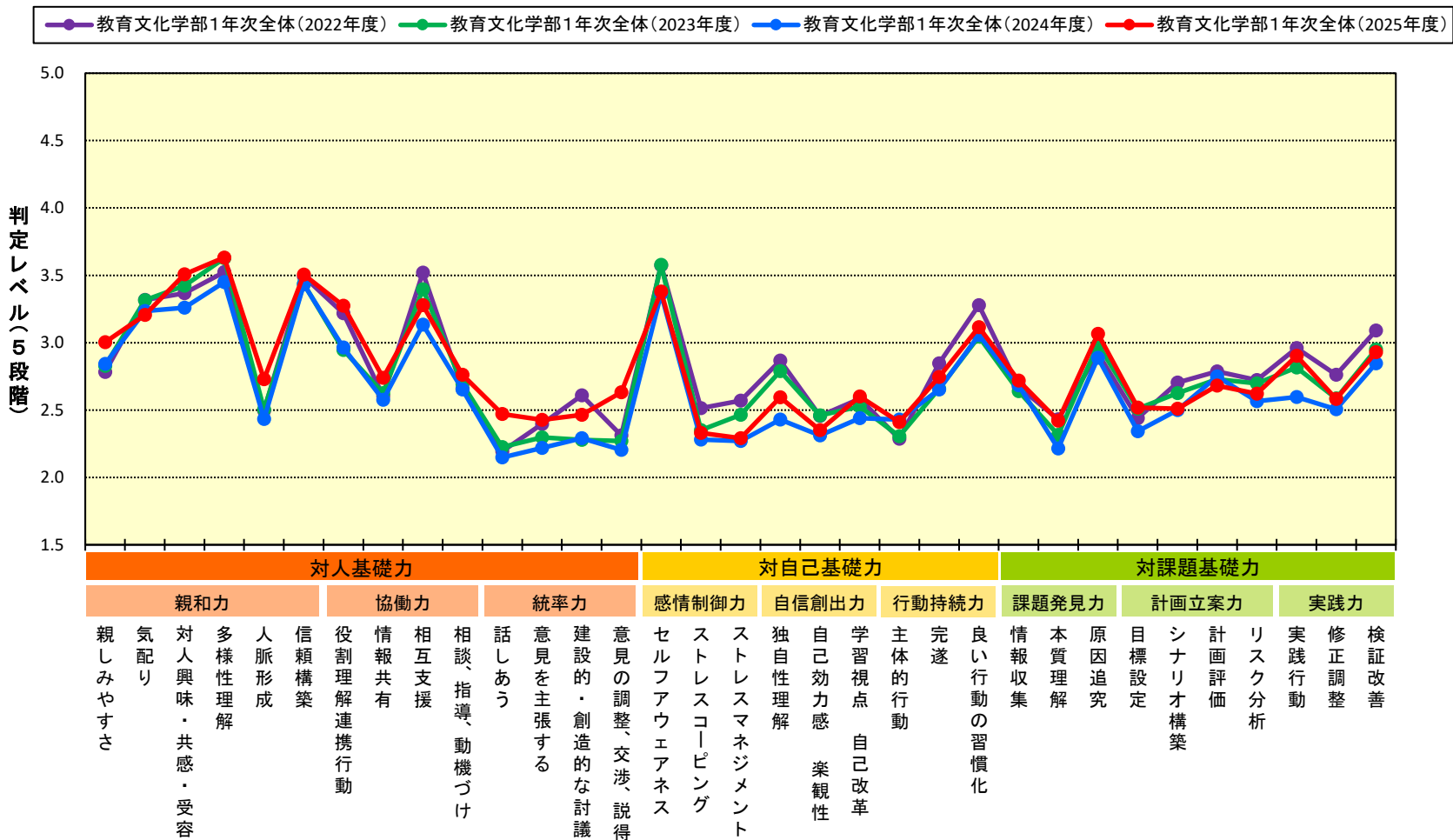
（※2024年度は、受験者のサンプル数が少ないため参考値とお考えください。）

コンピテンシー小分類要素



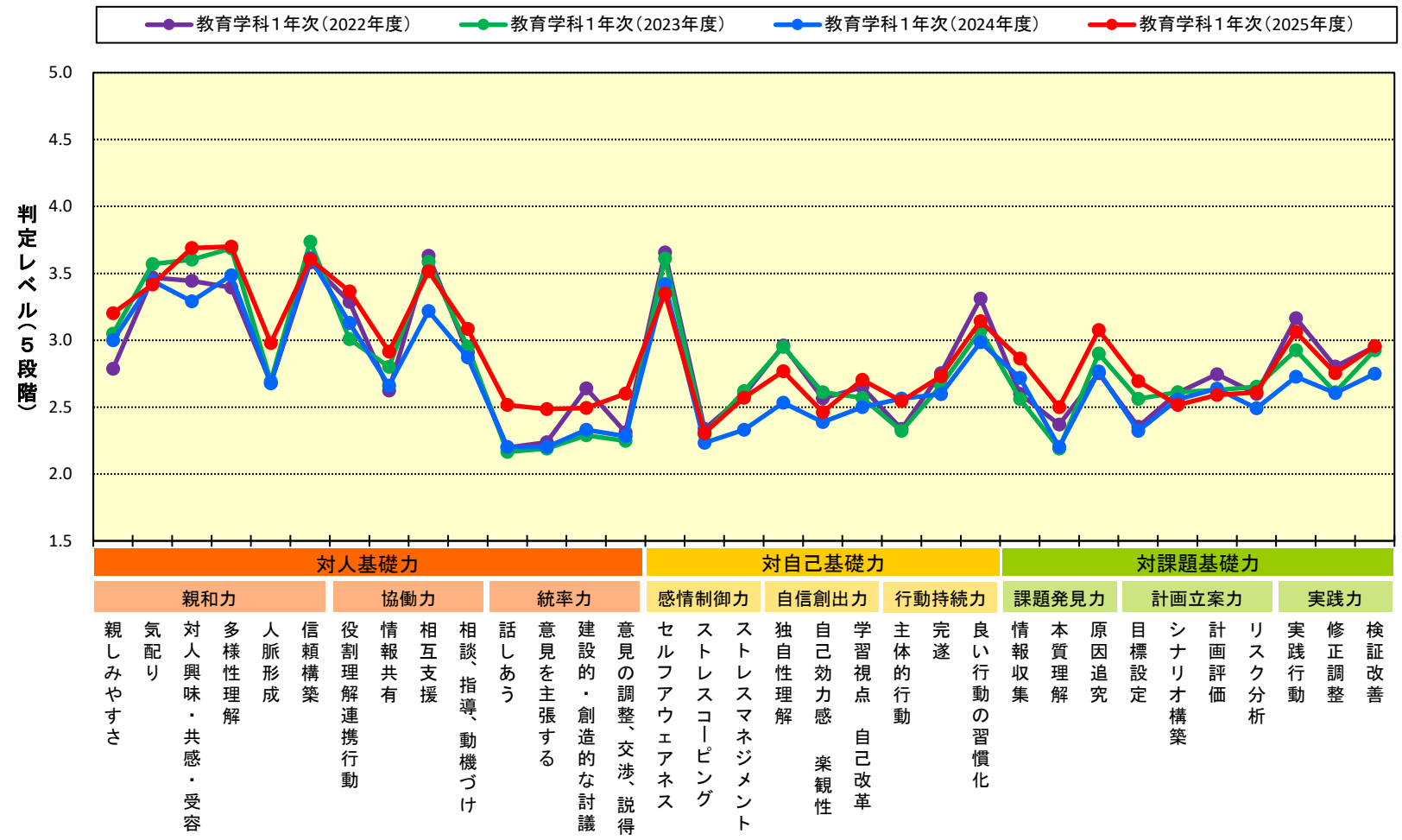
【教育文化学部1年次全体】

コンピテンシー小分類要素



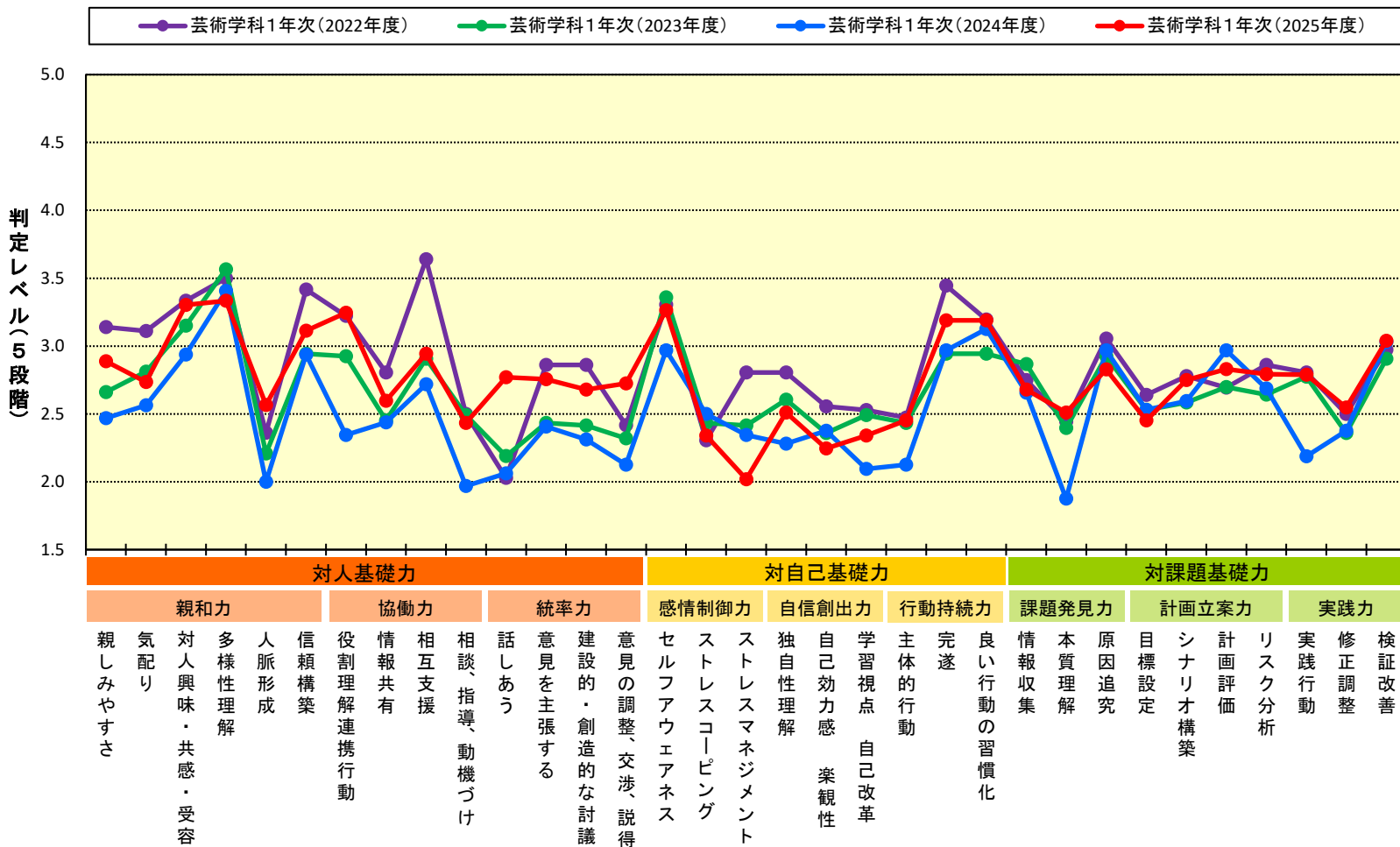
【教育学科1年次】

コンピテンシー小分類要素



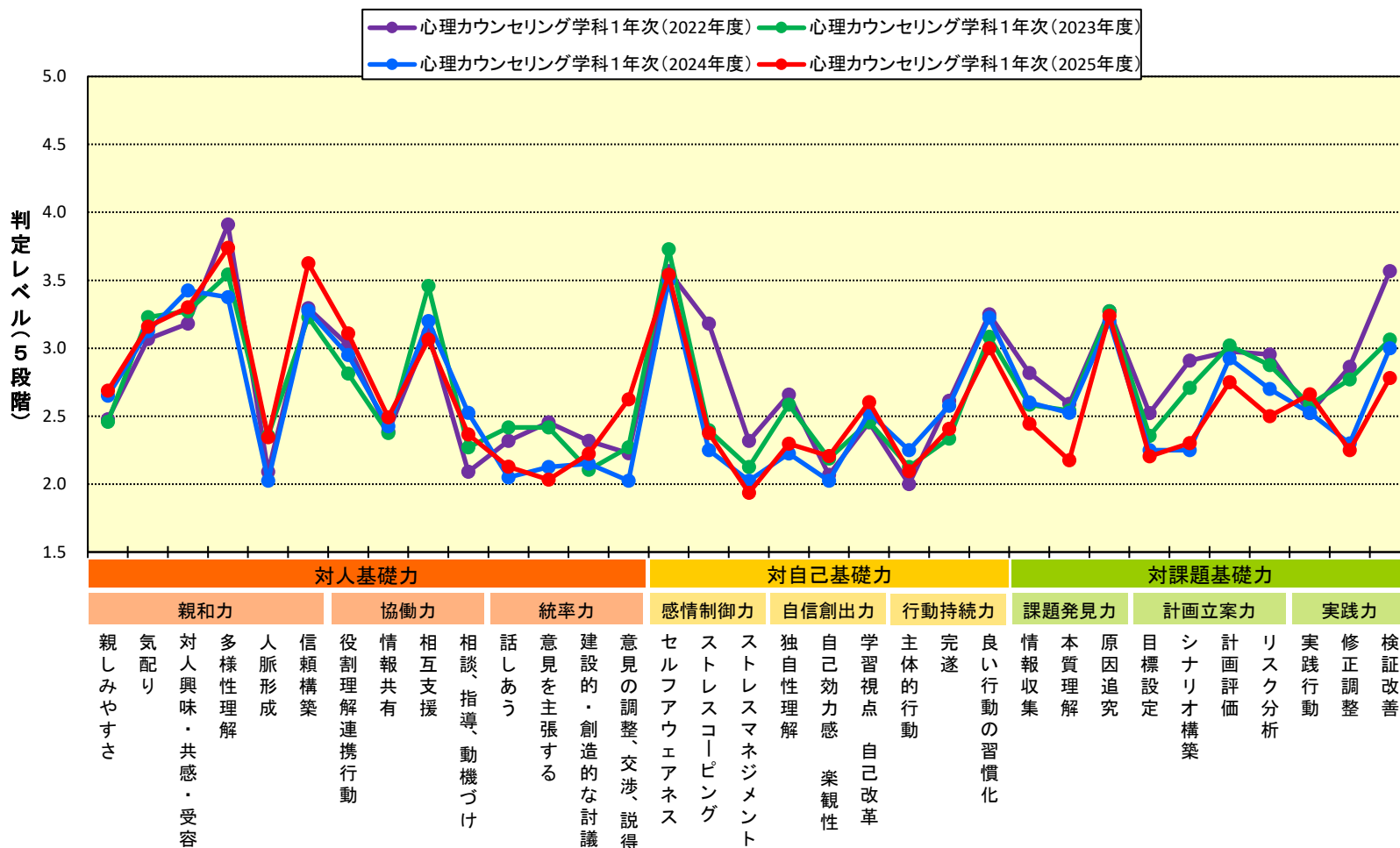
【芸術学科1年次】

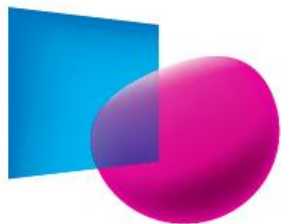
コンピテンシー小分類要素



【心理カウンセリング学科1年次】

コンピテンシー小分類要素





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.8
過去受験者との比較
3年次

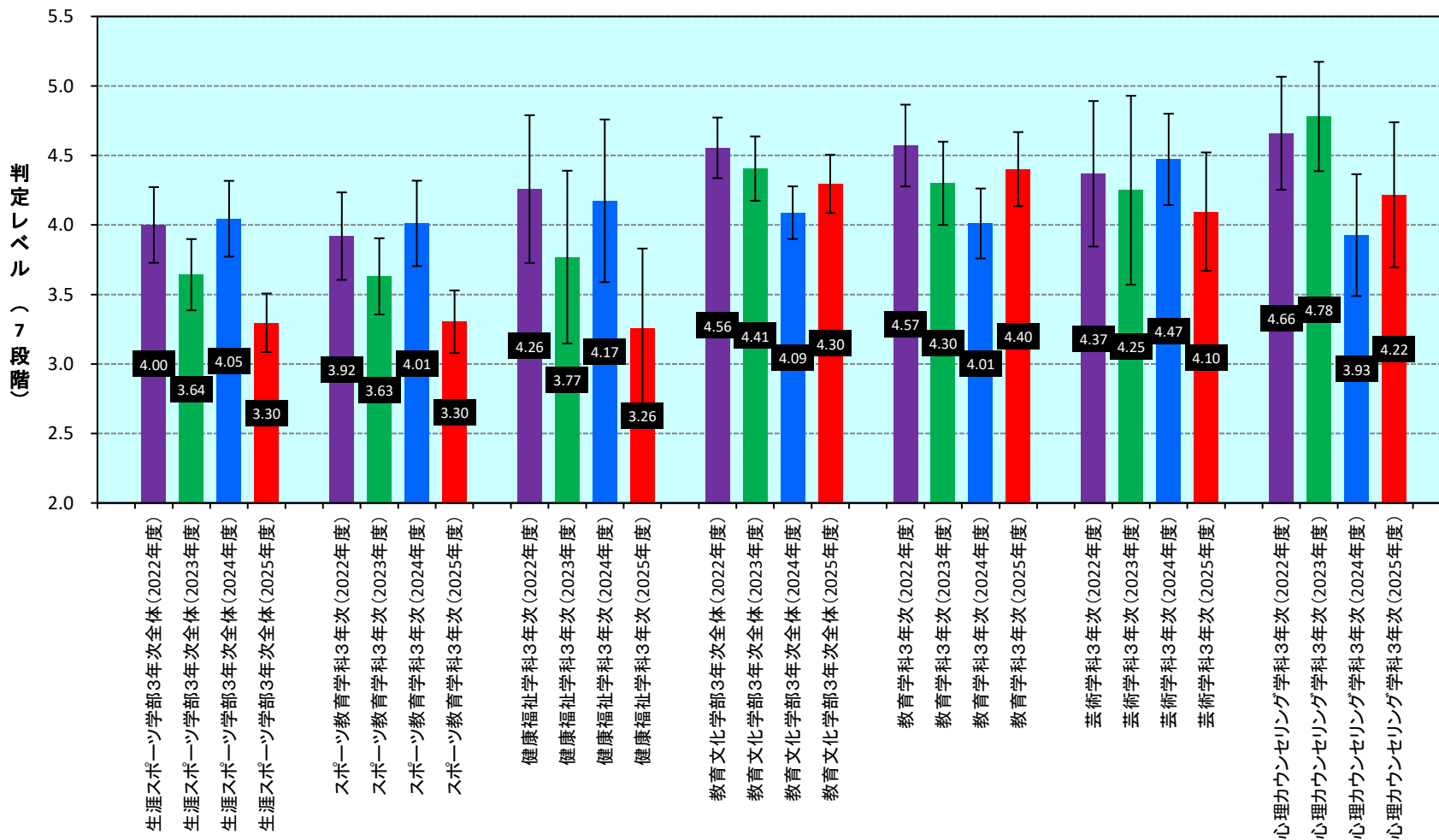
学部	学科	2022年度 3年次	2023年度 3年次	2024年度 3年次	2025年度 3年次
		2022年6月～ 2023年2月 受験	2023年6月～ 2024年2月 受験	2024年10月～ 2025年1月 受験	2025年10月～12月 受験
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	100	138	88	181
	健康福祉学科	31	13	23	35
		131	151	111	216
教育文化学部	教育学科	112	110	93	132
	芸術学科	38	24	36	52
	心理カウンセリング学科	50	41	41	46
		200	175	170	230
合計		331	326	281	446

※WEB受験を実施した学生のリテラシーテストについて、全30問中解答数20問以下の学生について、解答姿勢が低かったことが想定されるため、これらの学生のスコアを除いて集計しております。

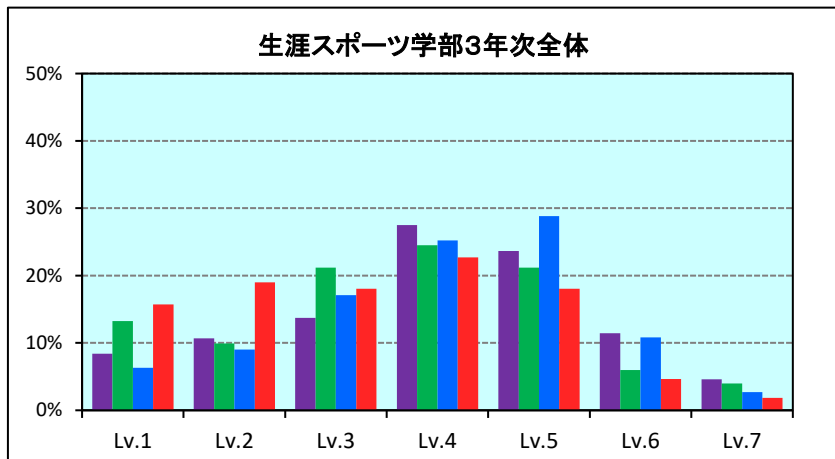
リテラシー総合（過去の受験者との比較）

- 教育文化学部3年次全体、教育学科3年次、心理カウンセリング学科3年次は、2024年度のスコアを上回る。
 - 生涯スポーツ学部3年次全体、スポーツ教育学科3年次、健康福祉学科3年次、芸術学科3年次は、2024年度のスコアを下回る。
- （※健康福祉学科3年次（2023年度）は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

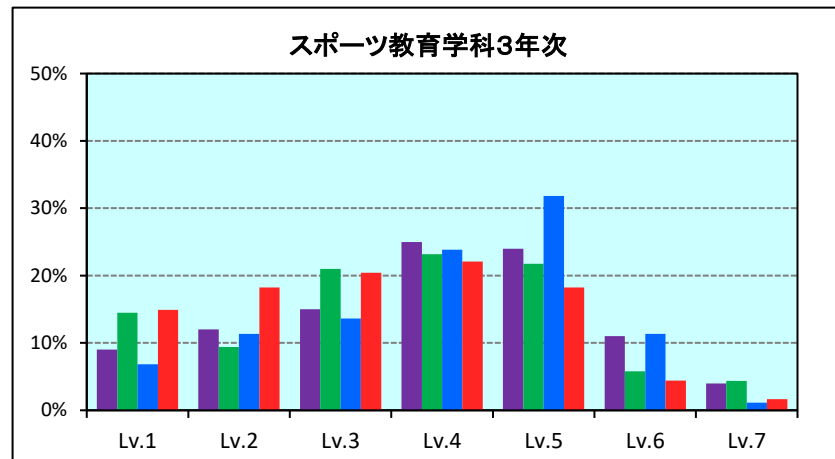
リテラシー総合



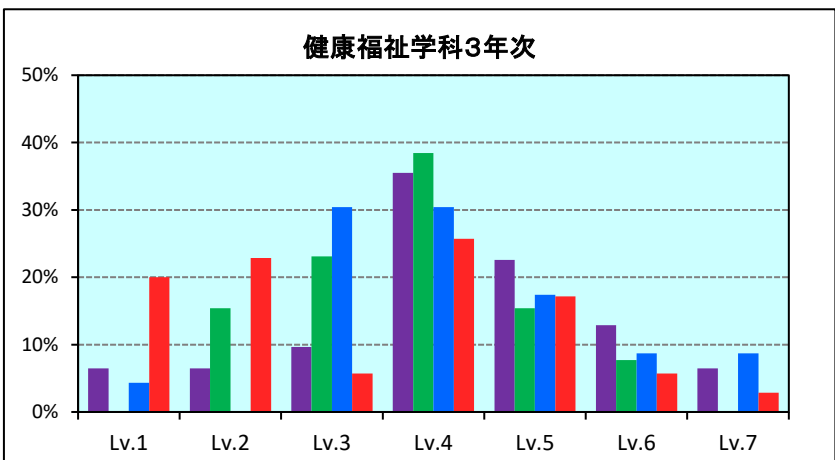
■2022年度 ■2023年度 ■2024年度 ■2025年度



2024年度に比べて、レベル5～6のボリュームが小さく、レベル1～2のボリュームが大きい。

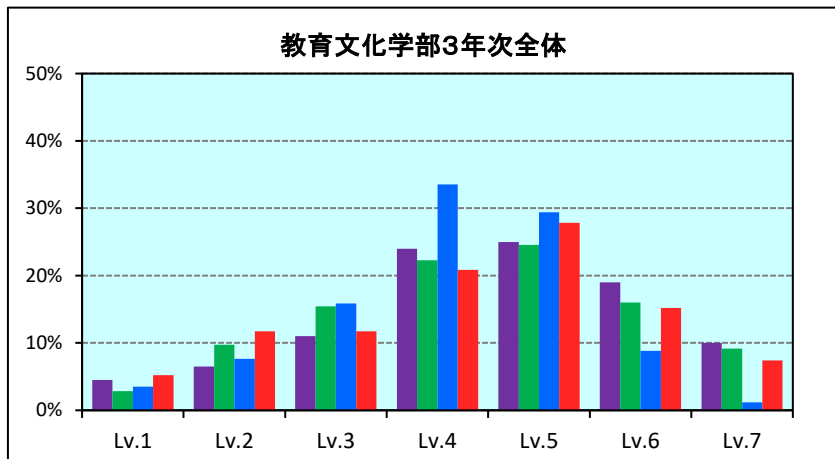


2024年度に比べて、レベル5～6のボリュームが小さく、レベル1～3のボリュームが大きい。

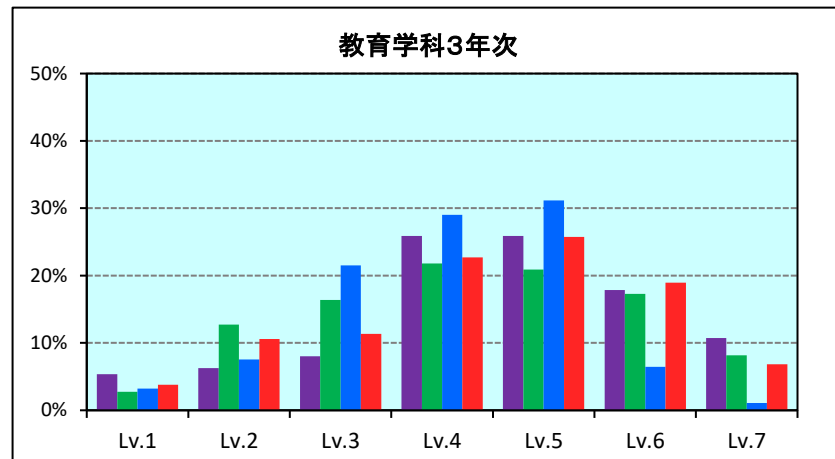


2024年度に比べて、レベル3～4、レベル7のボリュームが小さく、レベル1～2のボリュームが大きい。
 (※2023年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

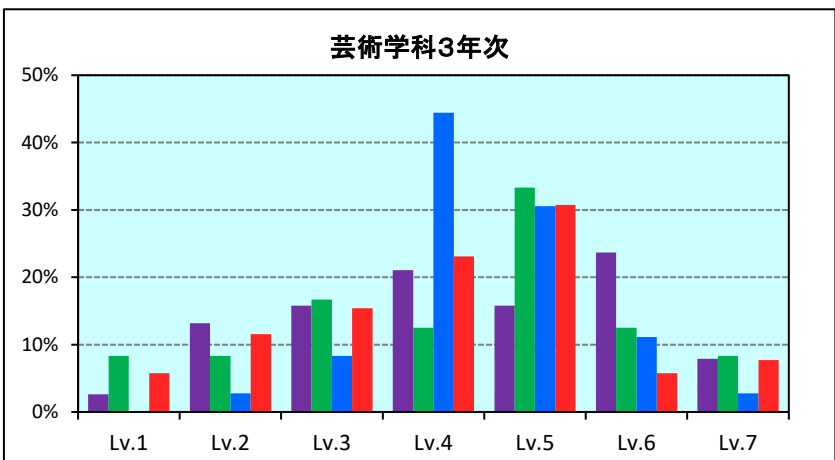
■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



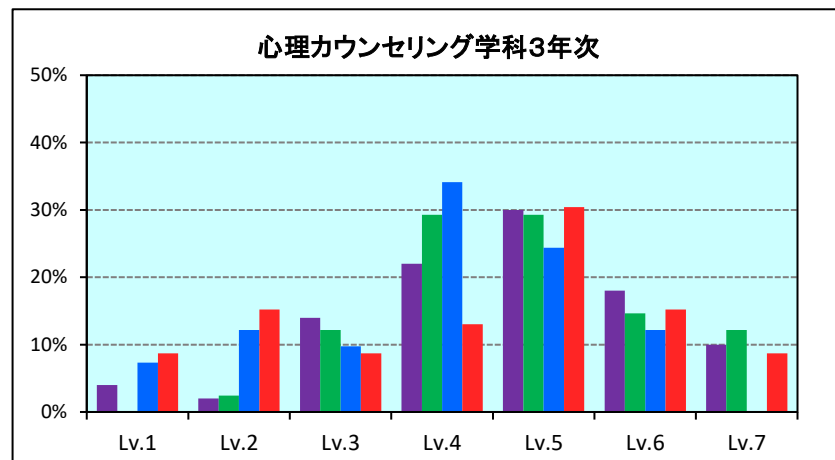
2024年度に比べて、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル2、レベル6～7のボリュームが大きい。



2024年度に比べて、レベル3～5のボリュームが小さく、レベル2、レベル6～7のボリュームが大きい。



2024年度に比べて、レベル4、レベル6の割合が小さく、レベル1～3、レベル7のボリュームが大きい。



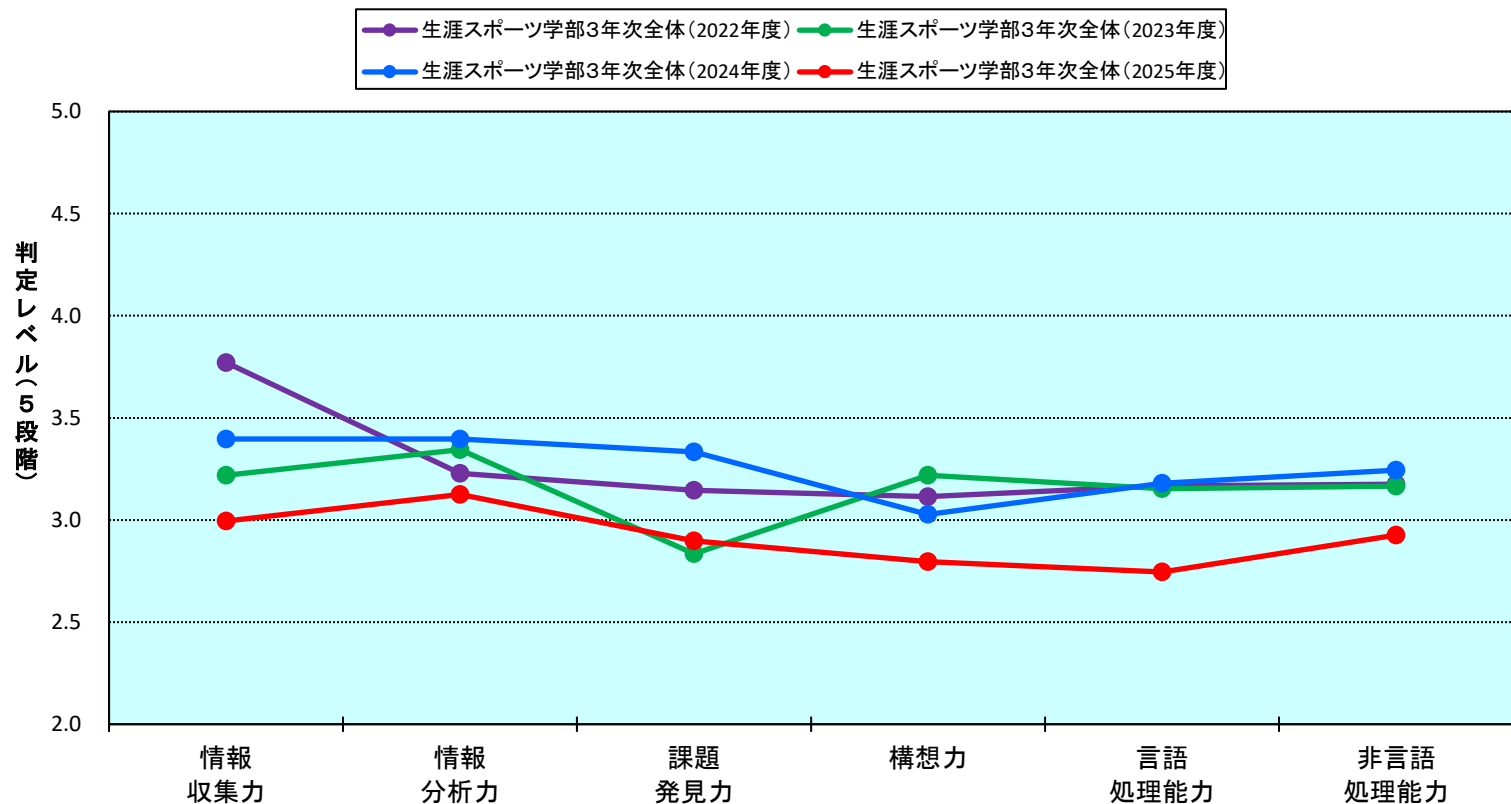
2024年度に比べて、レベル4の割合が小さく、レベル2、レベル5～7のボリュームが大きい。

リテラシー要素（過去の受験者との比較）①

【生涯スポーツ学部3年次全体】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

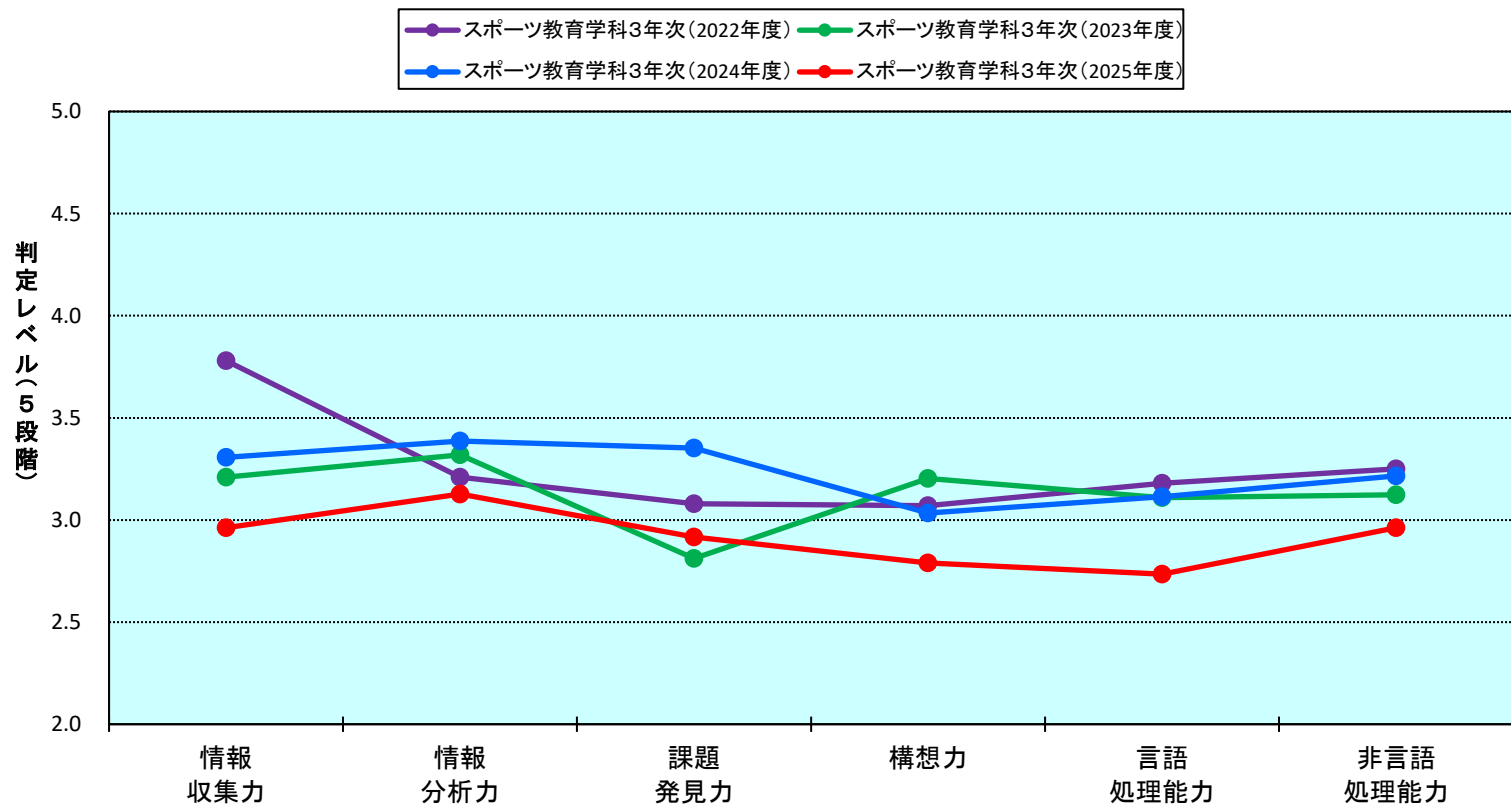


リテラシー要素（過去の受験者との比較）②

【スポーツ教育学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

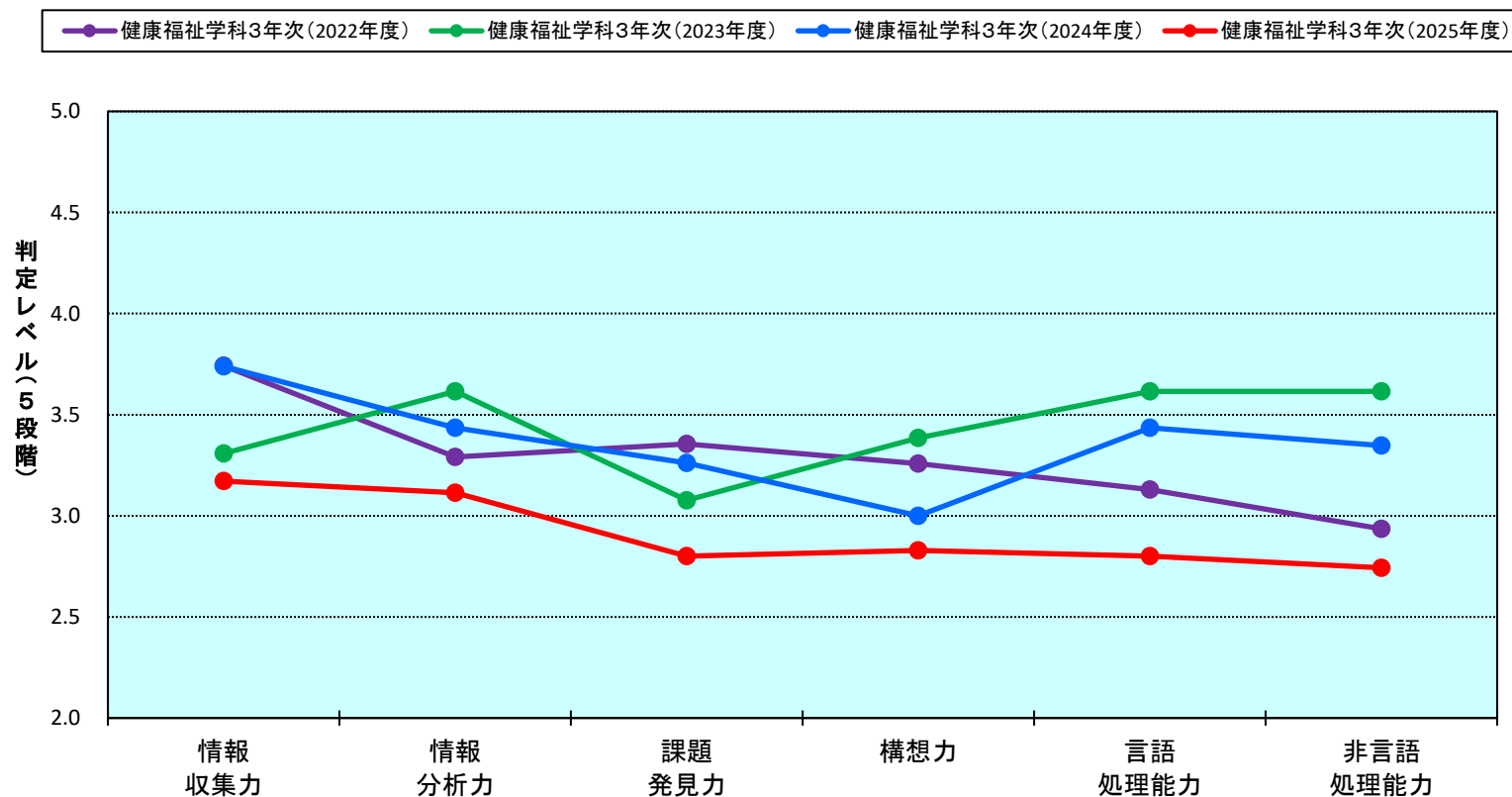


リテラシー要素（過去の受験者との比較）③

【健康福祉学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。
 （※2023年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

リテラシー要素

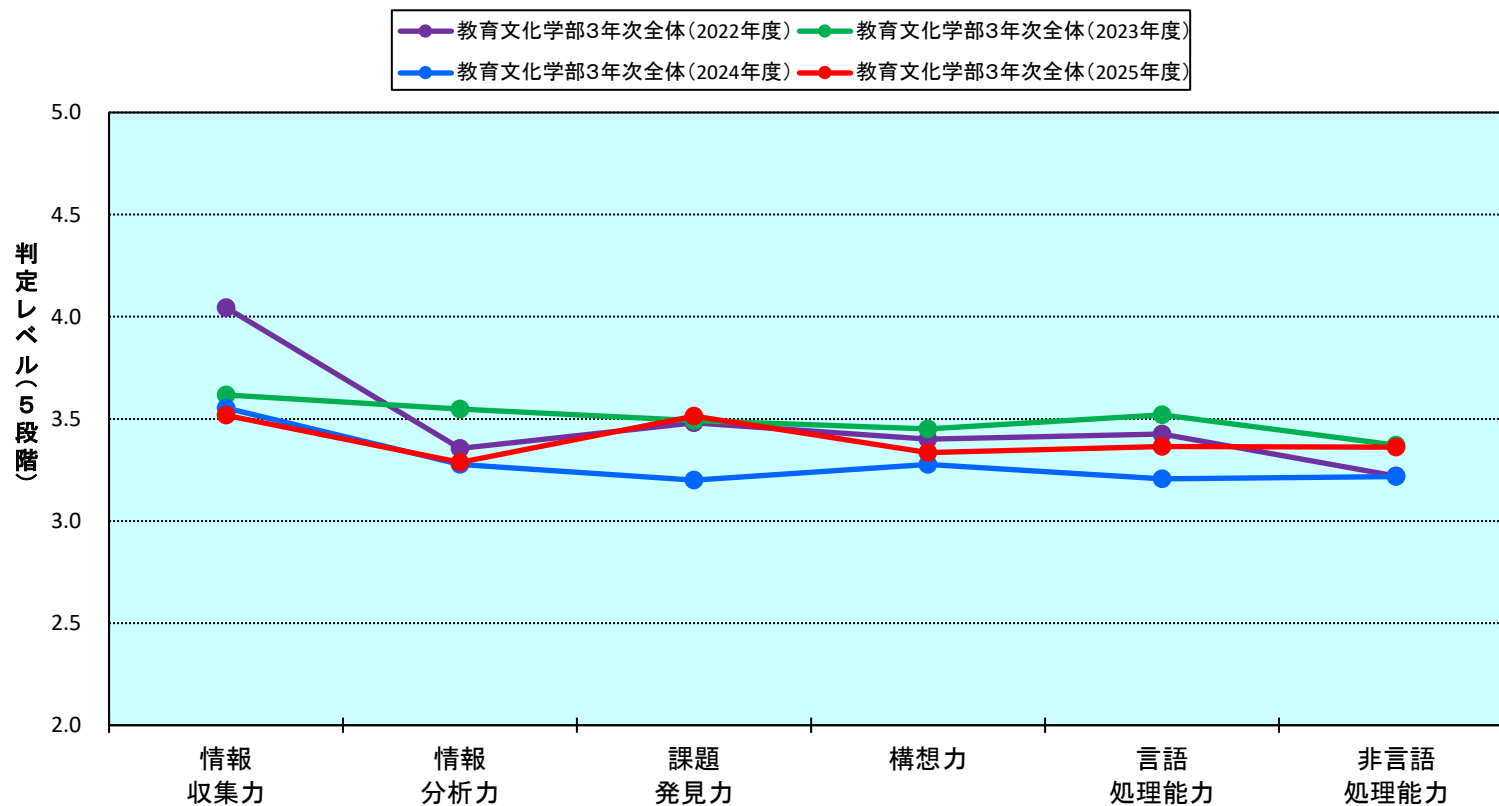


リテラシー要素（過去の受験者との比較）④

【教育文化学部3年次全体】

情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。
一方、情報収集力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

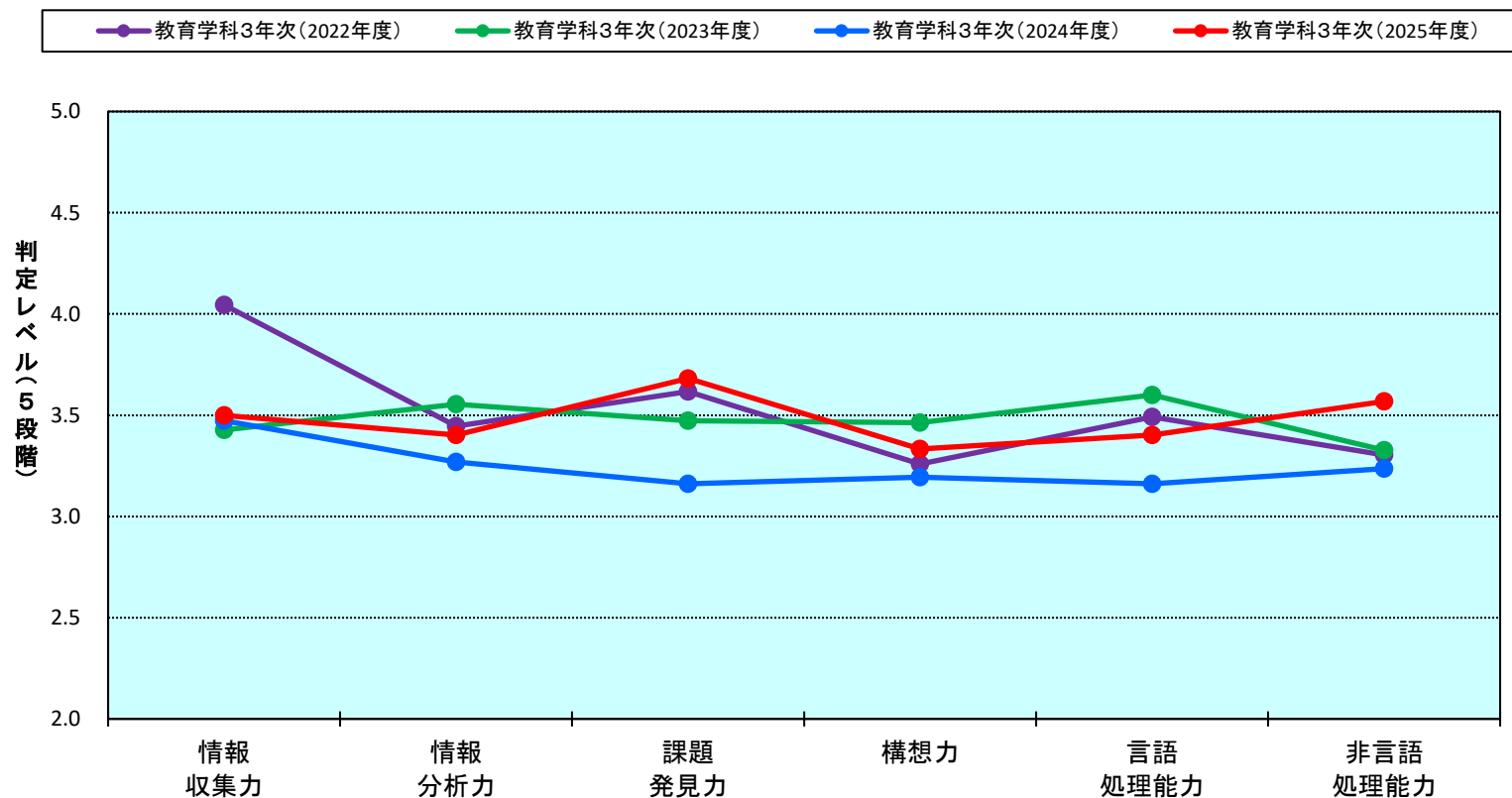


リテラシー要素（過去の受験者との比較）⑤

【教育学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。

リテラシー要素

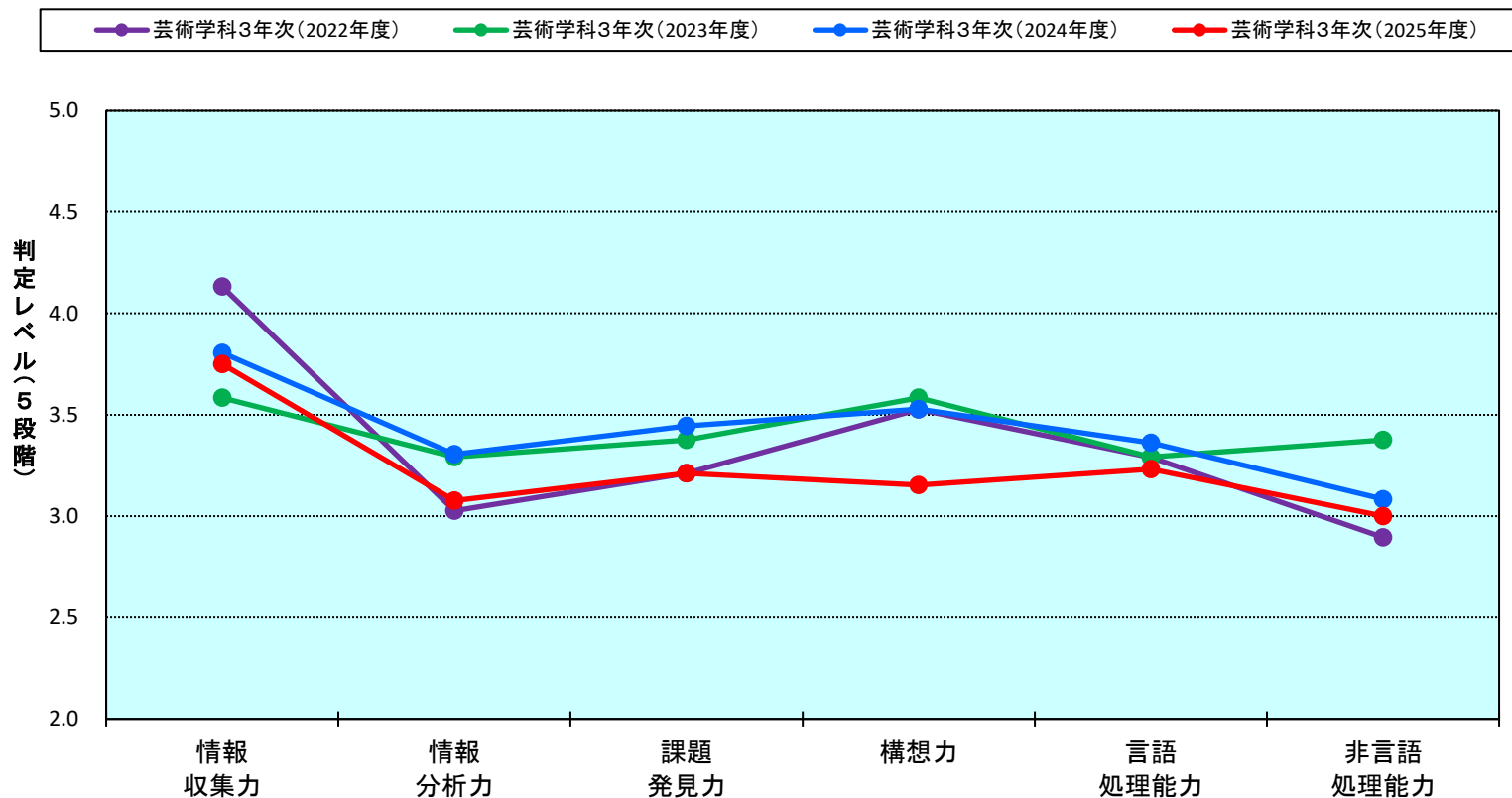


リテラシー要素（過去の受験者との比較）⑥

【芸術学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

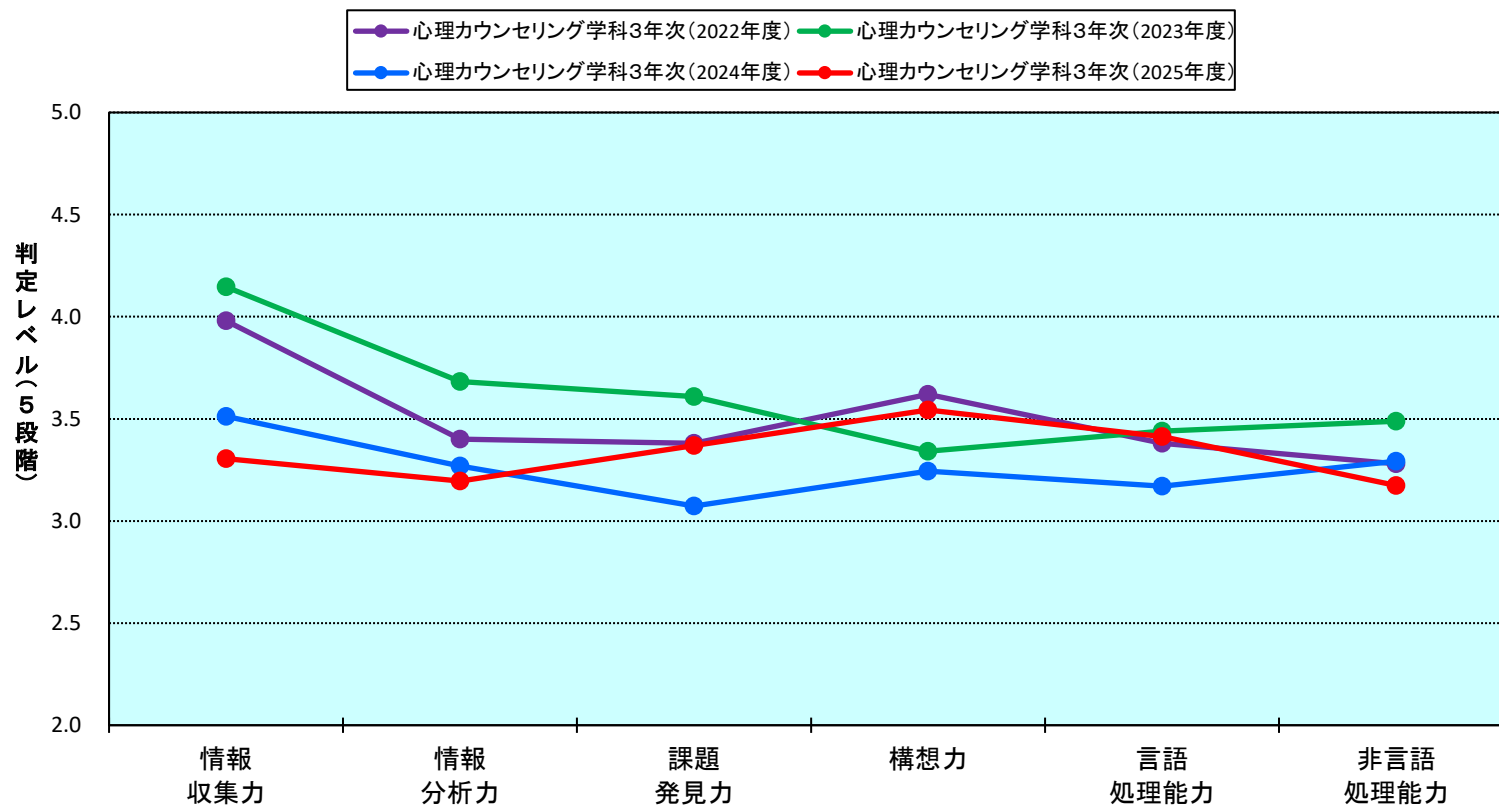


【心理カウンセリング学科3年次】

課題発見力、構想力、言語処理能力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、情報収集力、情報分析力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

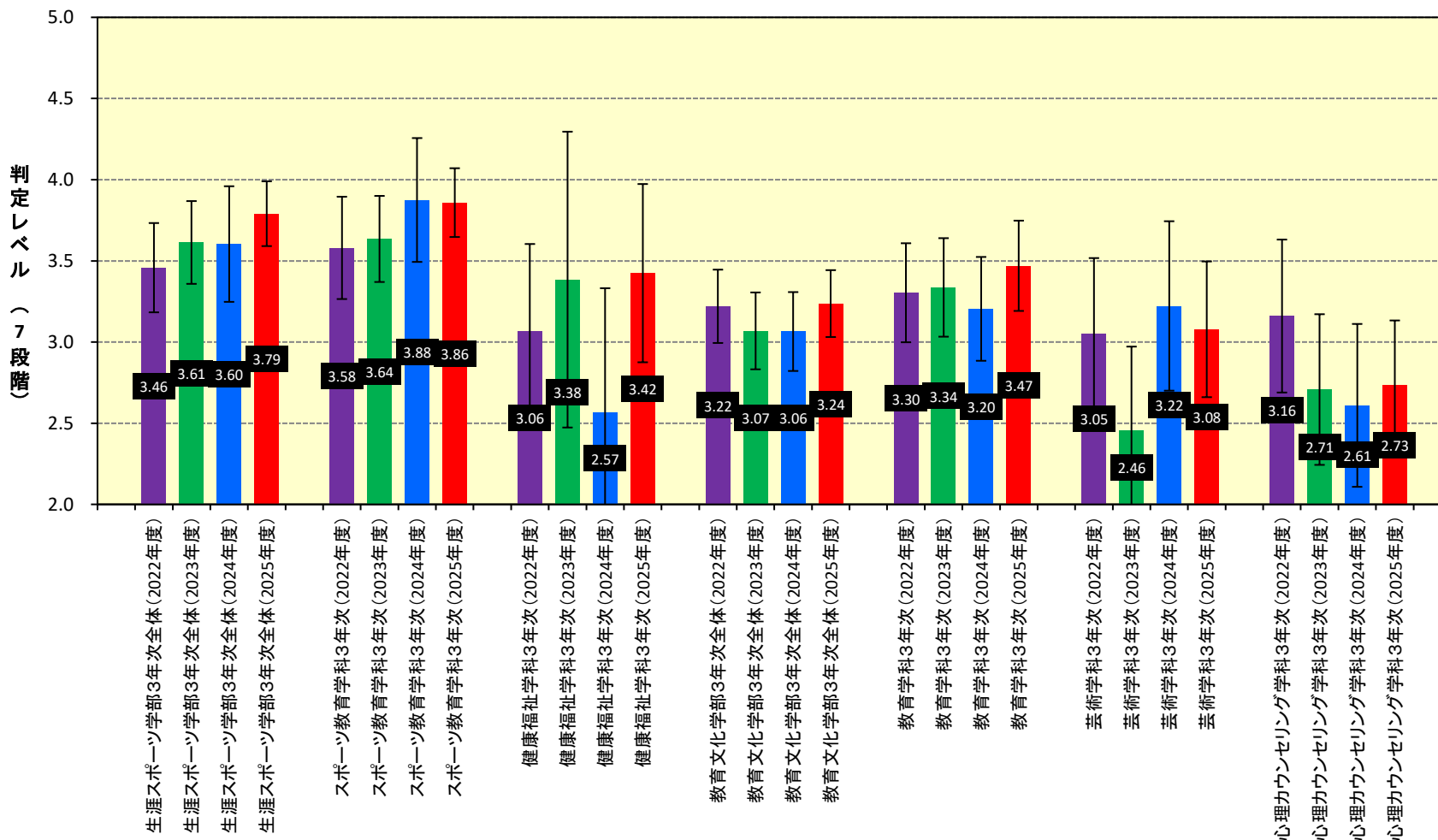
リテラシー要素



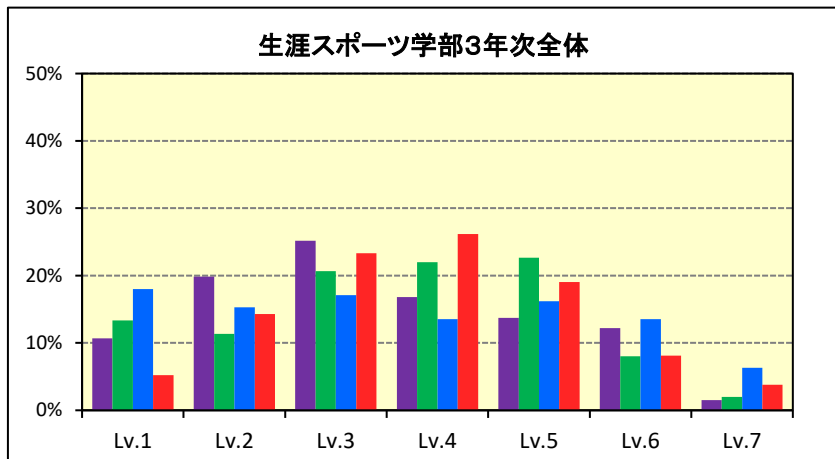
コンピテンシー総合（過去の受験者との比較）

- 生涯スポーツ学部3年次全体、健康福祉学科3年次、教育文化学部3年次全体、教育学科3年次、心理カウンセリング学科3年次は、2024年度のスコアを上回る。
 - スポーツ教育学科3年次、芸術学科3年次は、2024年度のスコアを下回る。
- (※健康福祉学科3年次(2023年度)は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

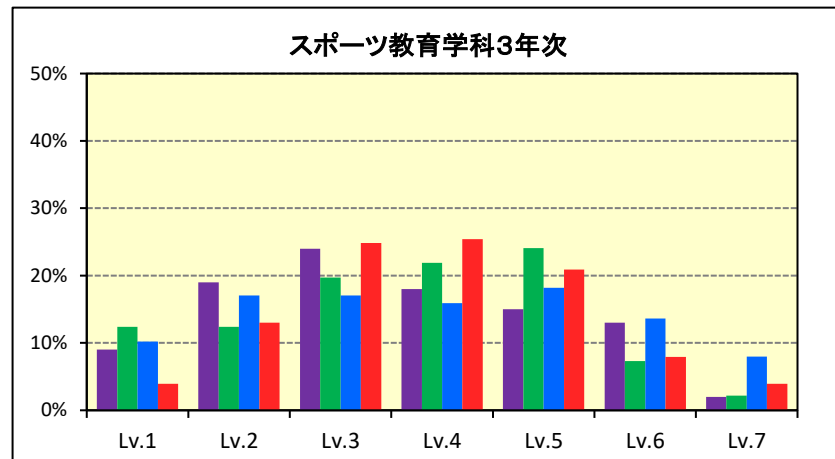
コンピテンシー総合



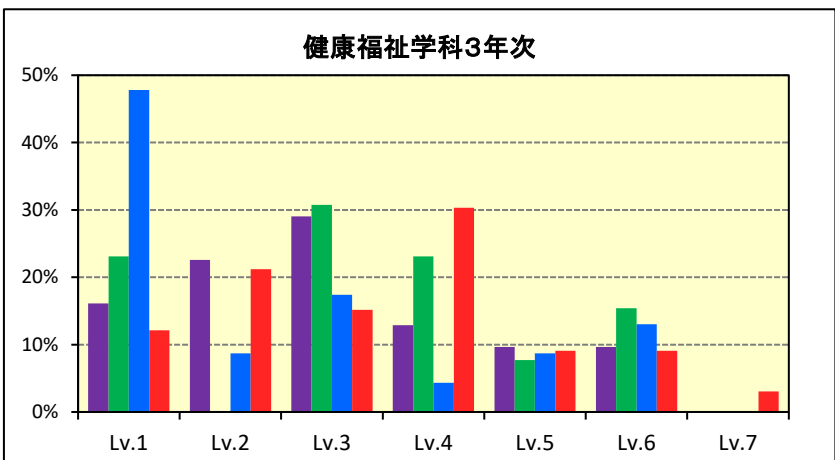
■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



2024年度に比べて、レベル1、レベル6の割合が小さく、レベル3～4のボリュームが大きい。



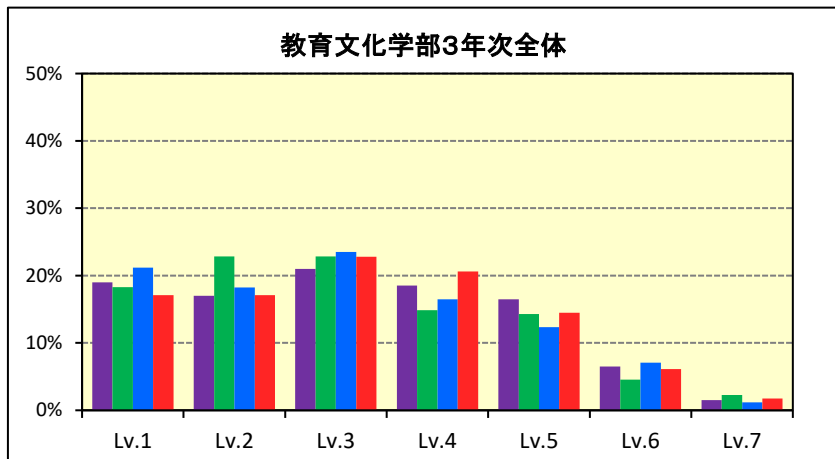
2024年度に比べて、レベル1～2、レベル6～7のボリュームが小さく、レベル3～4のボリュームが大きい。



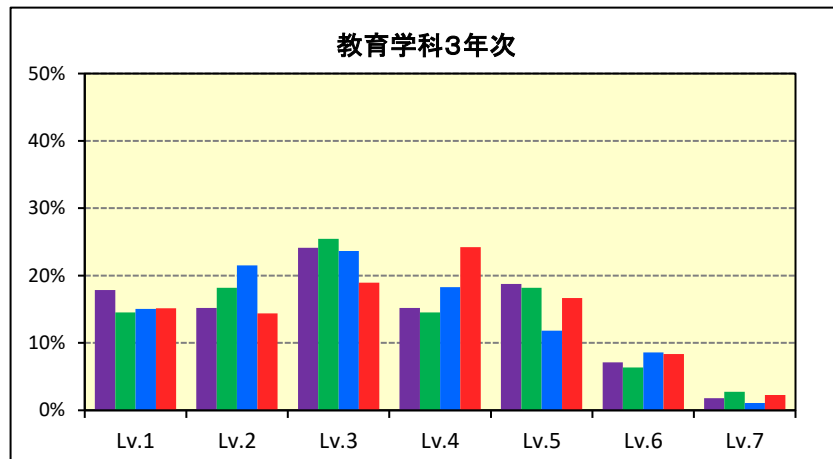
2024年度に比べて、レベル1、レベル6の割合が小さく、レベル2、レベル4、レベル7の割合が大きい。

(※2023年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。)

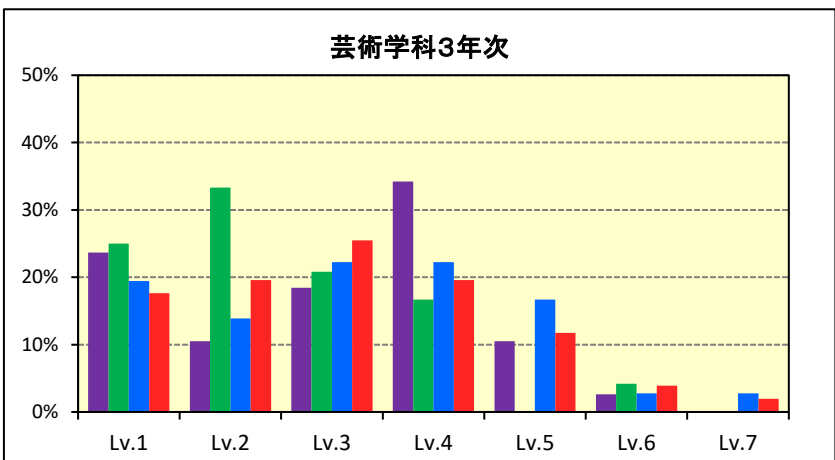
■ 2022年度 ■ 2023年度 ■ 2024年度 ■ 2025年度



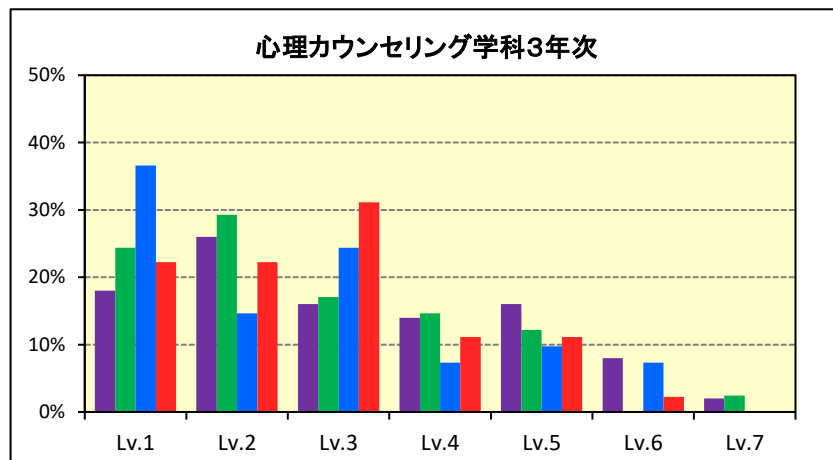
2024年度に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル4の割合が大きい。



2024年度に比べて、レベル2～3のボリュームが小さく、レベル4～5のボリュームが大きい。



2024年度に比べて、レベル5の割合が小さく、レベル2～3のボリュームが大きい。



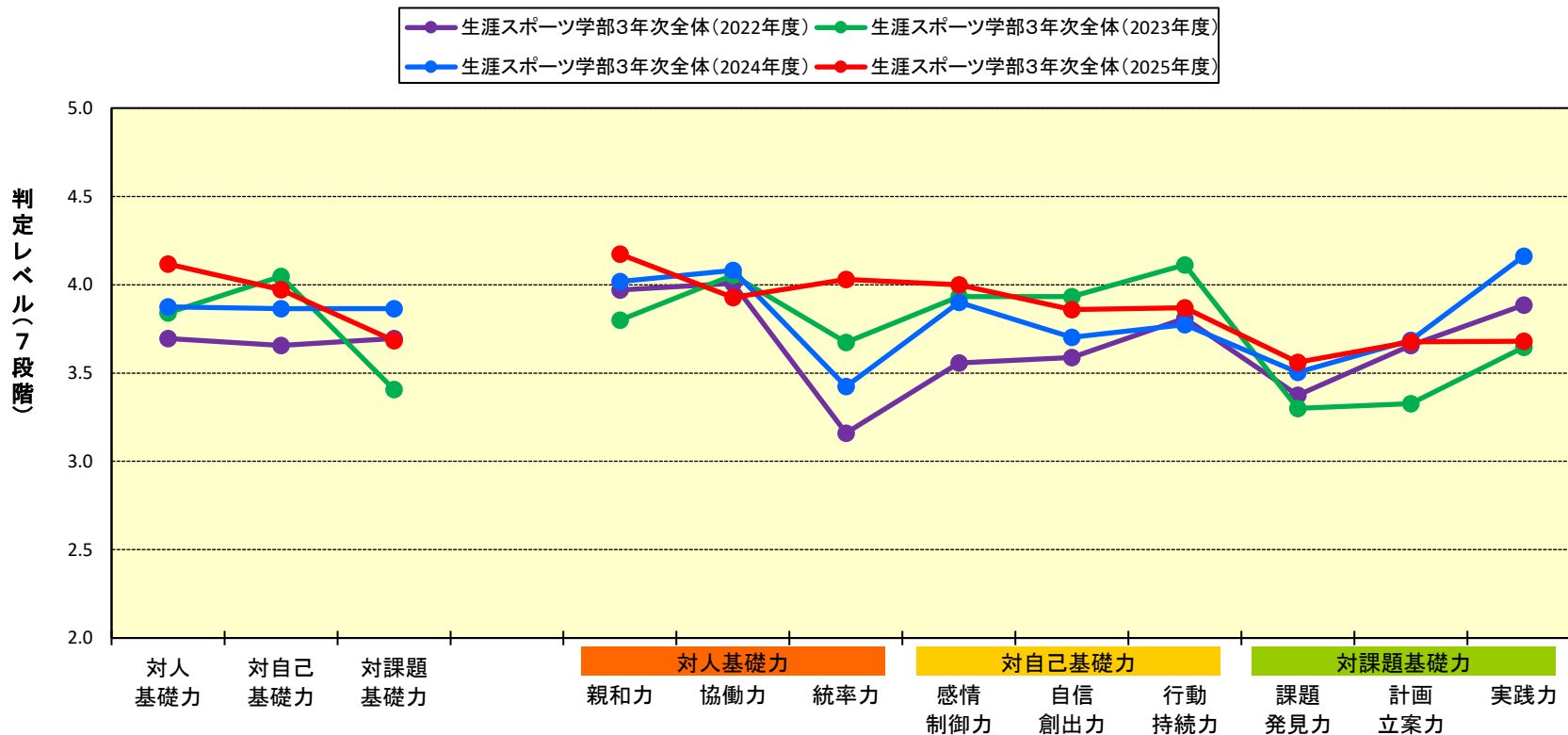
2024年度に比べて、レベル1、レベル6の割合が小さく、レベル2～4のボリュームが大きい。

コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）①

【生涯スポーツ学部3年次全体】

親和力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、協働力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

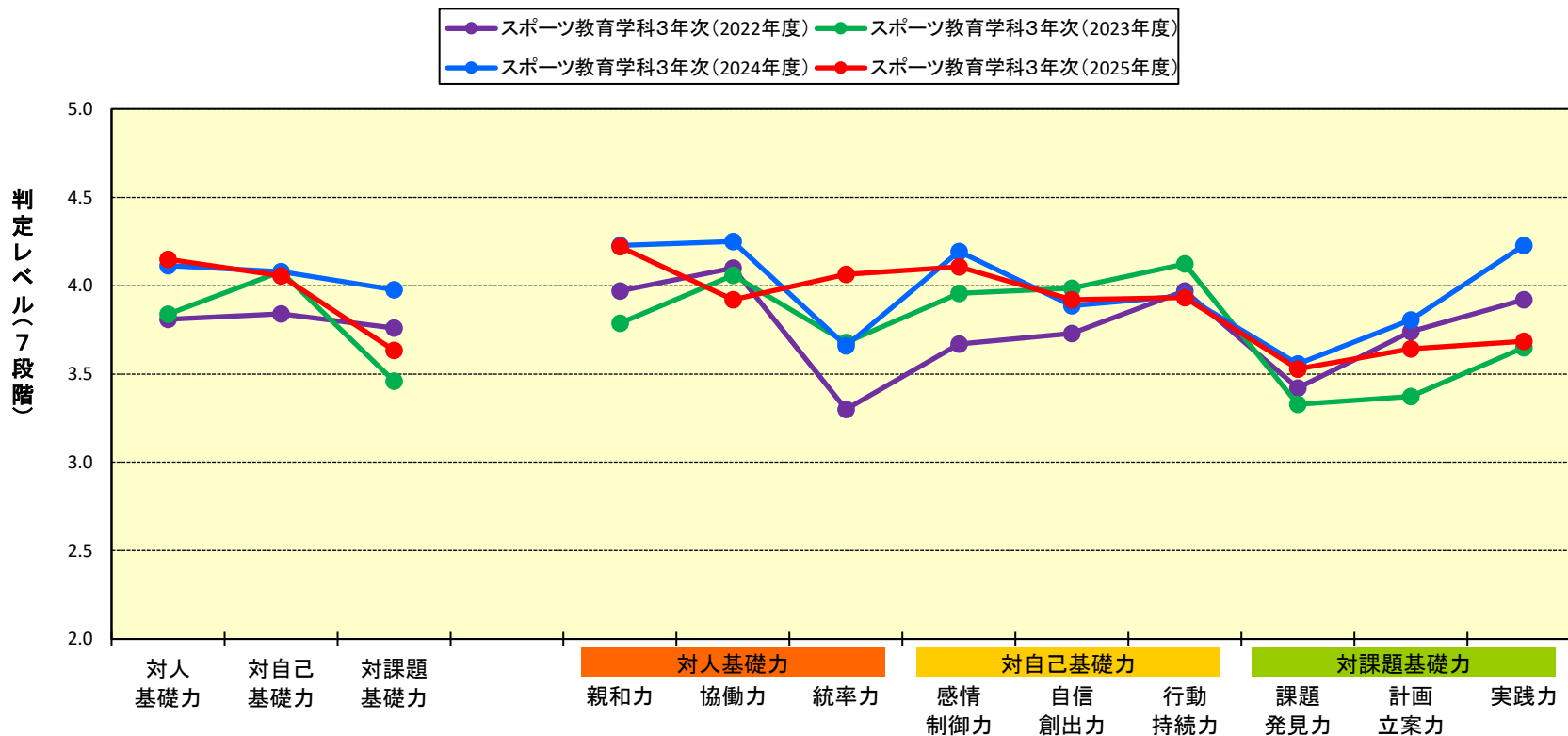


【スポーツ教育学科3年次】

統率力、自信創出力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）③

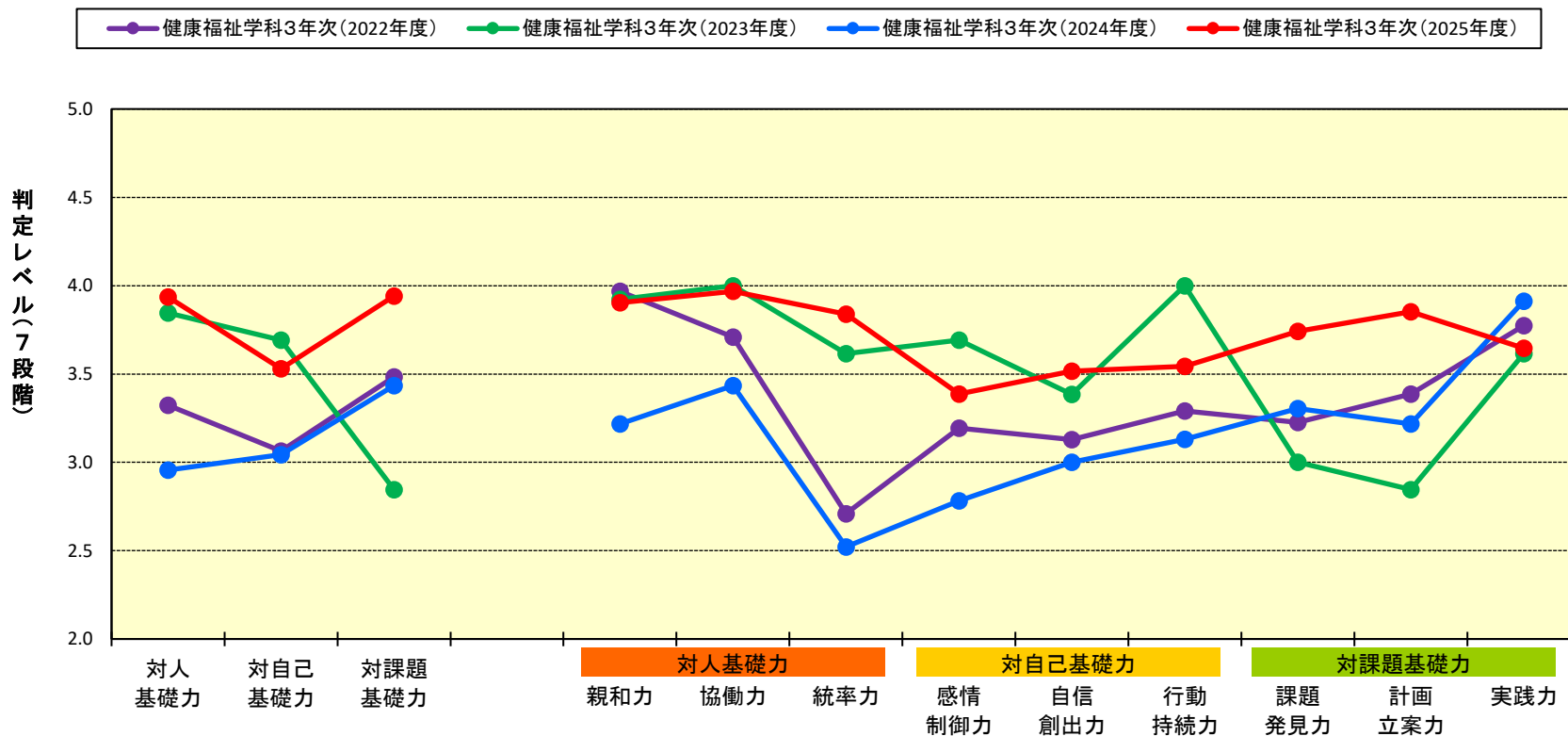
【健康福祉学科3年次】

親和力、協働力、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

（※2023年度は、受験者のサンプル数が少ないため、参考値とお考えください。）

コンピテンシー要素の伸長

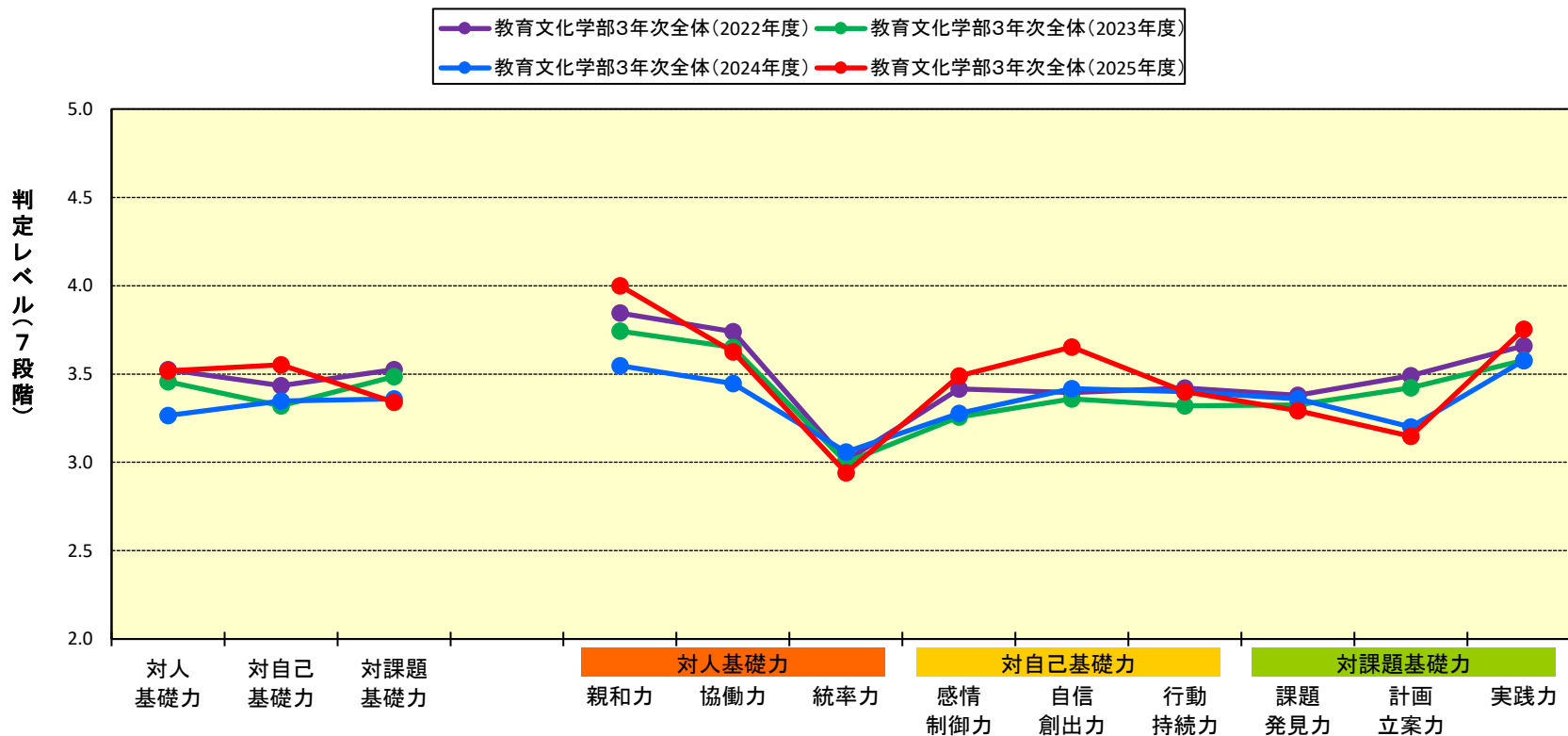


コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）④

【教育文化学部3年次全体】

親和力、協働力、感情制御力、自信創出力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、統率力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

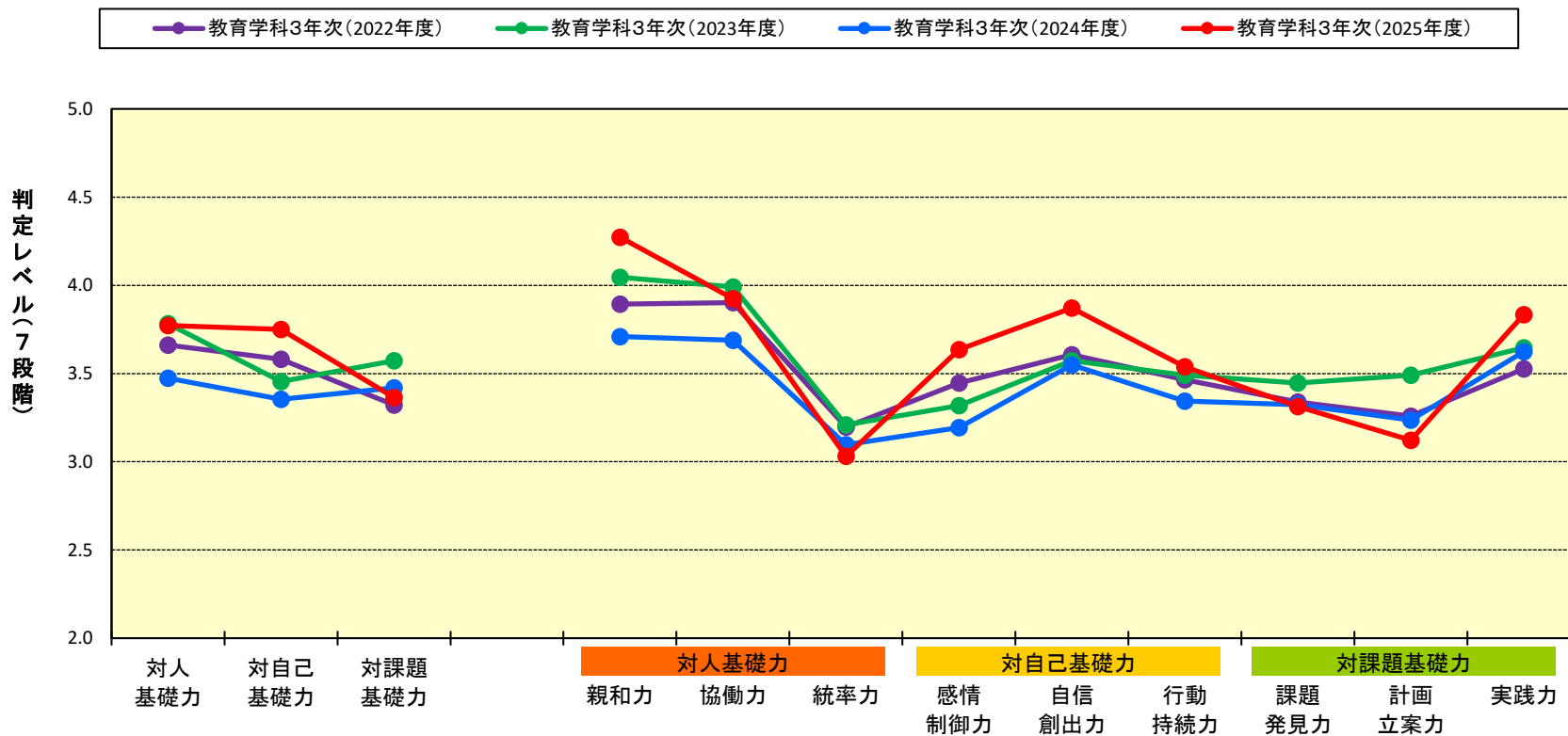


コンピテンシー大分類要素（過去の受験者との比較）⑤

【教育学科3年次】

親和力、協働力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。
 一方、統率力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

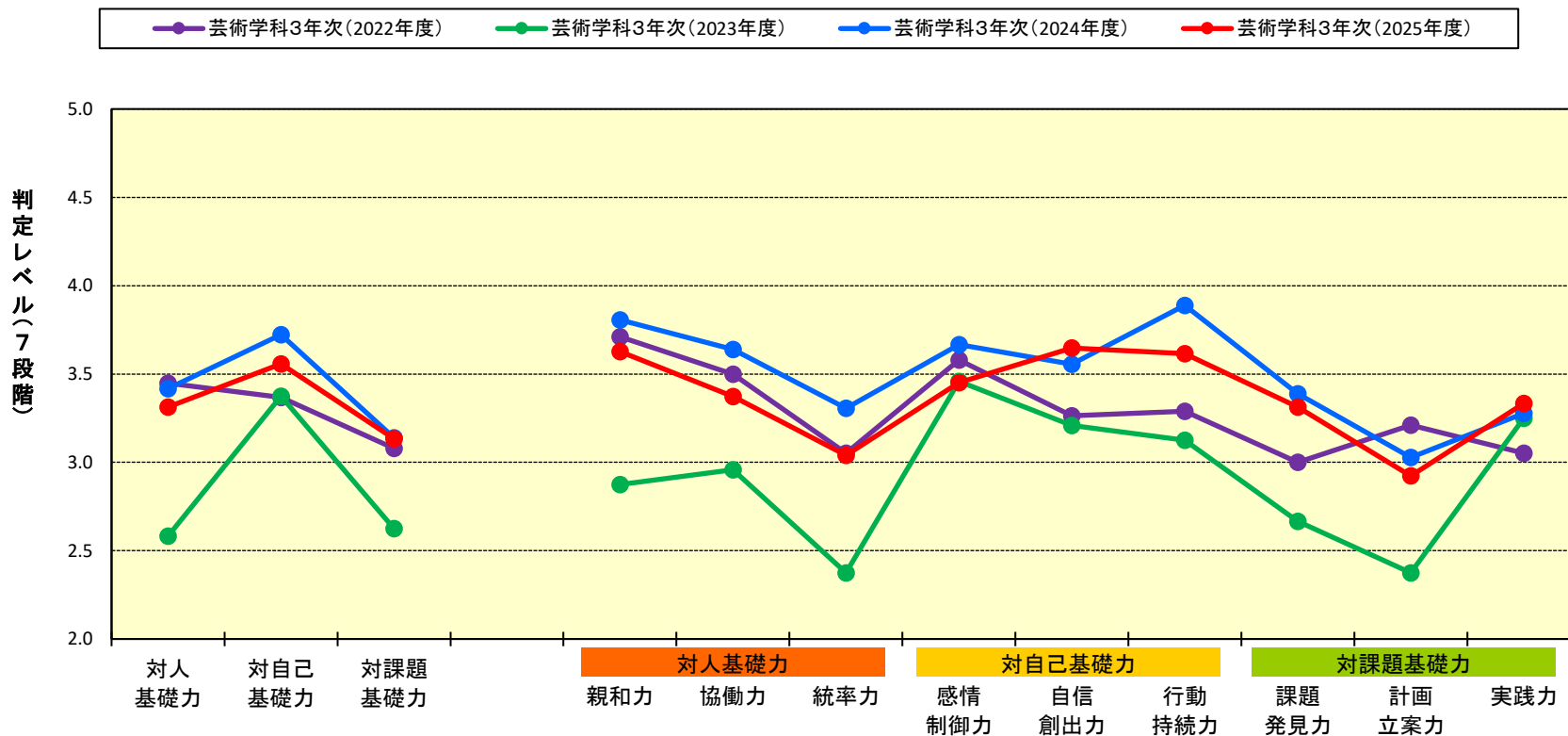


【芸術学科3年次】

自信創出力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、統率力、感情制御力、行動持続力、課題発見力、計画立案力は、2024年度のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

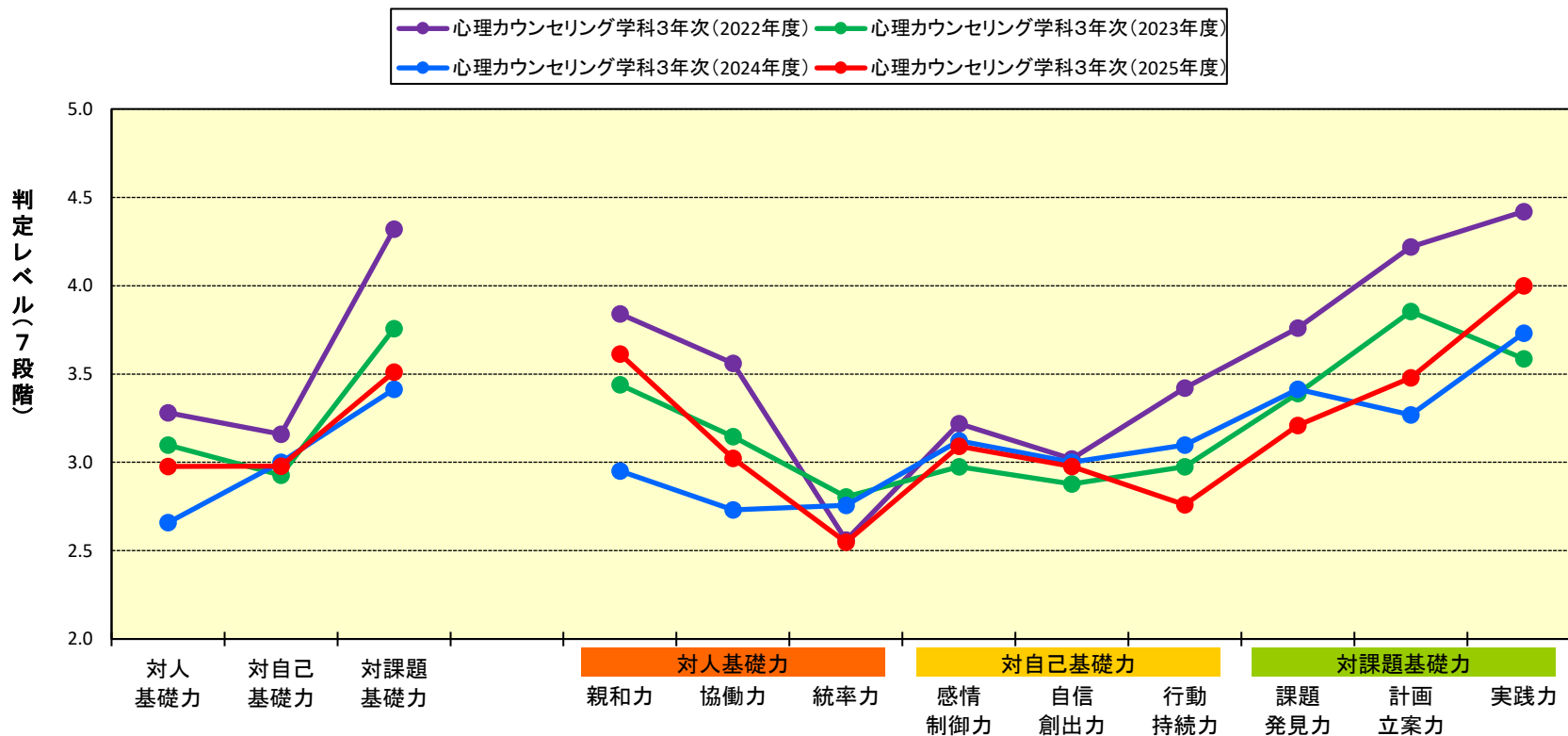


【心理カウンセリング学科3年次】

親和力、協働力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、統率力、感情制御力、自信創出力、行動持続力、課題発見力は、2024年度のスコアを下回る。

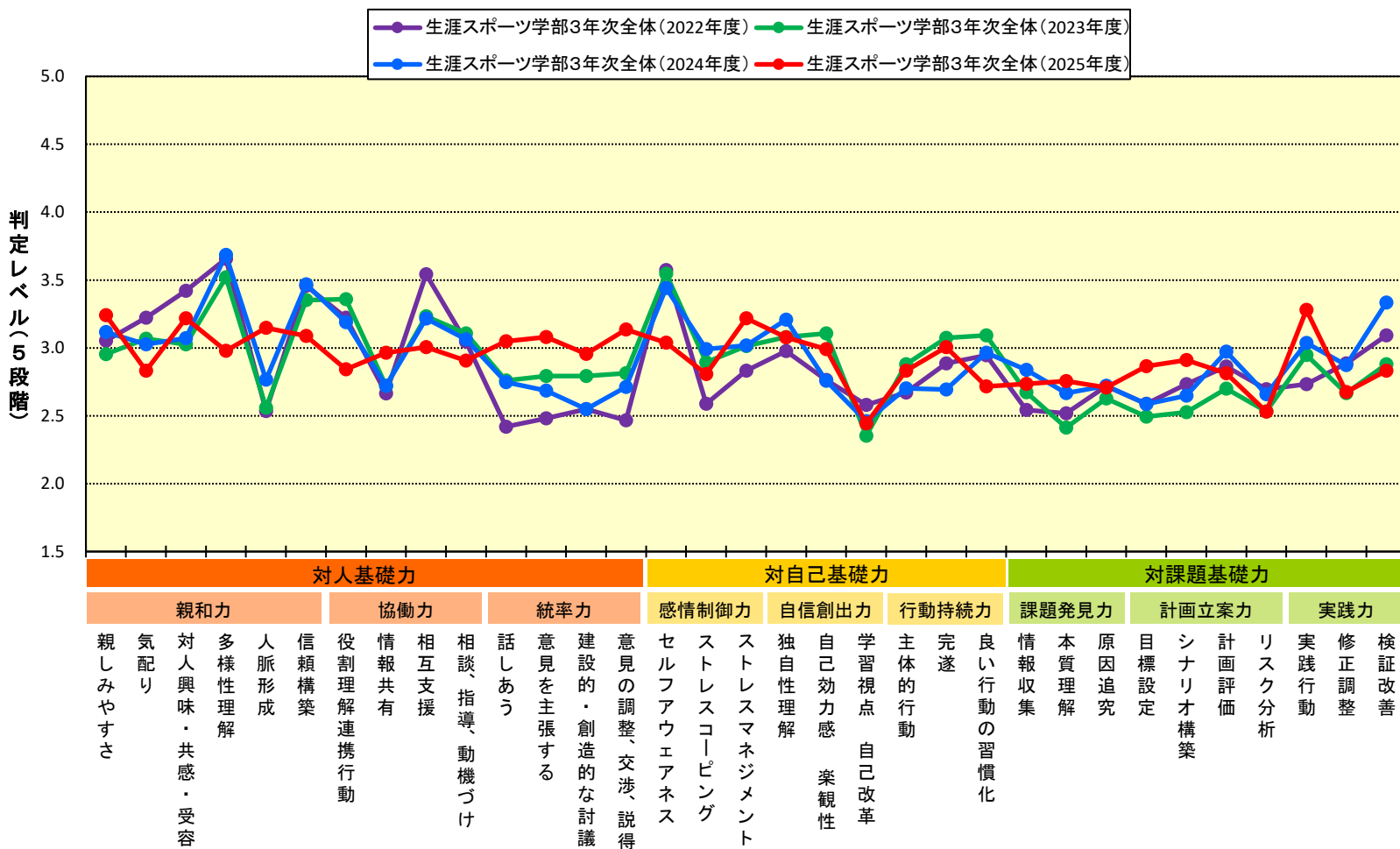
コンピテンシー要素の伸長



コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）①

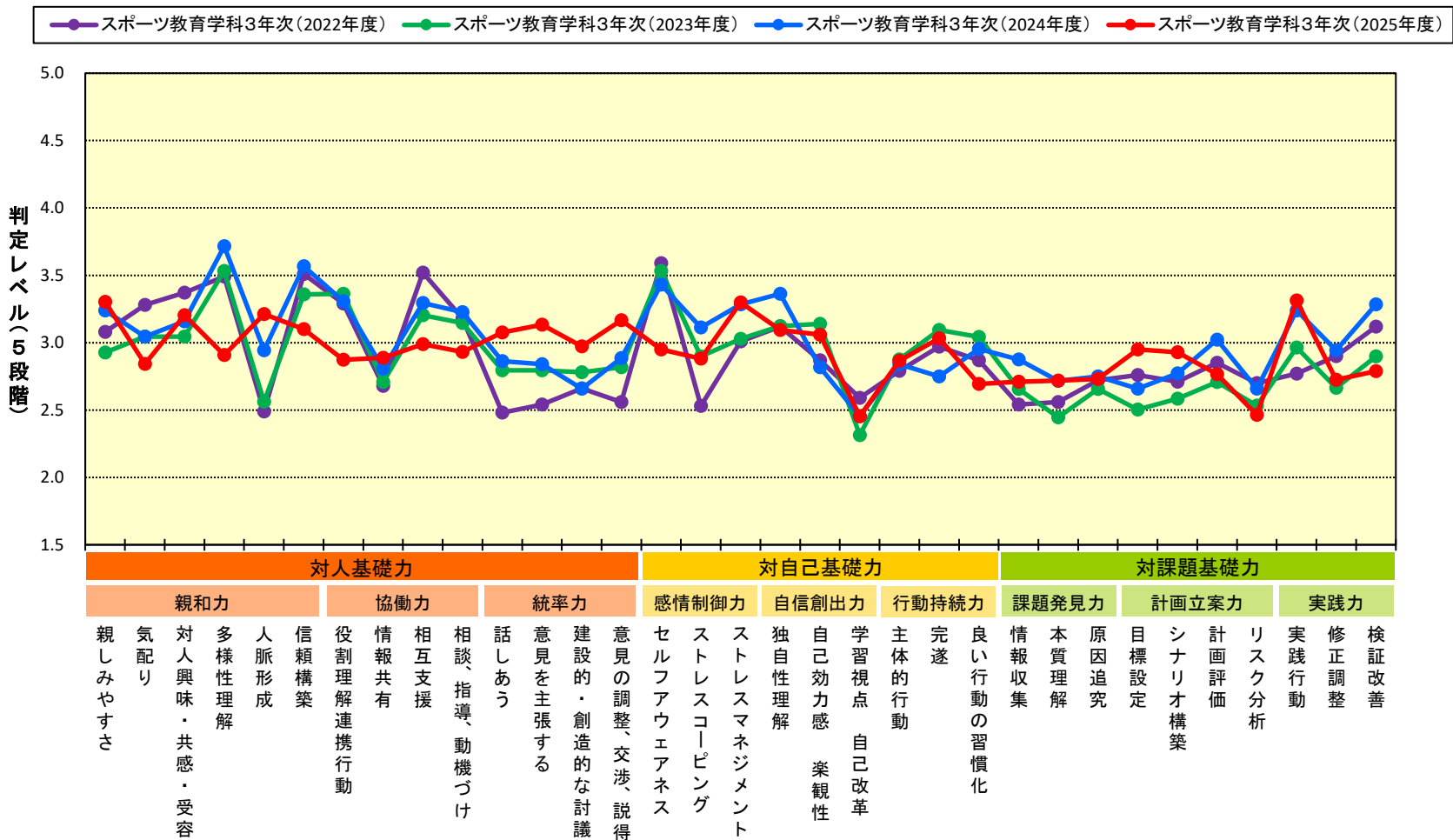
【生涯スポーツ学部3年次全体】

コンピテンシー小分類要素



【スポーツ教育学科3年次】

コンピテンシー小分類要素

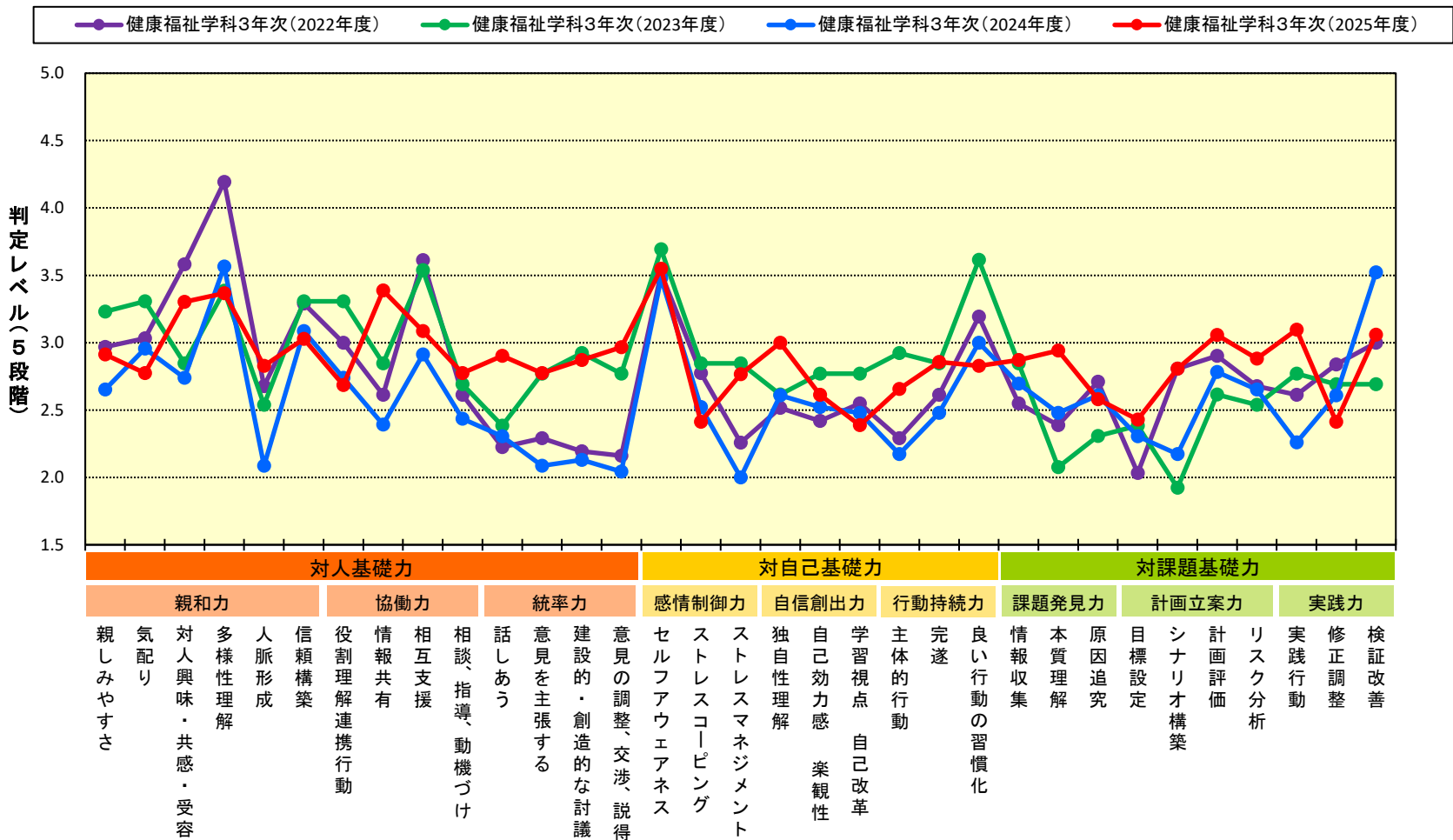


コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）③

【健康福祉学科3年次】

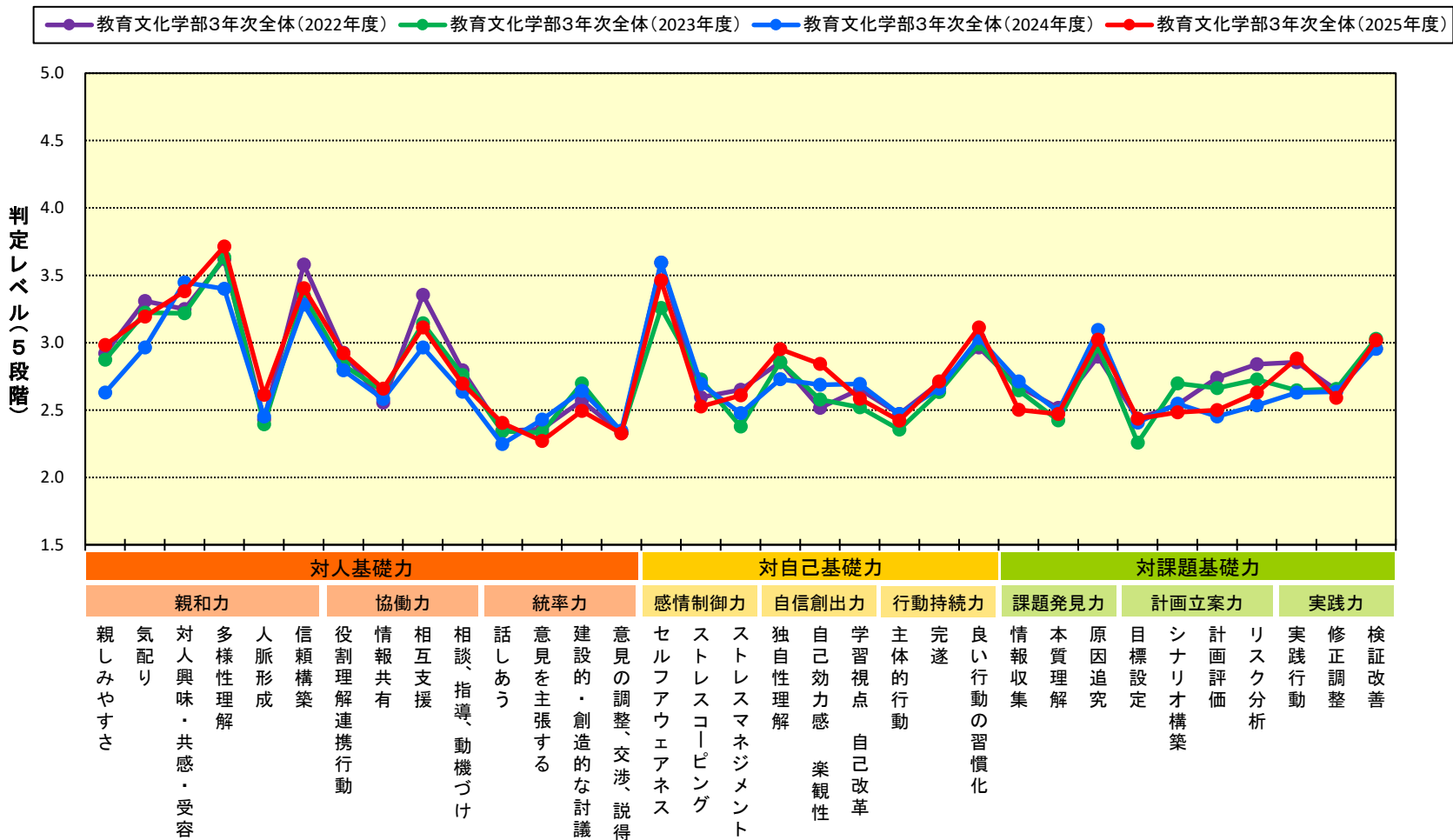
（※2023年度は、受験者のサンプル数が少ないため参考値とお考えください。）

コンピテンシー小分類要素



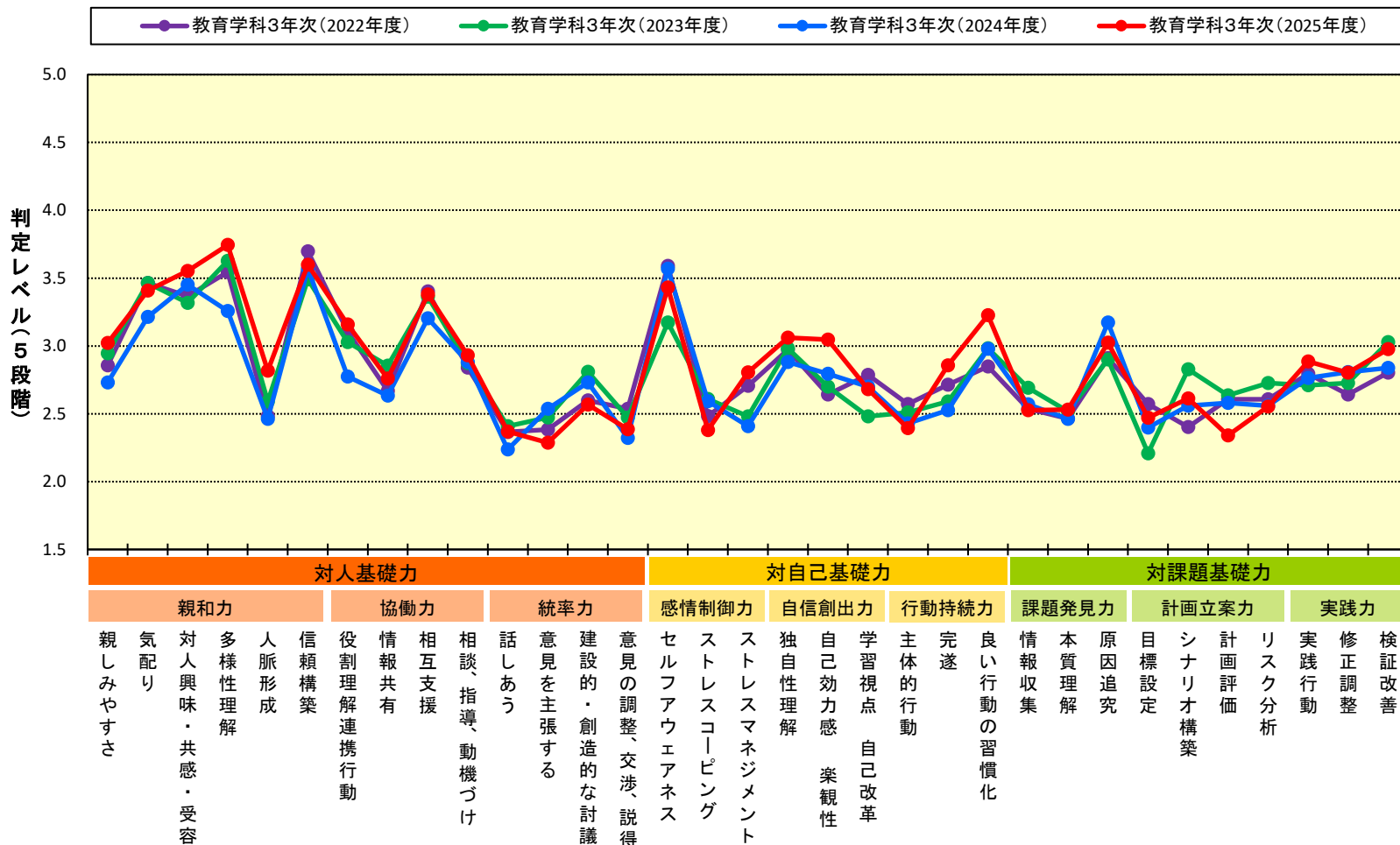
【教育文化学部3年次全体】

コンピテンシー小分類要素



【教育学科3年次】

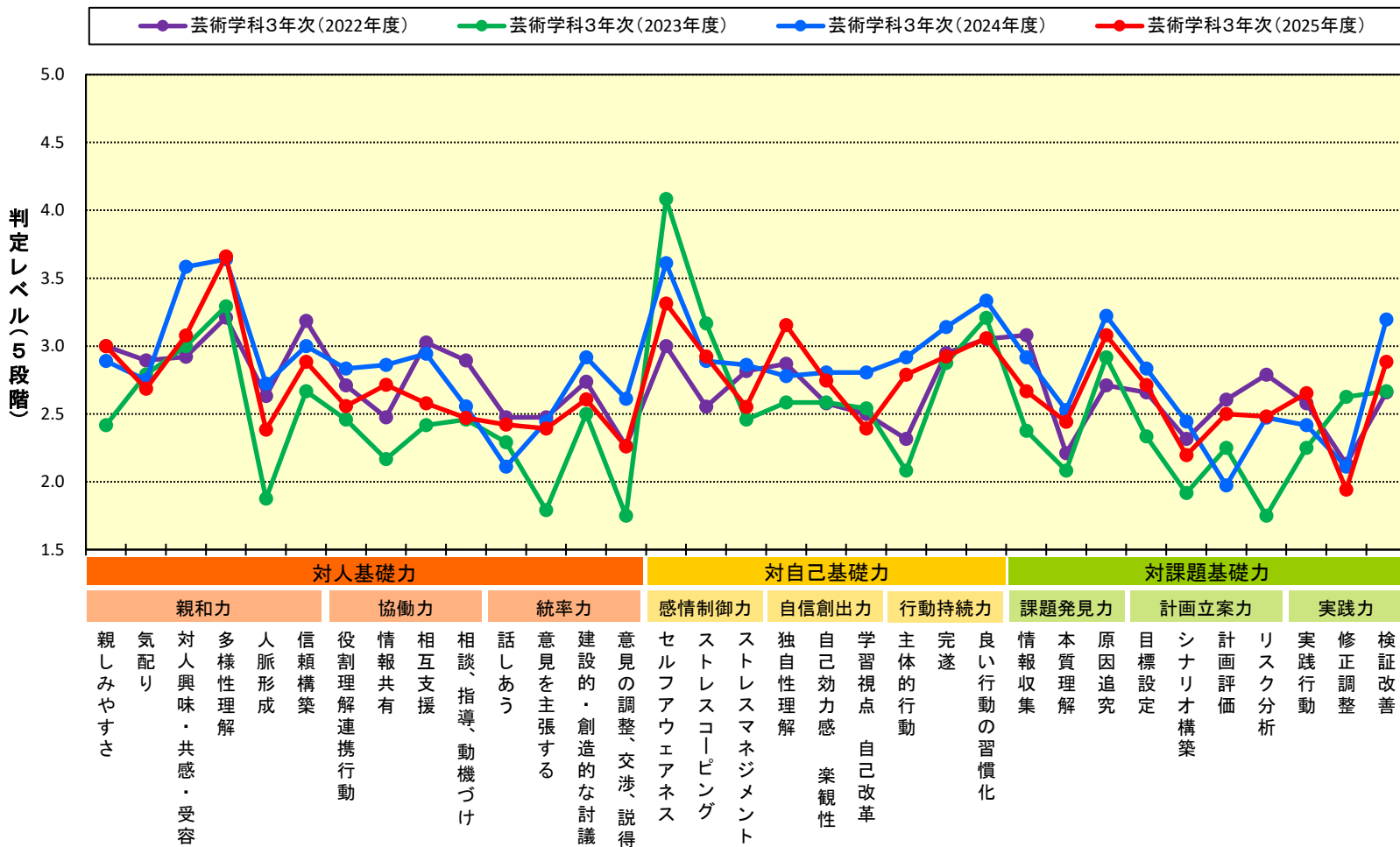
コンピテンシー小分類要素



コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較）⑥

【芸術学科3年次】

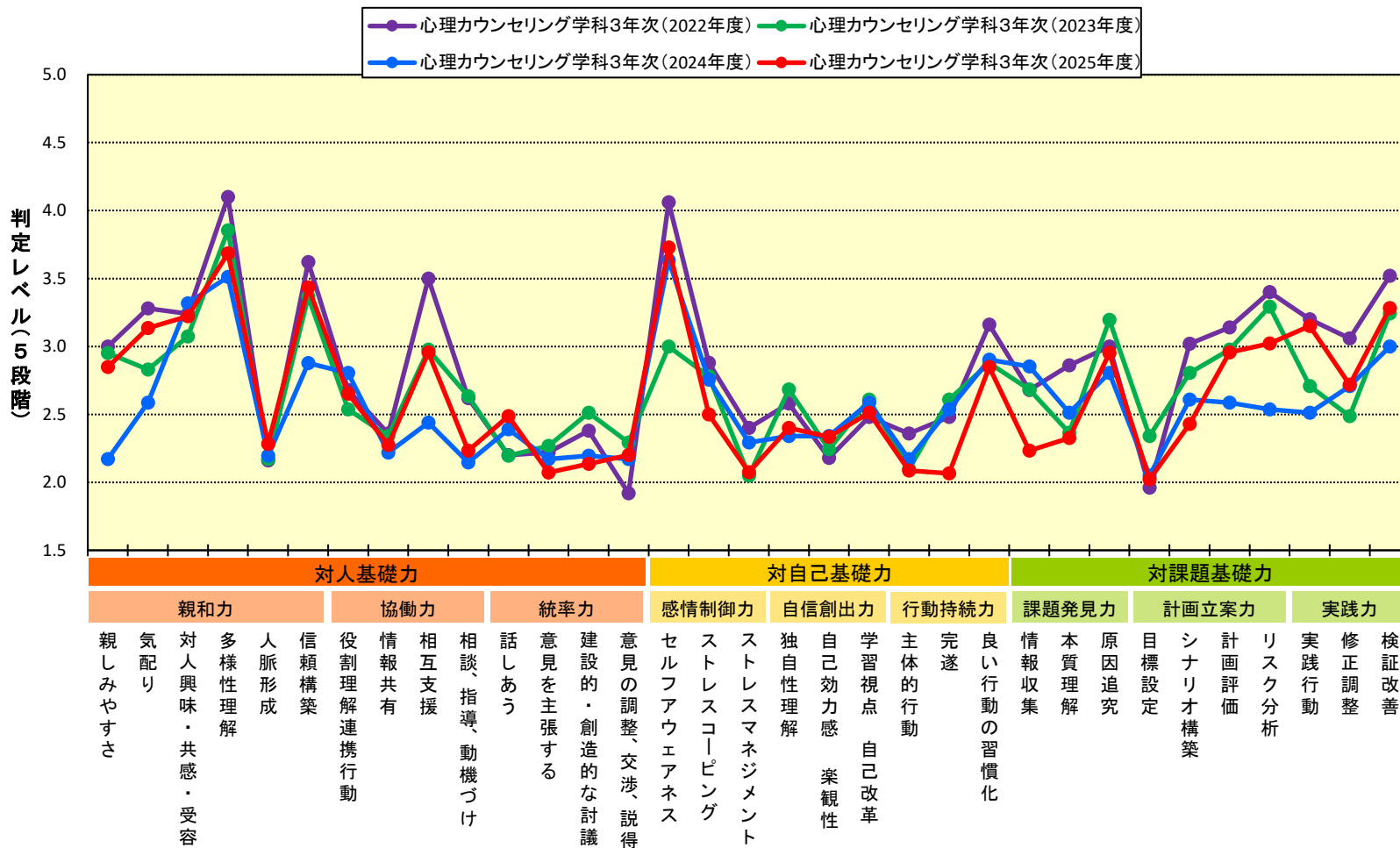
コンピテンシー小分類要素

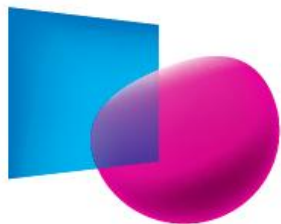


コンピテンシー小分類要素（過去の受験者との比較） ⑦

【心理カウンセリング学科3年次】

コンピテンシー小分類要素





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

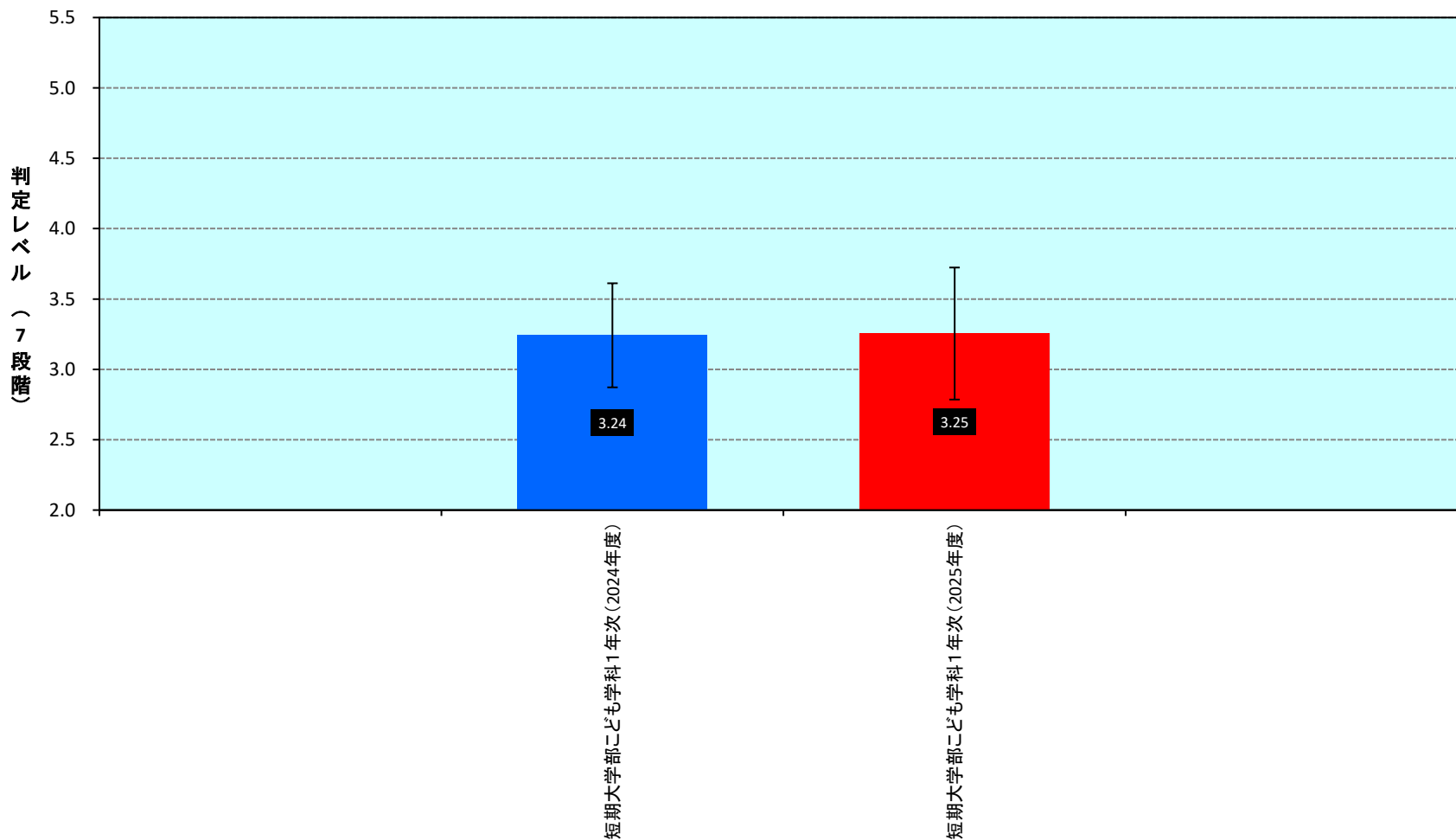
Part.9
過去受験者との比較
短期大学部

学部 学科	2024年度 1年次 2024年6月 受験	2025年度 1年次 2025年6月 受験
短期大学部 こども学科	62	55

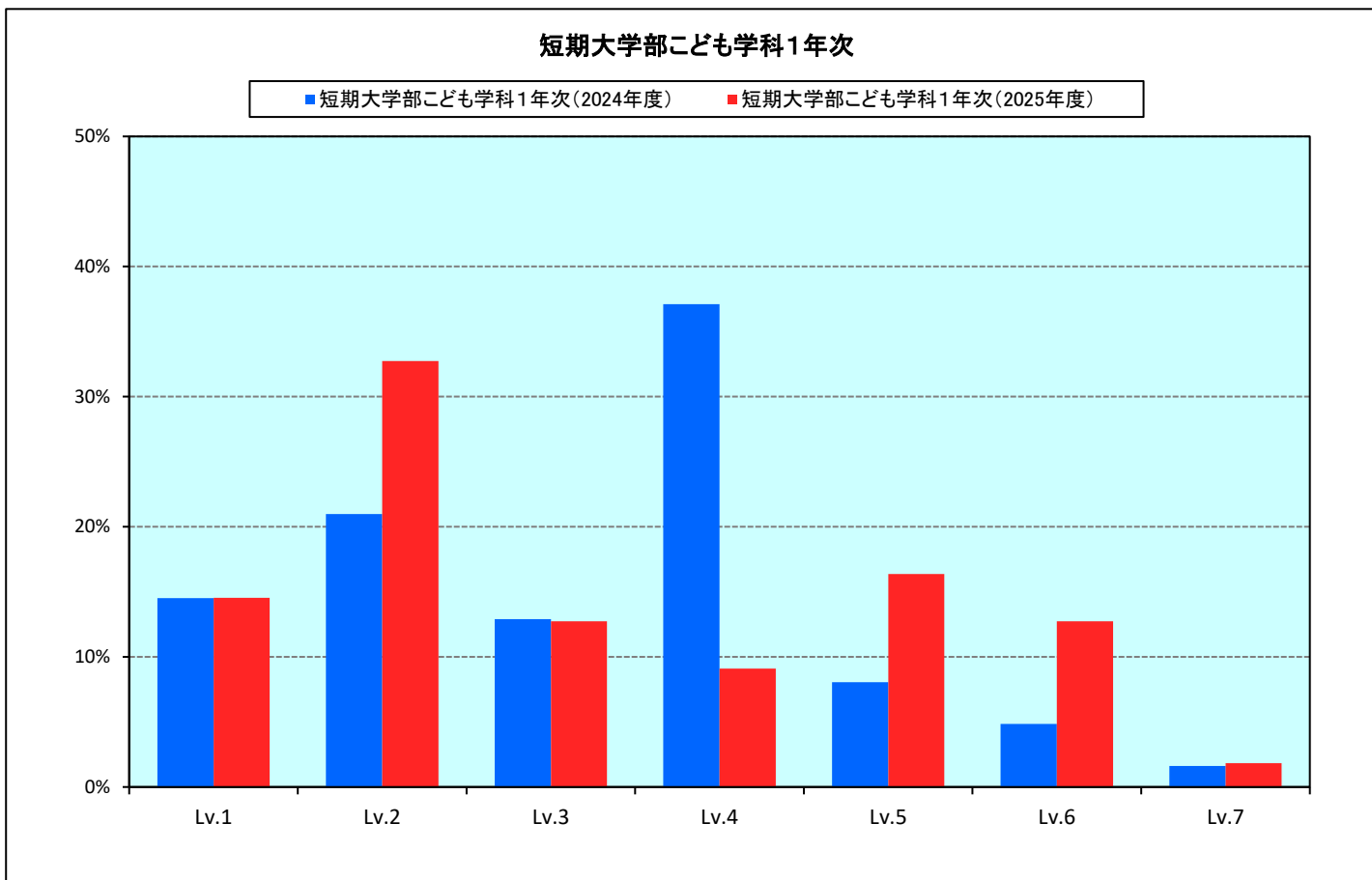
リテラシー総合（過去の受験者との比較）

- 短期大学部こども学科1年次は、2024年度のスコアを上回る。

リテラシー総合



●短期大学部こども学科1年次は、2024年度に比べて、レベル4の割合が小さく、レベル2、レベル5～6のボリュームが大きい。



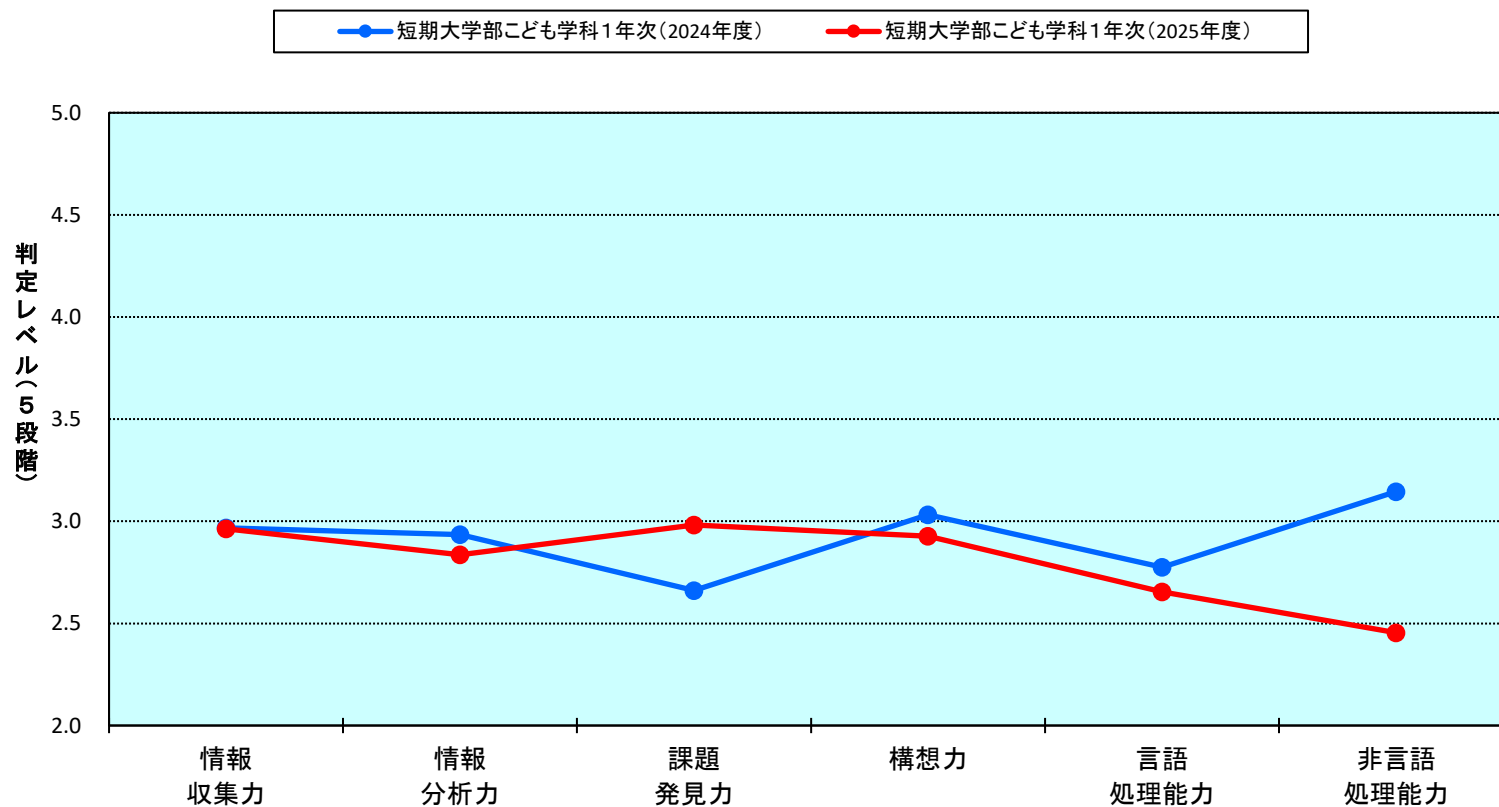
リテラシー要素（過去の受験者との比較）

【短期大学部こども学科1年次】

課題発見力は、2024年度のスコアを上回る。

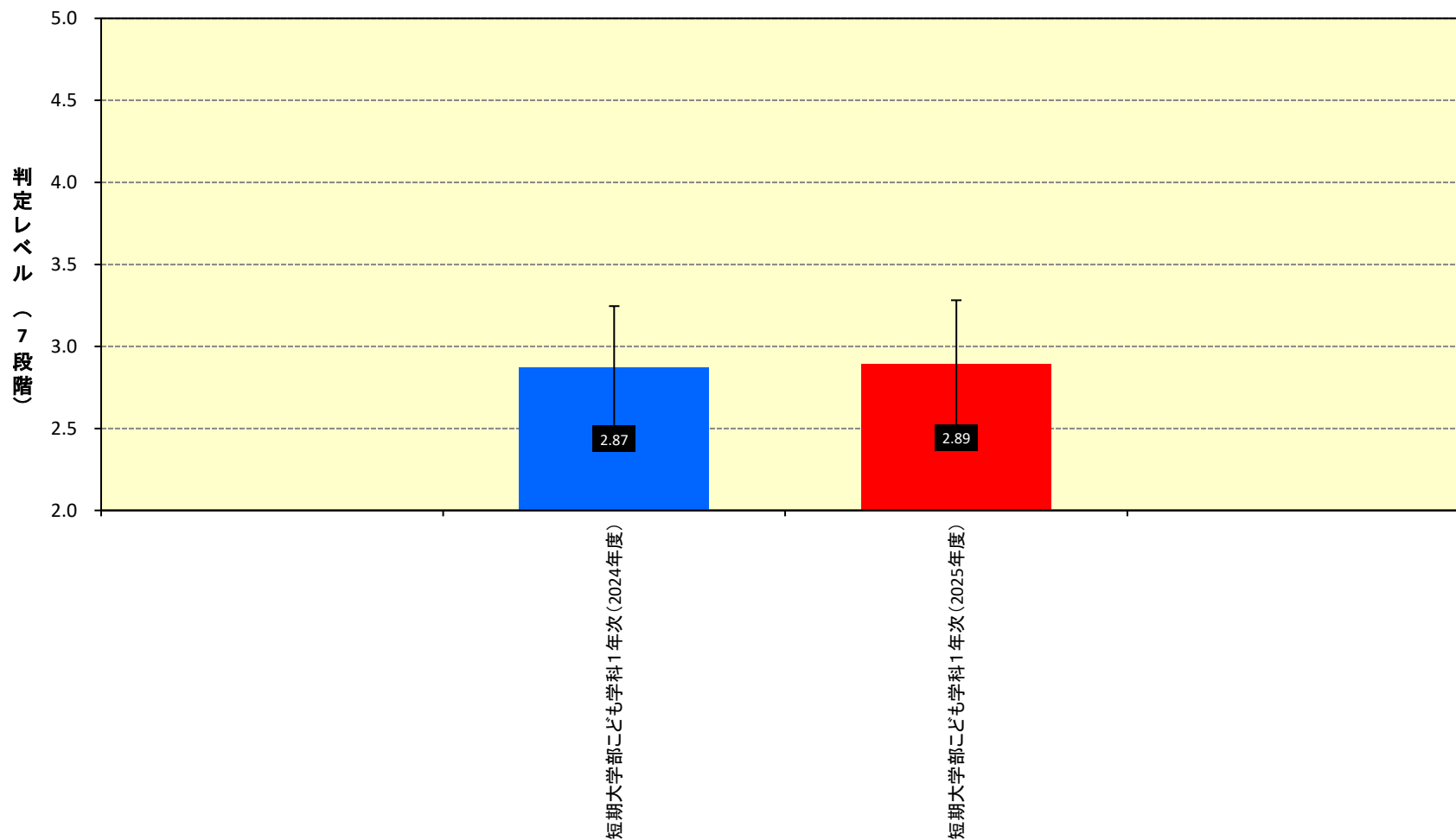
一方、情報収集力、情報分析力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、2024年度のスコアを下回る。

リテラシー要素

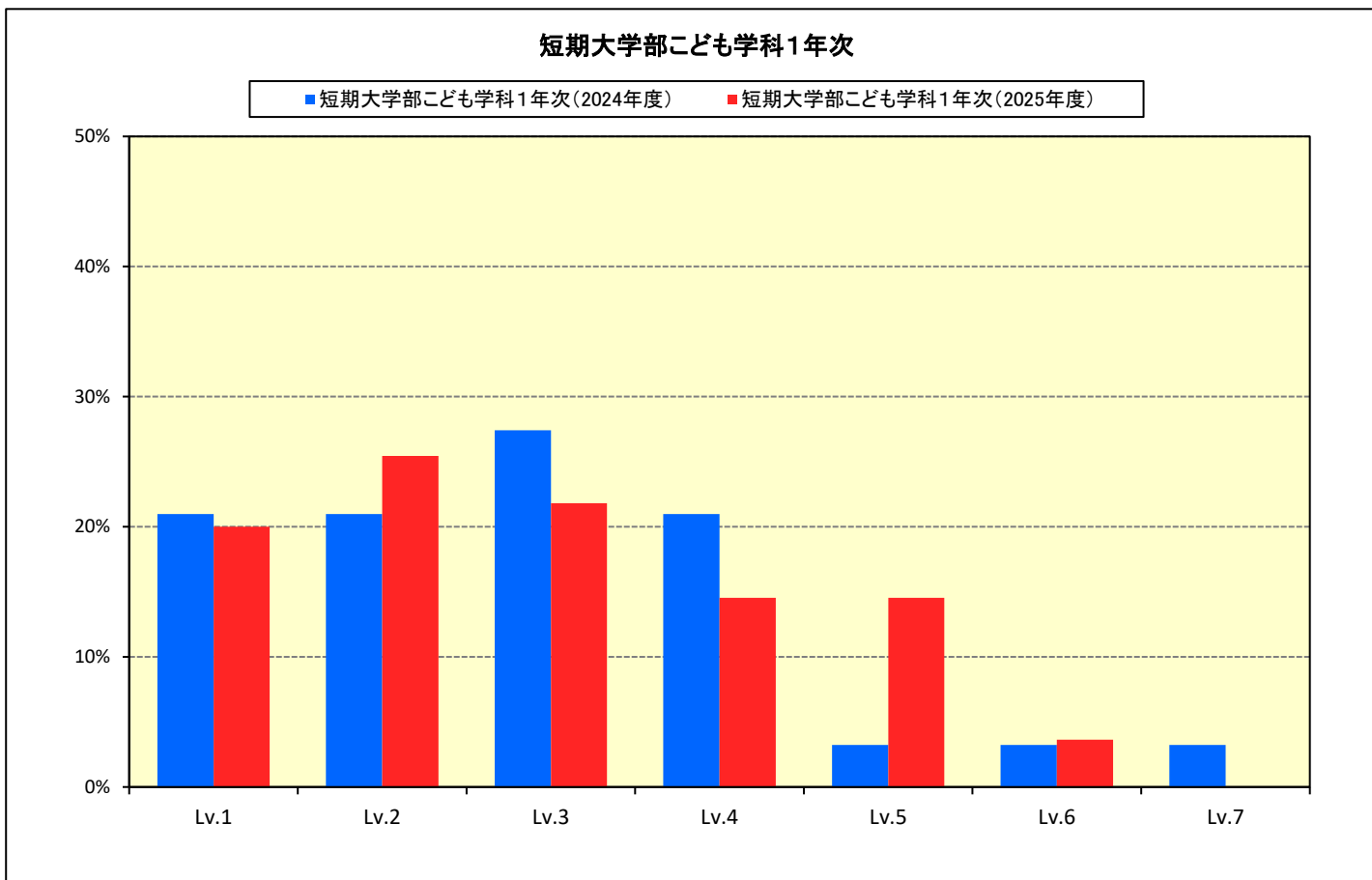


- 短期大学部こども学科1年次は、2024年度のスコアを上回る。

コンピテンシー総合



●短期大学部こども学科1年次は、2024年度に比べて、レベル3～4、レベル7のボリュームが小さく、レベル2、レベル5の割合が大きい。

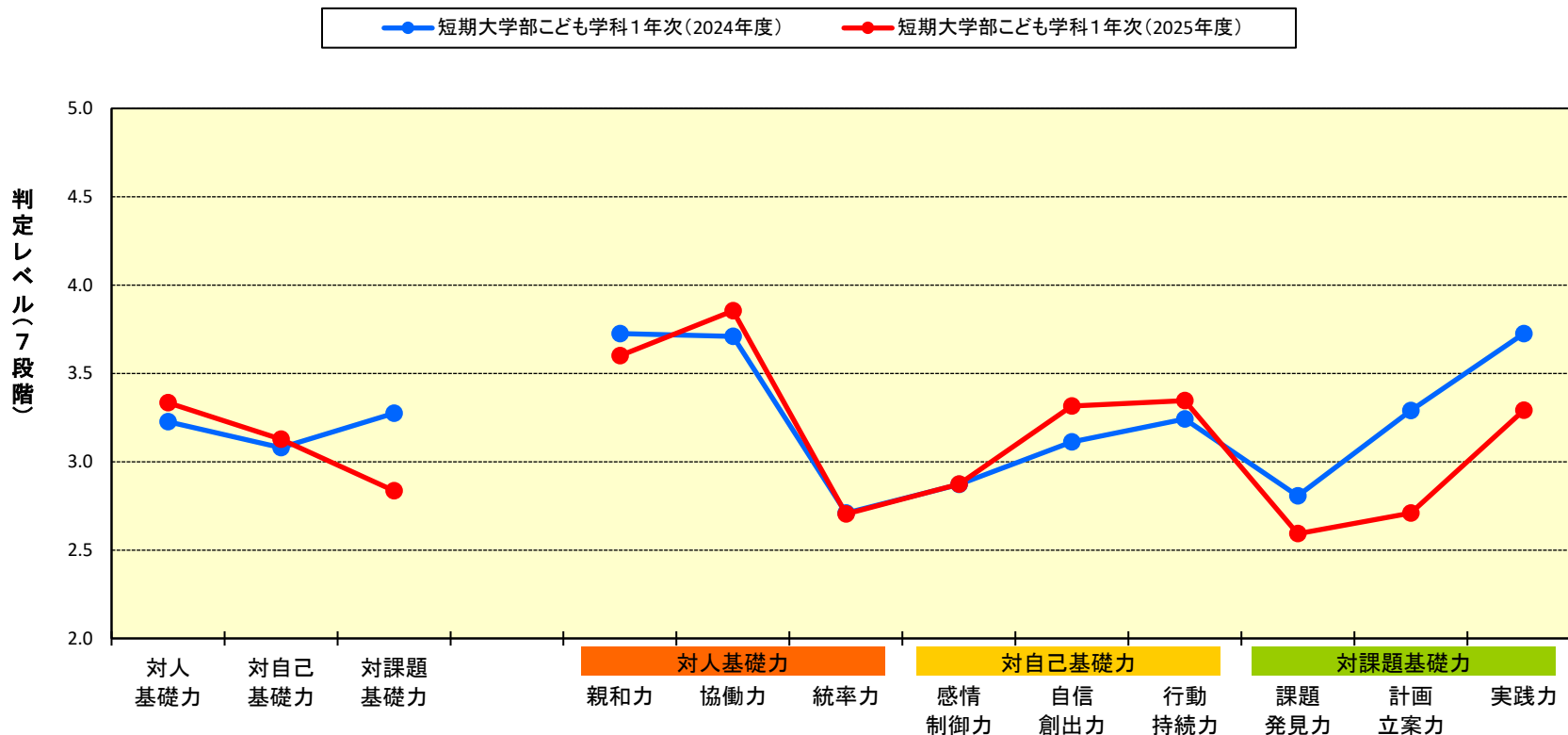


【短期大学部こども学科1年次】

協働力、感情制御力、自信創出力、行動持続力は、2024年度のスコアを上回る。

一方、親和力、統率力、課題発見力、計画立案力、実践力は、2024年度のスコアを下回る。

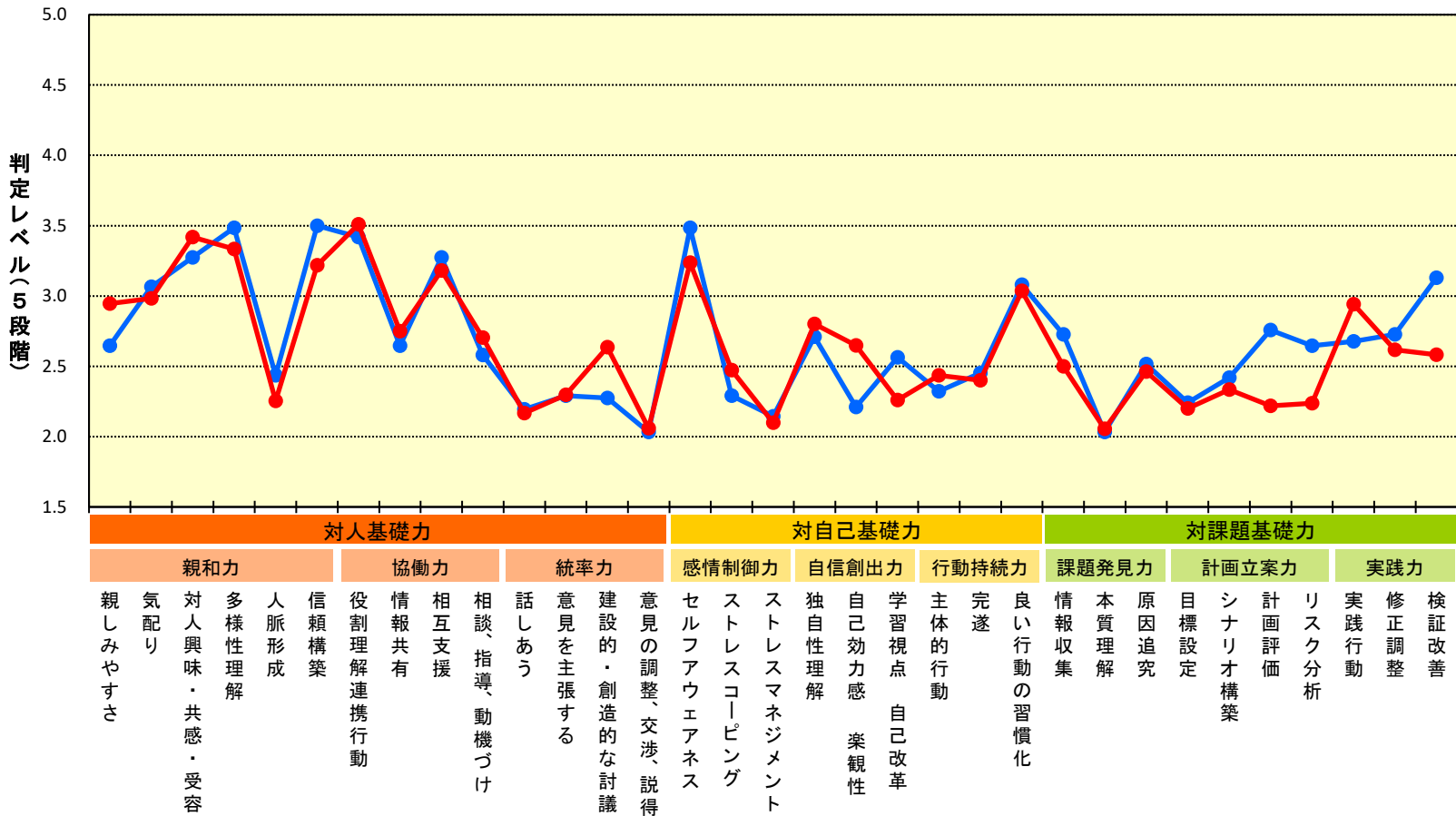
コンピテンシー要素の伸長

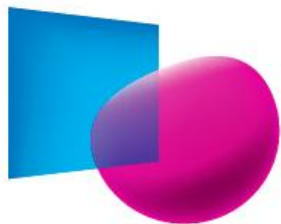


【短期大学部こども学科1年次】

コンピテンシー小分類要素

● 短期大学部こども学科1年次(2024年度) ● 短期大学部こども学科1年次(2025年度)





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

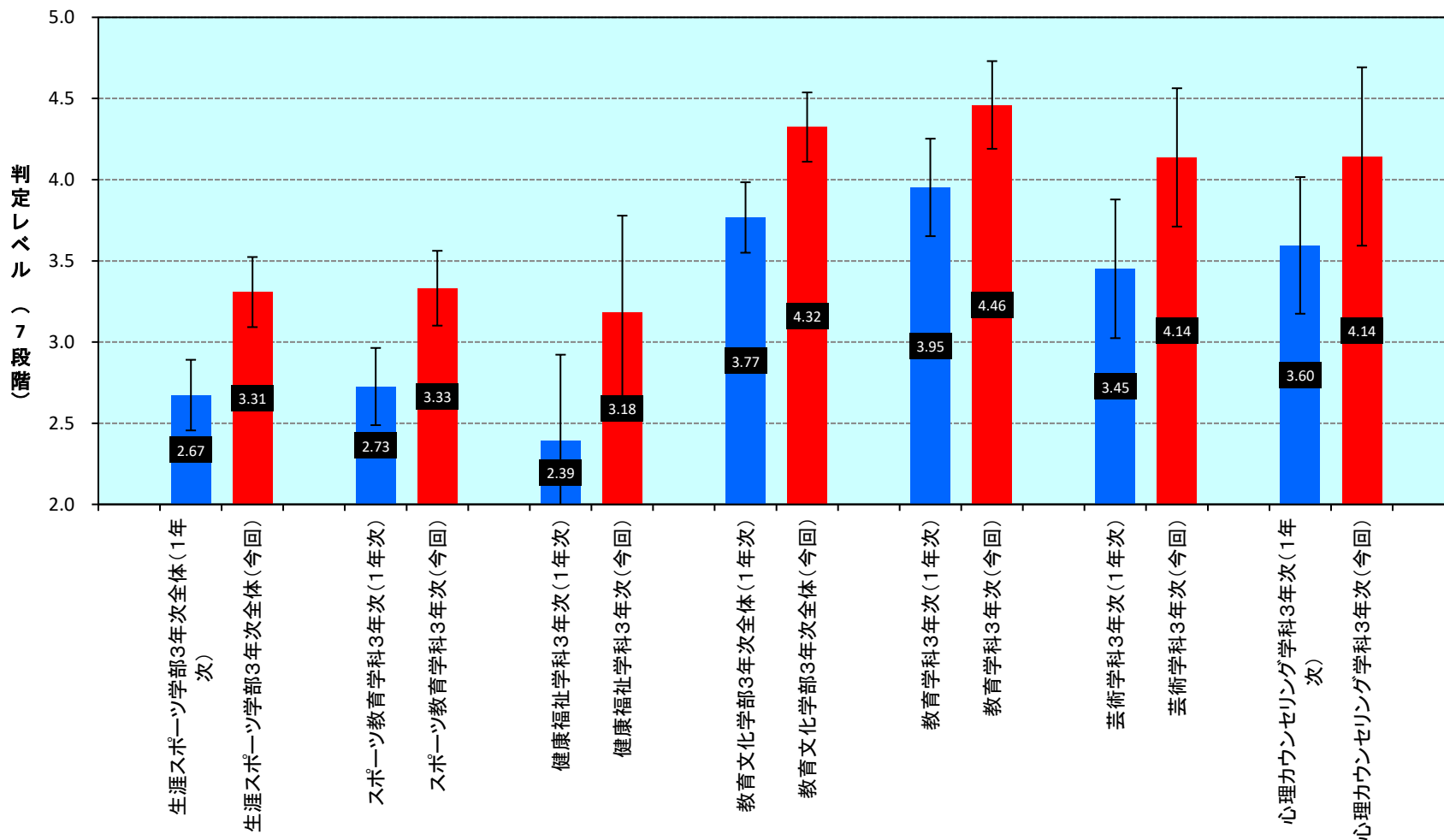
Part.10-1 成長分析 3年次

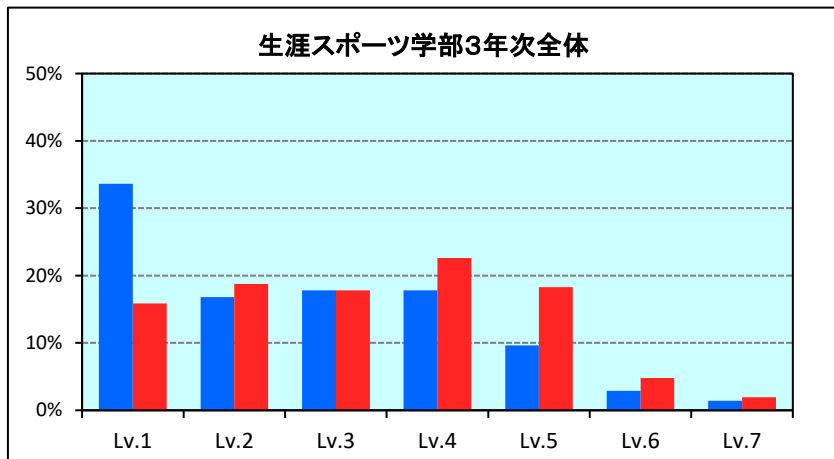
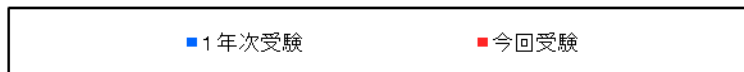
学部	学科	1年次 2023年5月～8月 受験	3年次(今回) 2025年10月～12月 受験	集計対象者 (1年次・3年次 いずれも受験)
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	216	181	175
	健康福祉学科	40	35	33
		256	216	208
教育文化学部	教育学科	142	132	126
	芸術学科	67	52	51
	心理カウンセリング学科	53	46	42
		262	230	219
合計		518	446	427

※WEB受験を実施した学生のリテラシーテストについて、全30問中解答数20問以下の学生について、解答姿勢が低かったことが想定されるため、これらの学生のスコアを除いて集計しております。

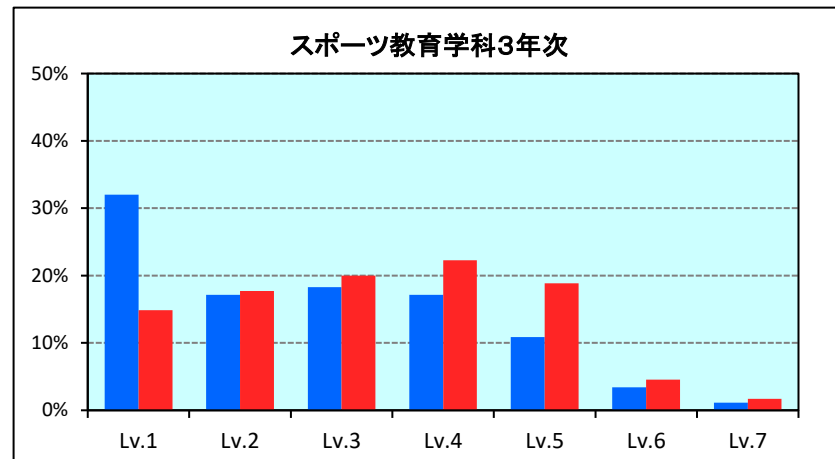
●生涯スポーツ学部3年次全体、スポーツ教育学科3年次、健康福祉学科3年次、教育文化学部3年次全体、教育学科3年次、芸術学科3年次、心理カウンセリング学科3年次は、1年次受験のスコアを上回る。

リテラシー総合

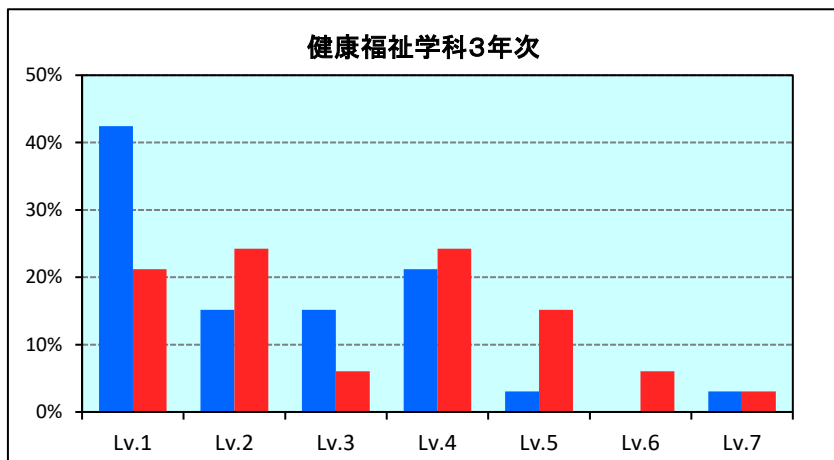




1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル4～5のボリュームが大きい。

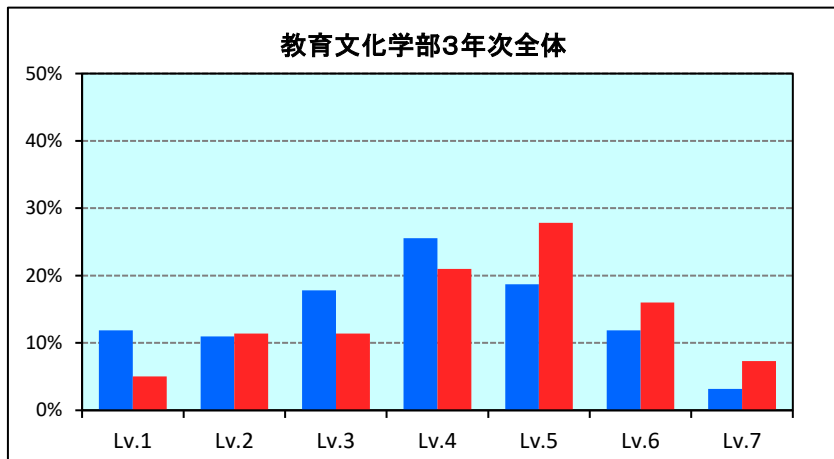


1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル4～5のボリュームが大きい。

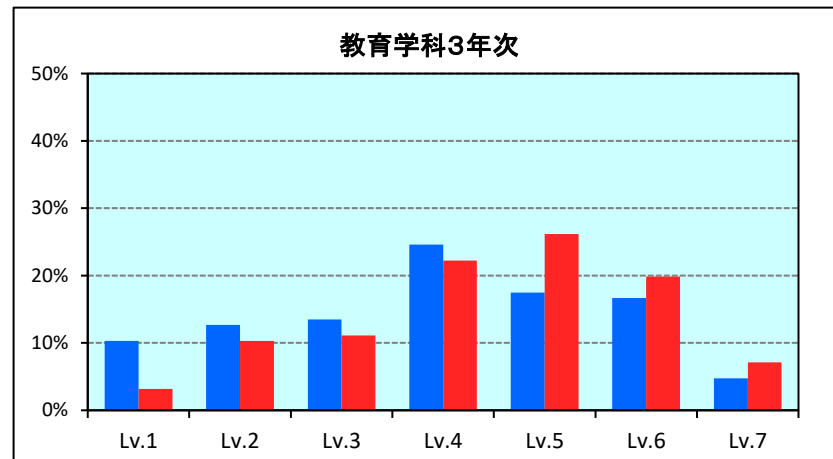


1年次受験に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル2、レベル4～6のボリュームが大きい。

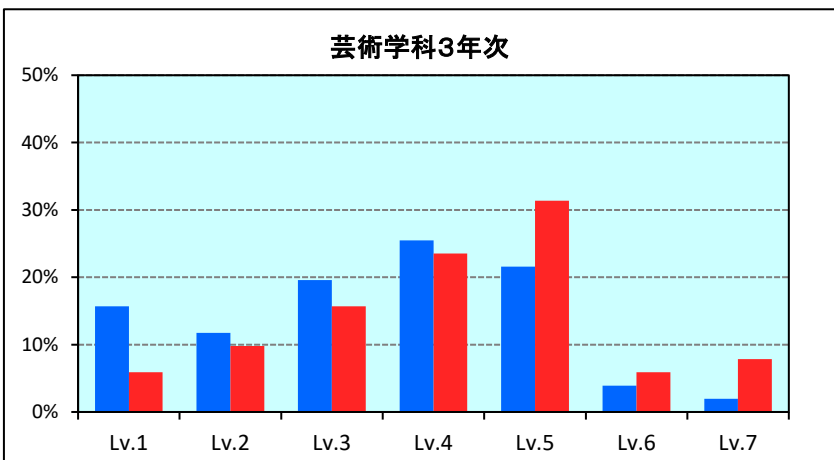
■ 1年次受験 ■ 今回受験



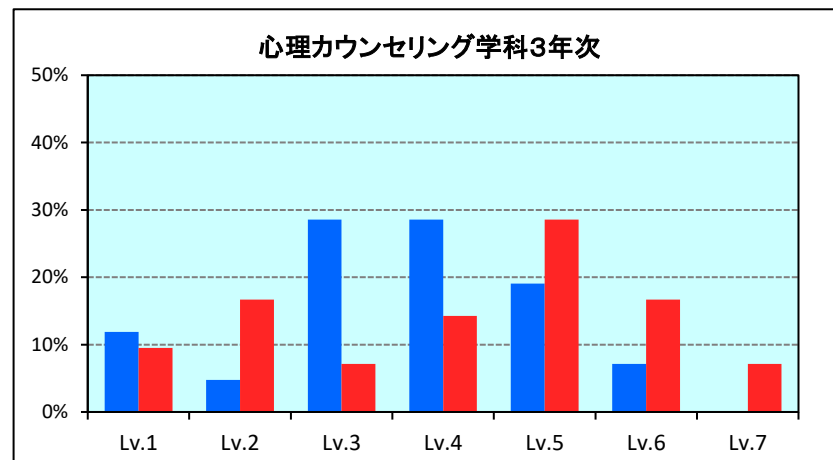
1年次受験に比べて、レベル1、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル5～7のボリュームが大きい。



1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル5～6のボリュームが大きい。



1年次受験に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル5、レベル7の割合が大きい。

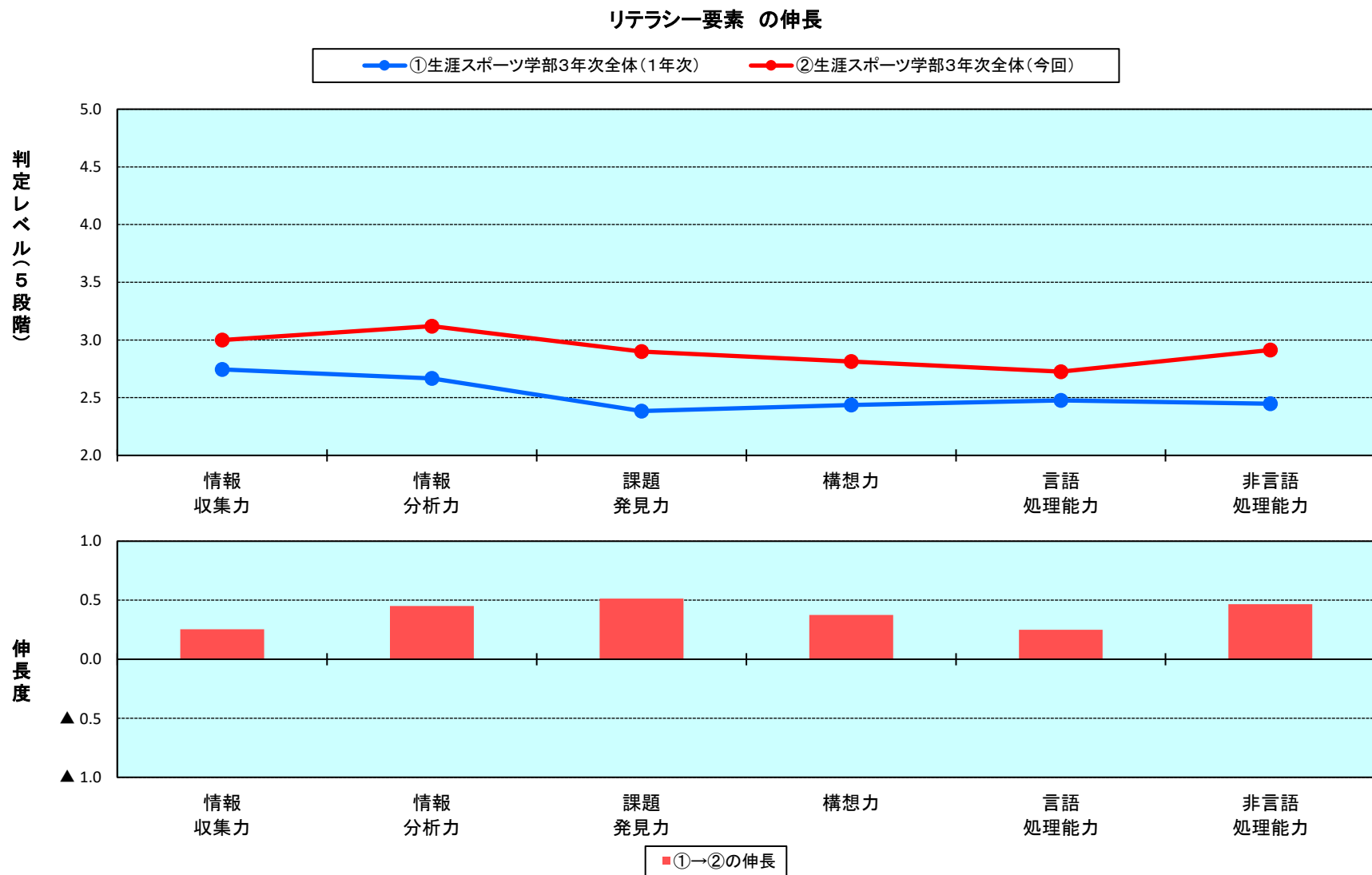


1年次受験に比べて、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル2、レベル5～7のボリュームが大きい。

リテラシー要素（成長分析）①

【生涯スポーツ学部3年次全体】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。

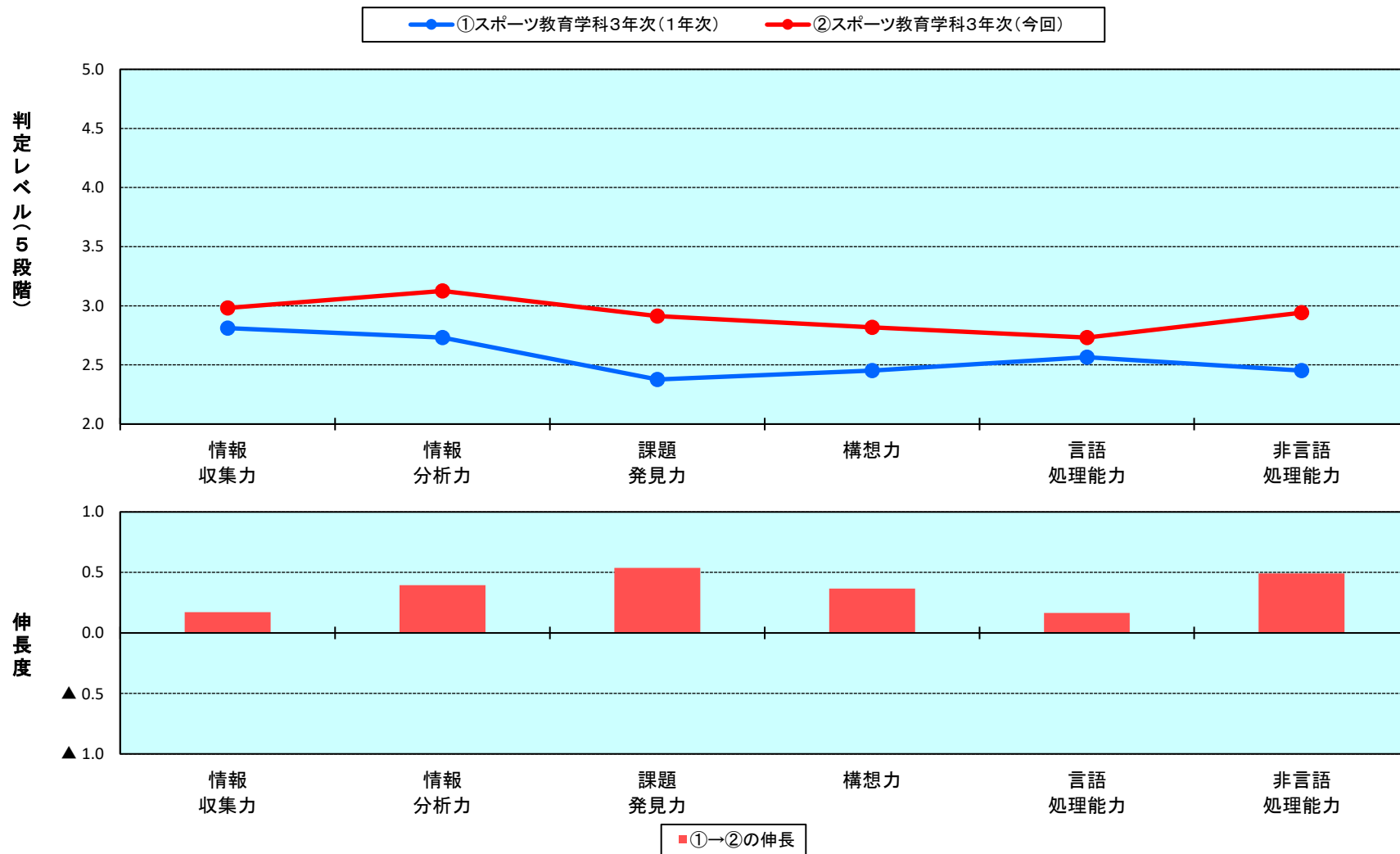


リテラシー要素（成長分析）②

【スポーツ教育学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。

リテラシー要素 の伸長

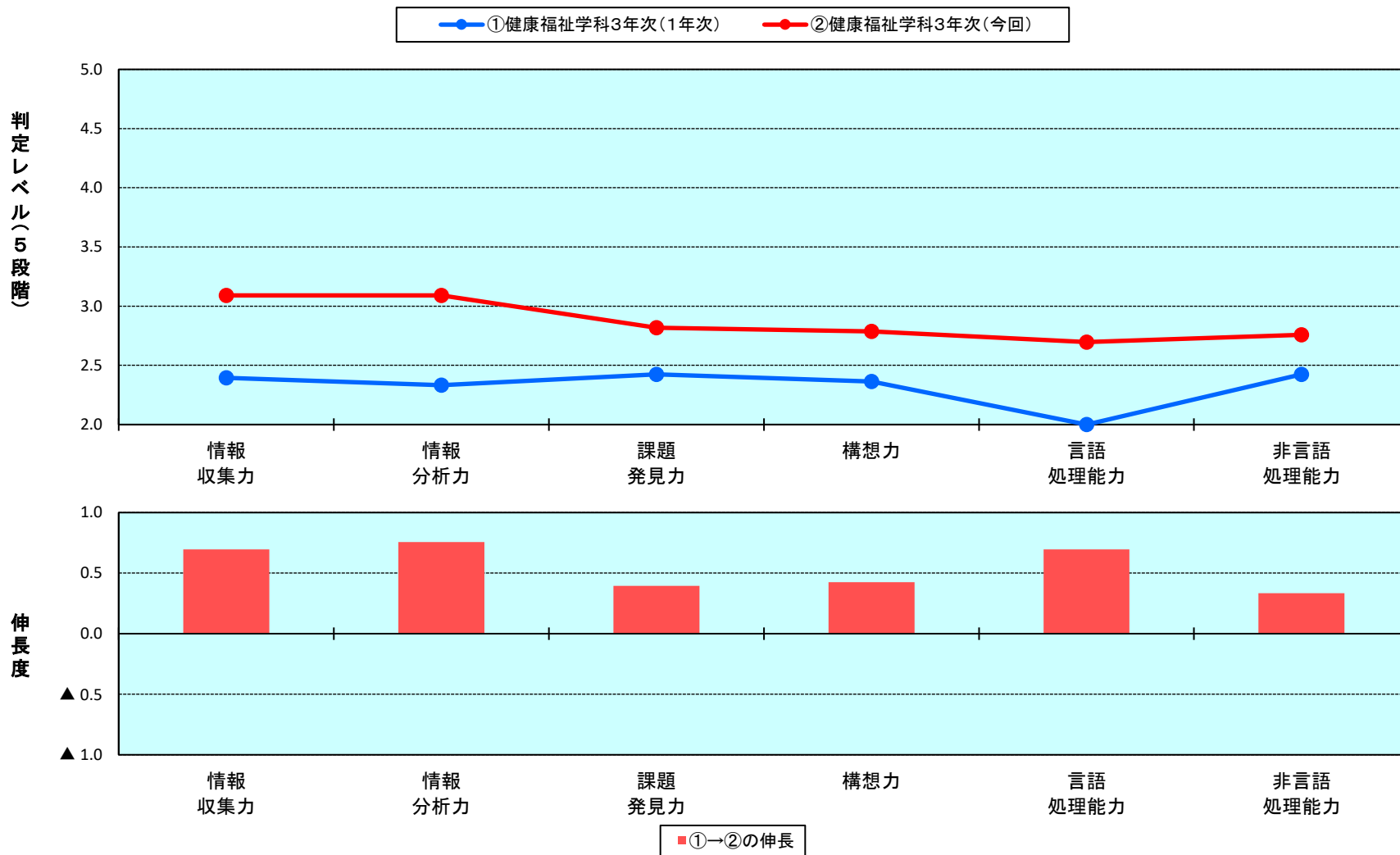


リテラシー要素（成長分析）③

【健康福祉学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。

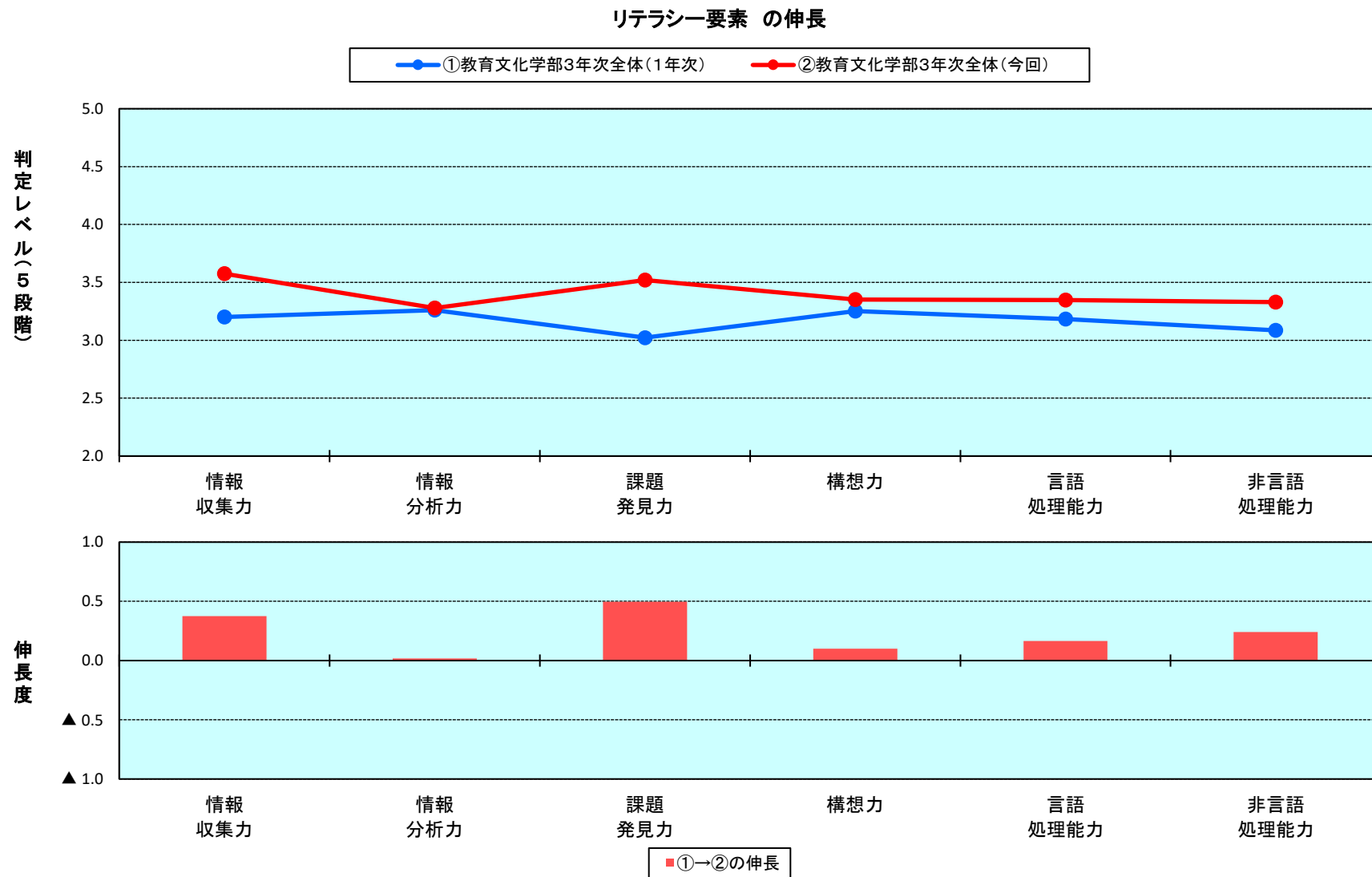
リテラシー要素の伸長



リテラシー要素（成長分析）④

【教育文化学部3年次全体】

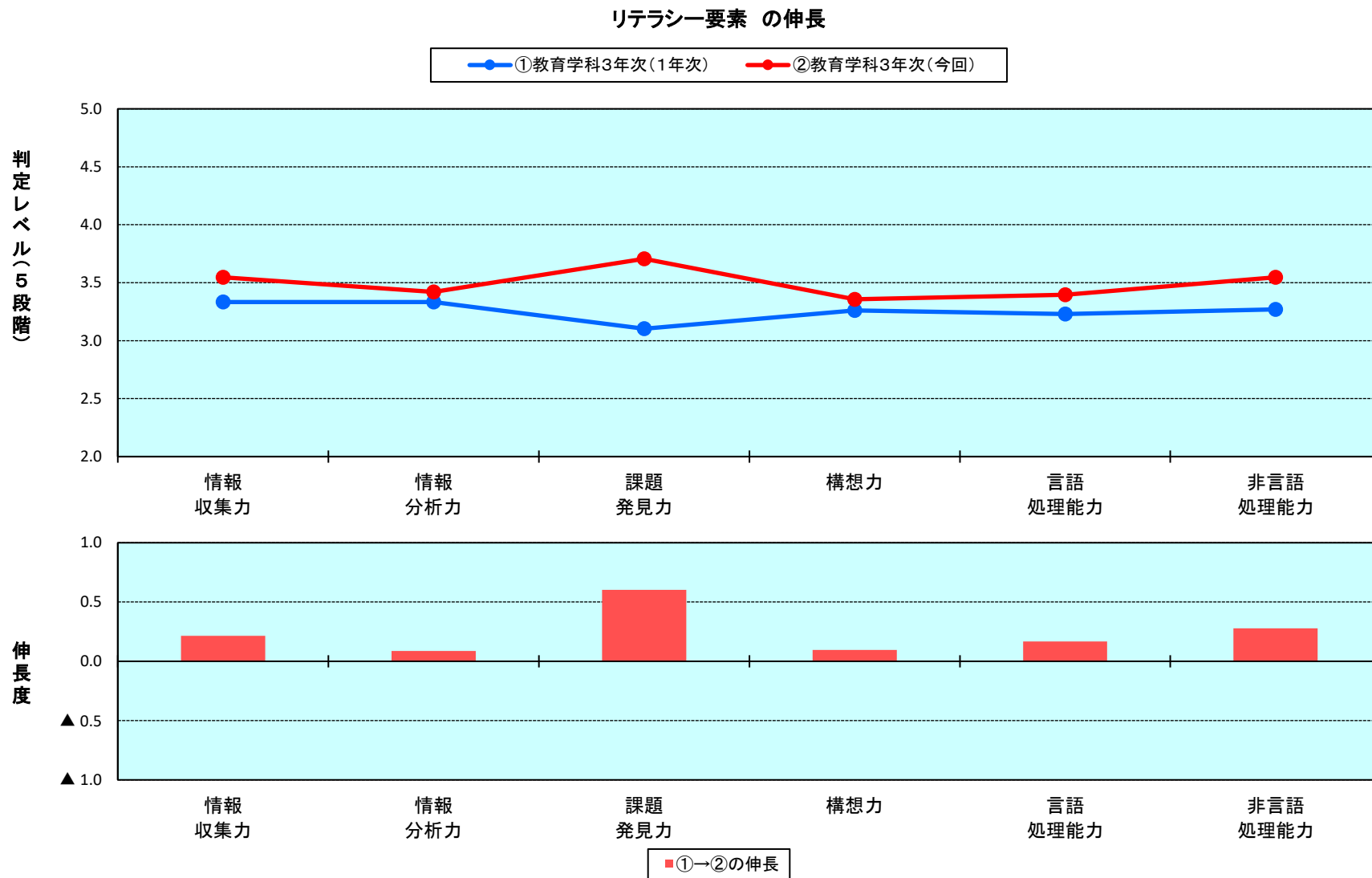
情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。



リテラシー要素（成長分析）⑤

【教育学科3年次】

情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。



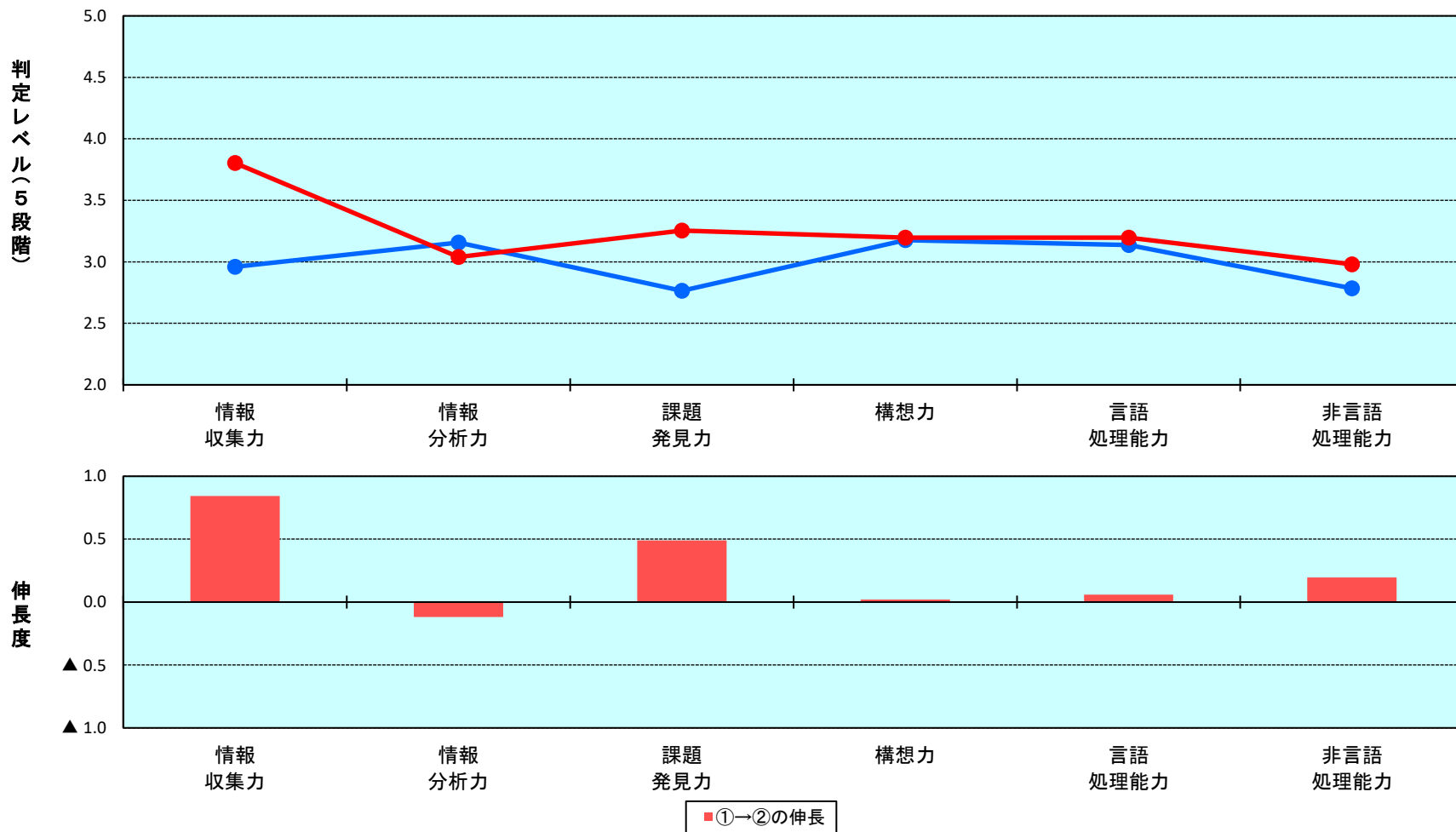
リテラシー要素（成長分析）⑥

【芸術学科3年次】

情報収集力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。
一方、情報分析力は、1年次受験のスコアを下回る。

リテラシー要素 の伸長

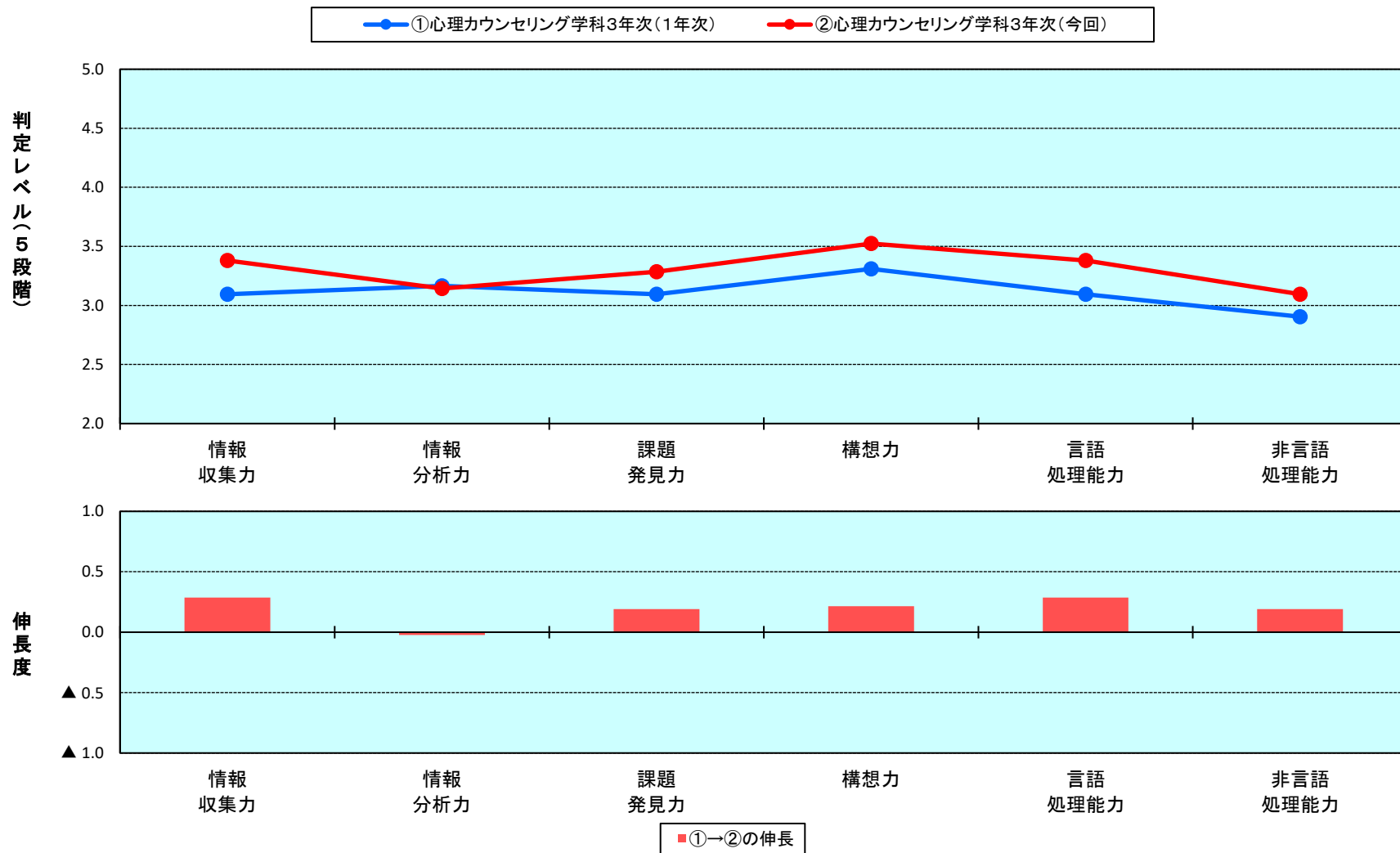
①芸術学科3年次(1年次) ②芸術学科3年次(今回)



【心理カウンセリング学科3年次】

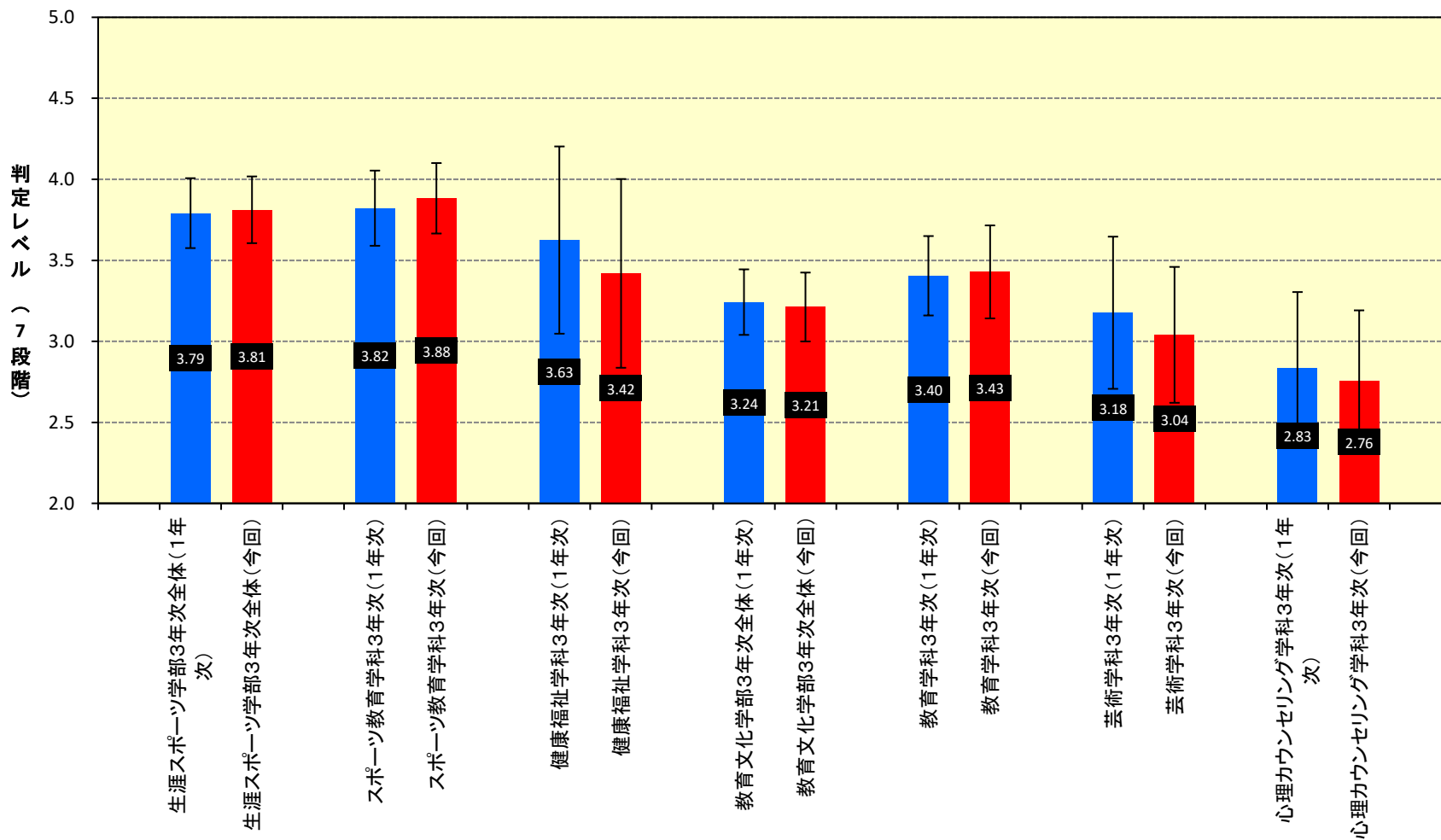
情報収集力、課題発見力、構想力、言語処理能力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。
一方、情報分析力は、1年次受験のスコアを下回る。

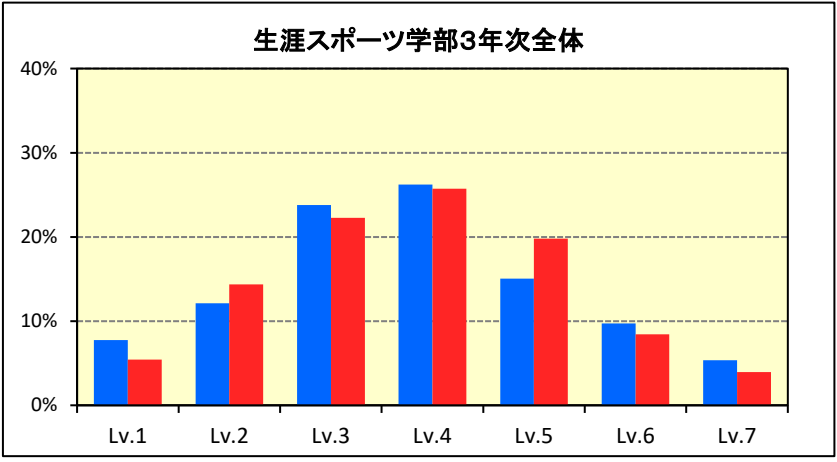
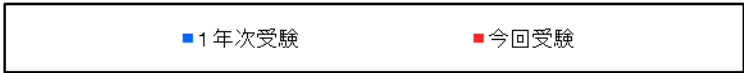
リテラシー要素 の伸長



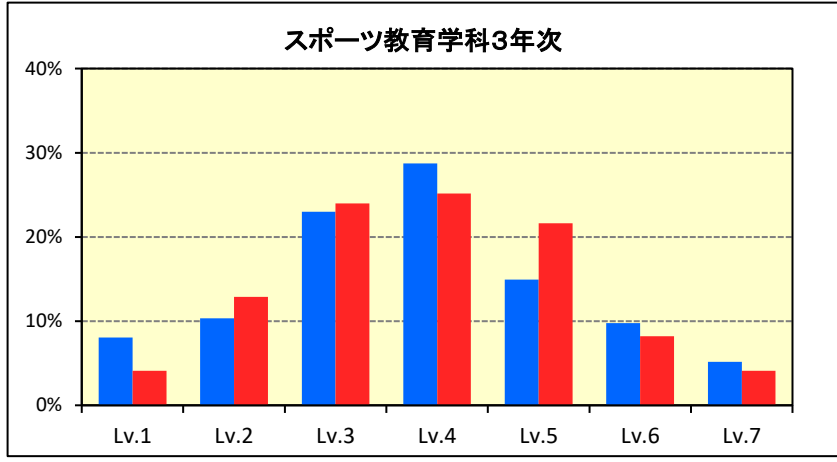
- 生涯スポーツ学部3年次全体、スポーツ教育学科3年次、教育学科3年次は、1年次受験のスコアを上回る。
- 健康福祉学科3年次、教育文化学部3年次全体、芸術学科3年次、心理カウンセリング学科3年次は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー総合

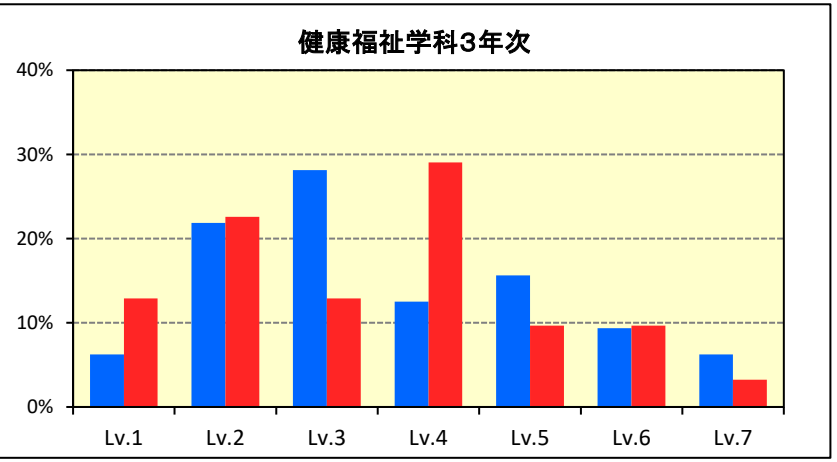




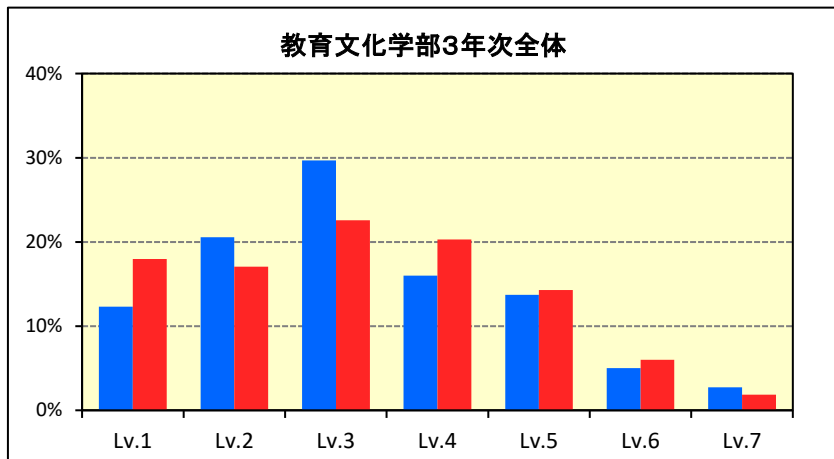
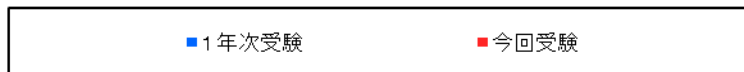
1年次受験に比べて、レベル5の割合が大きい。



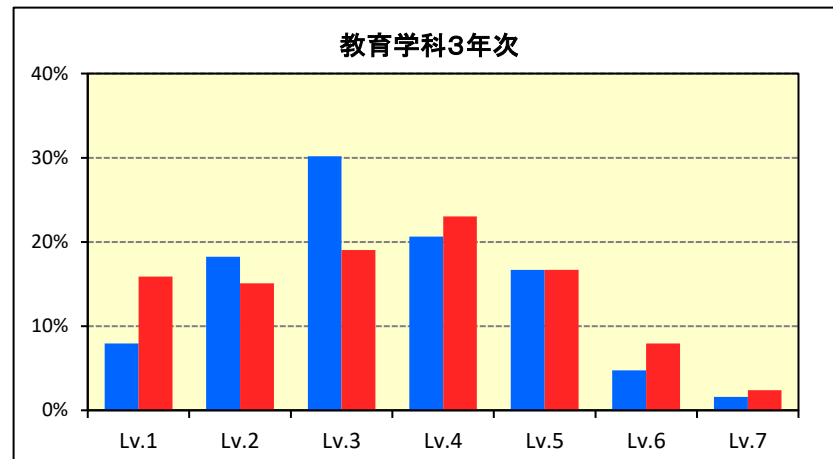
1年次受験に比べて、レベル1、レベル4の割合が小さく、レベル5の割合が大きい。



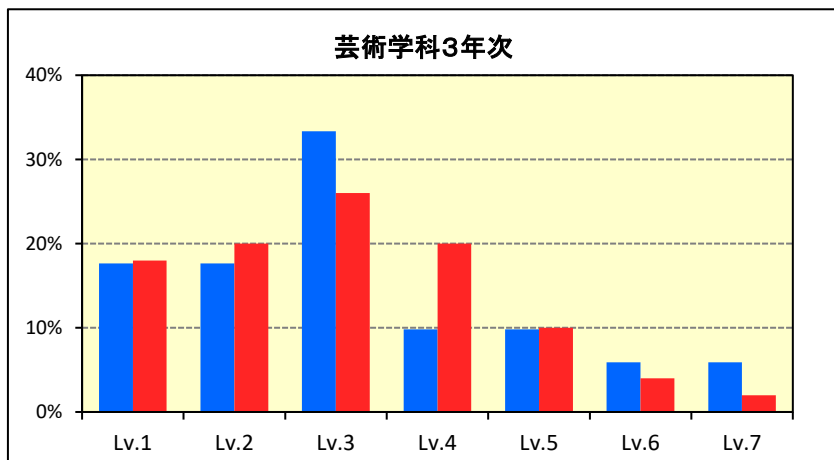
1年次受験に比べて、レベル3、レベル5、レベル7の割合が小さく、レベル1、レベル4の割合が大きい。



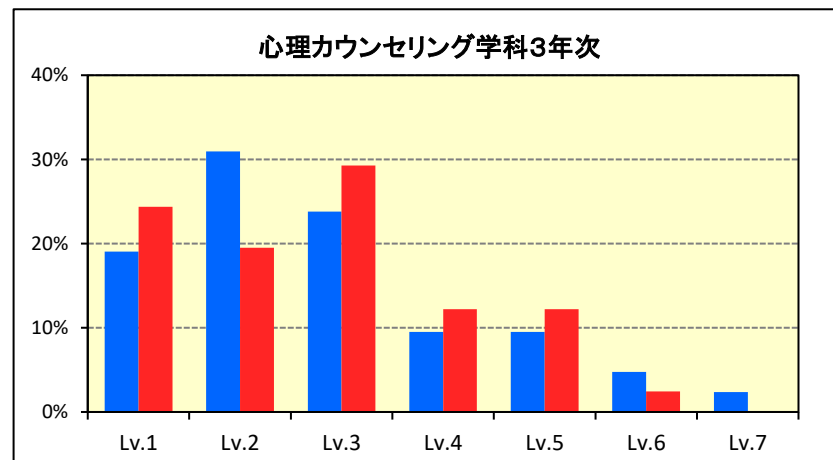
1年次受験に比べて、レベル2～3のボリュームが小さく、レベル1、レベル4の割合が大きい。



1年次受験に比べて、レベル2～3のボリュームが小さく、レベル1、レベル6の割合が大きい。



1年次受験に比べて、レベル3、レベル7の割合が小さく、レベル4の割合が大きい。

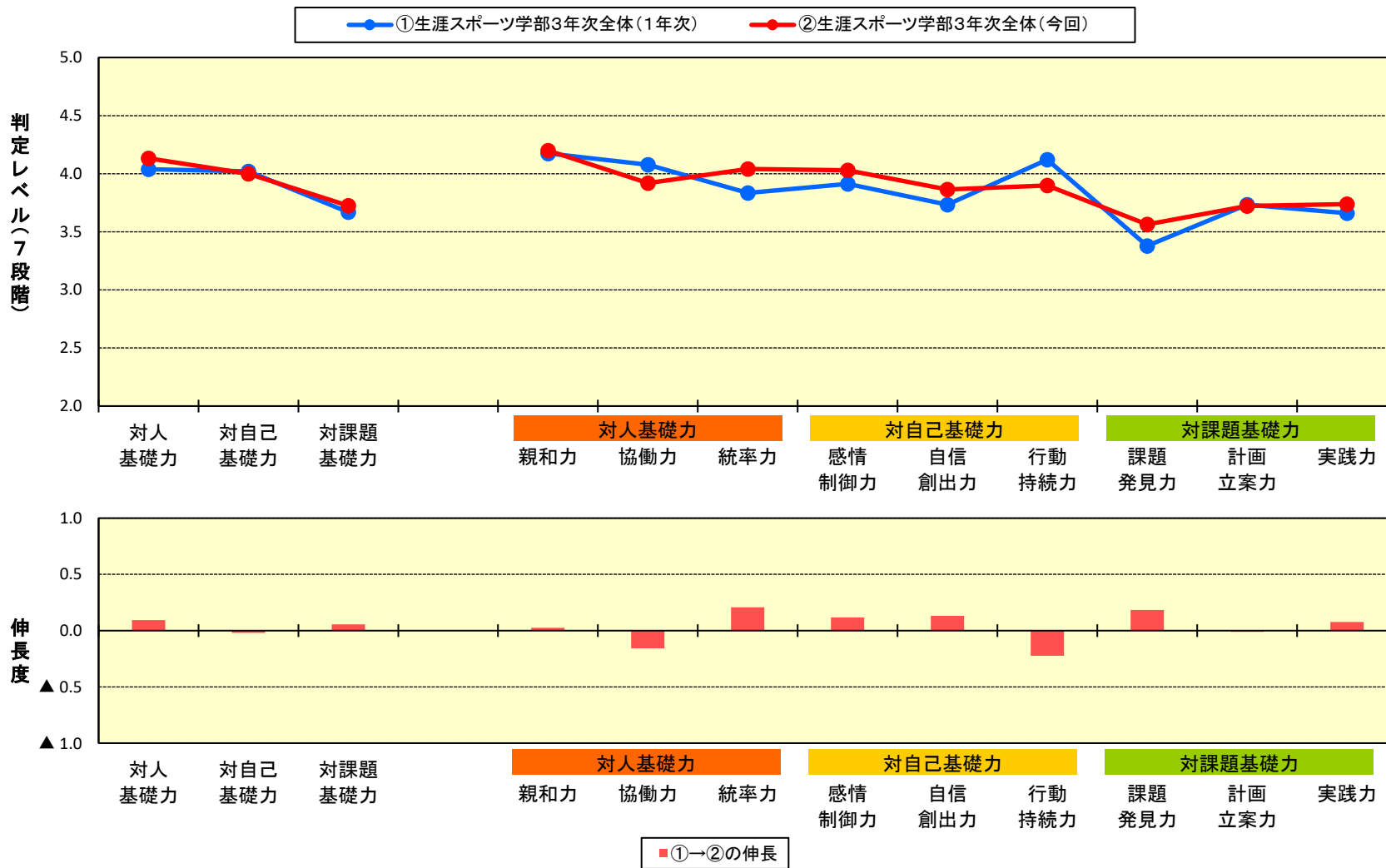


1年次受験に比べて、レベル2の割合が小さく、レベル1、レベル3の割合が大きい。

【生涯スポーツ学部3年次全体】

親和力、統率力、感情制御力、自信創出力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。
 一方、協働力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

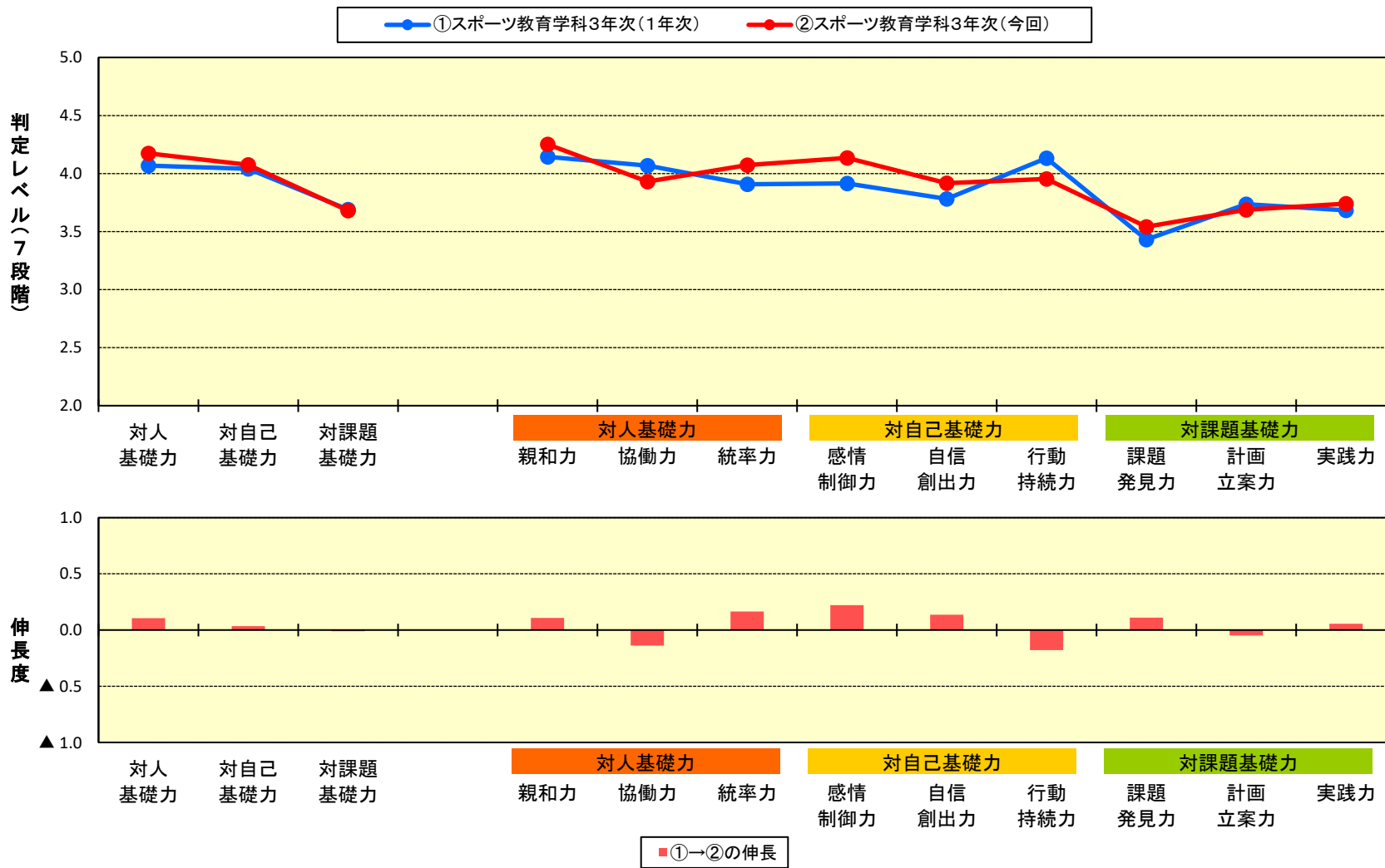
コンピテンシー要素の伸長



【スポーツ教育学科3年次】

親和力、統率力、感情制御力、自信創出力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。
 一方、協働力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

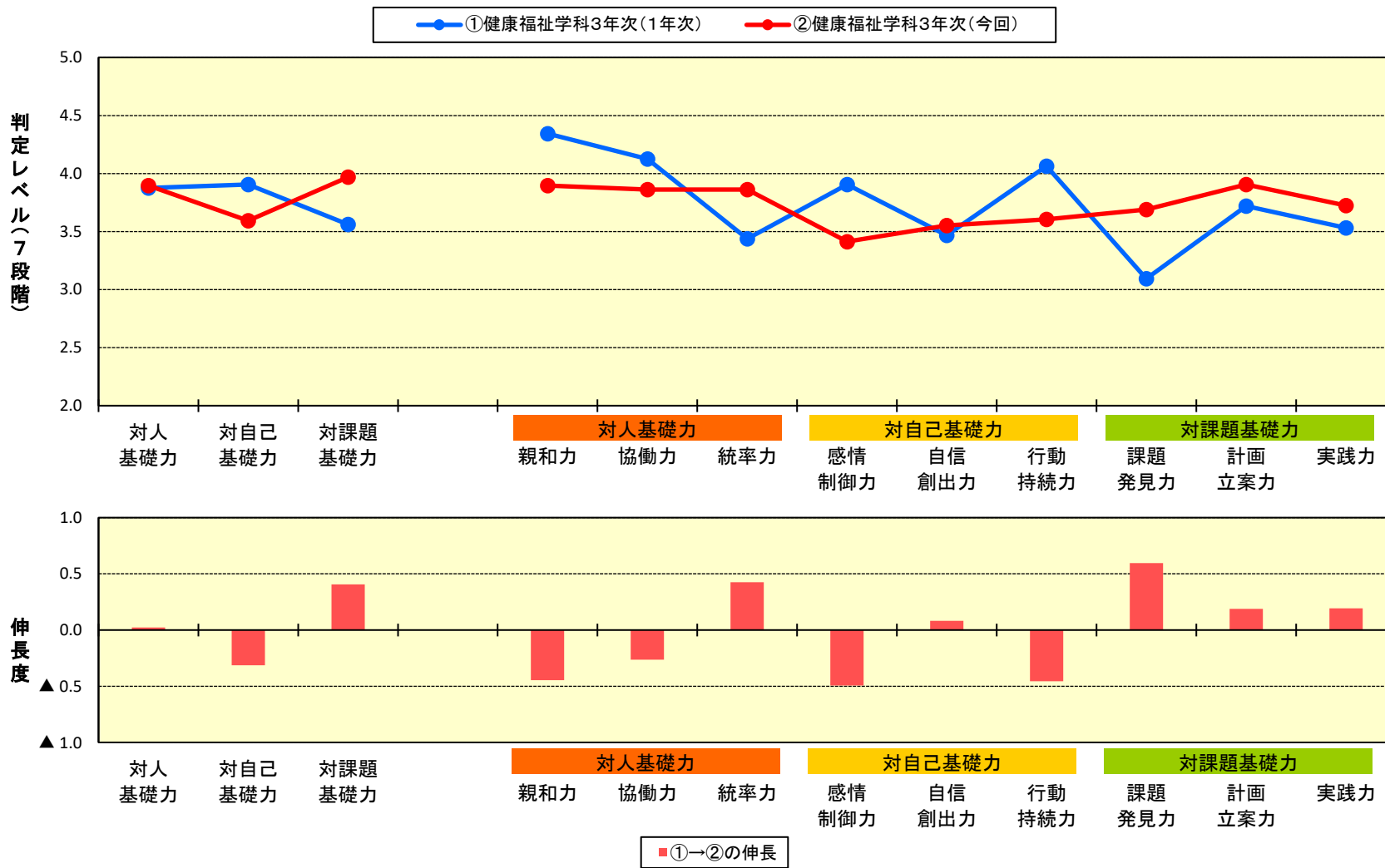


コンピテンシー大分類要素（成長分析）③

【健康福祉学科3年次】

統率力、自信創出力、課題発見力、計画立案力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。
 一方、親和力、協働力、感情制御力、行動持続力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

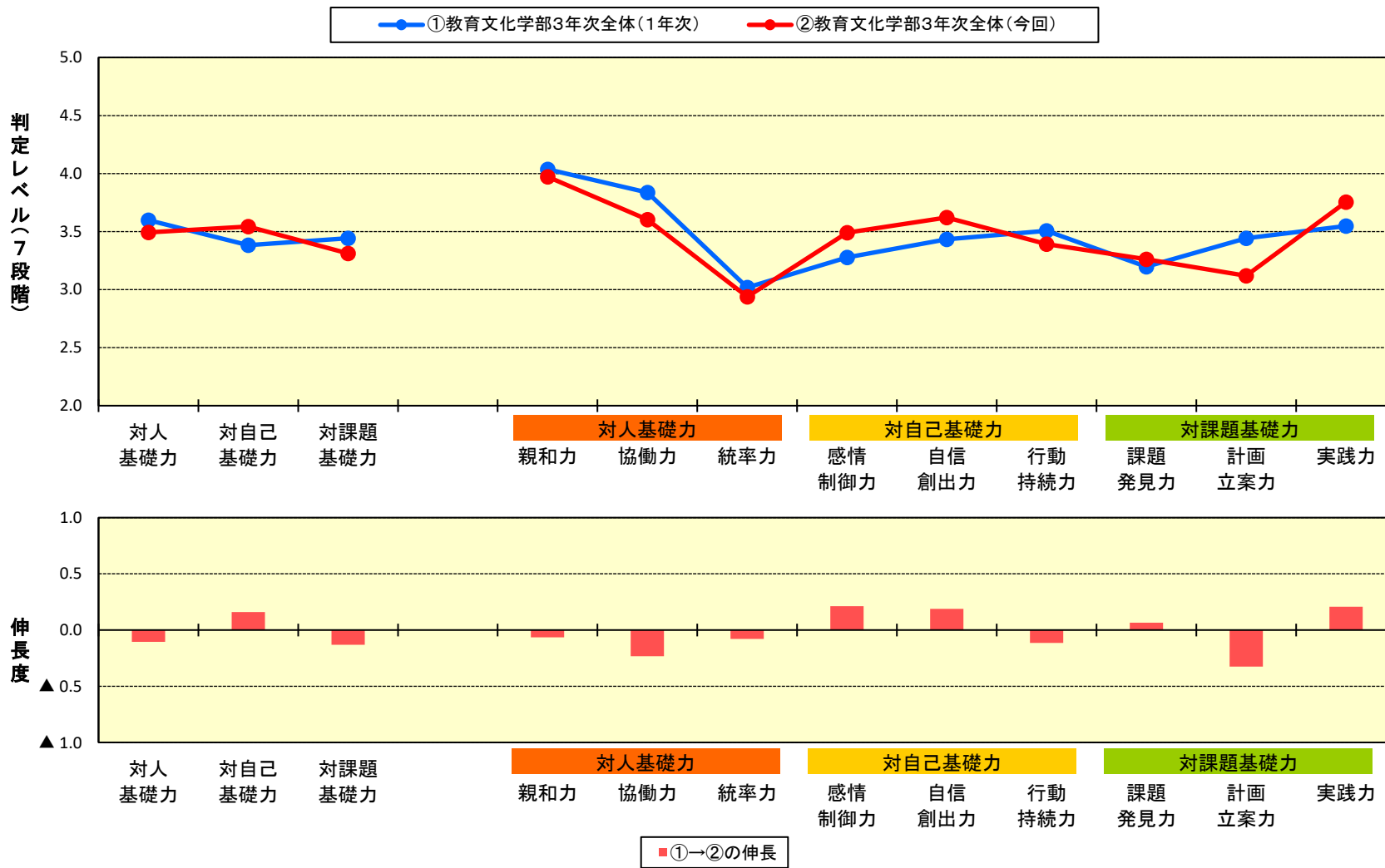


【教育文化学部3年次全体】

感情制御力、自信創出力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、統率力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

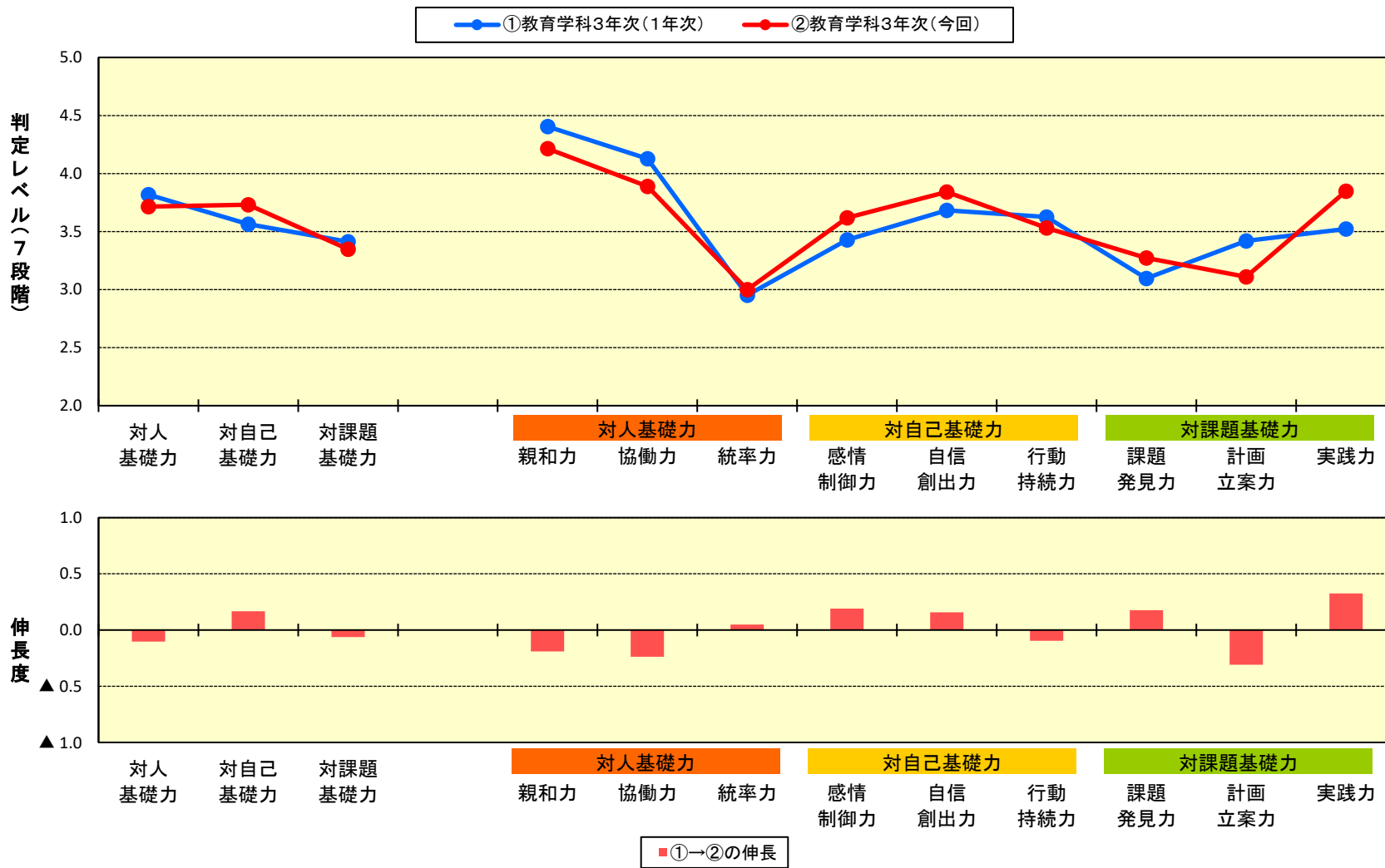


コンピテンシー大分類要素（成長分析）⑤

【教育学科3年次】

統率力、感情制御力、自信創出力、課題発見力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。
 一方、親和力、協働力、行動持続力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長

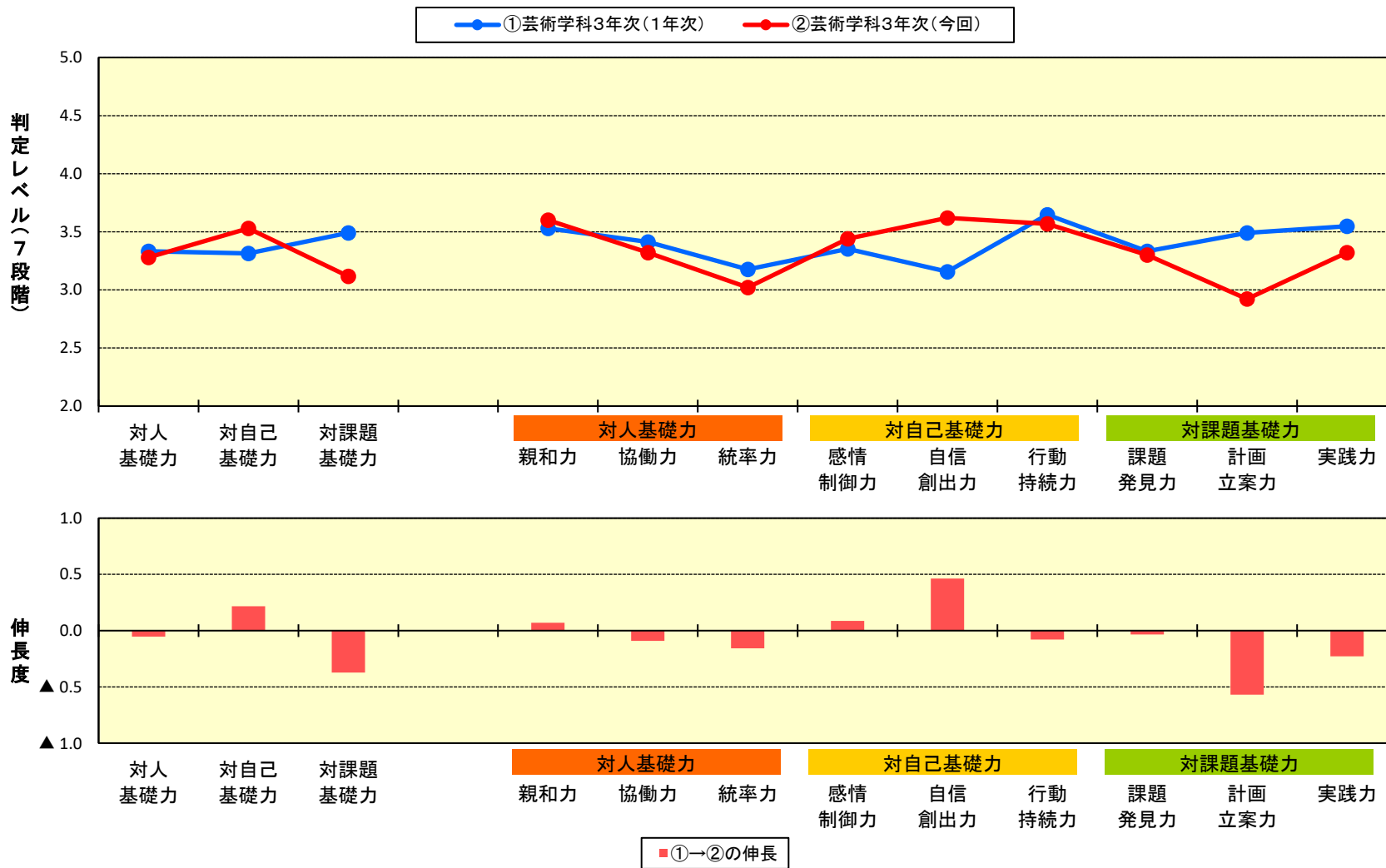


【芸術学科3年次】

親和力、感情制御力、自信創出力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、協働力、統率力、行動持続力、課題発見力、計画立案力、実践力は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー要素の伸長



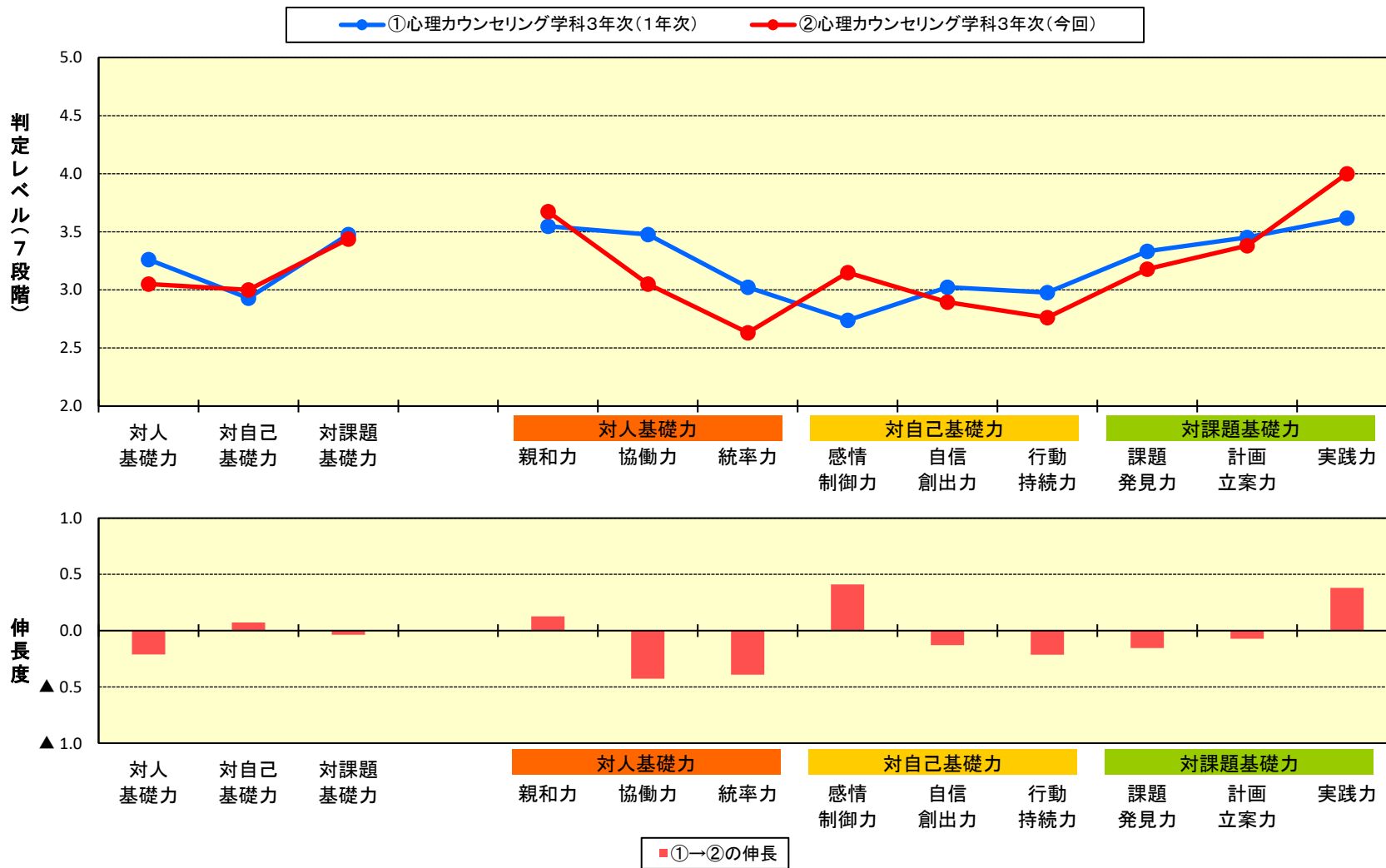
コンピテンシー大分類要素（成長分析）⑦

【心理カウンセリング学科3年次】

親和力、感情制御力、実践力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、協働力、統率力、自信創出力、行動持続力、課題発見力、計画立案力は、1年次受験のスコアを下回る。

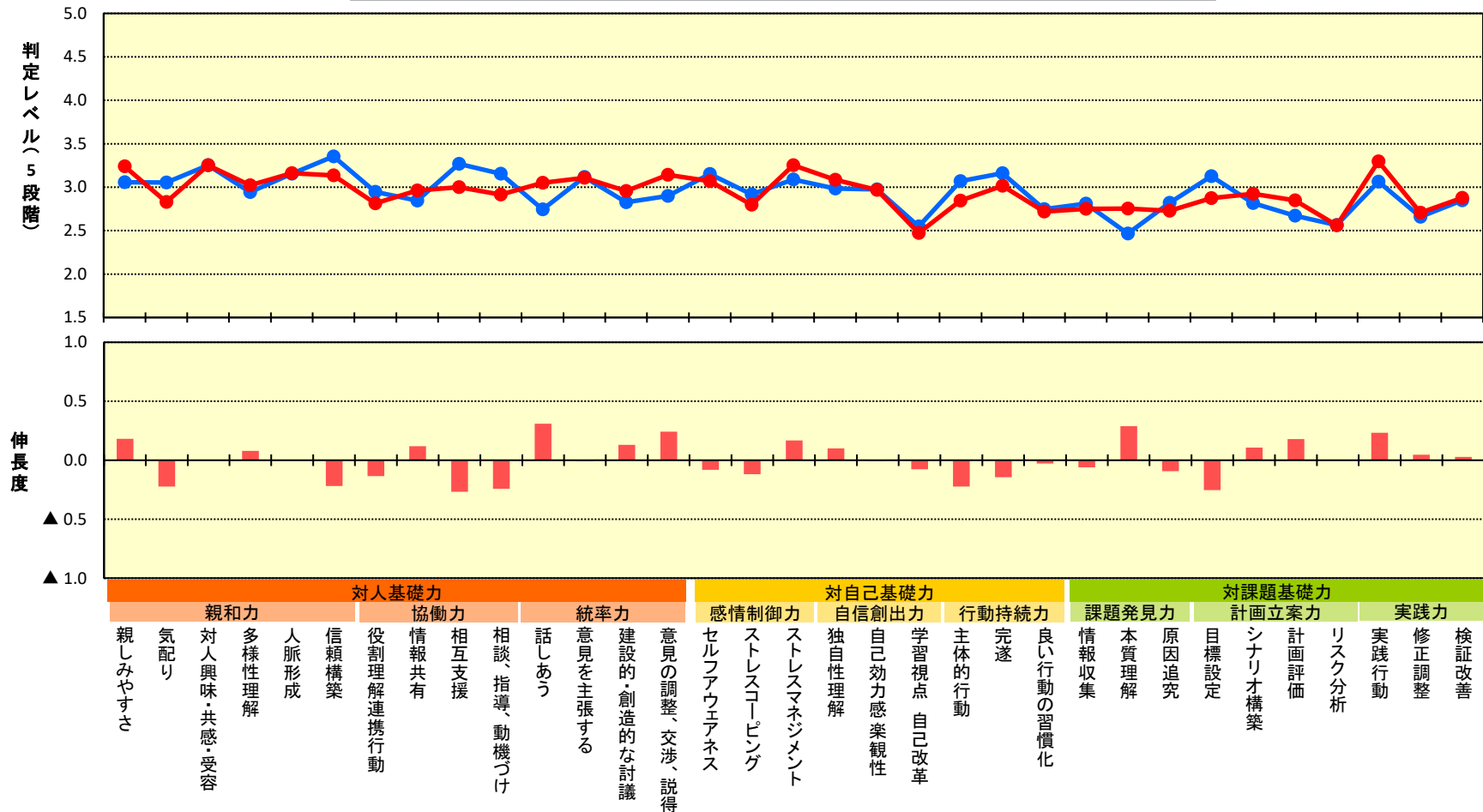
コンピテンシー要素の伸長



【生涯スポーツ学部3年次全体】

コンピテンシー小分類要素

①生涯スポーツ学部3年次全体(1年次) ②生涯スポーツ学部3年次全体(今回)

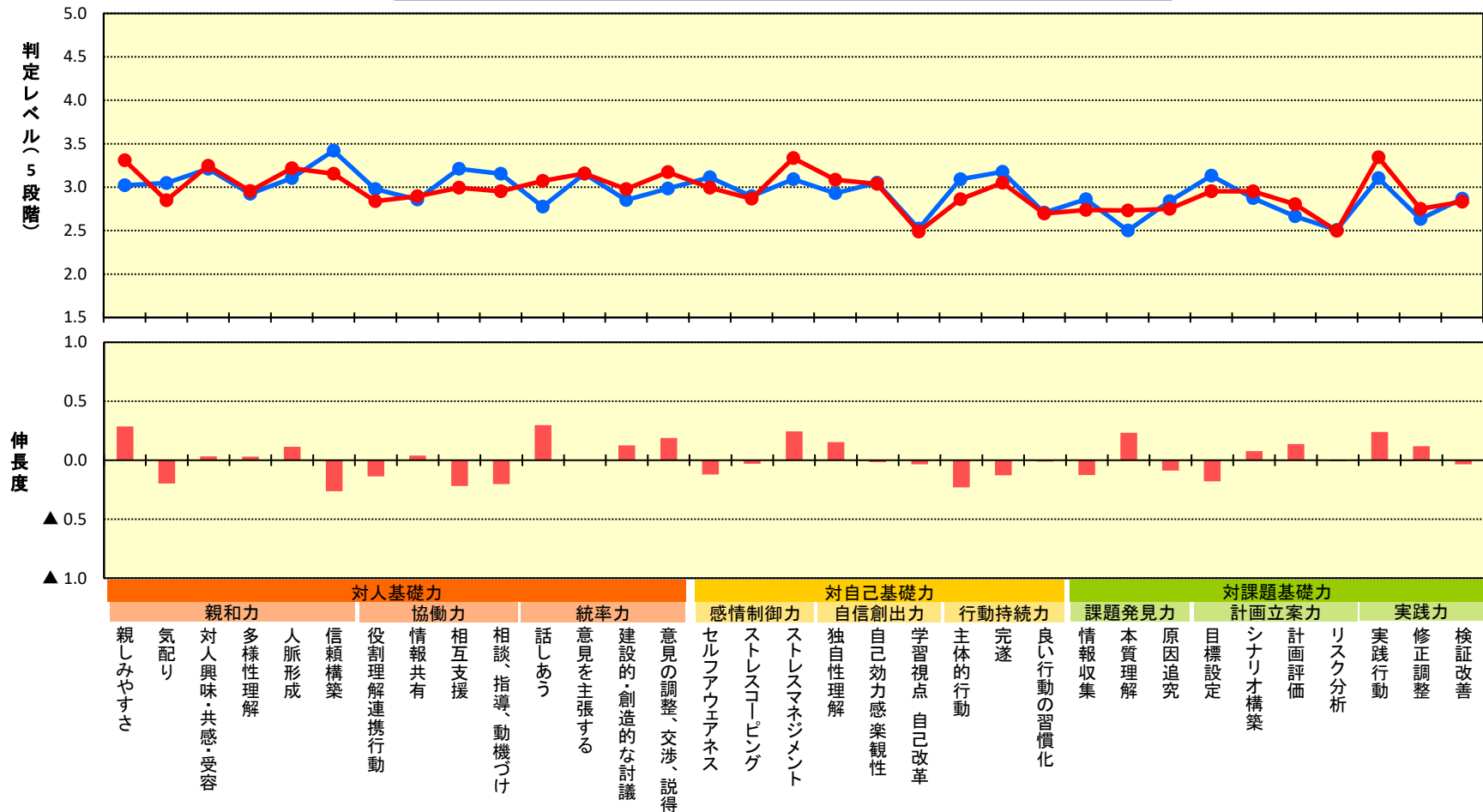


■ ①→②の伸長

【スポーツ教育学科3年次】

コンピテンシー小分類要素

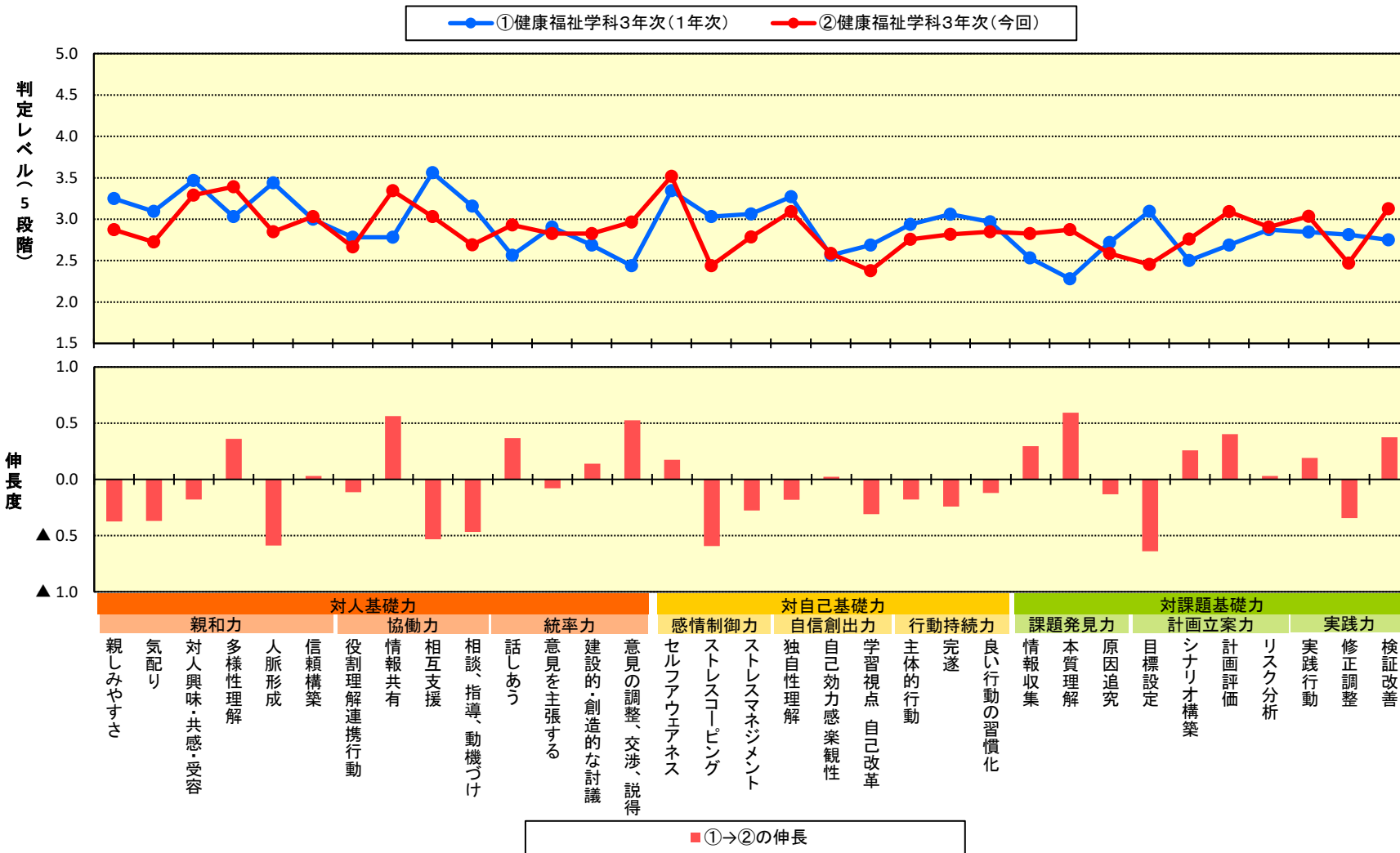
①スポーツ教育学科3年次(1年次) ②スポーツ教育学科3年次(今回)



■ ①→②の伸長

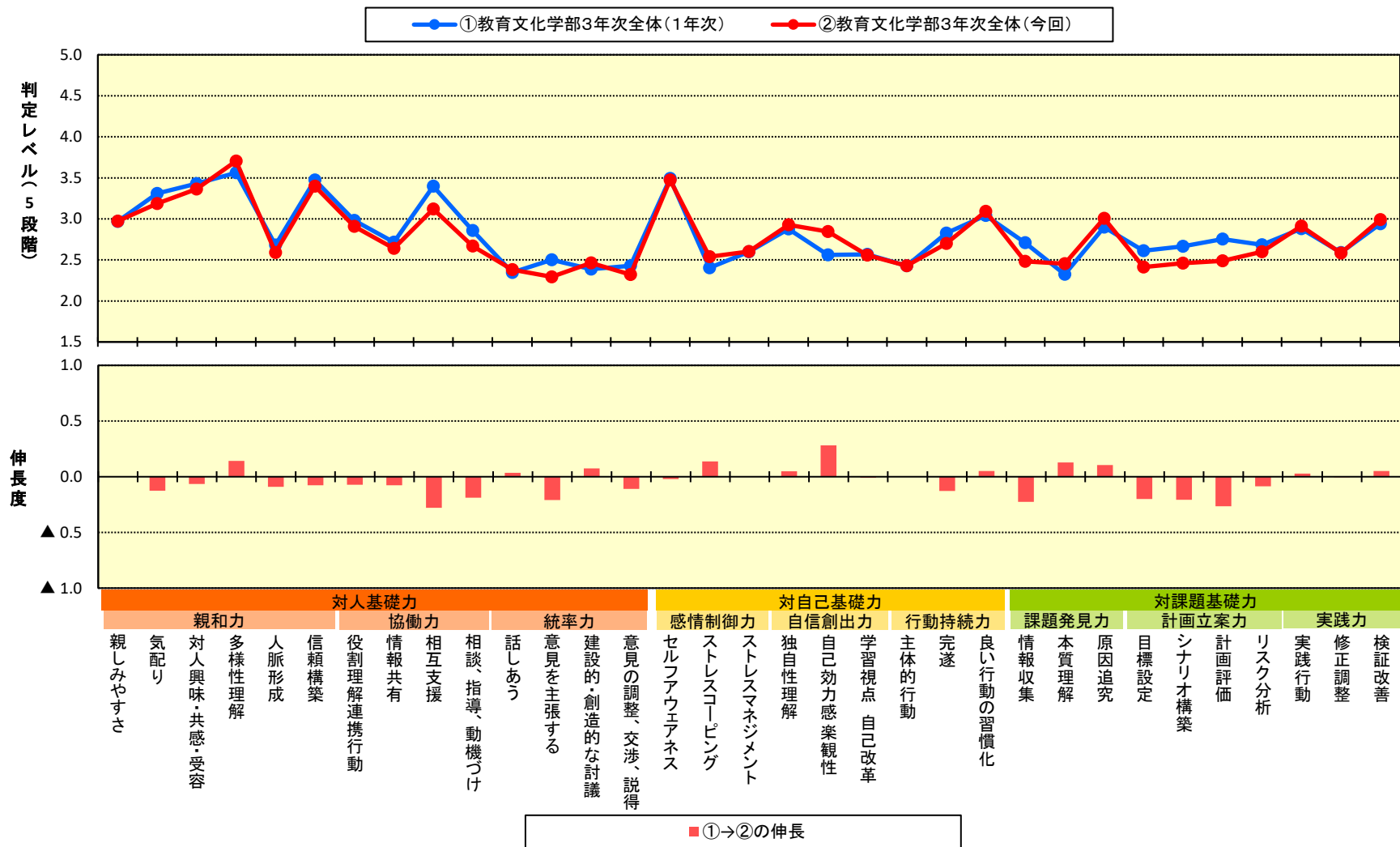
【健康福祉学科3年次】

コンピテンシー小分類要素



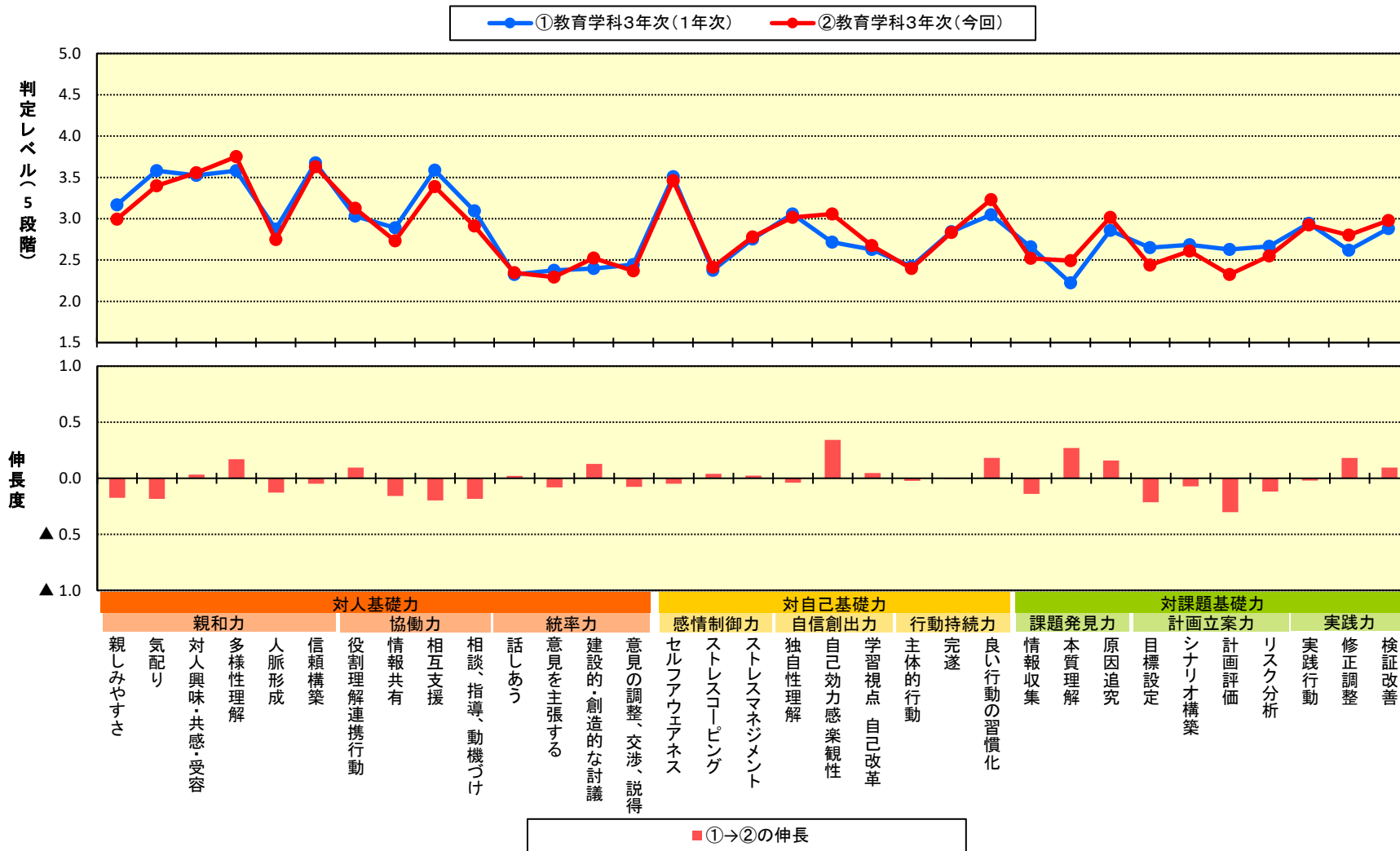
【教育文化学部3年次全体】

コンピテンシー小分類要素



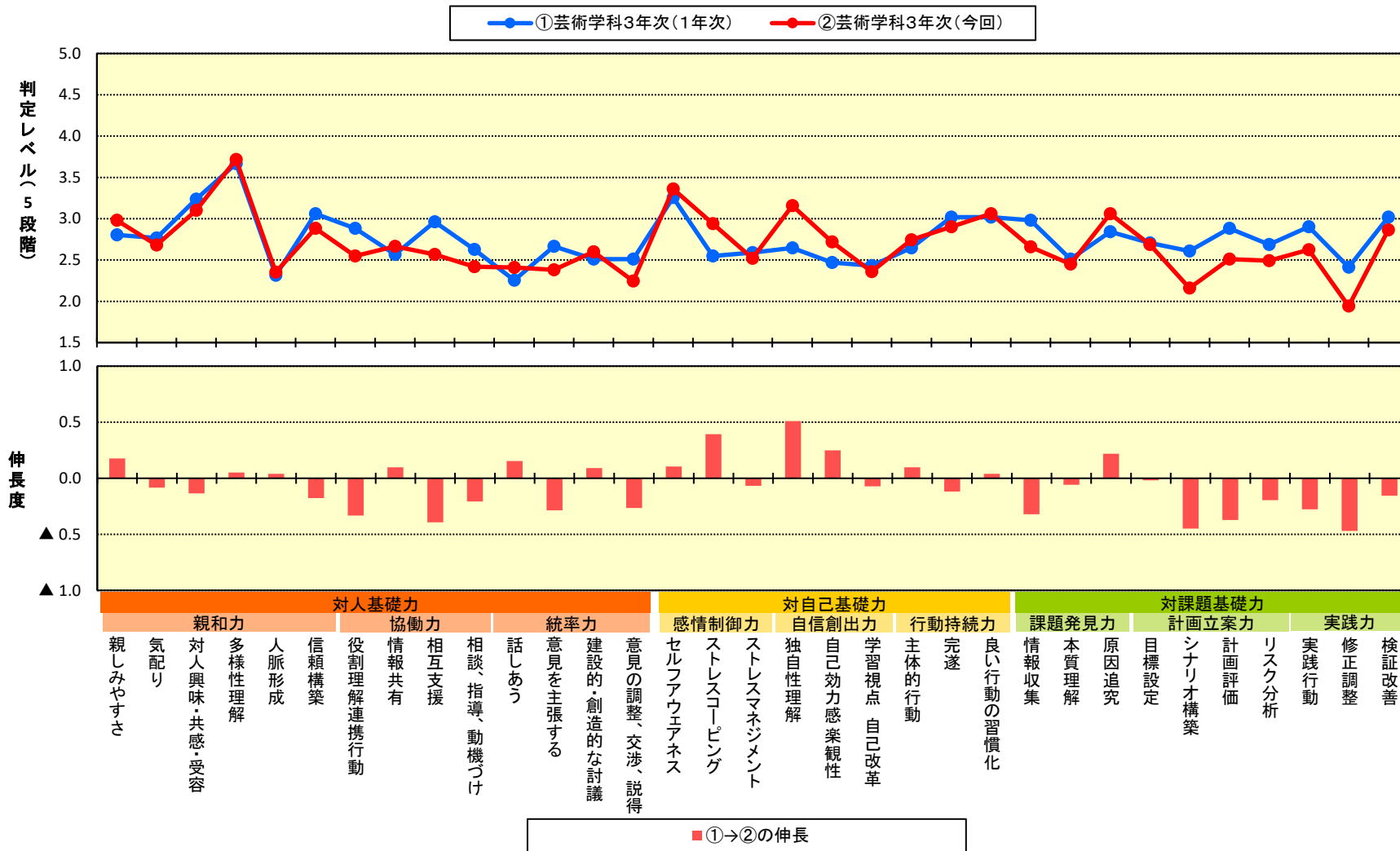
【教育学科3年次】

コンピテンシー小分類要素



【芸術学科3年次】

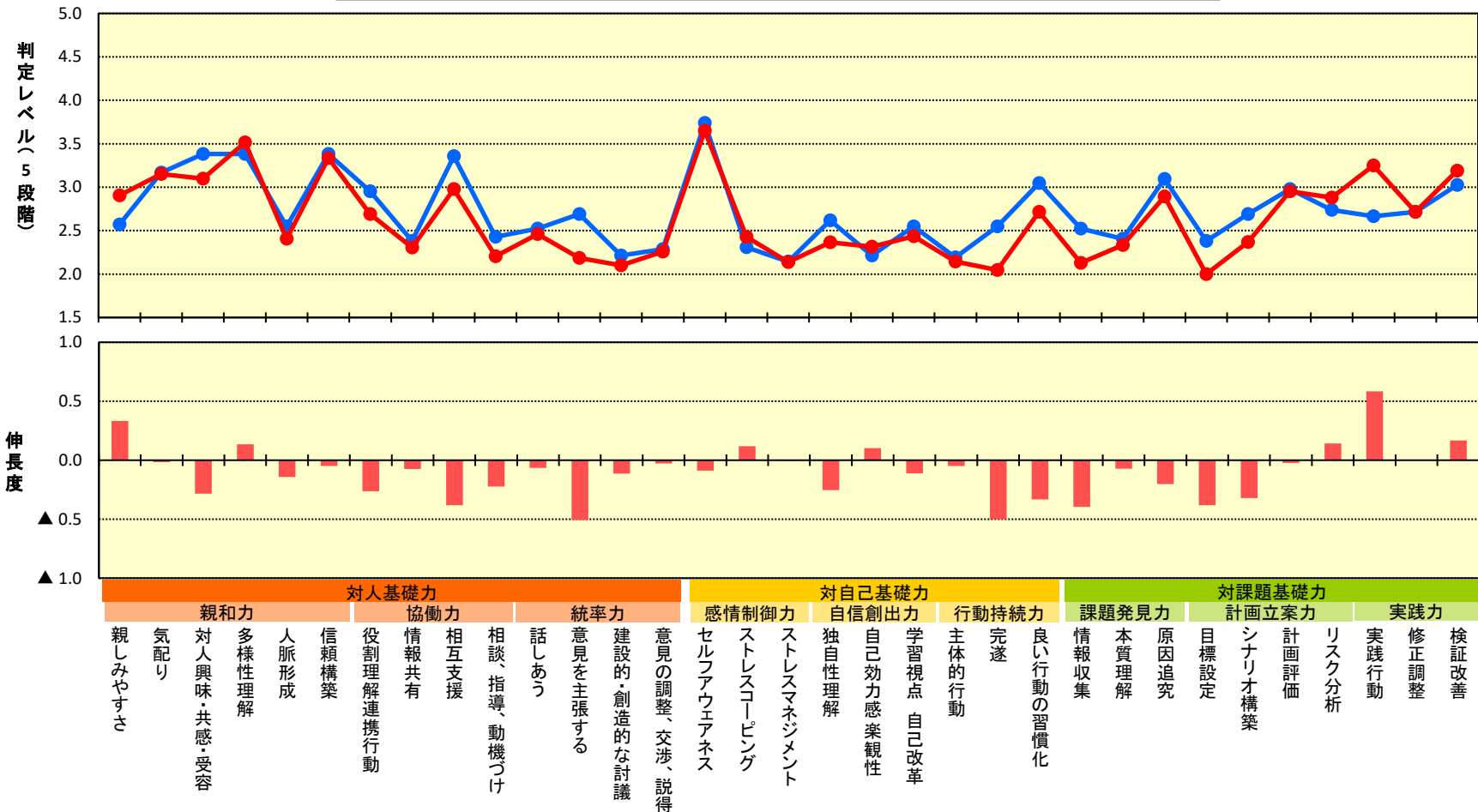
コンピテンシー小分類要素



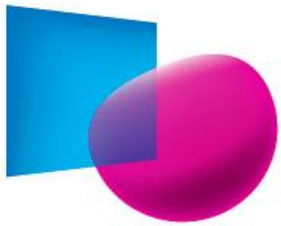
【心理カウンセリング学科3年次】

コンピテンシー小分類要素

①心理カウンセリング学科3年次(1年次) ②心理カウンセリング学科3年次(今回)



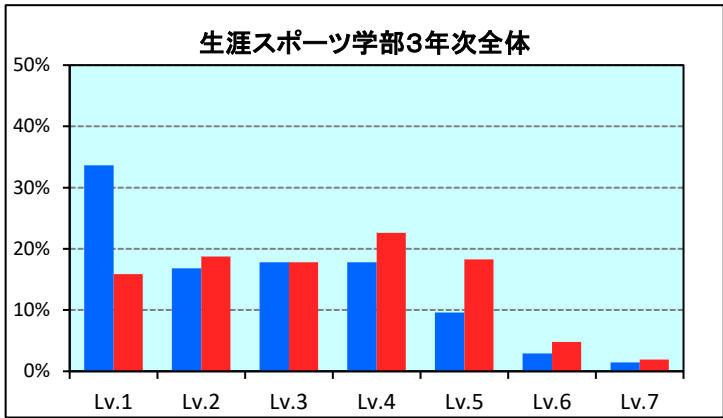
■ ①→②の伸長



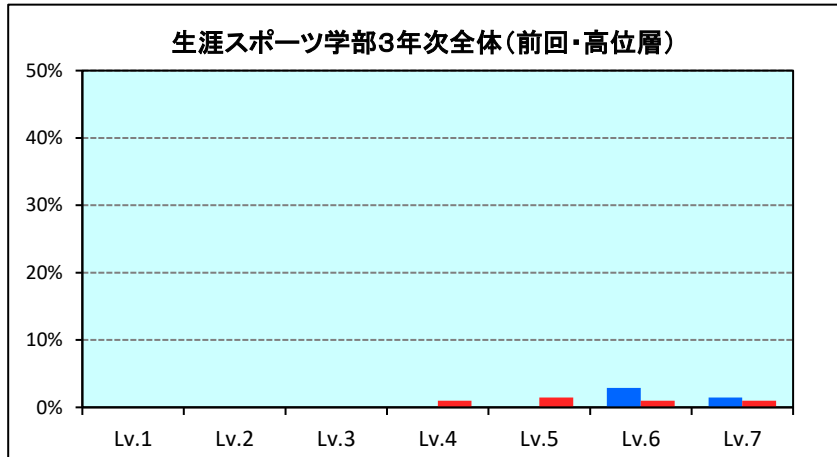
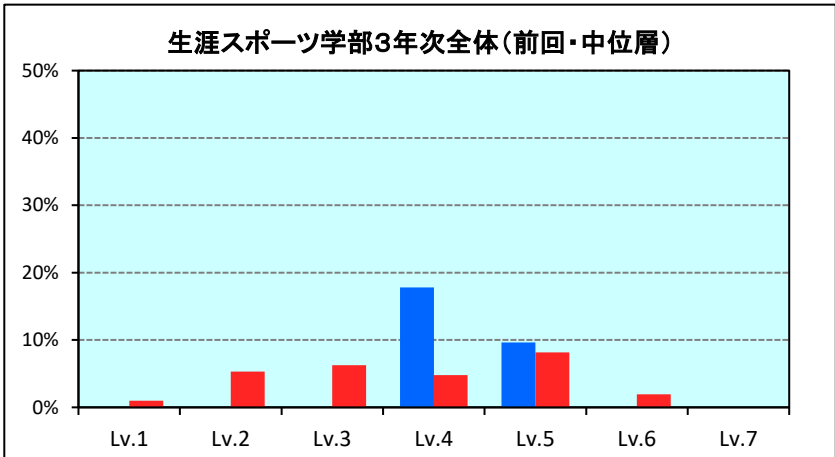
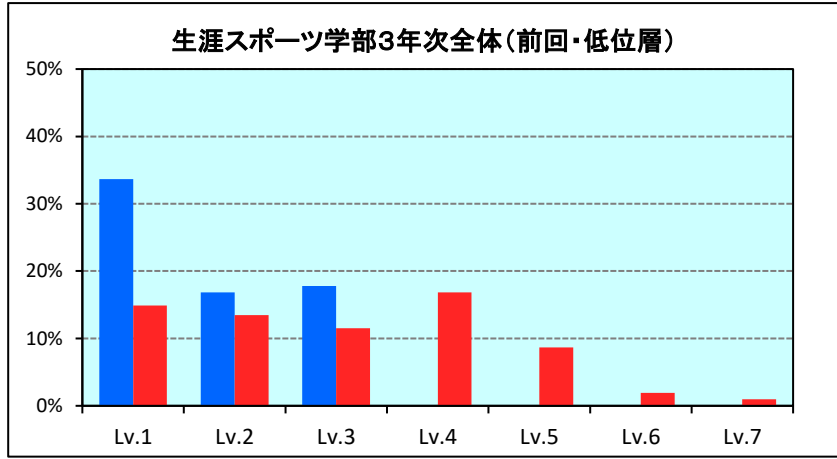
PROG

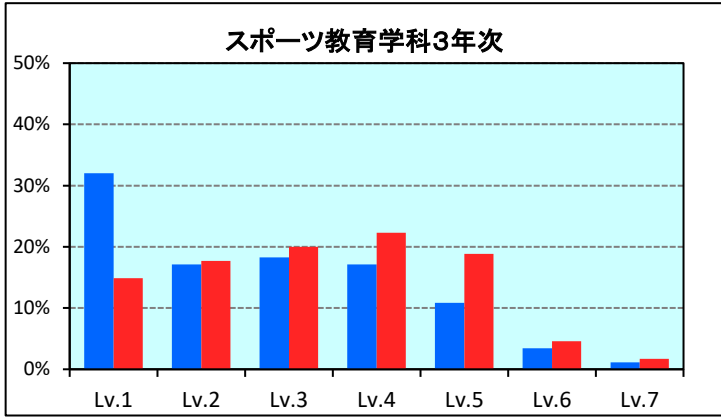
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.10-2
成長分析
3年次
(高中低位分析)

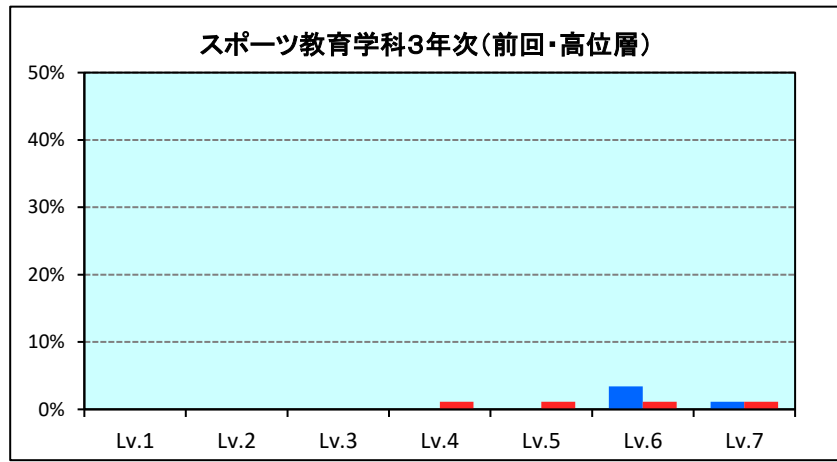
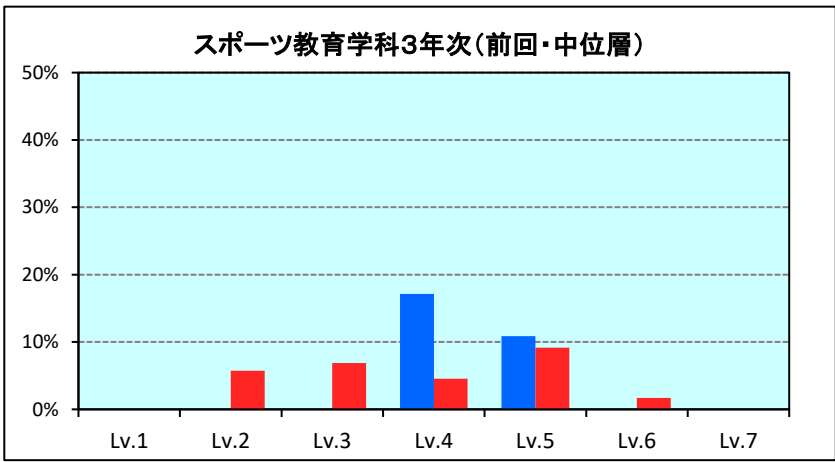
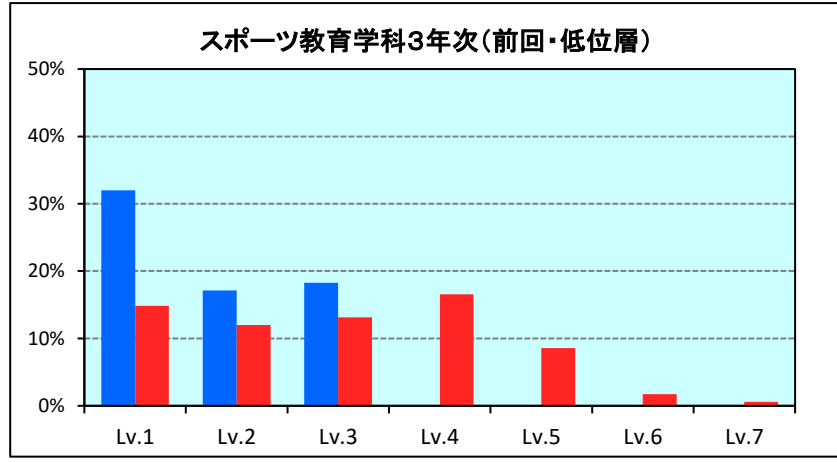


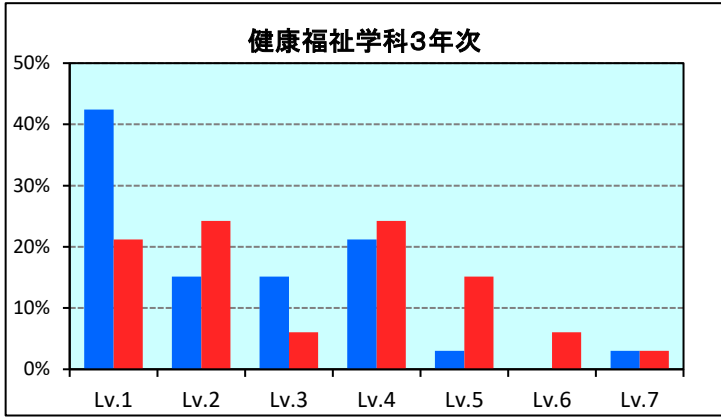
1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル4～5のボリュームが大きい。



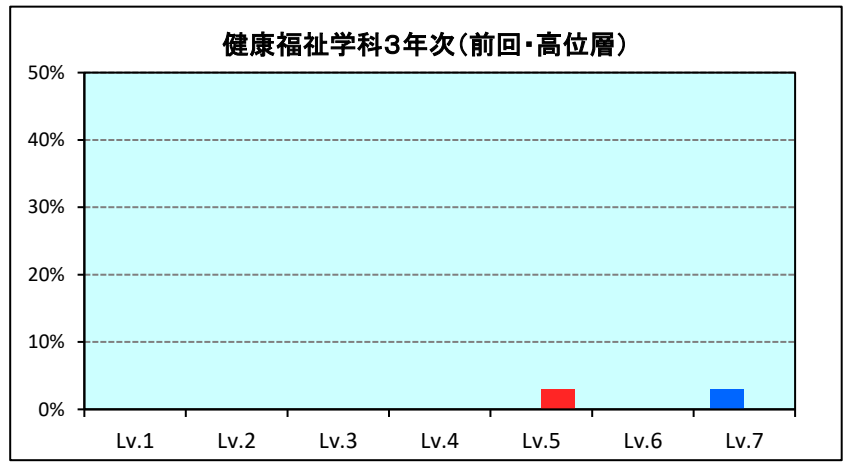
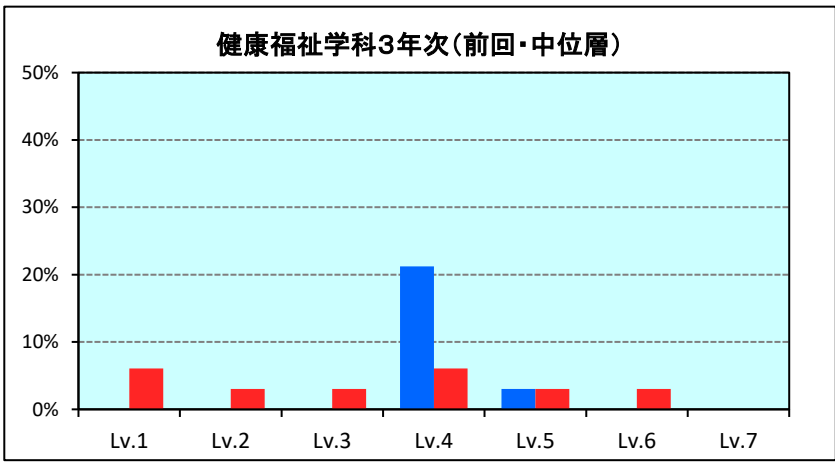
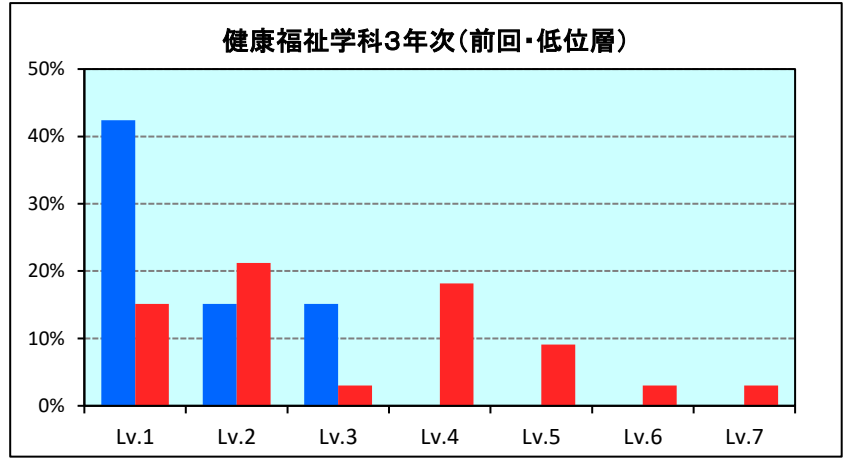


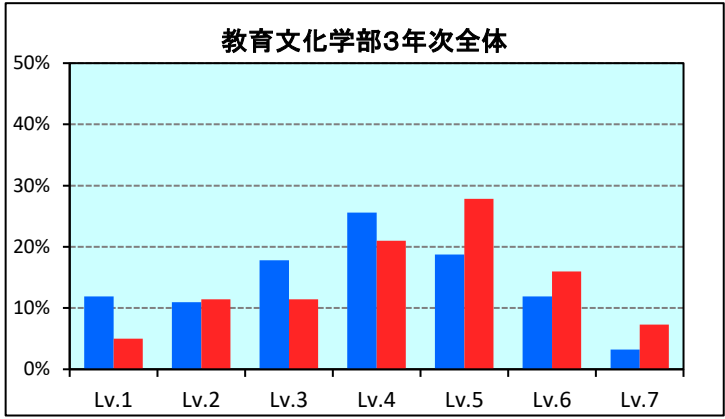
1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル4～5のボリュームが大きい。



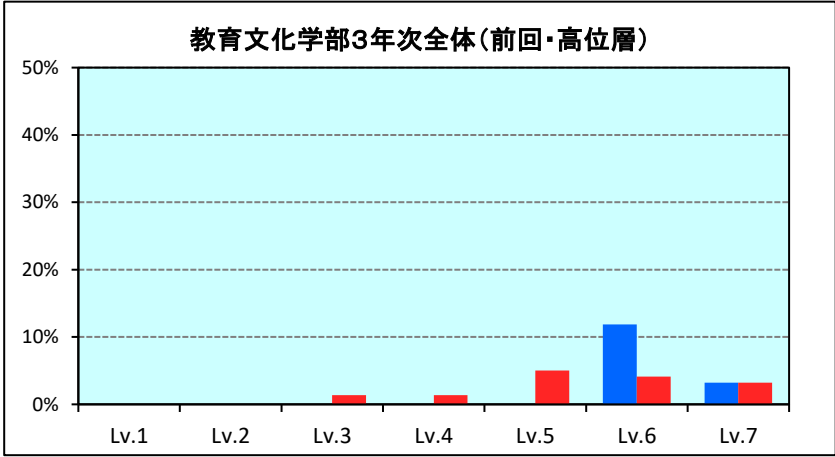
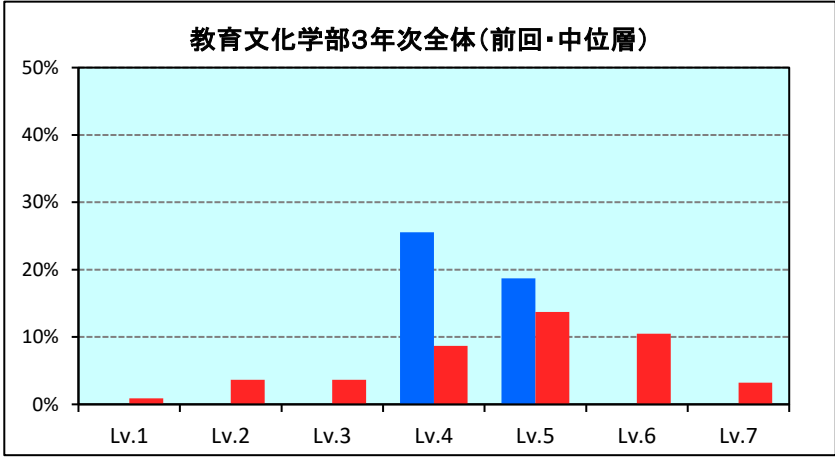
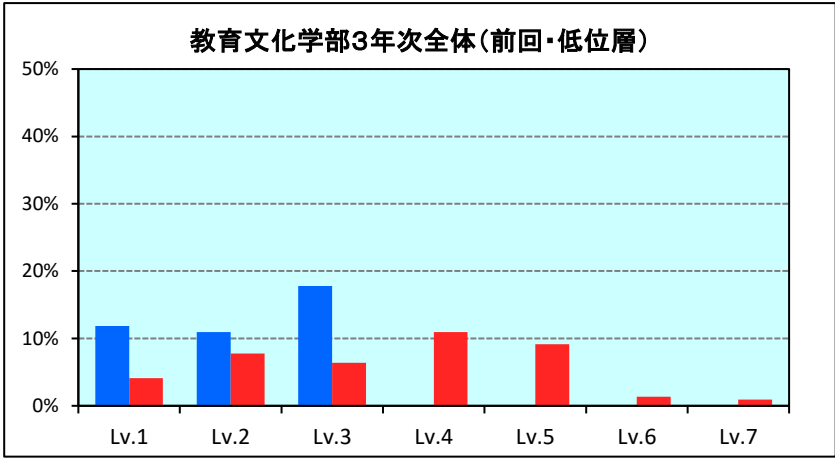


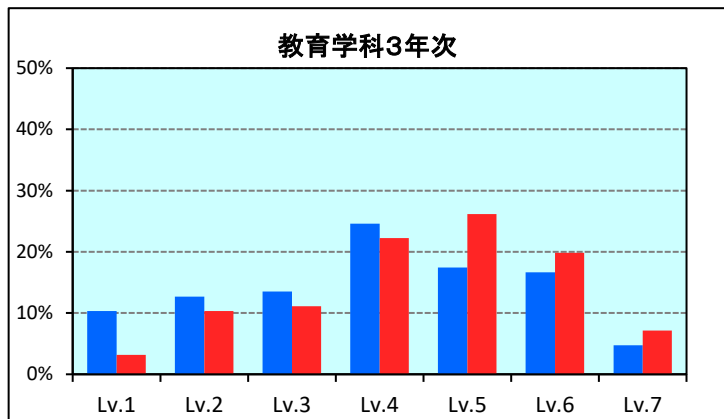
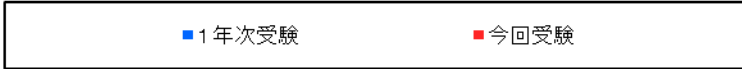
1年次受験に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル2、レベル4～6のボリュームが大きい。



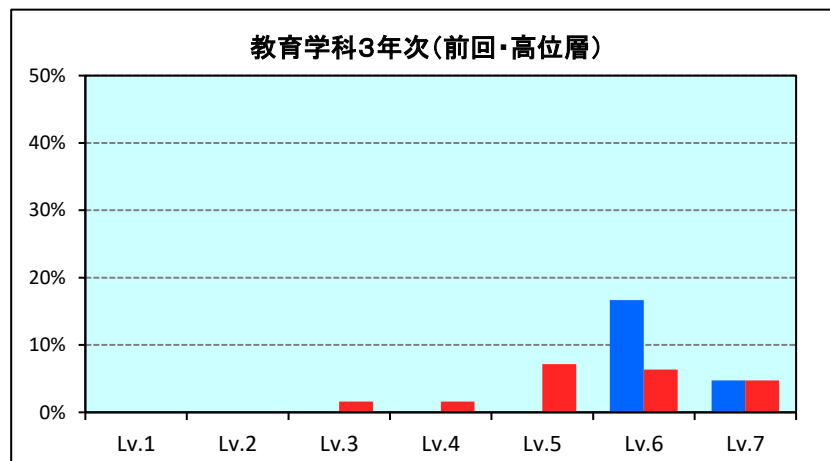
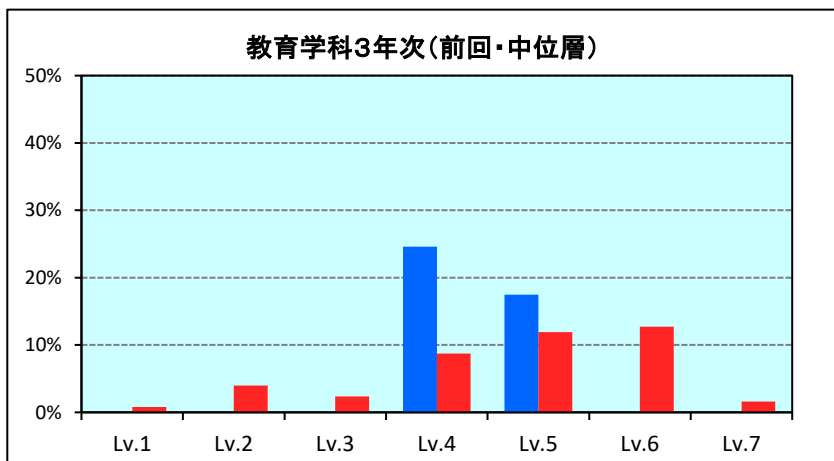
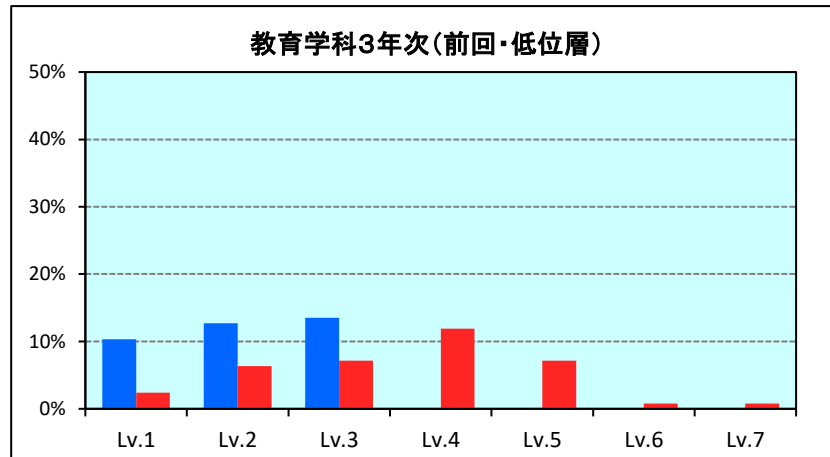


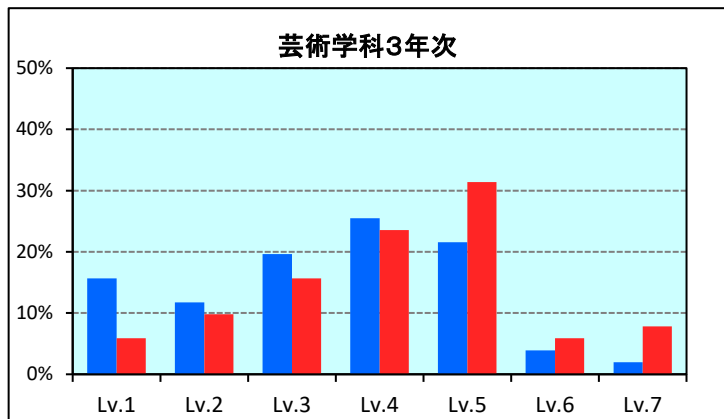
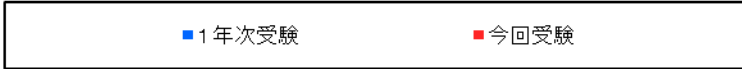
1年次受験に比べて、レベル1、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル5～7のボリュームが大きい。



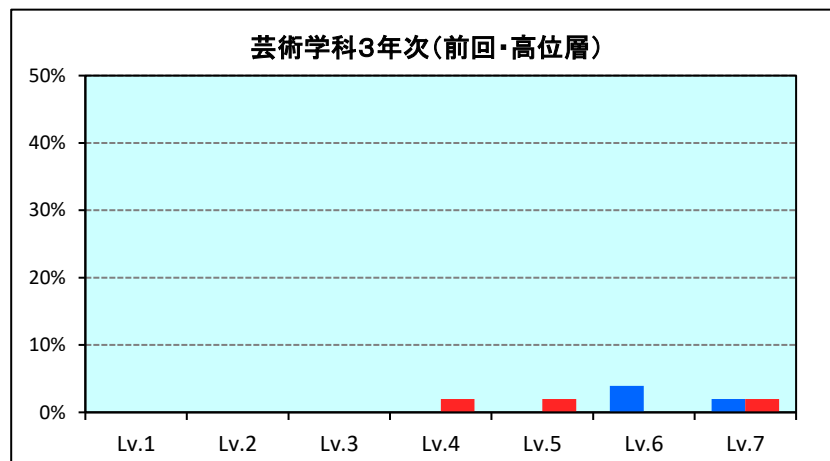
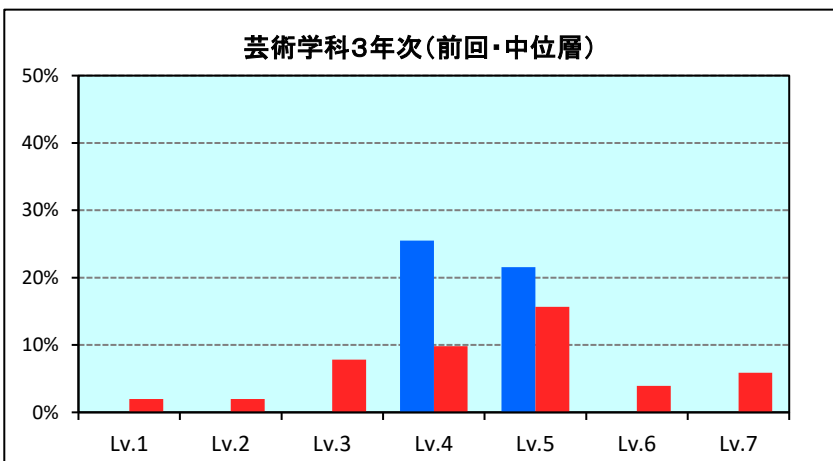
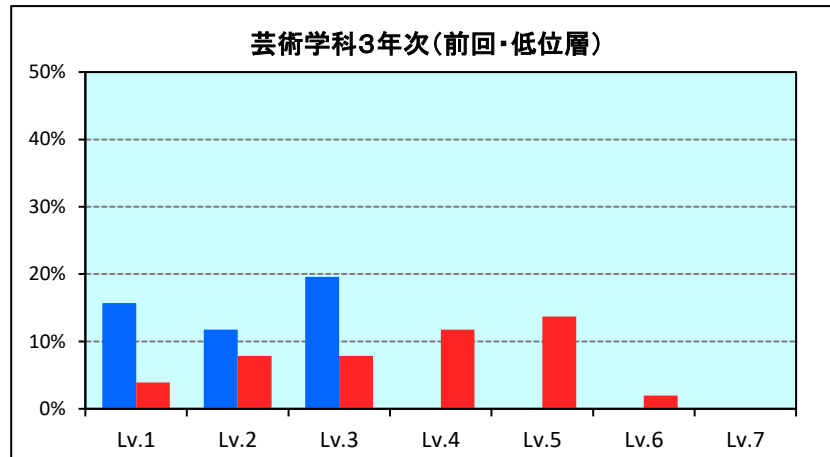


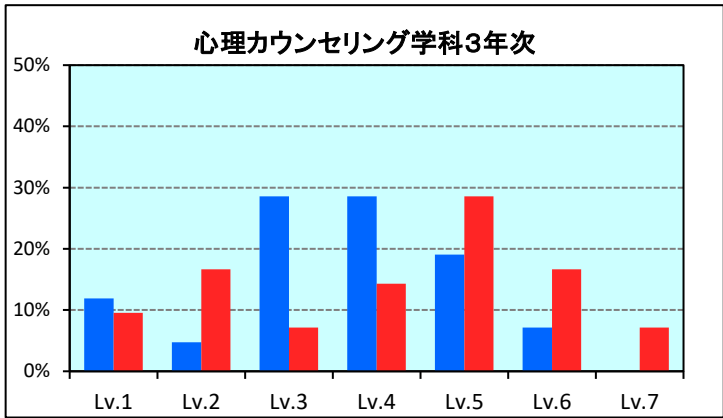
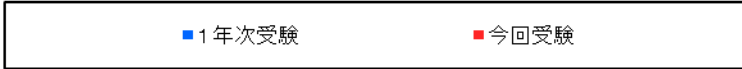
1年次受験に比べて、レベル1の割合が小さく、レベル5～6のボリュームが大きい。



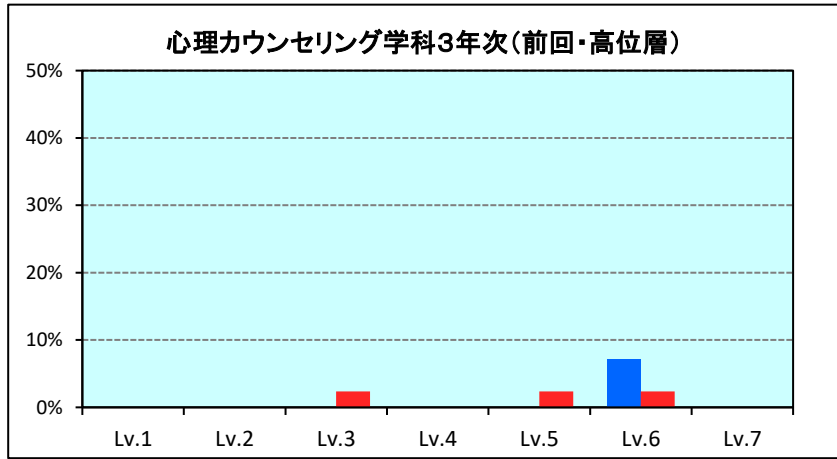
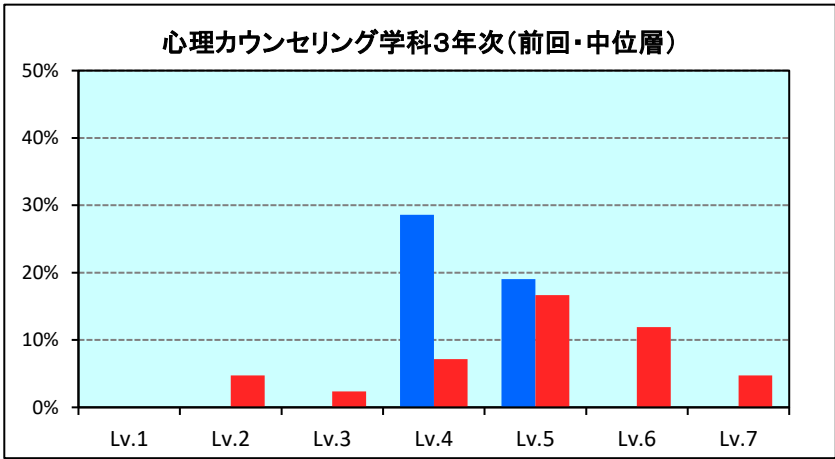
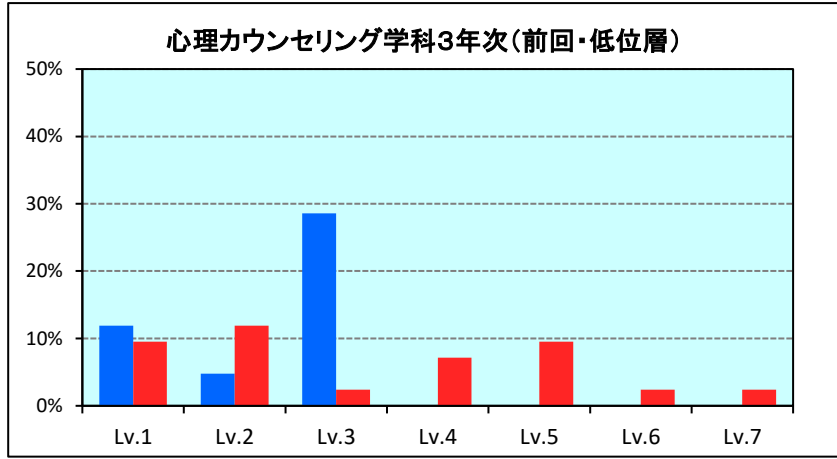


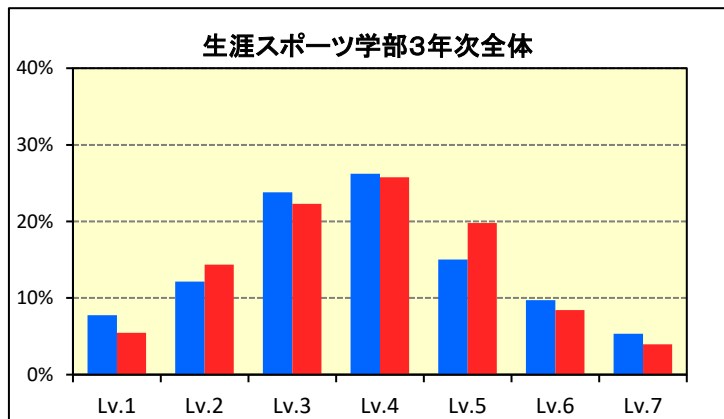
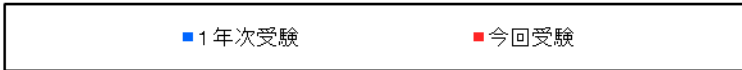
1年次受験に比べて、レベル1、レベル3の割合が小さく、レベル5、レベル7の割合が大きい。



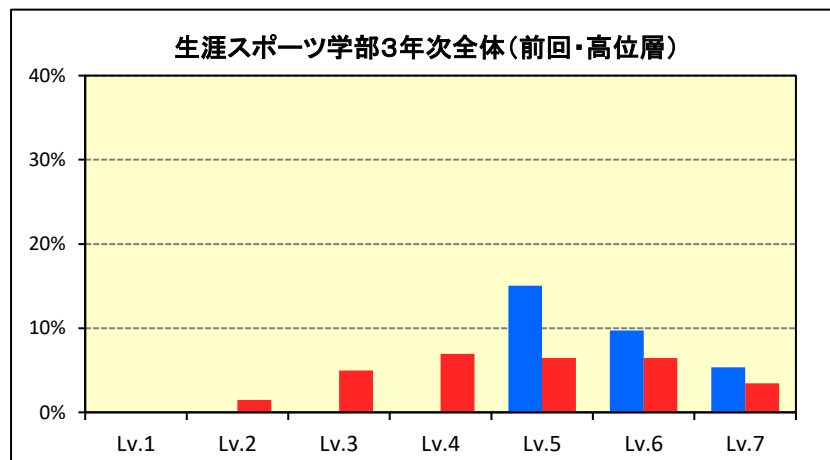
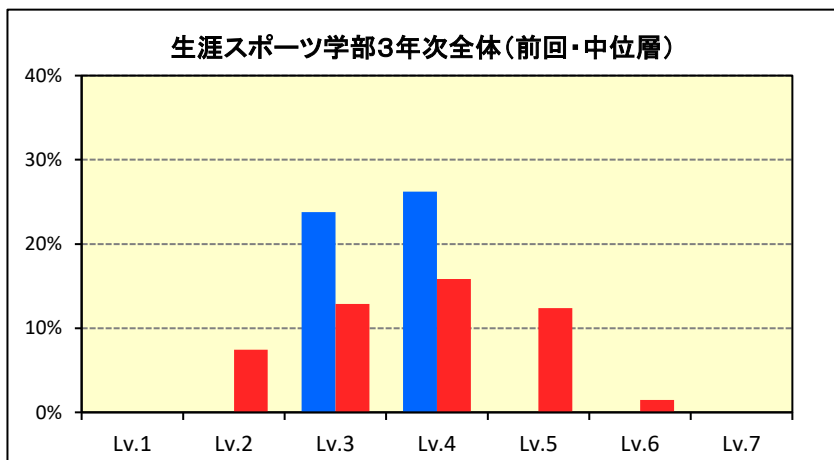
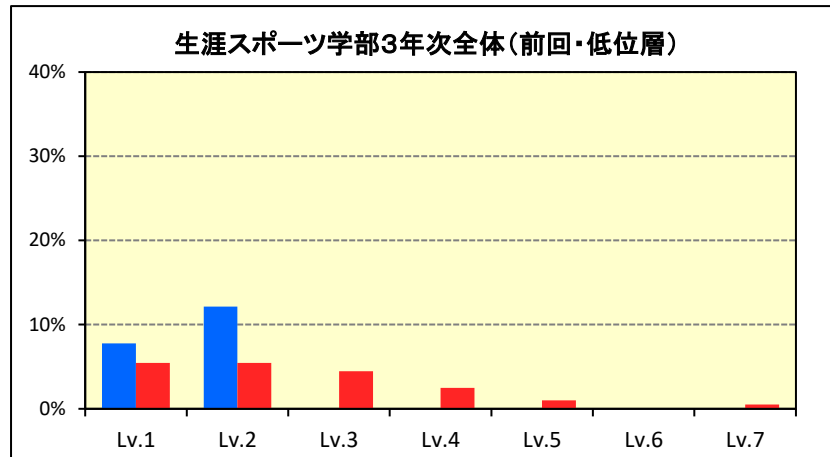


1年次受験に比べて、レベル3～4のボリュームが小さく、レベル2、レベル5～7のボリュームが大きい。

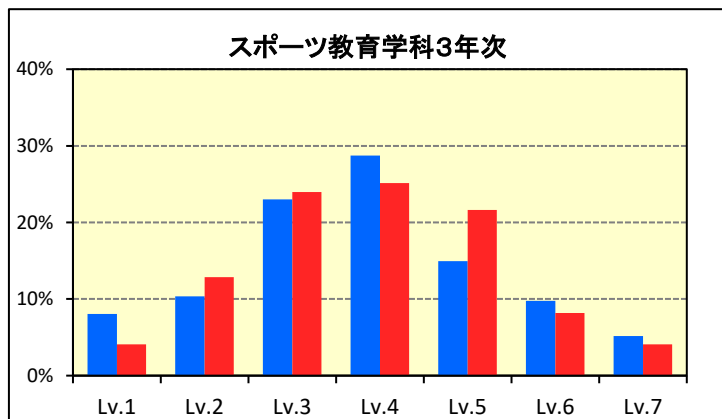




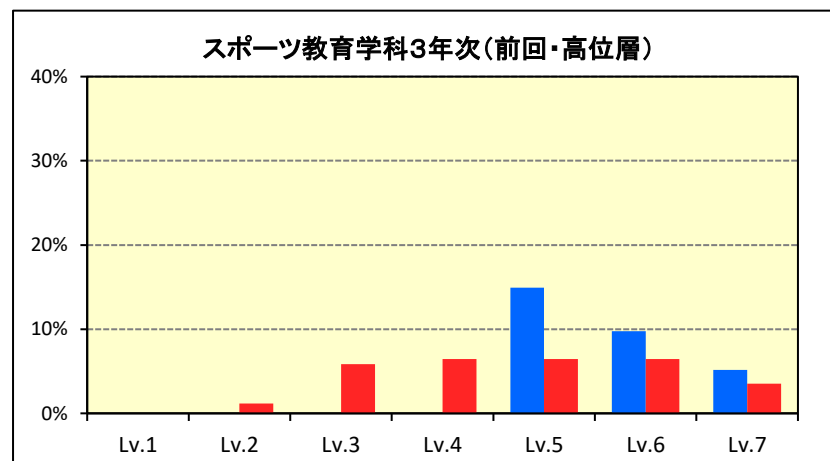
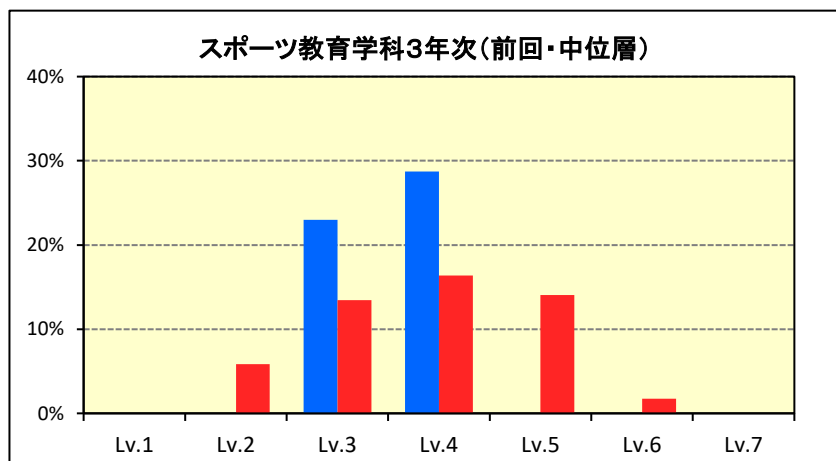
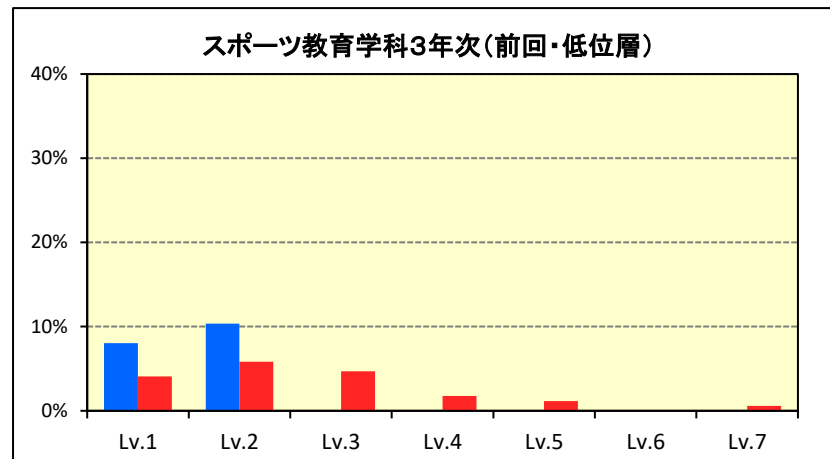
1年次受験に比べて、レベル5の割合が大きい。

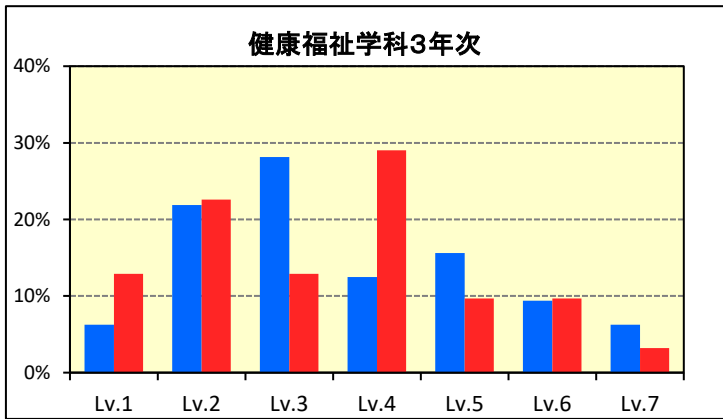


■ 1年次受験 ■ 今回受験

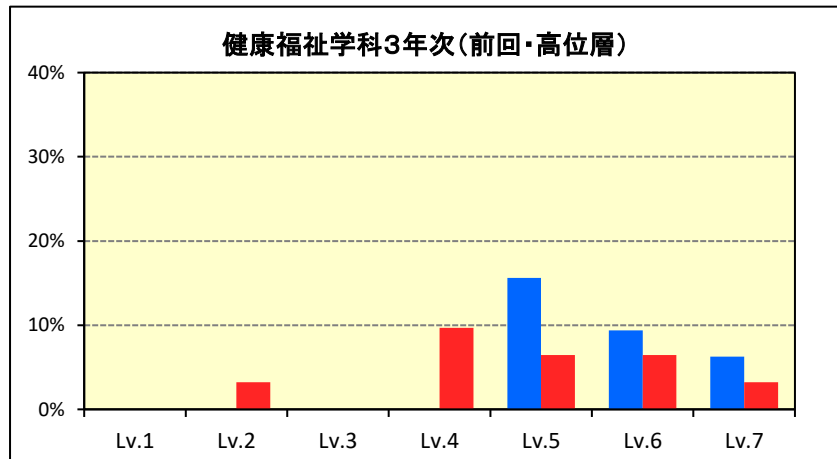
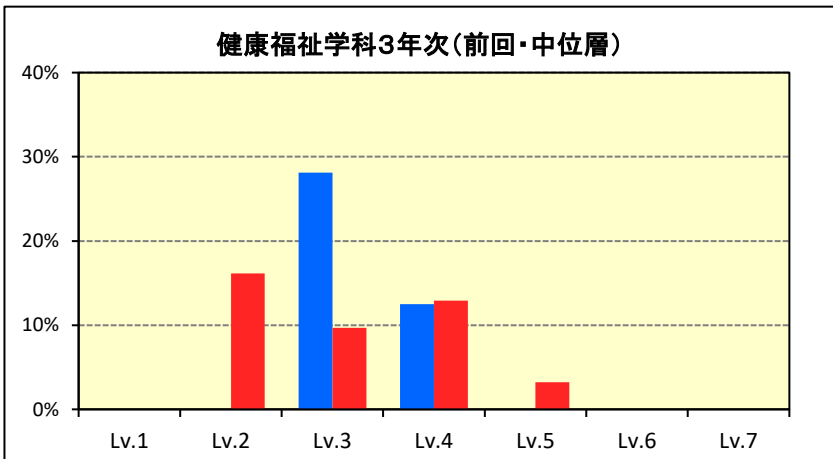
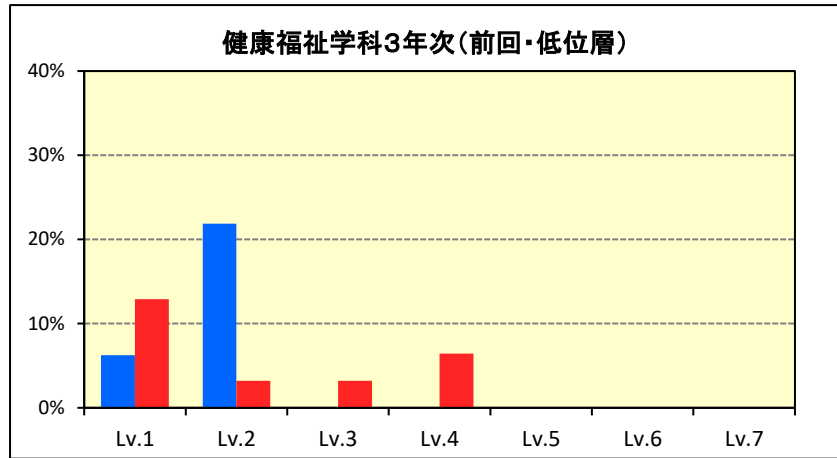


1年次受験に比べて、レベル1、レベル4の割合が小さく、レベル5の割合が大きい。

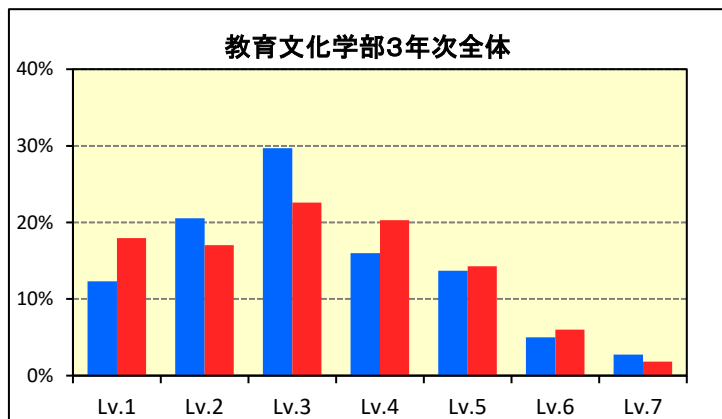




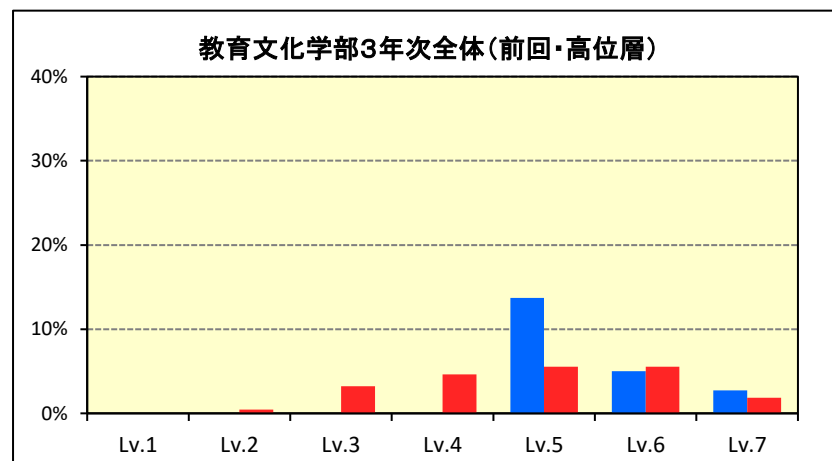
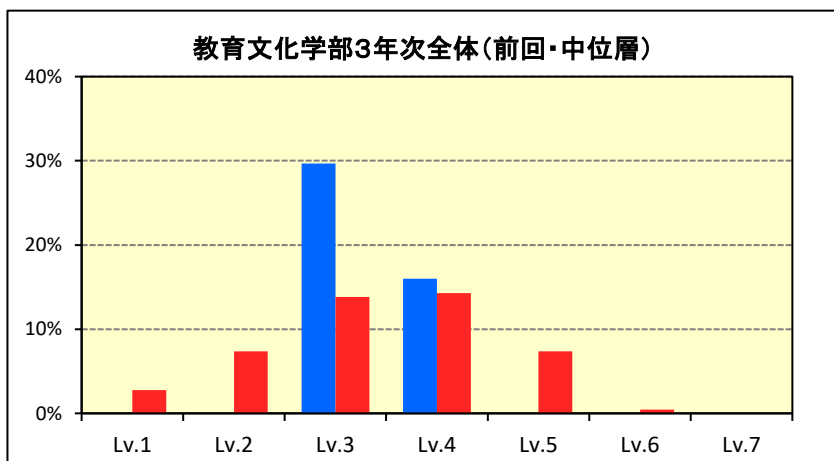
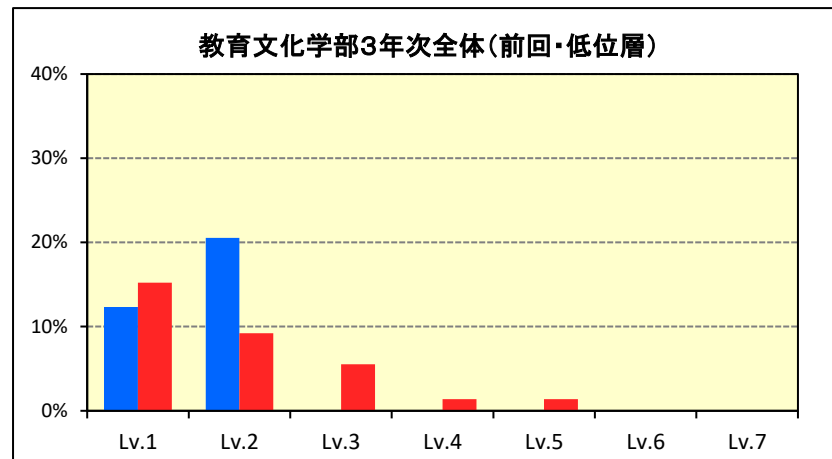
1年次受験に比べて、レベル3、レベル5、レベル7の割合が小さく、レベル1、レベル4の割合が大きい。

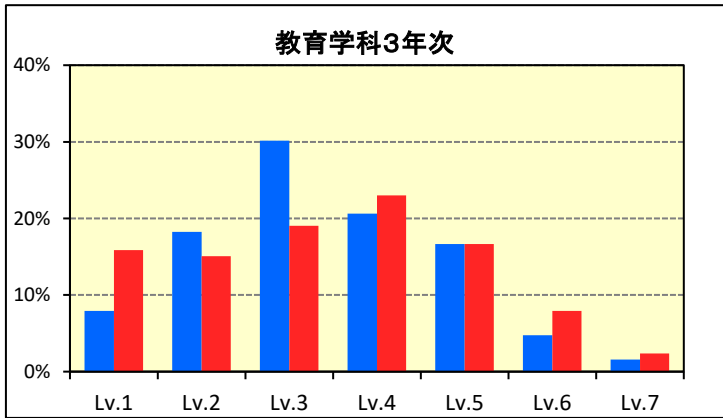


■ 1年次受験 ■ 今回受験

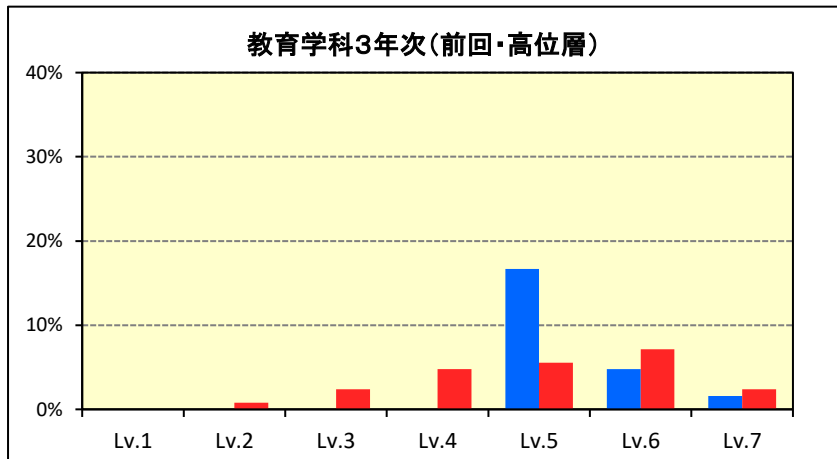
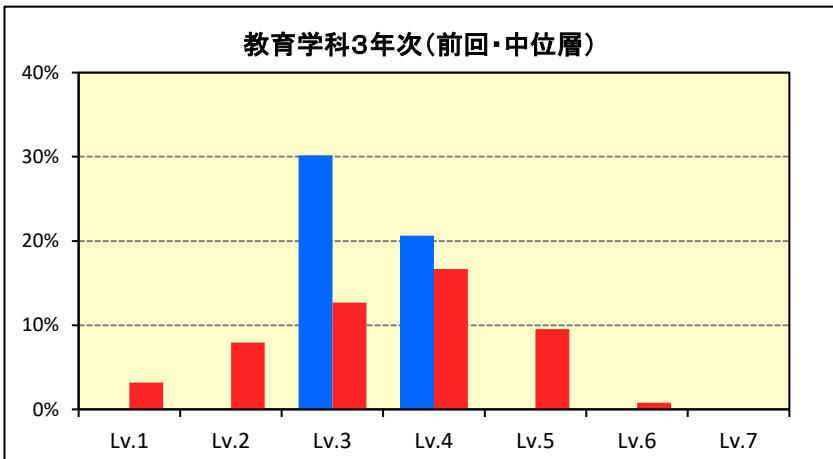
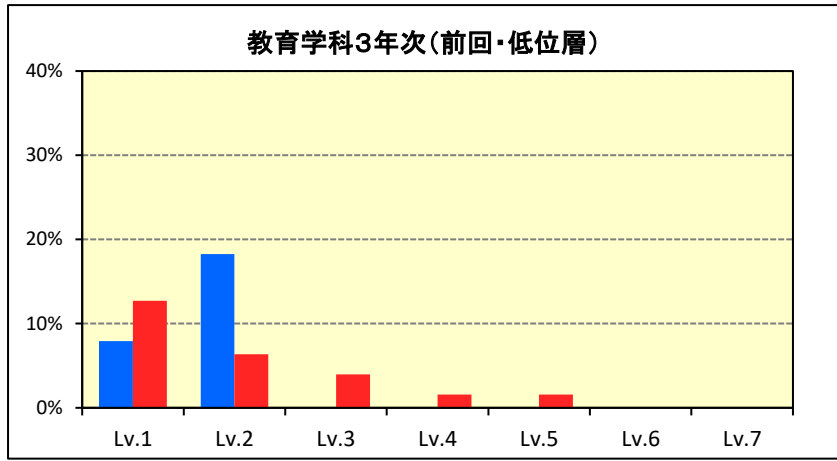


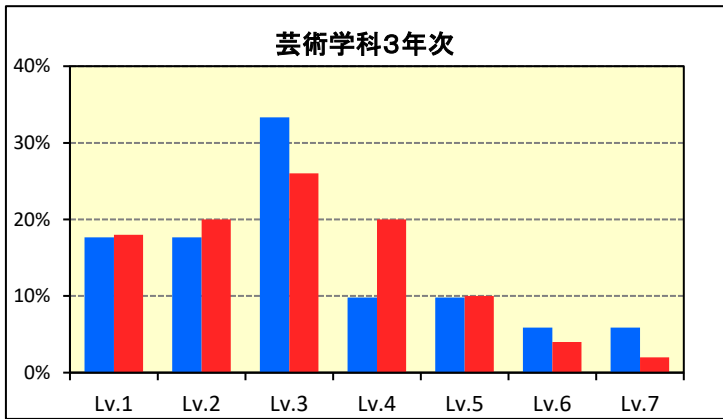
1年次受験に比べて、レベル2～3のボリュームが小さく、レベル1、レベル4の割合が大きい。



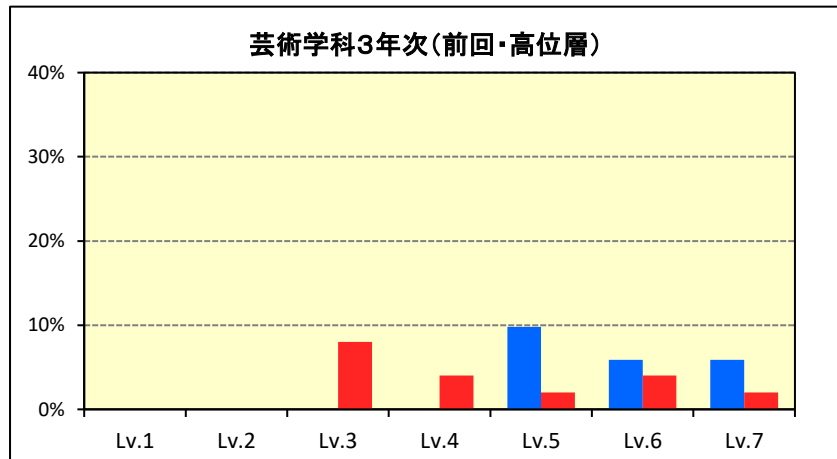
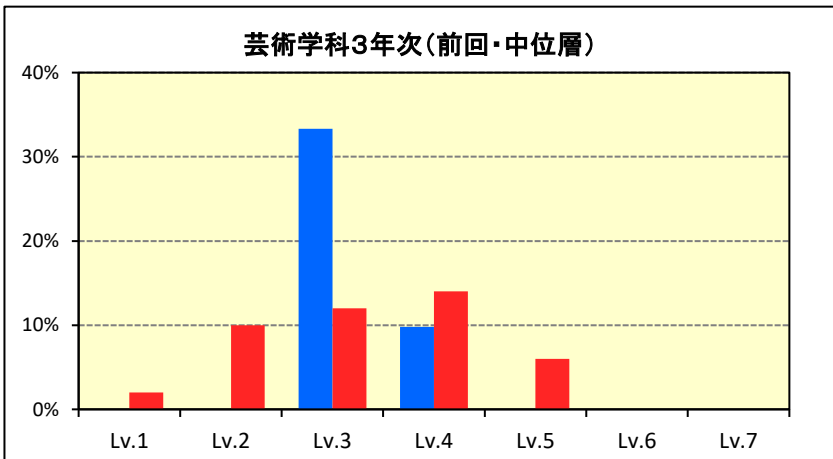
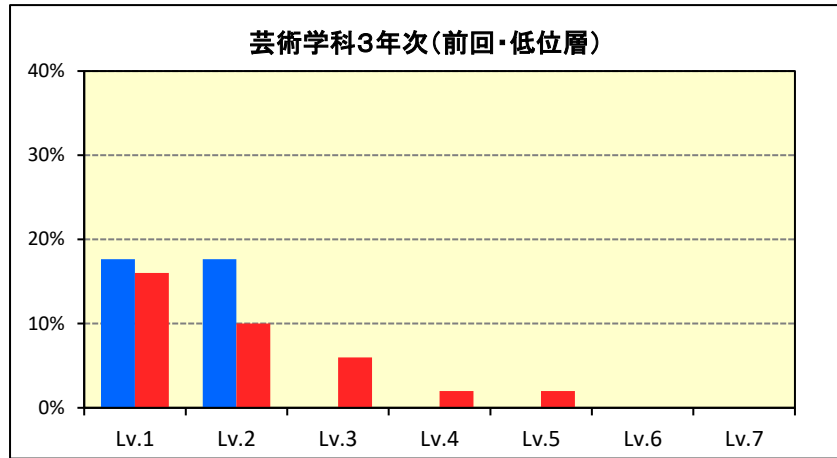


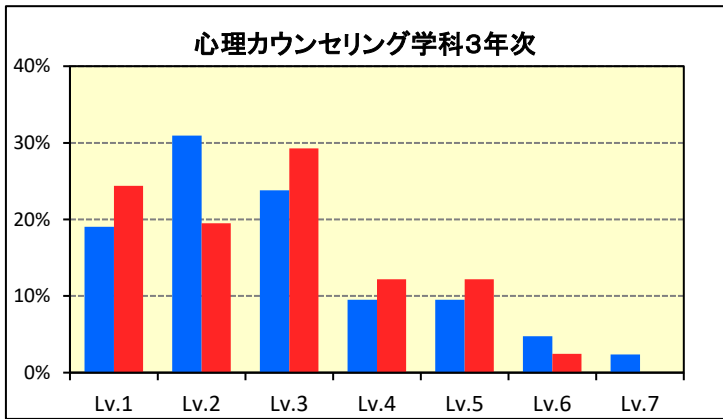
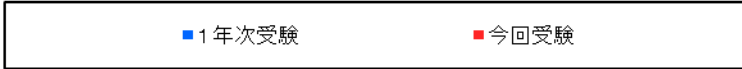
1年次受験に比べて、レベル2～3のボリュームが小さく、レベル1、レベル6の割合が大きい。



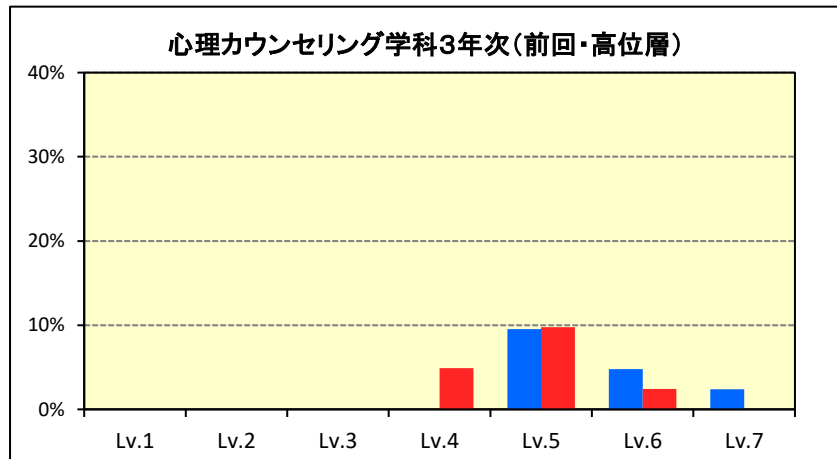
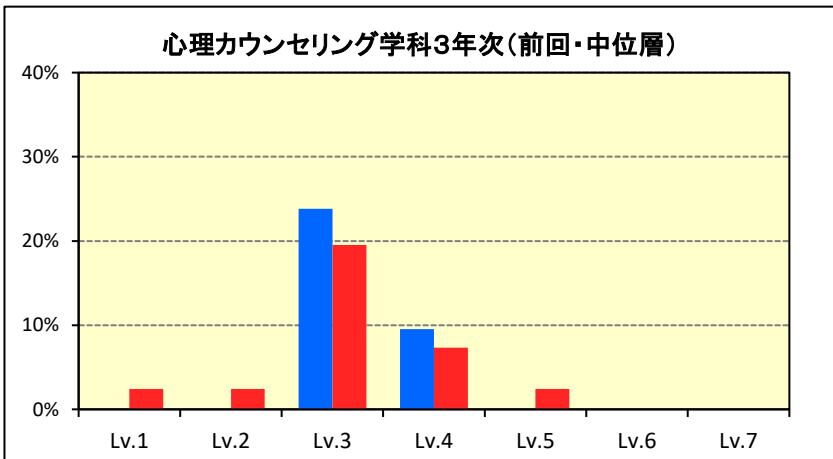
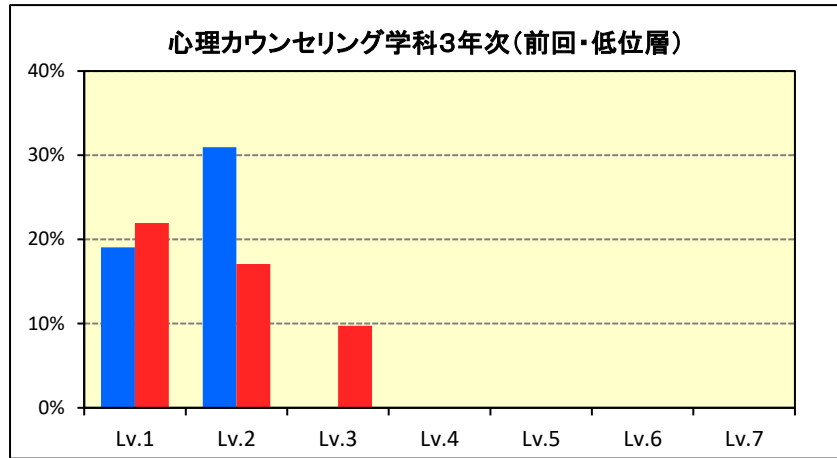


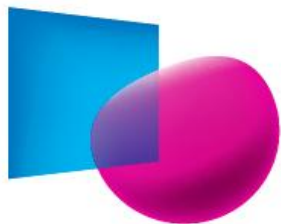
1年次受験に比べて、レベル3、レベル7の割合が小さく、レベル4の割合が大きい。





1年次受験に比べて、レベル2の割合が小さく、レベル1、レベル3の割合が大きい。

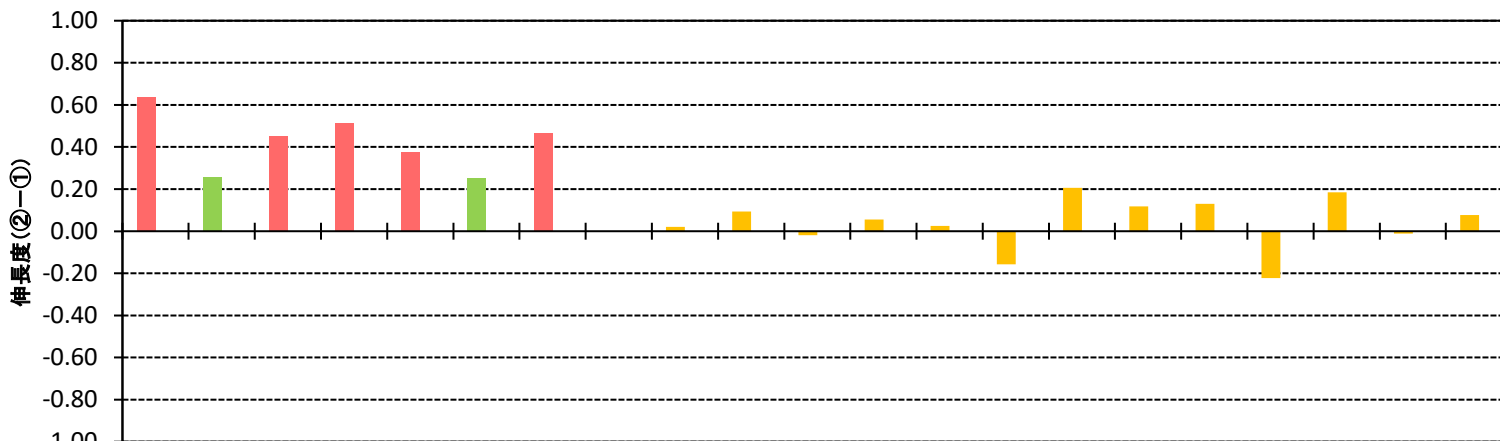




PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

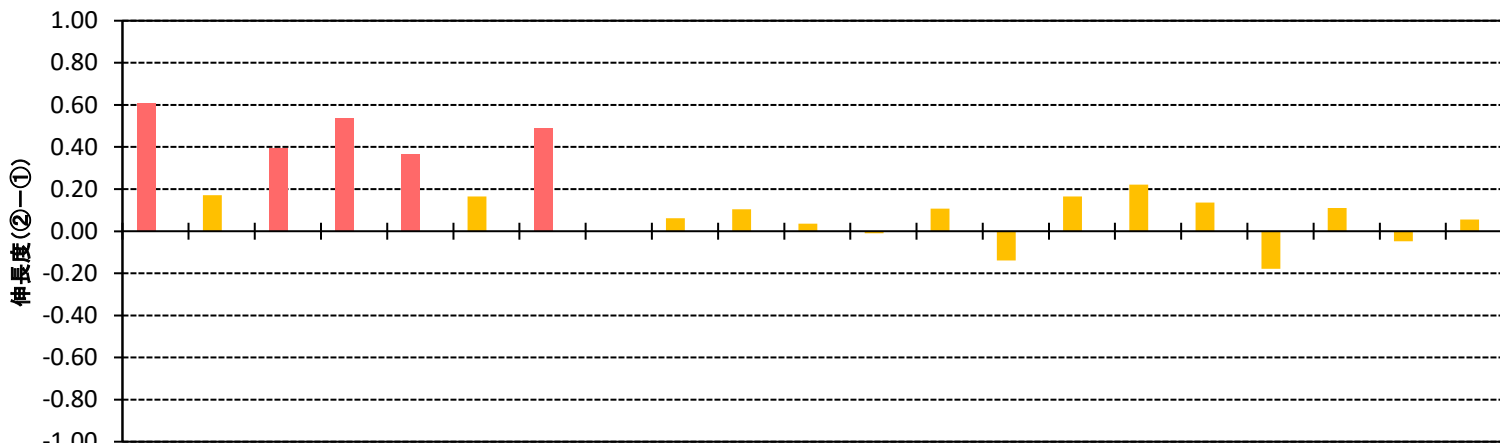
**Part.10-3
成長分析
3年次
(T検定)**



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①生涯スポーツ学部3年次全体 (1年次)	2.67	2.75	2.67	2.38	2.44	2.48	2.45
②生涯スポーツ学部3年次全体 (今回)	3.31	3.00	3.12	2.90	2.81	2.73	2.91
伸長度(②-①)	0.63	0.25	0.45	0.51	0.38	0.25	0.47
t検定(P値)	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00

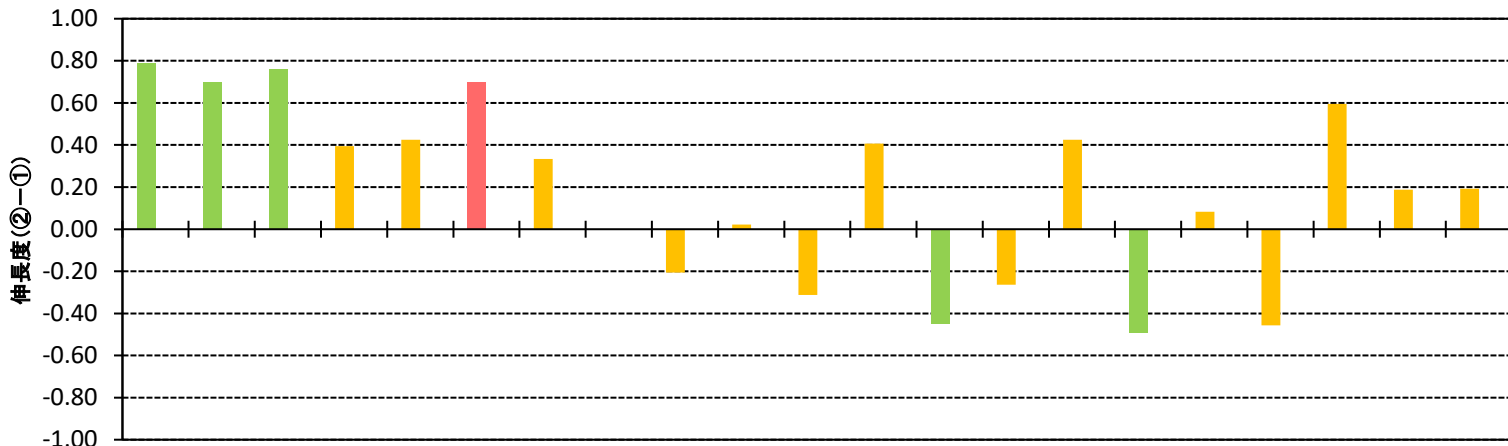
	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①生涯スポーツ学部3年次全体 (1年次)	3.79	4.04	4.02	3.67	4.17	4.08	3.83	3.91	3.73	4.12	3.38	3.73	3.66
②生涯スポーツ学部3年次全体 (今回)	3.81	4.13	4.00	3.73	4.20	3.92	4.04	4.03	3.86	3.90	3.56	3.72	3.74
伸長度(②-①)	0.02	0.09	-0.02	0.06	0.03	-0.16	0.21	0.12	0.13	-0.22	0.18	-0.01	0.08
t検定(P値)	0.96	0.57	0.67	0.66	1.00	0.15	0.14	0.34	0.23	0.05	0.27	0.82	0.48



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想 力	言語 処理能力	非言語 処理能力
①スポーツ教育学科3年次(1年次)	2.73	2.81	2.73	2.38	2.45	2.57	2.45
②スポーツ教育学科3年次(今回)	3.33	2.98	3.13	2.91	2.82	2.73	2.94
伸長度(②-①)	0.61	0.17	0.39	0.54	0.37	0.17	0.49
t検定(P値)	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00

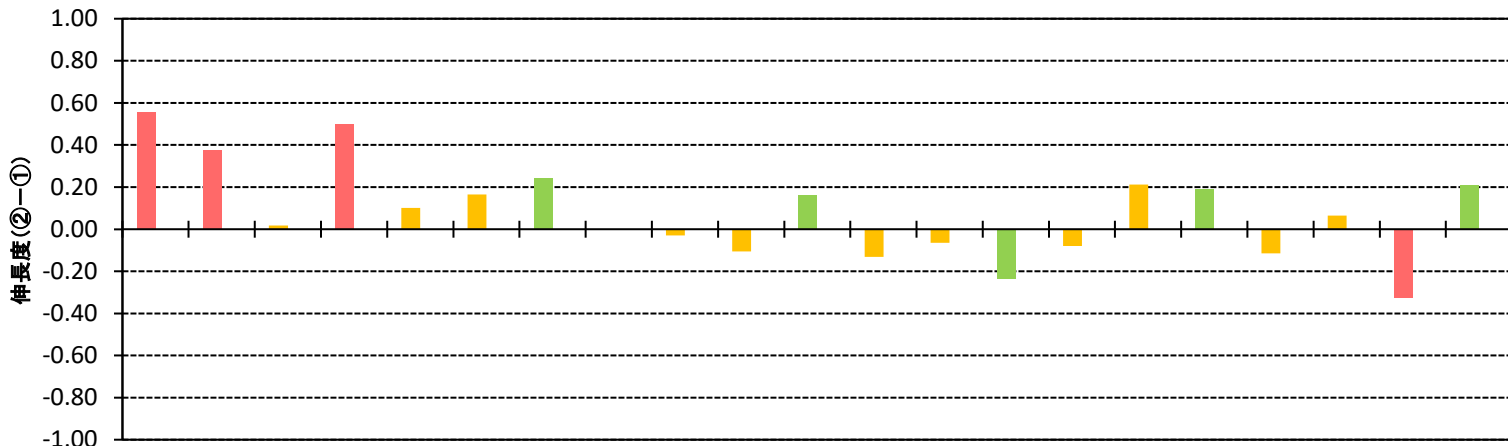
	コンピテンシー												
	コンピ 総合	対人 基礎力	対自己 基礎力	対課題 基礎力	親和 力	協働 力	統率 力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践 力
①スポーツ教育学科3年次(1年次)	3.82	4.07	4.04	3.69	4.14	4.07	3.91	3.91	3.78	4.13	3.43	3.74	3.68
②スポーツ教育学科3年次(今回)	3.88	4.17	4.08	3.68	4.25	3.93	4.07	4.13	3.92	3.95	3.54	3.69	3.74
伸長度(②-①)	0.06	0.10	0.04	-0.01	0.11	-0.14	0.16	0.22	0.14	-0.18	0.11	-0.05	0.06
t検定(P値)	0.61	0.46	0.84	0.92	0.47	0.24	0.21	0.10	0.20	0.18	0.52	0.65	0.66



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①健康福祉学科3年次(1年次)	2.39	2.39	2.33	2.42	2.36	2.00	2.42
②健康福祉学科3年次(今回)	3.18	3.09	3.09	2.82	2.79	2.70	2.76
伸長度(②-①)	0.79	0.70	0.76	0.39	0.42	0.70	0.33
t検定(P値)	0.02	0.02	0.02	0.14	0.12	0.00	0.24

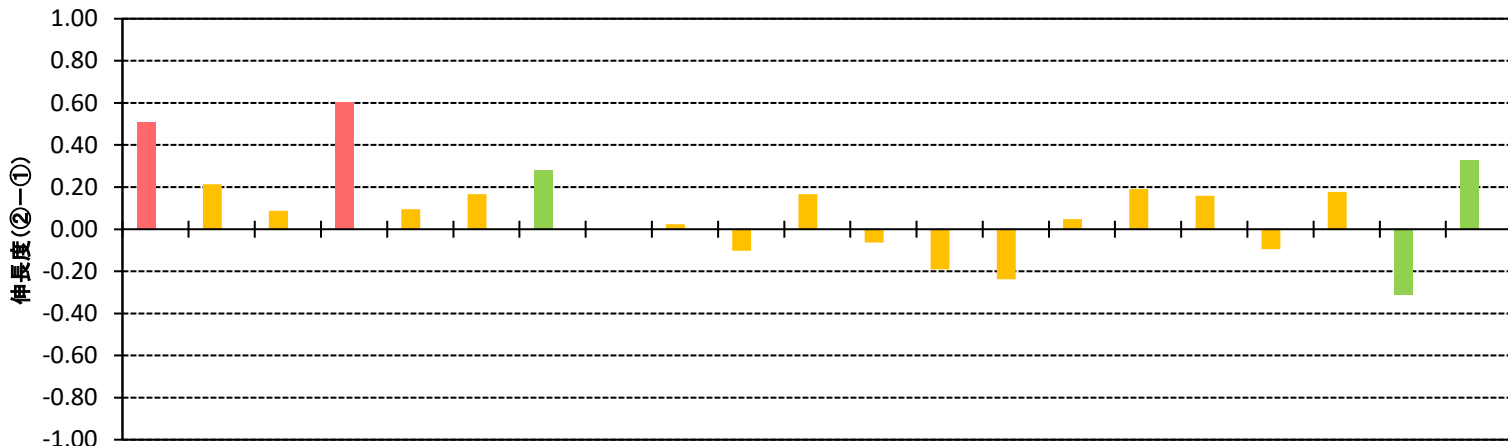
	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①健康福祉学科3年次(1年次)	3.63	3.88	3.91	3.56	4.34	4.13	3.44	3.91	3.47	4.06	3.09	3.72	3.53
②健康福祉学科3年次(今回)	3.42	3.90	3.59	3.97	3.90	3.86	3.86	3.41	3.55	3.61	3.69	3.91	3.72
伸長度(②-①)	-0.21	0.02	-0.31	0.41	-0.45	-0.26	0.42	-0.49	0.08	-0.46	0.60	0.19	0.19
t検定(P値)	0.20	0.67	0.06	0.18	0.02	0.36	0.45	0.03	0.88	0.06	0.21	0.59	0.46



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①教育文化学部3年次全体(1年次)	3.77	3.20	3.26	3.02	3.25	3.18	3.09
②教育文化学部3年次全体(今回)	4.32	3.58	3.28	3.52	3.35	3.35	3.33
伸長度(②-①)	0.56	0.37	0.02	0.50	0.10	0.16	0.24
t検定(P値)	0.00	0.00	0.83	0.00	0.28	0.07	0.01

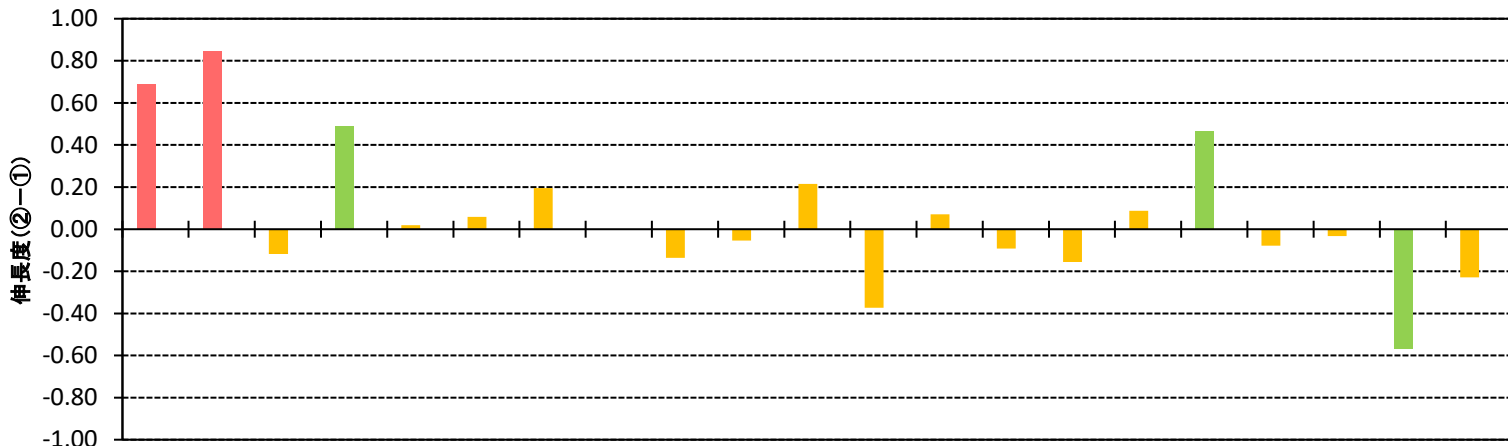
	コンピテンシー												
	総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①教育文化学部3年次全体(1年次)	3.24	3.60	3.38	3.44	4.04	3.84	3.02	3.28	3.43	3.51	3.20	3.44	3.55
②教育文化学部3年次全体(今回)	3.21	3.49	3.54	3.31	3.97	3.60	2.94	3.49	3.62	3.39	3.26	3.12	3.75
伸長度(②-①)	-0.03	-0.11	0.16	-0.13	-0.06	-0.23	-0.08	0.21	0.19	-0.11	0.07	-0.32	0.21
t検定(P値)	0.72	0.22	0.05	0.16	0.60	0.02	0.50	0.06	0.05	0.28	0.55	0.00	0.05



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①教育学科3年次(1年次)	3.95	3.33	3.33	3.10	3.26	3.23	3.27
②教育学科3年次(今回)	4.46	3.55	3.42	3.71	3.36	3.40	3.55
伸長度(②-①)	0.51	0.21	0.09	0.60	0.10	0.17	0.28
t検定(P値)	0.00	0.16	0.46	0.00	0.47	0.16	0.02

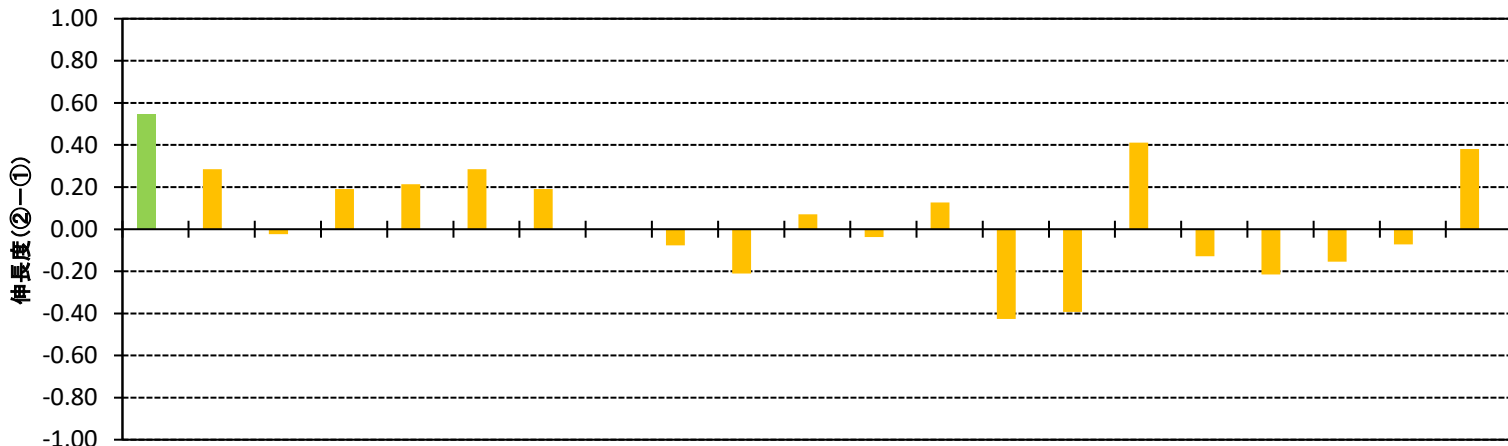
	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①教育学科3年次(1年次)	3.40	3.82	3.56	3.41	4.40	4.13	2.95	3.43	3.68	3.63	3.10	3.42	3.52
②教育学科3年次(今回)	3.43	3.71	3.73	3.35	4.21	3.89	3.00	3.62	3.84	3.53	3.27	3.11	3.85
伸長度(②-①)	0.02	-0.10	0.17	-0.06	-0.19	-0.24	0.05	0.19	0.16	-0.10	0.18	-0.31	0.33
t検定(P値)	0.82	0.38	0.11	0.59	0.17	0.08	0.64	0.15	0.20	0.50	0.16	0.03	0.04



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①芸術学科3年次(1年次)	3.45	2.96	3.16	2.76	3.18	3.14	2.78
②芸術学科3年次(今回)	4.14	3.80	3.04	3.25	3.20	3.20	2.98
伸長度(②-①)	0.69	0.84	-0.12	0.49	0.02	0.06	0.20
t検定(P値)	0.01	0.00	0.51	0.02	0.91	0.78	0.40

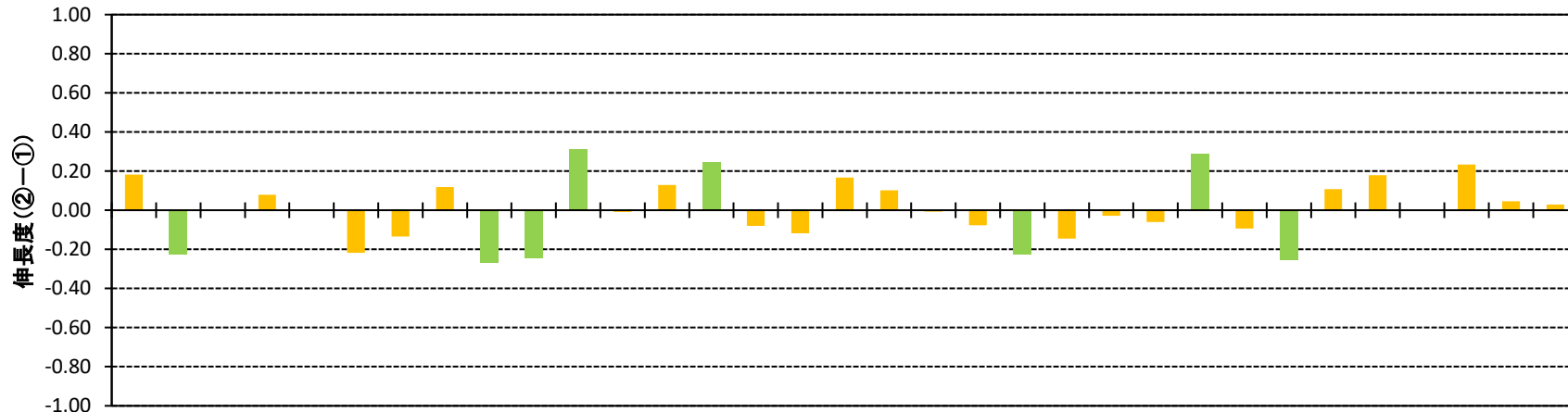
	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働能力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①芸術学科3年次(1年次)	3.18	3.33	3.31	3.49	3.53	3.41	3.18	3.35	3.16	3.65	3.33	3.49	3.55
②芸術学科3年次(今回)	3.04	3.28	3.53	3.12	3.60	3.32	3.02	3.44	3.62	3.57	3.30	2.92	3.32
伸長度(②-①)	-0.14	-0.05	0.22	-0.37	0.07	-0.09	-0.16	0.09	0.46	-0.08	-0.03	-0.57	-0.23
t検定(P値)	0.58	0.92	0.26	0.08	0.67	0.73	0.56	0.74	0.03	0.72	0.93	0.02	0.43



■ ...1%有意
■ ...5%有意

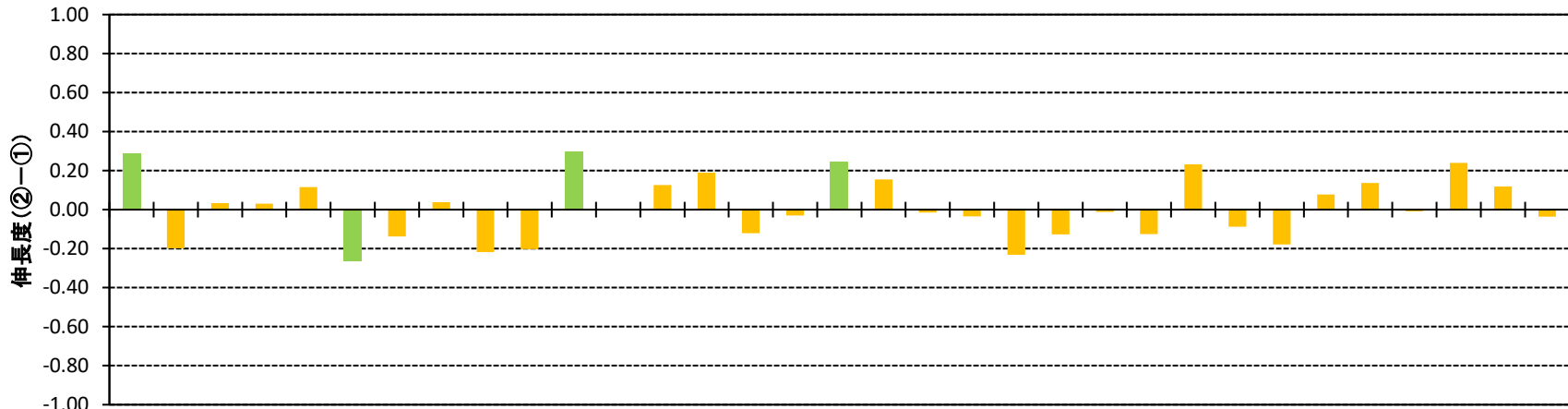
	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①心理カウンセリング学科3年次 (1年次)	3.60	3.10	3.17	3.10	3.31	3.10	2.90
②心理カウンセリング学科3年次 (今回)	4.14	3.38	3.14	3.29	3.52	3.38	3.10
伸長度(②-①)	0.55	0.29	-0.02	0.19	0.21	0.29	0.19
t検定(P値)	0.04	0.28	0.90	0.36	0.25	0.15	0.46

	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①心理カウンセリング学科3年次 (1年次)	2.83	3.26	2.93	3.48	3.55	3.48	3.02	2.74	3.02	2.98	3.33	3.45	3.62
②心理カウンセリング学科3年次 (今回)	2.76	3.05	3.00	3.44	3.68	3.05	2.63	3.15	2.89	2.76	3.18	3.38	4.00
伸長度(②-①)	-0.08	-0.21	0.07	-0.04	0.13	-0.43	-0.39	0.41	-0.13	-0.21	-0.15	-0.07	0.38
t検定(P値)	0.47	0.22	0.69	0.90	0.45	0.09	0.06	0.08	0.72	0.39	0.35	0.76	0.05



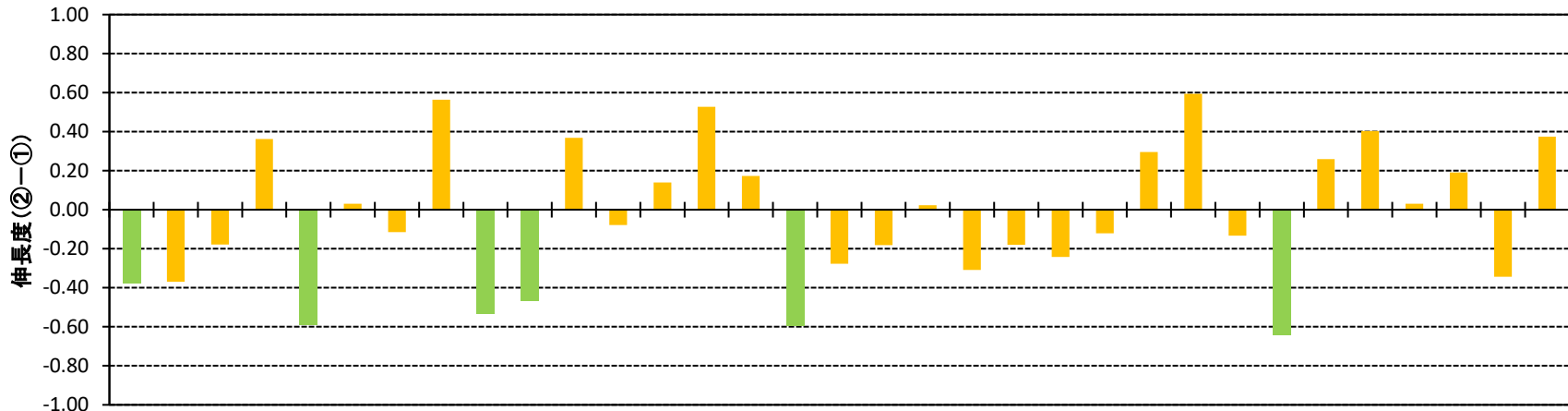
■ ...1%有意
■ ...5%有意

	親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感 楽観性	学習視点 機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
①生涯スポーツ学部 3年次全体(1年次)	3.06	3.05	3.25	2.94	3.16	3.35	2.95	2.84	3.27	3.16	2.74	3.12	2.83	2.90	3.15	2.92	3.09	2.99	2.98	2.55	3.07	3.16	2.75	2.81	2.47	2.82	3.13	2.82	2.67	2.56	3.06	2.66	2.85
②生涯スポーツ学部 3年次全体(今回)	3.24	2.83	3.25	3.02	3.16	3.14	2.81	2.96	3.00	2.91	3.05	3.11	2.96	3.14	3.07	2.80	3.25	3.09	2.97	2.47	2.84	3.01	2.72	2.75	2.75	2.73	2.87	2.92	2.85	2.56	3.30	2.71	2.88
伸長度(②-①)	0.18	-0.22	0.00	0.08	0.00	-0.22	-0.13	0.12	-0.27	-0.24	0.31	-0.01	0.13	0.24	-0.08	-0.12	0.17	0.10	-0.01	-0.08	-0.22	-0.14	-0.03	-0.06	0.29	-0.09	-0.25	0.11	0.18	0.00	0.23	0.05	0.03
t検定(P値)	0.07	0.03	0.97	0.94	0.93	0.06	0.33	0.54	0.01	0.03	0.02	0.66	0.25	0.04	0.81	0.31	0.08	0.30	0.88	0.35	0.04	0.28	0.75	0.57	0.01	0.32	0.02	0.31	0.15	0.93	0.11	0.49	0.74



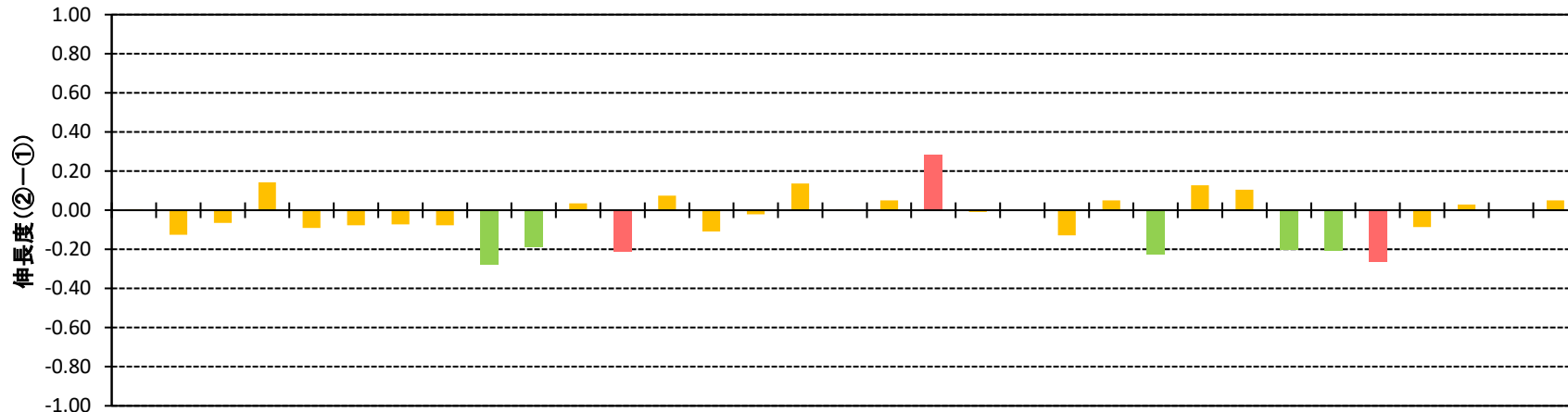
■ ...1%有意
■ ...5%有意

	親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感 楽観性	学習視点 機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
①スポーツ教育学科 3年次(1年次)	3.02	3.05	3.21	2.93	3.10	3.42	2.98	2.86	3.21	3.16	2.78	3.16	2.85	2.98	3.11	2.90	3.09	2.93	3.05	2.52	3.09	3.18	2.71	2.86	2.50	2.84	3.13	2.87	2.67	2.51	3.10	2.63	2.87
②スポーツ教育学科 3年次(今回)	3.31	2.85	3.25	2.96	3.22	3.16	2.84	2.90	2.99	2.95	3.07	3.16	2.98	3.17	2.99	2.87	3.34	3.09	3.04	2.49	2.86	3.05	2.70	2.74	2.73	2.75	2.95	2.95	2.80	2.50	3.34	2.75	2.83
伸長度(②-①)	0.29	-0.20	0.03	0.03	0.11	-0.26	-0.14	0.04	-0.22	-0.20	0.30	0.00	0.13	0.19	-0.12	-0.03	0.24	0.15	-0.02	-0.03	-0.23	-0.13	-0.01	-0.13	0.23	-0.09	-0.18	0.08	0.14	-0.01	0.24	0.12	-0.04
t検定(P値)	0.01	0.06	0.86	0.83	0.34	0.04	0.34	0.90	0.08	0.11	0.02	0.79	0.29	0.07	0.50	0.89	0.02	0.16	0.75	0.68	0.05	0.39	0.93	0.32	0.06	0.45	0.13	0.48	0.34	0.88	0.19	0.26	0.82



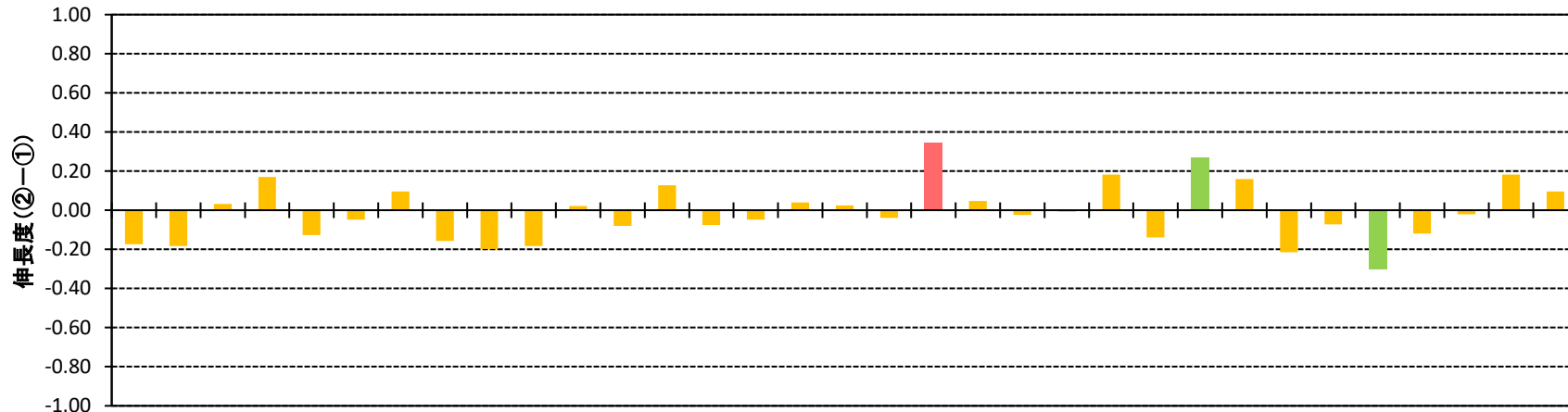
■ ...1%有意
■ ...5%有意

①健康福祉学科 3年次(1年次)	3.25	3.09	3.47	3.03	3.44	3.00	2.78	2.78	3.56	3.16	2.56	2.91	2.69	2.44	3.34	3.03	3.06	3.27	2.56	2.69	2.94	3.06	2.97	2.53	2.28	2.72	3.09	2.50	2.69	2.88	2.84	2.81	2.75
②健康福祉学科 3年次(今回)	2.88	2.72	3.29	3.39	2.85	3.03	2.67	3.34	3.03	2.69	2.93	2.83	2.83	2.96	3.52	2.44	2.79	3.09	2.59	2.38	2.76	2.82	2.85	2.83	2.88	2.59	2.45	2.76	3.09	2.91	3.03	2.47	3.13
伸長度(②-①)	-0.38	-0.37	-0.18	0.36	-0.59	0.03	-0.11	0.56	-0.53	-0.47	0.37	-0.08	0.14	0.53	0.17	-0.59	-0.28	-0.18	0.02	-0.31	-0.18	-0.24	-0.12	0.30	0.59	-0.13	-0.64	0.26	0.40	0.03	0.19	-0.34	0.38
t検定(P値)	0.03	0.23	0.65	0.47	0.01	0.92	0.78	0.06	0.02	0.05	0.48	0.61	0.68	0.31	0.35	0.01	0.17	0.43	0.65	0.14	0.45	0.47	0.51	0.39	0.06	0.47	0.02	0.36	0.14	0.91	0.31	0.31	0.24



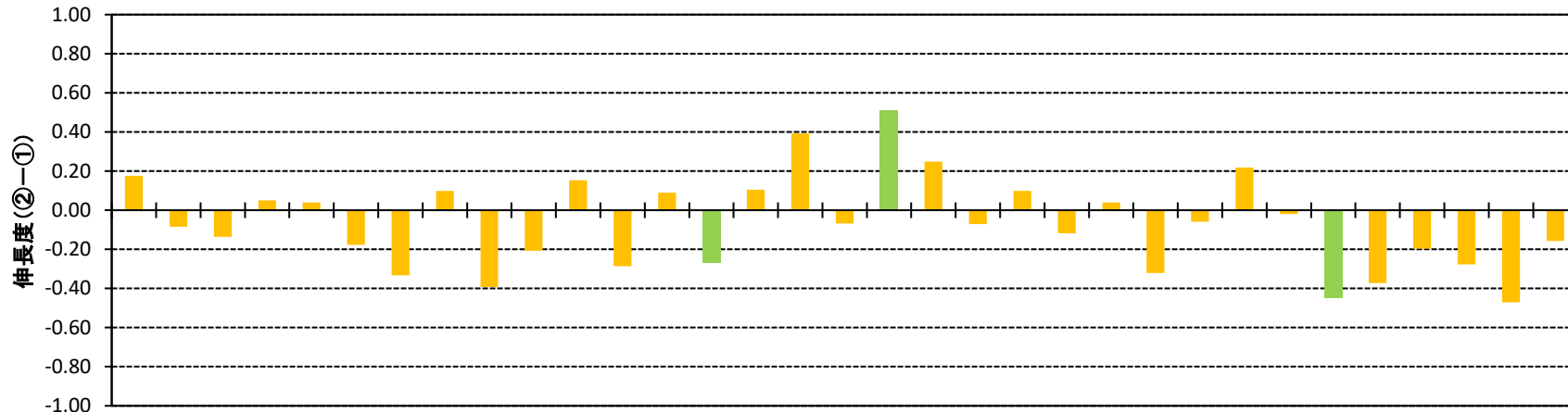
■ ...1%有意
■ ...5%有意

①教育文化学部 3年次全体(1年次)	2.97	3.31	3.43	3.56	2.68	3.47	2.98	2.72	3.40	2.86	2.35	2.50	2.39	2.43	3.49	2.40	2.60	2.88	2.56	2.57	2.43	2.83	3.04	2.71	2.32	2.90	2.61	2.67	2.75	2.68	2.88	2.59	2.94
②教育文化学部 3年次全体(今回)	2.97	3.19	3.36	3.70	2.59	3.40	2.91	2.64	3.12	2.67	2.38	2.29	2.46	2.32	3.47	2.54	2.60	2.93	2.84	2.56	2.43	2.70	3.09	2.48	2.45	3.00	2.41	2.46	2.49	2.60	2.91	2.58	2.99
伸長度(②-①)	0.00	-0.13	-0.07	0.14	-0.09	-0.08	-0.07	-0.08	-0.28	-0.19	0.03	-0.21	0.07	-0.11	-0.02	0.14	0.00	0.05	0.28	-0.01	0.00	-0.13	0.05	-0.23	0.13	0.11	-0.20	-0.21	-0.26	-0.09	0.03	0.00	0.05
t検定(P値)	0.96	0.21	0.61	0.52	0.36	0.48	0.50	0.36	0.01	0.04	0.61	0.01	0.42	0.07	0.71	0.18	0.75	0.54	0.00	0.96	1.00	0.26	0.66	0.03	0.13	0.34	0.05	0.02	0.01	0.37	0.89	0.97	0.66



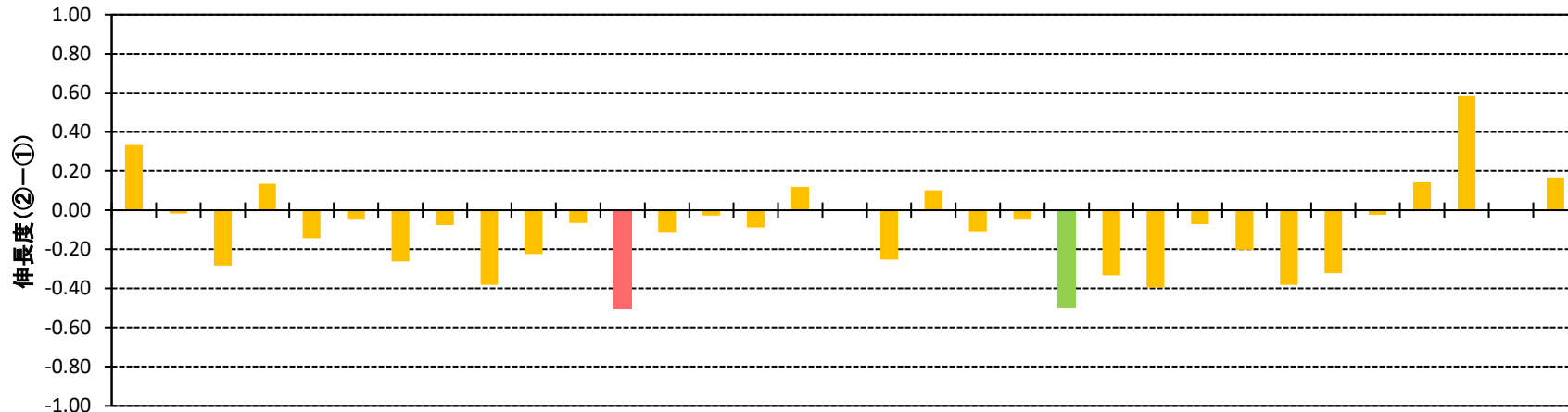
■ ...1%有意
■ ...5%有意

	親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感 楽観性	学習視点 機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
①教育学科 3年次(1年次)	3.17	3.58	3.52	3.58	2.87	3.67	3.03	2.89	3.59	3.10	2.33	2.37	2.40	2.44	3.51	2.37	2.75	3.06	2.71	2.63	2.42	2.84	3.05	2.66	2.22	2.86	2.65	2.68	2.63	2.67	2.94	2.62	2.88
②教育学科 3年次(今回)	2.99	3.40	3.56	3.75	2.75	3.63	3.13	2.73	3.39	2.91	2.35	2.29	2.52	2.37	3.46	2.41	2.78	3.02	3.06	2.67	2.40	2.83	3.23	2.52	2.49	3.02	2.44	2.61	2.33	2.55	2.92	2.80	2.98
伸長度(②-①)	-0.17	-0.18	0.03	0.17	-0.13	-0.05	0.10	-0.16	-0.20	-0.18	0.02	-0.08	0.13	-0.08	-0.05	0.04	0.02	-0.04	0.34	0.05	-0.02	-0.01	0.18	-0.14	0.27	0.16	-0.21	-0.07	-0.30	-0.12	-0.02	0.18	0.10
t検定(P値)	0.15	0.14	0.84	0.23	0.36	0.72	0.51	0.24	0.15	0.14	0.90	0.50	0.29	0.50	0.74	0.77	1.00	0.75	0.01	0.72	0.85	0.96	0.22	0.34	0.02	0.27	0.14	0.47	0.02	0.34	1.00	0.26	0.54



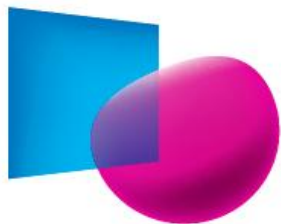
■ ...1%有意
■ ...5%有意

	親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフケアウェルネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感 楽観性	学習視点 機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
①芸術学科 3年次(1年次)	2.80	2.76	3.24	3.67	2.31	3.06	2.88	2.57	2.96	2.63	2.25	2.67	2.51	2.51	3.25	2.55	2.59	2.65	2.47	2.43	2.65	3.02	3.02	2.98	2.51	2.84	2.71	2.61	2.88	2.69	2.90	2.41	3.02
②芸術学科 3年次(今回)	2.98	2.68	3.10	3.72	2.35	2.88	2.55	2.67	2.57	2.42	2.41	2.38	2.60	2.24	3.36	2.94	2.52	3.16	2.72	2.36	2.75	2.90	3.06	2.66	2.45	3.06	2.69	2.16	2.51	2.49	2.63	1.94	2.86
伸び度(②-①)	0.18	-0.08	-0.14	0.05	0.04	-0.18	-0.33	0.10	-0.39	-0.21	0.15	-0.29	0.09	-0.27	0.11	0.39	-0.07	0.51	0.25	-0.07	0.10	-0.12	0.04	-0.32	-0.06	0.22	-0.02	-0.45	-0.37	-0.20	-0.28	-0.47	-0.16
t検定(P値)	0.39	0.83	0.68	0.64	0.83	0.51	0.15	0.60	0.08	0.27	0.43	0.06	0.51	0.04	0.80	0.07	0.61	0.01	0.23	0.60	0.62	0.65	0.87	0.13	0.73	0.36	0.91	0.05	0.10	0.29	0.24	0.06	0.49



■ ...1%有意
■ ...5%有意

	親しみやすさ	気配り	対人興味・共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解連携行動	情報共有	相互支援	相談、指導他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	セルフアウェアネス	ストレスコーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感 楽観性	学習視点 機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正調整	検証改善
①心理カウンセリング学科 3年次(1年次)	2.57	3.17	3.38	3.38	2.55	3.38	2.95	2.38	3.36	2.43	2.52	2.69	2.21	2.29	3.74	2.31	2.14	2.62	2.21	2.55	2.19	2.55	3.05	2.52	2.40	3.10	2.38	2.69	2.98	2.74	2.67	2.71	3.02
②心理カウンセリング学科 3年次(今回)	2.90	3.15	3.10	3.52	2.40	3.33	2.69	2.31	2.98	2.21	2.46	2.18	2.10	2.26	3.65	2.43	2.14	2.37	2.32	2.44	2.14	2.05	2.71	2.13	2.33	2.89	2.00	2.37	2.95	2.88	3.25	2.71	3.19
伸長度(②-①)	0.33	-0.02	-0.28	0.14	-0.14	-0.05	-0.26	-0.08	-0.38	-0.22	-0.06	-0.51	-0.11	-0.03	-0.09	0.12	0.00	-0.25	0.10	-0.11	-0.05	-0.50	-0.33	-0.40	-0.07	-0.20	-0.38	-0.32	-0.02	0.14	0.58	0.00	0.17
t検定(P値)	0.10	1.00	0.29	0.63	0.51	0.86	0.23	0.47	0.21	0.34	1.00	0.00	0.49	0.46	0.57	0.62	0.89	0.38	0.54	0.76	0.80	0.04	0.23	0.14	0.72	0.42	0.07	0.11	0.90	0.58	0.16	1.00	0.51



PROG

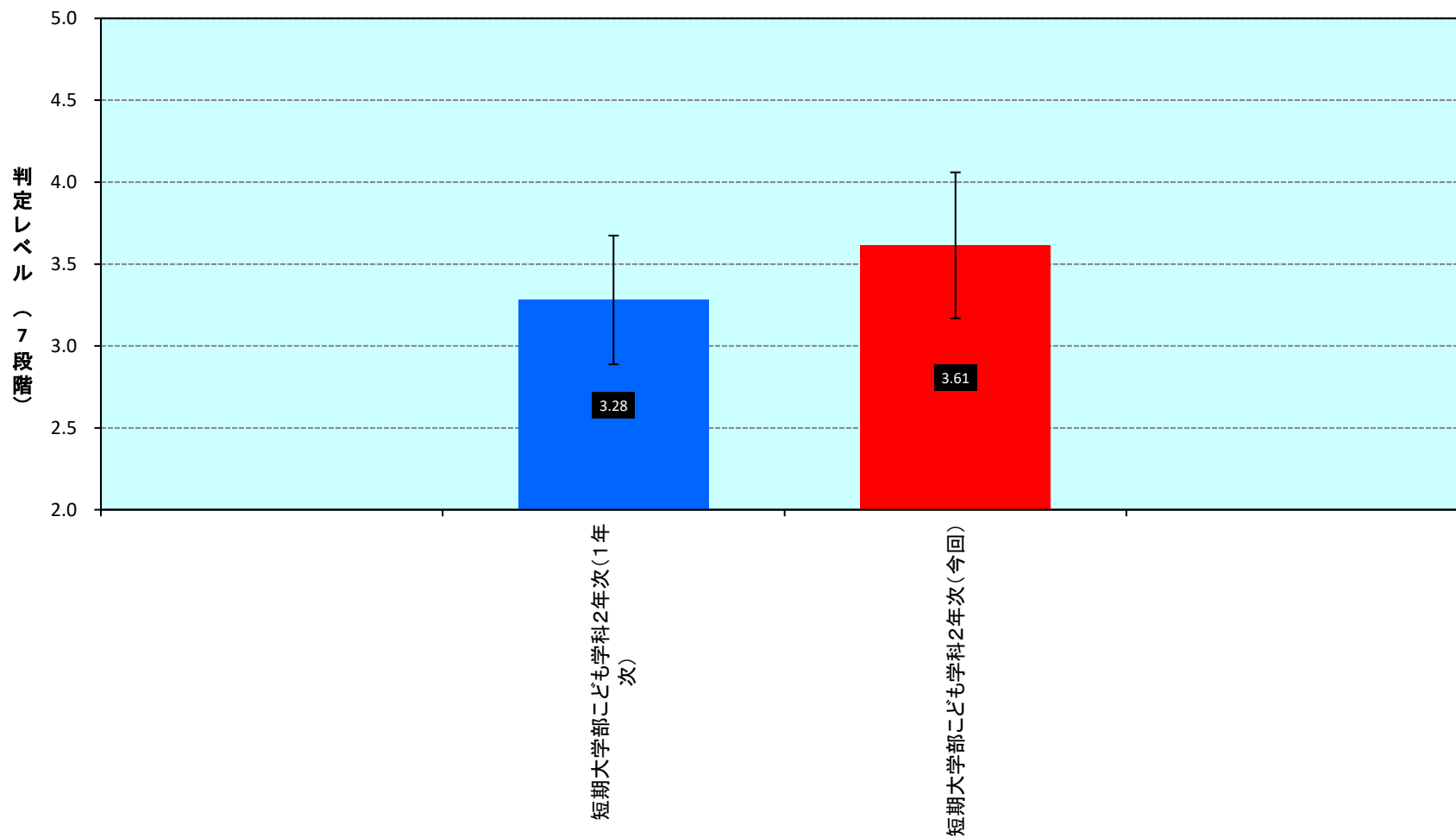
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.11-1
成長分析
短期大学部こども学科2年次

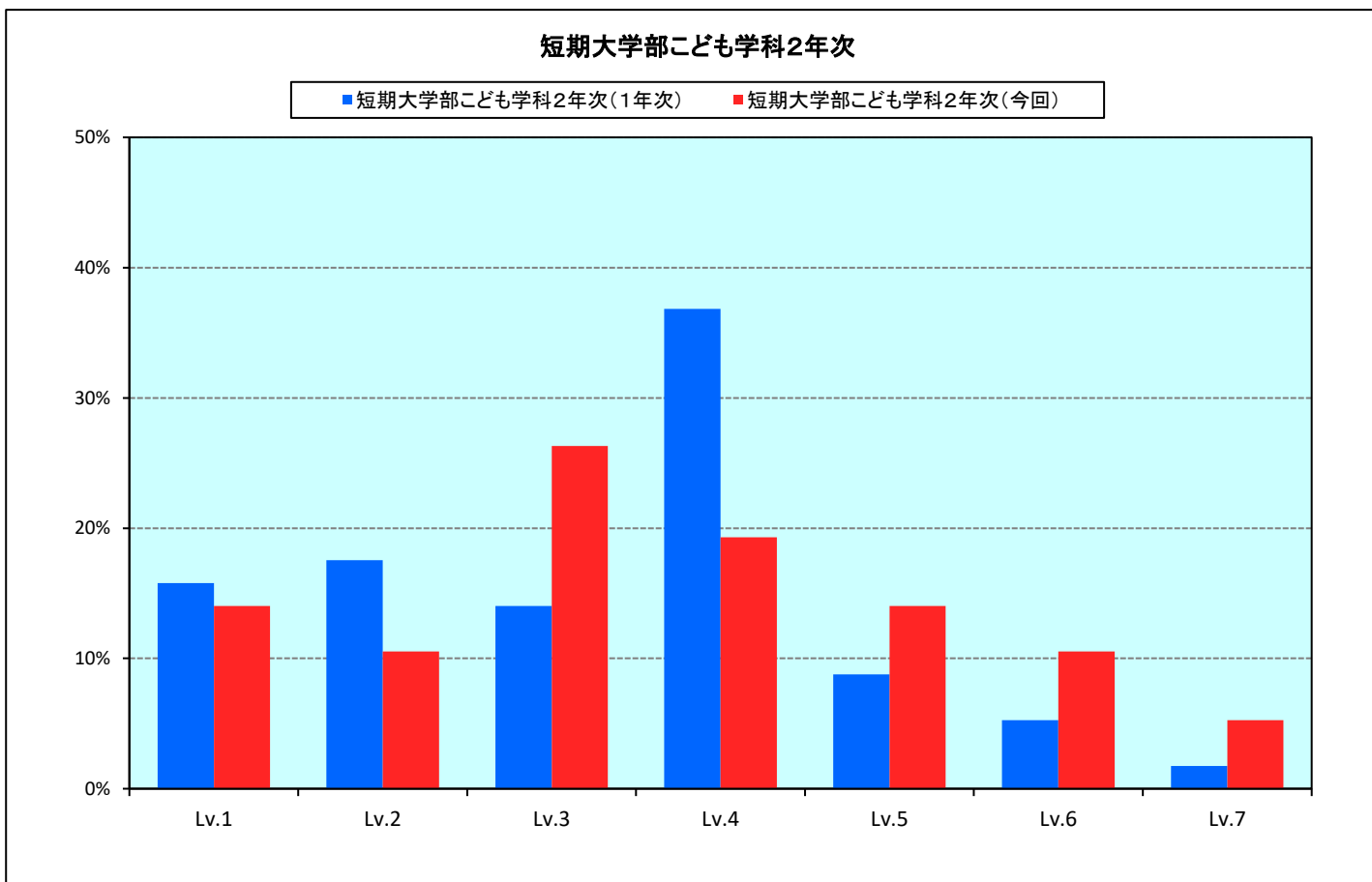
学部 学科	1年次 2024年6月 受験	2年次(今回) 2025年8月 受験	集計対象者 (1年次・2年次 いずれも受験)
短期大学部 こども学科	62	59	57

- 短期大学部こども学科2年次は、1年次受験のスコアを上回る。

リテラシー総合



●短期大学部こども学科2年次は、1年次受験に比べて、レベル2、レベル4の割合が小さく、レベル3、レベル5～7のボリュームが大きい。

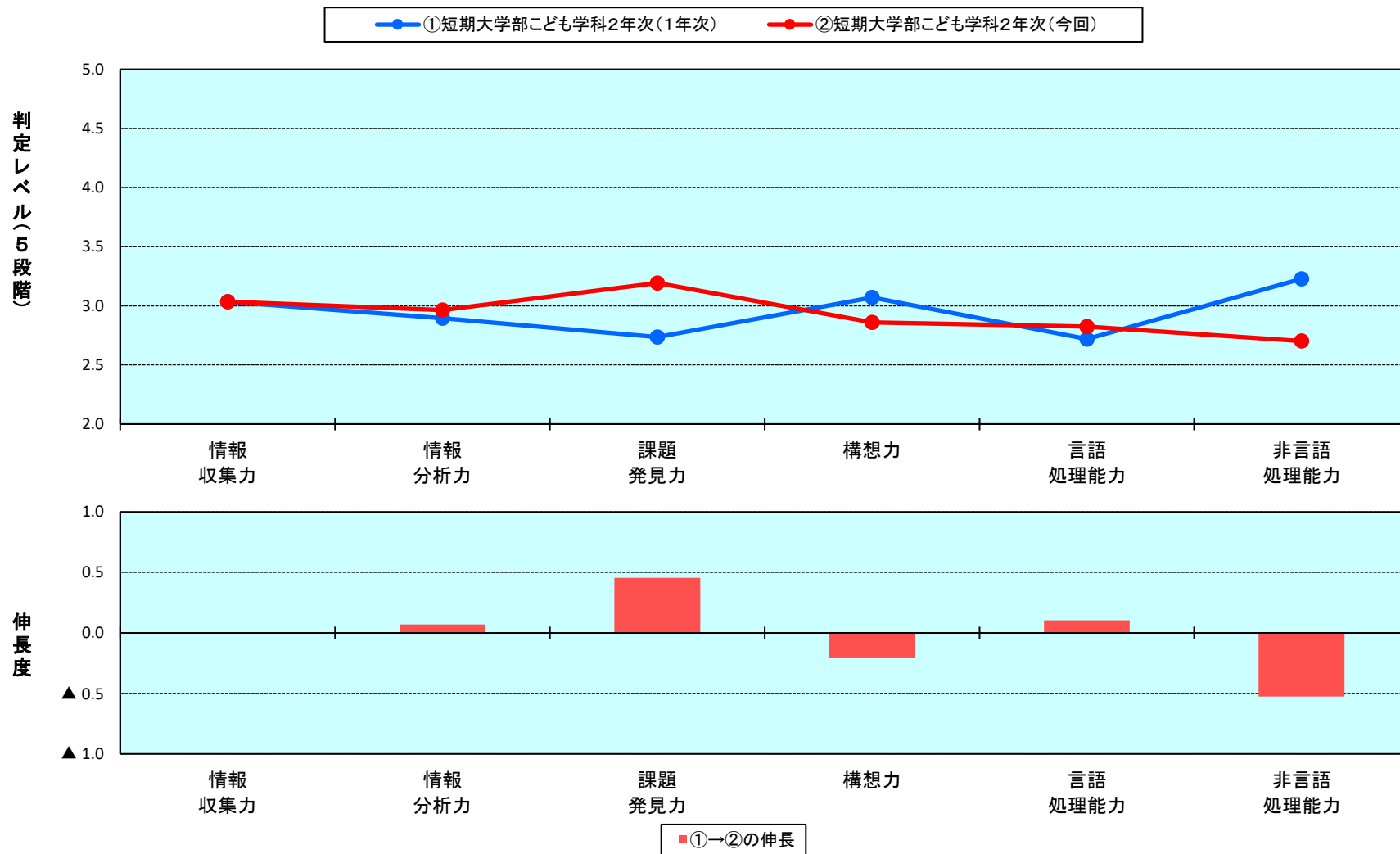


リテラシー要素（成長分析）

【短期大学部こども学科2年次】

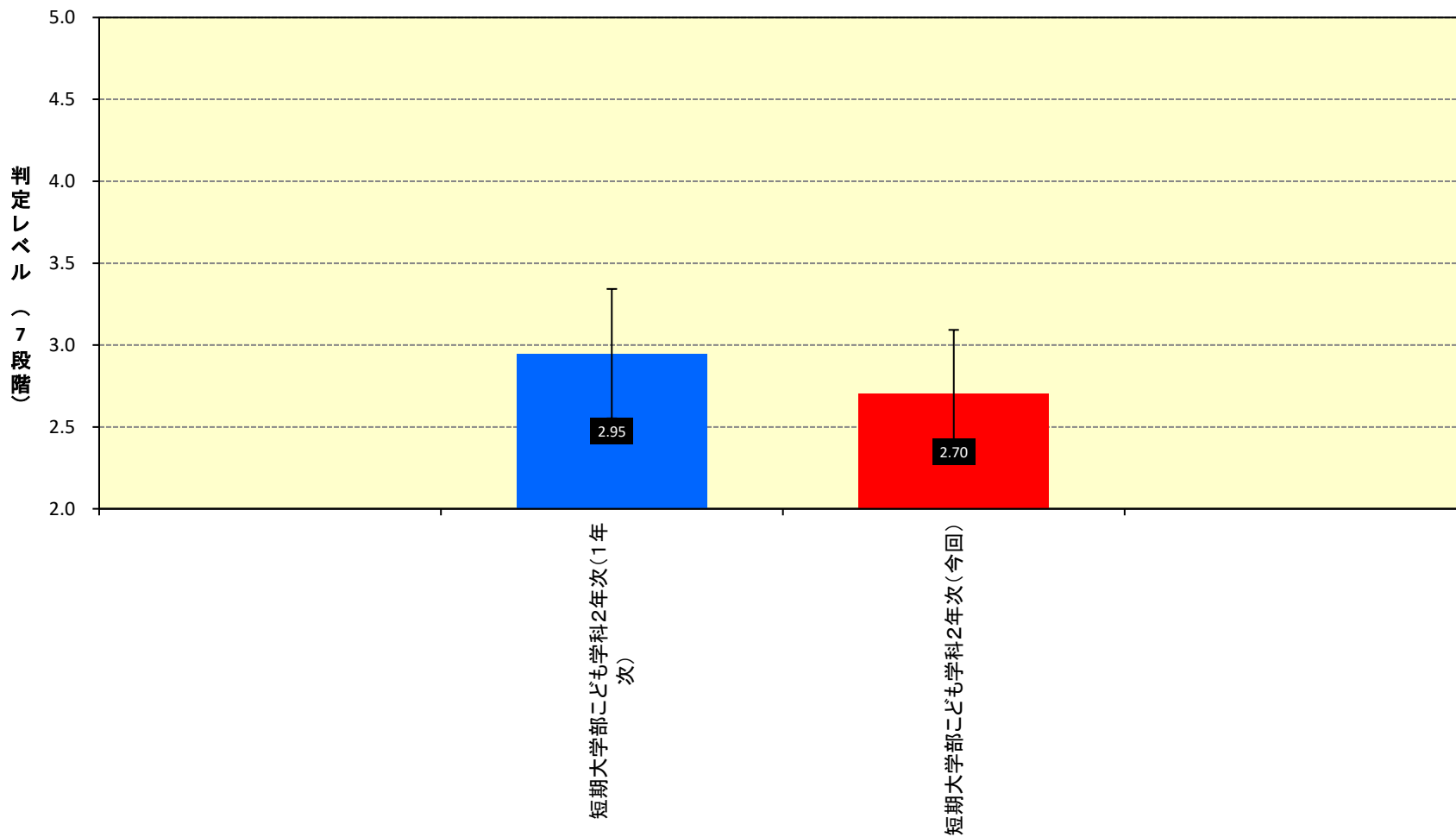
情報分析力、課題発見力、言語処理能力は、1年次受験のスコアを上回る。
一方、構想力、非言語処理能力は、1年次受験のスコアを下回る。

リテラシー要素の伸長

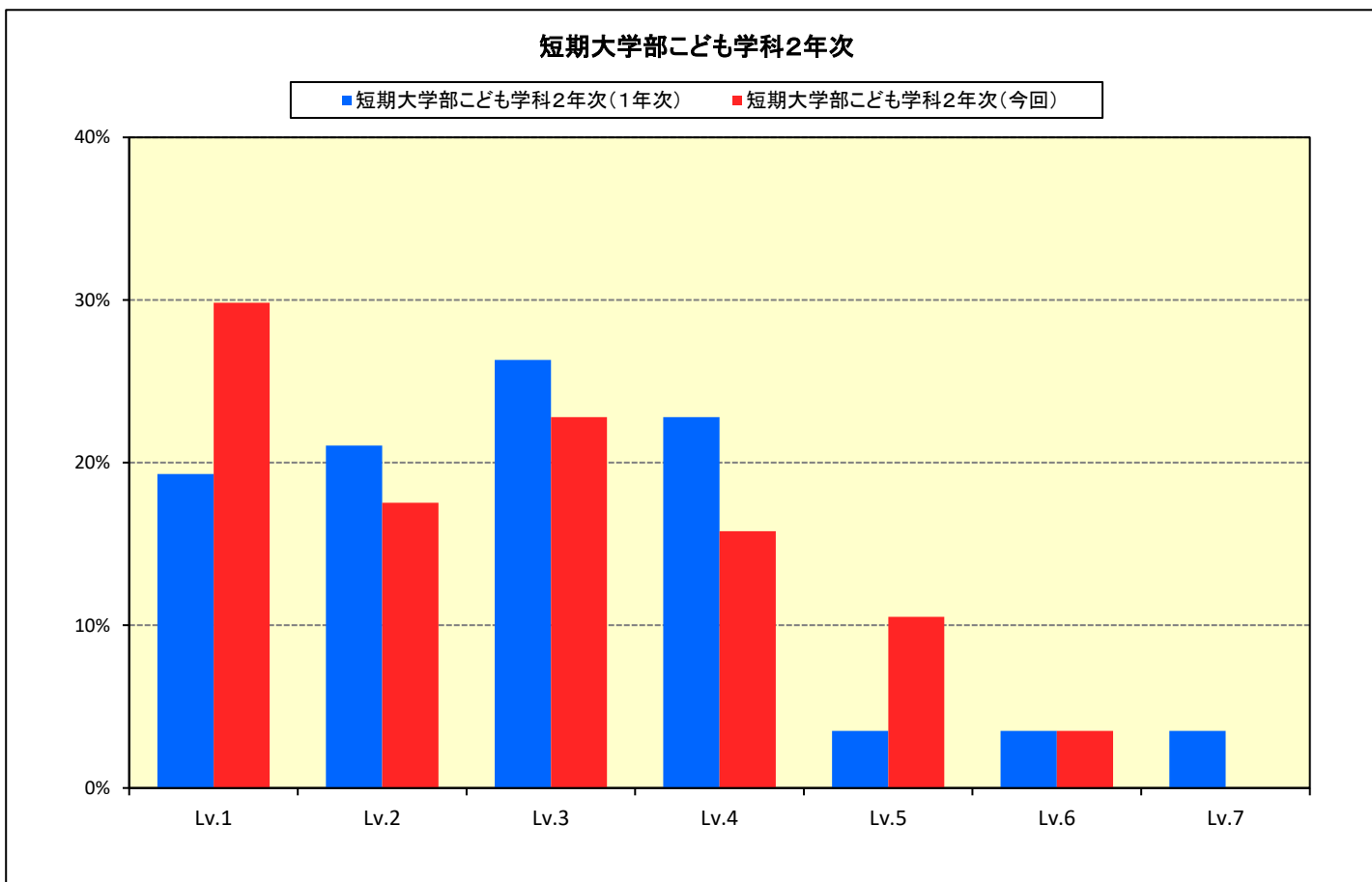


●短期大学部こども学科2年次は、1年次受験のスコアを下回る。

コンピテンシー総合



●短期大学部こども学科2年次は、1年次受験に比べて、レベル2～4、レベル7のボリュームが小さく、レベル1、レベル5の割合が大きい。



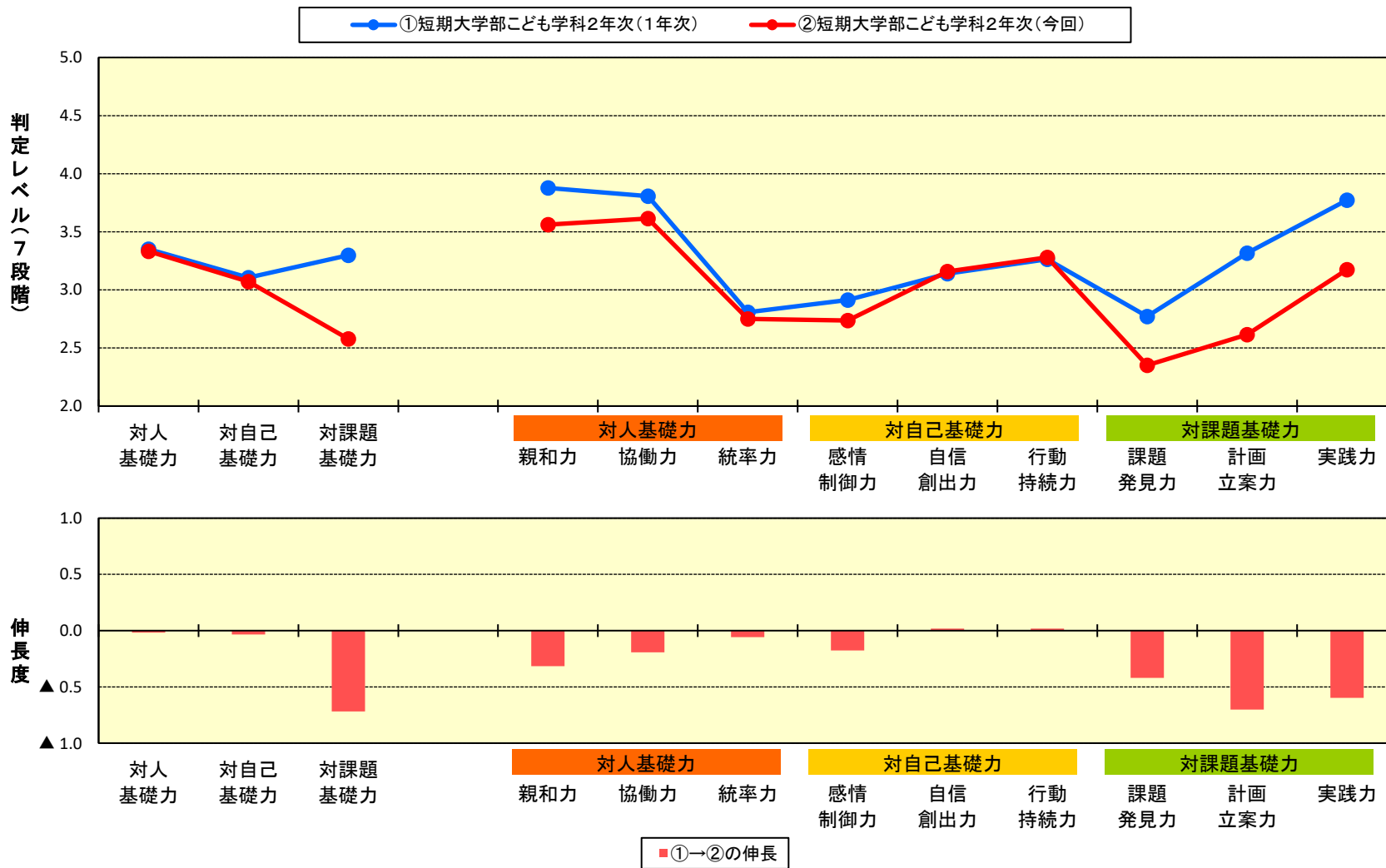
コンピテンシー大分類要素（成長分析）

【短期大学部こども学科2年次】

自信創出力、行動持続力は、1年次受験のスコアを上回る。

一方、親和力、協働力、統率力、感情制御力、課題発見力、計画立案力、実践力は、1年次受験のスコアを下回る。

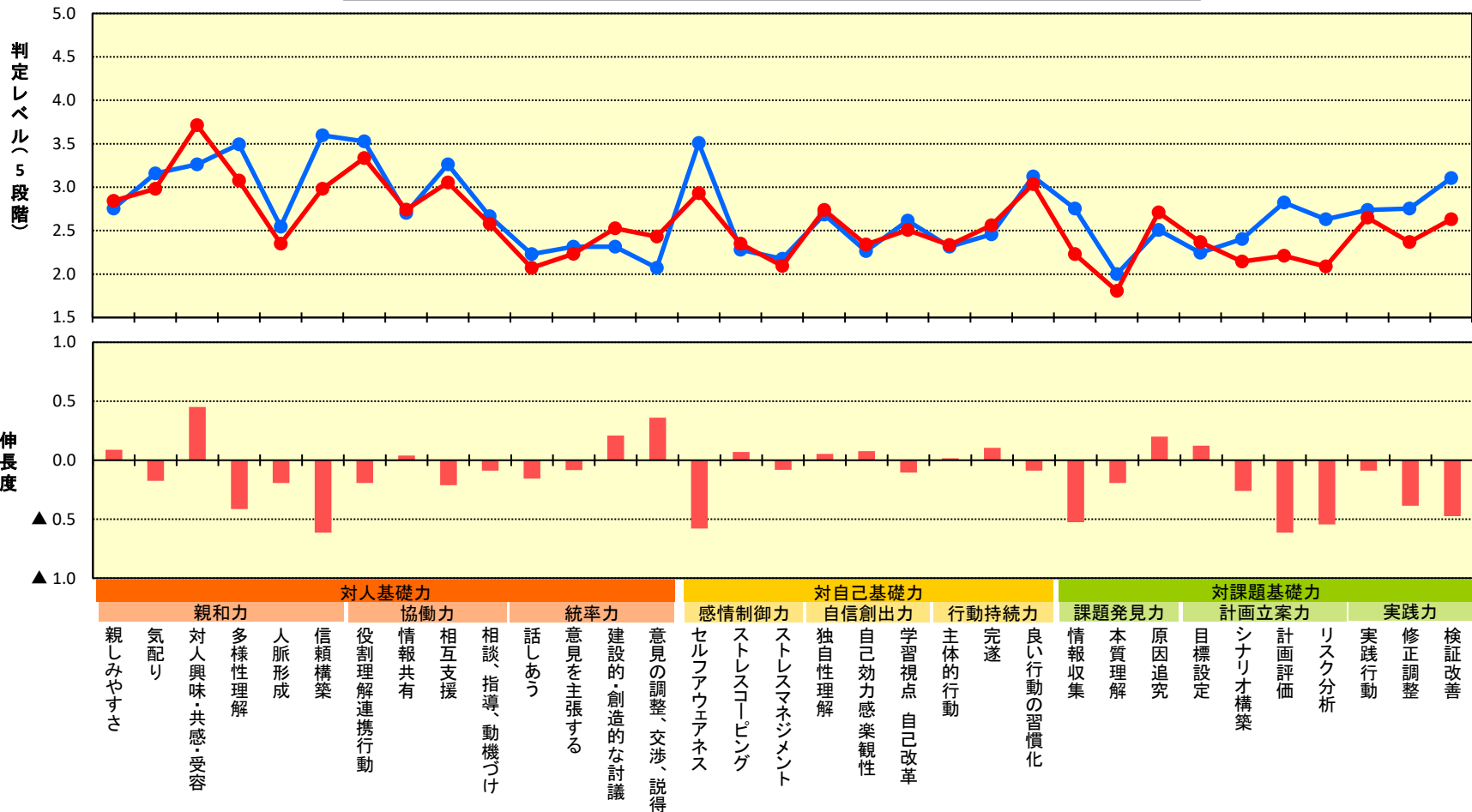
コンピテンシー要素の伸長



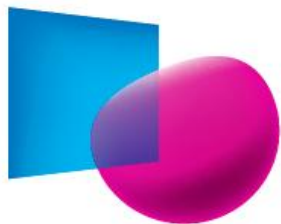
【短期大学部こども学科2年次】

コンピテンシー小分類要素

●①短期大学部こども学科2年次(1年次) ●②短期大学部こども学科2年次(今回)



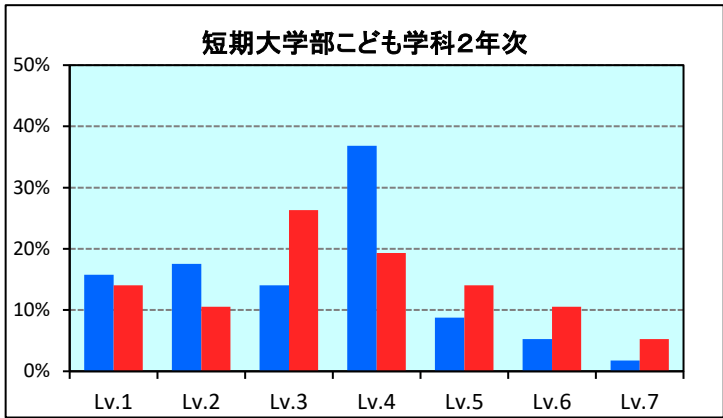
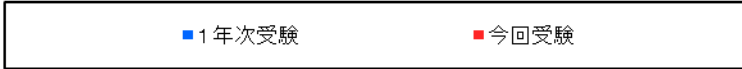
■①→②の伸長



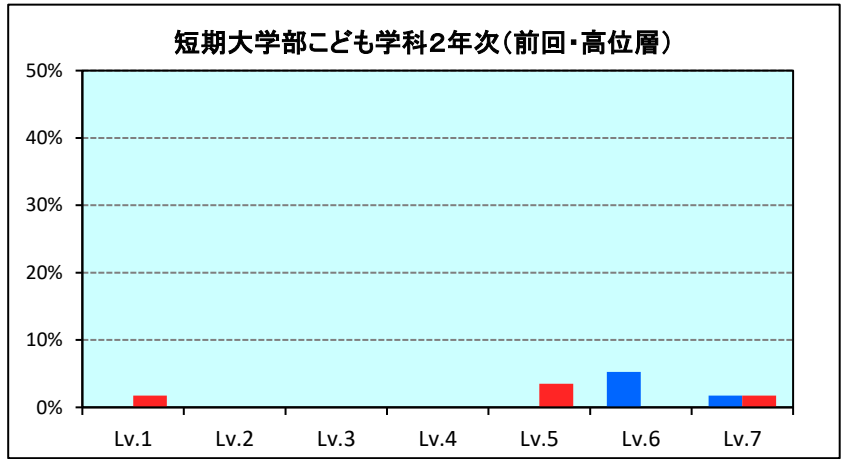
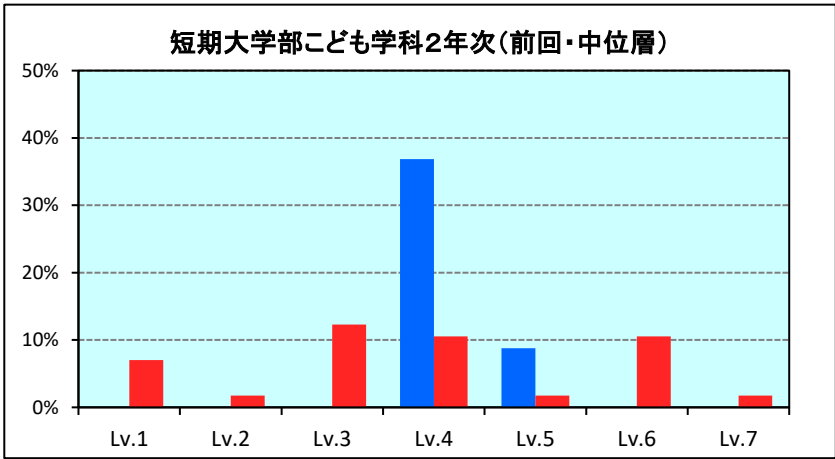
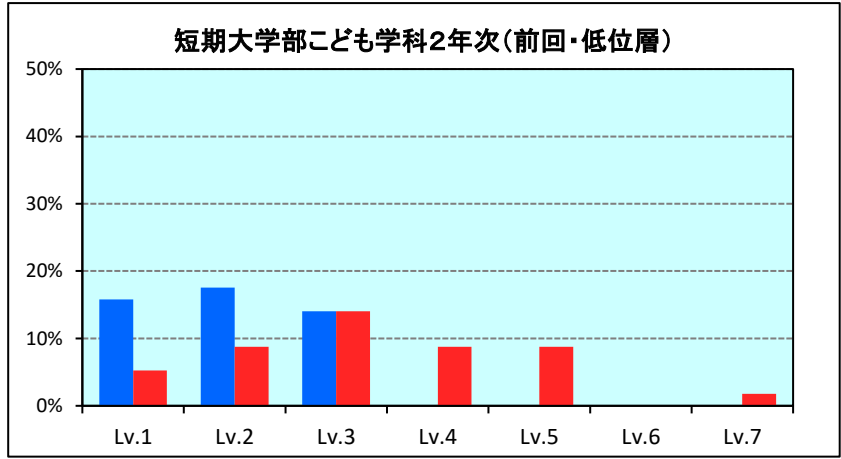
PROG

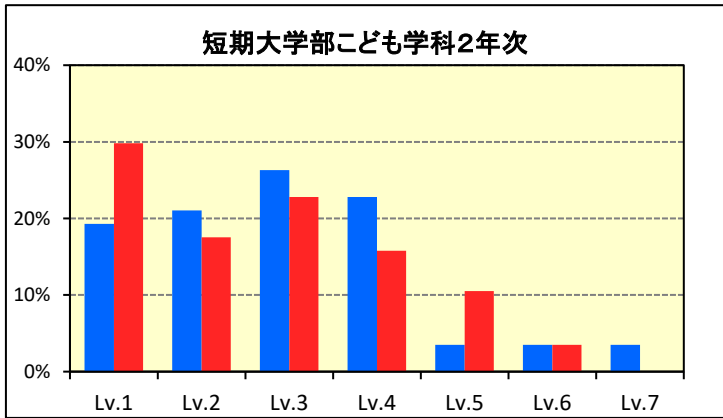
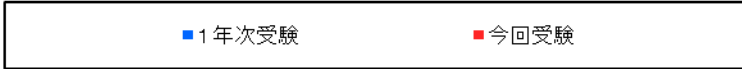
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.11-2
成長分析
短期大学部こども学科2年次
(高中低位分析)

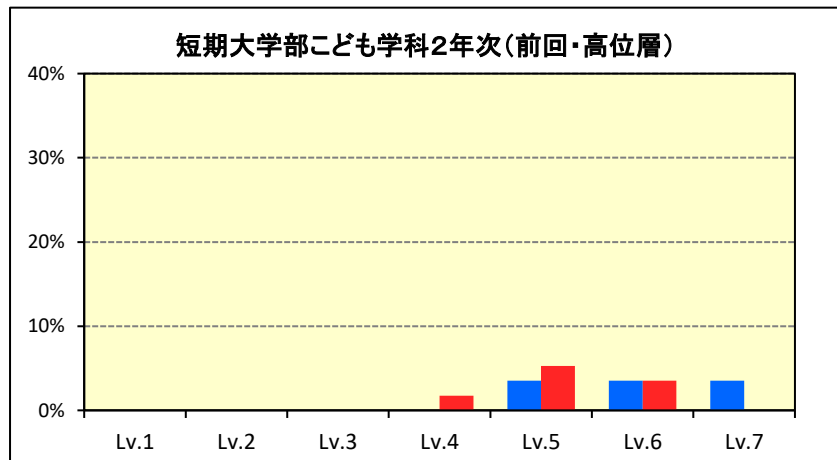
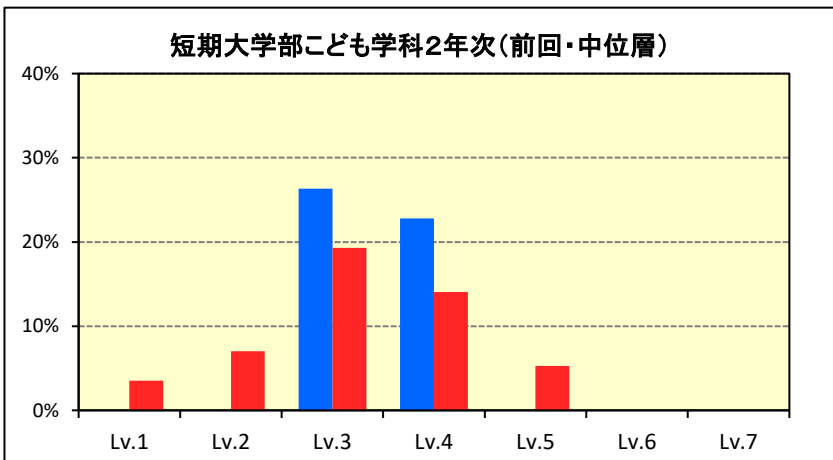
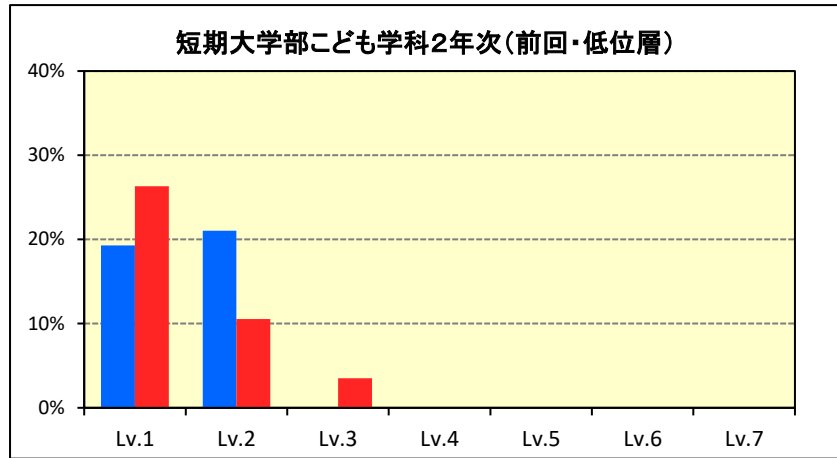


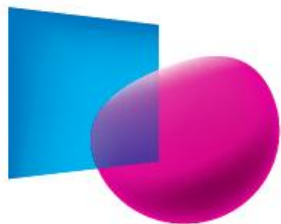
1年次受験に比べて、レベル2、レベル4の割合が小さく、レベル3、レベル5～7のボリュームが大きい。





1年次受験に比べて、レベル2～4、レベル7のボリュームが小さく、レベル1、レベル5の割合が大きい。

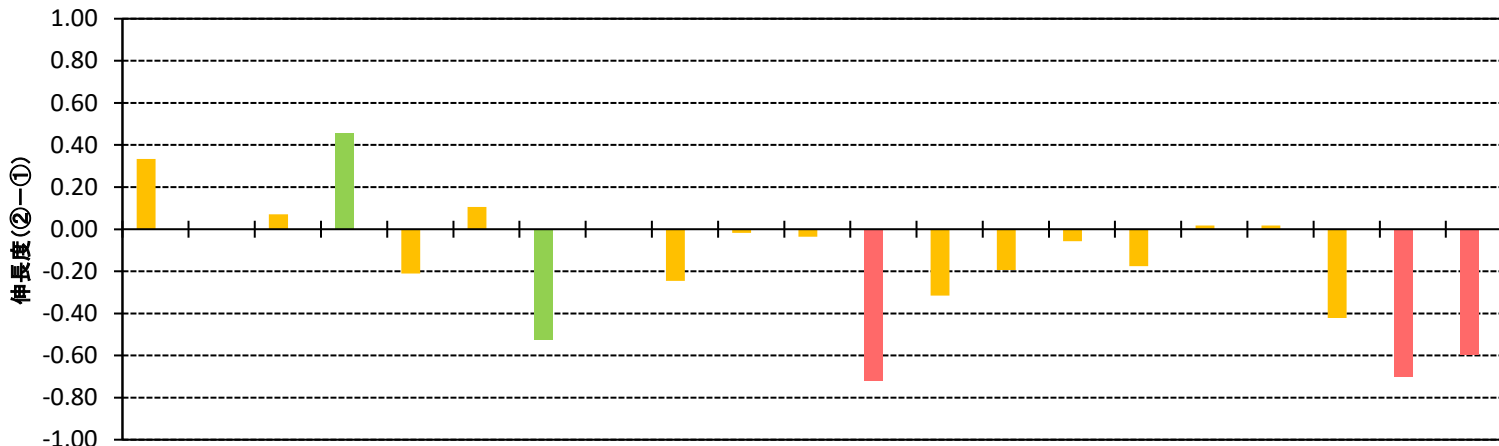




PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

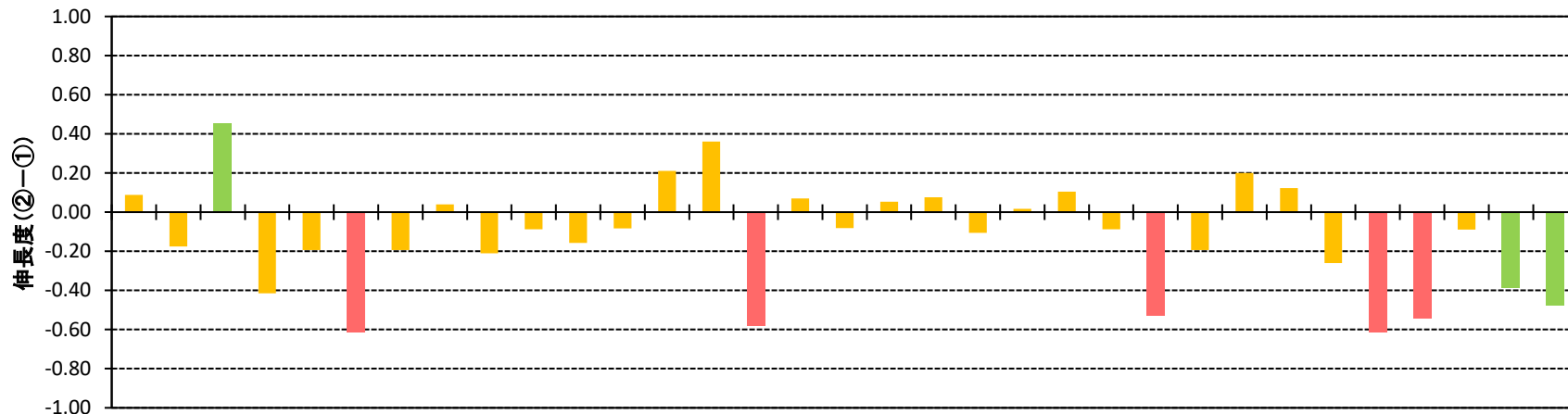
Part.11-3
成長分析
短期大学部こども学科2年次
(T検定)



■ ...1%有意
■ ...5%有意

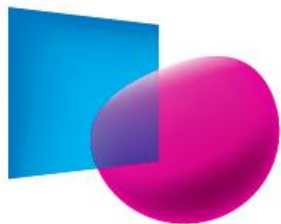
	リテラシー						
	リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力
①短期大学部こども学科2年次(1年次)	3.28	3.04	2.89	2.74	3.07	2.72	3.23
②短期大学部こども学科2年次(今回)	3.61	3.04	2.96	3.19	2.86	2.82	2.70
伸長度(②-①)	0.33	0.00	0.07	0.46	-0.21	0.11	-0.53
t検定(P値)	0.20	1.00	0.74	0.01	0.26	0.53	0.01

	コンピテンシー												
	コンピテンシー 総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
①短期大学部こども学科2年次(1年次)	2.95	3.35	3.11	3.30	3.88	3.81	2.81	2.91	3.14	3.26	2.77	3.32	3.77
②短期大学部こども学科2年次(今回)	2.70	3.33	3.07	2.58	3.56	3.61	2.75	2.74	3.16	3.28	2.35	2.61	3.18
伸長度(②-①)	-0.25	-0.02	-0.04	-0.72	-0.32	-0.19	-0.06	-0.18	0.02	0.02	-0.42	-0.70	-0.60
t検定(P値)	0.05	0.91	0.80	0.00	0.07	0.26	0.79	0.25	0.92	0.93	0.07	0.00	0.01



■ ...1%有意
■ ...5%有意

①短期大学部こども学科 2年次(1年次)	2.75	3.16	3.26	3.49	2.54	3.60	3.53	2.70	3.26	2.67	2.23	2.32	2.32	2.07	3.51	2.28	2.18	2.68	2.26	2.61	2.32	2.46	3.12	2.75	2.00	2.51	2.25	2.40	2.82	2.63	2.74	2.75	3.11
②短期大学部こども学科 2年次(今回)	2.84	2.98	3.71	3.08	2.35	2.98	3.33	2.74	3.05	2.58	2.07	2.23	2.53	2.43	2.93	2.35	2.09	2.74	2.34	2.51	2.33	2.56	3.04	2.23	1.81	2.71	2.37	2.14	2.21	2.09	2.65	2.37	2.63
伸び度(②-①)	0.09	-0.18	0.45	-0.41	-0.19	-0.61	-0.19	0.04	-0.21	-0.09	-0.16	-0.08	0.21	0.36	-0.58	0.07	-0.08	0.05	0.08	-0.11	0.02	0.11	-0.09	-0.53	-0.19	0.20	0.12	-0.26	-0.61	-0.54	-0.09	-0.39	-0.47
t検定(P値)	0.63	0.29	0.02	0.07	0.21	0.01	0.31	1.00	0.20	0.55	0.36	0.68	0.15	0.19	0.01	0.71	0.34	0.79	0.67	0.61	0.91	0.65	0.69	0.01	0.28	0.21	0.47	0.11	0.01	0.01	0.85	0.05	0.05



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.12-1 ループリック 1年生

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5
情報収集力	課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力	<ul style="list-style-type: none"> 情報源の特性を知る <ol style="list-style-type: none"> さまざまな情報源 インターネットで検索する 図書館で調べる 情報を整理・保存する <ol style="list-style-type: none"> ノートテイキング（講義を聴く） 情報をファイリングする アンケートとインタビュー <ol style="list-style-type: none"> アンケートを実施する インタビューを行う 	簡単な情報収集の仕方について、理解している					
	生涯スポーツ学部 1 年次全体	2.9						
	スポーツ教育学科 1 年次	2.8						
	健康福祉学科 1 年次	3.2						
	教育文化学部 1 年次全体	3.5						
	教育学科 1 年次	3.6						
	芸術学科 1 年次	3.5						
	心理カウンセリング学科 1 年次	3.3						
	私立大学 1 年（入試難易度（偏差値）40未満）	3.1						
	私立大学 1 年	3.3						

情報分析力	事実・情報を思い込みや臆測ではなく、客観的かつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造を捉え、本質を見極める力	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフを読み取る <ol style="list-style-type: none"> 図表・グラフの種類と特性 グラフの「読み取り」「分析」のポイント 複数のグラフや表を総合して読み取る 文献・資料を読む <ol style="list-style-type: none"> 論理的なテキストの特性 論理的なテキストの読解 見出しをつける 全体像を捉える 批判的・多角的に分析する <ol style="list-style-type: none"> 批判的読解とは 批判的読解の具体的あり方 	簡単な図表や文章を読み取ることができる	図表や文章から、客観的な事実や因果関係を読み取ることができる	図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる	情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとらえることができる	複雑な文脈の中で、情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとらえることができる	
	生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.1						
	スポーツ教育学科 1 年次	3.1						
	健康福祉学科 1 年次	2.8						
	教育文化学部 1 年次全体	3.0						
	教育学科 1 年次	3.2						
	芸術学科 1 年次	2.8						
	心理カウンセリング学科 1 年次	2.9						
	私立大学 1 年（入試難易度（偏差値）40未満）	3.1						
	私立大学 1 年	3.2						



リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5
課題発見力	さまざまな角度、広い視野から現象や事実を捉え、それらの背後に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から問題点を洗い出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 拡散思考について 2) ブレインストーミングで発想を広げる 3) フレームワークで考える ・問題点を整理・分析する <ol style="list-style-type: none"> 1) 収束思考について 2) 収束思考に必要な観点 3) マップ化による整理 ・発見された問題の中から、解決すべき課題を設定する <ol style="list-style-type: none"> 1) 問題点から課題への絞り込み 2) 課題への絞り込みに必要な観点 		簡単な問題において、解決すべき課題を選択することができる	複数の情報を整理し、解決すべき課題を設定することができる	いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる	複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる	複雑な文脈の中で、複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる
		生涯スポーツ学部 1 年次全体	2.7					
		スポーツ教育学科 1 年次	2.7					
		健康福祉学科 1 年次	2.7					
		教育文化学部 1 年次全体	3.1					
		教育学科 1 年次	3.2					
		芸術学科 1 年次	3.0					
		心理カウンセリング学科 1 年次	2.9					
		私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.8					
		私立大学 1 年	3.0					

構想力	さまざまな条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクやその対処方法を構想する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から解決策を考える ・現実味のある解決策を考える ・計画を立てる <ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な作業をものなく洗い出す 2) 具体的な行動計画を考える 		簡単な問題において、解決策を選択することができる	問題解決のプロセスに即して、解決策を構想することができる	いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる	制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる	複雑な文脈の中で、制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる
		生涯スポーツ学部 1 年次全体	2.6					
		スポーツ教育学科 1 年次	2.6					
		健康福祉学科 1 年次	2.3					
		教育文化学部 1 年次全体	3.2					
		教育学科 1 年次	3.1					
		芸術学科 1 年次	3.1					
		心理カウンセリング学科 1 年次	3.4					
		私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.9					
		私立大学 1 年	3.0					



ルーブリック コンピテンシー領域 対人基礎力

Generic Skills

コンピテンシー (対人)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7	
親和力	他者との豊かな関係を築く	人に対して、興味をもって相手の話を聞き、相手の立場や気持ちを思いやり、共感し受けとめる、また多様な価値観を受け入れる。さらに、そうした関わりから、相手と信頼関係を築いたり、人脈を広げていく力		・親しくない人には無愛想になりがち ・興味をもって相手の話をきいたり相手の立場を考えた言動をとることが苦手	・人に対して笑顔で接することができる ・相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係に配慮した言動を心がけている	・相手に対して自然な気配りができる ・自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる	・親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける ・人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる	・個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる ・必要に応じて自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げる行動をとることができる	・相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする ・誰に対しても臆せず話し人脈を広げていくことができる	・築いた人脈や関係性の維持に努めることができる ・人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持・運営することができる	
		生涯スポーツ学部 1 年次全体	4.0								
		スポーツ教育学科 1 年次	4.0								
		健康福祉学科 1 年次	4.1								
		教育文化学部 1 年次全体	4.1								
		教育学科 1 年次	4.4								
		芸術学科 1 年次	3.7								
		心理カウンセリング学科 1 年次	3.7								
		私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.8								
私立大学 1 年	3.8										

協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める	周囲や集団において、自分の役割を理解した上で互いに連携・協力、助け合ったり、情報を共有して一緒に物事を進めていく。さらに、他者の相談に乗るなど働きかけ、動機づける力		・他の人と一緒に物事に取り組むのが苦手 ・周囲の人が困っている状況に気づかないことが多い	・集団の中で、割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組む ・周囲に気を配り、困っている人には手を貸そうとする	・チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる	・人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる ・雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる	・誰かを支援する時には全力でサポートする ・周囲との協力や働きかけを通じて、チームの成果に貢献することができる	・リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる ・チーム全体のやる気を高めることができる	・リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる ・相互支援や情報を共有しあう環境をつくることことができる
		生涯スポーツ学部 1 年次全体	4.0							
		スポーツ教育学科 1 年次	4.0							
		健康福祉学科 1 年次	3.8							
		教育文化学部 1 年次全体	3.9							
		教育学科 1 年次	4.2							
		芸術学科 1 年次	3.6							
		心理カウンセリング学科 1 年次	3.3							
		私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.6							
私立大学 1 年	3.6									

統率力	場をよみ、組織を動かす	集団の中で、自分の意見を主張すると同時に、議論の活発化や発展のために集団に働きかける。また、必要に応じて、意見の調整、交渉、説得し、集団を合意に導く力		・話し合いの場では議論に消極的なことが多い ・発言の際、考えが整理しきれず相手に言いたいことが伝わらないことが多い	・自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる ・話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるることができる	・自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる ・意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを話す	・相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる ・相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる	・周囲の反対にあっても孤立しても、正しいと思うことは粘り強く主張できる ・建設的、かつ創造的な議論を意識した発言ができる	・全員に発言を促し、整理や方向づけによって議論を発展させていくことができる ・リーダーとして、チームの結論を導くことができる	・意見が対立する中でも、建設的に議論を導くことができる ・聴衆を引き込み納得させるようなプレゼンテーションをすることができる
		生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.8							
		スポーツ教育学科 1 年次	3.8							
		健康福祉学科 1 年次	3.9							
		教育文化学部 1 年次全体	3.1							
		教育学科 1 年次	3.3							
		芸術学科 1 年次	3.5							
		心理カウンセリング学科 1 年次	2.7							
		私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.1							
私立大学 1 年	3.1									



ルーブリック コンピテンシー領域 対自己基礎力



Generic Skills

コンピテンシー (対自己)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7										
感情制御力	気持ちの揺れを制御する	自分の感情や気持ちを認識して客観的に言動をコントロールしたり、ストレスをうまく処理することができる。また、プレッシャーを感じる場面でも、感情をコントロールして力を発揮する力		・自分の感情をコントロールするのが苦手 ・些細なことでも、動揺したり落ち込んだりして、なかなか立ち直れないことが多い	・人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする	・感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる ・やらなければならないことがたくさんあるような状況でも、こなしていくことができる	・ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる ・難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる	・自分がストレスを感じやすい場面を知っており、対処法を考えておくことができる ・失敗に向き合い原因を徹底的に考えることができる	・心を落ち着かせる、自分なりの方法をもっている ・緊張やプレッシャーを感じる場面でも、落ち着いて、かつ集中して取り組むことができる	・ストレスの原因に自ら働きかけ、解消することができる ・必要に応じて自分の感情を率直に伝えることで、相手との信頼関係を築くことができる										
											生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.9								
											スポーツ教育学科 1 年次	3.9								
											健康福祉学科 1 年次	3.8								
											教育文化学部 1 年次全体	3.0								
											教育学科 1 年次	3.3								
											芸術学科 1 年次	2.8								
											心理カウンセリング学科 1 年次	2.7								
											私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.2								
											私立大学 1 年	3.2								

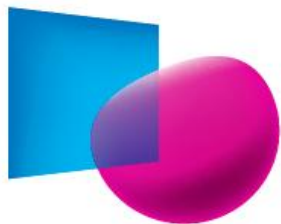
自信創出力	前向きな考え方ややる気を維持する	自己の強み弱みを認識した上で、自分に自信をもって物事に取り組むことができる。また、常に学ぶ姿勢をもち、経験の機会をうまくとらえて挑戦していく力	・自分の強みがわからず、自信をもって行動できない ・初めてのことや難しいことには、なかなか挑戦する気になれない	・自分では強みがわからないが、人からほめられることで自信をもつことができる ・仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる	・自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる ・機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる	・自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる ・初めてのことで、臆せず取り組むことができる	・難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても何かを学ぼうとする ・好きではない仕事でも、自分なりに工夫して取り組む	・自分ならではの強みや持ち味を活かす機会を見逃さない ・常に良い結果をイメージして、自信をもって取り組むことができる	・どんな仕事や課題でも主体性と好奇心をもって取り組むことができる ・成長の機会を自ら創り出していくことができる									
										生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.7							
										スポーツ教育学科 1 年次	3.8							
										健康福祉学科 1 年次	3.2							
										教育文化学部 1 年次全体	3.1							
										教育学科 1 年次	3.4							
										芸術学科 1 年次	3.0							
										心理カウンセリング学科 1 年次	2.9							
										私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.2							
										私立大学 1 年	3.2							

行動持続力	主体的に動き、良い行動を習慣づける	主体的に行動し、物事には最後まで粘り強く取り組むことができる。また、良い行動を習慣化する力	・人からの指示を待つて行動することが多い ・何かに取り組んでも、最後までやり切れないことが多い	・良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みるような心がけている	・任されたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動するようにしている ・常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている	・何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す ・取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている	・すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる ・周囲からの期待以上のことを主体的に行う	・目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げる ・行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い行動に結びつけることができる	・課題には期限ぎりぎりまで、自分が納得できる結果が出るまで粘り強く取り組む ・検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している								
										生涯スポーツ学部 1 年次全体	4.0						
										スポーツ教育学科 1 年次	4.0						
										健康福祉学科 1 年次	4.0						
										教育文化学部 1 年次全体	3.5						
										教育学科 1 年次	3.6						
										芸術学科 1 年次	3.8						
										心理カウンセリング学科 1 年次	2.9						
										私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.4						
										私立大学 1 年	3.4						



ルーブリック コンピテンシー領域 対課題基礎力

コンピテンシー (対課題)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7										
課題 発見力	課題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う	適切な方法で情報を収集し、事実に基づいて客観的に分析、本質的な問題を見極める。さらに、様々な角度から課題を分析し、原因を明らかにする力		・課題に対しての情報収集が、適切な方法でない場合が多い ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・課題に対し、自分なりに情報を集めることができる ・集めた情報を、客観的に整理しようと努める	・興味のある特定の分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理、分析することができる ・分析を基に、自分なりに因果関係の仮説を立てられる	・課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる ・定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる	・課題に応じて、定性的な情報や、定量的なデータを収集し、適切に整理、分析できる ・より現実的な視点で、複数の因果関係の仮説を立てられる	・事実が複雑に絡み合っている問題でもデータを客観的に整理、分析できる ・因果関係を整理し課題解決につなげることができる	・関心分野については、常日頃から情報収集している ・合理的な判断だけでは難しい問題に対して、関係者の心情を汲んで結論を出すことができる										
											生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.5								
											スポーツ教育学科 1 年次	3.5								
											健康福祉学科 1 年次	3.5								
											教育文化学部 1 年次全体	3.3								
											教育学科 1 年次	3.5								
											芸術学科 1 年次	3.3								
											心理カウンセリング学科 1 年次	3.0								
											私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3								
											私立大学 1 年	3.4								
計画 立案力	課題解決のための適切な計画を立てる	明確な目標を立て、その実現に向けて効果的な計画を立てる。また、立てた計画に対して目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てたり、どんな問題が起ころ得るかのリスクを想定して事前に対策を講じる力		・自分で目標や計画を立てずに課題に取り組む ・立案した計画や目標が現実的でないなど適切でないことが多い	・課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる ・立案した計画や目標に、自分なりに取り組むことができる	・条件が明確な課題であれば目標や発生しそうな問題を予め考えることができる ・予測をふまえた具体的な計画を立て取り組むことができる	・経験のあることならば不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる ・事前にリスクを検討、想定し、手を打つことができる	・長期的な目標と同時に、途中段階の具体的な目標も設定し、実現性を高めることができる ・チームでの取り組みの際、メンバーの負担を適切に行う	・自身やチームにとって挑戦的な目標を設定し挑む ・制約条件や資源を考慮した計画を立て、状況に応じて柔軟に修正することができる										
											生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.7								
											スポーツ教育学科 1 年次	3.7								
											健康福祉学科 1 年次	3.8								
											教育文化学部 1 年次全体	3.3								
											教育学科 1 年次	3.3								
											芸術学科 1 年次	3.4								
											心理カウンセリング学科 1 年次	3.1								
											私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3								
											私立大学 1 年	3.3								
実践 力	実践行動をとる	計画をすすんで実行し、状況に応じて柔軟に行動を修正する。また、行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつける力		・やるべきことでも、なかなか実行に移せない・実行はできても当初のやりかたで進めがちで、のちに振り返ることも少ない	・やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる	・制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる ・終了後には、成功が失敗かを振り返る	・計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる ・うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てることができる	・チームの他の人の様子に気を配りながら、物事を進めることができる ・進捗状況を確認しつつ、自ら率先して行動することができる	・計画の実行中、全体の状況に気を配ることができる ・先行きを予見し必要に応じて、早めに全体の動きを修正することができる	・チームでより良い成果を挙げるため、即行動できる ・活動の振り返りを次に活かして、チームの成果を高めることができる										
											生涯スポーツ学部 1 年次全体	3.8								
											スポーツ教育学科 1 年次	3.8								
											健康福祉学科 1 年次	3.5								
											教育文化学部 1 年次全体	3.6								
											教育学科 1 年次	3.7								
											芸術学科 1 年次	3.6								
											心理カウンセリング学科 1 年次	3.3								
											私立大学 1 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.5								
											私立大学 1 年	3.5								



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.12-2 ループリック 3年生

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5
情報収集力	課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力	<ul style="list-style-type: none"> ・情報源の特性を知る <ol style="list-style-type: none"> 1) さまざまな情報源 2) インターネットで検索する 3) 図書館で調べる ・情報を整理・保存する <ol style="list-style-type: none"> 1) ノートテイキング（講義を聴く） 2) 情報をファイリングする ・アンケートとインタビュー <ol style="list-style-type: none"> 1) アンケートを実施する 2) インタビューを行う 	簡単な情報収集の仕方について、理解している					
	生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.0						
	スポーツ教育学科 3 年次	3.0						
	健康福祉学科 3 年次	3.2						
	教育文化学部 3 年次全体	3.5						
	教育学科 3 年次	3.5						
	芸術学科 3 年次	3.8						
	心理カウンセリング学科 3 年次	3.3						
	私立大学 3 年（入試難易度（偏差値）40未満）	3.3						
私立大学 3 年	3.4							

情報分析力	事実・情報を思い込みや臆測ではなく、客観的かつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造を捉え、本質を見極める力	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを読み取る <ol style="list-style-type: none"> 1) 図表・グラフの種類と特性 2) グラフの「読み取り」「分析」のポイント 3) 複数のグラフや表を総合して読み取る ・文献・資料を読む <ol style="list-style-type: none"> 1) 論理的なテキストの特性 2) 論理的なテキストの読解 3) 見出しをつける 4) 全体像を捉える ・批判的・多角的に分析する <ol style="list-style-type: none"> 1) 批判的読解とは 2) 批判的読解の具体的あり方 	簡単な図表や文章を読み取ることができる	図表や文章から、客観的な事実や因果関係を読み取ることができる	図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる	情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとらえることができる	複雑な文脈の中で、情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとらえることができる
	生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.1					
	スポーツ教育学科 3 年次	3.1					
	健康福祉学科 3 年次	3.1					
	教育文化学部 3 年次全体	3.3					
	教育学科 3 年次	3.4					
	芸術学科 3 年次	3.1					
	心理カウンセリング学科 3 年次	3.2					
	私立大学 3 年（入試難易度（偏差値）40未満）	3.2					
私立大学 3 年	3.3						



リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5	
課題発見力	さまざまな角度、広い視野から現象や事実を捉え、それらの背後に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から問題点を洗い出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 拡散思考について 2) ブレインストーミングで発想を広げる 3) フレームワークで考える ・問題点を整理・分析する <ol style="list-style-type: none"> 1) 収束思考について 2) 収束思考に必要な観点 3) マップ化による整理 ・発見された問題の中から、解決すべき課題を設定する <ol style="list-style-type: none"> 1) 問題点から課題への絞り込み 2) 課題への絞り込みに必要な観点 		簡単な問題において、解決すべき課題を選択することができる	複数の情報を整理し、解決すべき課題を設定することができる	いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる	複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる	複雑な文脈の中で、複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる	
		生涯スポーツ学部 3年次全体	2.9						
		スポーツ教育学科 3年次	2.9						
		健康福祉学科 3年次	2.8						
		教育文化学部 3年次全体	3.5						
		教育学科 3年次	3.7						
		芸術学科 3年次	3.2						
		心理カウンセリング学科 3年次	3.4						
		私立大学 3年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.0						
		私立大学 3年	3.1						

構想力	さまざまな条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクやその対処方法を構想する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から解決策を考える ・現実味のある解決策を考える ・計画を立てる <ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な作業をものごとく洗い出す 2) 具体的な行動計画を考える 		簡単な問題において、解決策を選択することができる	問題解決のプロセスに即して、解決策を構想することができる	いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる	制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる	複雑な文脈の中で、制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる	
		生涯スポーツ学部 3年次全体	2.8						
		スポーツ教育学科 3年次	2.8						
		健康福祉学科 3年次	2.8						
		教育文化学部 3年次全体	3.3						
		教育学科 3年次	3.3						
		芸術学科 3年次	3.2						
		心理カウンセリング学科 3年次	3.5						
		私立大学 3年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.0						
		私立大学 3年	3.1						



ルーブリック コンピテンシー領域 対人基礎力

Generic Skills

コンピテンシー (対人)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7	
親和力	他者との豊かな関係を築く	人に対して、興味をもって相手の話を聞き、相手の立場や気持ちを思いやり、共感し受けとめる、また多様な価値観を受け入れる。さらに、そうした関わりから、相手と信頼関係を築いたり、人脈を広げていく力		・親しくない人には無愛想になりがち ・興味をもって相手の話をきいたり相手の立場を考えた言動をとることが苦手	・人に対して笑顔で接することができる ・相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係に配慮した言動を心がけている	・相手に対して自然な気配りができる ・自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる	・親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける ・人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる	・個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる ・必要に応じて自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げる行動をとることができる	・相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする ・誰に対しても臆せず接し人脈を広げていくことができる	・築いた人脈や関係性の維持に努めることができる ・人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持・運営することができる	
			生涯スポーツ学部3年次全体	4.2							
			スポーツ教育学科3年次	4.2							
			健康福祉学科3年次	3.9							
			教育文化学部3年次全体	4.0							
			教育学科3年次	4.3							
			芸術学科3年次	3.6							
			心理カウンセリング学科3年次	3.6							
			私立大学3年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.6							
			私立大学3年	3.6							

協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める	周囲や集団において、自分の役割を理解した上で互いに連携・協力、助け合ったり、情報を共有して一緒に物事を進めていく。さらに、他者の相談に乗るなど働きかけ、動機づける力	・他の人と一緒に物事に取り組むのが苦手 ・周囲の人が困っている状況に気づかないことが多い	・集団の中で、割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組む ・周囲に気を配り、困っている人には手を貸そうとする	・チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる	・人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる ・勢困気づくりなどを通じてチームに貢献することができる	・誰かを支援する時には全力でサポートする ・周囲との協力や働きかけを通じて、チームの成果に貢献することができる	・リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる ・チーム全体のやる気を高めることができる	・リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる ・相互支援や情報を共有しあう環境をつくることできる	
			生涯スポーツ学部3年次全体	3.9						
			スポーツ教育学科3年次	3.9						
			健康福祉学科3年次	4.0						
			教育文化学部3年次全体	3.6						
			教育学科3年次	3.9						
			芸術学科3年次	3.4						
			心理カウンセリング学科3年次	3.0						
			私立大学3年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.5						
			私立大学3年	3.5						

統率力	場をよみ、組織を動かす	集団の中で、自分の意見を主張すると同時に、議論の活発化や発展のために集団に働きかける。また、必要に応じて、意見の調整、交渉、説得し、集団を合意に導く力	・話し合いの場では議論に消極的なことが多い ・発言の際、考えが整理しきれず相手に言いたいことが伝わらないことが多い	・自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる ・話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるることができる	・自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる ・意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを話す	・相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる ・相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる	・周囲の反対にあっても孤立しても、正しいと思うことは粘り強く主張できる ・建設的、かつ創造的な議論を意識した発言ができる	・全員に発言を促し、整理や方向づけによって議論を進展させていくことができる ・リーダーとして、チームの結論を導くことができる	・意見が対立する中でも、建設的に議論を導くことができる ・聴衆を引き込み納得させるようなプレゼンテーションをすることができる
			生涯スポーツ学部3年次全体	4.0					
			スポーツ教育学科3年次	4.1					
			健康福祉学科3年次	3.8					
			教育文化学部3年次全体	2.9					
			教育学科3年次	3.0					
			芸術学科3年次	3.0					
			心理カウンセリング学科3年次	2.5					
			私立大学3年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.0					
			私立大学3年	3.0					



ルーブリック コンピテンシー領域 対自己基礎力

Generic Skills

コンピテンシー (対自己)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7										
感情制御力	気持ちの揺れを制御する	自分の感情や気持ちを認識して客観的に言動をコントロールしたり、ストレスをうまく処理することができる。また、プレッシャーを感じる場面でも、感情をコントロールして力を発揮する力		・自分の感情をコントロールするのが苦手 ・些細なことでも、動揺したり落ち込んだりして、なかなか立ち直れないことが多い	・人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする	・感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる ・やらなければならないことがたくさんあるような状況でも、こなしていくことができる	・ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる ・難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる	・自分がストレスを感じやすい場面を知っており、対処法を考えておくことができる ・失敗に向き合い原因を徹底的に考えることができる	・心を落ち着かせる、自分なりの方法をもっている ・緊張やプレッシャーを感じる場面でも、落ち着いて、かつ集中して取り組むことができる	・ストレスの原因に自ら働きかけ、解消することができる ・必要に応じて自分の感情を率直に伝えることで、相手との信頼関係を築くことができる										
											生涯スポーツ学部 3 年次全体	4.0								
											スポーツ教育学科 3 年次	4.1								
											健康福祉学科 3 年次	3.4								
											教育文化学部 3 年次全体	3.5								
											教育学科 3 年次	3.6								
											芸術学科 3 年次	3.5								
											心理カウンセリング学科 3 年次	3.1								
											私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3								
											私立大学 3 年	3.3								

自信創出力	前向きな考え方ややる気を維持する	自己の強み弱みを認識した上で、自分に自信をもって物事に取り組むことができる。また、常に学ぶ姿勢をもち、経験の機会をうまくとらえて挑戦していく力	・自分の強みがわからず、自信をもって行動できない ・初めてのことや難しいことには、なかなか挑戦する気になれない	・自分では強みがわからないが、人からほめられることで自信をもつことができる ・仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる	・自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる ・機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる	・自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる ・初めてのことで、臆せず取り組むことができる	・難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても何かを学ぼうとする ・好きではない仕事でも、自分なりに工夫して取り組む	・自分ならではの強みや持ち味を活かす機会を見逃さない ・常に良い結果をイメージして、自信をもって取り組むことができる	・どんな仕事や課題でも主体性と好奇心をもって取り組むことができる ・成長の機会を自ら創り出していくことができる								
										生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.9						
										スポーツ教育学科 3 年次	3.9						
										健康福祉学科 3 年次	3.5						
										教育文化学部 3 年次全体	3.7						
										教育学科 3 年次	3.9						
										芸術学科 3 年次	3.6						
										心理カウンセリング学科 3 年次	3.0						
										私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.2						
										私立大学 3 年	3.3						

行動持続力	主体的に動き、良い行動を習慣づける	主体的に行動し、物事には最後まで粘り強く取り組むことができる。また、良い行動を習慣化する力	・人からの指示を待つて行動することが多い ・何かに取り組んでも、最後までやり切れないことが多い	・良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みるような心がけている	・任されたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動するようにしている ・常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている	・何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す ・取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている	・すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる ・周囲からの期待以上のことを主体的に行う	・目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げる ・行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い行動に結びつけることができる	・課題には期限ぎりぎりまで、自分が納得できる結果が出るまで粘り強く取り組む ・検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している								
										生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.9						
										スポーツ教育学科 3 年次	3.9						
										健康福祉学科 3 年次	3.5						
										教育文化学部 3 年次全体	3.4						
										教育学科 3 年次	3.5						
										芸術学科 3 年次	3.6						
										心理カウンセリング学科 3 年次	2.8						
										私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.4						
										私立大学 3 年	3.4						

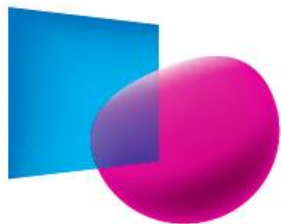


ルーブリック コンピテンシー領域 対課題基礎力

コンピテンシー (対課題)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7										
課題 発見力	課題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う	適切な方法で情報を収集し、事実に基づいて客観的に分析、本質的な問題を見極める。さらに、様々な角度から課題を分析し、原因を明らかにする力		・課題に対しての情報収集が、適切な方法でない場合が多い ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・課題に対し、自分なりに情報を集めることができる ・集めた情報を、客観的に整理しようと努める	・興味のある特定の分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理、分析することができる ・分析を基に、自分なりに因果関係の仮説を立てられる	・課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる ・定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる	・課題に応じて、定性的な情報や、定量的なデータを収集し、適切に整理、分析できる ・より現実的な視点で、複数の因果関係の仮説を立てられる	・事実が複雑に絡み合っている問題でもデータを客観的に整理、分析できる ・因果関係を整理し課題解決につなげることができる	・関心分野については、常日頃から情報収集している ・合理的な判断だけでは難しい問題に対して、関係者の心情を汲んで結論を出すことができる										
											生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.6								
											スポーツ教育学科 3 年次	3.5								
											健康福祉学科 3 年次	3.7								
											教育文化学部 3 年次全体	3.3								
											教育学科 3 年次	3.3								
											芸術学科 3 年次	3.3								
											心理カウンセリング学科 3 年次	3.2								
											私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.4								
											私立大学 3 年	3.5								

計画 立案力	課題解決のための適切な計画を立てる	明確な目標を立て、その実現に向けて効果的な計画を立てる。また、立てた計画に対して目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てたり、どんな問題が起ころ得るかのリスクを想定して事前に対策を講じる力		・自分で目標や計画を立てずに課題に取り組む ・立案した計画や目標が現実的でないなど適切でないことが多い	・課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる ・立案した計画や目標に、自分なりに取り組むことができる	・条件が明確な課題であれば目標や発生しそうな問題を予め考えることができる ・予測をふまえた具体的な計画を立て取り組むことができる	・経験のあることならば不確実な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる ・事前にリスクを検討、想定し、手を打つことができる	・長期的な目標と同時に、途中段階の具体的な目標も設定し、実現性を高めることができる ・チームでの取り組みの際、メンバーの負担を適切に行う	・自身やチームにとって挑戦的な目標を設定し挑む ・制約条件や資源を考慮した計画を立て、状況に応じて柔軟に修正することができる									
											生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.7							
											スポーツ教育学科 3 年次	3.6							
											健康福祉学科 3 年次	3.9							
											教育文化学部 3 年次全体	3.1							
											教育学科 3 年次	3.1							
											芸術学科 3 年次	2.9							
											心理カウンセリング学科 3 年次	3.5							
											私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.4							
											私立大学 3 年	3.4							

実践 力	実践行動をとる	計画をすすんで実行し、状況に応じて柔軟に行動を修正する。また、行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつける力		・やるべきことでも、なかなか実行に移せない・実行はできて当初のやりかたで進めがちで、のちに振り返ることも少ない	・やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる	・制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる ・終了後には、成功が失敗かを振り返る	・計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる ・うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる	・チームの他の人の様子に気を配りながら、物事を進めることができる ・進捗状況を確認しつつ、自ら率先して行動することができる	・計画の実行中、全体の状況に気を配ることができる ・先行きを予見し必要に応じて、早めに全体の動きを修正することができる	・チームでより良い成果を挙げるため、即行動できる ・活動の振り返りを次に活かして、チームの成果を高めることができる								
											生涯スポーツ学部 3 年次全体	3.7						
											スポーツ教育学科 3 年次	3.7						
											健康福祉学科 3 年次	3.6						
											教育文化学部 3 年次全体	3.8						
											教育学科 3 年次	3.8						
											芸術学科 3 年次	3.3						
											心理カウンセリング学科 3 年次	4.0						
											私立大学 3 年 (入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.6						
											私立大学 3 年	3.7						



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.12-3 ループリック 短期大学部1・2年生

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5
情報収集力	課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力	<ul style="list-style-type: none"> ・情報源の特性を知る <ol style="list-style-type: none"> 1) さまざまな情報源 2) インターネットで検索する 3) 図書館で調べる ・情報を整理・保存する <ol style="list-style-type: none"> 1) ノートテイキング（講義を聴く） 2) 情報をファイリングする ・アンケートとインタビュー <ol style="list-style-type: none"> 1) アンケートを実施する 2) インタビューを行う 	簡単な情報収集の仕方について、理解している					
		こども学科 1 年次	3.0					
		こども学科 2 年次	3.0					
		私立短大 1 年（こども系／入試難易度（偏差値）40未満）	3.0					
		私立短大 2 年（こども系／入試難易度（偏差値）40未満）	3.0					

情報分析力	事実・情報を思い込みや臆測ではなく、客観的かつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造を捉え、本質を見極める力	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを読み取る <ol style="list-style-type: none"> 1) 図表・グラフの種類と特性 2) グラフの「読み取り」「分析」のポイント 3) 複数のグラフや表を総合して読み取る ・文献・資料を読む <ol style="list-style-type: none"> 1) 論理的なテキストの特性 2) 論理的なテキストの読解 3) 見出しをつける 4) 全体像を捉える ・批判的・多角的に分析する <ol style="list-style-type: none"> 1) 批判的読解とは 2) 批判的読解の具体的あり方 	簡単な図表や文章を読み取ることができる					
		こども学科 1 年次	2.8					
		こども学科 2 年次	2.9					
		私立短大 1 年（こども系／入試難易度（偏差値）40未満）	2.8					
		私立短大 2 年（こども系／入試難易度（偏差値）40未満）	2.8					

ルーブリック リテラシー領域 課題発見力・構想力



リテラシー		定義	レベル	1	2	3	4	5
課題発見力	さまざまな角度、広い視野から現象や事実を捉え、それらの背後に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から問題点を洗い出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 拡散思考について 2) ブレインストーミングで発想を広げる 3) フレームワークで考える ・問題点を整理・分析する <ol style="list-style-type: none"> 1) 収束思考について 2) 収束思考に必要な観点 3) マップ化による整理 ・発見された問題の中から、解決すべき課題を設定する <ol style="list-style-type: none"> 1) 問題点から課題への絞り込み 2) 課題への絞り込みに必要な観点 		簡単な問題において、解決すべき課題を選択することができる	複数の情報を整理し、解決すべき課題を設定することができる	いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる	複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる	複雑な文脈の中で、複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる
		こども学科 1 年次	3.0					
		こども学科 2 年次	3.2					
		私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.9					
		私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.9					

構想力	さまざまな条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクやその対処方法を構想する力	<ul style="list-style-type: none"> ・広い観点から解決策を考える ・現実味のある解決策を考える ・計画を立てる <ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な作業を漏れなく洗い出す 2) 具体的な行動計画を考える 		簡単な問題において、解決策を選択することができる	問題解決のプロセスに即して、解決策を構想することができる	いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる	制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる	複雑な文脈の中で、制約条件やリスク等をふまえて、有効な解決策や行動計画を構想できる
		こども学科 1 年次	2.9					
		こども学科 2 年次	2.8					
		私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.8					
		私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.8					

ルーブリック コンピテンシー領域 対人基礎力

コンピテンシー (対人)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7		
親和力	他者との豊かな関係を築く	人に対して、興味をもって相手の話を聞き、相手の立場や気持ちを思いやり、共感を受けとめる、また多様な価値観を受け入れる。さらに、そうした関わりから、相手と信頼関係を築いたり、人脈を広げていく力		・親しくない人には無愛想になりがち ・興味をもって相手の話をきいたり相手の立場を考えた言動をとることが苦手	・人に対して笑顔で接することができる ・相手の立場や気持ちを考えたり、人間関係を配慮した言動を心がけている	・相手に対して自然な気配りができる ・自分と異なる考えや意見でも興味深く相手の話を聞き、理解を示すことができる	・親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける ・人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる	・個人や周囲の状況に対して細やかな気遣いができる ・必要に応じて自分の気持ちを素直に表現し人脈を広げる行動をとることができる	・相談された際は、相手の置かれた立場や背景をも汲み取って理解しようとする ・誰に対しても臆せず接し人脈を広げていくことができる	・築いた人脈や関係性の維持に努めることができる ・人脈ネットワークを広げるために自ら場を創り、維持・運営することができる		
			こども学科 1 年次	3.6								
			こども学科 2 年次	3.5								
			私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.9								
			私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.8								
協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める	周囲や集団において、自分の役割を理解した上で互いに連携・協力、助け合ったり、情報を共有して一緒に物事を進めていく。さらに、他者の相談に乗るなど働きかけ、動機づけする力		・他の人と一緒に物事に取り組むのが苦手 ・周囲の人が困っている状況に気づかないことが多い	・集団の中で、割り当てられたことは自分なりに工夫しながら取り組む ・周囲に気を配り、困っている人には手を貸そうとする	・チームで課題に取り組む場合には、自ら情報発信するなど、チームへの貢献を考えて行動することができる	・人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる ・雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる	・誰かを支援する時には全力でサポートする ・周囲との協力や働きかけを通じて、チームの成果に貢献することができる	・リーダーとして、周囲の状況への気配りや働きかけをすることができる ・チーム全体のやる気を高めることができる	・リーダーとして、状況や相手に応じチームのメンバーを動機づけることができる ・相互支援や情報を共有しあう環境をつくることができる		
			こども学科 1 年次	3.9								
			こども学科 2 年次	3.6								
			私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.8								
			私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.7								
統率力	場をよみ、組織を動かす	集団の中で、自分の意見を主張すると同時に、議論の活発化や発展のために集団に働きかける。また、必要に応じて、意見の調整、交渉、説得し、集団を合意に導く力		・話し合いの場では議論に消極的なことが多い ・発言の際、考えが整理しきれず相手に言いたいことが伝わらないことが多い	・自分の考えを整理し、筋道を立てて伝えることができる ・話し合いの場では、議論の目的を見失わずに意見を述べるることができる	・自分の考えを論理的かつ気持ちを込めて相手にわかりやすく伝えることができる ・意見の異なる相手でも、粘り強く自分の考えを話す	・相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる ・相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる	・周囲の反対にあっても孤立しても、正しいと思うことは粘り強く主張できる ・建設的、かつ創造的な議論を意識した発言ができる	・全員に発言を促し、整理や方向づけによって議論を発展させていくことができる ・リーダーとして、チームの結論を導くことができる	・意見が対立する中でも、建設的に議論を導くことができる ・聴衆を引き込み納得させるようなプレゼンテーションをすることができる		
			こども学科 1 年次	2.7								
			こども学科 2 年次	2.7								
			私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.6								
			私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.7								



ルーブリック コンピテンシー領域 対自己基礎力

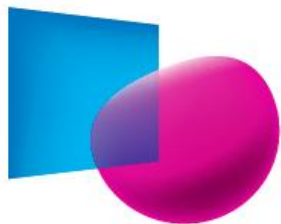
コンピテンシー (対自己)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7								
感情制御力	気持ちの揺れを制御する	自分の感情や気持ちを認識して客観的に言動をコントロールしたり、ストレスをうまく処理することができる。また、プレッシャーを感じる場面でも、感情をコントロールして力を発揮する力		<ul style="list-style-type: none"> 自分の感情をコントロールするのが苦手 些細なことでも、動揺したり落ち込んだりして、なかなか立ち直れないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係など身近な問題が発生した時には、落ち着いて自分なりに対処しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 感情が多少乱れても、冷静になって行動することができる やらなければならないことがたくさんあるような状況でも、こなしていくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる 難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がストレスを感じやすい場面を知っており、対処法を考えておくことができる 失敗に向き合い原因を徹底的に考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 心を落ち着かせる、自分なりの方法をもっている 緊張やプレッシャーを感じる場面でも、落ち着いて、かつ集中して取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ストレスの原因に自ら働きかけ、解消することができる 必要に応じて自分の感情を率直に伝えることで、相手との信頼関係を築くことができる 								
											こども学科1年次	2.9						
											こども学科2年次	2.7						
											私立短大1年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.8						
											私立短大2年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.9						
自信創出力	前向きな考え方ややる気を維持する	自己の強み弱みを認識した上で、自分に自信をもって物事に取り組むことができる。また、常に学ぶ姿勢をもち、経験の機会をうまくとらえて挑戦していく力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強みがわからず、自信をもって行動できない 初めてのことや難しいことには、なかなか挑戦する気になれない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分では強みがわからないが、人からほめられることで自信をもつことができる 仕事や課題に対して前向きに取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強み・弱みを知っており、多少見通しが立たないことでも自分を信じて行動できる 機会をチャンスと捉え、楽しんで取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる 初めてのことで、臆せず取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいことでも、積極的に挑戦し、失敗しても何かを学ぼうとする 好きではない仕事でも、自分なりに工夫して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ならではの強みや持ち味を活かす機会を見逃さない 常に良い結果をイメージして、自信をもって取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> どんな仕事や課題でも主体性と好奇心をもって取り組むことができる 成長の機会を自ら創り出していくことができる 									
										こども学科1年次	3.3							
										こども学科2年次	3.1							
										私立短大1年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.1							
										私立短大2年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3							
行動持続力	主体的に動き、良い行動を習慣づける	主体的に行動し、物事には最後まで粘り強く取り組むことができる。また、良い行動を習慣化する力	<ul style="list-style-type: none"> 人からの指示を待つて行動することが多い 何かに取り組んでも、最後までやり切れないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 良いやり方や習得した技術・知識は、すぐに試みるよう心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 任せられたことは、できるだけ自分でやるべきことを考え行動しようとしている 常に良いやり方を追求し、能力向上を心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> 何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す 取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> すべきことや他者の期待を自ら考え、責任をもって行動することができる 周囲からの期待以上のことを主体的に行う 	<ul style="list-style-type: none"> 目標を定め、最後まで諦めずにやり遂げる 行動の検証と改善を繰り返しながら、より良い行動に結びつけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題には期限ぎりぎりまで、自分が納得できる結果が出るまで粘り強く取り組む 検証と改善を常に繰り返すことを習慣化している 									
										こども学科1年次	3.3							
										こども学科2年次	3.3							
										私立短大1年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3							
										私立短大2年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.3							



ルーブリック コンピテンシー領域 対課題基礎力

Generic Skills

コンピテンシー (対課題)		定義	レベル	1	2	3	4	5	6	7									
課題発見力	課題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う	適切な方法で情報を収集し、事実に基づいて客観的に分析、本質的な問題を見極める。さらに、様々な角度から課題を分析し、原因を明らかにする力		・課題に対しての情報収集が、適切な方法でない場合が多い ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・課題に対し、自分なりに情報を集めることができる ・集めた情報を、客観的に整理しようと努める	・興味のある特定の分野ならば、情報を集めて客観的に事実を整理、分析することができる ・分析を基に、自分なりに因果関係の仮説を立てられる	・課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる ・定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる	・課題に応じて、定性的な情報や、定量的なデータを収集し、適切に整理、分析できる ・より現実的な視点で、複数の因果関係の仮説を立てられる	・事実が複雑に絡み合っている問題でもデータを客観的に整理、分析できる ・因果関係を整理し課題解決につなげることができる	・関心分野については、常日頃から情報収集している ・合理的な判断だけでは難しい問題に対して、関係者の心情を汲んで結論を出すことができる									
											こども学科 1 年次	2.6							
											こども学科 2 年次	2.3							
											私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	2.7							
											私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	2.8							
計画立案力	課題解決のための適切な計画を立てる	明確な目標を立て、その実現に向けて効果的な計画を立てる。また、立てた計画に対して目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てたり、どんな問題が起こり得るかのリスクを想定して事前に対策を講じる力		・自分で目標や計画を立てずに課題に取り組む ・立案した計画や目標が現実的でないなど適切でないことが多い	・課題に対して、目標と計画を大まかに立てることができる ・立案した計画や目標に、自分なりに取り組むことができる	・条件が明確な課題であれば目標や発生しそうな問題を予め考えることができる ・予測をふまえ具体的な計画を立て取り組むことができる	・経験のあることならば不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる ・情報整理・分析が甘くなりがちになる	・経験のないことでも、現実的で妥当な計画と複数のシナリオを考えることができる ・事前リスクを検討、想定し、手を打つことができる	・長期的な目標と同時に、途中段階の具体的な目標も設定し、実現性を高めることができる ・チームでの取り組みの際、メンバーの分担を適切に行う	・自身やチームにとって挑戦的な目標を設定し挑む ・制約条件や資源を考慮した計画を立て、状況に応じて柔軟に修正することができる									
											こども学科 1 年次	2.7							
											こども学科 2 年次	2.6							
											私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.1							
											私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.0							
実践力	実践行動をとる	計画をすすんで実行し、状況に応じて柔軟に行動を修正する。また、行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつける力		・やるべきことでも、なかなか実行に移せない・実行はできても当初のやりかたで進めがちで、のちに振り返ることも少ない	・やるべきことに対して、自分なりに試行錯誤しながら物事を進めていくことができる	・制約条件を考えて、試行錯誤しながら物事を進めることができる ・終了後には、成功か失敗かを振り返る	・計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる ・うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる	・チームの他の人の様子に気を配りながら、物事を進めることができる ・進捗状況を確認しつつ、自ら率先して行動することができる	・計画の実行中、全体の状況に気を配ることができる ・先行きを予見し必要に応じて、早めに全体の動きを修正することができる	・チームでより良い成果を挙げるため、即行動できる ・活動の振り返りに次に活かして、チームの成果を高めることができる									
											こども学科 1 年次	3.3							
											こども学科 2 年次	3.2							
											私立短大 1 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.3							
											私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未滿)	3.3							



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-1

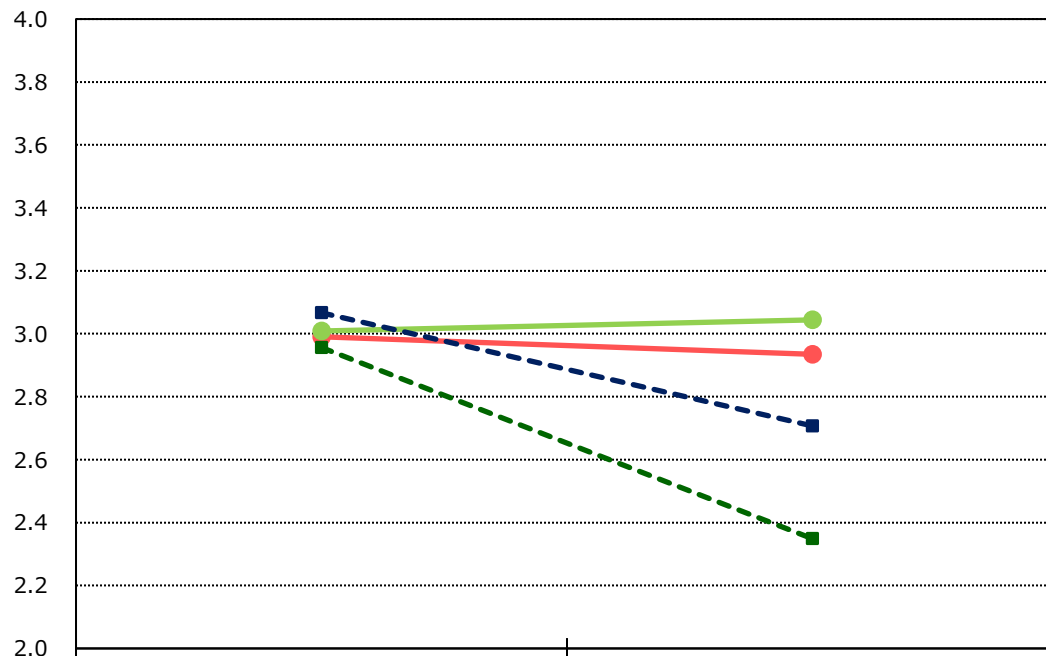
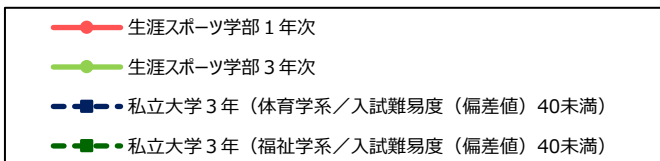
ディプロマポリシーの可視化

生涯スポーツ学部

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

		リテラシー		コンピテンシー																																								
				対人基礎力													対自己基礎力									対課題基礎力										PROG 非表示								
				親和力				協働力				統率力					感情制御力			自信創出力			行動持続力			課題発見力			計画立案力				実践力			適法性	創造的思考力							
情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	対人興味	多様性理解	人脈形成	信頼構築	連携行動	情報共有	相互支援	相者の動機づけ	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	マネジメント	ストレス	独自性理解	自己効力感・楽観性	学習機会による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準拠	流暢性・柔軟性・独創性	新たな価値の創造
DP1	幅広い教養と豊かな人間性をもとに、実践的コミュニケーションにより、多様な人々との関係づくりと協働を可能とする総合的な力を備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP2	スポーツや学校教育、健康・福祉等の分野や社会の中で生まれる事柄に取り組むための科学的な知見と客観的な判断力を備えている	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																						43			
DP3	培った知識・技術を活用してスポーツや学校教育、健康・福祉の分野や地域社会の様々な活動に取り組むための実践者としての指導力・組織力を備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP4	スポーツや学校教育、健康・福祉の分野における専門的職業人としての素養を身につけ、保健体育教諭、競技者、スポーツトレーナー、健康運動指導士、社会福祉士、介護福祉士などになるための基礎的な能力を備えている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																						43			

DP1	DP2	DP3	DP4
<p>幅広い教養と豊かな人間性をもとに、実践的コミュニケーション力により、多様な人々との関係づくりと協働を可能とする総合的な力を備えている。</p>	<p>スポーツや学校教育、健康・福祉等の分野や社会の中で生まれる事柄に取り組むための科学的な知見と客観的な判断力を備えている</p>	<p>培った知識・技術を活用してスポーツや学校教育、健康・福祉の分野や地域社会の様々な活動に取り組むための実践者としての指導力・組織力を備えている。</p>	<p>スポーツや学校教育、健康・福祉の分野における専門的職業人としての素養を身につけ、保健体育教諭、競技者、スポーツトレーナー、健康運動指導士、社会福祉士、介護福祉士などになるための基礎的な能力を備えている。</p>
<p>親しみやすさ 気配り 対人興味／共感・受容 多様性理解 人脈形成 信頼構築 役割理解・連携行動 情報共有 相互支援 相談・指導・他者の動機づけ</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>話しあう 意見を主張する 建設的・創造的な討議 意見の調整、交渉、説得</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>



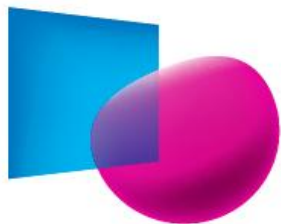
		N数	DP1	DP3
	生涯スポーツ学部 1 年次	246	2.99	2.93
	生涯スポーツ学部 3 年次	216	3.01	3.04
	私立大学 3 年 (体育学系 / 入試難易度 (偏差値) 40 未満)	-	3.07	2.71
	私立大学 3 年 (福祉学系 / 入試難易度 (偏差値) 40 未満)	-	2.96	2.35

DP1

	N数	親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	
		生涯スポーツ学部 1年次	246	2.99	3.01	2.79	3.15	3.00	3.07	3.04	2.85	2.95
生涯スポーツ学部 3年次	216	3.01	3.24	2.83	3.22	2.98	3.15	3.09	2.84	2.96	3.00	2.91
私立大学 3年 (体育学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.07	2.99	2.97	3.13	3.29	2.90	3.27	3.12	2.79	3.18	3.05
私立大学 3年 (福祉学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.96	2.78	2.99	3.29	3.53	2.53	3.25	2.98	2.58	3.09	2.56

DP3

	N数	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	
		生涯スポーツ学部 1年次	246	2.93	2.87	3.11
生涯スポーツ学部 3年次	216	3.04	3.05	3.08	2.96	3.13
私立大学 3年 (体育学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.71	2.71	2.77	2.64	2.71
私立大学 3年 (福祉学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.35	2.31	2.34	2.44	2.31



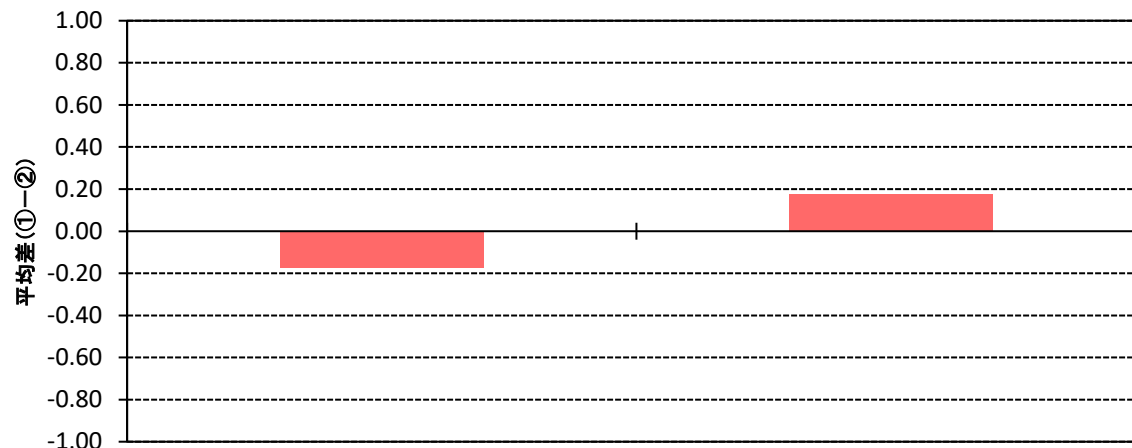
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-1 ディプロマポリシーの可視化 生涯スポーツ学部 (T検定)

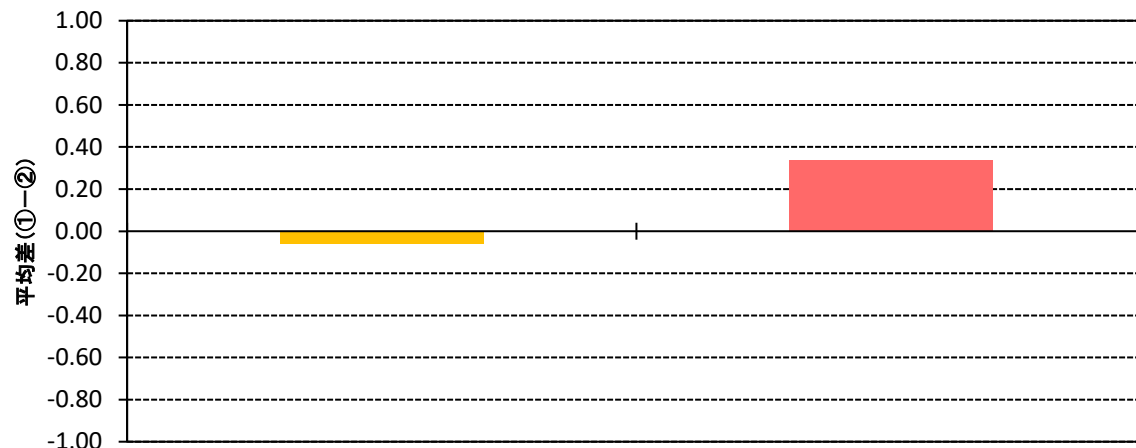
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

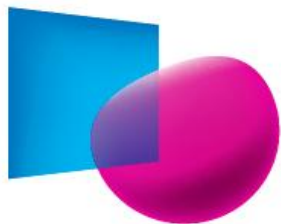


	DP1	DP3
①生涯スポーツ学部 1年次	2.99	2.93
②私立大学1年 (体育学系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.16	2.76
平均差 (① - ②)	-0.17	0.18
t検定 (P値)	0.00	0.01

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP3
①生涯スポーツ学部3年次	3.01	3.04
②私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.07	2.71
平均差(①-②)	-0.06	0.34
t検定(P値)	0.29	0.00



PROG

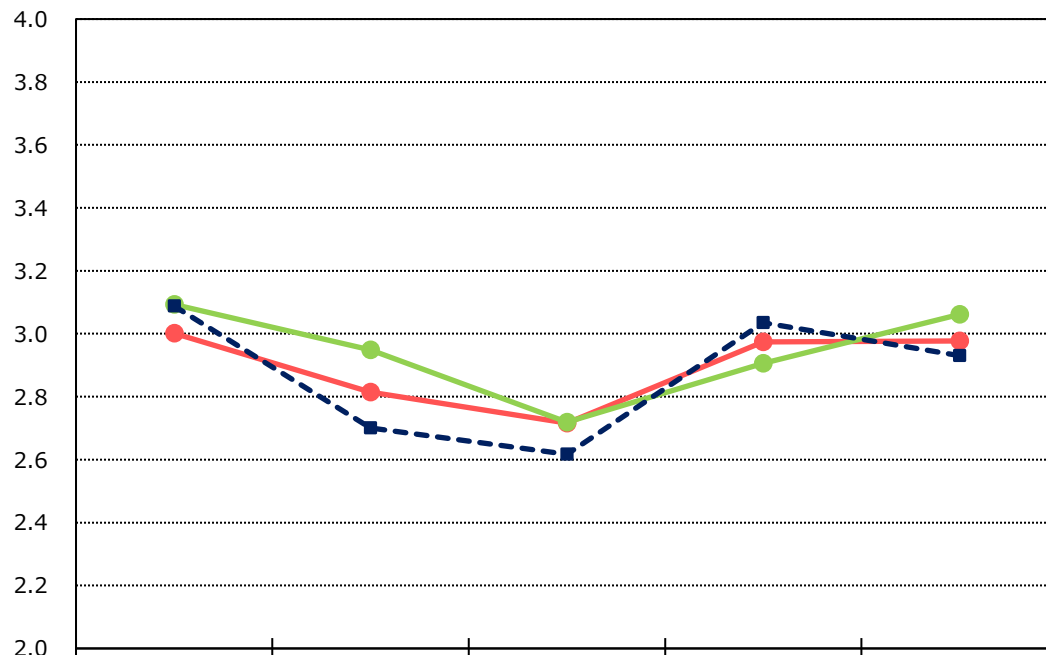
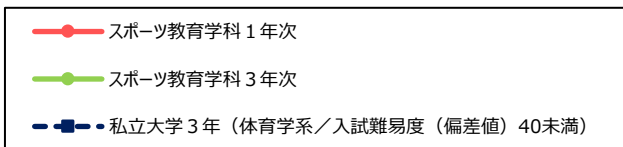
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-2 ディプロマポリシーの可視化 スポーツ教育学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

		リテラシー		コンピテンシー																																									
				対人基礎力												対自己基礎力									対課題基礎力											PROG 非表示									
				親和力				協働力				統率力				感情制御力			自信創出力			行動持続力			課題発見力			計画立案力			実践力			裁量性	創造的思考力										
				情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	対人興味	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解	情報共有	相互支援	他者の動機づけ	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	ストレスマネジメント	独立性理解	自己効力感・楽観性	学習視点による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準備	柔軟性・獨創性
DP1	豊かな人間性と社会人として必要な幅広い教養を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP2	運動・スポーツ・健康・教育に関する専門知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43		
DP3	保健体育科教諭、健康運動指導士、アスレティックトレーナーなどを目指す学生は、各養成課程で求められる知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43		
DP4	自ら考え、設定した課題について、運動・スポーツ・健康・教育の学問領域の研究方法で学んだ知識を活用し、適切な解決案を考えることができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP5	生涯スポーツ社会実現に向けての課題に関心を持ち、幅広い視野で解決案を考える意欲がある。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP6	多様な価値観をもつ人々が暮らす社会において、自らの役割を自覚するとともに、他者と協働して活動することができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP7	スポーツを通じて培われたコミュニケーション能力と運動・スポーツ・健康・教育に関する専門的技術と指導力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	

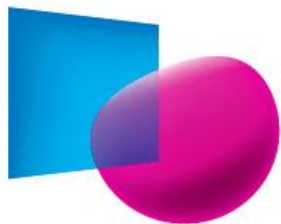
DP1	DP2	DP3	DP4
豊かな人間性と社会人として必要な幅広い教養を身に付けている。	運動・スポーツ・健康・教育に関する専門知識を身に付けている。	保健体育科教諭、健康運動指導士、アスレティックトレーナーなどを目指す学生は、各養成課程で求められる知識を身に付けている。	自ら考え、設定した課題について、運動・スポーツ・健康・教育の学問領域の研究方法で学んだ知識を活用し、適切な解決策を考えることができる。
<p>親しみやすさ</p> <p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価	<p>情報収集力</p> <p>情報分析力</p> <p>課題発見力</p> <p>構想力</p>
DP5	DP6	DP7	
生涯スポーツ社会実現に向けての課題に関心を持ち、幅広い視野で解決策を考える意欲がある。	多様な価値観をもつ人々が暮らす社会において、自らの役割を自覚するとともに、他者と協働して活動することができる。	スポーツを通じて培われたコミュニケーション能力と運動・スポーツ・健康・教育に関する専門的スキルと指導力を身に付けている。	
<p>情報収集</p> <p>本質理解</p> <p>原因追究</p>	<p>役割理解・連携行動</p> <p>情報共有</p> <p>相互支援</p> <p>相談・指導・他者の動機づけ</p>	<p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p> <p>話しあう</p> <p>意見を主張する</p> <p>建設的・創造的な討議</p> <p>意見の調整、交渉、説得</p>	



		N数	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
	スポーツ教育学科 1 年次	221	3.00	2.81	2.72	2.97	2.98
	スポーツ教育学科 3 年次	181	3.09	2.95	2.72	2.91	3.06
	私立大学 3 年 (体育学系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.09	2.70	2.62	3.03	2.93

	N数	DP1						DP4					DP5				
		親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	情報収集	本質理解	原因追究			
スポーツ教育学科 1年次	221	3.00	3.01	2.82	3.09	2.96	3.10	3.04	2.81	2.84	3.09	2.74	2.59	2.72	2.79	2.68	2.66
スポーツ教育学科 3年次	181	3.09	3.30	2.84	3.20	2.91	3.21	3.10	2.95	2.96	3.13	2.92	2.79	2.72	2.71	2.72	2.73
私立大学 3年 (体育学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.09	2.99	2.97	3.13	3.29	2.90	3.27	2.70	2.77	2.88	2.59	2.56	2.62	2.71	2.38	2.77

	N数	DP6					DP7									
		役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得		
スポーツ教育学科 1年次	221	2.97	2.85	2.98	3.07	3.00	2.98	2.82	3.09	2.96	3.10	3.04	2.85	3.11	2.82	3.00
スポーツ教育学科 3年次	181	2.91	2.87	2.89	2.99	2.93	3.06	2.84	3.20	2.91	3.21	3.10	3.08	3.13	2.97	3.17
私立大学 3年 (体育学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.03	3.12	2.79	3.18	3.05	2.93	2.97	3.13	3.29	2.90	3.27	2.71	2.77	2.64	2.71



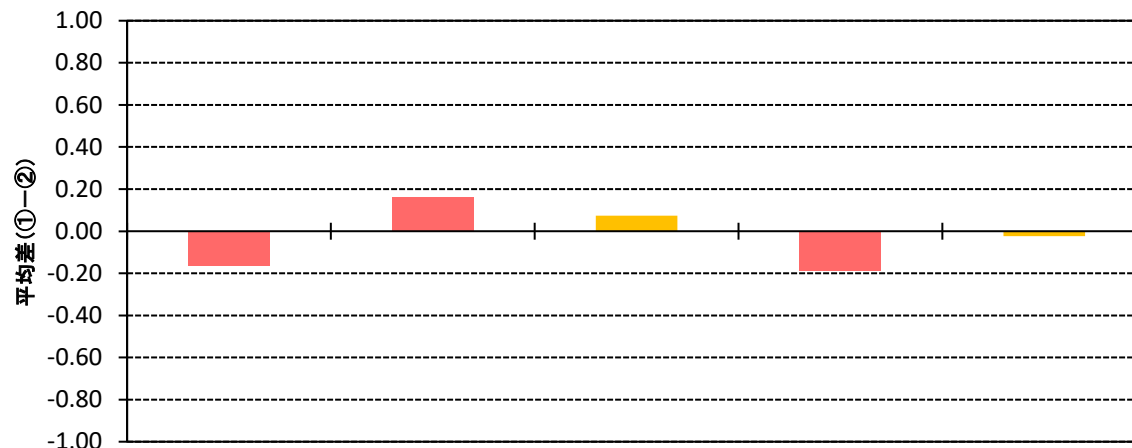
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-2 ディプロマポリシーの可視化 スポーツ教育学科 (T検定)

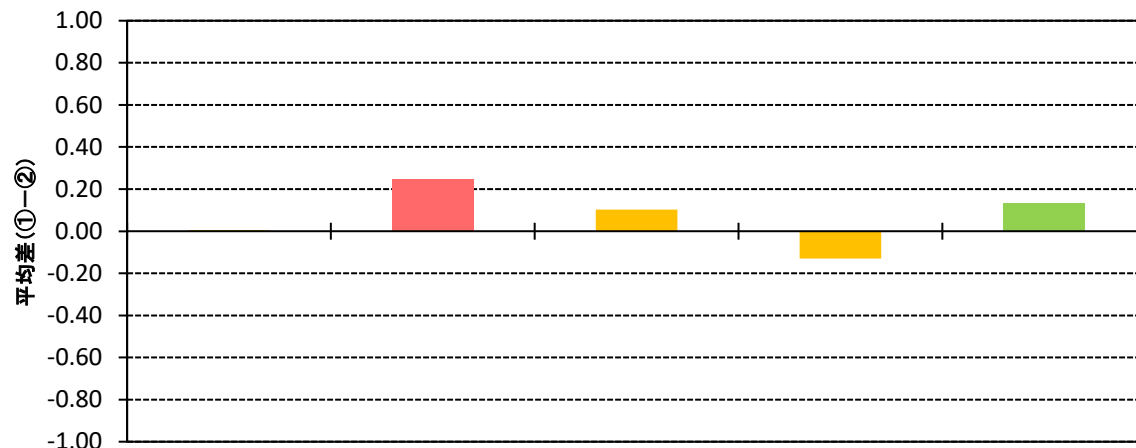
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

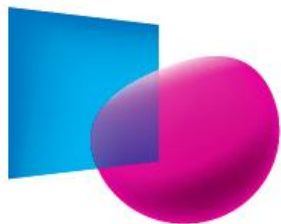


	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
①スポーツ教育学科1年次	3.00	2.81	2.72	2.97	2.98
②私立大学1年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.17	2.65	2.64	3.16	3.00
平均差(①-②)	-0.16	0.16	0.07	-0.19	-0.02
t検定(P値)	0.01	0.00	0.25	0.00	0.64

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
①スポーツ教育学科3年次	3.09	2.95	2.72	2.91	3.06
②私立大学3年(体育学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.09	2.70	2.62	3.03	2.93
平均差(①-②)	0.01	0.25	0.10	-0.13	0.13
t検定(P値)	0.94	0.00	0.15	0.07	0.01



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

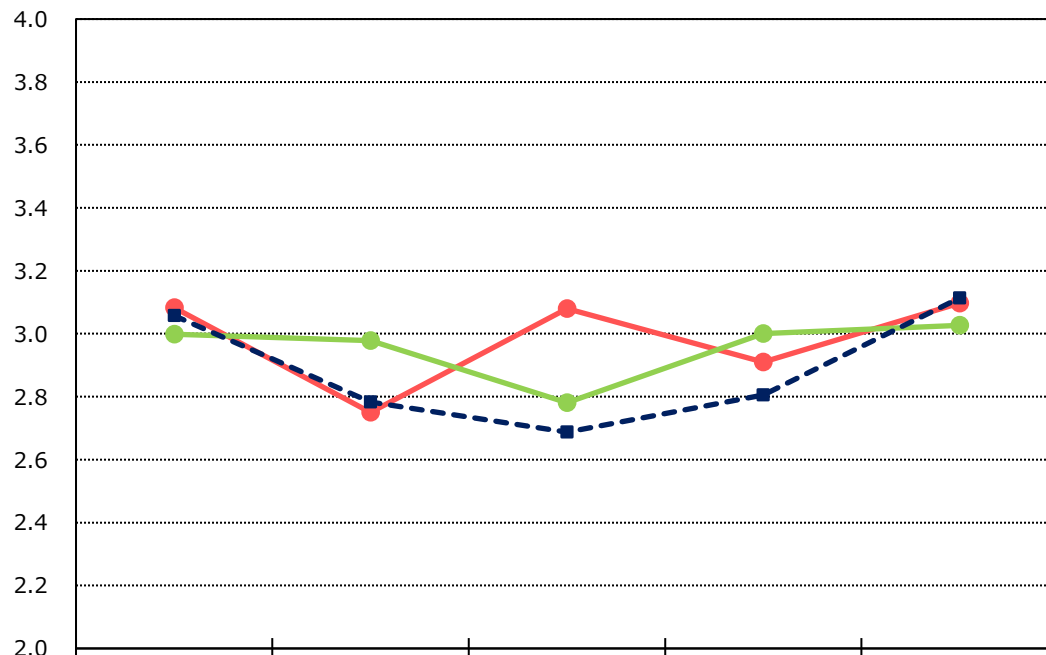
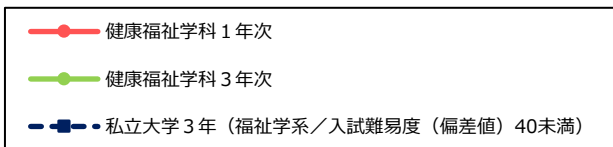
Part.13-3 ディプロマポリシーの可視化 健康福祉学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

		リテラシー		コンピテンシー																																									
				対人基礎力												対自己基礎力									対課題基礎力											PROG 非表示									
				親和力				協働力				統率力				感情制御力			自信創出力			行動持続力			課題発見力			計画立案力			実践力			適法性	創造的思考力										
				情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解	情報共有	相互支援	他者の指導づけ	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感・柔軟性	学習視点による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準拠	柔軟性・柔軟性・独創性
DP1	豊かな人間性と社会人として必要な幅広い教養を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP2	福祉と健康に関する専門知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43		
DP3	社会福祉士、健康運動指導士等を目指す学生は、各養成課程で求められる知識と技能を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43		
DP4	地域社会が抱える課題に対し、福祉と健康の両学問領域で学んだ知識を活用し、解決策を考えることができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP5	健康や福祉課題について関心を持ち、幅広い視野で解決策を考える意欲がある。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP6	多様な価値観を持つ人々が暮らす社会において、自らの役割を自覚するとともに、他者と連携して活動することができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP7	円滑なコミュニケーションと福祉と健康に関する専門技術を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	

DP1	DP2	DP3	DP4
豊かな人間性と社会人として必要な幅広い教養を身に付けている。	福祉と健康に関する専門知識を身に付けている。	社会福祉士、健康運動指導士等を目指す学生は、各養成課程で求められる知識と技能を身に付けている。	地域社会が抱える課題に対し、福祉と健康の両学問領域で学んだ知識を活用し、解決策を考えることができる。
<p>親しみやすさ</p> <p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価</p>	<p>情報収集力</p> <p>情報分析力</p> <p>課題発見力</p> <p>構想力</p>

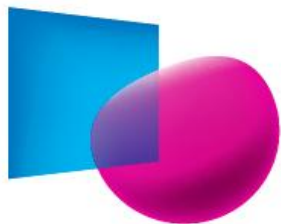
DP5	DP6	DP7
健康や福祉課題について関心を持ち、幅広い視野で解決策を考える意欲がある。	多様な価値観を持つ人々が暮らす社会において、自らの役割を自覚するとともに、他者と連携して活動することができる。	円滑なコミュニケーション力と福祉と健康に関する専門技術を身に付けている。
<p>主体的行動</p> <p>完遂</p> <p>良い行動の習慣化</p>	<p>役割理解・連携行動</p> <p>情報共有</p> <p>相互支援</p> <p>相談・指導・他者の動機づけ</p>	<p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>



		N数	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
	健康福祉学科 1 年次	25	3.08	2.75	3.08	2.91	3.10
	健康福祉学科 3 年次	35	3.00	2.98	2.78	3.00	3.03
	私立大学 3 年 (福祉学系 / 入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.06	2.78	2.69	2.80	3.11

	N数	DP1						DP4					
		親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力		
健康福祉学科 1 年次	25	3.08	3.00	2.58	3.72	3.39	2.80	3.04	2.75	3.16	2.80	2.72	2.32
健康福祉学科 3 年次	35	3.00	2.91	2.77	3.30	3.37	2.83	3.03	2.98	3.17	3.11	2.80	2.83
私立大学 3 年 (福祉学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.06	2.78	2.99	3.29	3.53	2.53	3.25	2.78	2.86	2.87	2.68	2.72

	N数	DP5			DP6					DP7						
		主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築			
健康福祉学科 1 年次	25	3.08	2.84	3.36	3.04	2.91	2.84	2.71	3.08	2.92	3.10	2.58	3.72	3.39	2.80	3.04
健康福祉学科 3 年次	35	2.78	2.66	2.86	2.83	3.00	2.69	3.39	3.09	2.77	3.03	2.77	3.30	3.37	2.83	3.03
私立大学 3 年 (福祉学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.69	2.40	2.61	3.05	2.80	2.98	2.58	3.09	2.56	3.11	2.99	3.29	3.53	2.53	3.25



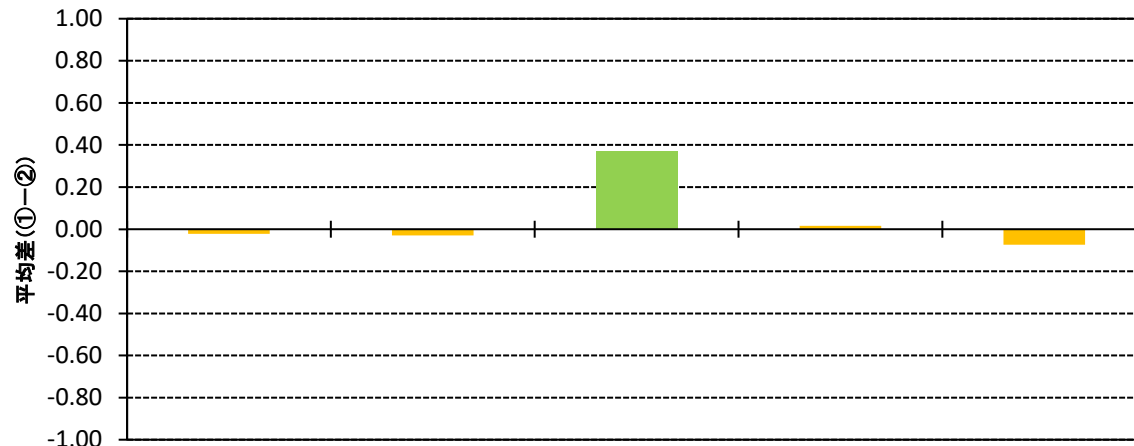
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-3 ディプロマポリシーの可視化 健康福祉学科 (T検定)

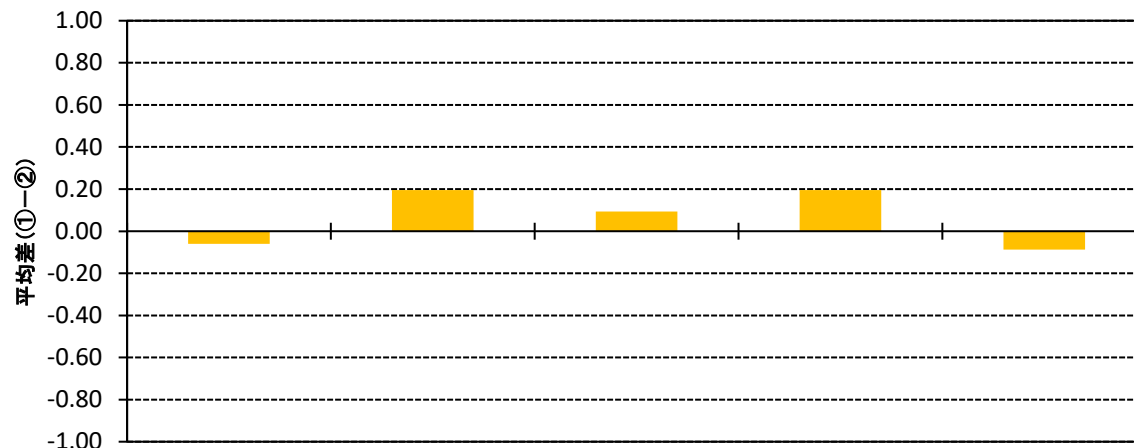
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

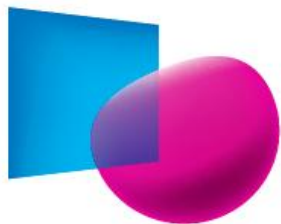


	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
①健康福祉学科1年次	3.08	2.75	3.08	2.91	3.10
②私立大学1年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.10	2.78	2.71	2.89	3.17
平均差(①-②)	-0.02	-0.03	0.37	0.02	-0.07
t検定(P値)	0.90	0.85	0.05	0.93	0.67

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP4	DP5	DP6	DP7
①健康福祉学科3年次	3.00	2.98	2.78	3.00	3.03
②私立大学3年(福祉学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.06	2.78	2.69	2.80	3.11
平均差(①-②)	-0.06	0.20	0.09	0.20	-0.09
t検定(P値)	0.68	0.21	0.56	0.25	0.55



PROG

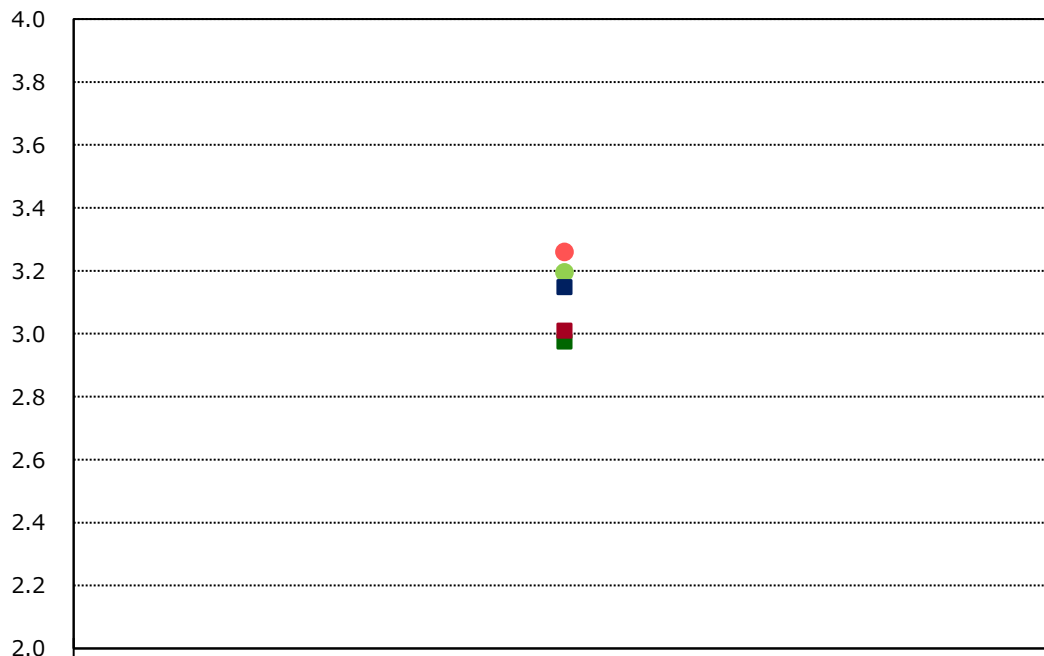
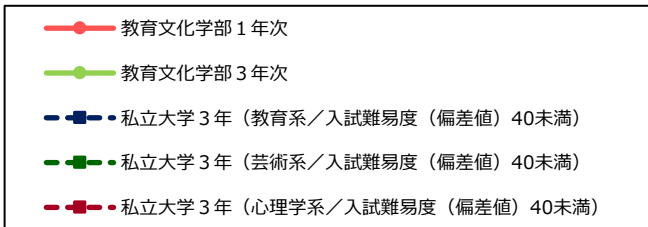
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-4 ディプロマポリシーの可視化 教育文化学部

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

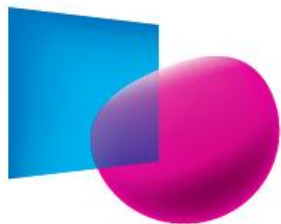
		リテラシー		コンピテンシー																												PROG 非表示													
				対人基礎力												対自己基礎力						対課題基礎力																							
				親和力				協働力				読解力				感情制御力		自信創出力		行動持続力		課題発見力		計画立案力		実践力		遂行性	創造的思考力																
<p>教育文化学部（以下、「本学部」という）は、教育学、芸術学、心理学のそれぞれの専門領域の特質を活かす連携統合した学部です。本学部での多様な学びを通して、幼児教育・学校教育から生涯学習にいたる幅広い世代の学びへの支援の観点から、社会と関わり、時代のニーズに対応できる能力を身に付け、各学科での所定の単位を修得した以下の学生に、「学士（教育学）」「学士（芸術学）」「学士（心理カウンセリング学）」の学位を授与します。</p>		情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	対人興味	多様性理解	人脈形成	信頼構築	連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	ストレスマネジメント	強自性理解	自己効力感・楽観性	学習視座による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準備	柔軟性・柔軟性・獨創性	新たな価値の創造
		専門科目成績や演習・実習・卒業・卒研・資格取得 で評価																												42	43														
		DP1	専門的な知識を総合的な実践力へとつなげ、教育現場や関係諸機関・企業、そして広く地域社会において、教育文化の継承・発展に寄与する専門職業人としての力を備えている。																													42	43												
		DP2	豊かな人間性と柔軟な思考力をもち、高い専門性と実践力を身に付け、幼児や児童・生徒の生活や学び活動を支援できる能力を備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
DP3	幅広い芸術文化の基礎理解と確かな専門技術を獲得し、多様な職種において芸術性を活かし、社会貢献できる能力を備えている。	専門科目成績や演習・実習・卒業・卒研・資格取得 で評価																												42	43														
DP4	心理学及び精神保健福祉学の専門知識をもち、人間援助の総合的アプローチとしてのカウンセリングの素養を身に付け、対人支援ができる能力を備えている。	専門科目成績や演習・実習・卒業・卒研・資格取得 で評価																												42	43														

DP1	DP2	DP3	DP4
<p>専門的な知識を総合的な実践力へつなげ、教育現場や関係諸機関・企業、そして広く地域社会において、教育文化の継承・発展に寄与する専門職業人としての力を備えている。</p>	<p>豊かな人間性と柔軟な思考力をもち、高い専門性と実践力を身に付け、幼児や児童・生徒の生活や学び活動を支援できる能力を備えている。</p>	<p>幅広い芸術文化の基礎理解と確かな専門技術を獲得し、多様な職種において芸術性を活かし、社会貢献できる能力を備えている。</p>	<p>心理学及び精神保健福祉学の専門知識をもち、人間援助の総合的アプローチとしてのカウンセリングの素養を身に付け、対人支援ができる能力を備えている。</p>
<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>親しみやすさ 気配り 対人興味／共感・受容 多様性理解 人脈形成 信頼構築</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>



		N数	DP2
	教育文化学部 1 年次	251	3.26
	教育文化学部 3 年次	230	3.20
	私立大学 3 年（教育系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	3.15
	私立大学 3 年（芸術系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.98
	私立大学 3 年（心理学系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	3.01

		DP2							
			親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	
		N数							
	教育文化学部 1 年次	251	3.26	3.00	3.21	3.51	3.63	2.73	3.51
	教育文化学部 3 年次	230	3.20	2.98	3.19	3.38	3.71	2.61	3.40
	私立大学 3 年（教育系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	3.15	2.87	3.17	3.41	3.57	2.51	3.38
	私立大学 3 年（芸術系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.98	2.79	2.90	3.17	3.48	2.42	3.13
	私立大学 3 年（心理学系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	3.01	2.63	2.94	3.34	3.71	2.22	3.24



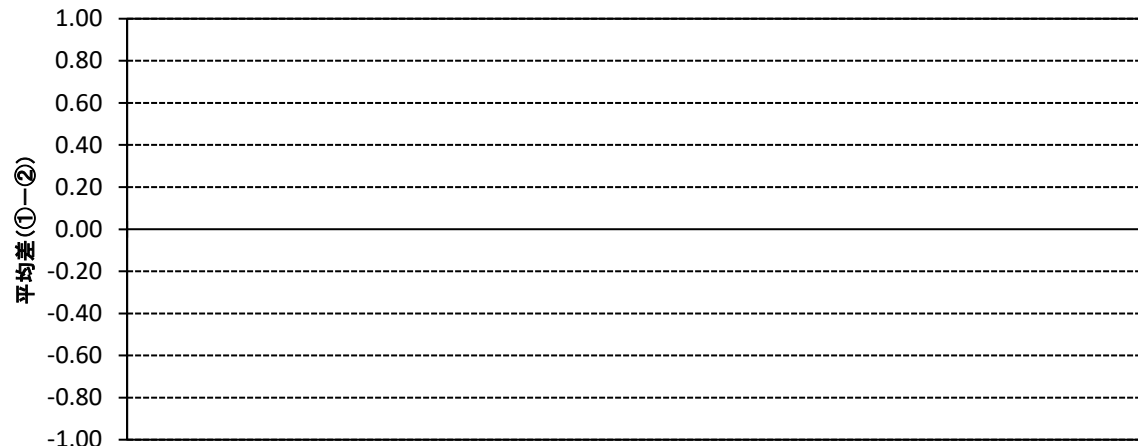
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-4 ディプロマポリシーの可視化 教育文化学部 (T検定)

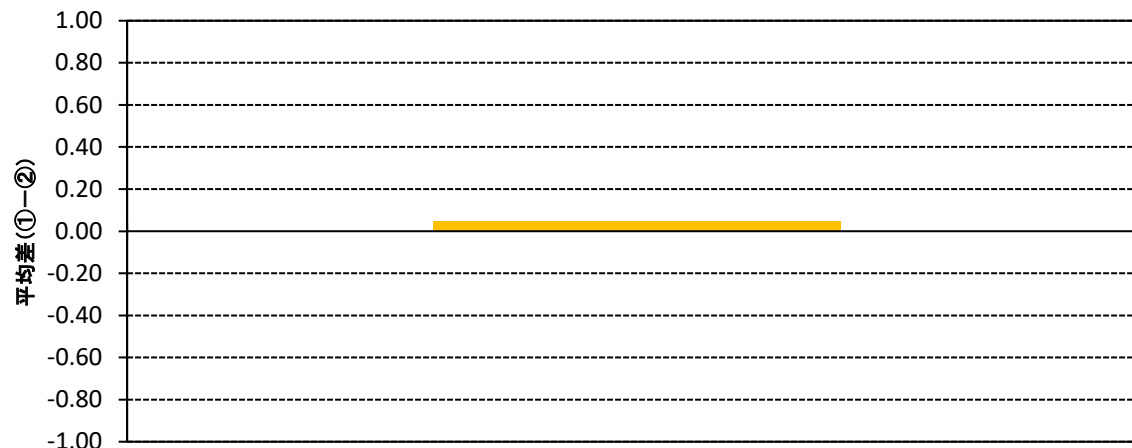
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

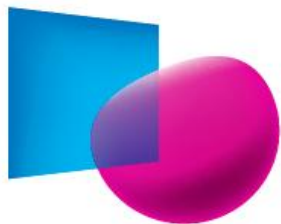


	DP2
①教育文化学部1年次	3.26
②私立大学1年 (教育系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.26
平均差 (① - ②)	0.00
t検定 (P値)	0.98

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP2
①教育文化学部3年次	3.20
②私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.15
平均差(①-②)	0.05
t検定(P値)	0.41



PROG

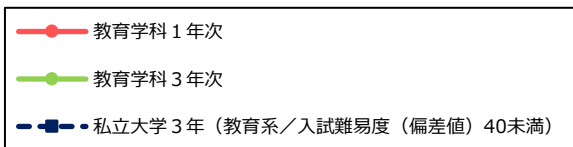
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-5 ディプロマポリシーの可視化 教育学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

		リテラシー		コンピテンシー																																				PROG 非表示				
				対人基礎力												対自己基礎力												対課題基礎力																
				観和力				協働力				読解力				感情制御力				自信創出力				行動持続力				課題発見力				計画立案力				実践力						適法性	創造的思考力	
				情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	視しやすさ	気配り	共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	連携行動力	情報共有	相互支援	協議・指導	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	ストレス	マネジメント	独自性理解	自己効力感・柔軟性	機会による自己変革	学習視点	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築			計画評価	リスク分析	実践行動
DP1	文化、歴史、教育、地理、生活、自然環境等について幅広い知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																				43					
DP2	現代社会の諸問題の存在について、広く理解、教育者として社会に参画できる力を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																				43					
DP3	教育学の体系的知識を身に付けて、教育上の諸問題を踏まえつつ、 幼児・児童・生徒理解を深めることができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP4	学修成果を状況に応じて 実践的に活用することができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP5	現代社会が抱える課題に対し、 学んだ知識を活用し、解決策を考えることができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP6	社会や教育上の諸問題を 発見・理解し、解決のための方策を見いだすことができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP7	研究と修養を継続的に行う意思を有し、 自律的かつ主体的に取り組むことができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP8	地域社会の動向や教育事情をよく理解し、教育者として 幼児・児童・生徒はもとより地域社会に貢献する高い志を持つことができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP9	高い倫理観と正義感を持つことができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP10	読解、要約、まとめ、発表などの基本的なスタディスキル を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP11	教員等に求められる コミュニケーション力 や表現力を身に付けている。また、今日的な 情報処理に関するスキル を有し、 情報の明確な受発信 ができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP12	多様な価値観を理解して、適切な行動をとることができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43

DP1	DP2	DP3	DP4
文化、歴史、教育、地理、生活、自然環境等について幅広い知識を身に付けている。	現代社会の諸問題の存在について、広く理解、教育者として社会に参画できる力を身に付けている。	教育学の体系的知識を身に付け、教育上の諸問題を踏まえつつ、 幼児・児童・生徒理解を深めることができる。	学修成果を状況に応じて 実践的に活用 することができる。
専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価	親しみやすさ 気配り 対人興味／共感・受容 多様性理解 人脈形成 信頼構築	実践行動 修正／調整 検証／改善
DP5	DP6	DP7	DP8
現代社会が抱える課題に対し、 学んだ知識を活用し、解決策を考えることができる。	社会や教育上の 諸問題を発見・理解し、解決のための方策を見いだすことができる。	研究と修養を継続的に行う意思を有し、 自律的かつ主体的に取り組むことができる。	地域社会の動向や教育事情をよく理解し、教育者として 幼児・児童・生徒はもとより地域社会に貢献する高い志を持つことができる。
情報収集力 情報分析力 課題発見力 構想力	情報収集 本質理解 原因追究	主体的行動 完遂 良い行動の習慣化	話しあう 意見を主張する 建設的・創造的な討議 意見の調整、交渉、説得
DP9	DP10	DP11	DP12
高い 倫理観と正義感 を持つことができる。	読解、要約、まとめ、発表などの基本的なスタディ・スキル を身に付けている。	教員等に求められる コミュニケーション力 や 表現力 を身に付けている。また、今日の 情報処理に関するリテラシー を有し、 情報の明確な受発信 ができる。	多様な価値観を理解して、 適切な行動をとることができる。
遵法性・社会性	言語処理能力	情報収集力 役割理解・連携行動 情報共有 相互支援 相談・指導・他者の動機づけ	親しみやすさ 気配り 対人興味／共感・受容 多様性理解 人脈形成 信頼構築

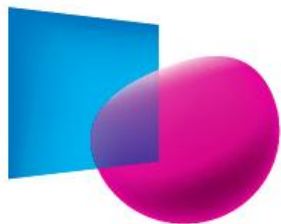


		N数	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
	教育学科1年次	134	3.43	2.92	3.28	2.79	2.81	2.52	2.78	3.04	3.31	3.43
	教育学科3年次	132	3.35	2.89	3.48	2.69	2.83	2.39	2.70	3.40	3.15	3.35
	私立大学3年 (教育系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.15	2.69	3.06	2.55	2.72	2.31	2.62	2.96	2.93	3.15

	N数	DP3						DP4			DP5						
		親しみやすさ	気配り	対人興味・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	実践行動	修正／調整	検証／改善	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力			
教育学科1年次	134	3.43	3.20	3.42	3.69	3.70	2.98	3.60	2.92	3.06	2.75	2.96	3.28	3.63	3.17	3.24	3.07
教育学科3年次	132	3.35	3.02	3.41	3.55	3.74	2.82	3.60	2.89	2.89	2.80	2.98	3.48	3.50	3.40	3.68	3.33
私立大学3年（教育系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	3.15	2.87	3.17	3.41	3.57	2.51	3.38	2.69	2.68	2.50	2.89	3.06	3.21	3.08	2.98	2.98

	N数	DP6			DP7			DP8				DP9				
		情報収集	本質理解	原因追究	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得	遵法性・社会性				
教育学科1年次	134	2.79	2.86	2.50	3.08	2.81	2.54	2.73	3.14	2.52	2.52	2.48	2.49	2.60	2.78	2.78
教育学科3年次	132	2.69	2.53	2.53	3.02	2.83	2.39	2.86	3.23	2.39	2.37	2.29	2.57	2.39	2.70	2.70
私立大学3年（教育系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.55	2.61	2.25	2.80	2.72	2.37	2.66	3.14	2.31	2.25	2.28	2.47	2.26	2.62	2.62

	N数	DP10		DP11					DP12							
		言語処理能力	情報収集力	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	親しみやすさ	気配り	対人興味・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築			
教育学科1年次	134	3.04	3.04	3.31	3.63	3.37	2.92	3.51	3.08	3.43	3.20	3.42	3.69	3.70	2.98	3.60
教育学科3年次	132	3.40	3.40	3.15	3.50	3.16	2.76	3.38	2.93	3.35	3.02	3.41	3.55	3.74	2.82	3.60
私立大学3年（教育系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.96	2.96	2.93	3.21	3.09	2.65	3.21	2.69	3.15	2.87	3.17	3.41	3.57	2.51	3.38



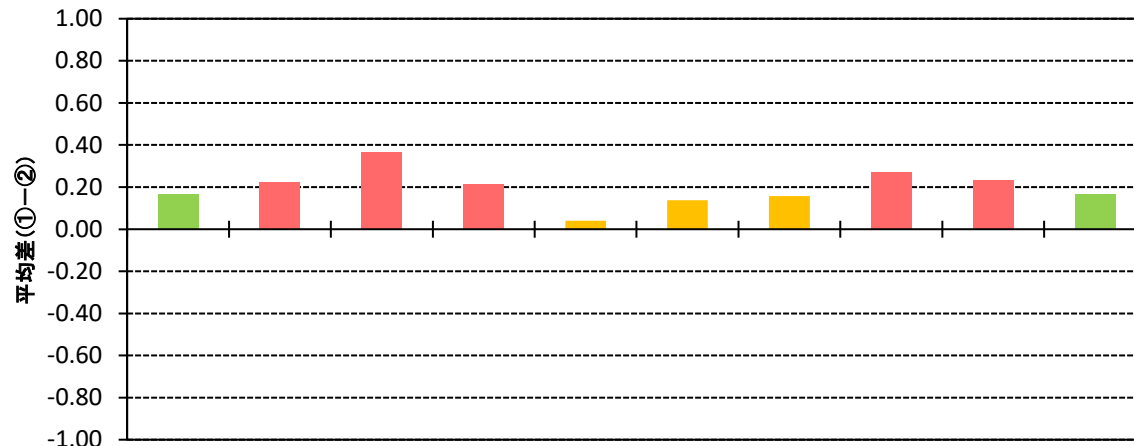
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-5 ディプロマポリシーの可視化 教育学科 (T検定)

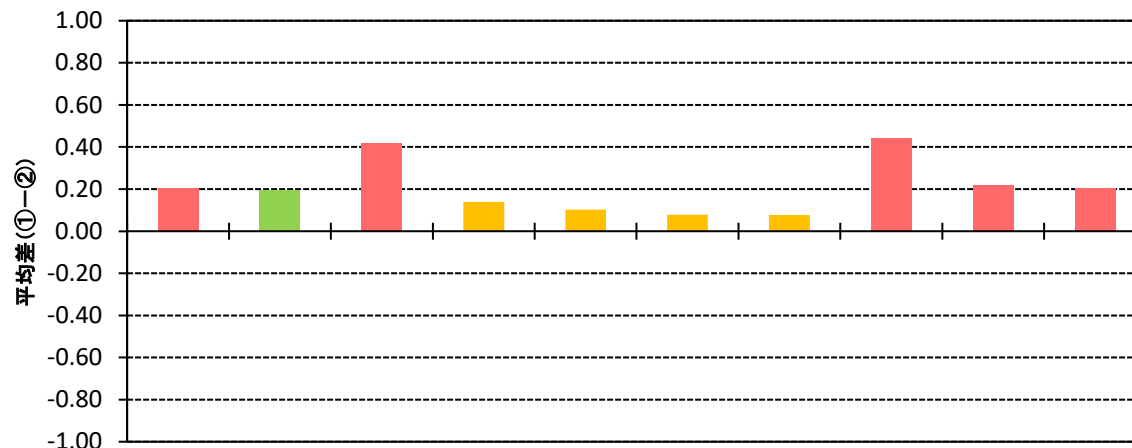
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

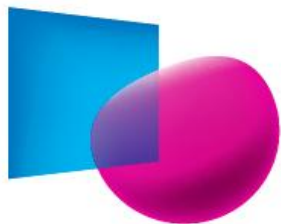


	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
①教育学科1年次	3.43	2.92	3.28	2.79	2.81	2.52	2.78	3.04	3.31	3.43
②私立大学1年 (教育系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.26	2.69	2.91	2.58	2.77	2.39	2.62	2.77	3.08	3.26
平均差 (①-②)	0.17	0.22	0.37	0.21	0.04	0.14	0.16	0.27	0.23	0.17
t検定 (P値)	0.02	0.01	0.00	0.01	0.63	0.11	0.17	0.00	0.00	0.02

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
①教育学科3年次	3.35	2.89	3.48	2.69	2.83	2.39	2.70	3.40	3.15	3.35
②私立大学3年(教育系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.15	2.69	3.06	2.55	2.72	2.31	2.62	2.96	2.93	3.15
平均差(①-②)	0.20	0.20	0.42	0.14	0.10	0.08	0.08	0.44	0.22	0.20
t検定(P値)	0.01	0.02	0.00	0.07	0.21	0.37	0.51	0.00	0.01	0.01



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

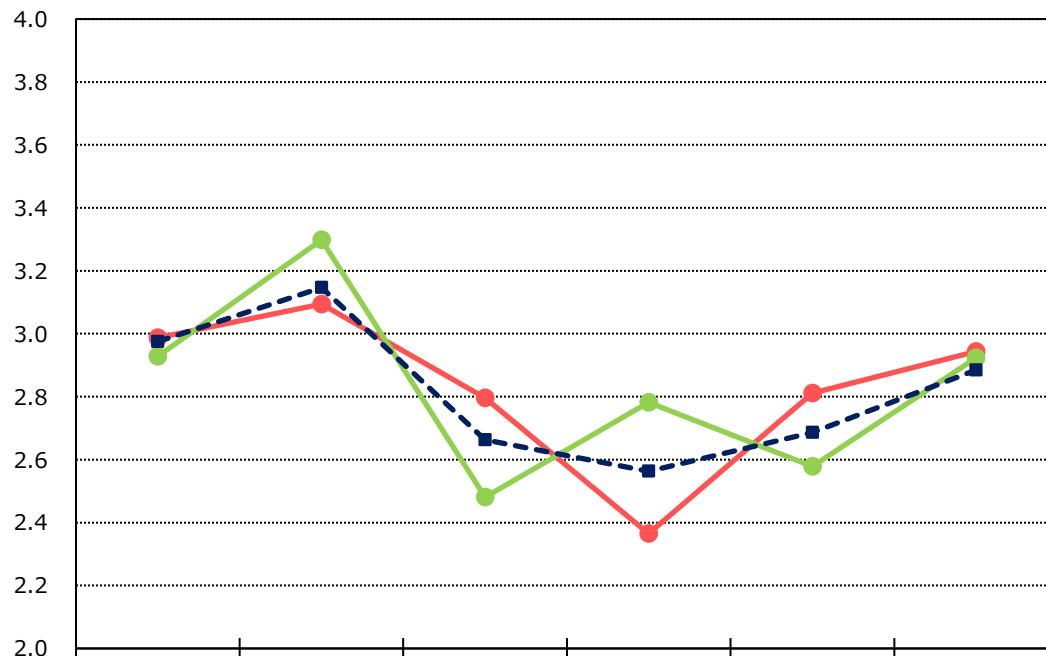
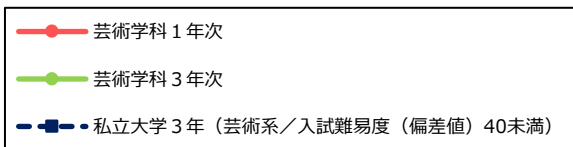
Part.13-6 ディプロマポリシーの可視化 芸術学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

		リテラシー		コンピテンシー																				PROG 非表示																					
				対人基礎力										対自己基礎力						対課題基礎力																									
				観和力			協働力			読解力				感情制御力		自信創出力		行動持続力		課題発見力		計画立案力				実践力																			
				情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解	情報共有	相互支援	相談・指導	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得			セルフアウェアネス	コーピング	マネジメント	ストレス	独自性理解	自己効力感・楽観性	学習視座による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善
DP1	豊かな人間性と芸術分野における幅広い知識を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP2	選択した分野の専門的知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																										43
DP3	芸術の多様な技能と豊かな表現能力を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																										43
DP4	豊かな表現能力・活用能力を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																										43
DP5	芸術の幅広い視点に基づき問題分析力・考察力・対応力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP6	問題解決に関する提案力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP7	芸術活動を通じた自己探求力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP8	社会における自分の役割を自覚する力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
DP9	社会における文化振興に貢献し、社会人としての使命感や責任感を持って行動する力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	

DP1	DP2	DP3	DP4
豊かな人間性と芸術分野における幅広い知識を身に付けている。	選択した分野の専門的知識を身に付けている。	芸術の多様な技能と豊かな表現能力を身に付けている。	豊かな表現能力・活用能力を身に付けている。
<p>親しみやすさ</p> <p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価

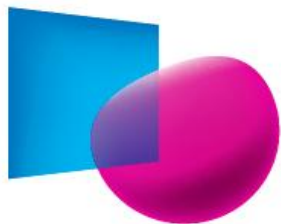
DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
芸術の幅広い視点に基づく問題分析力・考察力・対応力を身に付けている。	問題解決に関する提案力を身に付けている。	芸術活動を通じた自己探求力を身に付けている。	社会における自分の役割を自覚する力を身に付けている。	社会における文化振興に貢献し、社会人としての使命感や責任感を持って行動する力を身に付けている。
<p>情報収集力</p> <p>情報分析力</p> <p>課題発見力</p> <p>構想力</p>	<p>実践行動</p> <p>修正／調整</p> <p>検証／改善</p>	<p>独自性理解</p> <p>自己効力感／楽観性</p> <p>学習視点・機会による自己変革</p>	<p>役割理解・連携行動</p> <p>情報共有</p> <p>相互支援</p> <p>相談・指導・他者の動機づけ</p>	<p>主体的行動</p> <p>完遂</p> <p>良い行動の習慣化</p>



		N数	DP1	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
	芸術学科1年次	53	2.99	3.09	2.80	2.36	2.81	2.94
	芸術学科3年次	52	2.93	3.30	2.48	2.78	2.58	2.92
	私立大学3年 (芸術系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.98	3.15	2.66	2.56	2.69	2.88

	N数	DP1						DP5				DP6					
		親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	実践行動	修正／調整	検証／改善			
芸術学科 1 年次	53	2.99	2.89	2.74	3.30	3.33	2.57	3.11	3.09	3.49	2.83	2.98	3.08	2.80	2.79	2.55	3.04
芸術学科 3 年次	52	2.93	3.00	2.69	3.08	3.66	2.38	2.88	3.30	3.75	3.08	3.21	3.15	2.48	2.65	1.94	2.88
私立大学 3 年（芸術系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.98	2.79	2.90	3.17	3.48	2.42	3.13	3.15	3.35	3.18	3.00	3.06	2.66	2.58	2.45	2.96

	N数	DP7			DP8				DP9					
		独自性理解	自己効力感／樂觀性	学習視点・機会による自己変革	役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化			
芸術学科 1 年次	53	2.36	2.51	2.25	2.34	2.81	3.25	2.60	2.94	2.43	2.94	2.45	3.19	3.19
芸術学科 3 年次	52	2.78	3.15	2.75	2.39	2.58	2.56	2.71	2.58	2.47	2.92	2.79	2.92	3.06
私立大学 3 年（芸術系／入試難易度（偏差値）40未満）	-	2.56	2.70	2.51	2.47	2.69	2.77	2.54	2.89	2.55	2.88	2.44	2.99	3.22



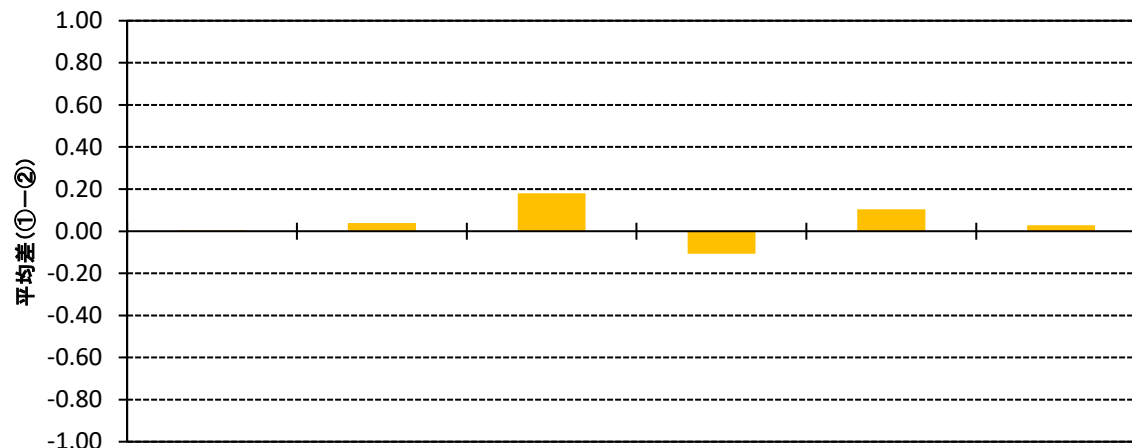
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-6 ディプロマポリシーの可視化 芸術学科 (T検定)

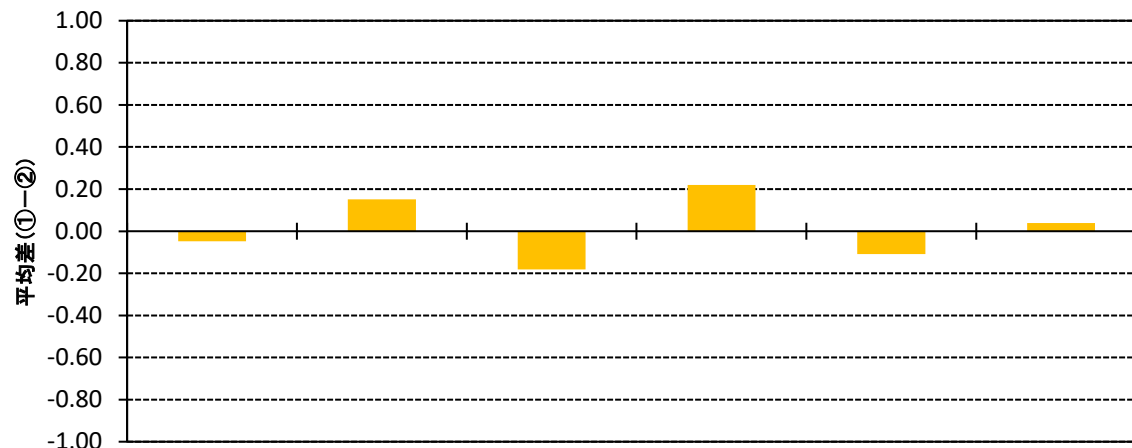
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

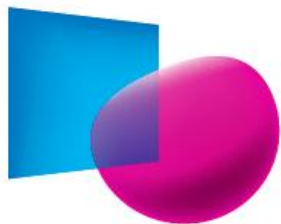


	DP1	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
①芸術学科1年次	2.99	3.09	2.80	2.36	2.81	2.94
②私立大学1年 (芸術系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	2.98	3.06	2.62	2.47	2.71	2.91
平均差 (①-②)	0.01	0.04	0.18	-0.11	0.10	0.03
t検定 (P値)	0.96	0.74	0.17	0.38	0.46	0.82

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
①芸術学科3年次	2.93	3.30	2.48	2.78	2.58	2.92
②私立大学3年(芸術系/入試難易度(偏差値)40未満)	2.98	3.15	2.66	2.56	2.69	2.88
平均差(①-②)	-0.05	0.15	-0.18	0.22	-0.11	0.04
t検定(P値)	0.70	0.23	0.18	0.08	0.46	0.77



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-7

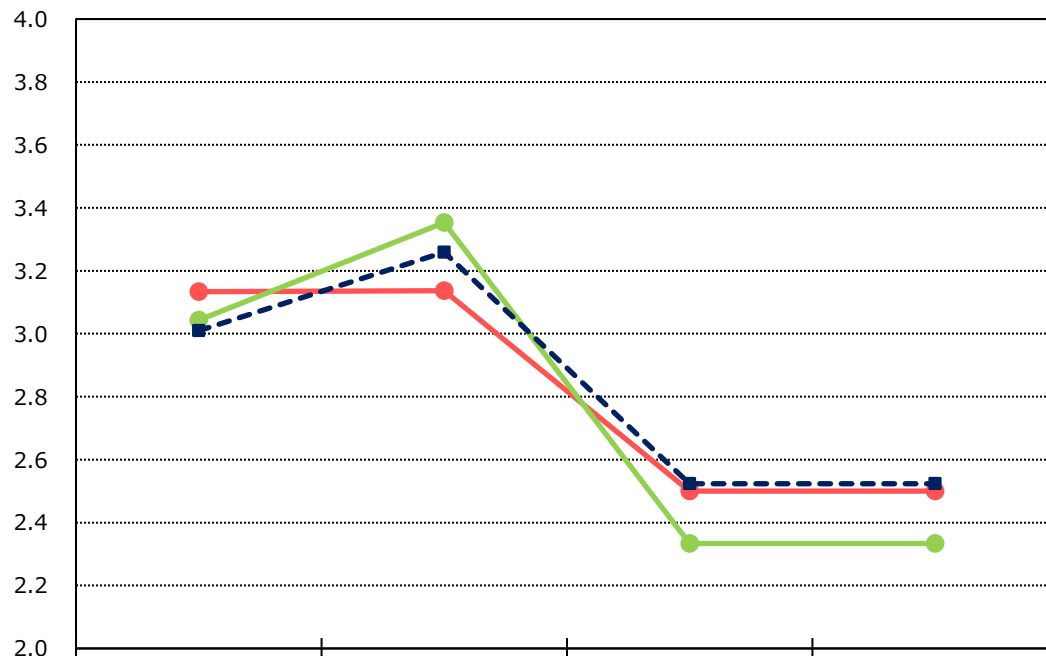
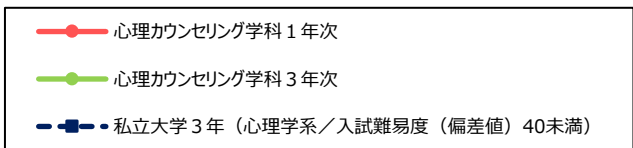
ディプロマポリシーの可視化 心理カウンセリング学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

	リテラシー	コンピテンシー																																										
		対人基礎力												対自己基礎力										対課題基礎力										PROG 非表示										
		観和力				協働力				統率力				感情制御力			自信創出力			行動持続力				課題発見力			計画立案力				実践力			適法性	創造的思考力									
		情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解	情報共有	相互支援	相談・指導	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	ストレスマネジメント	独自性理解	自己効力感・楽観性	学習視点を自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準拠	柔軟性・柔軟性・独創性	新たな価値の創造
DP1	豊かな人間性と社会人としての幅広い教養を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP2	心理学及び精神保健福祉学における基礎的知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43	
DP3	心理学及び精神保健福祉学に基づく対人援助の方法に関する知識を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43	
DP4	自ら考え、設定した課題について、心理学及び精神保健福祉学の知識を活用し、現代社会が抱える諸問題への解決方法について考察できる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP5	心のケアや生活支援に関心をもち、その実践に取り組み意欲を持っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP6	自分自身の心のあかたを分析し、対人援助に役立てる意欲を持っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP7	対人援助の総合的アプローチとしてのカウンセリングの素養を身に付け、地域住民が心豊かに暮らすことに貢献できる。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																								43	

DP1	DP2	DP3
豊かな人間性と社会人としての幅広い教養を身に付けている。	心理学及び精神保健福祉学における基礎的知識を身に付けている。	心理学及び精神保健福祉学に基づく対人援助の方法に関する知識を身に付けている。
<p>親しみやすさ</p> <p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価</p>

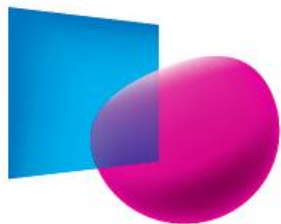
DP4	DP5	DP6	DP7
自ら考え、設定した課題について、心理学及び精神保健福祉学の知識を活用し、現代社会が抱える諸問題への解決方法について考察できる。	心のケアや生活支援に関心をもち、その実践に取り組む意欲を持っている。	自分自身の心のありかたを分析し、対人援助に役立てる意欲を持っている。	対人援助の総合的アプローチとしてのカウンセリングの素養を身に付け、地域住民が心豊かに暮らすことに貢献できる。
<p>情報収集力</p> <p>情報分析力</p> <p>課題発見力</p> <p>構想力</p>	<p>主体的行動</p> <p>完遂</p> <p>良い行動の習慣化</p>	<p>主体的行動</p> <p>完遂</p> <p>良い行動の習慣化</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得で評価</p>



	N数	DP1	DP4	DP5	DP6
心理カウンセリング学科 1 年次	64	3.13	3.14	2.50	2.50
心理カウンセリング学科 3 年次	46	3.04	3.35	2.33	2.33
私立大学 3 年 (心理学系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.01	3.26	2.52	2.52

	N数	DP1							DP4				
		親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力		
心理カウンセリング学科 1 年次	64	3.13	2.69	3.16	3.30	3.74	2.34	3.63	3.14	3.28	2.91	2.94	3.42
心理カウンセリング学科 3 年次	46	3.04	2.85	3.14	3.22	3.69	2.28	3.43	3.35	3.30	3.20	3.37	3.54
私立大学 3 年 (心理学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.01	2.63	2.94	3.34	3.71	2.22	3.24	3.26	3.46	3.22	3.17	3.19

	N数	DP5				DP6			
		主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化		
心理カウンセリング学科 1 年次	64	2.50	2.09	2.41	3.00	2.50	2.09	2.41	3.00
心理カウンセリング学科 3 年次	46	2.33	2.09	2.07	2.85	2.33	2.09	2.07	2.85
私立大学 3 年 (心理学系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.52	2.07	2.39	3.11	2.52	2.07	2.39	3.11



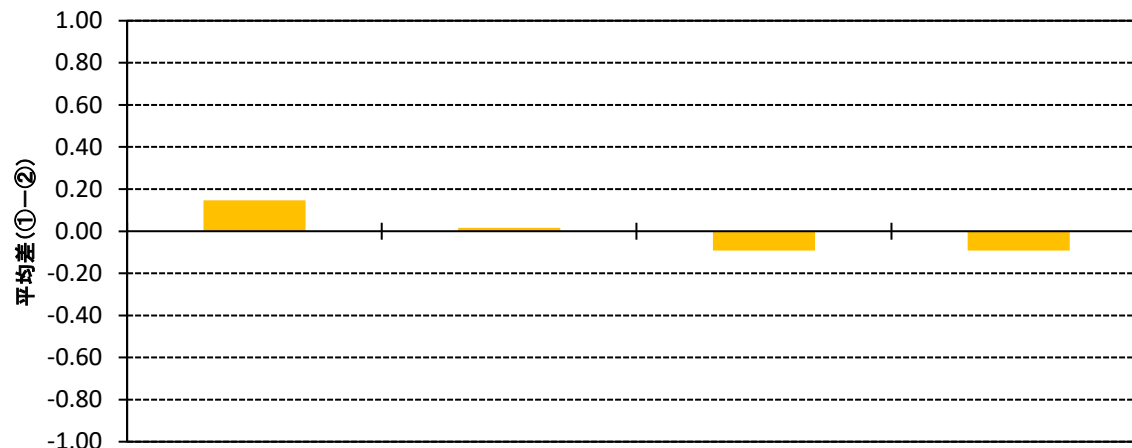
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-7 ディプロマポリシーの可視化 心理カウンセリング学科 (T検定)

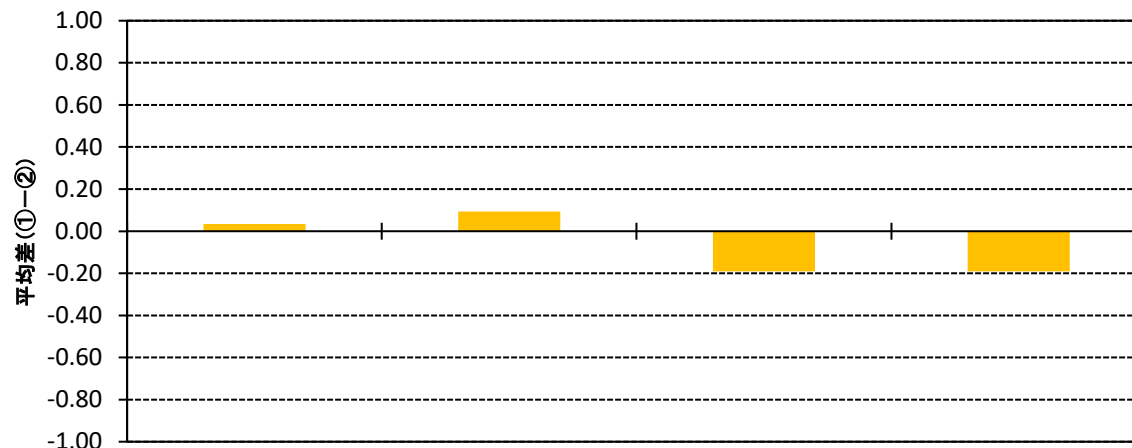
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

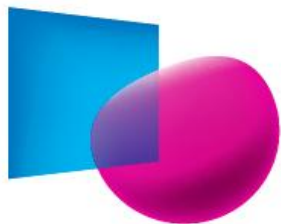


	DP1	DP4	DP5	DP6
①心理カウンセリング学科1年次	3.13	3.14	2.50	2.50
②私立大学1年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	2.99	3.12	2.59	2.59
平均差(①-②)	0.15	0.02	-0.09	-0.09
t検定(P値)	0.17	0.88	0.41	0.41

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP4	DP5	DP6
①心理カウンセリング学科3年次	3.04	3.35	2.33	2.33
②私立大学3年(心理学系/入試難易度(偏差値)40未満)	3.01	3.26	2.52	2.52
平均差(①-②)	0.03	0.09	-0.19	-0.19
t検定(P値)	0.79	0.44	0.15	0.15



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

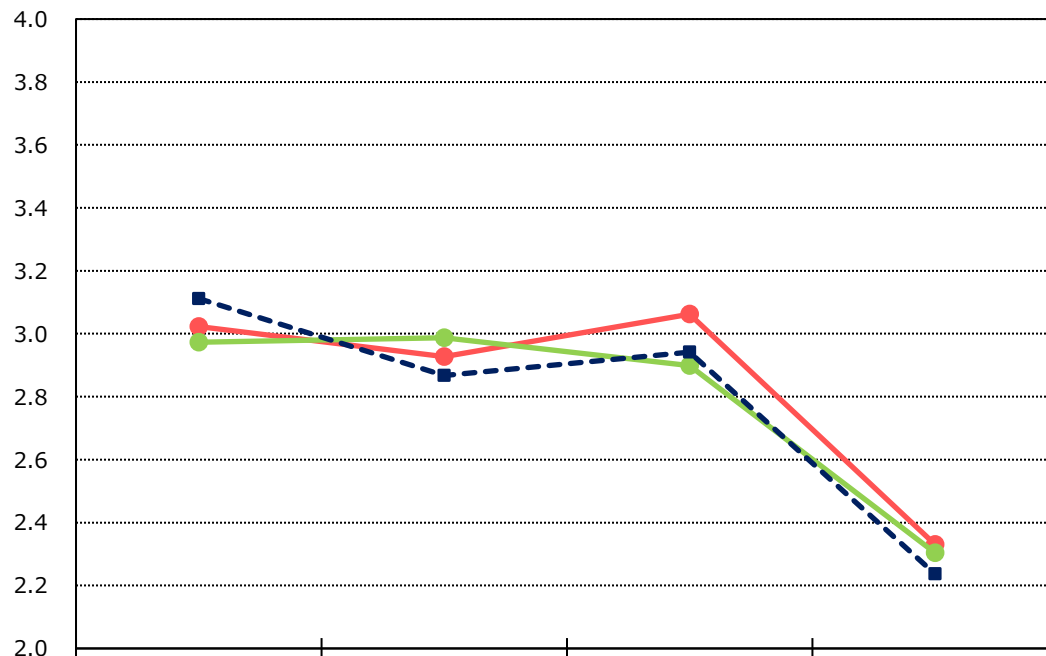
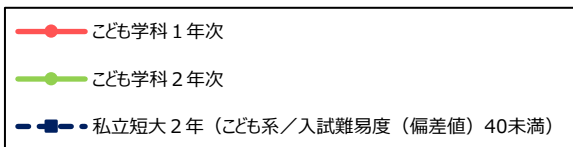
Part.13-8 ディプロマポリシーの可視化 短期大学部こども学科

基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

ディプロマポリシー	リテラシー	コンピテンシー																																										
		対人基礎力												対自己基礎力										対課題基礎力										PROG 非表示										
		観和力				協働力				読解力				感情制御力			自信創出力			行動持続力				課題発見力			計画立案力			実践力			適法性	創造的思考力										
		情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	親しみやすさ	気配り	共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	役割理解	情報共有	相互支援	相談・指導	話し合う	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整・交渉・説得	セルフアウェアネス	コーピング	マネジメント	ストレス	自己性理解	自己効力感・楽観性	学習視座による自己変革	主体的行動	完遂	良い行動の習慣化	情報収集	本質理解	原因追究	目標設定	シナリオ構築	計画評価	リスク分析	実践行動	修正・調整	検証・改善	適法性・社会性	自己準拠	流暢性・柔軟性・独創性
DP1	感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP2	保育・教育の分野及び保育、教育いずれかのコースでの専門的な学修を通して、保育者・教育者として社会に参加していくための実践的な知恵を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																									43
DP3	自らの生涯設計において課題を設定し、その課題を解決するために、専門的な分野での学修を過ごし、社会に役立てようとする考察を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP4	教育現場及び地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																									43
DP5	他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
DP6	保育者・教育者を目指す専門分野での学修を通し、高い職業的技術を身に付けている。	1	専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価																																									43
DP7	自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43

DP1	DP2	DP3
感性豊かな、魅力ある人間性を持ち、社会人としての幅広い教養を身に付けている。	保育・教育の分野及び保育、教育いずれかのコースでの専門的な学修を通して、保育者・教育者として社会に参加していくための実践的な知恵を身に付けている。	自らの生涯設計において課題を設定し、その課題を解決するために、専門的な分野での学修を生かし、社会に役立てようと考察することができる。
<p>親しみやすさ</p> <p>気配り</p> <p>対人興味／共感・受容</p> <p>多様性理解</p> <p>人脈形成</p> <p>信頼構築</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>情報収集力</p> <p>情報分析力</p> <p>課題発見力</p> <p>構想力</p>

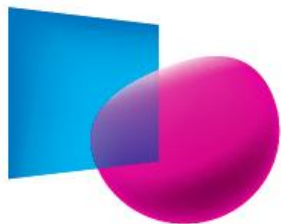
DP4	DP5	DP6	DP7
教育現場及び地域社会において、積極的に自身の学修成果を還元することができる。	他者を尊重し、共生社会の実現に寄与することができる。	保育者・教育者を目指す専門分野での学修を通し、高い職業的スキルを身に付けている。	自身の考えや立場を他者に伝え、他者との調整ができるコミュニケーション能力を身に付けている。
<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>役割理解・連携行動</p> <p>情報共有</p> <p>相互支援</p> <p>相談・指導・他者の動機づけ</p>	<p>専門科目成績や演習・実習・卒論・卒研・資格取得 で評価</p>	<p>話しあう</p> <p>意見を主張する</p> <p>建設的・創造的な討議</p> <p>意見の調整、交渉、説得</p>



		N数	DP1	DP3	DP5	DP7
	こども学科 1 年次	55	3.02	2.93	3.06	2.33
	こども学科 2 年次	59	2.97	2.99	2.90	2.30
	私立短大 2 年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.11	2.87	2.94	2.24

	N数	DP1						DP3					
		親しみやすさ	気配り	対人興味／共感・受容	多様性理解	人脈形成	信頼構築	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力		
こども学科 1年次	55	3.02	2.95	2.98	3.42	3.33	2.25	3.22	2.93	2.96	2.84	2.98	2.93
こども学科 2年次	59	2.97	2.85	2.97	3.72	3.09	2.34	2.93	2.99	3.02	2.95	3.15	2.83
私立短大 2年 (こども系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	3.11	2.88	3.11	3.51	3.47	2.49	3.23	2.87	3.00	2.80	2.87	2.80

	N数	DP5				DP7					
		役割理解・連携行動	情報共有	相互支援	相談・指導・他者の動機づけ	話しあう	意見を主張する	建設的・創造的な討議	意見の調整、交渉、説得		
こども学科 1年次	55	3.06	3.51	2.75	3.18	2.70	2.33	2.17	2.30	2.64	2.06
こども学科 2年次	59	2.90	3.25	2.71	3.03	2.54	2.30	2.05	2.24	2.49	2.38
私立短大 2年 (こども系／入試難易度 (偏差値) 40未満)	-	2.94	3.12	2.71	3.22	2.70	2.24	2.20	2.15	2.38	2.22



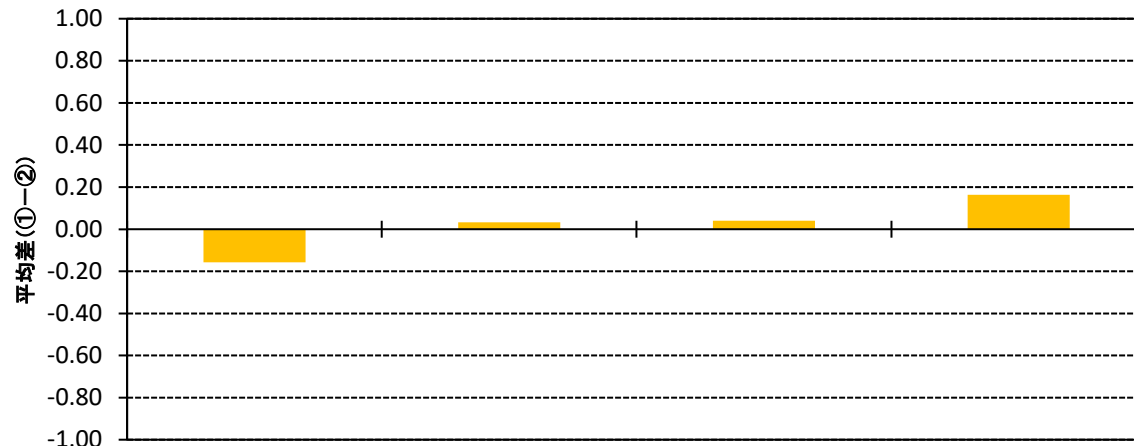
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

Part.13-8 ディプロマポリシーの可視化 短期大学部こども学科 (T検定)

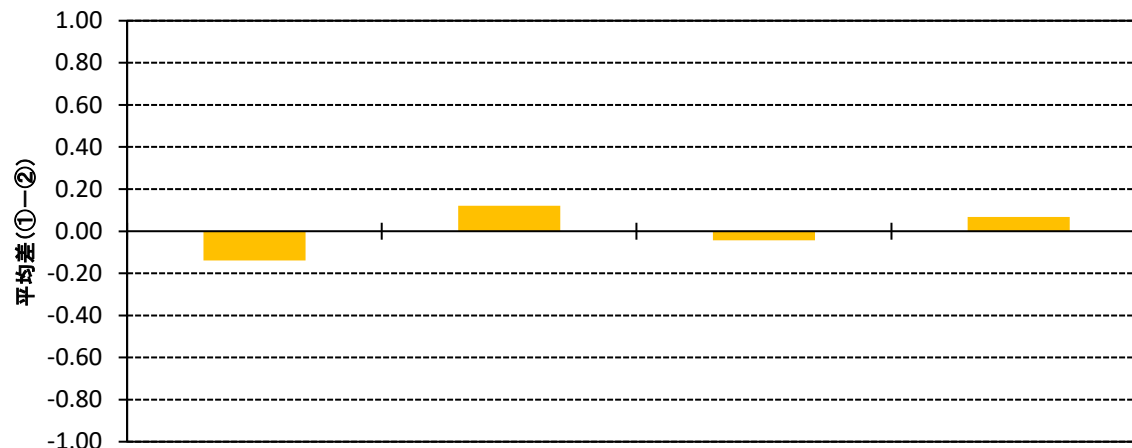
基準集団を、入試難易度(偏差値)を使用し抽出している場合、
入試難易度(偏差値)は河合塾から提供されたものを使用しています。
また、入試難易度(偏差値)は一般入試のみを対象としています。

■ ...1%有意
■ ...5%有意

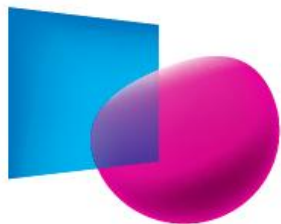


	DP1	DP3	DP5	DP7
①こども学科1年次	3.02	2.93	3.06	2.33
②私立短大1年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.18	2.89	3.02	2.17
平均差 (①-②)	-0.16	0.03	0.04	0.16
t検定 (P値)	0.16	0.74	0.76	0.19

■ ...1%有意
■ ...5%有意



	DP1	DP3	DP5	DP7
①こども学科2年次	2.97	2.99	2.90	2.30
②私立短大2年 (こども系/入試難易度 (偏差値) 40未満)	3.11	2.87	2.94	2.24
平均差 (①-②)	-0.14	0.12	-0.04	0.07
t検定 (P値)	0.21	0.28	0.74	0.59



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

**PROG分析報告書
学生アンケートと基礎力の関連分析
＜2025年度1年生＞**

- 調査対象：PROGとアンケートに回答した、1年生467名
- PROG受験時期：2025年4月～6月

●相関係数とは

2群のデータの関連性を示す指標のことで、 $-1.0 \sim 1.0$ の範囲に値を取り、1に近いほど関連性が強いといえます。一般的には0.5以上で強い相関、0.2以上で弱い相関があるとされています。

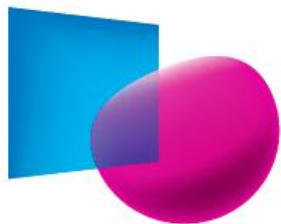
●有意確率とは

2群のデータの偏りが偶然生じる、たまたま得られたものであるという確率。0.05以下であれば5%有意とし、95%の確率で生じる確率ということになります。0.01以下であれば1%有意とし、99%の確率で生じる確率ということになります。

※各設問の加重平均値

設問	項目	点数
Q3. 部活・サークル活動について	1.とても熱心に取り組んでいる	3
	2.熱心に取り組んでいる	2
	3.あまり熱心には取り組んでいない	1
	4.所属していない	0
Q4. ボランティア活動について	1.とても熱心に取り組んでいる	3
	2.熱心に取り組んでいる	2
	3.あまり熱心には取り組んでいない	1
	4.ボランティア活動をしたことがない	0
Q5. アルバイトについて	1.とても熱心に取り組んでいる	3
	2.熱心に取り組んでいる	2
	3.あまり熱心には取り組んでいない	1
	4.アルバイトをしていない	0
Q6. 学費の支払いについて不安	1.全く不安はない	4
	2.あまり不安はない	3
	3.少し不安である	2
	4.とても不安である	1
Q7. あなたは卒業後の進路について現在の考え	1.はっきりとした考えがある	4
	2.これから考える	3
	3.考えているがはっきりとしていない	2
	4.まったく考えていない	1

設問	項目	点数
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。	1.とても楽しみだ	4
	2.まあ楽しみだ	3
	3.あまり楽しみでない	2
	4.全く楽しみでない	1
Q9. あなたは現在、全体として北翔大学に満足していますか。	1.大変満足している	4
	2.満足している	3
	3.あまり満足していない	2
	4.満足していない	1
Q10. 北翔大学の教育内容の満足度	1.大変満足している	4
	2.満足している	3
	3.あまり満足していない	2
	4.満足していない	1
Q11. 授業の取組度	1.とても熱心に取り組んでいる	4
	2.熱心に取り組んでいる	3
	3.あまり熱心に取り組んでいない	2
	4.熱心に取り組んでいない	1
Q13. 教員への親近感	1.とても感じている	4
	2.やや感じている	3
	3.あまり感じていない	2
	4.まったく感じない	1
Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。	1.とてもそう思う	4
	2.まあそう思う	3
	3.あまりそう思わない	2
	4.全くそう思わない	1



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

1. 基礎力関連分析 <1年生>

1-1. 基礎力スコアとの相関係数一覧

● 以下の+0.2以上の正の相関係数（有意確率5%未満）が認められた。

Q3. 部活・サークル活動について：對自己基礎力、感情制御力、自信創出力

Q7. 卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について：コンピテンシー総合、対人基礎力、對自己基礎力、親和力、協働力、自信創出力

Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。：コンピテンシー総合、對自己基礎力、感情制御力、自信創出力、行動持続力

相関係数<単年・1年生>

【全体】N=467 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は1%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

0.2以上
0.3未満

0.3以上
0.35未満

0.35以上

	リテラシー							コンピテンシー												
	総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想力	言語 処理能力	非言語 処理能力	総合	対人 基礎力	對自己 基礎力	対課題 基礎力	対人基礎力			對自己基礎力			対課題基礎力		
												親和力	協働力	統率力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践力
Q3. 部活・サークル活動について	-0.14**	-0.19**	0.01	-0.03	-0.13**	-0.14**	0.01	0.19**	0.13**	0.24**	0.11*	0.07	0.07	0.17**	0.22**	0.21**	0.14**	0.07	0.1*	0.1*
Q4. ボランティア活動について	-0.05	-0.08	0.03	-0.04	0.02	-0.08	-0.06	0.15**	0.17**	0.15**	0.08	0.12**	0.15**	0.12**	0.16**	0.13**	0.08	0.06	0.06	0.07
Q5. アルバイトについて	-0.07	-0.11*	0.06	-0.01	-0.18**	0.01	-0.1*	0.17**	0.15**	0.15**	0.04	0.09	0.15**	0.14**	0.15**	0.1*	0.17**	0.04	0.04	0.03
Q6. 学費の支払いについて不安	-0.05	-0.05	0.03	-0.05	-0.03	0.02	-0.04	0.09	0.09	0.11*	0.00	0.04	0.03	0.14**	0.08	0.08	0.14**	0.02	-0.02	-0.03
Q7. 卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について	0.07	0.05	0.09*	0.02	-0.01	0.09	0.06	0.23**	0.21**	0.22**	0.15**	0.23**	0.22**	0.11*	0.13**	0.23**	0.14**	0.14**	0.08	0.11*
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。	-0.02	0.02	0.07	-0.02	-0.04	0.01	0.05	0.27**	0.19**	0.31**	0.15**	0.16**	0.16**	0.16**	0.22**	0.28**	0.24**	0.19**	0.09	0.1*
Q9. 現在の北翔大学・北翔大学短期大学の満足度	-0.07	-0.02	-0.06	-0.13**	0.02	-0.02	-0.03	0.13**	0.11*	0.12**	0.07	0.11*	0.11*	0.03	0.09*	0.14**	0.09	0.13**	0.02	0.00
Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学の教育内容の満足度	-0.03	-0.02	-0.05	-0.04	0.04	0.03	-0.01	0.1*	0.08	0.09	0.12**	0.06	0.09	-0.01	0.11*	0.1*	0.05	0.14**	0.08	0.00
Q11. 授業の取組度	0.02	0.06	0.00	0.05	-0.03	0.00	0.09	0.12*	0.1*	0.14**	0.08	0.1*	0.1*	0.07	0.08	0.13**	0.12*	0.09	0.04	0.05
Q13. 教員への親近感	0.08	0.09	0.04	0.05	0.06	0.05	0.00	0.13**	0.14**	0.1*	0.1*	0.12*	0.18**	0.06	0.05	0.08	0.15**	0.13**	0.06	0.02
Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていく上で必要な能力向上に繋がる	0.05	0.05	0.01	0.04	0.03	0.03	0.03	0.09	0.1*	0.1*	0.04	0.13**	0.11*	-0.04	0.06	0.11*	0.03	0.06	0.01	0.07

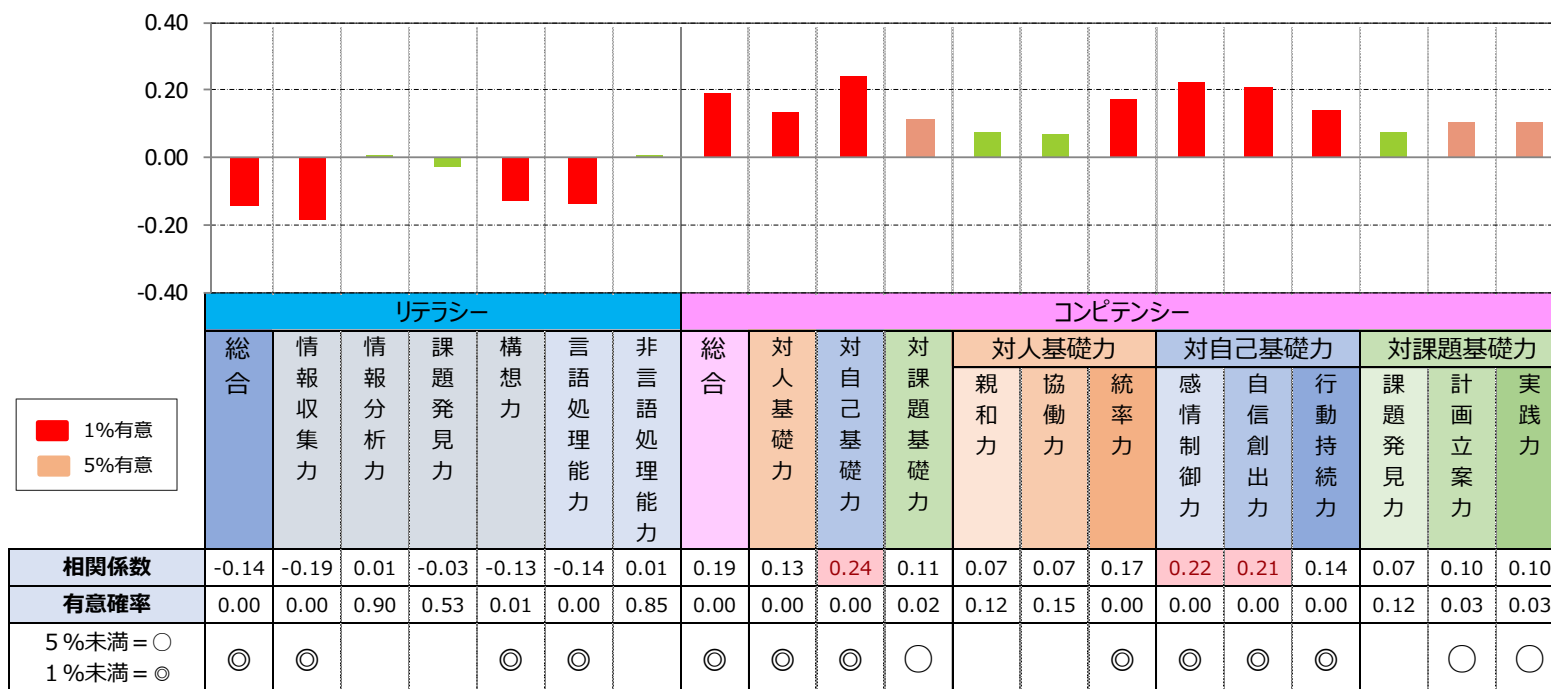
1-2. 基礎力スコアとの相関係数グラフ

●以下の+0.2以上の正の相関関係（有意確率5%未満）が認められた。

Q3. 部活・サークル活動について：對自己基礎力、感情制御力、自信創出力

■基礎力との相関【Q3. 部活・サークル活動について】

(n=467 *ただし無回答は除く)



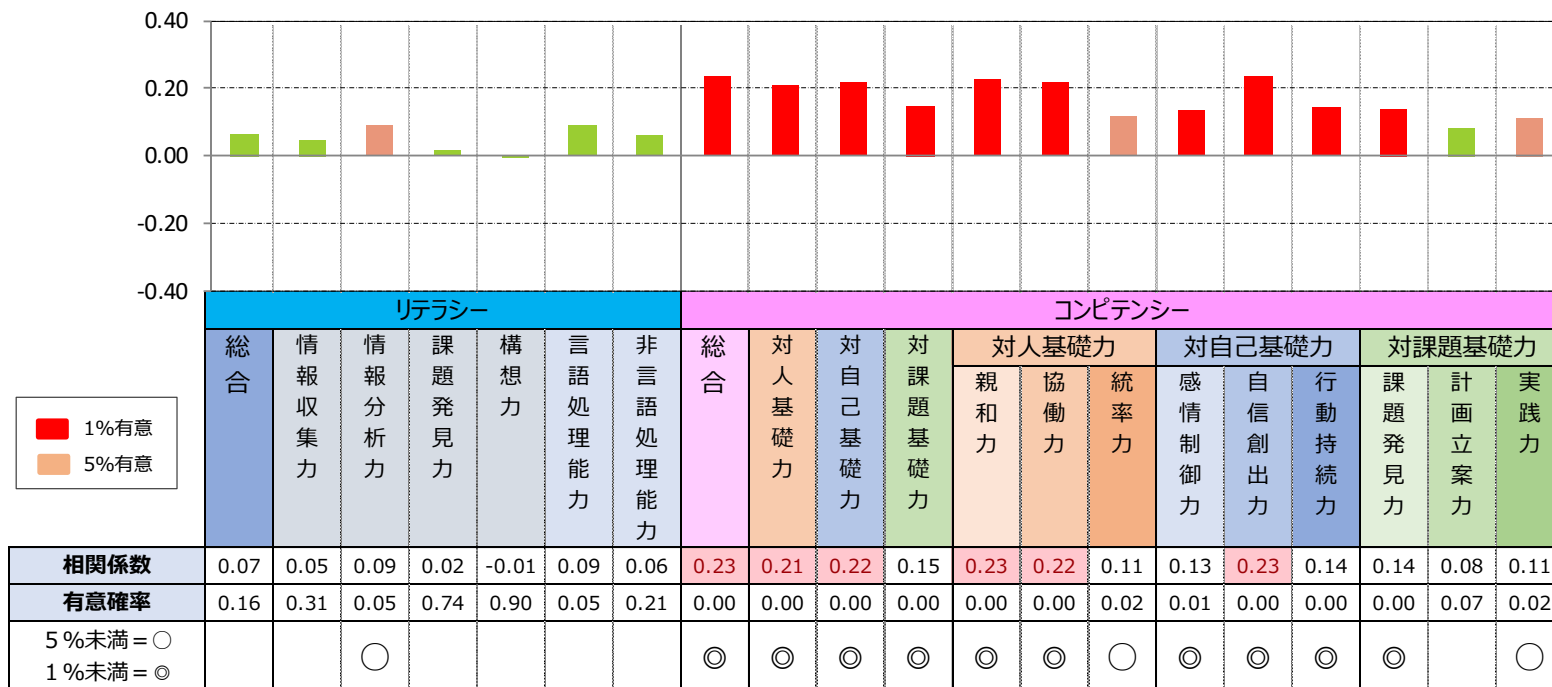
1-2. 基礎力スコアとの相関係数グラフ

●以下の+0.2以上の正の相関関係（有意確率5%未満）が認められた。

Q7. 卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について：コンピテンシー総合、対人基礎力、對自己基礎力、親和力、協働力、自信創出力

■基礎力との相関【Q7. 卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について】

(n=467 *ただし無回答は除く)



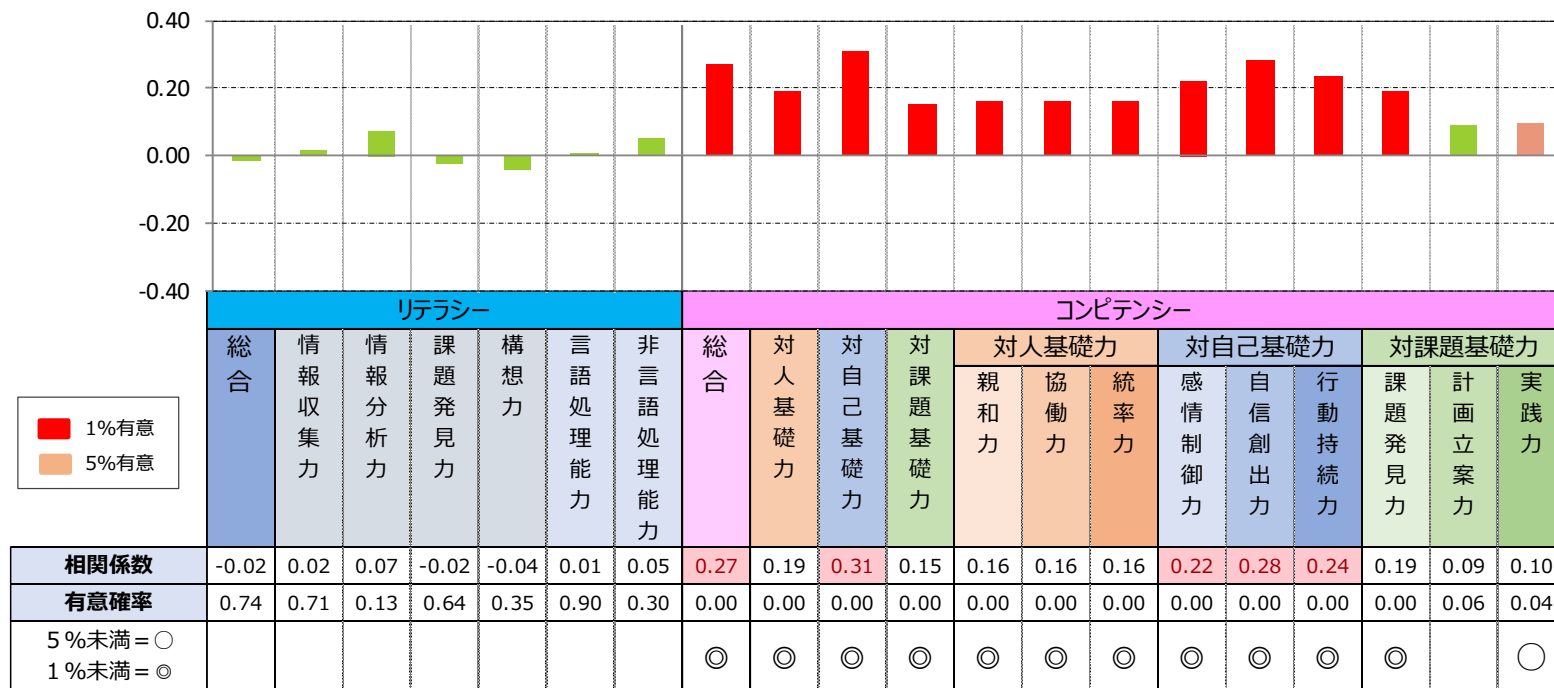
1-2. 基礎力スコアとの相関係数グラフ

●以下の+0.2以上の正の相関関係（有意確率5%未満）が認められた。

Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。：コンピテンシー総合、對自己基礎力、感情制御力、自信創出力、行動持続力

■基礎力との相関【Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。】

(n=467 *ただし無回答は除く)



1-3. 基礎力の回答別平均値一覧

- 『入試形式』をみると、「【2021年度以降の入学生】一般入試」と回答した学生は、リテラシー総合は高いが、対人基礎力と對自己基礎力が低い傾向にある。また、「【2021年度以降の入学生】共通テスト利用入試」と回答した学生は、リテラシーが高い傾向にある。更に対課題基礎力(課題発見力)も高い。
- 『授業以外に一日平均学習時間』をみると、「2時間~3時間」と回答した学生は、リテラシー総合、情報収集力、対課題基礎力(実践力)が高い。

N≥10の場合 : 全体+0.5以上
全体-0.5以下

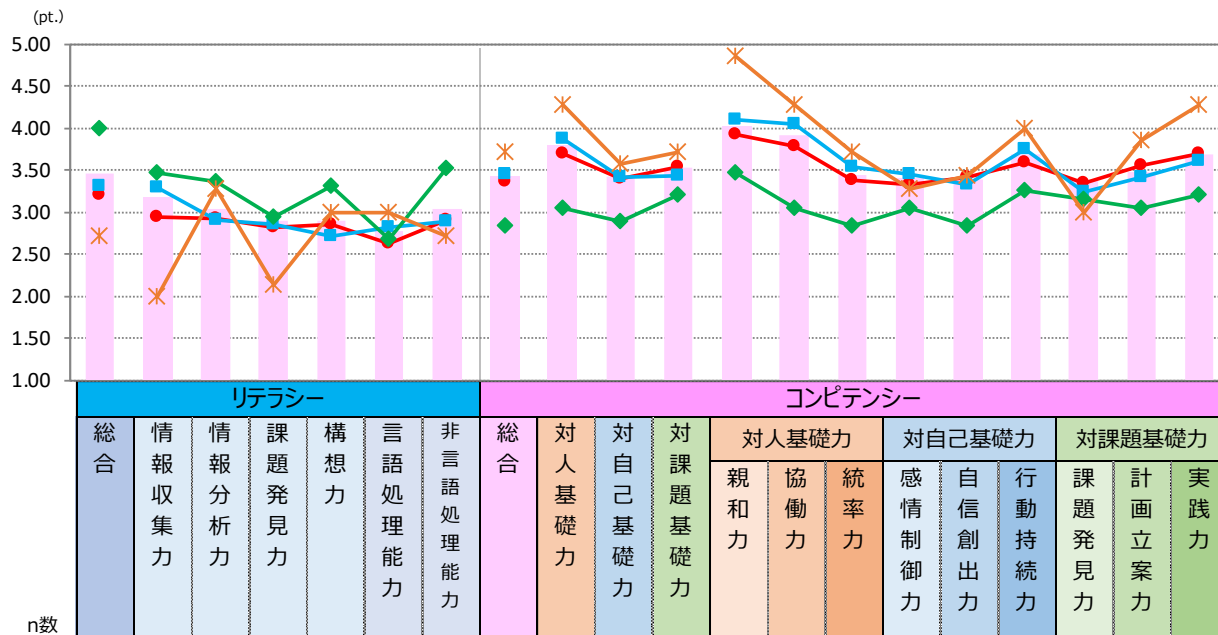
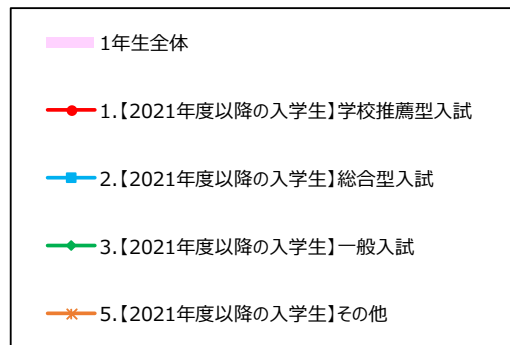
設問	選択肢	N数	リテラシー								コンピテンシー											
			総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	総合	対人基礎力	對自己基礎力	対課題基礎力	対人基礎力			對自己基礎力			対課題基礎力		
														親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
	全体	467	3.45	3.17	3.05	2.90	2.90	2.78	3.04	3.43	3.80	3.44	3.54	4.03	3.92	3.45	3.40	3.39	3.70	3.38	3.49	3.68
Q1. 入試形式について【2021(令和3)年度以降入学生】	1.【2021年度以降の入学生】学校推薦型入試	224	3.21	2.95	2.92	2.82	2.85	2.63	2.91	3.36	3.70	3.41	3.55	3.94	3.80	3.38	3.33	3.42	3.60	3.35	3.57	3.70
	2.【2021年度以降の入学生】総合型入試	158	3.32	3.30	2.92	2.86	2.72	2.83	2.89	3.45	3.88	3.42	3.44	4.10	4.05	3.55	3.45	3.33	3.75	3.24	3.42	3.62
	3.【2021年度以降の入学生】一般入試	19	4.00	3.47	3.37	2.95	3.32	2.68	3.53	2.84	3.05	2.89	3.21	3.47	3.05	2.84	3.05	2.84	3.26	3.16	3.05	3.21
	4.【2021年度以降の入学生】共通テスト利用入試	59	4.64	3.73	3.76	3.36	3.44	3.19	3.83	3.78	4.17	3.74	3.86	4.29	4.28	3.62	3.67	3.66	4.07	4.02	3.47	3.88
	5.【2021年度以降の入学生】その他	7	2.71	2.00	3.29	2.14	3.00	3.00	2.71	3.71	4.29	3.57	3.71	4.86	4.29	3.71	3.29	3.43	4.00	3.00	3.86	4.29
	6.【2020年度以前の入学生】の方	0																				
Q2. 入試形式について【2020(令和2)年度以前入学生】	1.【2020年度以前入学生】推薦入試	0																				
	2.【2020年度以前入学生】AO入試	0																				
	3.【2020年度以前入学生】一般入試	0																				
	4.【2020年度以前入学生】センター入試	0																				
	5.【2020年度以前入学生】その他	0																				
	6.【2021年度以降の入学生】の方はこちらにチェックし	467	3.45	3.17	3.05	2.90	2.90	2.78	3.04	3.43	3.80	3.44	3.54	4.03	3.92	3.45	3.40	3.39	3.70	3.38	3.49	3.68
Q14. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。	1. 3時間以上	5	2.60	3.20	3.20	2.00	1.80	1.80	3.20	4.60	5.40	4.20	3.80	5.00	5.20	5.20	5.00	4.20	4.20	4.00	4.20	3.20
	2. 2時間~3時間	20	4.10	3.75	3.50	3.15	3.05	2.75	2.95	3.50	3.70	3.40	4.15	4.00	3.75	3.75	3.15	3.40	3.55	3.80	3.90	4.30
	3. 1時間~2時間	70	3.66	3.39	3.01	2.94	3.19	2.79	3.04	3.21	3.63	3.01	3.55	3.93	3.69	3.36	3.07	3.06	3.42	3.63	3.42	3.61
	4. 1時間程度	191	3.57	3.22	3.11	3.01	2.91	2.80	3.09	3.50	3.91	3.50	3.73	4.23	4.03	3.38	3.50	3.43	3.69	3.41	3.67	3.85
	5. していない	181	3.20	2.98	2.94	2.76	2.79	2.77	2.99	3.39	3.72	3.51	3.26	3.84	3.87	3.47	3.41	3.46	3.82	3.20	3.26	3.48

1-4. 基礎力の回答別平均値グラフ

●『入試形式』をみると、「【2021年度以降の入学生】一般入試」と回答した学生は、リテラシー総合は高いが、対人基礎力と対自己基礎力(自信創出力)が低い傾向にある。また、「【2021年度以降の入学生】共通テスト利用入試」と回答した学生は、リテラシーが高い傾向にある。更に対課題基礎力(課題発見力)も高い。

■ 基礎力平均スコア比較

Q1. 入試形式について【2021(令和3)年度以降入学生】



n ≥ 10の場合

5.00 全体+0.5ポイント以上

5.00 全体-0.5ポイント以下

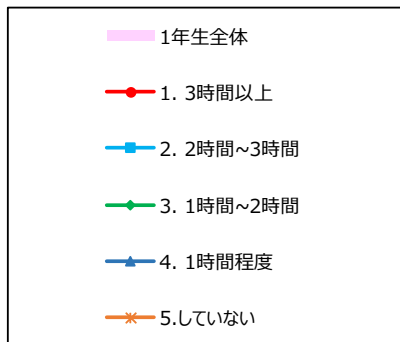
1年生全体	n数	総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
1年生全体	467	3.45	3.17	3.05	2.90	2.90	2.78	3.04	3.43	3.80	3.44	3.54	4.03	3.92	3.45	3.40	3.39	3.70	3.38	3.49	3.68
1.【2021年度以降の入学生】学校推薦型入試	224	3.21	2.95	2.92	2.82	2.85	2.63	2.91	3.36	3.70	3.41	3.55	3.94	3.80	3.38	3.33	3.42	3.60	3.35	3.57	3.70
2.【2021年度以降の入学生】総合型入試	158	3.32	3.30	2.92	2.86	2.72	2.83	2.89	3.45	3.88	3.42	3.44	4.10	4.05	3.55	3.45	3.33	3.75	3.24	3.42	3.62
3.【2021年度以降の入学生】一般入試	19	4.00	3.47	3.37	2.95	3.32	2.68	3.53	2.84	3.05	2.89	3.21	3.47	3.05	2.84	3.05	2.84	3.26	3.16	3.05	3.21
4.【2021年度以降の入学生】共通テスト利用入試	59	4.64	3.73	3.76	3.36	3.44	3.19	3.83	3.78	4.17	3.74	3.86	4.29	4.28	3.62	3.67	3.66	4.07	4.02	3.47	3.88
5.【2021年度以降の入学生】その他	7	2.71	2.00	3.29	2.14	3.00	3.00	2.71	3.71	4.29	3.57	3.71	4.86	4.29	3.71	3.29	3.43	4.00	3.00	3.86	4.29
6.【2020年度以前の入学生】の方	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

1-4. 基礎力の回答別平均値グラフ

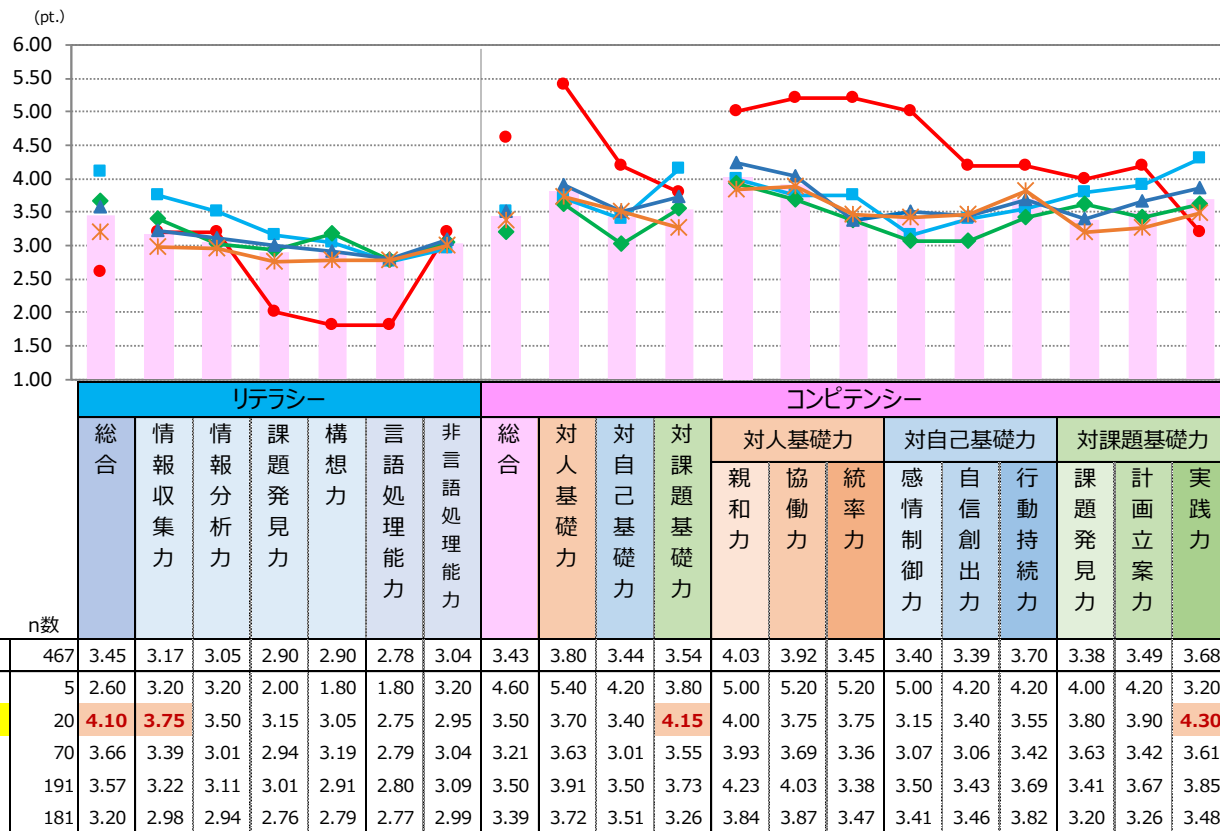
●『授業以外に一日平均学習時間』をみると、「2時間～3時間」と回答した学生は、リテラシー総合、情報収集力、対課題基礎力(実践力)が高い。

■ 基礎力平均スコア比較

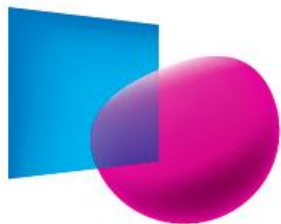


n≥10の場合	
5.00	全体+0.5ポイント以上
5.00	全体-0.5ポイント以下

Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。



※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

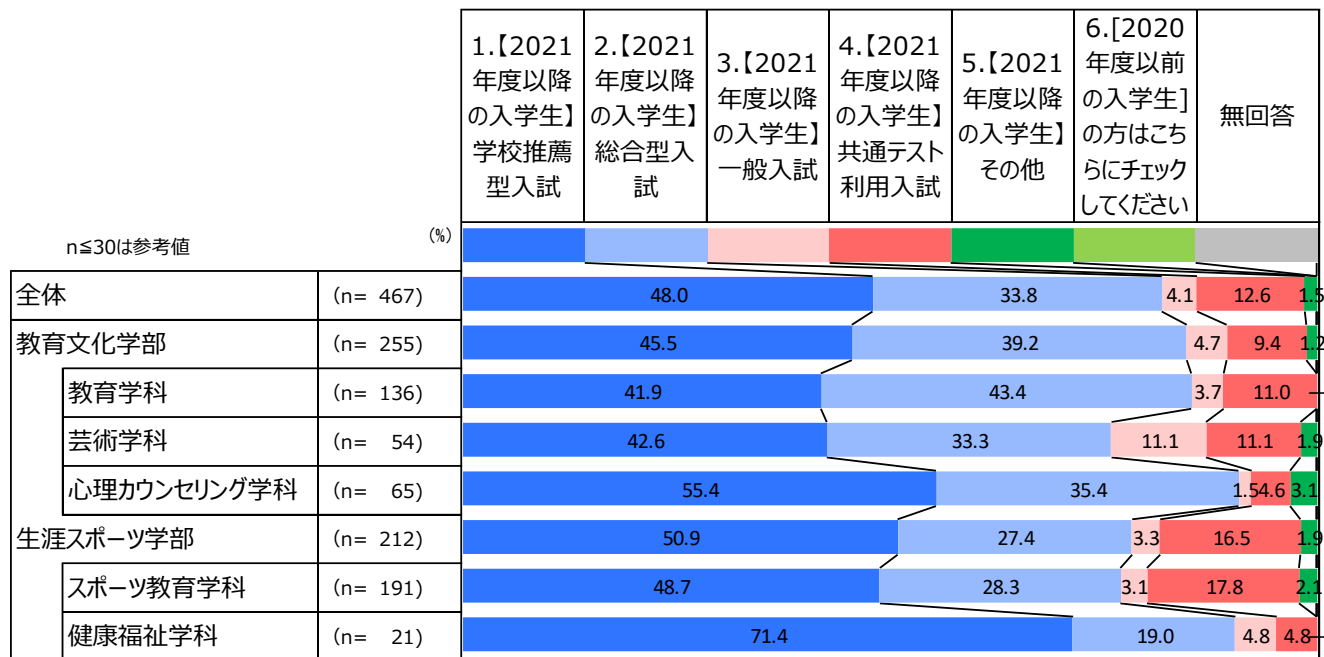


PROG

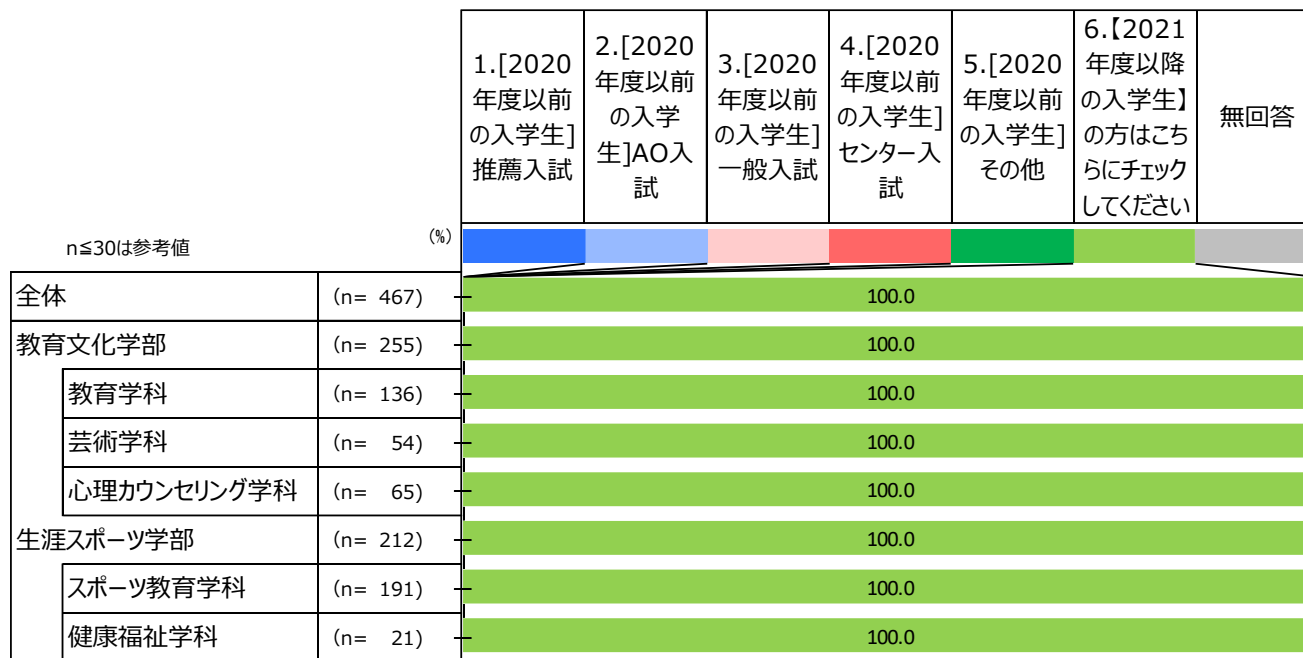
PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

2. アンケート集計

Q1. 入試形式について【2021(令和3)年度以降入学生】(全体/単一回答)

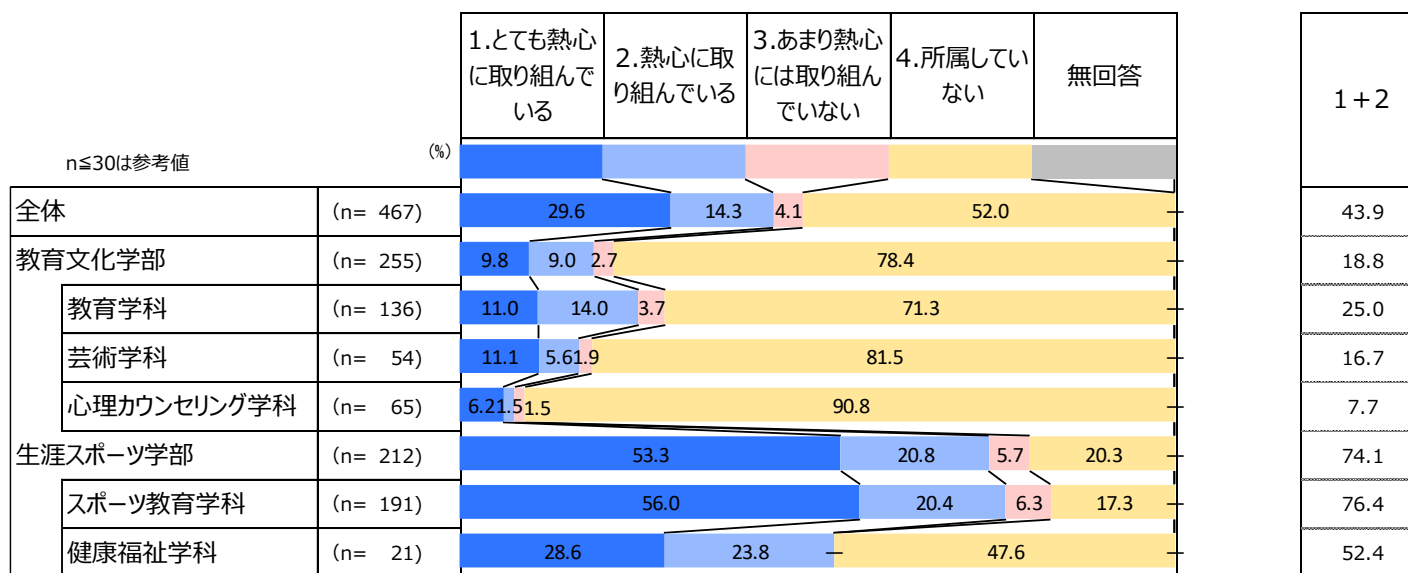


Q2. 入試形式について【2020(令和2)年度以前の入学生】（全体／単一回答）



2. アンケート集計

Q3. 部活・サークル活動について (全体/単一回答)

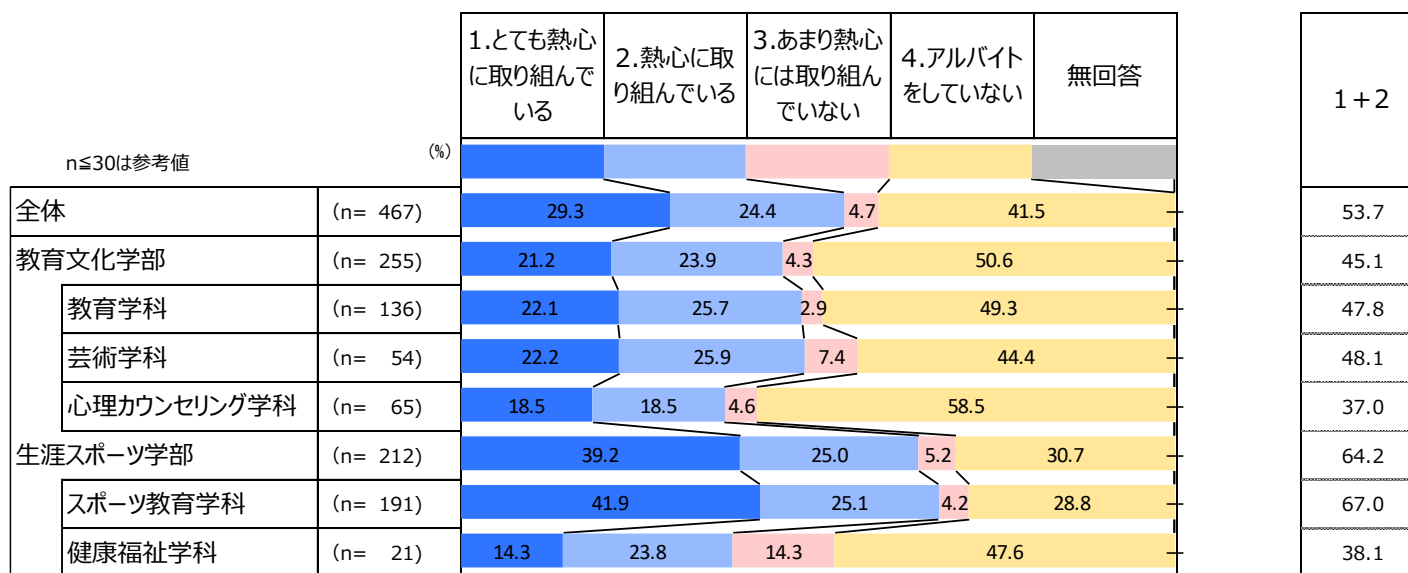


2. アンケート集計

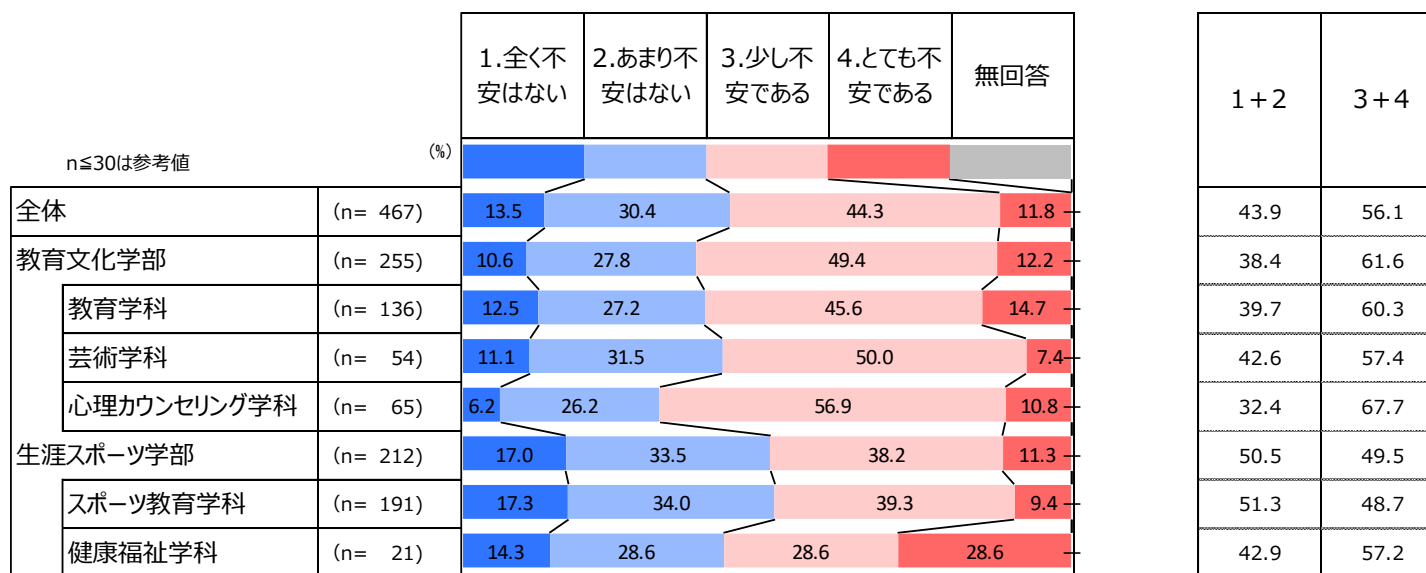
Q4. ボランティア活動について（全体／単一回答）

		1.とても熱心に取り組んでいる	2.熱心に取り組んでいる	3.あまり熱心には取り組んでいない	4.ボランティア活動をしたことがない	無回答	1 + 2
n ≤ 30は参考値		(%)					
全体	(n= 467)	9.2	14.8	31.5	44.5		24.0
教育文化学部	(n= 255)	6.7	15.3	25.5	52.5		22.0
教育学科	(n= 136)	9.6	17.6	23.5	49.3		27.2
芸術学科	(n= 54)	1.9	14.8	27.8	55.6		16.7
心理カウンセリング学科	(n= 65)	4.6	10.8	27.7	56.9		15.4
生涯スポーツ学部	(n= 212)	12.3	14.2	38.7	34.9		26.5
スポーツ教育学科	(n= 191)	12.6	15.2	37.7	34.6		27.8
健康福祉学科	(n= 21)	9.5	4.8	47.6	38.1		14.3

Q5. アルバイトについて (全体/単一回答)

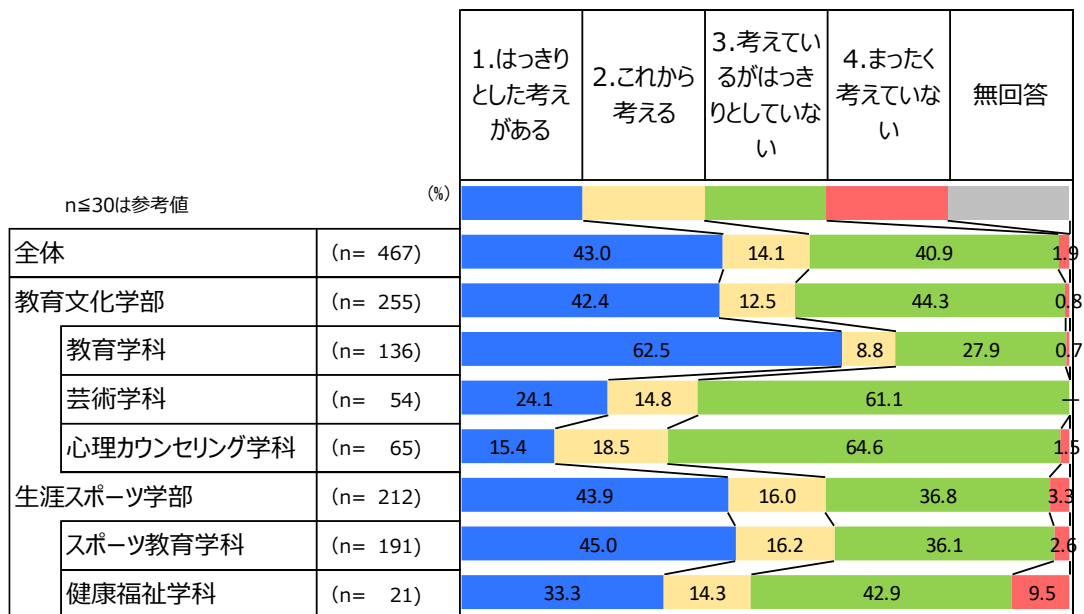


Q6. 学費の支払いについて不安（全体／単一回答）



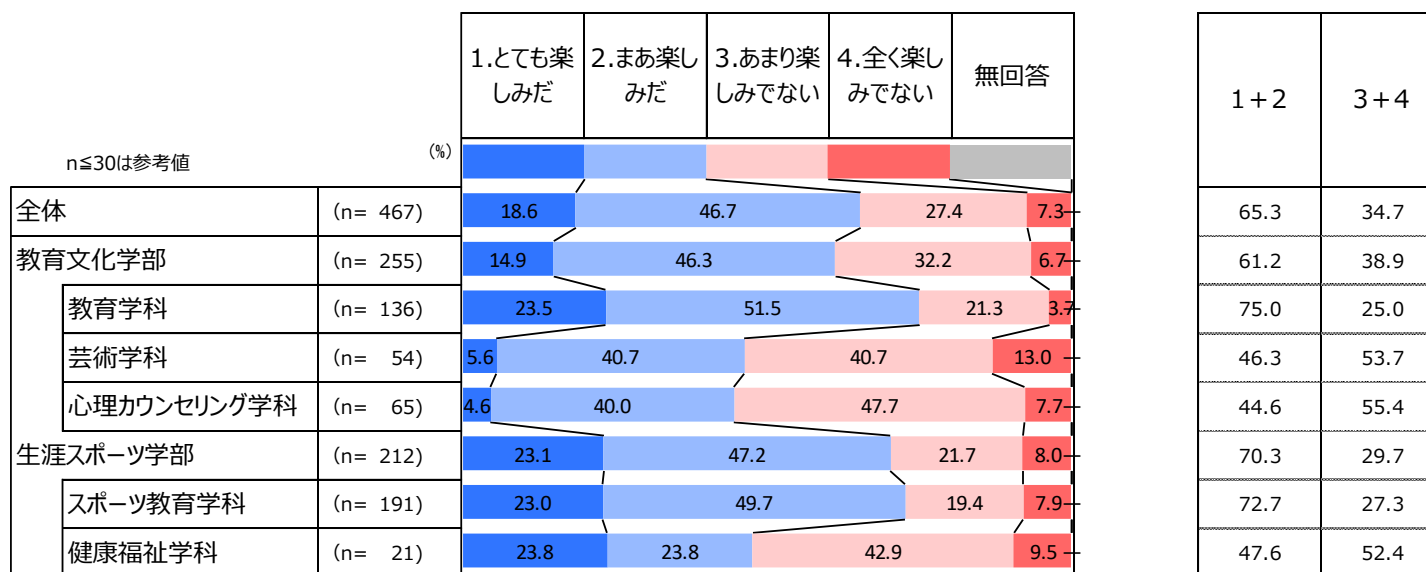
2. アンケート集計

Q7. 卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について（全体／単一回答）

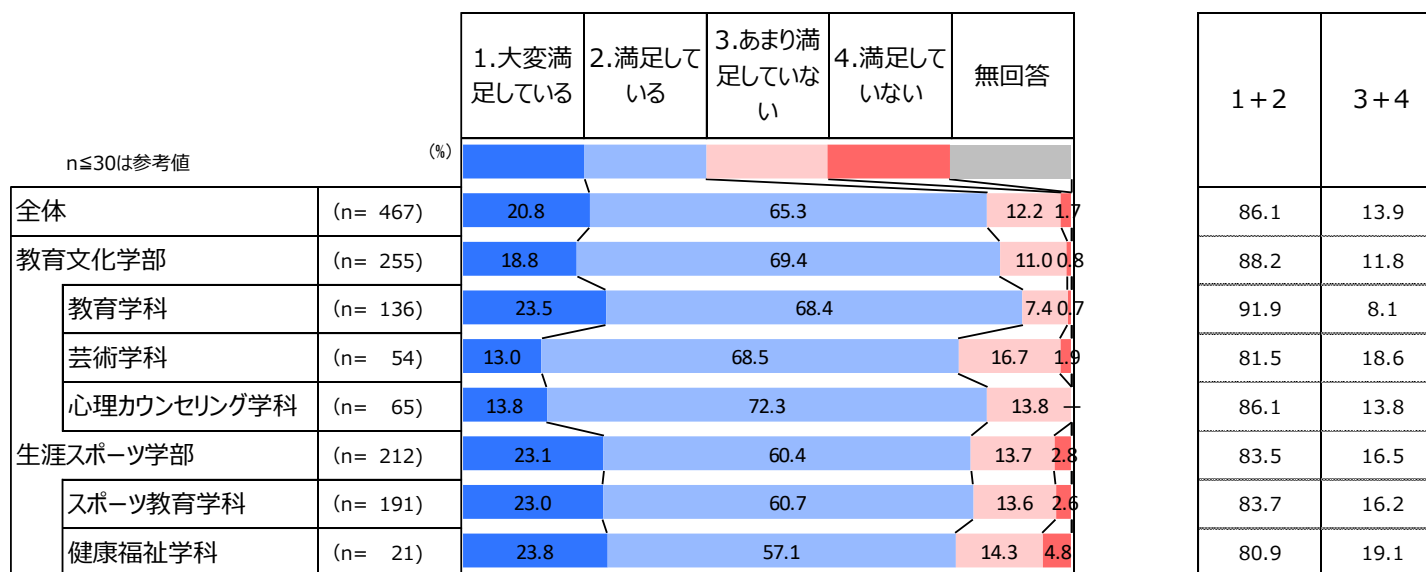


2. アンケート集計

Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。(全体/単一回答)

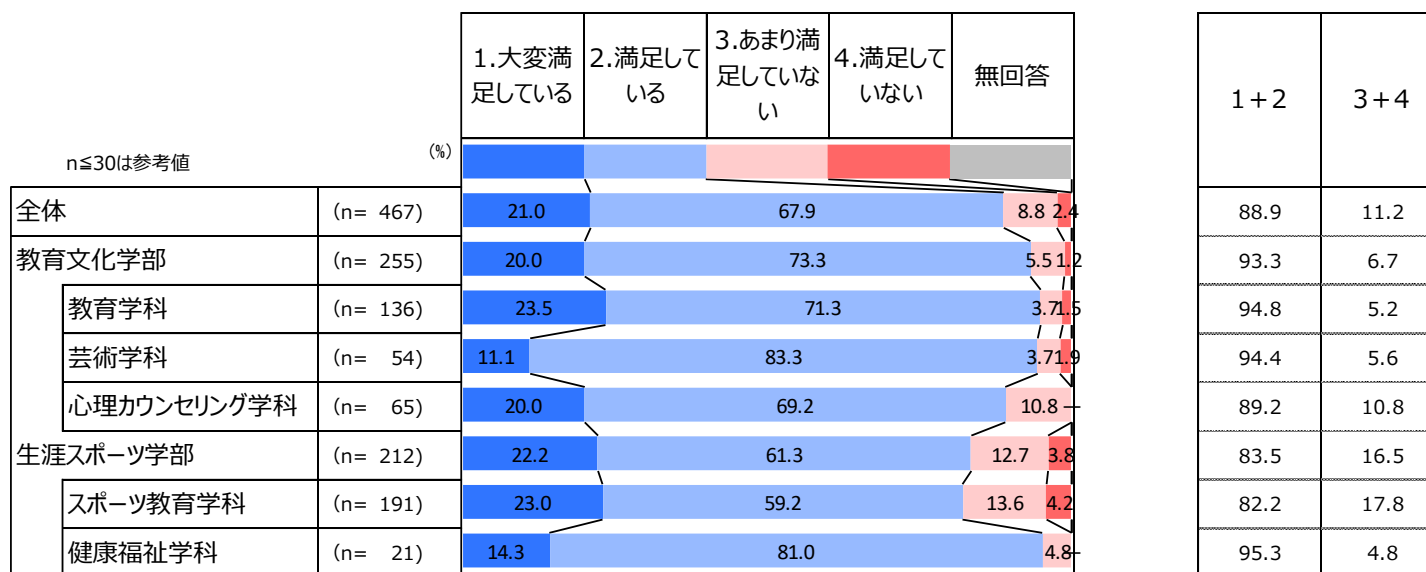


Q9. 現在の北翔大学・北翔大学短期大学部の満足度（全体／単一回答）



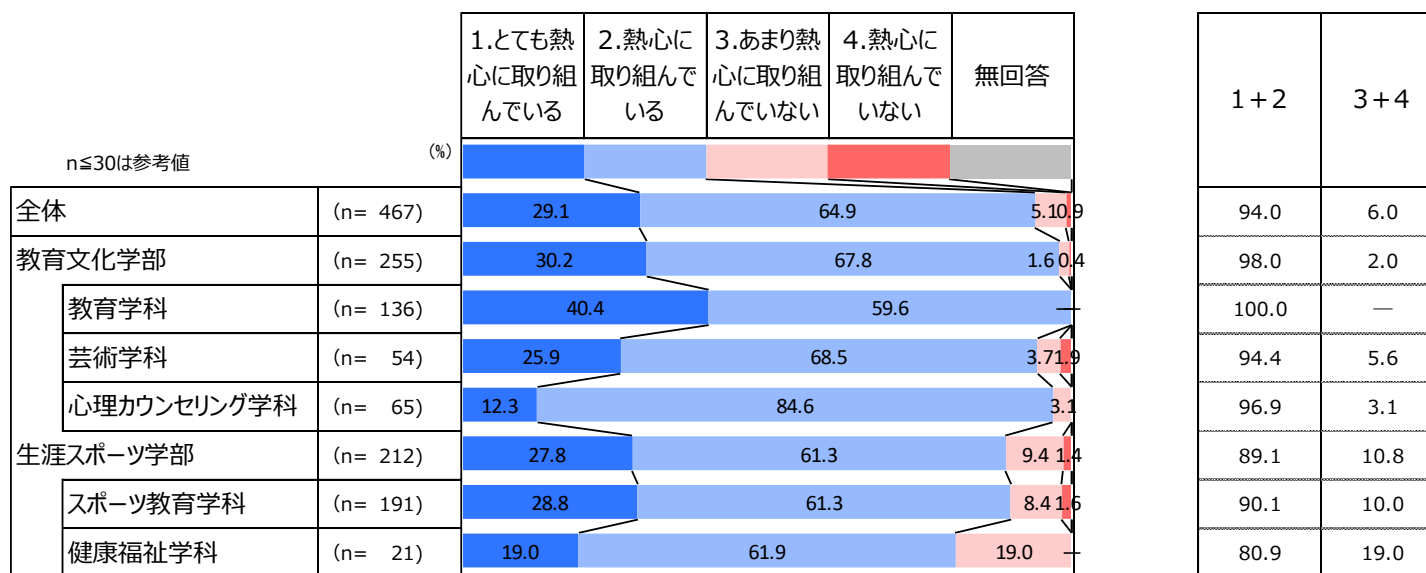
2. アンケート集計

Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容の満足度（全体／単一回答）



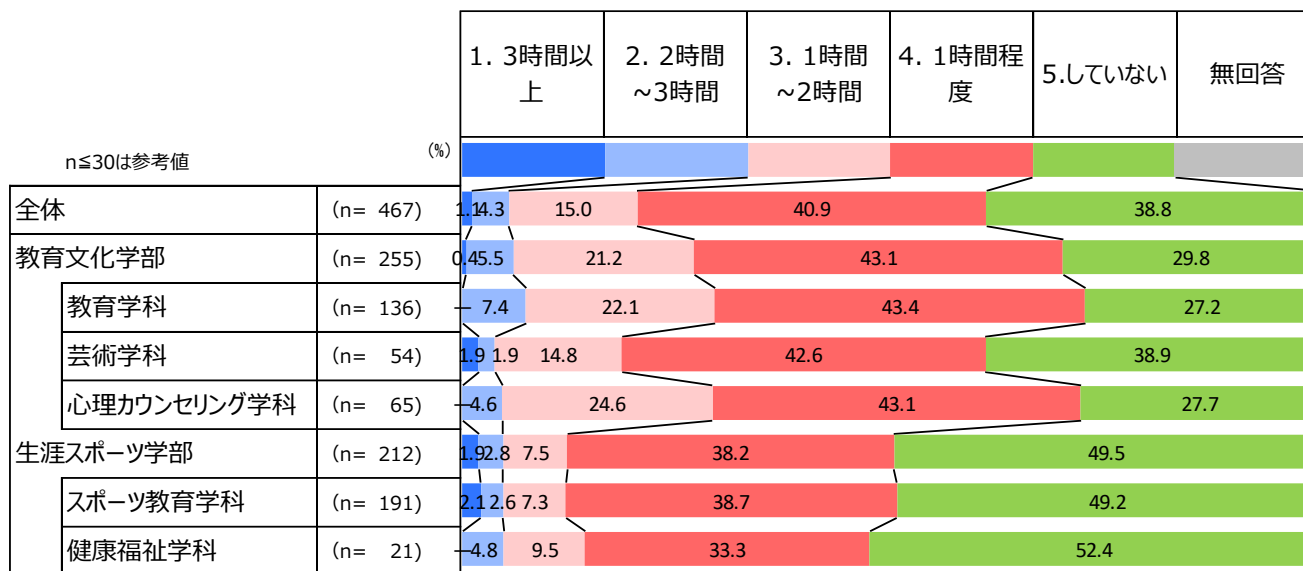
2. アンケート集計

Q11. 授業の取組度 (全体/単一回答)

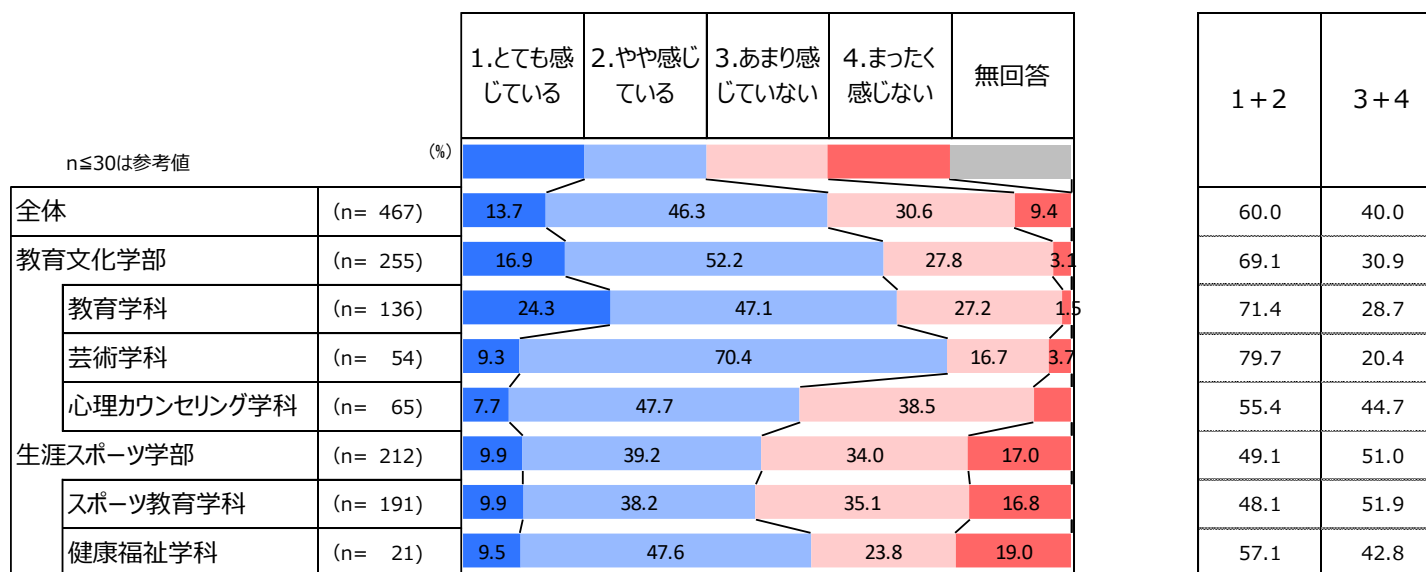


2. アンケート集計

Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。(全体/単一回答)

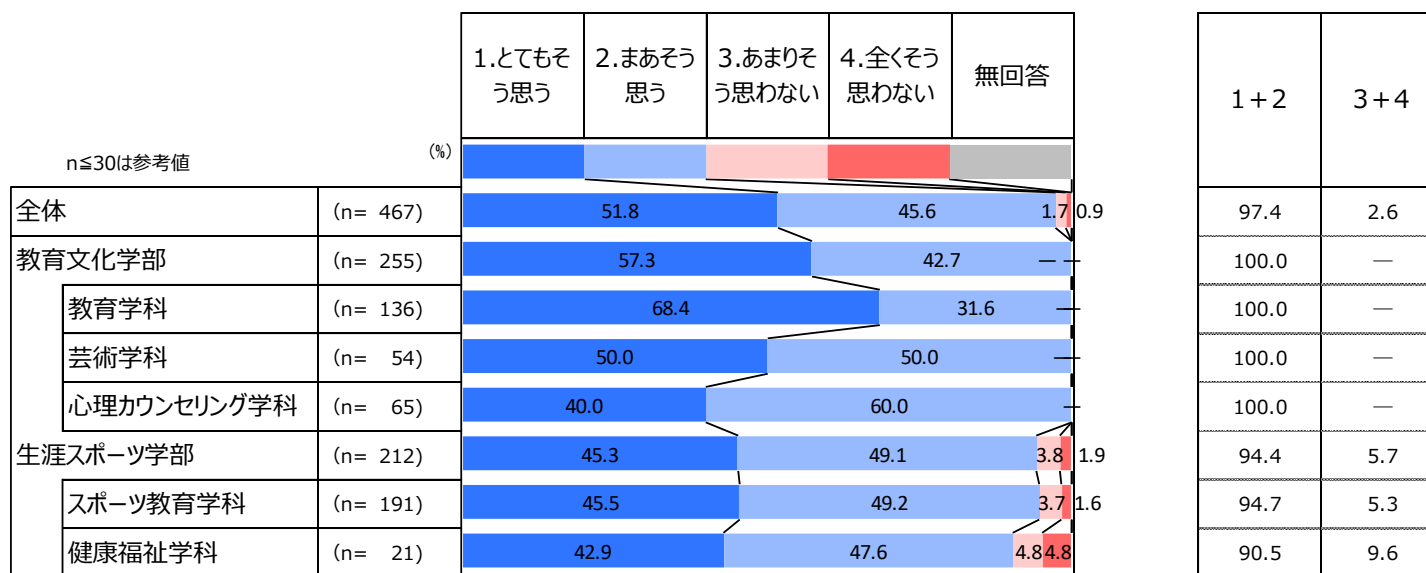


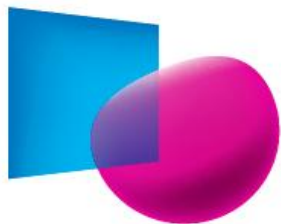
Q13. 教員への親近感（全体／単一回答）



2. アンケート集計

Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。(全体／単一回答)





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

**PROG分析報告書
学生アンケートと基礎力の関連分析
＜2025年度3年生＞**

- 調査対象：PROGとアンケートに回答した、3年生
関連分析対象（PROGを1回目、2回目ともに受験している学生）：309名
アンケート集計対象：340名
- PROG受験時期：（1回目）2023年5月～7月、（2回目）2025年10月～12月

●相関係数とは

2群のデータの関連性を示す指標のことで、 $-1.0 \sim 1.0$ の範囲に値を取り、1に近いほど関連性が強いといえます。一般的には0.5以上で強い相関、0.2以上で弱い相関があるとされています。

●有意確率とは

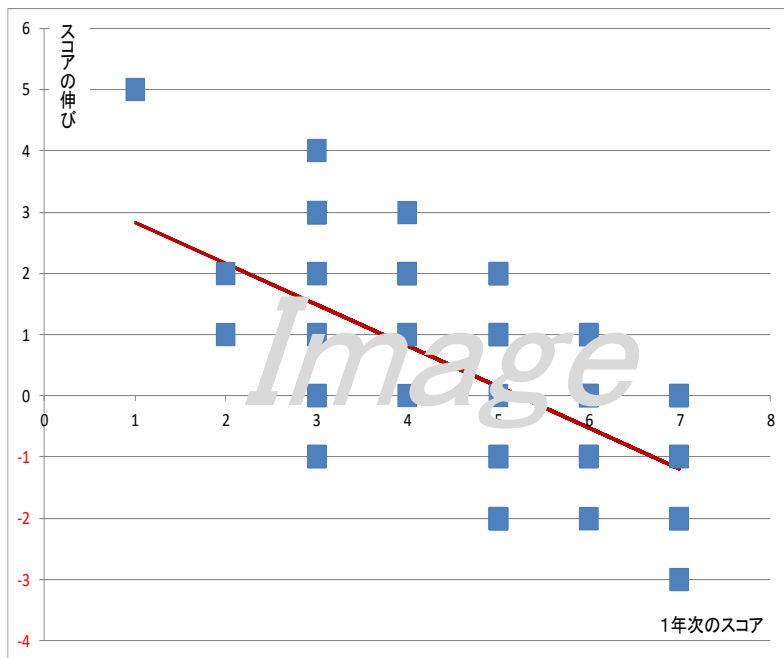
2群のデータの偏りが偶然生じる、たまたま得られたものであるという確率。0.05以下であれば5%有意とし、95%の確率で生じる確率ということになります。0.01以下であれば1%有意とし、99%の確率で生じる確率ということになります。

※以下のように得点化し、相関分析を実施している。

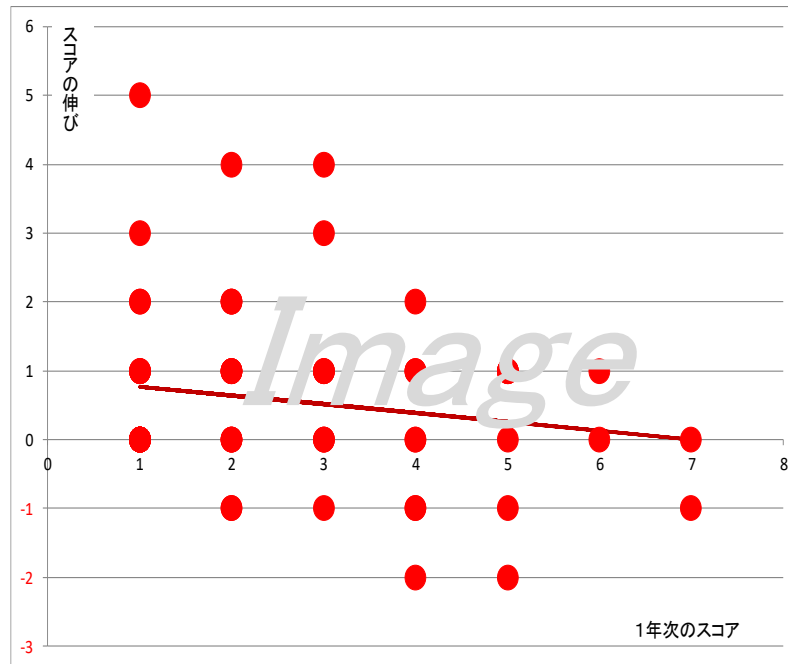
設問	5点	4点	3点	2点	1点
Q1-Q11	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらとも言えない	やや当てはまる	当てはまる

リテラシー、コンピテンシーとも、事前（初期値）のスコアが低いほど、事後の伸び幅が大きい。
 変化量の分析の際には、この初期値の影響を除去して考える必要がある。

■リテラシー総合

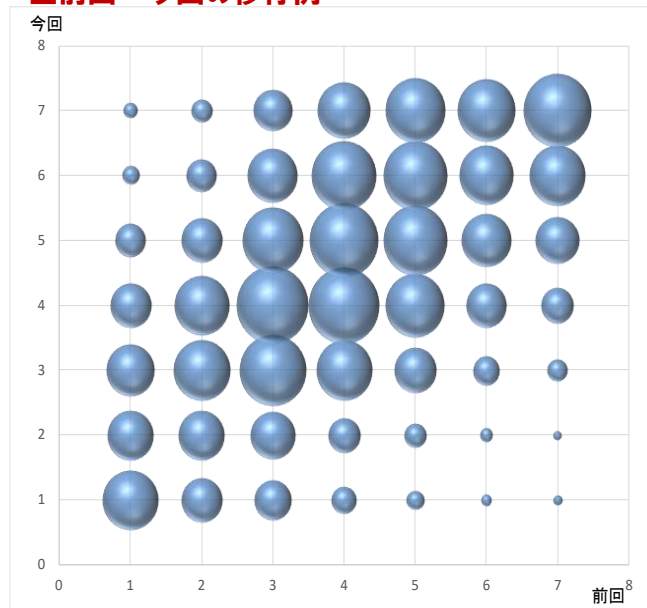


■コンピテンシー総合

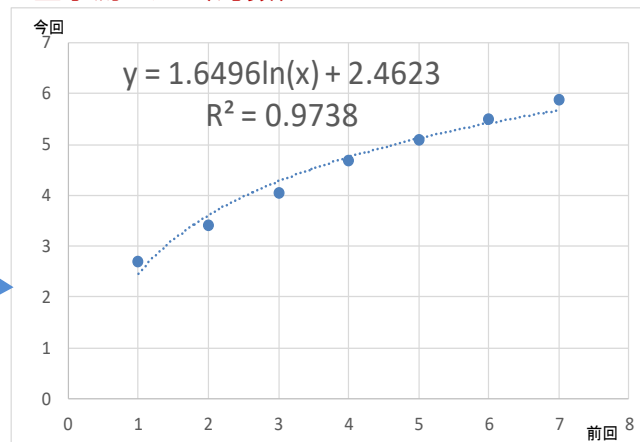


初期値の影響を除く方法として、PROGの経年変化のデータから、前回レベルから今回レベルを予測するモデルを作成し、各レベル間の変化量（実測値）と、モデルから求められる想定変化量の差を、「望ましさ」と考えて各レベル間のウェイトを設定した。このウェイトを[Progress Index]と呼ぶこととし、以下ではPI値と記す。

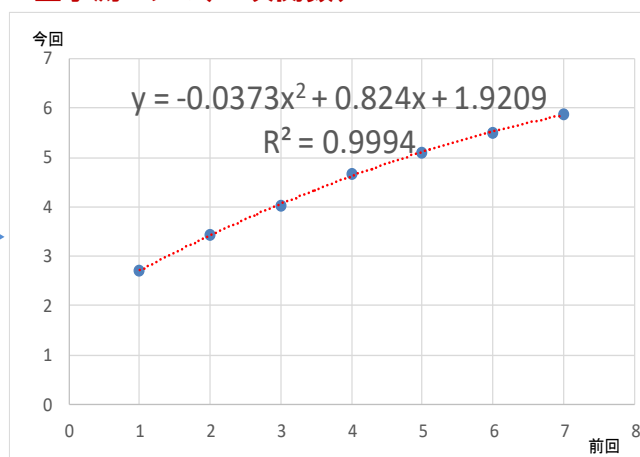
■ 前回→今回の移行例



■ 予測モデル(対数)



■ 予測モデル(二次関数)



リテラシー／コンピテンシーの要素ごとに、フィッティングの良い方を採用

分析の前提 —PI値[Progress Index]の導入—

各レベル間の変化量（実測値）と、モデルから求められる
想定変化量の差を、「望ましき指標」として想定

前回 今回 レベル	①実測値 (前回)	②実測値 (今回)	③想定値 (今回)	望ましき指標 ②-③ 実測値-想定値 (今回)
11	1	1	2.71	-1.71
12	1	2	2.71	-0.71
13	1	3	2.71	0.29
14	1	4	2.71	1.29
15	1	5	2.71	2.29
16	1	6	2.71	3.29
17	1	7	2.71	4.29
21	2	1	3.42	-2.42
22	2	2	3.42	-1.42
23	2	3	3.42	-0.42
24	2	4	3.42	0.58
25	2	5	3.42	1.58
26	2	6	3.42	2.58
27	2	7	3.42	3.58
31	3	1	4.06	-3.06
32	3	2	4.06	-2.06
33	3	3	4.06	-1.06
34	3	4	4.06	-0.06
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
57	5	7	5.11	1.89
61	6	1	5.52	-4.52
62	6	2	5.52	-3.52
63	6	3	5.52	-2.52
64	6	4	5.52	-1.52
65	6	5	5.52	-0.52
66	6	6	5.52	0.48
67	6	7	5.52	1.48
71	7	1	5.86	-4.86
72	7	2	5.86	-3.86
73	7	3	5.86	-2.86
74	7	4	5.86	-1.86
75	7	5	5.86	-0.86
76	7	6	5.86	0.14
77	7	7	5.86	1.14

「望ましき指標」を大きさ順に並べ、
ハンドリングのし易さを考慮して1~100点に変換

順位 (降順)	移動	望ましき 指標		100点 変換
49	1⇒7	4.29	→	100
48	2⇒7	3.58	→	98
47	1⇒6	3.29	→	96
46	3⇒7	2.94	→	94
45	2⇒6	2.58	→	92
44	4⇒7	2.38	→	90
43	1⇒5	2.29	→	88
42	3⇒6	1.94	→	86
41	5⇒7	1.89	→	84
40	2⇒5	1.58	→	81
39	6⇒7	1.48	→	79
38	4⇒6	1.38	→	77
37	1⇒4	1.29	→	75
36	7⇒7	1.14	→	73
35	3⇒5	0.94	→	71
34	5⇒6	0.89	→	69
33	2⇒4	0.58	→	67
32	6⇒6	0.48	→	65
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
15	7⇒4	-1.86	→	30
14	3⇒2	-2.06	→	28
13	5⇒3	-2.11	→	26
12	2⇒1	-2.42	→	24
11	6⇒3	-2.52	→	22
10	4⇒2	-2.62	→	20
9	7⇒3	-2.86	→	18
8	3⇒1	-3.06	→	15
7	5⇒2	-3.11	→	13
6	6⇒2	-3.52	→	11
5	4⇒1	-3.62	→	9
4	7⇒2	-3.86	→	7
3	5⇒1	-4.11	→	5
2	6⇒1	-4.52	→	3
1	7⇒1	-4.86	→	1

1. 分析の前提 1)PI値[Progress Index]の導入

今回の分析には、1年から3年の2ヶ年の変化量指標として、以下のPI値を用いた。

★2学年変化

リテラシー総合

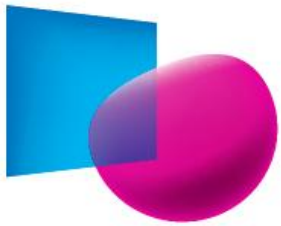
		最新値						
		1	2	3	4	5	6	7
初期値	1	26	40	55	69	84	96	100
	2	18	32	46	61	75	90	98
	3	9	22	36	51	65	79	94
	4	7	20	34	48	63	77	92
	5	5	15	30	44	59	73	88
	6	3	13	28	42	57	71	86
	7	1	11	24	38	53	67	81

リテラシー中分類

		最新値				
		1	2	3	4	5
初期値	1	26	46	67	88	100
	2	13	34	55	75	96
	3	9	30	51	71	92
	4	5	22	42	63	84
	5	1	18	38	59	79

コンピテンシー

		最新値						
		1	2	3	4	5	6	7
初期値	1	40	55	69	81	90	96	100
	2	28	42	57	71	84	92	98
	3	20	32	46	61	75	86	94
	4	11	22	34	48	63	77	88
	5	7	15	26	38	53	67	79
	6	3	9	18	30	44	59	73
	7	1	5	13	24	36	51	65



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

1. 基礎力伸長分析

1-1. 基礎力伸長との相関係数一覧

- 基礎力伸長と各設問との相関係数は以下の通り。
次ページ以降、±0.2以上の相関係数が認められた項目について詳細を見ていく。

相関係数

【全体】N=309 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は1%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

0.2以上 0.3未満	0.3以上 0.35未満	0.35以上
----------------	-----------------	--------

	リテラシー							コンピテンシー												
	総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想力	言語 処理能力	非言語 処理能力	総合	対人 基礎力	対自己 基礎力	対課題 基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
												親和力	協働力	統率力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践力
Q3.部活・サークル活動についてお伺いします。(ひとつ選択)	-0.04	-0.04	0.04	-0.01	-0.08	-0.07	-0.03	0.07	0.00	-0.01	0.07	0.01	-0.01	0.06	0.04	0.04	-0.04	0.04	0.06	0.02
Q4.ボランティア活動についてお伺いします。(ひとつ選択)	0.00	-0.01	0.06	-0.01	-0.01	-0.02	0.03	0.08	0.02	0.04	0.08	0.03	0.02	0.01	0.00	0.04	0.06	0.08	0.03	0.11
Q5.アルバイトについてお伺いします。(ひとつ選択)	0.02	0.02	0.01	0.06	-0.05	-0.05	0.06	-0.03	-0.05	0.08	-0.03	0.00	-0.04	-0.07	0.06	0.08	0.04	-0.04	-0.05	0.02
Q6.学費の支払いについて不安はありますか。(ひとつ選択)	-0.03	0.00	0.01	-0.10	-0.04	0.09	-0.05	0.02	0.05	0.05	-0.01	0.03	0.04	0.04	0.09	0.01	-0.01	0.00	0.07	-0.07
Q7.あなたは卒業後の進路(就職・公務員・教員・進学・留学など)について、現在どのような考えを持っていますか。(ひとつ選択)	0.08	0.06	0.08	0.12*	-0.06	0.07	0.11	0.19**	0.07	0.23**	0.11	0.08	0.04	0.08	0.17**	0.15*	0.13*	0.17**	0.08	0.03
Q8.卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。(ひとつ選択)	0.07	0.06	0.07	0.09	-0.07	-0.02	0.09	0.21**	0.05	0.26**	0.13*	0.02	0.02	0.04	0.22**	0.17**	0.13*	0.19**	0.06	0.02
Q9.あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。(ひとつ選択)	0.06	0.08	-0.04	0.05	0.07	0.05	-0.04	-0.01	-0.05	0.04	0.00	0.03	-0.04	-0.03	-0.01	0.07	-0.03	0.01	0.01	0.01
Q10.北翔大学・北翔大学短期大学の教育内容についてお伺いします。(ひとつ選択)	0.09	-0.01	0.00	0.11*	0.12*	0.08	-0.05	-0.06	-0.09	-0.03	0.02	0.00	-0.10	-0.11	-0.09	0.03	-0.05	0.02	0.05	0.04
Q11.あなたは授業にどのように取り組んでいますか。(ひとつ選択)	0.00	0.01	0.01	0.07	-0.05	0.08	0.02	0.02	-0.01	-0.01	0.04	0.02	-0.07	0.01	-0.04	0.01	-0.02	-0.04	0.03	0.09
Q12.あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。(ひとつ選択)	0.04	0.07	0.05	0.06	-0.04	0.02	0.11	0.03	-0.06	0.00	0.11	0.05	-0.14*	-0.04	-0.04	0.08	0.00	0.07	0.05	0.09
Q13.あなたは教員に親近感を感じますか。(ひとつ選択)	0.08	0.08	0.00	0.05	0.14*	0.08	0.02	0.11*	0.07	0.15**	0.09	0.08	0.02	0.02	0.05	0.07	0.09	0.07	0.06	0.13*
Q14.大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。(ひとつ選択)	0.05	0.04	-0.03	0.07	0.11*	0.04	0.08	0.01	-0.03	0.05	-0.02	0.07	-0.05	-0.04	0.01	0.06	0.00	0.02	-0.01	0.07

1-1. 基礎力伸長との相関係数一覧

- 卒業後の進路の明確度と対自己基礎力との間には、有意な+0.2以上の正の相関が認められ、対自己基礎力の水準が高い学生ほど、卒業後の進路が明確になっている。

■ PI値との相関【Q7.あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。（ひとつ選択）】

(n=309 *ただし無回答は除く)

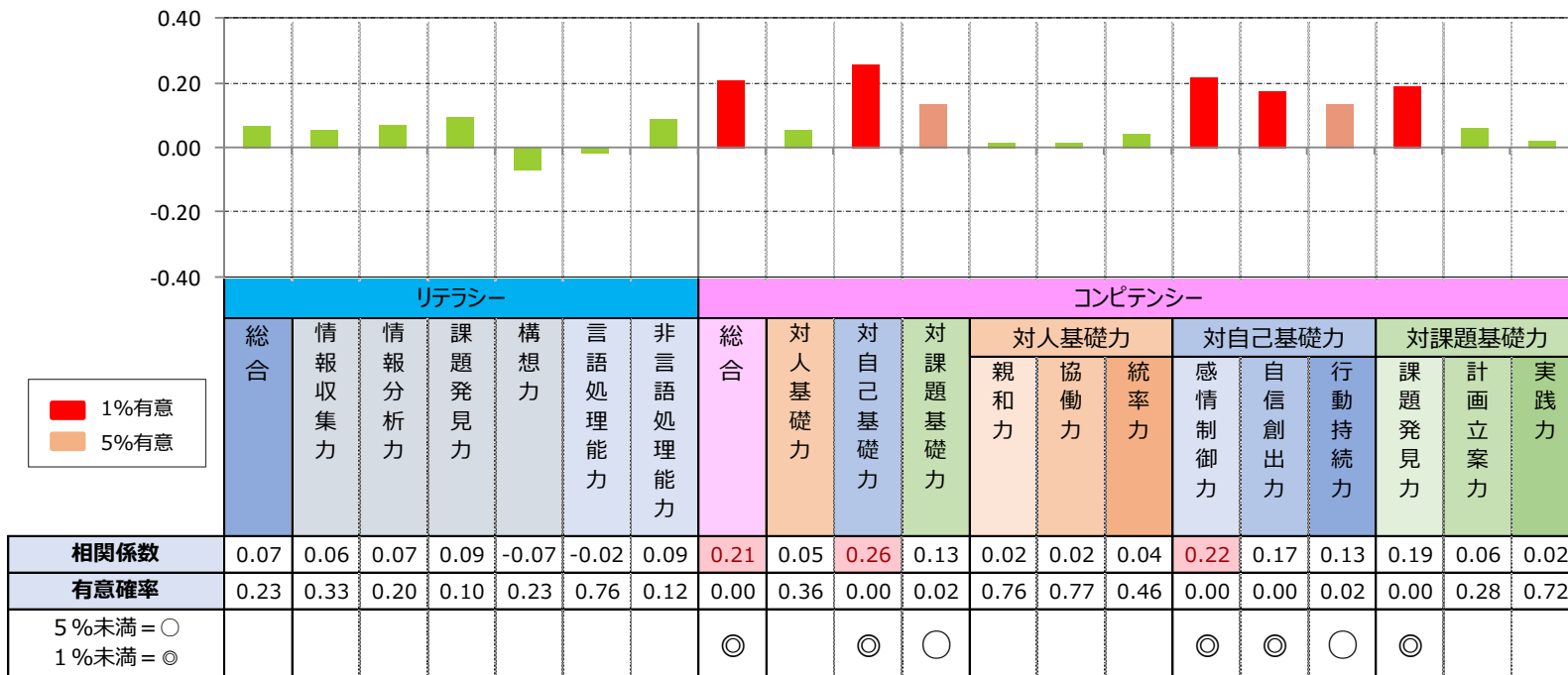


1-1. 基礎力伸長との相関係数一覧

- 社会人になることへの考え（楽しみと感じているか）とコンピテンシー総合、対自己基礎力、感情制御力との間には、有意な+0.2以上の正の相関が認められ、これら基礎力の水準が高い学生ほど、社会人になることは楽しみだと考えている。

■PI値との相関【Q8.卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。（ひとつ選択）】

(n=309 *ただし無回答は除く)



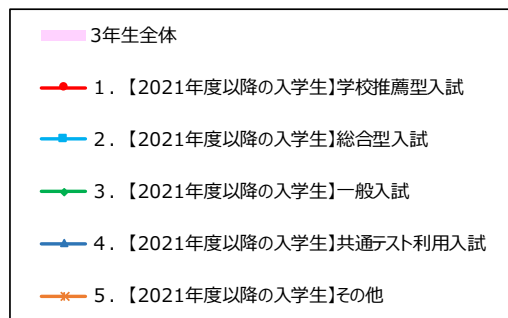
- 基礎力伸長と各設問の回答別の平均値は以下の通り。
次ページ以降、回答別比較が可能な設問（N = 10以上の選択肢が2項目以上）について詳細を見ていく。

N ≥ 10の場合 : 全体+5.0以上
全体-5.0以下

設問	選択肢	N数	PI値_リテラシー								PI値_コンピテンシー											
			総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
														親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
全体		309	51.7	56.2	54.4	57.8	52.8	53.3	56.3	48.0	47.7	49.2	48.7	49.1	46.4	47.3	49.2	50.5	47.1	50.1	47.7	51.7
Q1.入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】は選択肢①～⑤からひとつ選択してください。【2020(令和2)年度以前の入学生】の方は⑥にチェックしてください。	1. 【2021年度以降の入学生】学校推薦型入試	154	52.1	57.2	53.8	58.5	53.4	51.3	54.5	48.4	48.0	48.6	49.0	50.2	45.9	47.7	48.6	49.5	47.9	50.1	47.1	52.6
	2. 【2021年度以降の入学生】総合型入試	84	48.2	53.5	51.2	56.5	50.0	53.9	53.3	46.2	47.4	49.2	47.0	48.1	46.5	46.0	50.5	50.5	45.4	46.7	48.4	50.7
	3. 【2021年度以降の入学生】一般入試	33	57.4	60.4	65.0	52.4	53.9	62.3	66.0	50.6	49.3	49.6	50.5	47.8	48.2	49.8	49.2	49.0	52.3	54.0	49.1	46.5
	4. 【2021年度以降の入学生】共通テスト利用入試	28	52.5	50.5	53.4	62.9	58.2	55.5	64.8	43.7	40.6	48.5	48.4	45.2	43.4	42.4	45.3	56.1	40.3	52.9	47.3	54.6
	5. 【2021年度以降の入学生】その他	10	52.9	64.2	60.5	61.3	48.5	41.5	54.4	60.7	60.2	59.8	53.9	57.2	56.1	55.3	58.8	56.3	51.3	56.2	47.9	56.4
	6. 【2020年度以前の入学生】の方はこちらにチェックしてください	0																				

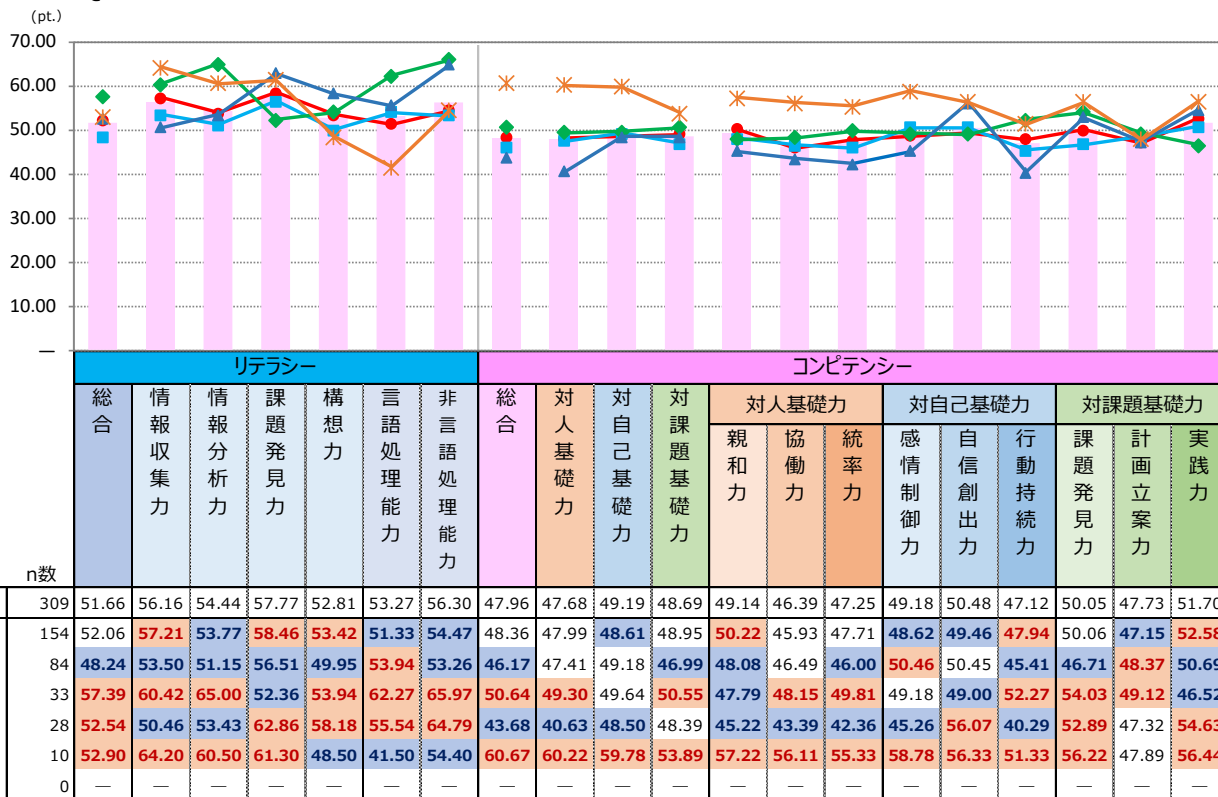
● 入試形式別にみると、【一般入試】での基礎力の水準が他属性よりも高い傾向がみられる。

■ 基礎力平均スコア比較

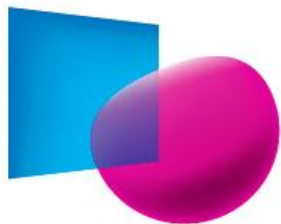


n ≥ 10の場合
5.00 全体 + 0.5ポイント以上
5.00 全体 - 0.5ポイント以下

Q1. 入試形式について教えてください。



※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く



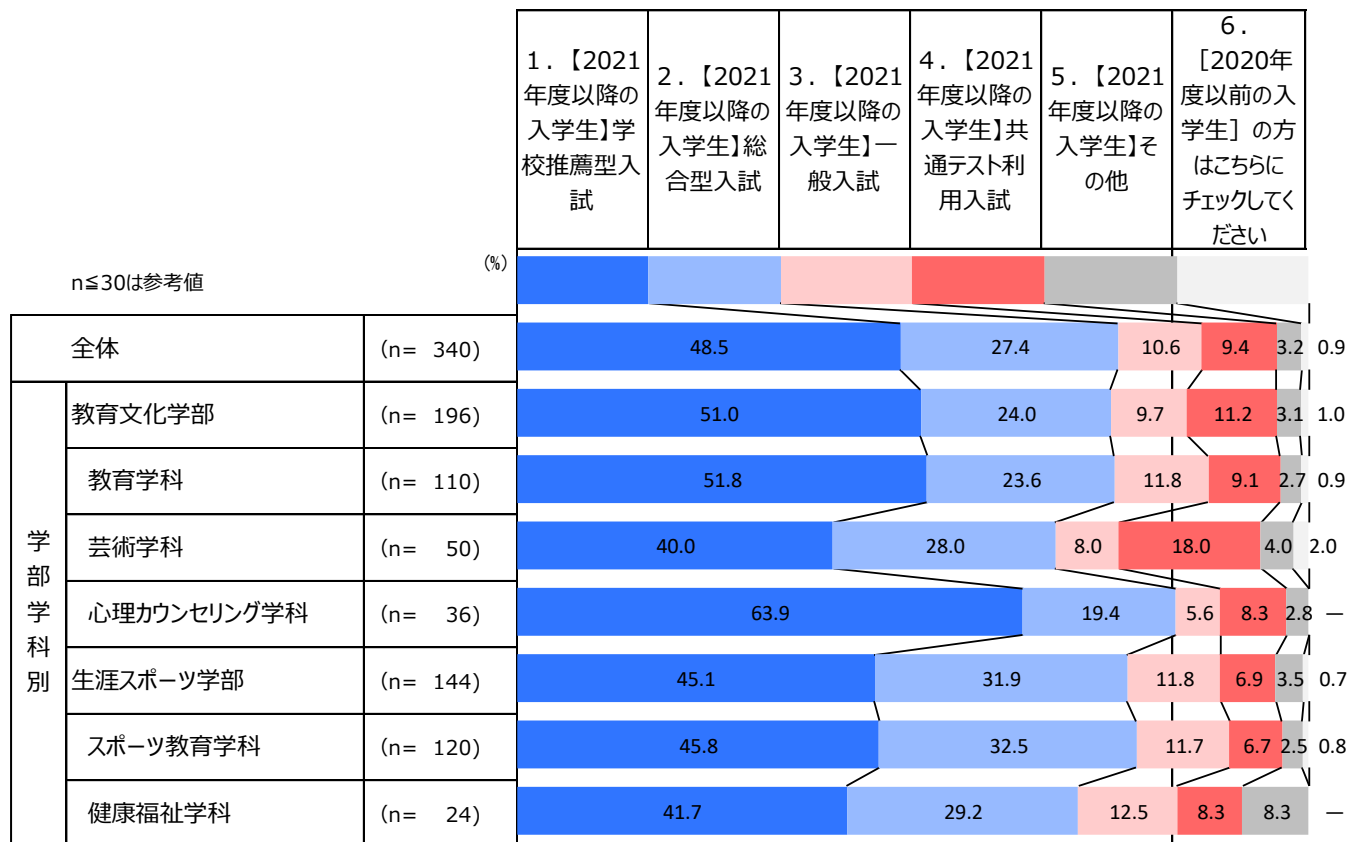
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

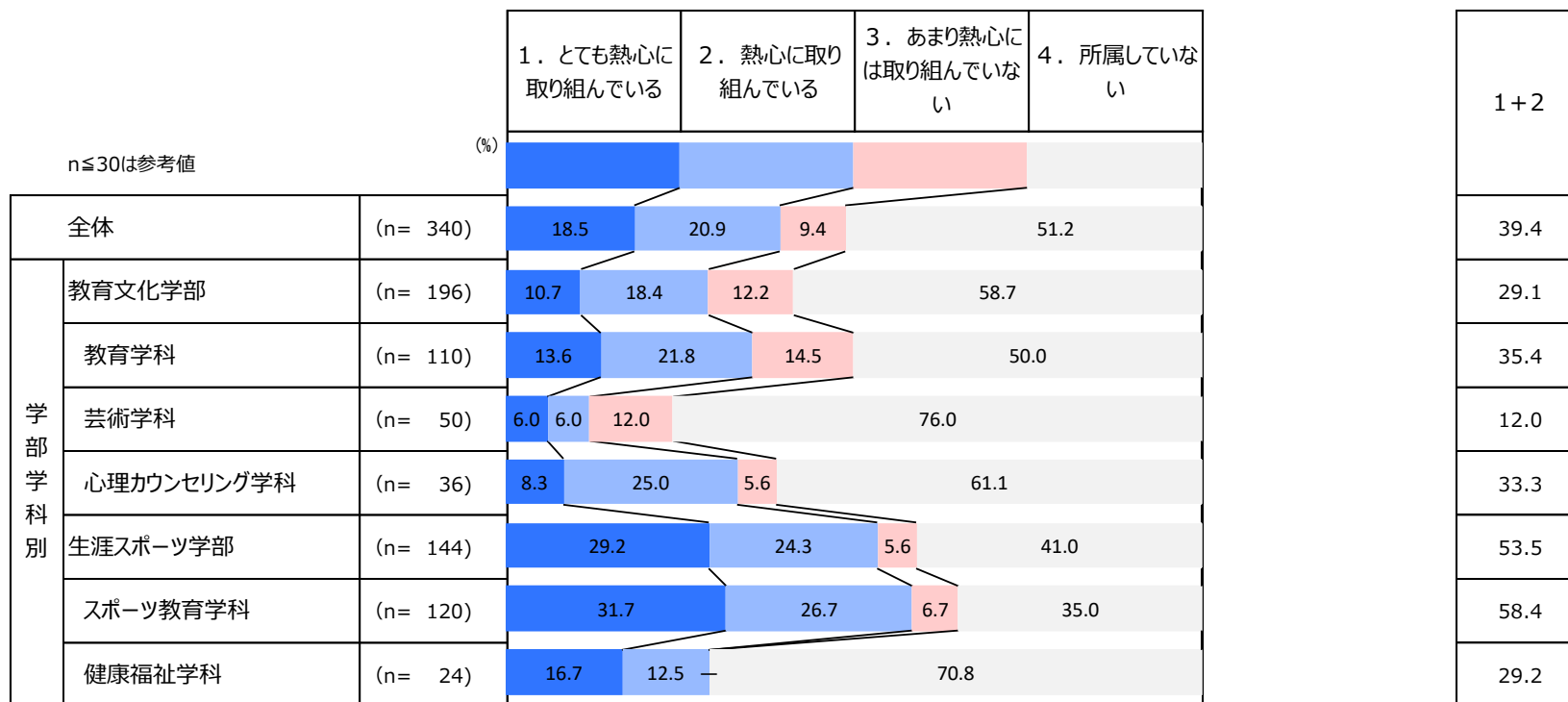
2. アンケート集計

2. アンケート集計

Q1. 現在、楽しく学校生活を過ごせていますか。(全体/単一回答)



Q3.部活・サークル活動についてお伺いします。(全体／単一回答)

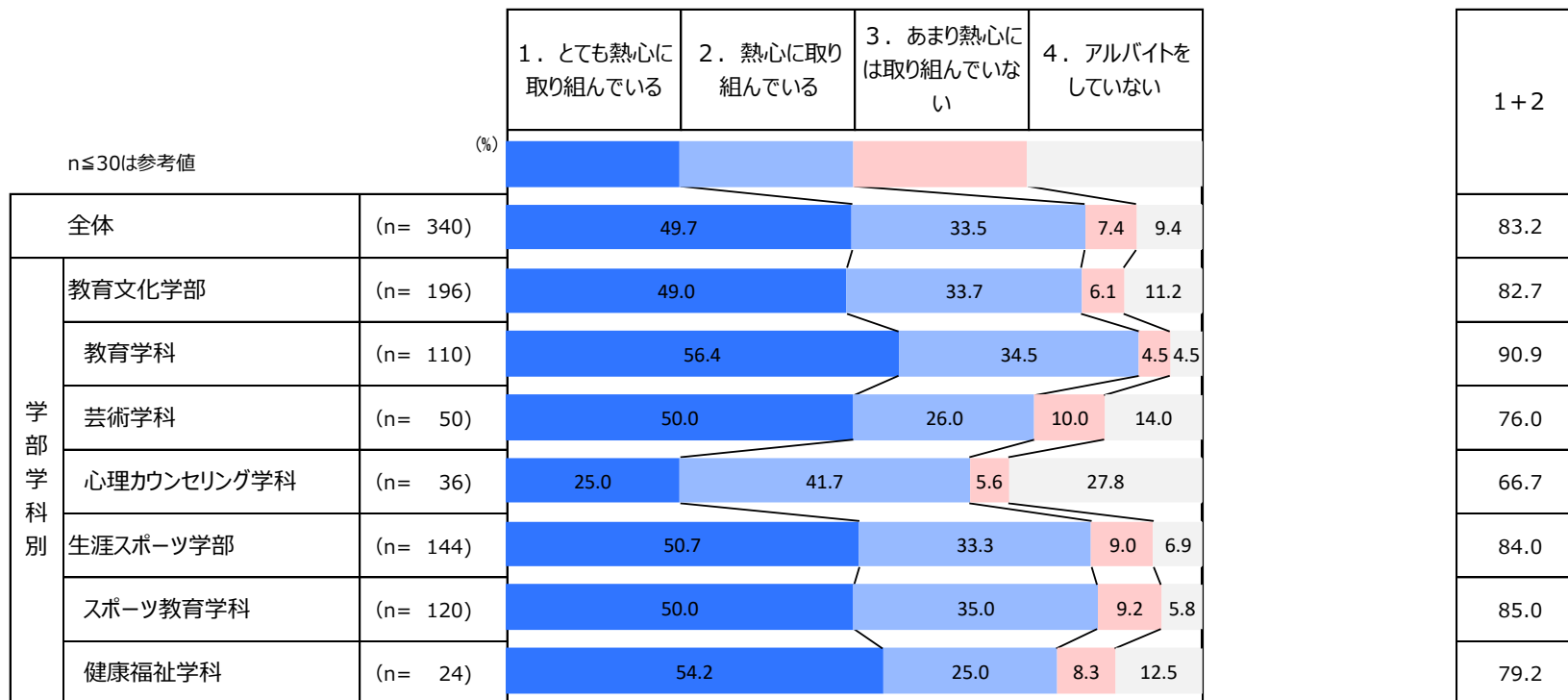


2. アンケート集計

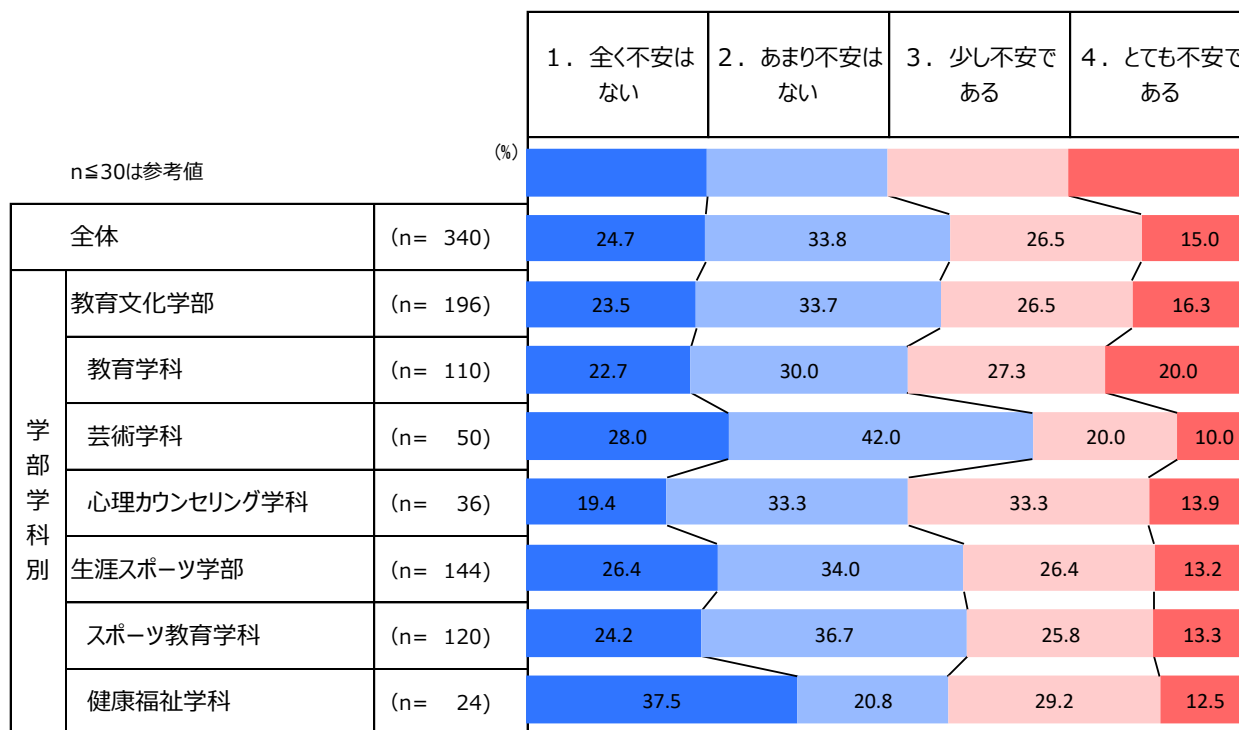
Q4. ボランティア活動についてお伺いします。(全体/単一回答)

		1. とても熱心に取り組んでいる	2. 熱心に取り組んでいる	3. あまり熱心には取り組んでいない	4. ボランティア活動をしたことがない	1+2	
n ≤ 30は参考値		(%)					
全体	(n= 340)	8.8	21.2	30.6	39.4	30.0	
学部 学科 別	教育文化学部	(n= 196)	7.1	18.9	27.0	46.9	26.0
	教育学科	(n= 110)	8.2	23.6	29.1	39.1	31.8
	芸術学科	(n= 50)	8.0	14.0	24.0	54.0	22.0
	心理カウンセリング学科	(n= 36)	2.8	11.1	25.0	61.1	13.9
	生涯スポーツ学部	(n= 144)	11.1	24.3	35.4	29.2	35.4
	スポーツ教育学科	(n= 120)	12.5	21.7	36.7	29.2	34.2
	健康福祉学科	(n= 24)	4.2	37.5	29.2	29.2	41.7

Q5. アルバイトについてお伺いします。(全体/単一回答)



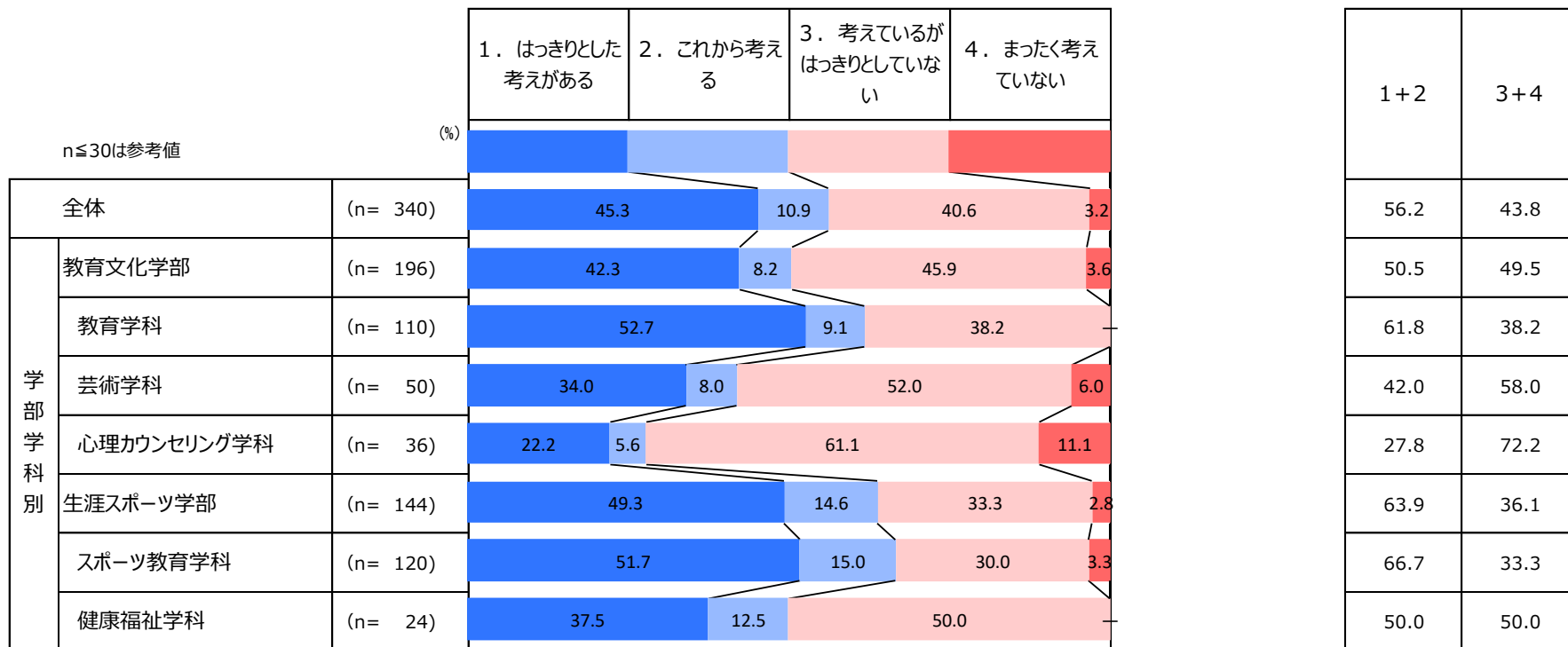
Q6.学費の支払いについて不安はありますか。(全体/単一回答)



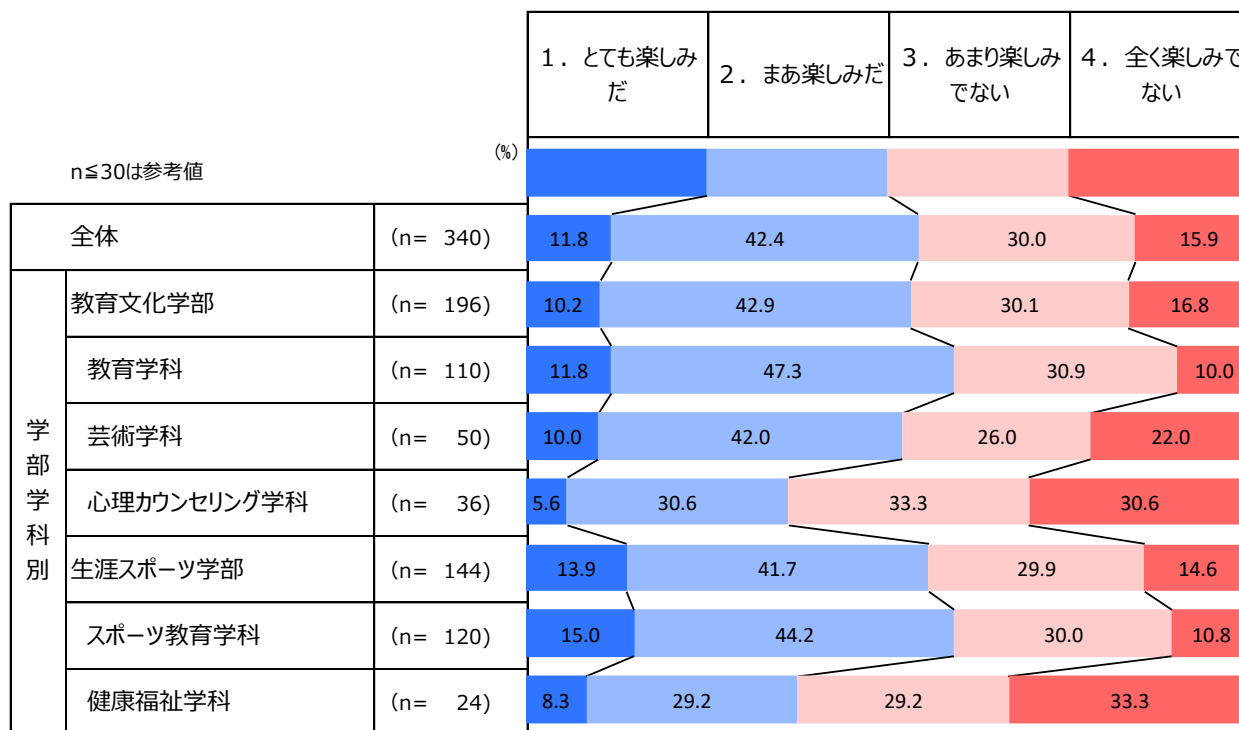
1+2	3+4
58.5	41.5
57.2	42.8
52.7	47.3
70.0	30.0
52.7	47.2
60.4	39.6
60.9	39.1
58.3	41.7

2. アンケート集計

Q7.あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。（全体／単一回答）



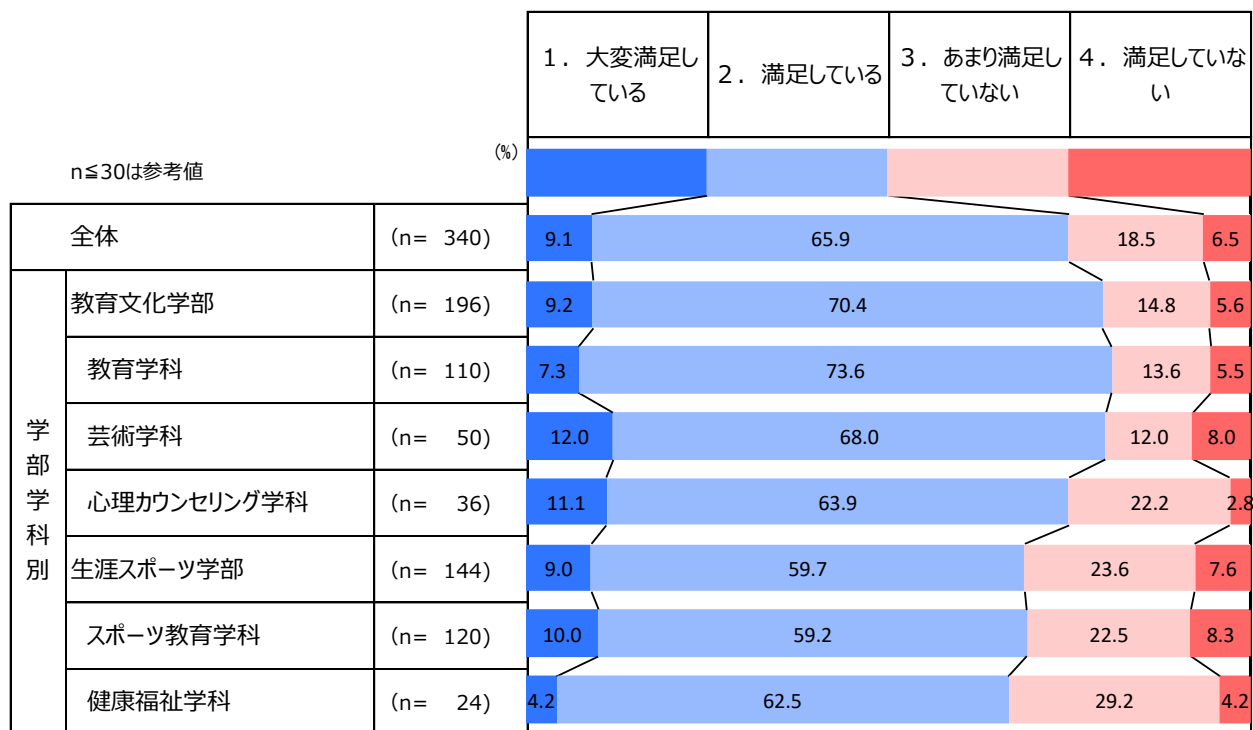
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。(全体/単一回答)



1+2	3+4
54.2	45.9
53.1	46.9
59.1	40.9
52.0	48.0
36.2	63.9
55.6	44.5
59.2	40.8
37.5	62.5

2. アンケート集計

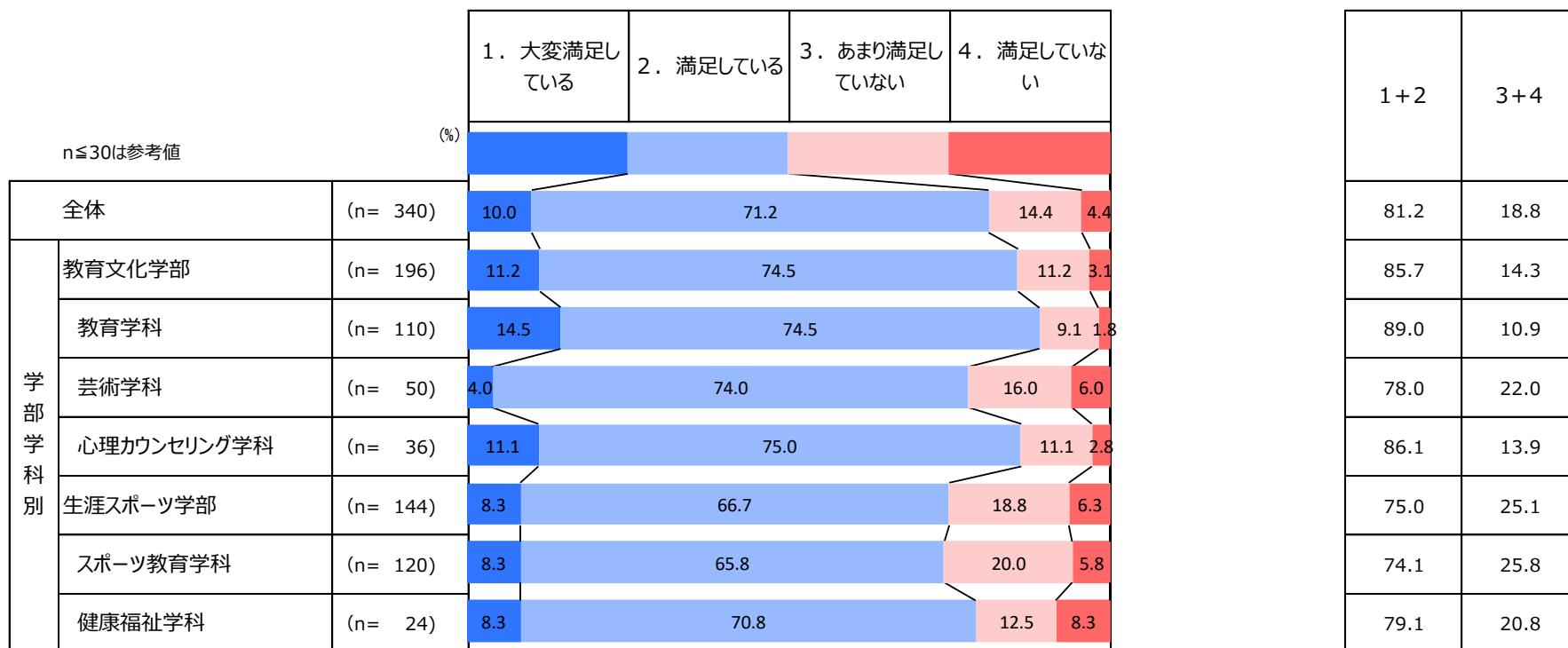
Q9.あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。(全体／単一回答)



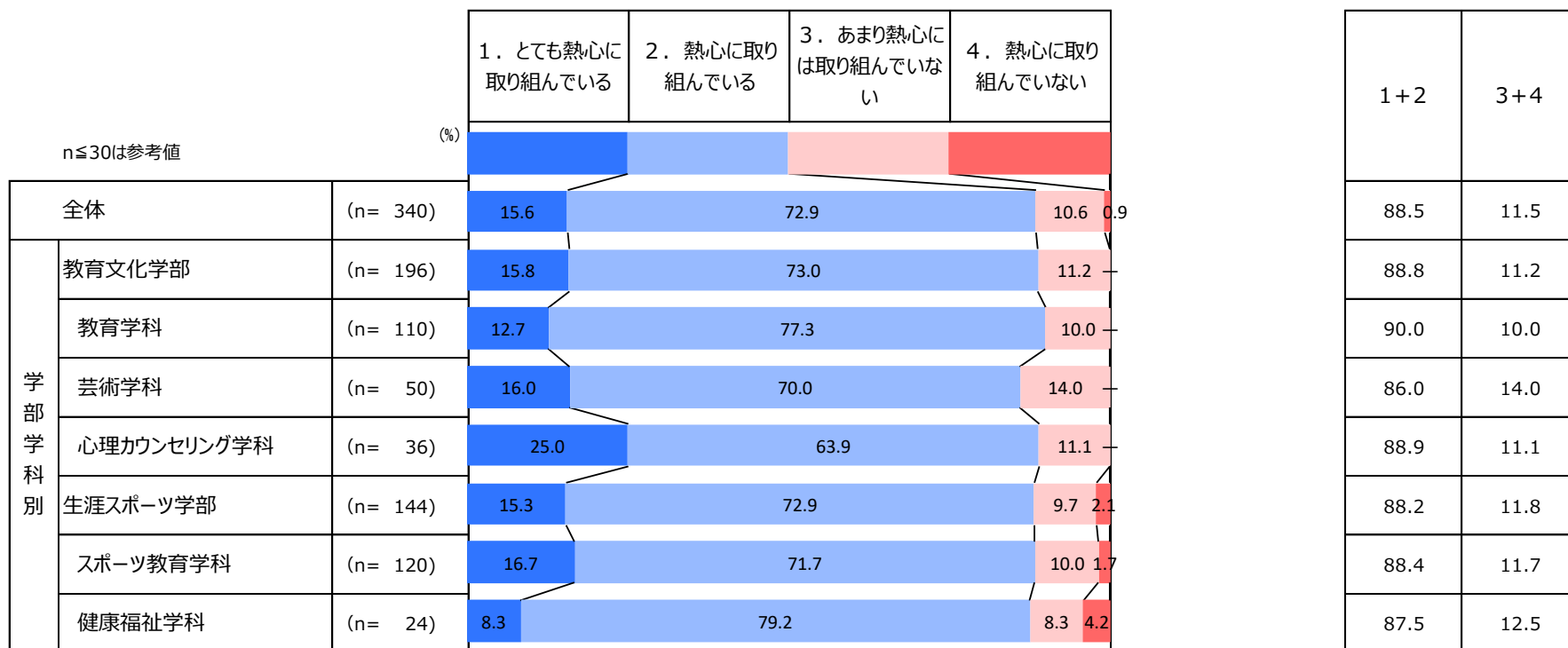
1+2	3+4
75.0	25.0
79.6	20.4
80.9	19.1
80.0	20.0
75.0	25.0
68.7	31.2
69.2	30.8
66.7	33.4

2. アンケート集計

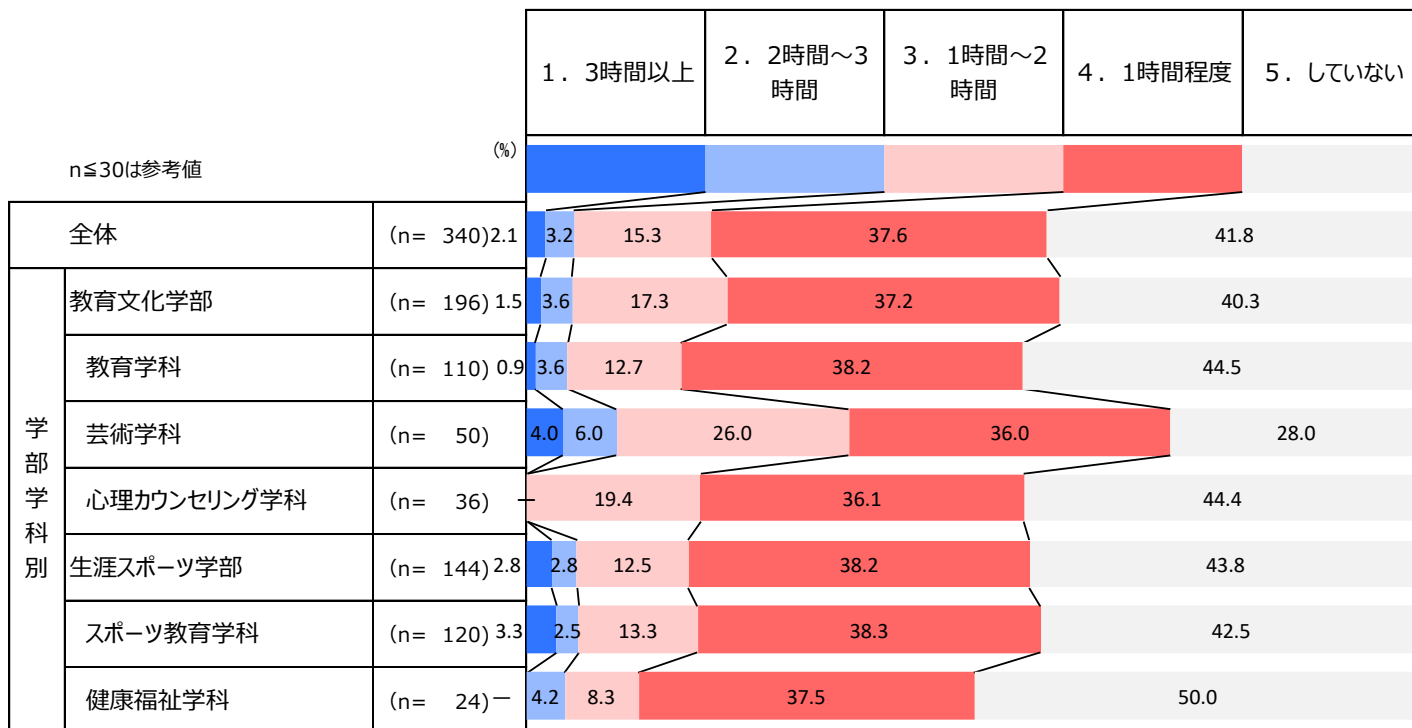
Q10.北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。(全体／単一回答)



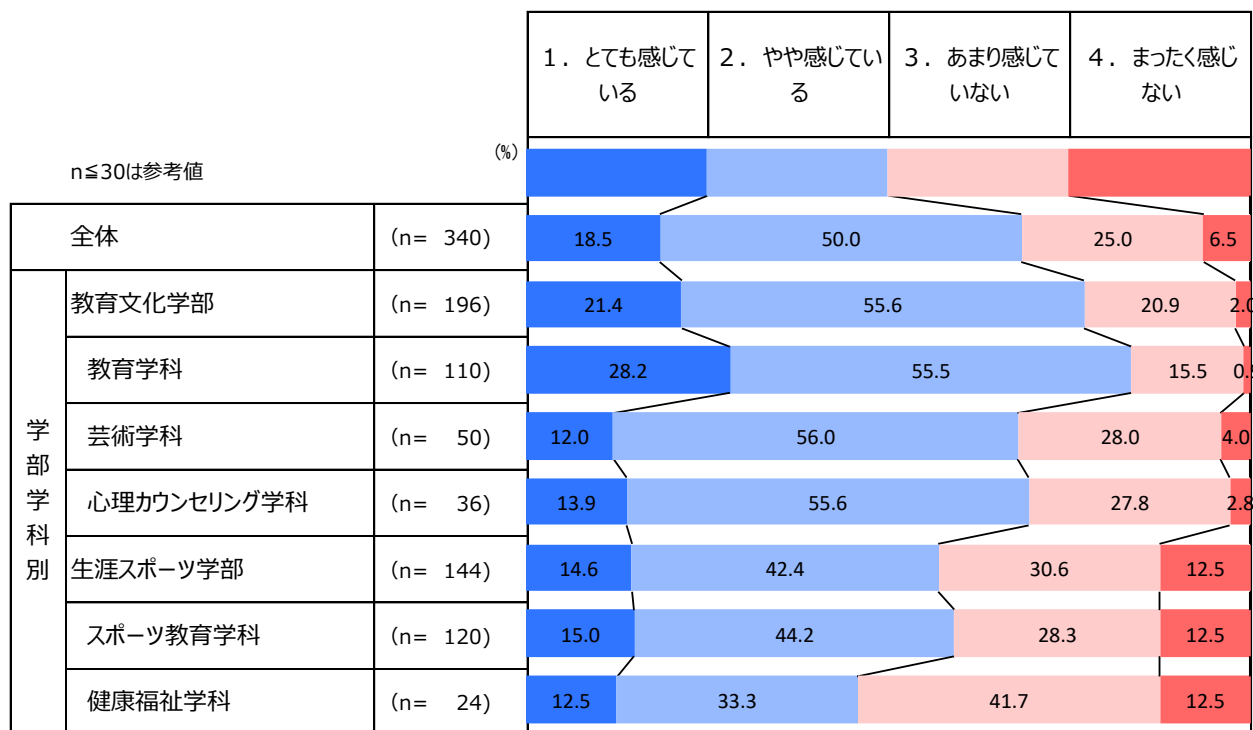
Q11.あなたは授業にどのように取り組んでいますか。(全体/単一回答)



Q12.あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。(全体/単一回答)



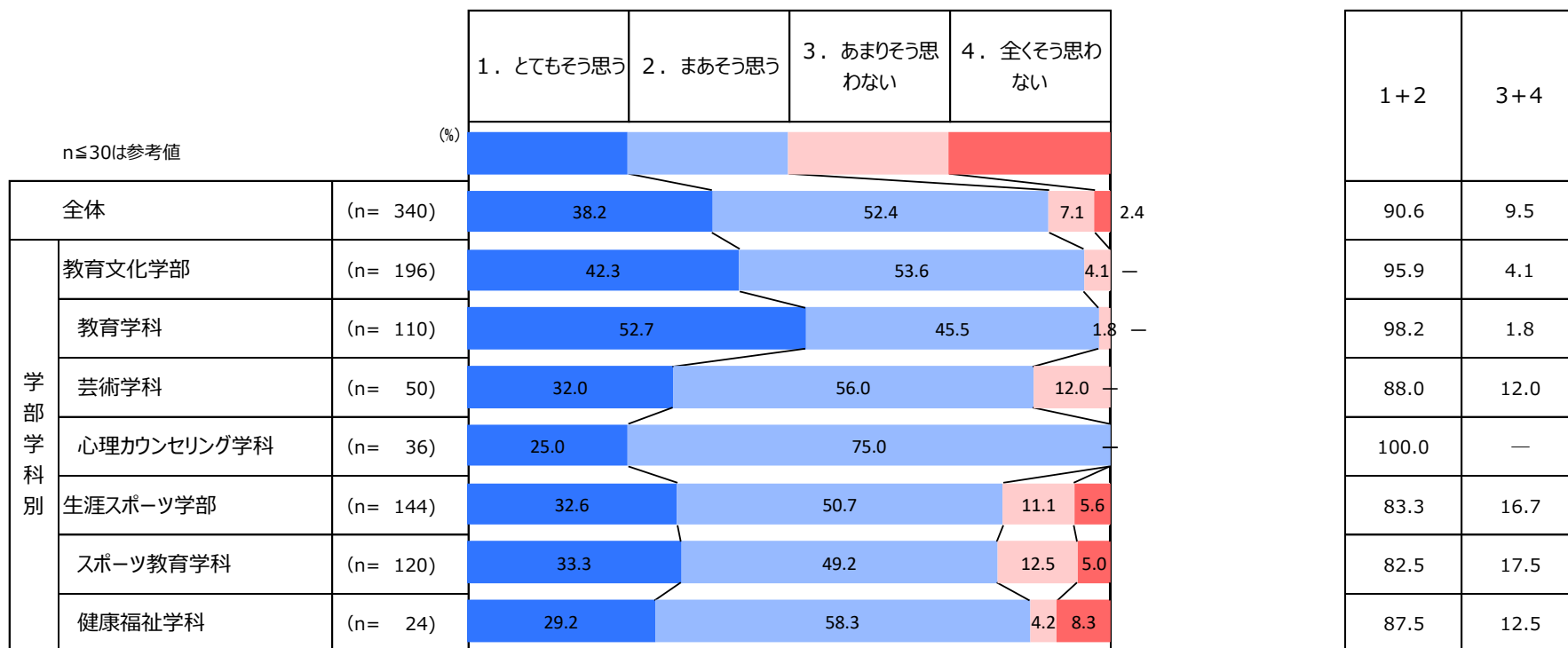
Q13.あなたは教員に親近感を感じますか。(全体/単一回答)

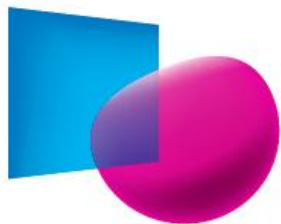


1+2	3+4
68.5	31.5
77.0	22.9
83.7	16.4
68.0	32.0
69.5	30.6
57.0	43.1
59.2	40.8
45.8	54.2

2. アンケート集計

Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。(全体/単一回答)





PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

PROG分析報告書
学生アンケートと基礎力の関連分析
<2025年度短期大学部1年生・2年生>

- 調査対象：PROGとアンケートに回答した、1年生
関連分析対象（PROGを1回目、2回目ともに受験している学生）：54名
アンケート集計対象：54名
- PROG受験時期：2025年6月
- 調査対象：PROGとアンケートに回答した、2年生
関連分析対象（PROGを1回目、2回目ともに受験している学生）：45名
アンケート集計対象：47名
- PROG受験時期：（1回目）2024年6月、（2回目）2025年8月

●相関係数とは

2群のデータの関連性を示す指標のことで、-1.0～1.0の範囲に値を取り、1に近いほど関連性が強いといえます。一般的には0.5以上で強い相関、0.2以上で弱い相関があるとされています。

●有意確率とは

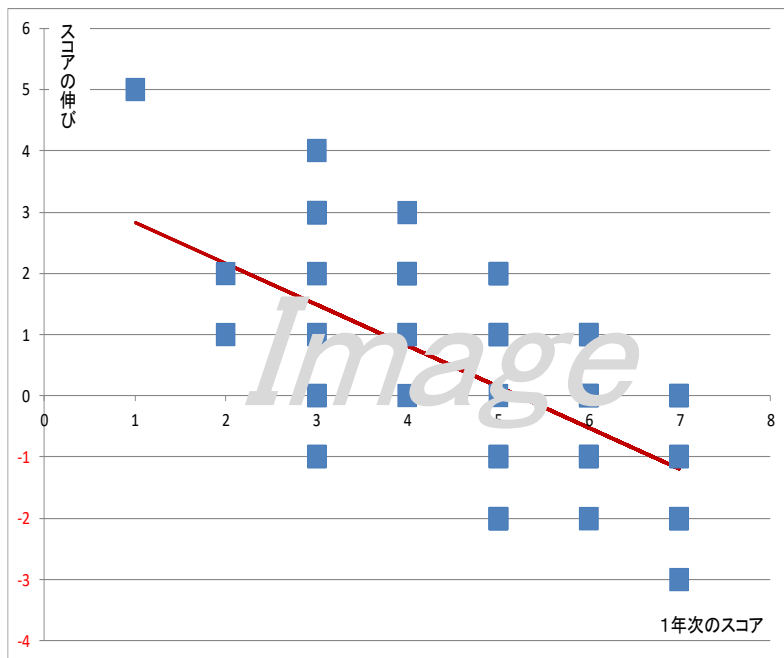
2群のデータの偏りが偶然生じる、たまたま得られたものであるという確率。0.05以下であれば5%有意とし、95%の確率で生じる確率ということになります。0.01以下であれば1%有意とし、99%の確率で生じる確率ということになります。

※以下のように得点化し、相関分析を実施している。

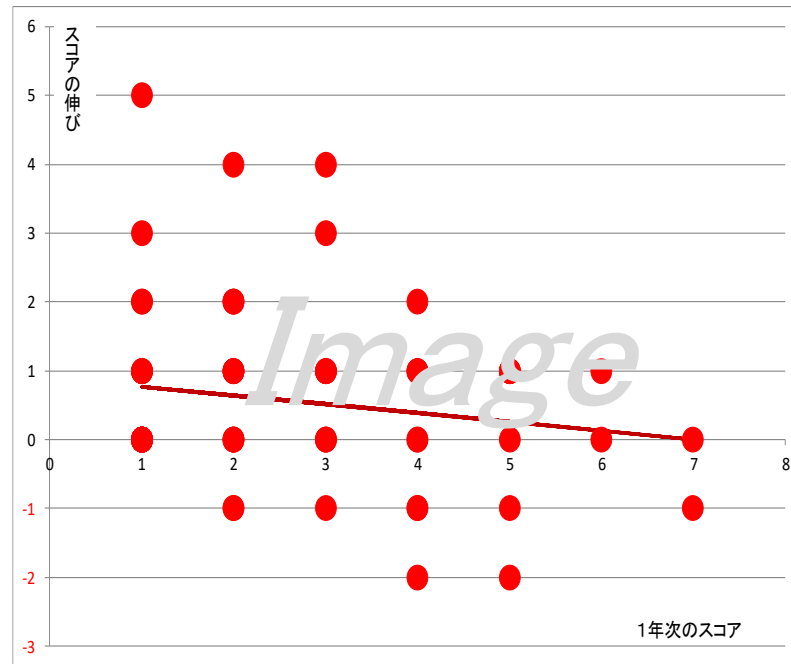
設問	5点	4点	3点	2点	1点
Q6. 学費の支払いについて不安はありますか。		①全く不安はない	②あまり不安はない	③少し不安である	④とても不安である
Q7. あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。		①はっきりとした考えがある	②これから考える	③考えているがはっきりしていない	④まったく考えていない
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。		①とても楽しみだ	②まあ楽しみだ	③あまり楽しみでない	④全く楽しみでない
Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。		①大変満足している	②満足している	③あまり満足していない	④満足していない
Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。		①大変満足している	②満足している	③あまり満足していない	④満足していない
Q11. あなたは授業にどのように取り組んでいますか。		①とても熱心に取り組んでいる	②熱心に取り組んでいる	③あまり熱心には取り組んでいない	④熱心に取り組んでいない
Q13. あなたは教員に親近感を感じますか。		①とても感じている	②やや感じている	③あまり感じていない	④まったく感じない
Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。		①とてもそう思う	②まあそう思う	③あまりそう思わない	④全くそう思わない
設問	3点	2.5点	1.5点	1点	0点
Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。	①3時間以上	②2時間～3時間	③1時間～2時間	④1時間程度	⑤していない

リテラシー、コンピテンシーとも、事前（初期値）のスコアが低いほど、事後の伸び幅が大きい。
 変化量の分析の際には、この初期値の影響を除去して考える必要がある。

■リテラシー総合

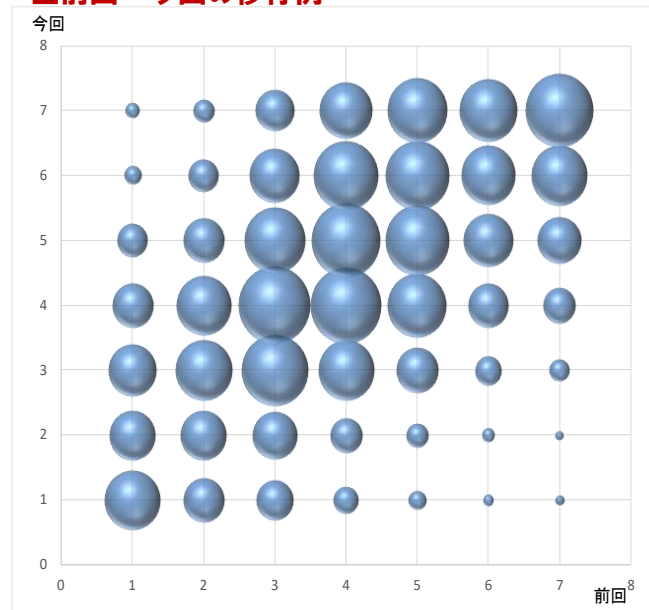


■コンピテンシー総合



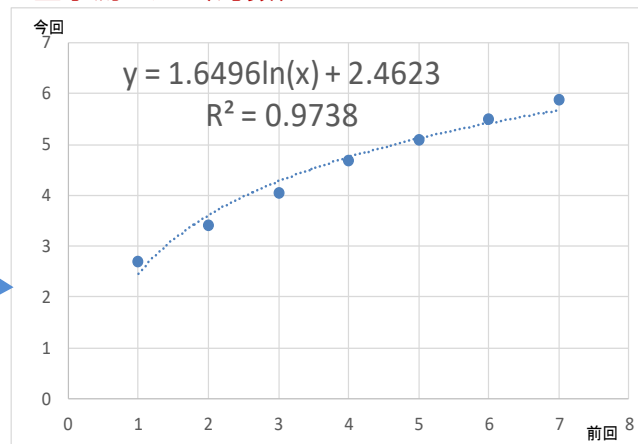
初期値の影響を除く方法として、PROGの経年変化のデータから、前回レベルから今回レベルを予測するモデルを作成し、各レベル間の変化量（実測値）と、モデルから求められる想定変化量の差を、「望ましさ」と考えて各レベル間のウェイトを設定した。このウェイトを[Progress Index]と呼ぶこととし、以下ではPI値と記す。

■ 前回→今回の移行例

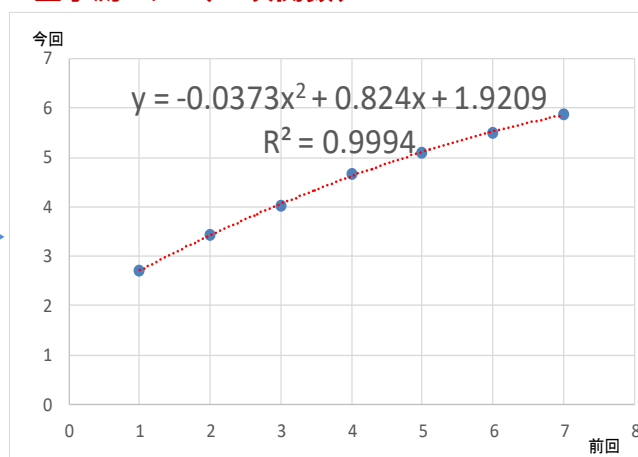


リテラシー／コンピテンシーの要素ごとに、フィッティングの良い方を採用

■ 予測モデル(対数)



■ 予測モデル(二次関数)



分析の前提 —PI値[Progress Index]の導入—

各レベル間の変化量（実測値）と、モデルから求められる
想定変化量の差を、「望ましき指標」として想定

前回 今回 レベル	①実測値 (前回)	②実測値 (今回)	③想定値 (今回)	望ましき指標 ②-③ 実測値-想定値 (今回)
11	1	1	2.71	-1.71
12	1	2	2.71	-0.71
13	1	3	2.71	0.29
14	1	4	2.71	1.29
15	1	5	2.71	2.29
16	1	6	2.71	3.29
17	1	7	2.71	4.29
21	2	1	3.42	-2.42
22	2	2	3.42	-1.42
23	2	3	3.42	-0.42
24	2	4	3.42	0.58
25	2	5	3.42	1.58
26	2	6	3.42	2.58
27	2	7	3.42	3.58
31	3	1	4.06	-3.06
32	3	2	4.06	-2.06
33	3	3	4.06	-1.06
34	3	4	4.06	-0.06
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
57	5	7	5.11	1.89
61	6	1	5.52	-4.52
62	6	2	5.52	-3.52
63	6	3	5.52	-2.52
64	6	4	5.52	-1.52
65	6	5	5.52	-0.52
66	6	6	5.52	0.48
67	6	7	5.52	1.48
71	7	1	5.86	-4.86
72	7	2	5.86	-3.86
73	7	3	5.86	-2.86
74	7	4	5.86	-1.86
75	7	5	5.86	-0.86
76	7	6	5.86	0.14
77	7	7	5.86	1.14

「望ましき指標」を大きさ順に並べ、
ハンドリングのし易さを考慮して1~100点に変換

順位 (降順)	移動	望ましき 指標		100点 変換
49	1⇒7	4.29	→	100
48	2⇒7	3.58	→	98
47	1⇒6	3.29	→	96
46	3⇒7	2.94	→	94
45	2⇒6	2.58	→	92
44	4⇒7	2.38	→	90
43	1⇒5	2.29	→	88
42	3⇒6	1.94	→	86
41	5⇒7	1.89	→	84
40	2⇒5	1.58	→	81
39	6⇒7	1.48	→	79
38	4⇒6	1.38	→	77
37	1⇒4	1.29	→	75
36	7⇒7	1.14	→	73
35	3⇒5	0.94	→	71
34	5⇒6	0.89	→	69
33	2⇒4	0.58	→	67
32	6⇒6	0.48	→	65
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
15	7⇒4	-1.86	→	30
14	3⇒2	-2.06	→	28
13	5⇒3	-2.11	→	26
12	2⇒1	-2.42	→	24
11	6⇒3	-2.52	→	22
10	4⇒2	-2.62	→	20
9	7⇒3	-2.86	→	18
8	3⇒1	-3.06	→	15
7	5⇒2	-3.11	→	13
6	6⇒2	-3.52	→	11
5	4⇒1	-3.62	→	9
4	7⇒2	-3.86	→	7
3	5⇒1	-4.11	→	5
2	6⇒1	-4.52	→	3
1	7⇒1	-4.86	→	1



今回は1か年の変化量指標である以下のPI値を用いた

★1学年変化

リテラシー総合

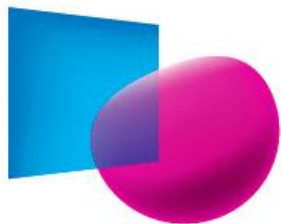
		最新値						
		1	2	3	4	5	6	7
初期値	1	32	46	61	75	88	96	100
	2	24	38	53	67	81	92	98
	3	15	28	42	57	71	86	94
	4	9	20	34	48	63	77	90
	5	5	13	26	40	55	69	84
	6	3	11	22	36	51	65	79
	7	1	7	18	30	44	59	73

リテラシー中分類

		最新値				
		1	2	3	4	5
初期値	1	34	55	75	92	100
	2	22	42	63	84	96
	3	9	26	46	67	88
	4	5	18	38	59	79
	5	1	13	30	51	71

コンピテンシー

		最新値						
		1	2	3	4	5	6	7
初期値	1	40	55	69	81	90	96	100
	2	28	42	57	71	84	92	98
	3	20	32	46	61	75	86	94
	4	13	24	36	51	65	77	88
	5	7	15	26	38	53	67	79
	6	3	9	18	30	44	59	73
	7	1	5	11	22	34	48	63



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

1. 基礎力関連分析【1年生】

1-1. 基礎力との相関係数一覧

- 基礎力と各設問との相関係数は以下の通り。
次ページ以降、±0.2以上の相関係数が認められた項目について詳細を見ていく。

相関係数

【全体】N=54 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は1%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

0.2以上 0.3未満	0.3以上 0.35未満	0.35以上
----------------	-----------------	--------

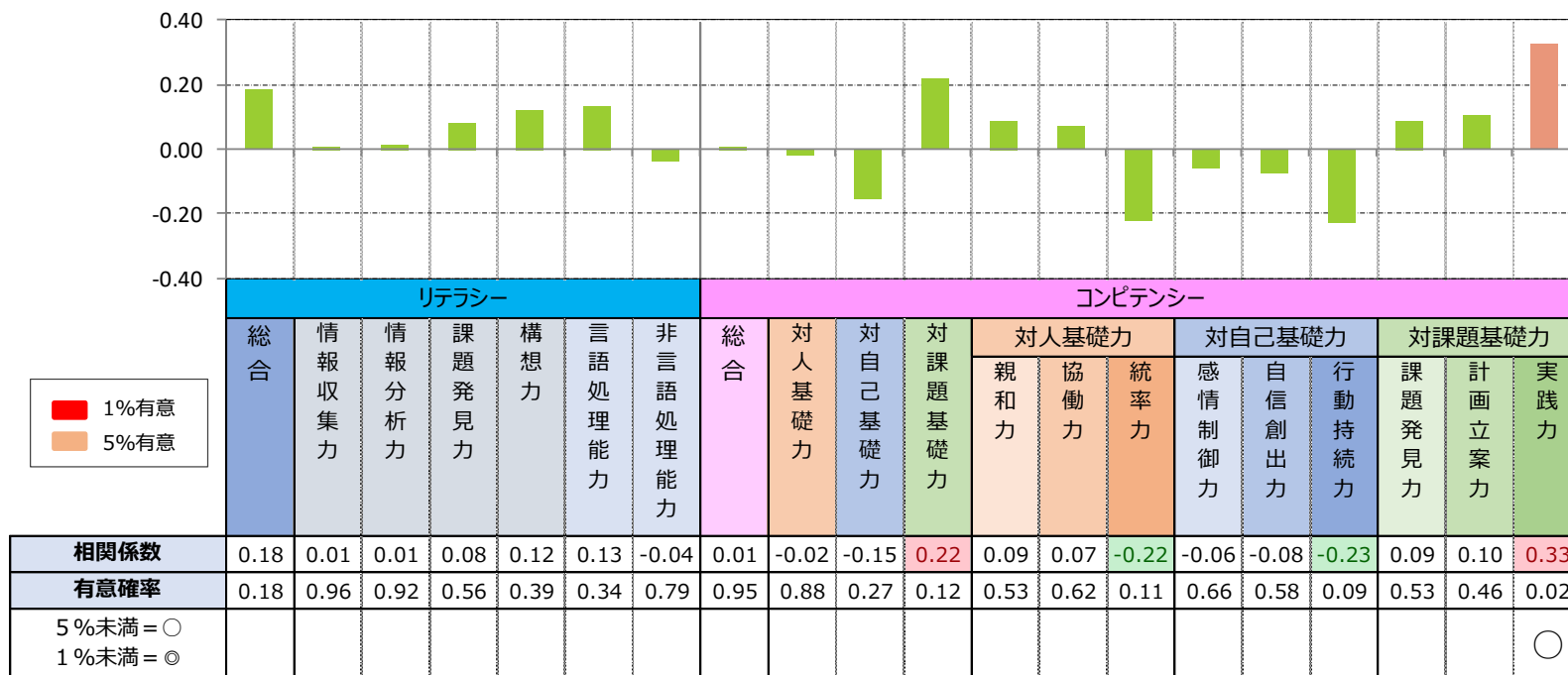
	リテラシー							コンピテンシー												
	総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想力	言語 処理能力	非言語 処理能力	総合	対人 基礎力	対自己 基礎力	対課題 基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
												親和力	協働力	統率力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践力
Q6. 学費の支払いについて不安はありますか。	-0.15	-0.12	-0.18	-0.16	-0.05	0.03	-0.06	-0.07	-0.05	-0.02	-0.07	0.02	-0.07	0.03	0.04	-0.06	-0.07	-0.08	0.03	-0.18
Q7. あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。	0.07	0.07	-0.08	0.03	0.07	-0.29*	0.11	-0.11	-0.12	-0.17	0.15	0.04	-0.07	-0.15	-0.09	-0.34*	-0.16	0.10	0.18	0.25
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。	-0.14	-0.20	-0.12	-0.19	-0.05	-0.15	-0.20	-0.07	-0.09	0.05	-0.01	0.04	-0.06	-0.21	0.05	-0.08	0.05	-0.05	0.05	-0.05
Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。	0.18	0.01	0.01	0.08	0.12	0.13	-0.04	0.01	-0.02	-0.15	0.22	0.09	0.07	-0.22	-0.06	-0.08	-0.23	0.09	0.10	0.33*
Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。	0.21	0.14	-0.07	0.03	0.31*	-0.04	0.06	0.13	0.08	-0.01	0.29*	0.12	0.07	-0.06	0.01	-0.06	-0.02	0.24	0.14	0.31*
Q11. あなたは授業にどのように取り組んでいますか。	-0.03	-0.02	-0.3*	-0.16	0.17	-0.08	0.10	-0.18	-0.24	-0.19	0.02	-0.07	-0.17	-0.13	0.02	-0.18	-0.20	-0.13	0.07	0.01
Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。	0.01	0.13	0.06	-0.19	0.06	0.07	0.03	0.26	0.23	0.28*	0.05	0.23	0.18	0.09	0.29*	0.10	0.28*	0.22	-0.07	0.08
Q13. あなたは教員に親近感を感じますか。	0.21	0.01	0.11	0.20	0.10	-0.12	0.02	0.12	0.14	-0.02	-0.07	0.18	0.23	-0.02	0.03	-0.03	0.03	-0.11	-0.02	-0.02
Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしううえで必要な能力向上につながっていると思いますか。	0.23	0.12	-0.02	0.07	0.17	-0.01	-0.04	0.07	0.05	-0.06	0.09	0.02	0.17	-0.08	-0.10	0.09	-0.05	0.01	0.06	0.02

1-2. 基礎力との相関係数

● 貴学総合満足度と実践力との間には、+0.33の正の相関関係が認められ、実践力の水準の高い学生ほど、貴学満足度が高い。

■ 基礎力との相関【Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。】

(n=54 *ただし無回答は除く)

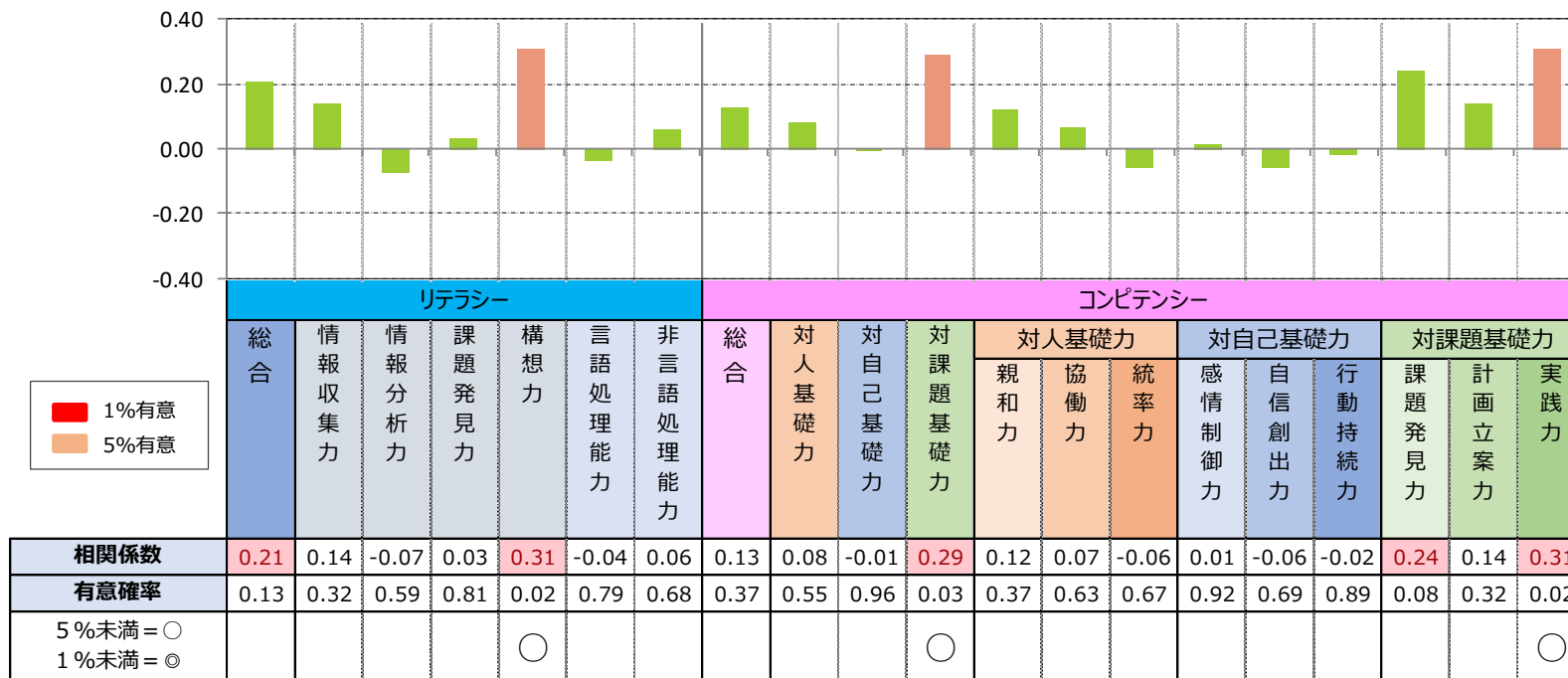


1-2. 基礎力との相関係数

- 貴学教育内容満足度と、構想力や実践力との間には、+0.31の正の相関関係が認められ、これら基礎力の水準の高い学生ほど、貴学教育満足度が高い。

■ 基礎力との相関【Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。】

(n=54 *ただし無回答は除く)

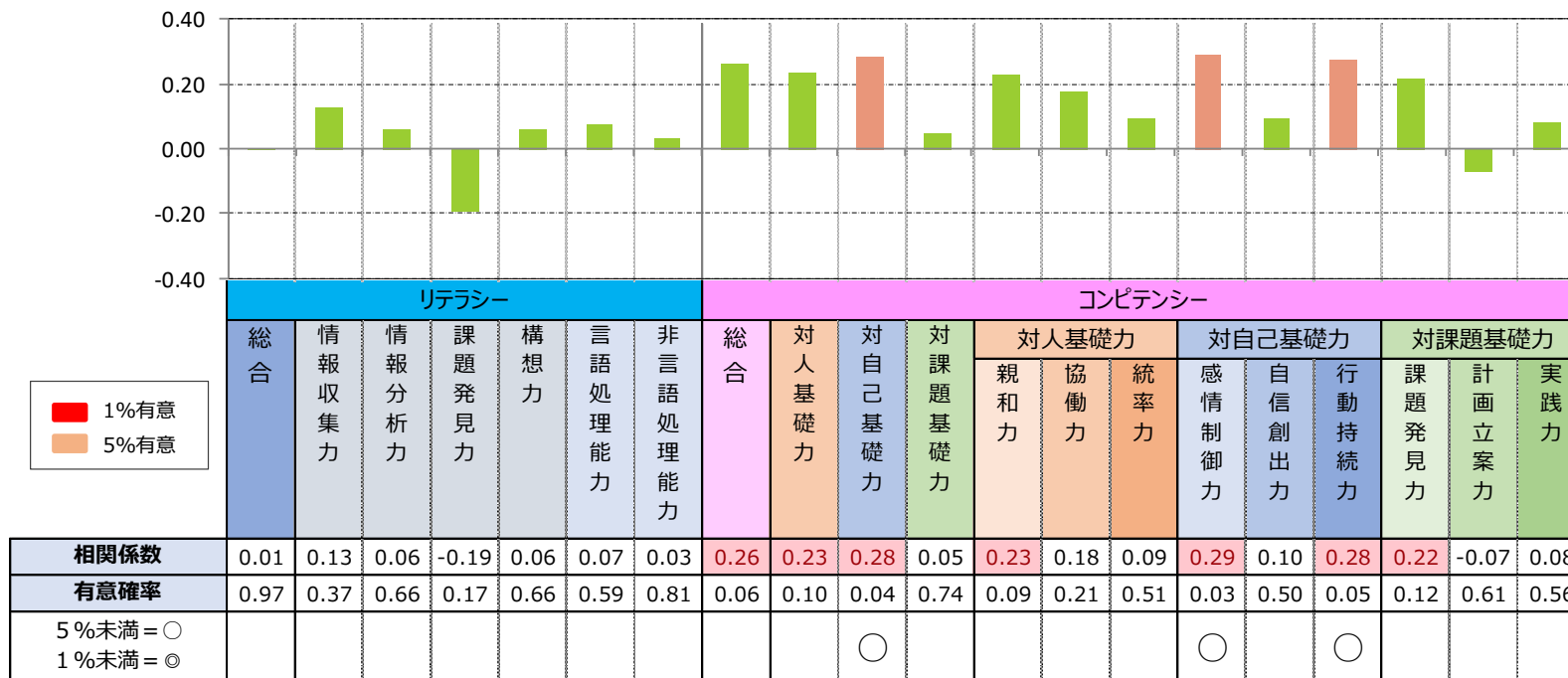


1-2. 基礎力との相関係数

- 授業以外の一日の学習時間と、感情制御力や行動持続力との間には、+0.2以上の正の相関関係が認められ、これら基礎力の水準の高い学生ほど、学習時間の長い。

■ 基礎力との相関【Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。】

(n=54 *ただし無回答は除く)



2-1. 基礎力の回答別平均値一覧

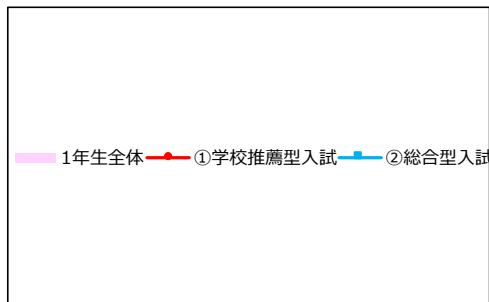
- 基礎力と各設問の回答別の平均値は以下の通り。
次ページ以降、回答別比較が可能な設問（N = 10以上の選択肢が2項目以上）について詳細を見ていく。

N≧10の場合：
全体+0.5以上
全体-0.5以下

設問	選択肢	N数	リテラシー							コンピテンシー												
			総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
														親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
全体		54	3.30	2.98	2.83	3.00	2.96	2.65	2.43	2.91	3.36	3.13	2.85	3.65	3.87	2.70	2.85	3.32	3.33	2.58	2.74	3.31
Q1. 入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】	①学校推薦型入試	30	3.30	3.17	2.73	3.00	2.93	2.60	2.50	2.97	3.24	3.23	3.20	3.40	3.77	2.86	3.03	3.24	3.30	2.86	2.97	3.70
	②総合型入試	23	3.30	2.83	2.91	2.91	3.04	2.70	2.35	2.74	3.39	2.96	2.35	3.91	3.91	2.39	2.61	3.30	3.30	2.17	2.43	2.70
	③一般入試	1	3.00	1.00	4.00	5.00	2.00	3.00	2.00	5.00	6.00	4.00	4.00	5.00	6.00	5.00	3.00	6.00	5.00	4.00	3.00	6.00
	④共通テスト利用入試	0																				
	⑤その他	0																				
Q2. 入試形式について教えてください。【2020(令和2)年度以前の入学生】	①推薦入試	19	3.00	3.32	2.63	2.63	2.79	2.68	2.32	3.11	3.33	3.58	3.37	3.53	3.89	2.83	3.32	3.56	3.47	3.17	3.16	4.11
	②AO入試	7	2.14	2.29	2.71	2.29	2.71	2.14	2.00	2.86	3.71	3.00	2.00	5.00	4.57	2.14	2.71	3.43	3.29	1.29	2.71	2.29
	③一般入試	1																				
	④センター入試	0																				
	⑤その他	0																				
Q3. 部活・サークル活動についてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	6	2.67	2.33	2.50	2.33	2.67	3.00	2.17	4.00	4.00	3.67	4.67	4.67	4.50	2.17	4.00	3.17	3.50	4.17	3.83	5.83
	②ある程度熱心に取り組んでいる	13	3.54	3.62	2.77	2.92	2.92	2.69	3.00	2.46	3.38	2.85	2.31	4.08	3.92	2.46	2.38	3.23	2.77	1.77	2.38	2.92
	③あまり熱心に取り組んでいない	4	3.50	2.50	3.00	3.00	3.25	2.50	2.25	1.50	2.00	2.00	3.50	2.25	1.75	1.50	1.50	2.25	2.75	3.00	3.25	3.25
	④所属していない	30	3.30	2.90	2.90	3.20	3.00	2.57	2.27	3.03	3.38	3.27	2.67	3.43	4.00	3.03	2.93	3.52	3.57	2.52	2.63	3.03
Q4. ボランティア活動についてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	2	3.00	3.00	2.50	2.50	3.50	2.00	2.00	4.00	4.00	3.00	2.50	5.00	5.50	4.00	3.50	4.00	4.50	4.00	2.50	4.00
	②ある程度熱心に取り組んでいる	5	3.00	3.00	2.60	2.60	3.20	2.80	2.40	4.20	4.60	3.80	3.80	5.00	4.80	3.40	3.40	3.40	4.20	4.40	2.80	5.40
	③あまり熱心に取り組んでいない	17	3.59	3.18	3.12	3.06	2.88	2.94	2.94	3.00	3.24	3.29	3.35	3.35	3.82	2.65	2.94	3.35	3.47	2.71	3.24	3.71
	④ボランティア活動をしたことがない	30	3.20	2.87	2.73	3.07	2.93	2.50	2.17	2.57	3.20	2.93	2.43	3.50	3.63	2.57	2.67	3.27	3.03	2.17	2.47	2.70
Q5. アルバイトについてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	21	3.43	3.14	2.81	3.05	3.14	2.52	2.52	3.14	3.85	3.24	2.67	4.10	4.52	3.05	2.52	3.60	3.57	2.50	2.48	3.14
	②ある程度熱心に取り組んでいる	12	3.50	3.08	2.92	3.25	3.08	2.92	2.17	2.92	3.42	2.83	2.92	3.67	3.58	2.92	2.67	3.17	3.25	2.83	2.92	3.58
	③あまり熱心に取り組んでいない	4	3.75	3.50	3.25	2.75	2.50	2.75	3.50	3.75	4.25	3.50	4.75	4.00	5.00	2.50	3.75	3.00	3.75	2.25	4.25	5.00
	④アルバイトをしていない	17	2.88	2.59	2.71	2.82	2.76	2.59	2.24	2.41	2.53	3.12	2.59	3.00	3.00	2.18	3.18	3.18	3.00	2.35	2.59	2.94

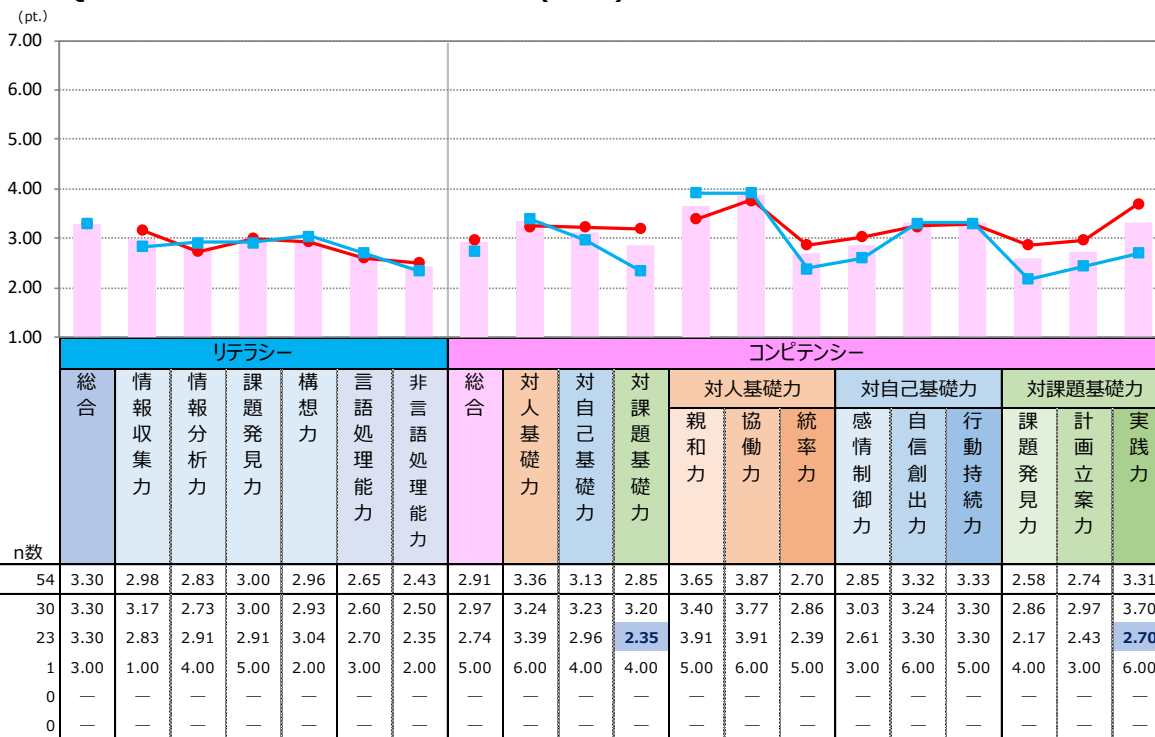
- 入試経路別にみると、【総合型入試】での実践力の水準が低い傾向がみられる。

■ 基礎力平均スコア比較



n ≥ 10の場合
5.00 全体 + 0.5ポイント以上
5.00 全体 - 0.5ポイント以下

Q1. 入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】

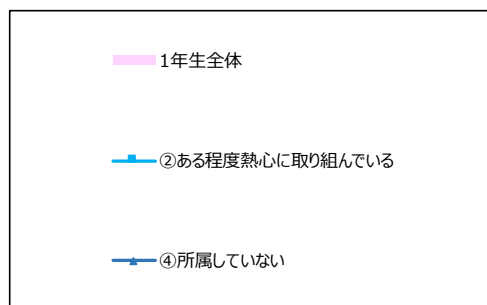


※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

2-2. 基礎力の回答別平均値

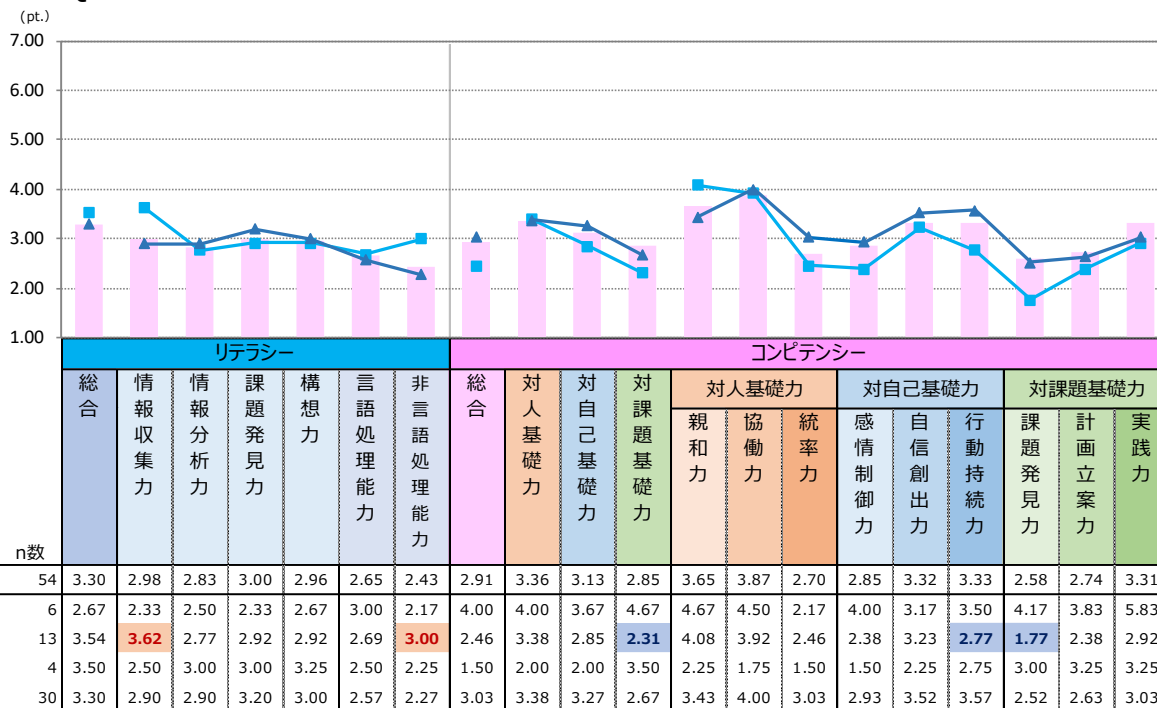
●部活・サークル活動別では、属性による顕著な傾向の違いはみられなかった。

■ 基礎力平均スコア比較



n ≥ 10の場合
■ 5.00 全体+0.5ポイント以上
■ 5.00 全体-0.5ポイント以下

Q3. 部活・サークル活動についてお伺いします。

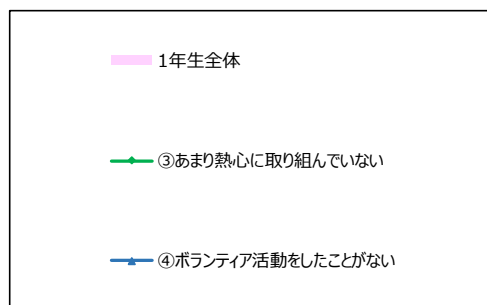


※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

2-2. 基礎力の回答別平均値

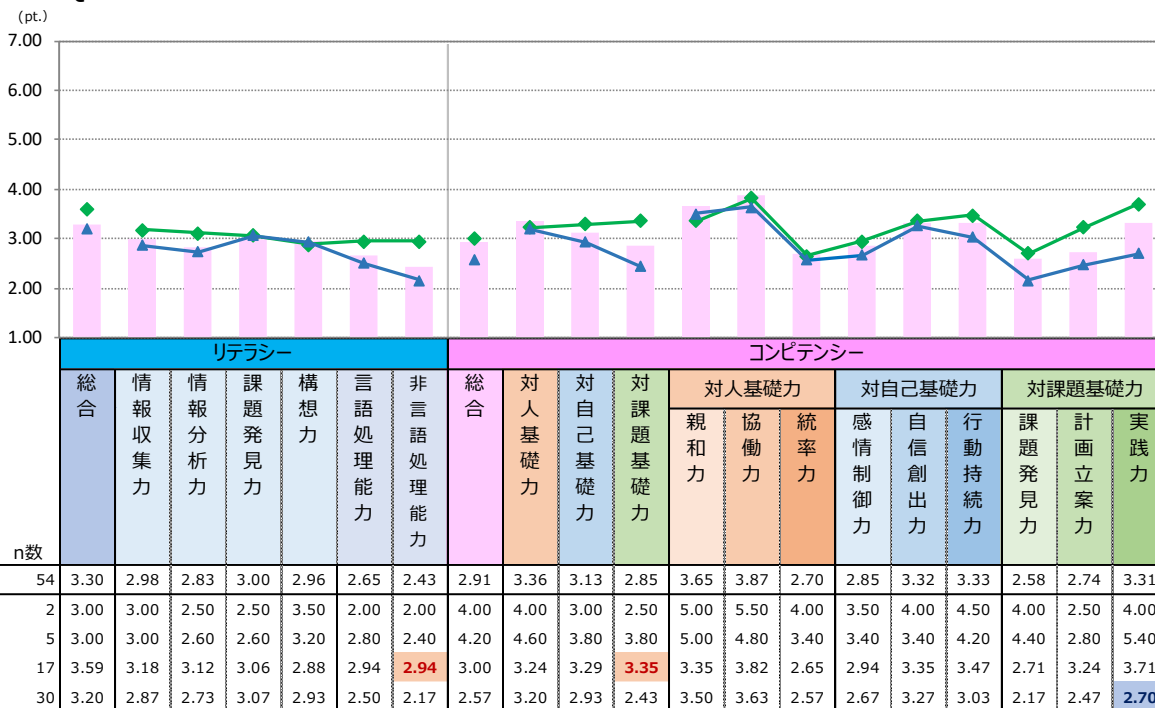
- ボランティア活動別にみると、【ボランティア活動をしたことがない】学生での実践力の水準が低い。

■ 基礎力平均スコア比較



n ≥ 10の場合
■ 5.00 全体 + 0.5ポイント以上
■ 5.00 全体 - 0.5ポイント以下

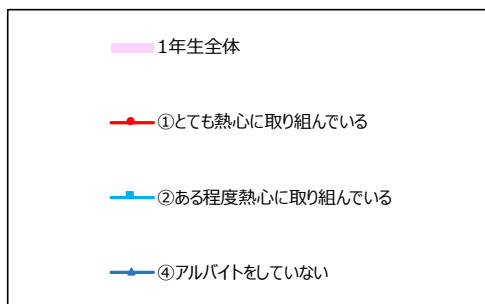
Q4. ボランティア活動についてお伺いします。



※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

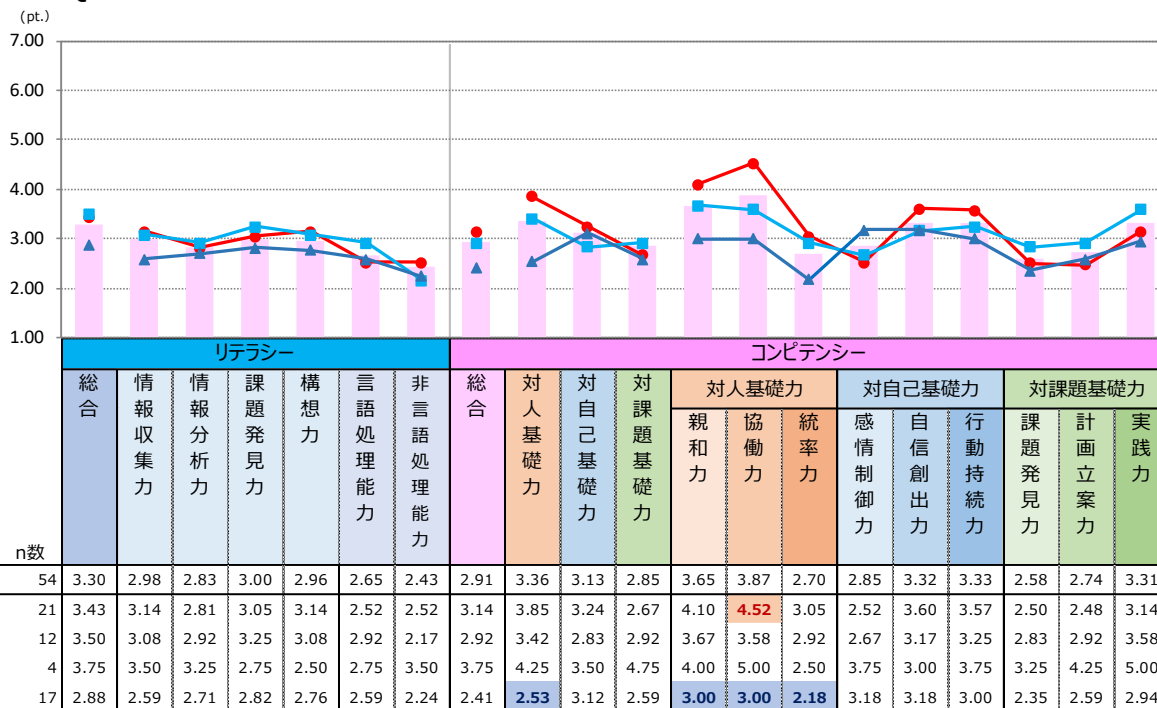
● アルバイト経験別にみると、【アルバイトをしていない】学生での対人基礎力の水準が低い。

■ 基礎力平均スコア比較

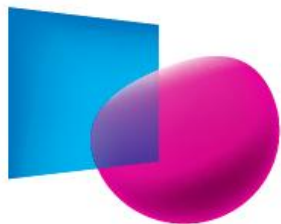


n ≥ 10の場合
5.00 全体+0.5ポイント以上
5.00 全体-0.5ポイント以下

Q5. アルバイトについてお伺いします。



※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く



PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

2.基礎力伸長分析【2年生】

1-1. 基礎力伸長度との相関係数一覧

- 基礎力伸長と各設問との相関係数は以下の通り。
次ページ以降、±0.2以上の相関係数が認められた項目について詳細を見ていく。

相関係数

【全体】N=45 (ただし各設問無回答は除く)

** 相関係数は1%水準で有意
* 相関係数は5%水準で有意

0.2以上 0.3未満	0.3以上 0.35未満	0.35以上
----------------	-----------------	--------

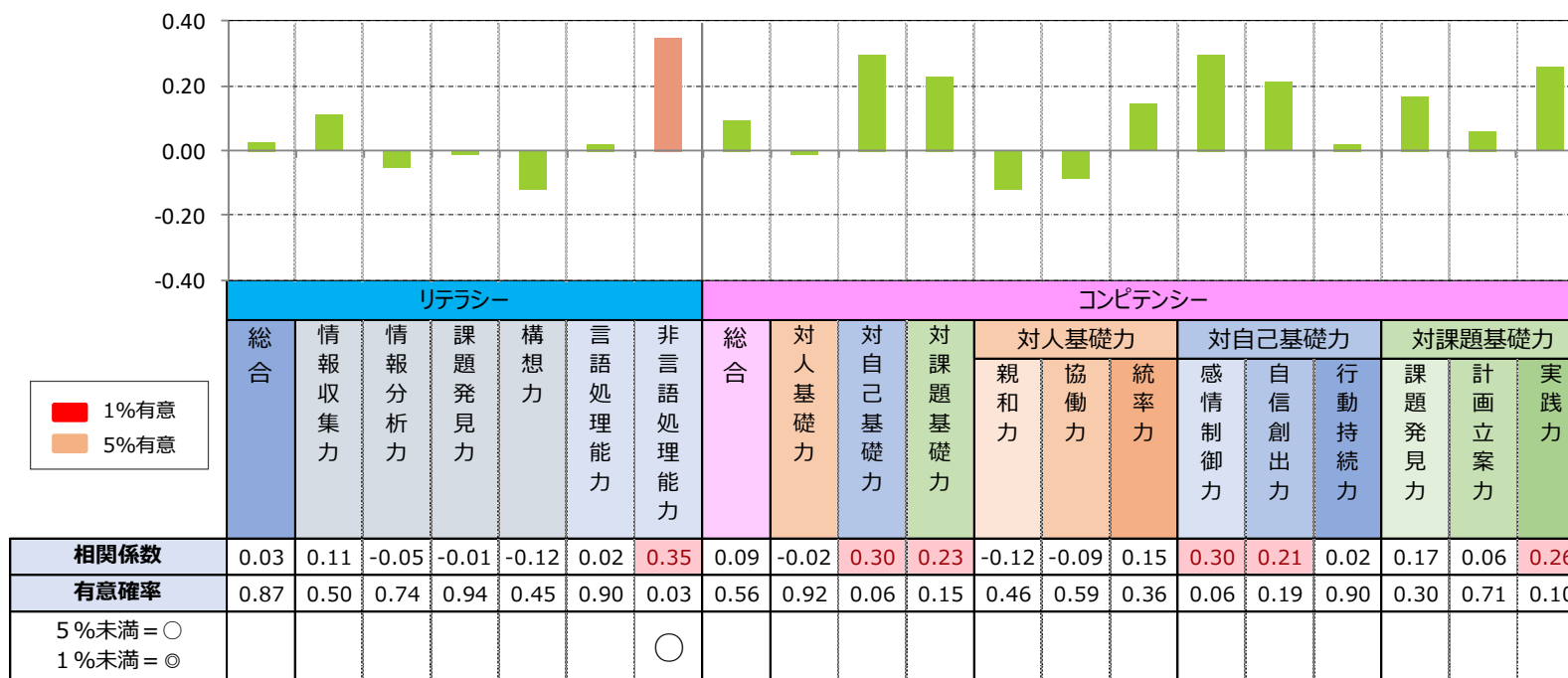
	リテラシー							コンピテンシー												
	総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想力	言語 処理能力	非言語 処理能力	総合	対人 基礎力	対自己 基礎力	対課題 基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
												親和力	協働力	統率力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践力
Q6. 学費の支払いについて不安がありますか。	0.03	0.11	-0.05	-0.01	-0.12	0.02	0.35*	0.09	-0.02	0.30	0.23	-0.12	-0.09	0.15	0.30	0.21	0.02	0.17	0.06	0.26
Q7. あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。	-0.30	-0.14	-0.09	-0.18	-0.07	-0.17	-0.21	0.13	0.15	0.29	0.07	0.15	-0.08	0.00	0.01	0.4*	0.27	0.24	-0.01	0.16
Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。	-0.34*	-0.11	-0.11	-0.38*	-0.03	-0.27	-0.03	0.37*	0.24	0.41*	0.22	0.17	0.18	0.15	0.16	0.48**	0.42**	0.36*	0.07	0.09
Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。	0.00	0.30	0.08	-0.20	-0.07	-0.17	0.15	0.27	0.32*	0.33*	0.06	0.27	0.38*	0.09	0.19	0.26	0.37*	0.23	-0.02	0.13
Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。	-0.14	0.20	-0.05	-0.39*	-0.20	-0.09	-0.14	0.17	0.10	0.07	0.28	0.09	0.42**	-0.08	0.00	0.10	0.16	0.34*	0.12	0.32*
Q11. あなたは授業にどのように取り組んでいますか。	-0.07	-0.02	0.15	-0.26	0.14	-0.17	0.28	0.03	-0.15	0.09	0.00	-0.03	-0.10	-0.18	0.03	0.10	-0.08	-0.07	-0.17	-0.03
Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。	0.15	0.07	0.17	0.15	0.14	-0.02	0.37*	0.03	-0.16	-0.02	0.28	-0.03	-0.20	-0.25	0.08	-0.16	-0.10	0.17	0.18	0.15
Q13. あなたは教員に親近感を感じますか。	-0.34*	-0.18	-0.30	-0.35*	-0.02	-0.44**	-0.08	0.30	0.43**	0.36*	-0.18	0.18	0.34*	0.32*	0.11	0.36*	0.43**	0.07	-0.27	-0.05
Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしううえで必要な能力向上につながっていると思いますか。	-0.19	-0.12	-0.08	-0.26	-0.09	-0.20	-0.14	-0.03	-0.04	-0.03	0.15	0.11	0.00	-0.12	-0.17	0.21	0.03	0.09	0.07	0.19

1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 有意ではないものの、学費支払いへの不安感と感情制御力、自信創出力、実践力の伸長度の間には緩やかな相関関係がみられ、不安のない学生ほど、これら基礎力が伸長している傾向がみられる。

■PI値との相関【Q6. 学費の支払いについて不安はありますか。】

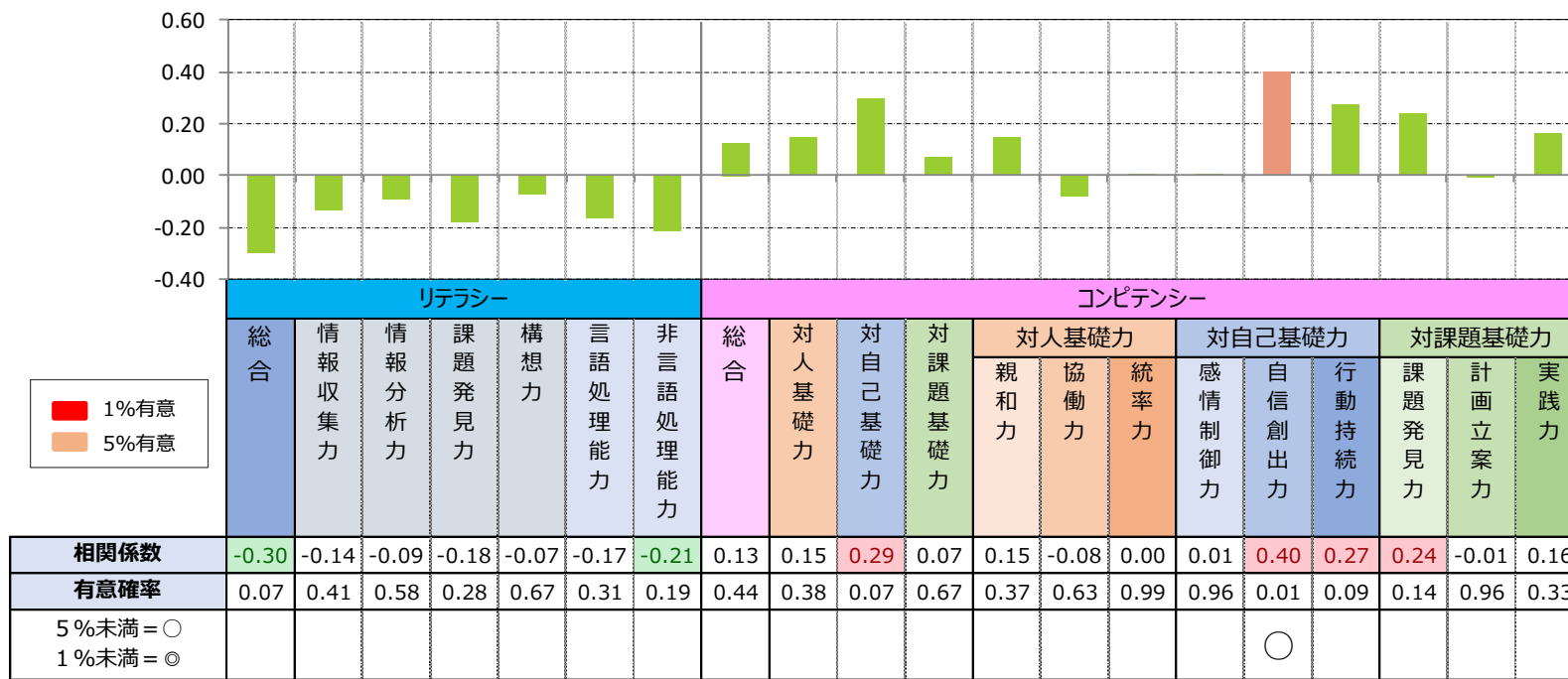
(n=45 *ただし無回答は除く)



1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 卒業後の進路の明確度と自信創出力の伸長度の間には、+0.4の正の相関関係が認められ、進路が明確になっている学生ほど、自信創出力が伸長している。

■PI値との相関【Q7. あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。】
(n=45 *ただし無回答は除く)

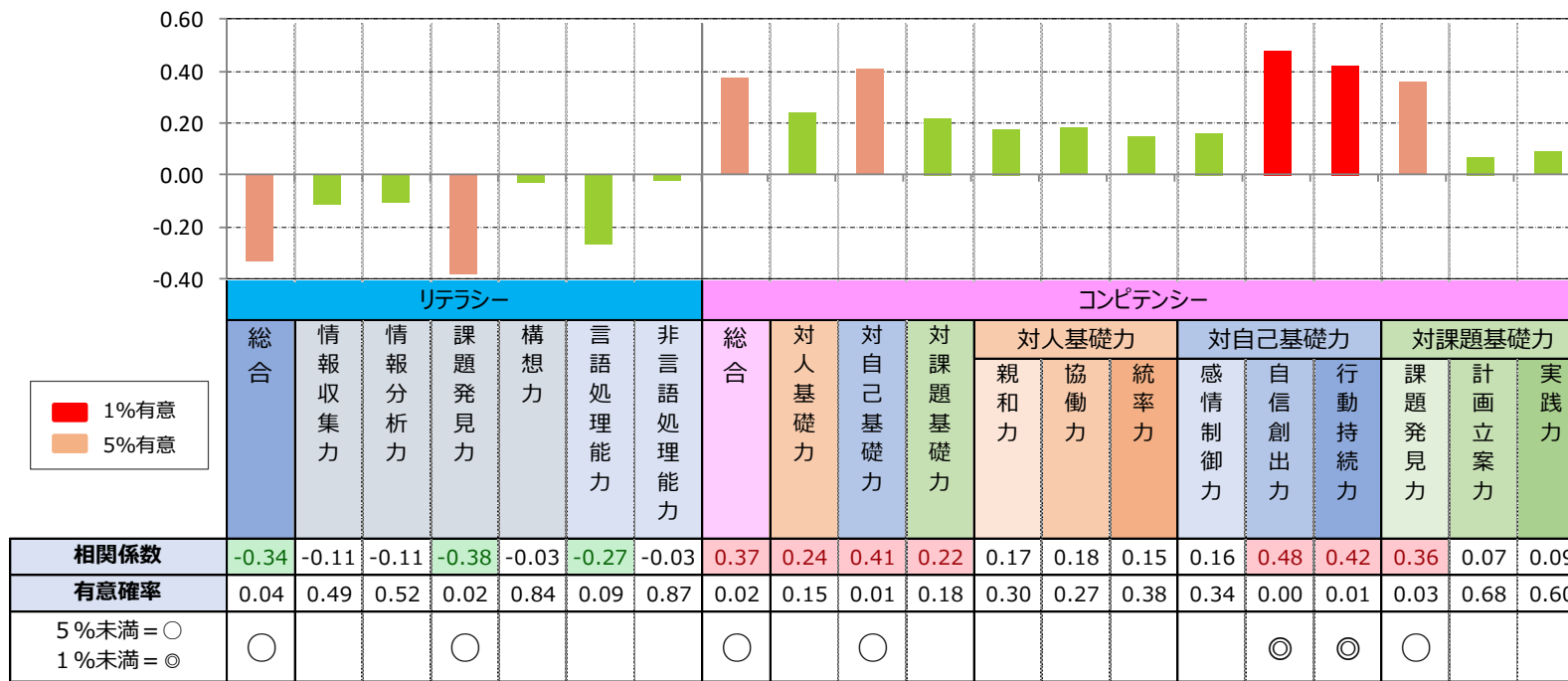


1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 社会人になることへの考え（楽しみか）と自信創出力、行動持続力、課題発見力の伸長度の間には、+0.4前後の正の相関関係が認められ、これら基礎力が伸長している学生ほど、社会人になることが楽しみだと回答している。

■PI値との相関【Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。】

(n=45 *ただし無回答は除く)

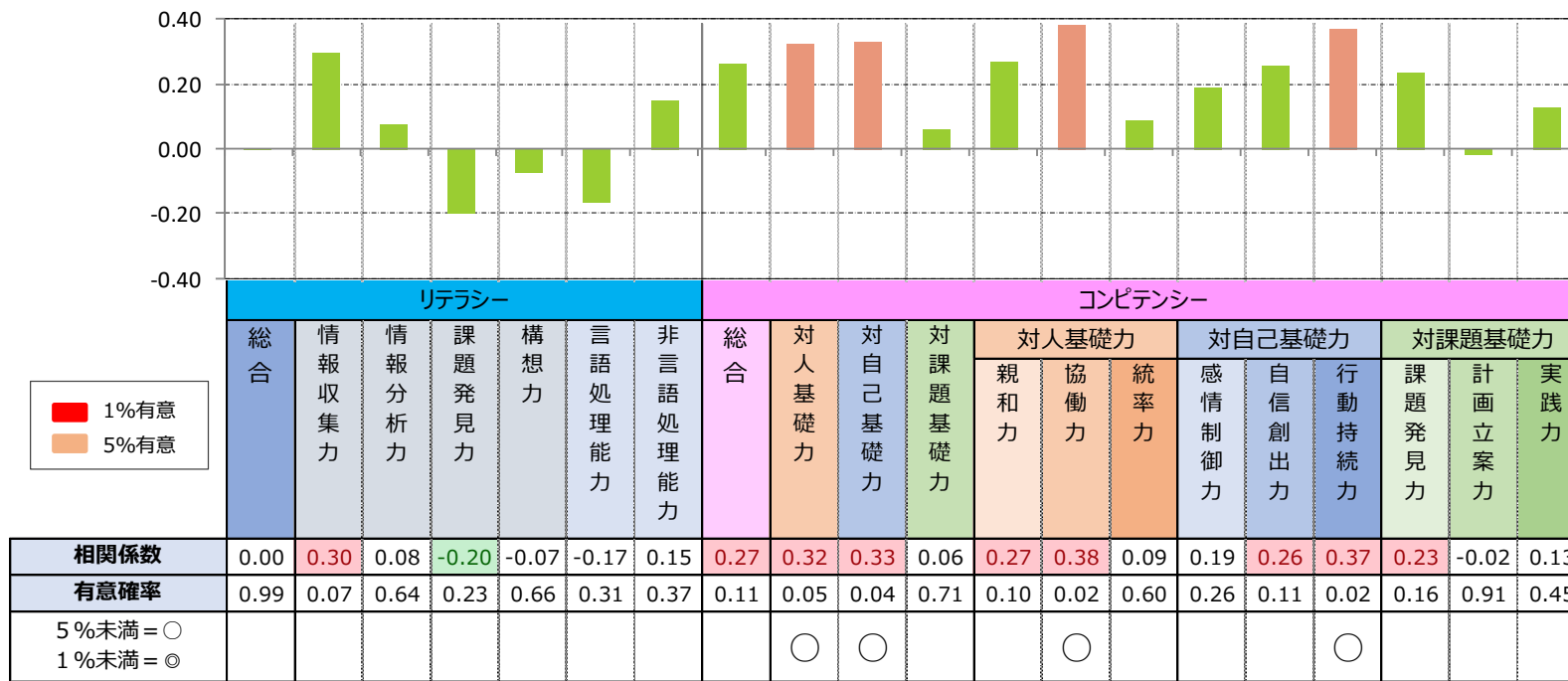


1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 貴学総合満足度と協働力、自信創出力の伸長度との間には、+0.4程度の正の相関関係が認められ、貴学満足度が高い学生ほど、これら基礎力が伸長している。

■PI値との相関【Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。】

(n=45 *ただし無回答は除く)



1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 貴学教育満足度と協働力、課題発見力、実践力の伸長度の間には、+0.3~+0.4の正の相関関係が認められ、貴学教育満足度が高い学生ほど、これら基礎力が伸長している。

■PI値との相関【Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺います。】

(n=45 *ただし無回答は除く)

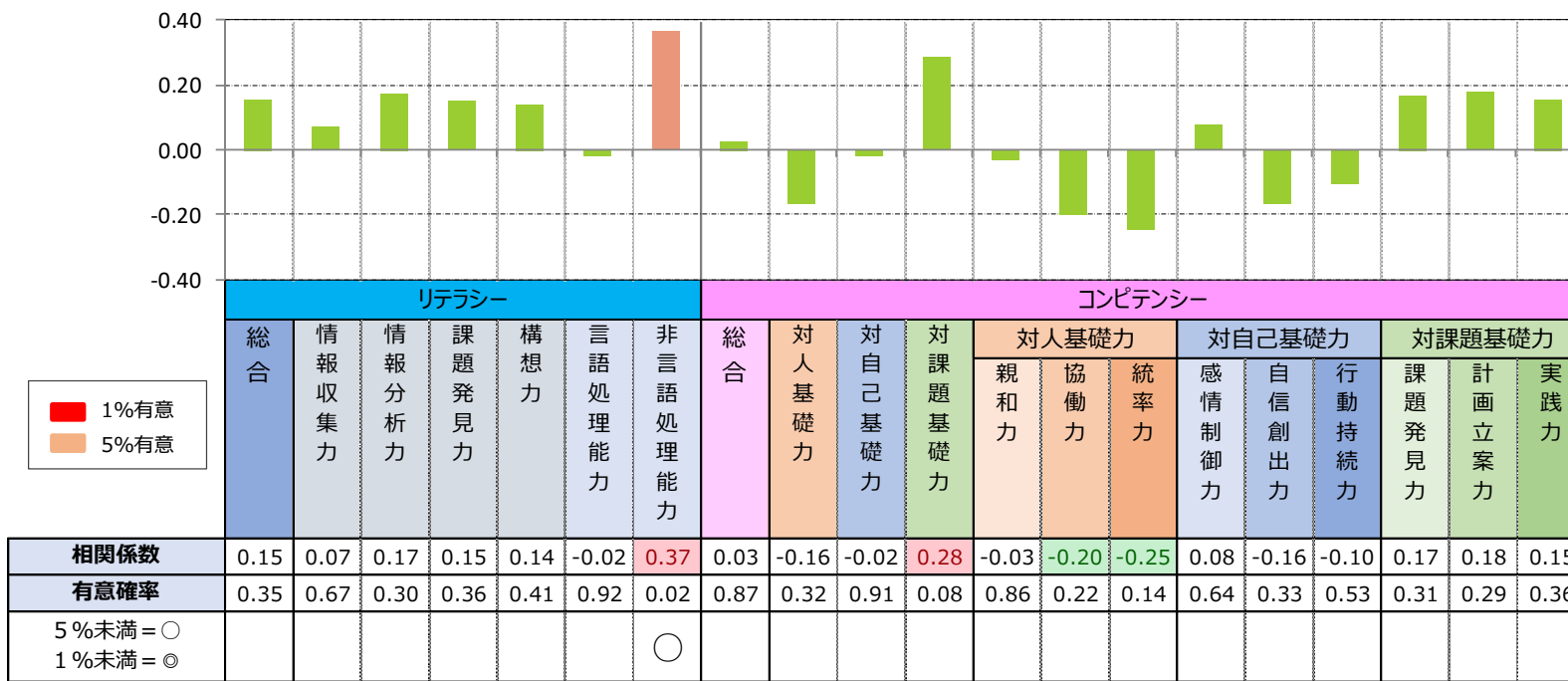


1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 授業以外の一日の学習時間と非言語処理力の伸長との間には、+0.4程度の正の相関関係が認められ、学習時間の長い学生ほど、非言語処理力が伸長している。

■PI値との相関【Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。】

(n=45 *ただし無回答は除く)

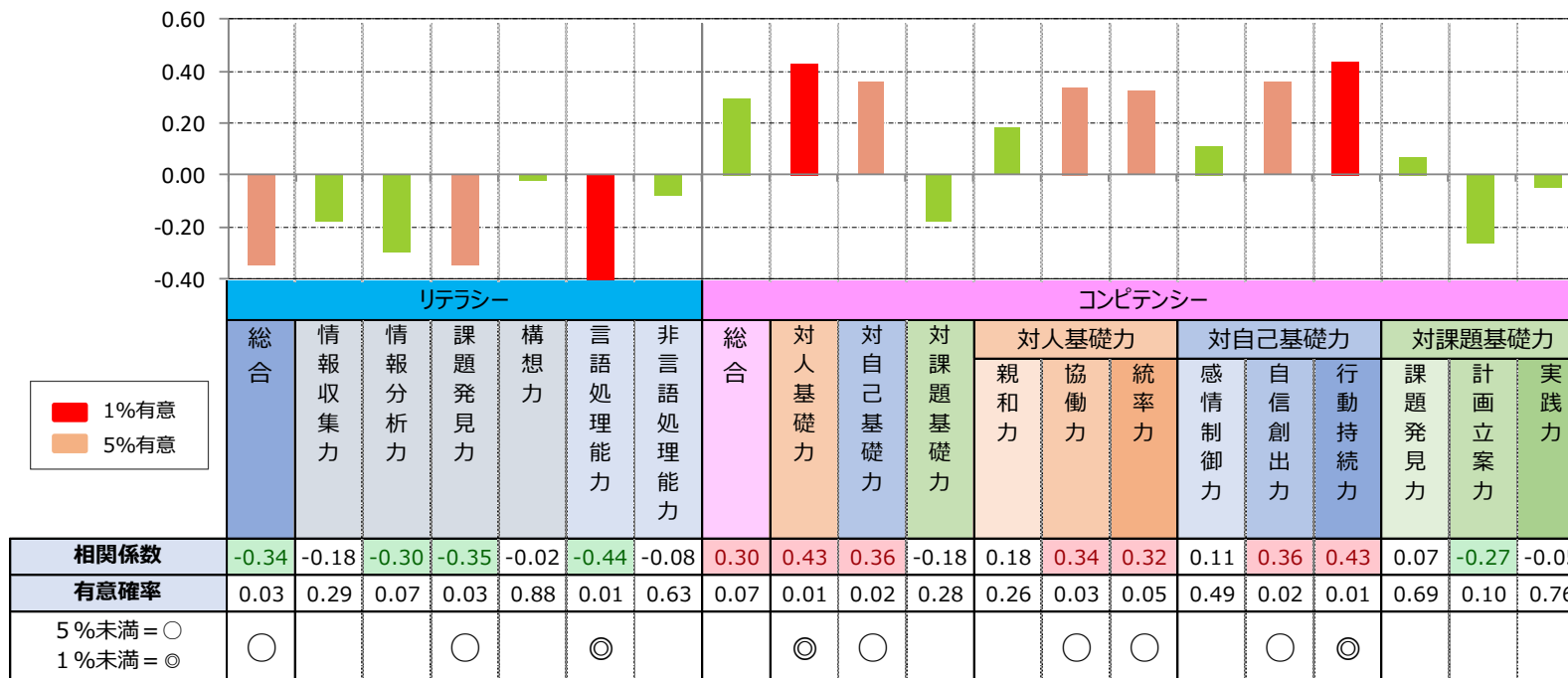


1-2. 基礎力伸長度との相関係数

- 教員への親近感と協働力、統率力、自信創出力、行動持続力の伸長度の間には、+0.3以上の正の相関関係が認められ、教員に対し親近感を感じている学生ほど、これら基礎力が伸長している。

■PI値との相関【Q13. あなたは教員に親近感を感じますか。】

(n=45 *ただし無回答は除く)



2-1. 基礎力伸長度の回答別平均値一覧

- 基礎力伸長と各設問の回答別の平均値は以下の通り。
次ページ以降、回答別比較が可能な設問（N = 10以上の選択肢が2項目以上）について詳細を見ていく。

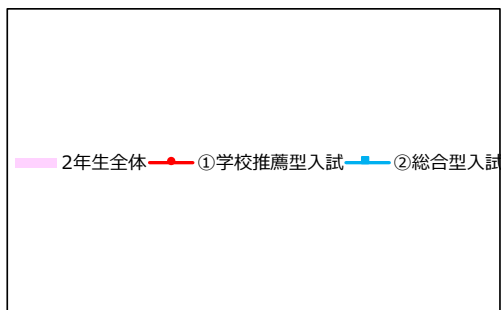
N≥10の場合： 全体+5.0以上
全体-5.0以下

設問	選択肢	N数	PI値_リテラシー							PI値_コンピテンシー												
			総合	情報 収集力	情報 分析力	課題 発見力	構想力	言語処 理能力	非言語 処理能力	総合	対人 基礎力	対自己 基礎力	対課題 基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
														親和力	協働力	統率力	感情 制御力	自信 創出力	行動 持続力	課題 発見力	計画 立案力	実践力
全体		45	51.9	53.3	51.3	58.2	47.5	49.8	41.6	43.3	48.0	47.0	38.2	47.4	46.8	45.9	43.9	49.0	47.4	40.1	39.3	43.2
Q1. 入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】	①学校推薦型入試	34	53.1	53.7	54.9	56.9	49.9	49.0	42.6	43.4	48.9	46.0	38.4	45.5	48.5	47.6	44.3	45.5	46.3	39.1	39.6	41.8
	②総合型入試	10	48.4	52.6	39.7	63.7	38.2	52.6	37.8	44.5	47.0	50.8	39.7	54.2	42.8	42.1	44.2	59.0	53.7	44.1	40.6	48.1
	③一般入試	0																				
	④共通テスト利用入試	0																				
	⑤その他	0																				
Q2. 入試形式について教えてください。【2020(令和2)年度以前の入学生】	①推薦入試	10	60.2	61.1	64.7	63.9	62.9	48.8	57.7	39.3	46.0	43.1	31.2	42.6	46.0	43.9	43.6	38.5	47.1	30.7	35.4	35.1
	②AO入試	4	49.5	34.0	53.5	60.8	47.5	45.3	41.3	53.0	62.5	54.3	41.0	59.0	50.3	66.5	46.8	60.0	65.8	51.0	36.5	47.5
	③一般入試	0																				
	④センター入試	0																				
	⑤その他	0																				
Q3. 部活・サークル活動についてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	6	56.3	53.3	41.7	53.8	54.3	47.7	49.2	41.7	51.0	45.3	32.8	47.8	55.7	48.2	42.0	49.8	48.8	39.8	32.0	41.5
	②ある程度熱心に取り組んでいる	5	55.6	36.4	71.2	70.6	44.6	58.0	33.2	38.0	43.4	39.2	35.4	37.6	41.6	36.0	38.4	37.6	53.4	36.6	37.2	40.8
	③あまり熱心に取り組んでいない	6	60.7	58.8	54.2	70.7	50.5	52.5	35.3	49.5	51.8	50.2	34.3	45.3	45.0	49.8	47.7	51.8	43.8	29.3	33.8	43.0
	④所属していない	27	48.3	54.0	48.7	53.8	44.9	48.4	43.3	43.3	47.7	47.8	40.2	50.4	45.7	47.8	44.6	50.7	46.5	43.3	42.5	43.6
Q4. ボランティア活動についてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	3	27.3	46.3	23.0	28.3	37.0	27.0	25.7	53.3	63.0	58.0	48.0	53.0	63.0	57.3	52.7	58.0	64.0	57.3	41.0	46.7
	②ある程度熱心に取り組んでいる	8	57.0	64.4	52.4	60.5	40.8	60.8	34.1	46.5	55.6	51.0	44.9	52.5	56.0	50.1	47.9	55.6	55.9	49.5	48.9	49.8
	③あまり熱心に取り組んでいない	10	64.1	53.4	70.0	63.0	54.3	57.2	51.4	43.7	52.4	47.6	29.0	48.3	50.1	48.7	45.8	43.0	45.8	30.6	30.1	39.9
	④ボランティア活動をしたことがない	22	47.5	49.3	45.6	58.6	46.2	45.2	41.0	41.3	41.4	43.6	38.5	45.0	39.5	43.5	41.5	48.9	43.7	39.3	39.5	41.6
Q5. アルバイトについてお伺いします。	①とても熱心に取り組んでいる	21	54.0	54.6	56.9	56.4	50.1	47.0	43.7	42.4	49.7	47.9	37.3	46.4	49.7	49.2	45.2	48.9	47.8	38.7	38.2	47.1
	②ある程度熱心に取り組んでいる	9	40.9	48.3	44.8	54.8	36.3	55.0	33.8	41.3	43.3	40.2	40.8	47.3	36.1	45.1	42.0	41.9	44.1	44.3	43.4	36.7
	③あまり熱心に取り組んでいない	1	3.0	1.0	5.0	9.0	18.0	38.0	1.0	42.0	57.0	42.0	36.0	57.0	46.0	46.0	28.0	71.0	46.0	36.0	51.0	51.0
	④アルバイトをしていない	9	58.7	58.9	46.4	67.6	46.6	53.8	48.2	49.7	50.3	51.7	38.9	53.0	48.9	42.2	46.4	54.3	54.9	43.4	35.0	42.7

2-2. 基礎力伸長度の回答別平均値

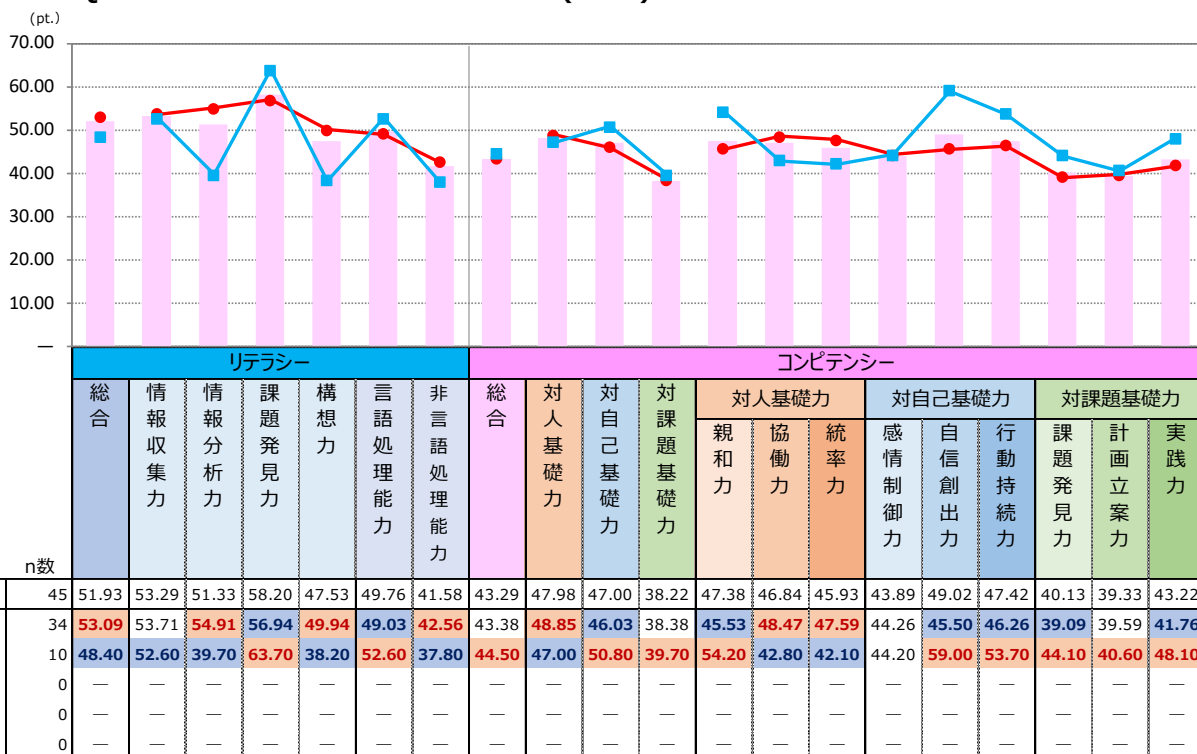
- 入試経路別にみると、【学校推薦型入試】のリテラシーや協働力、統率力の伸長度が高い。

■ 基礎力伸長度（PI値）平均スコア比較



n ≥ 10の場合
5.00 全体 + 0.5ポイント以上
5.00 全体 - 0.5ポイント以下

Q1. 入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】

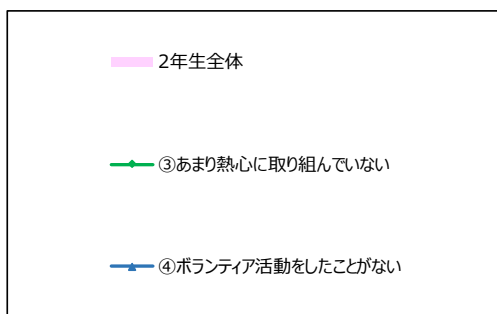


※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く

2-2. 基礎力伸長度の回答別平均値

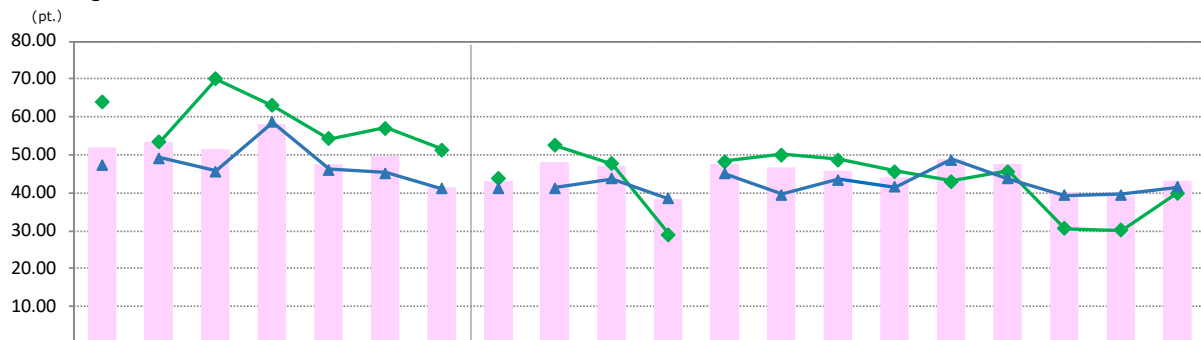
- ボランティア活動別にみると、【ボランティア活動をしたことがない】学生では基礎力が停滞している傾向がみられる。

■ 基礎力伸長度 (PI値) 平均スコア比較



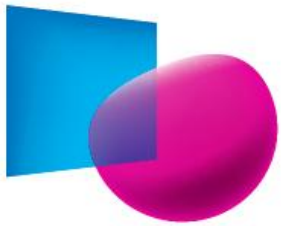
n ≥ 10の場合
5.00 全体 + 0.5ポイント以上
5.00 全体 - 0.5ポイント以下

Q4. ボランティア活動についてお伺いします。



	n数	リテラシー							コンピテンシー												
		総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	言語処理能力	非言語処理能力	総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	対人基礎力			対自己基礎力			対課題基礎力		
													親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計立案力	実践力
2年生全体	45	51.93	53.29	51.33	58.20	47.53	49.76	41.58	43.29	47.98	47.00	38.22	47.38	46.84	45.93	43.89	49.02	47.42	40.13	39.33	43.22
①とても熱心に取り組んでいる	3	27.33	46.33	23.00	28.33	37.00	27.00	25.67	53.33	63.00	58.00	48.00	53.00	63.00	57.33	52.67	58.00	64.00	57.33	41.00	46.67
②ある程度熱心に取り組んでいる	8	57.00	64.38	52.38	60.50	40.75	60.75	34.13	46.50	55.63	51.00	44.88	52.50	56.00	50.13	47.88	55.63	55.88	49.50	48.88	49.75
③あまり熱心に取り組んでいない	10	64.10	53.40	70.00	63.00	54.30	57.20	51.40	43.70	52.40	47.60	29.00	48.30	50.10	48.70	45.80	43.00	45.80	30.60	30.10	39.90
④ボランティア活動をしたことがない	22	47.45	49.27	45.64	58.64	46.23	45.23	41.00	41.32	41.36	43.64	38.45	44.95	39.50	43.55	41.55	48.86	43.73	39.27	39.50	41.59

※無回答は除く ※グラフからはn=10未満は除く



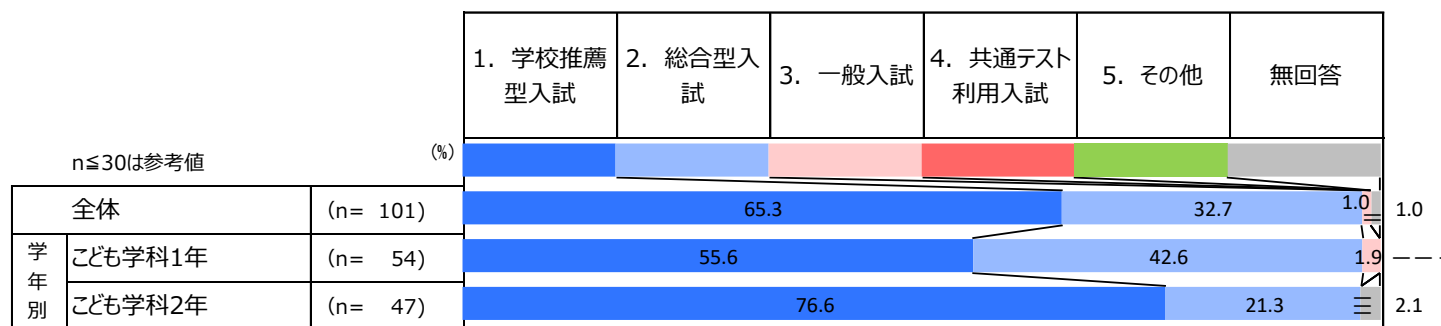
PROG

PROGRESS REPORT ON
GENERIC SKILLS

3.アンケート集計

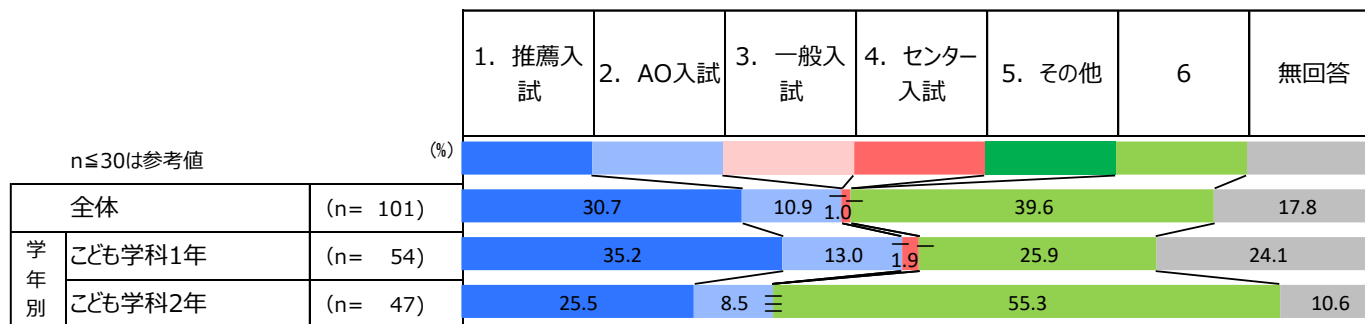
2. アンケート集計

Q1. 入試形式について教えてください。【2021(令和3)年度以降入学生】(全体/単一回答)



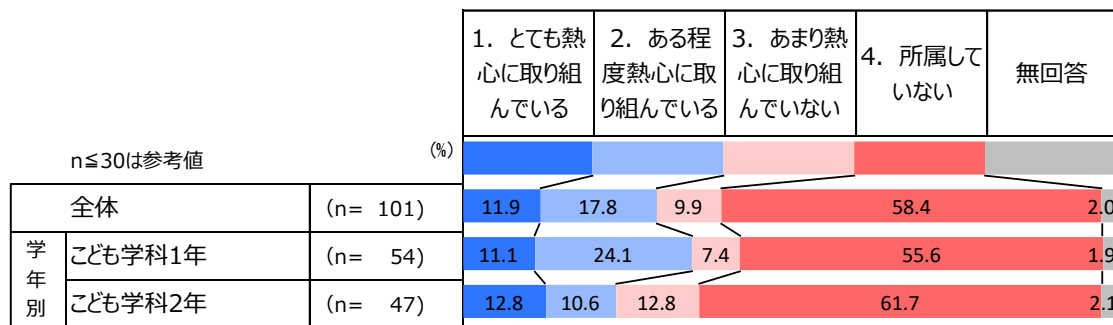
2. アンケート集計

Q2. 入試形式について教えてください。[2020(令和2)年度以前の入学生] (全体/単一回答)



2. アンケート集計

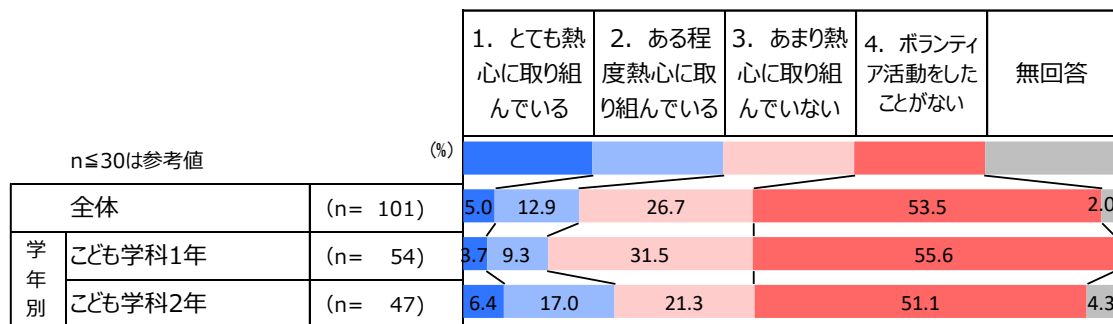
Q3. 部活・サークル活動についてお伺いします。(全体/単一回答)



1+2	3+4
29.7	68.3
35.2	63.0
23.4	74.5

2. アンケート集計

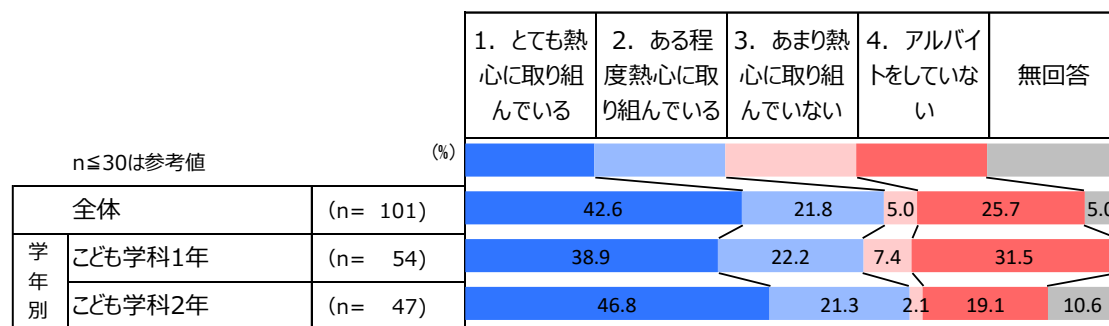
Q4. ボランティア活動についてお伺いします。(全体/単一回答)



1+2	3+4
17.9	80.2
13.0	87.1
23.4	72.4

2. アンケート集計

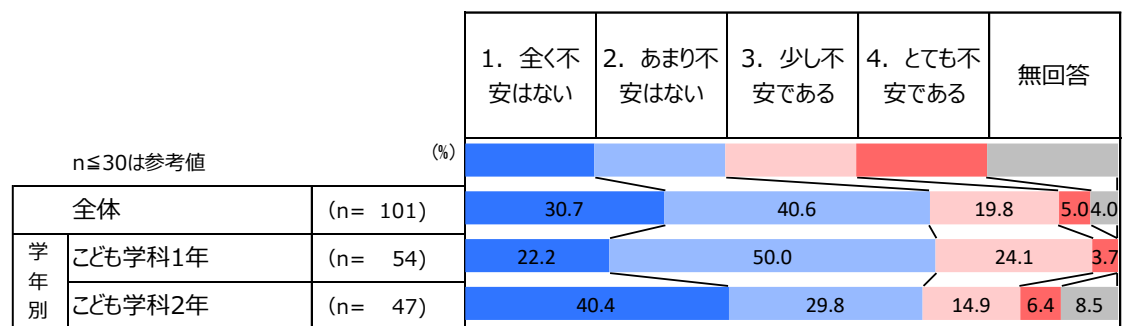
Q5. アルバイトについてお伺いします。(全体/単一回答)



1+2	3+4
64.4	30.7
61.1	38.9
68.1	21.2

2. アンケート集計

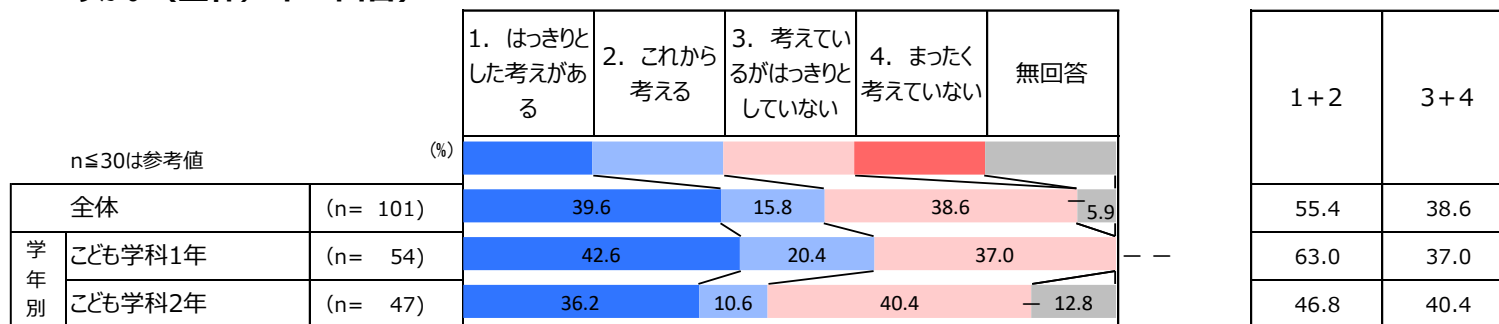
Q6. 学費の支払いについて不安はありますか。(全体/単一回答)



1+2	3+4
71.3	24.8
72.2	27.8
70.2	21.3

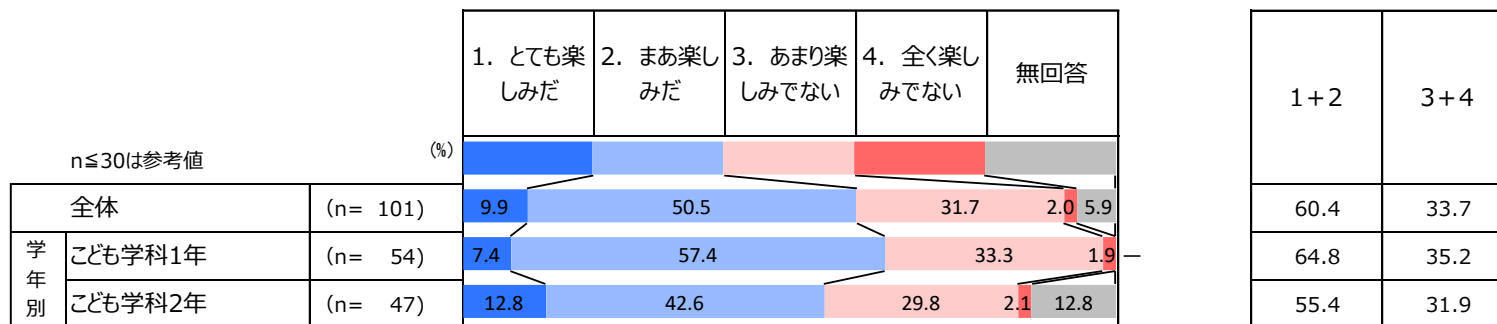
2. アンケート集計

Q7. あなたは卒業後の進路（就職・公務員・教員・進学・留学など）について、現在どのような考えを持っていますか。（全体／単一回答）



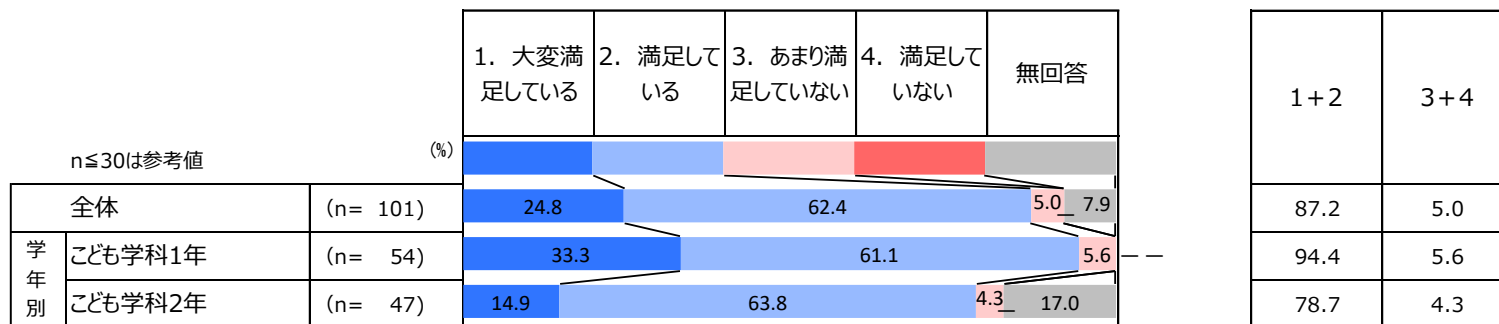
2. アンケート集計

Q8. 卒業後、社会人になることについてどのように感じますか。(全体/単一回答)



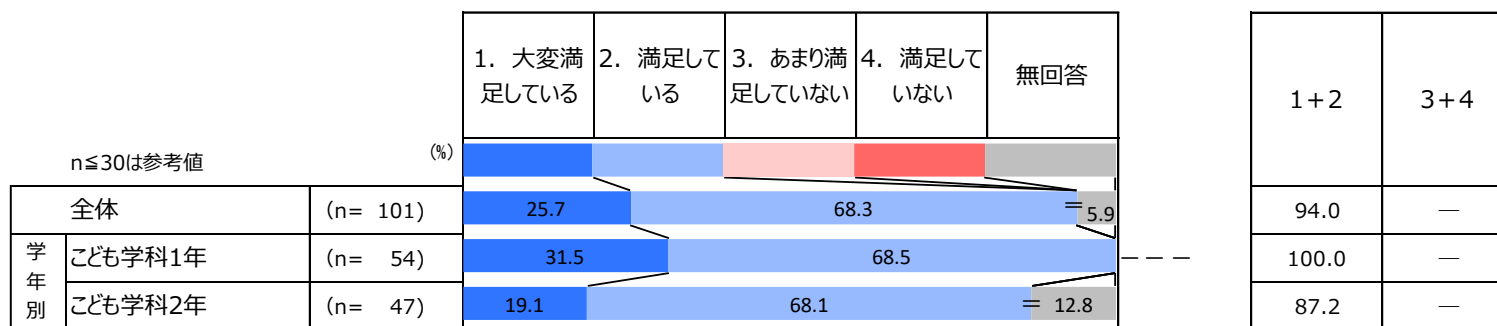
2. アンケート集計

Q9. あなたは現在、全体として北翔大学・北翔大学短期大学部に満足していますか。(全体/単一回答)



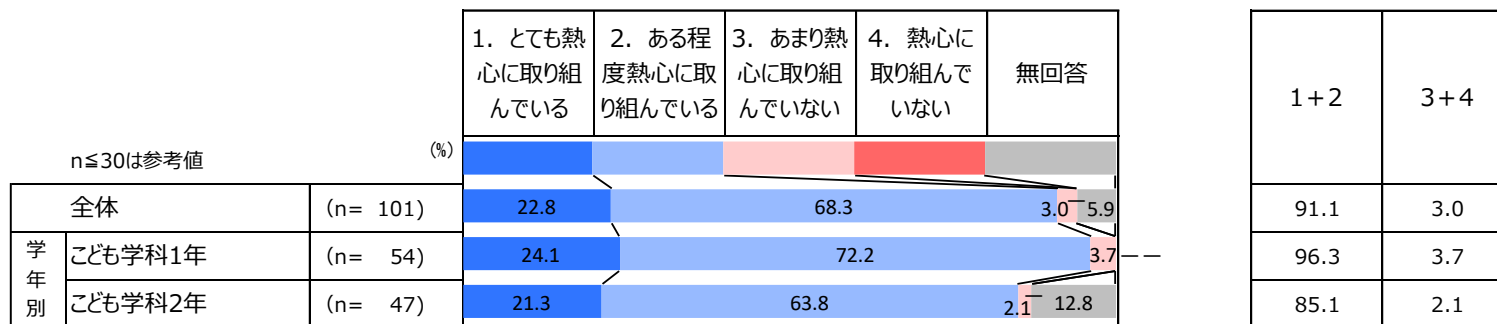
2. アンケート集計

Q10. 北翔大学・北翔大学短期大学部の教育内容についてお伺いします。(全体/単一回答)



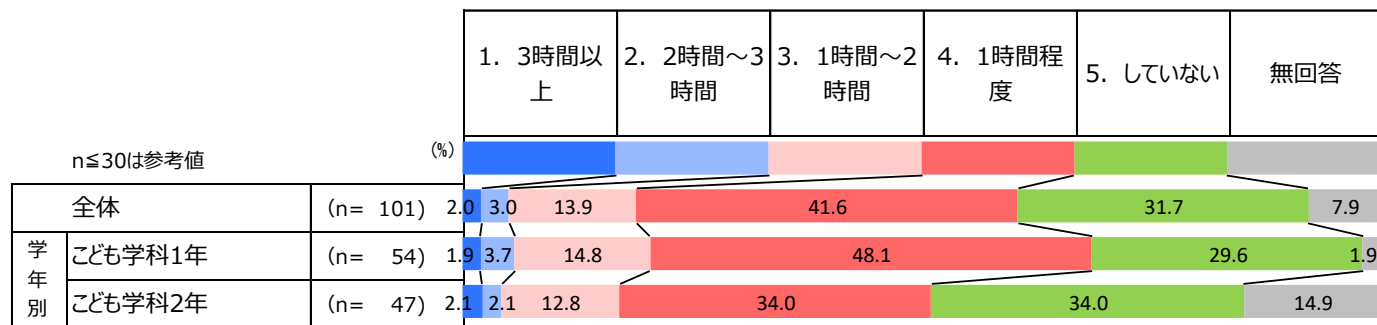
2. アンケート集計

Q11. あなたは授業にどのように取り組んでいますか。(全体/単一回答)



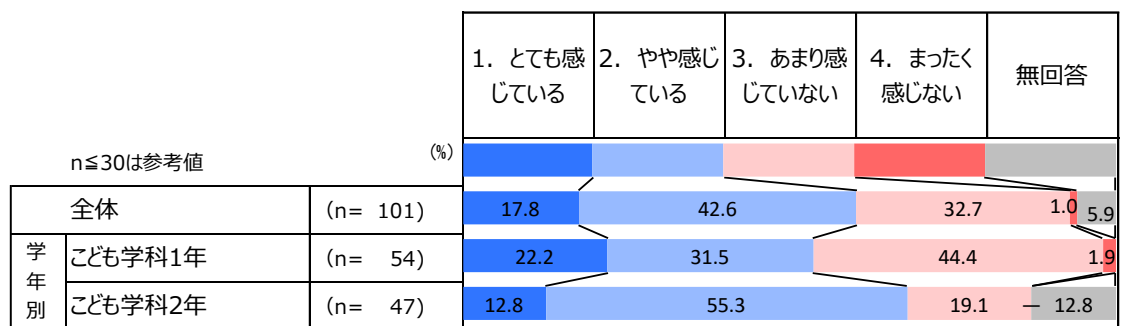
2. アンケート集計

Q12. あなたは授業以外に一日平均でどのくらい学習していますか。(全体/単一回答)



2. アンケート集計

Q13. あなたは教員に親近感を感じますか。(全体/単一回答)



1+2	3+4
60.4	33.7
53.7	46.3
68.1	19.1

2. アンケート集計

Q14. 大学・短大生での学びが将来仕事をしていくうえで必要な能力向上につながっていると思いますか。
(全体／単一回答)

